

# **HP Universal CMDB**

ソフトウェア・バージョン:10.20

# モデリング・ガイド

ドキュメント・リリース日:2015年1月 ソフトウェア・リリース日:2015年1月

ご注意

#### 保証

HP 製品,またはサービスの保証は,当該製品,およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定 されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的, 編集上の誤り,または欠如について,HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

#### 権利の制限

機密性のあるコンピュータ・ソフトウェアです。これらを所有,使用,または複製するには,HPからの有効 な使用許諾が必要です。商用コンピュータ・ソフトウェア,コンピュータ・ソフトウェアに関する文書類, および商用アイテムの技術データは,FAR12.211 および 12.212の規定に従い,ベンダーの標準商用ライセン スに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

### 著作権について

© Copyright 2002 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

#### 商標

Adobe<sup>™</sup> は, Adobe Systems Incorporated の商標です。

Microsoft<sup>®</sup> および Windows<sup>®</sup> は, Microsoft Corporation の米国登録商標です。

UNIX<sup>®</sup>は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler である「zlib」汎用圧縮ライブラリのイン ターフェースが含まれています。

### 文書の更新

このマニュアルの表紙には、以下の識別番号が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント・リリース日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェア・リリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新のアップデートまたはドキュメントの最新版を使用していることを確認するには,次の URL にアクセス してください :https://softwaresupport.hp.com

このサイトでは, HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport ID の登録は, 次の URL にアクセスしてください。https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do

または、HP ソフトウェア・サポート・ページの上部にある [登録] リンクをクリックします。

適切な製品サポート・サービスに登録すると,更新情報や最新情報も入手できます。詳細については HP の営 業担当にお問い合わせください。

### サポート

次の HP ソフトウェアのサポート・オンラインの Web サイトをご覧ください。 https://softwaresupport.hp.com この Web サイトでは,連絡先情報と,HP ソフトウェアが提供する製品,サービス,およびサポートについての詳細が掲載されています。

HP ソフトウェア・オンライン・ソフトウェア・サポートでは、お客様にセルフ・ソルブ機能を提供していま す。ビジネス管理に必要な、インタラクティブなテクニカル・サポート・ツールに迅速かつ効率的にアクセ スできます。有償サポートをご利用のお客様は、サポート・サイトの次の機能をご利用いただけます。

- 関心のある内容の技術情報の検索
- サポート・ケースおよび機能強化要求の提出および追跡
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポートの連絡先の表示
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- ほかのソフトウェア顧客との議論に参加
- ソフトウェアのトレーニングに関する調査と登録

ほとんどのサポート・エリアでは, HP Passport ユーザとして登録し, ログインする必要があります。また, 多くの場合, サポート契約も必要です。HP Passport ID を登録するには, 次の Web サイトにアクセスしてくだ さい。

#### https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do

アクセスレベルに関する詳細は、以下の Web サイトにアクセスしてください。

#### https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels

HP Software Solutions Now は, HPSW のソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイトでは, お客様のビジネスニーズを満たす HP 製品ソリューションを検索したり, HP 製品間の統合に関する詳細なリストや ITIL プロセスのリストを閲覧することができます。この Web サイトの URL は http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp です

# 目次

HP Universal CMDB の概要	13
第1章: トポロジ・クエリ言語(TQL)	14
トポロジ・クエリ言語(TQL)の概要	14
UCMDB マネージャでの TQL クエリの作成	15
TQL クエリ結果の表示	16
複合関係	
結合関係	
クエリ・ノード条件	
複合タイプ条件	20
サブグラフ定義	21
更新値ポリシーを使用修飾子	22
TQL クエリの定義方法	23
TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法	24
複合関係の定義方法 - シナリオ	25
結合関係の定義方法 - シナリオ	
属性条件の定義方法 - シナリオ	29
複合タイプ条件の定義方法 - シナリオ	
サブグラフの定義を作成する方法 - シナリオ	
ショートカット・メニュー・オプション	32
属性演算子の定義	37
TQL ログ	
トポロジ・クエリ言語のユーザ・インタフェース	42
[計算された関係の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス	
[複合関係の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス	45
[結合関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス	
[関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス	50
[関連クエリ ノードの追加] ウィザード	52
[関連クエリ ノードのタイプ] ページ	53
[関係タイプ] ページ	55
[関連クエリ ノードのプロパティ] ページ	56
[関連クエリ ノードのインスタンス] ページ	58
[トリプレットの追加] ダイアログ・ボックス	59
Cl インスタンス・ダイアログ・ボックス	62
条件のプレビュー・ダイアログ・ボックス	
要素レイアウトのプレビュー・ダイアログ・ボックス	
[Cl インスタンスをフィルタ] ダイアログ・ボックス	67
[関係条件を結合] ダイアログ・ボックス	68

[レイアウト設定] ダイアログ・ボックス	69
[クエリ・ノード / 関係のプロパティ] ダイアログ・ボックス	69
[クエリ ノード タイプの再設定] ダイアログ・ボックス	82
[関係のタイプを選択] ダイアログ・ボックス	
[サブグラフ条件の定義] ダイアログ・ボックス	84
[サブグラフの定義] ダイアログ・ボックス	
[ユーザ プリファレンス] ダイアログ・ボックス	
トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語	88
第2章: 計算された関係の使用	93
計算された関係の概要	93
計算関係	93
計算された関係のタイプ	94
複合 CI の折りたたみルールの設定方法	94
第3章: ダイレクト・リンクの URL の作成	98
ダイレクト・リンクの生成 – 概要	
ダイレクト・リンクの生成方法 - シナリオ	99
パラメータ値を含むテンプレートへのダイレクト・リンクの作成方法	
JMX コンソールを使用してダイレクト・リンクのパスワードを暗号化する方法	100
[ダイレクト リンクを生成]のユーザ・インタフェースス	
[ダイレクト リンクの生成] ダイアログ・ボックス	101
ダイレクト・リンクの生成ウィザード	102
[コマンドを選択] ページ	102
[ダイレクト リンク パラメータ] - [Cl の選択] ページ	105
[ダイレクト リンク パラメータ] - [Cl タイプ セレクタ] ページ	106
[ダイレクト リンク パラメータ] - [CII グリッド]ページ	107
[ダイレクト リンク パラメータ] - [影響マップ]ページ	107
[ダイレクト リンク パラメータ]-[モデル エディタ]	109
[ダイレクト リンク パラメータ]-[クエリ エディタ]	110
[ダイレクト リンク パラメータ] – [関連 CI]ページ	110
[ダイレクト リンク パラメータ] - [レポート ビューア] ページ	111
[ダイレクト リンク パラメータ] - [レポート ビューア] - [保存済みレポ	_
ト] ページ	112
[ダイレクト リンク パラメータ] - [Cl プロパティを表示] ページ	112
[ダイレクト リンク パラメータ] - [ビュー トポロジを表示]ページ	113
[ダイレクト リンク パラメータ] ページ - [ビュー エディタ]ページ	114
[ダイレクト リンク パラメータ] - [ビュー セレクタ] ページ	114
[ダイレクト リンク パラメータ] - [ビューを表示]ページ	115
[ダイレクト リンク パラメータ] - [モードで開始] ページ	116
[完了] ページ	117
第4章: ダイレクト・リンクを使用した UCMDB アプレットの埋め込み	118
ダイレクト・リンク機能を使用した UCMDB アプレットの埋め込み	118
UCMDB アプレット・タグ - 概要	119

ダイレクト・リンク操作フロー	
第5章: Cl セレクタでの作業	
CI セレクタの概要	125
ブラウザ・モードでのビューの表示方法	125
検索モードでの Cl の検索方法	
CI セレクタ表示オプションの修正方法	
Cl の選択のユーザ・インタフェース	128
[CI 条件検索] ダイアログ・ボックス	
CI セレクタ	130
[検索を整理] ダイアログ・ボックス	139
[ソフトウェア検索を実行] ダイアログ・ボックス	140
[検索基準を保存] ダイアログ・ボックス	140
トラブルシューティングおよび制限事項 – Cl の選択	
第6章: トポロジ・マップの作業	142
トポロジ・マップの概要	142
大きなビューの処理	
トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス	143
画像にマップをエクスポート	143
レイアウト・プロパティ・ダイアログ・ボックス	144
メイン・メニュー	157
[印刷] ダイアログ・ボックス	
[印刷プレビュー] ダイアログ・ボックス	
[印刷設定] ダイアログ・ボックス	159
ツールバー・オプション	160
[トポロジ マップ] サイドバー	
ナブリック	177
II ユニハース・マネージャでの作業	
ツリー傾垣を表示	
しての作業	
関係での作業	
アフリケーション・ティスカバリのステータスをチェックする万法(ビュー)	の冉検出)186
影響分析結果の取得万法 - シナリオ	
ヒューのスナップショットを取る万法	
トホロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法	194
IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース	
[CI をモデルに追加] ダイアログ・ボックス	195
[Cl をビューに追加] ダイアログ・ボックス	

[時間枠の変更] ダイアログ・ボックス	
[CI / 関係の履歴] ダイアログ・ボックス	
[構成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックス	
[サブ レポートの生成] ダイアログ・ボックス	204
[CMDB からの関連 Cl の取得] ダイアログ・ボックス	204
[関係の挿入] ダイアログ・ボックス	205
[関係] ページ	206
[IT ユニバース マネージャ] ページ	
[新規 Cl / 新規関連 Cl] ダイアログ・ボックス	219
[関係] ダイアログ・ボックス	
[最近のディスカバリ元] ダイアログ・ボックス	224
[影響分析を実行] ダイアログ・ボックス	225
[スナップショットを保存する] ダイアログ・ボックス	227
[ディスカバリのステータスと変更の表示] ダイアログ・ボックス	228
[影響を表示] 表示枠	229
第8章: モデリング・スタジオ	231
モデリング・スタジオ概要	231
ビュー形式	232
ビジネス・ビューの構築	232
テンプレートとパースペクティブ	235
定義済みのフォルダとビュー	236
テンプレート・ベース・ビューの作成	
ビジネス CI モデル	238
パースペクティブ・ベース・ビューの作成	240
隣接検索 CI とウォッチポイント	242
パターン・ビューの作成方法	246
テンプレートの作成方法	247
パースペクティブの作成方法	249
動的ウィジェットの作成方法	250
テンプレート・ベース・ビューの作成方法	252
複数のテンプレート・ベース・ビューの作成方法	253
レポート設定の定義方法	255
インスタンス・ベース・モデルの作成方法	256
新規パターン・ベース・モデルの作成方法	
モデルに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法	258
Cl のコレクションに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法	259
モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース	259
[関数の追加/編集] ダイアログ・ボックス	
[ノード要素タイプの変更] ダイアログ・ボックス	
[選択した項目に対する操作の選択] ダイアログ・ボックス	
[関連 CI の条件] ダイアログ・ボックス	
[隣接検索パスの作成/編集/保存] ダイアログ・ボックス	265

[新規ビューの作成] ダイアログ・ボックス	. 266
[サイクル定義] ダイアログ・ボックス	267
[非表示 Cl] ダイアログ・ボックス	.268
[階層ルール] ダイアログ・ボックス	. 268
左側の表示枠	.269
[Cl ウォッチポイントの管理] ダイアログ・ボックス	.275
モデル・エディタ	276
[モデリング スタジオ] ページ	. 283
[選択済みの Cl を含むモデル] ダイアログ・ボックス	. 284
[新規モデル] ダイアログ・ボックス	. 285
[新規パターン ビュー] / [新規テンプレート] / [新規パースペクティブ] ダイア	
ログ・ボックス	. 286
[新規ウォッチポイント] ダイアログ・ボックス	. 287
[隣接検索パスを開く] ダイアログ・ボックス	.288
[パターン ベース モデル スケジューラ] ダイアログ・ボックス	.289
[パターン ベース モデル] ウィザード	.290
[CI タイプの選択] ページ	. 290
[クエリの選択] ページ	.291
パターン・ビュー・エディタ	.292
パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタ	.298
[クエリ ノードのグループ化] ダイアログ・ボックス	. 304
[クエリ/ビュー定義プロパティ] ダイアログ・ボックス	. 305
[CIを隣接検索] ダイアログ・ボックス	.308
[クエリを保存] ダイアログ・ボックス	309
[ビュー/テンプレート/パースペクティブを保存] ダイアログ・ボックス	. 310
[統合ポイントの選択] ダイアログ・ボックス	.311
[カラム コンテンツの並べ替え] ダイアログ・ボックス	.312
[テンプレート ベース ビュー] ウィザード	.313
[テンプレートの選択] ページ	. 314
[パラメータ値をインポート] ページ	. 315
[パラメータを入力] ページ	.315
[ビューの場所を選択] ページ	. 316
[サマリ] ページ	.317
[ビューを保存] ページ	.317
[テンプレート パラメータ値]ダイアログ・ボックス	. 318
TQL クエリ・エディタ	.318
[選択した Cl を含むビュー] ダイアログ・ボックス	.323
[ウォッチポイントの更新] ダイアログ・ボックス	324
[<クエリ / テンプレート / パースペクティブ名> の依存関係]ダイアログ・ボック	
ス	.325
第9章: レポート	.327
トポロジ・レポートの概要	. 327

カスタム・レポートの概要	328
トポロジ・レポートの表示方法	328
カスタム・レポートの生成方法	329
CI を比較する方法	
スナップショットを比較する方法	331
ハーパーリンクを有効化する方法とアイコンの表示方法	332
Cron 式	332
レポートのユーザー・インタフェース	
エージェント・ステータス・レポート	
アプリケーション・ブレークダウン・レポート	337
アプリケーション・ライセンス・レポート	339
アセット・レポート	341
監査レポート	342
変更済みアプリケーション・レポート	
変更されたビューのレポート	348
Cl 変更レポート	350
CMDB 使用率レポート	
アーカイブ・レポートを比較	355
CI 比較レポート	359
スナップショット比較レポート	364
Configuration Manager ポリシー・レポート	368
データベース・ブレークダウン・レポート	370
削除候補レポート	
依存関係レポート	
ディスカバリ・エラー・レポート	375
汎用ブレークダウン・レポート	377
ゴールド・マスタ・レポート	
ハードウェア・コンポーネント・サマリ・レポート	
影響分析レポート	
[ジョブ リスト]ダイアログ・ボックス	
ライセンスがある 0SI のレポート	
移行の進行状況レポート	
ネットワーク・デバイス・ブレークダウン・レポート	
ノード 0S のブレークダウン・レポート	
ノード・サマリ・レポート	
VLAN によるノード・サマリ・レポート	
変更数	
認識されたアプリケーション・レポート	
[レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックス	401
[レポート] ページ	402
ルールベース・サポート・レポート	407
スキャン・ファイル・ステータス・レポート	407

スキャナ実行詳細レポート	
[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]	
Service Discovery エラー・レポート	415
ソフトウェア使用率レポート	417
Solaris ゾーン・レポート	419
トポロジ・レポート	
ビュー変更レポート	421
VMware ホスト・レポート	
VMware 仮想センター・レポート	
ゾーンベースのディスカバリ・エラー・レポート	
ツールバー・オプションのレポート	427
英語以外のロケールでのレポート - 注意事項および制限事項	431
第10章: 影響分析マネージャ	432
影響分析マネージャの概要	
影響ルールの定義方法 - ワークフロー	433
影響分析マネージャのユーザ・インタフェース	435
[詳細] ダイアログ・ボックス	
[影響分析マネージャ] ページ	
[影響を受けるクエリ ノード] ダイアログ・ボックス	
[影響ルール定義] ダイアログ・ボックス	
新規影響ルール / 影響ルールのプロパティ / 影響ルールとして保存ウィザー	-ド445
し影響ルールの一般属性」ページ	
L影響ルールの一般属性」ページ [影響ルール ベース クエリ] ページ	
[影響ルールの一般属性] ページ [影響ルール ベース クエリ] ページ [影響ルール グループ] ページ	
[影響ルールの一般属性] ページ [影響ルール ベース クエリ] ページ [影響ルール グループ] ページ 第11章: CI タイプ・マネージャ	
[影響ルールの一般属性] ページ [影響ルール ベース クエリ] ページ [影響ルール グループ] ページ 第11章: CI タイプ・マネージャ CI タイプの概要	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性] ページ</li> <li>[影響ルール ベース クエリ] ページ</li> <li>[影響ルール グループ] ページ</li> <li>第11章: CI タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの概要</li> <li>CI タイプ属性</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性] ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ] ページ</li> <li>[影響ルールグループ] ページ</li> <li>第11章: CI タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの概要</li> <li>CI タイプ属性</li> <li>CI タイプの関係</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性] ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ] ページ</li> <li>[影響ルールグループ] ページ</li> <li>第11章: Cl タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの概要</li> <li>Cl タイプ属性</li> <li>Cl タイプの関係</li> <li>廃止 Cl タイプ</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性] ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ] ページ</li> <li>[影響ルールグループ] ページ</li> <li>第11章: CI タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの概要</li> <li>CI タイプ属性</li> <li>CI タイプの関係</li> <li>廃止 CI タイプ・マネージャ</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性] ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ] ページ</li> <li>[影響ルールグループ] ページ</li> <li>第11章: Cl タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの概要</li> <li>Cl タイプ属性</li> <li>Cl タイプの関係</li> <li>廃止 Cl タイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの作成方法</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性]ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ]ページ</li> <li>[影響ルールグループ]ページ</li> <li>第11章: CI タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの概要</li> <li>CI タイプ属性</li> <li>CI タイプの関係</li> <li>廃止 CI タイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性]ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ]ページ</li> <li>[影響ルールグループ]ページ</li> <li>第11章: Clタイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの関係</li> <li>廃止 Clタイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>計算された関係タイプの作成方法</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性]ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ]ページ</li> <li>[影響ルールグループ]ページ</li> <li>第11章: Cl タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの概要</li> <li>Cl タイプの概要</li> <li>Cl タイプの関係</li> <li>廃止 Cl タイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>計算された関係タイプの作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性]ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ]ページ</li> <li>[影響ルールグループ]ページ</li> <li>第11章: Clタイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの関係</li> <li>廃止 Clタイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>計算された関係タイプの作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>アークフロー</li> </ul>	
<ul> <li>【影響ルールの一般属性】ページ</li> <li>【影響ルールベースクエリ】ページ</li> <li>【影響ルールグループ】ページ</li> <li>第11章: Clタイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの関係</li> <li>廃止 Clタイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>計算された関係タイプの作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>列挙定義の作成方法</li> <li>ワークフロー</li> <li>Clタイプと関係の説明を表示</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性]ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ]ページ</li> <li>[影響ルールグループ]ページ</li> <li>第11章: CI タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの概要</li> <li>CI タイプの概要</li> <li>CI タイプの関係</li> <li>廃止 CI タイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>CI タイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>計算された関係タイプの作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>列挙定義の作成方法</li> <li>CI タイプ・マネージャのユーザ・インタフェース</li> </ul>	
<ul> <li>【影響ルールの一般属性】ページ</li> <li>【影響ルールベースクエリ】ページ</li> <li>【影響ルールグループ】ページ</li> <li>第11章: (lタイプ・マネージャ</li> <li>(lタイプの概要</li> <li>(lタイプの概要</li> <li>(lタイプの関係</li> <li>廃止 (lタイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>(lタイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>財業ンストと列挙定義の作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>列挙定義の作成方法</li> <li>(lタイプ・マネージャのユーザ・インタフェース</li> <li>(属性の追加/編集】ダイアログ・ボックス</li> </ul>	
<ul> <li>【影響ルールの一般属性】ページ</li> <li>【影響ルールベースクエリ】ページ</li> <li>【影響ルールグループ】ページ</li> <li>第11章: Clタイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの概要</li> <li>Clタイプの関係</li> <li>廃止 Clタイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Clタイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>計算された関係タイプの作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>列挙定義の作成方法</li> <li>ワークフロー</li> <li>Clタイプと関係の説明を表示</li> <li>Clタイプ・マネージャのユーザ・インタフェース</li> <li>[属性の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス</li> </ul>	
<ul> <li>[影響ルールの一般属性]ページ</li> <li>[影響ルールベースクエリ]ページ</li> <li>[影響ルールグループ]ページ</li> <li>第11章: (lタイプ・マネージャ</li> <li>(lタイプの概要</li> <li>(lタイプの概要</li> <li>(lタイプの関係</li> <li>廃止 (lタイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>(lタイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>財算された関係タイプの作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>列挙定義の作成方法</li> <li>ワークフロー</li> <li>(lタイプ・マネージャのユーザ・インタフェース</li> <li>[属性の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス</li> <li>(lタイプ・マネージャ・ページ</li> </ul>	
<ul> <li>【影響ルールベースクエリ】ページ</li> <li>【影響ルールベースクエリ】ページ</li> <li>【影響ルールグループ】ページ</li> <li>第11章: Cl タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの概要</li> <li>Cl タイプの概要</li> <li>Cl タイプの関係</li> <li>廃止 Cl タイプ</li> <li>システム・タイプ・マネージャ</li> <li>Cl タイプの作成方法</li> <li>関係タイプの作成方法</li> <li>財業定義の作成方法</li> <li>リストと列挙定義の作成方法</li> <li>列挙定義の作成方法</li> <li>Cl タイプ・マネージャのユーザ・インタフェース</li> <li>【属性の追加 / 編集】ダイアログ・ボックス</li> <li>[【関係の追加 / 削除】ダイアログ・ボックス</li> <li>Cl タイプ・マネージャページ</li> <li>構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成</li> </ul>	

[属性] ページ	470
[修飾子] ページ4	474
[トリプレット] ページ4	475
[アイコン] ページ	477
[アタッチメニュー] ページ4	478
[標準設定ラベル] ページ4	480
[一致ルール] ページ	482
[リスト / 一覧定義の作成 / 更新] ダイアログ・ボックス	483
[選択した CIT を Excel ヘエクスポート] ダイアログ・ボックス4	485
[PDF への選択した CIT のエクスポート] ダイアログ・ボックス4	487
[システム タイプ マネージャ] ダイアログ・ボックス4	488
第12章: エンリッチメント・マネージャ4	489
エンリッチメント・マネージャの概要4	489
エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ4	491
エンリッチメント・クエリ・ノードと関係をエンリッチメント TQL クエリに追加する	
方法	495
新規テナント関連付けルールの定義方法	496
エンリッチメント・マネージャのユーザ・インタフェース	497
[エンリッチメント マネージャ] ページ4	497
新規エンリッチメント・ルール / エンリッチメント・ルールのプロパティ / エン	
リッチメント・ルールとして保存ウィザード5	506
[ルールー般属性] ページ5	507
[ルールベースクエリ]ページ	509
新規テナント関連付けルール / テナント関連付けルールのプロパティ / テナント関	
連付けルールとして保存ウィザード	510
[ルールー般属性] ページ	511
[ルールベースクエリ]ページ	513
[クエリノード/関係の定義] ダイアログ・ボックス	514
[クエリノード定義] - [詳細な属性] タイアロク・ホックス	516
[m有者テナントを更新] タイアロク・ホックス	518
L所有者テナントを更新」タイアロク・ホックス5	519
HP Universal CMDB データ・モデル	20
第13章: UCMDB データ・モデルの紹介	521
ユニバーサル・データ・モデル(UDM)の概要	521
第14章: UML ツールへの UCMDB データ・モデルのエクスポート	522
UML へのエクスポート・ツール - 概要	522
クラス・モデルのエクスポート方法	522
クラス・モデルの選択部分の XML を変換する方法	523
IIMI へのエクスポート・ツールのコーザ・インタフェース	524
$\mathbf{O} = \mathbf{O} = $	724
UML へのクラス・モデルのエクスポート・ウィザード	524

選択した項目のエクスポート	
ツール・プラグイン入力	
参照情報	528
第15章: テーブルでの作業	
カラムのインタフェース	
[カラムの選択] ダイアログ・ボックス	
[カラム コンテンツの並べ替え]ダイアログ・ボックス	530
第16章: 正規表現の例	532
正規表現の例	
ドキュメントに関するフィードバックの送信	533

# HP Universal CMDB の概要

# 第1章:トポロジ・クエリ言語 (TQL)

本章の内容

•	トポロジ・クエリ言語 (TQL) の概要	14
•	UCMDB マネージャでの TQL クエリの作成	15
•	TQL クエリ結果の表示	. 16
•	複合関係	17
•	結合関係	18
•	クエリ・ノード条件	18
•	複合タイプ条件	20
•	サブグラフ定義	21
•	更新値ポリシーを使用修飾子	22
•	TQL クエリの定義方法	. 23
•	TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法	24
•	複合関係の定義方法 - シナリオ	25
•	結合関係の定義方法 - シナリオ	28
•	属性条件の定義方法 - シナリオ	29
•	複合タイプ条件の定義方法 - シナリオ	30
•	サブグラフの定義を作成する方法 - シナリオ	30
•	ショートカット・メニュー・オプション	32
•	属性演算子の定義	37
•	TQL ログ	39
•	トポロジ・クエリ言語のユーザ・インタフェース	42
•	トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語	88

# トポロジ・クエリ言語 (TQL) の概要

トポロジ・クエリ言語(TQL)は、IT インフラストラクチャ・データを検出,編成,管理するための 言語およびツールです。CMDB からビジネス・サービス・データを取得する TQL クエリを作成できま す。TQL クエリでは,データの監視と管理を容易にするビジュアル表示でデータを表示できます。

本項の内容

- 「トポロジ・クエリ言語 (TQL)」(15ページ)
- 「TQL の役割」(15ページ)

トポロジ・クエリ言語 (TQL)

TQL では、次の2つの重要な機能を追加することによって標準の SQL 言語を拡張します。

- TQLを使うことで、実際の相互依存関係を表す構成アイテム(CI)間の概念上の関係を描くことができます。定義済みの演算子を使って、CI間に存在するさまざまな相互接続(関係)を確立し、その結果、インフラストラクチャの設計とパフォーマンスをより正確に表現できます。この表現は、複雑なインフラストラクチャのディスカバリ、配置、クエリ、および管理の基礎となりモデルとなります。
- TQLには、リソースおよびそれらの相互接続を表す視覚的な記号や構文で構成されたグラフィカル な側面があります。このITインフラストラクチャの視覚化により、ITビジネス・オペレーション の理解、監視、および管理が簡易化されます。

TQLの役割

TQLには、次に示すようにいくつかの役割があります。

- ビジネス・サービスとしてともに機能する IT アセット間の相互接続を定義,説明するビジネス・ サービス・モデルを構築します。ビジネス・サービス・モデルにより,増え続けるインフラスト ラクチャ・リソースの数と複雑さにも関わらず,ビジネス・サービスのディスカバリと識別が容 易になります。ビジネス・サービスを構成するリソースが検出されると,ビジネス・サービス・ モデルは,CMDB で整理や管理を行う方法を構成します。
- 常に CMDB を検索し,管理されたリソースの状態で発生する変更を検出します。このような変更 が検出された場合には,関連するサブシステムに通知されて更新されます。
- CMDB からのビジネス・サービス・データを取得するクエリを作成し、データ監視と管理を容易に するビジュアル表示でデータを表示します。

### UCMDB マネージャでの TQL クエリの作成

次のマネージャでは, CMDB から特定のデータを取得する TQL クエリを作成し, そのデータを表示で きます。

- 影響分析マネージャ:影響ルールでインフラストラクチャの変更がシステムにどのような影響を与えるかをシミュレートし、問題の真の原因とそれによるビジネスへの影響を究明できます。ルールの作成時にベースのTQLクエリ・タイプを定義しますが、これは新規クエリ、既存クエリのどちらでも可能です。詳細については、「影響分析マネージャ」(432ページ)を参照してください。
- エンリッチメント・マネージャ:エンリッチメント・ルールを使用すると、CMDBを拡大し、CMDB からCIインスタンスを削除し、またはCMDBにすでに存在しているCIの属性を更新できます。 ルールの作成時にベースのTQLクエリ・タイプを定義しますが、これは新規クエリ、既存クエリ のどちらでも可能です。詳細については、「エンリッチメント・マネージャ」(489ページ)を参照 してください。
- モデリング・スタジオ: TQL クエリ・エディタを使用して新しい TQL クエリを作成するか、パターン・ビュー・エディタを使用して新規ビュー、テンプレート、パースペクティブの定義時に新しいクエリを作成できます。また、パターン・ビュー・エディタでは各ビューのトポロジ・レポー

ト設定も定義できます。詳細については, 「モデリング・スタジオ」(231ページ)を参照してくだ さい。

### TQLクエリ結果の表示

結果データを、IT ユニバース・マネージャでビジュアル表示します。結果として得られるトポロジ・マップの構造は、クエリにより定義されます。ビューには、クエリ定義に適合する CI と関係だけが 表示されます。ツールバーで [プレビュー] 🔍 ボタンをクリックして、クエリの結果を表示し、IT ユニバース・マネージャと同じプレビュー表示を開くことができます。IT ユニバース・マネージャの 詳細については、「IT ユニバース・マネージャ」(173ページ)を参照してください。

TQLクエリ・タイプと優先度

TQL クエリを定義する場合, [クエリ定義プロパティ]ダイアログ・ボックスの [タイプ] フィール ドで TQL クエリのタイプを定義します。利用可能なクエリ・タイプは次のとおりです。

- ・ ビュー:パターン・ビューのベースとして使用される TQL クエリ。
- 統合:インテグレーションに使用される TQL クエリ。
- ・ ディスカバリ: DFM パターンのベースとして使用される TQL クエリ。
- ・ テンプレート: テンプレートのベースとして使用される TQL クエリ。
- ・パースペクティブ:パースペクティブのベースとして使用される TQL クエリ。
- 影響分析:影響ルールのベースとして使用される TQL クエリ。これは、影響分析マネージャで作成されるクエリの標準設定タイプです。
- エンリッチメント:エンリッチメント・ルールのベースとして使用される TQL クエリ。これは、 エンリッチメント・マネージャで作成されるクエリの標準設定タイプです。

依存関係(表示,テンプレートなど)がある場合,既存のTQLクエリのタイプは変更できません。

インテグレーションを通じてインポートされたクエリにタイプが割り当てられていない場合,そのク エリは非表示とみなされ,モデリング・スタジオのクエリ・リストには表示されません。クエリ・リ ストで非表示のクエリを表示するには, [ユーザ プリファレンス]ダイアログ・ボックスの [全 般]にある,非表示クエリの設定を変更します。詳細については,「[ユーザ プリファレンス]ダ イアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。

TQL クエリの優先度も設定できます。この優先度によって、クエリが更新された情報を取り込んで自動的に再実行される頻度が決まります。利用可能な優先度は次のとおりです。

- 低: TQL クエリは 2 分ごとに更新されます。
- 中間: TQL クエリは 30 秒ごとに更新されます。
- 高: TQL クエリは 10 秒ごとに更新されます。
- 至急: TQL クエリは常時更新されます。

• 非アクティブ: TQL クエリは非アクティブになります。

注: 上記の更新時間は平均値です。

TQL クエリの優先度を [**非アクティブ**] に設定するとクエリは非アクティブになり, 自動的には実行 されませんが, 手動でビューを作成する場合には使用できます。

ベース・クエリ

[クエリ定義のプロパティ]ダイアログ・ボックスで、TQLクエリのベース・クエリを選択できます。この場合、ベース・クエリはまずITユニバース全体に適用され、結果を生成します。その後、新しいクエリはユニバースのサブセットに適用され、結果の精度をさらに高めます。ベース・クエリを選択すると、クエリ結果のフィルタリングの精度を高め、一部の事例では結果を迅速に生成できるようになります。

選択するベース・クエリは、アクティブ化する新しいクエリに対し、アクティブかつ持続的でなけれ ばなりません。ベース・クエリが非アクティブで持続的である場合、新しいクエリには [**非アクティ** ブ] のプライオリティが自動的に割り当てられます。

TQLクエリ・スレッド・プール

各 TQL クエリはスレッド・プールからの個別スレッドで計算されます。計算中の TQL クエリが多く ある場合は、プール・サイズを拡大してパフォーマンスを改善することができます。 [インフラスト ラクチャ設定マネージャ] で [**TQL スレッド プール サイズ**] 設定を編集します。プールのサイズは 1 から 64 の間の整数にできます。値を入力しないと、プールのサイズは自動的にユーザあたりの CPU コア数に設定されます(数値が4より小さい場合は最小4スレッドに設定されます)。

### 複合関係

複合関係はトポロジ・グラフ内のパスを表します。複合関係を使うと、ソース CI とターゲット CI の間のパスに許可されているステップを定義できます。

各行は,トポロジ・マップ内でソース CI からターゲット CI に至るパスの許可されている手順の1つ を表します。

ソース	関係	ターゲッ
堲 lpSubnet	Membership	Node
Node	Containment	IpAddress

複合定義の例については,「複合関係の定義方法 - シナリオ」(25ページ)を参照してください。複合 関係の定義の詳細については,「[複合関係の追加 / 編集]ダイアログ・ボックス」(45ページ)を参 照してください。

結合関係

結合関係とは2つのCI間の関係を表す論理的接続です(結合関係は,TQLクエリ結果を含むトポロ ジ・マップにのみ表示されます)。CMDBには存在しません。結合関係を作成するには,値を比較に 使用する各クエリ・ノードの属性を定義します。

TQL 結果により,属性値が結合定義に定義されている条件を満たしている CI のすべてが取得されます。

たとえば,**作成者**属性値が等しい IP アドレス CI に接続されているすべてのノード CI をリンクする結合定義を作成できます(次の例を参照してください)。

Node	演算子	IpAddress
Created By	等価	Created By

各結合定義は、結合関係に定義されている条件の1つを表しています。

注:複数の条件を定義できます。

結合定義の例については,「結合関係の定義方法 - シナリオ」(28ページ)を参照してください。結合 関係を定義する方法の詳細については,「[結合関係の追加/編集]ダイアログ・ボックス」(48ペー ジ)を参照してください。

### クエリ・ノード条件

[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスで TQL クエリのクエリ・ノードと関係に条件 を追加できます。この条件は、クエリで定義した条件に一致する CI と関係のみを取得することで、 クエリ結果をフィルタリングします。定義可能な条件にはいくつかのタイプがあります。

- 属性: CI プロパティ値に基づく条件。
- ・ カーディナリティ: 関連するクエリ・ノードの数に基づく条件。
- 修飾子: CI タイプ修飾子に基づく条件。
- 要素タイプ: CI サブタイプに基づく条件。詳細については、下記を参照してください。
- 識別情報: CI 要素 ID に基づく条件。

それぞれは,ダイアログ・ボックスで別々のタブを持ちます。詳細については,「[クエリ・ノード /関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。

属性名 **CI タイプ**を使用して属性条件を定義すると、クエリを保存するときに、条件は複合タイプ条件に変換されます。この条件は [属性] タブから除去され、 [要素タイプ] タブに表示されます。エンリッチメントと影響タイプのクエリの場合は、この条件はエンリッチメント・マネージャまたは影響分析マネージャの [属性] タブから消えるので、モデリング・スタジオでクエリを開いて、 [要素タイプ] タブでそれを編集する必要があります。

**注:** 選択したデータでサポートされていない属性条件を定義すると,その条件は TQL クエリ計算 時に無視されます。

要素タイプ条件

要素タイプ条件を使用すると、クエリ結果に表示するクエリ・ノードのサブタイプを指定できるよう になります。この条件を定義するオプションには、次の2つがあります。

- Simple タイプ条件 simple タイプ条件を使用すると、クエリ結果の選択したクエリ・ノードのすべてのサブタイプを含めるか、そのすべてを除外できます。
- complex タイプ条件 complex タイプ条件を使用すると、クエリ結果に含めるクエリ・ノードの特定のサブタイプを選択できます。詳細については、「複合タイプ条件」(20ページ)を参照してください。

要素レイアウト

[クエリノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスの [要素レイアウト]タブの TQL クエリで,各 クエリ・ノードまたは関係のクエリ結果に含める属性を指定できます。[レイアウトの属性を選択] ラジオ・ボタンを選択し,[CI タイプ]表示枠で CIT または関係を選択します。属性条件に [特定の属 性]を選択した場合,[特定の属性]表示枠に移動する属性のみが,その要素のクエリ結果に含めら れます。属性条件に [すべて]を選択した場合,利用可能なすべての属性は,その要素のクエリ結果 に含められます。この場合,[特定の属性を除外する]を選択し,選択した属性を [除外属性]表示 枠に移動できます。

修飾子別に属性を選択するオプションもあります。[Attributes with the following qualifiers]フィー ルドで修飾子を選択した場合,[特定の属性]表示枠で選択した属性に加えて,選択した修飾子を持 つすべての属性が,その要素のクエリ結果に含められます。この場合も,属性を[除外属性]表示枠 に移動することで,選択した属性を除外できます。

デフォルトでは、CIT に選択する属性設定は、クエリ結果で自動的にその子孫 CIT に適用されます が、ダイアログ・ボックスの [要素レイアウト] タブにはこの設定は表示されません。たとえば、特 定の属性を [Database] CIT に含めるよう選択した場合、同じ属性が [Oracle] CIT ( [Database] の 子 CIT) に含められますが、 [CIT] 表示枠で [Oracle] を選択した場合、表示される属性条件は [な し] になります (デフォルトの条件)。

こうして子 CIT 自身にも属性条件を選択できるようになります。親 CIT の属性条件に [すべて] が選 択されている場合,子 CIT の [特定の属性] オプションは無効になります。親 CIT の属性条件に [特 定の属性] が選択されている場合,子 CIT には [すべて] または [特定の属性] を選択できます。[特 定の属性] を選択した場合,属性を [特定の属性] 表示枠に移動することで,さらに多くの属性を追 加できます。これらは,親 CIT の設定から継承された属性とともに,クエリ結果に含められます。同 様に,属性を [除外属性] 表示枠に移動することで,子 CIT について除外する属性を,親 CIT の設定 から選択できます。属性を選択するための修飾子が親 CIT にある場合,これらも子 CIT に継承されま す。子 CIT の属性選択をフィルタリングするため、さらに修飾子を選択する場合,選択した修飾子の 結合セットは,子 CIT の属性選択をフィルタリングするために使用されます。

[クエリノード/関係タイプの変更]ダイアログ・ボックスを使用して、クエリ・ノードまたは関係のタイプを変更する場合には、その要素の属性選択は失われます。

選択したクエリ・ノードに対して無効な属性選択を伴うクエリを含むパッケージをインポートした場合,またはJMX コンソールを使用して無効な属性選択を行った場合,クエリは正常に保存され,ロ グに警告が表示されます。

**注:** レイアウト選択は、ユーザ・インターフェイスのクエリ結果には表示されません。選択した 属性のクエリ結果を表示するには、JMX コンソールにアクセスして、**TQL サービス**を選択し、 calculateTqlAdHocメソッドを起動します。

[要素レイアウト] タブの詳細については, 「[要素レイアウト] タブ」(78ページ)を参照してくだ さい。

## 複合タイプ条件

複合タイプ条件を使用すると、クエリ結果に含めるクエリ・ノードの特定のサブタイプを選択できま す。CIタイプ・ツリーは、選択したクエリ・ノードのすべてのサブタイプとともに表示されます。デ フォルトでは、表示されたすべてのサブタイプのインスタンスは、クエリ結果に含まれます。各サブ タイプについて、クエリ結果から該当するサブタイプのインスタンスを除外する[クエリから<サブ タイプ>を除外する]を選択できます。[この条件を再帰的にすべてのサブタイプに適用]チェック ボックスをオンにすると、サブタイプのインスタンスと、そのすべての子孫が結果から除外されま す。

ツリーからサブタイプを選択し, [**この条件を再帰的にすべてのサブタイプに適用**]チェック・ボッ クスをオフにしたまま, [**クエリに<サブタイプ>を含める**]をオンにした場合,指定されたサブタイ プのインスタンスのみが含められ, その子孫のインスタンスは含まれません。

[含める] / [除外する] オプションについては, [条件] 表示枠でさらに選択する箇所がありま す。 [**CI タイプ別**] を選択した場合,指定したサブタイプのすべてのインスタンスが結果に含めら れ,または結果から除外されます。 [**修飾子別**] を選択し,ポップアップ・リストから修飾子を選択 した場合,選択した修飾子を持つ選択したサブタイプのインスタンスのみが,クエリ結果に含めら れ,またはクエリ結果から除外されます。

たとえば, CIT\_B と CIT\_C は, CIT\_A のサブタイプで, CIT\_A と CIT\_B は修飾子 Q1 を持ちます。可能 なオプション構成の一部を次に示します。

- CIT\_A とそのすべての子孫について,除外するを選択する。 CIT は含まれない。
- CIT\_A (その子孫を含まない)について,除外するを選択する。 CIT\_B と CIT\_C のみが含まれる。
- 修飾子 Q1 を持つ CIT\_A とそのすべての子孫について,除外するを選択する。CIT\_C のみが含まれる。

注:

除外オプションをツリーのルート(つまりオリジナルのクエリ・ノードのCIタイプ)に適用することもできます。
 [この条件を再帰的にすべてのサブタイプに適用]チェック・ボックスが選択されている場合,結果にCIは含まれません。チェック・ボックスがオフになっている場合,ルートCIタイプのインスタンスは除外されますが、子孫のインスタンス

は含められます。

- 要素タイプ条件機能は、モデリング・スタジオでのみ利用できます。モデリング・スタジオで複合タイプ条件を定義し、エンリッチメント・マネージャまたは影響分析マネージャで TQL クエリを修正した場合、条件は上書きされ、有効ではなくなります。複雑な条件が、単純条件と同じものである場合には、エンリッチメント・マネージャまたは影響分析マネージャの[修飾子] タブで TQL クエリを編集できます。
- クエリ・ノードの修飾子条件を、以前の UCMDB バージョンの機能を使用するよう定義する 場合には、[サブタイプをカスタマイズ]を選択し、[CI タイプ] ツリーでルート・クエ リ・ノードを選択します。そして [含める] オプションを選択し、[修飾子別]を選択 し、必要な修飾子を選択します。同様に、以前の UCMDB バージョンまたはエンリッチメン ト・マネージャまたは影響分析マネージャで定義した修飾子条件を持つ TQL クエリにアク セスする場合、[含める] および [修飾子別] オプションを使用し、条件は [要素タイ プ] タブの [サブタイプをカスタマイズ] セクションに表示されます。
- (CIタイプ属性を使用して)複合タイプ条件と同じ結果を生成する属性条件を定義することも可能なことがあります。しかし、複合タイプ条件のほうがパフォーマンスは優れています。これらの場合、UCMDBは、複合タイプ条件を、同等のシンプルな条件に置き換えることで、クエリ計算を自動的に最適化します。クエリがアクティブな場合、次回そのクエリを開いたときに、TQL 定義に複合条件が表示されます。

複合タイプ条件の定義の詳細については, 「複合タイプ条件の定義方法 - シナリオ」(30ページ)を参照してください。

### サブグラフ定義

サブグラフの定義を使うと、特定の CI に関連する追加の TQL クエリ・データを表すグラフを作成で きます。DFM ジョブにより、TQL クエリとサブグラフの定義の両方で結果が検索されます。クエリ は、サブグラフの定義に一致する、定義された深さのすべての関連 CI を再帰的に取得します。サブ グラフの定義の詳細については、「[サブグラフの定義]ダイアログ・ボックス」(86ページ)を参照 してください。

グラフでは、特定のクエリ・ノードに接続された関係を定義できます。たとえば、いずれかのクエ リ・ノードがノード・タイプである場合は、Windows、ルータ、およびIP アドレスに対して異なる関 係を指定できます。クエリ・ノードの属性条件も定義できます。詳細については、「[サブグラフ条 件の定義]ダイアログ・ボックス」(84ページ)を参照してください。

DFM ジョブにより、サブグラフに定義された条件に一致するデータが取得されます。

サブグラフの定義の例については, 「サブグラフの定義を作成する方法 - シナリオ」(30ページ)を参照してください。

### 更新値ポリシーを使用修飾子

この修飾子は,値のわずかな差異を許容する属性をマークするために使用します。たとえば,わずか なディスク・サイズの変更(8.00008 GB から 8.00009 GB への変更)はレポートする必要がない場合 があります。

この修飾子が付けられている属性を更新する場合には、HP Universal CMDBが新しい値を古い値と チェックします。このチェックはレコード更新の一部としてサーバ上で実行され、2つの値の差が許 容差異よりも小さい場合は、更新は実行されません(操作は偽の更新とみなされます)。

修飾子を選択すると、[**感度以下の値の偏り**]のパラメータが適用されます。ボックス内の値を入力し、[**割合**]または[絶対値]をドロップダウン・リストから選択します。

[**割合**]を選択した場合, [感度以下の値の偏り]が0から100の間でなければなりません。この値よりも小さい割合の偏りは偽のアップデートと見なされます。

[絶対値]を選択した場合、次のルールが適用されます。

- 数値属性の場合, [感度以下の値の偏り] は属性と同じタイプでなければならない
- データ属性の場合、[感度以下の値の偏り]は正数でありミリ秒単位で偏りを示すものでなけれ ばならない
- この値よりも小さい割合の偏りは偽のアップデートと見なされます。

標準設定では、[更新値ポリシーを使用]は次の数値属性または日付属性についてのみ有効です。

- CIT :Node
  - MemorySize
  - SwapMemorySize

これらの属性は比較可能修飾子および静的修飾子も含みます。

- CIT :CPU
  - CpuClockSpeed
- CIT :Filesystem
  - Disk\_size

#### 修飾子を無効にする:

インフラストラクチャ設定マネージャにアクセスします([**マネージャ**]>[**管理]**>[**インフラスト ラクチャ設定マネージャ])。[ボラティリティを許可]**オプションに移動します。値を False に変 更します。

### TQLクエリの定義方法

このタスクでは、モデリング・スタジオで TQL クエリを作成する方法について説明します。

**注:** TQL クエリは,影響ルール,エンリッチメント・ルール,ビュー,テンプレート,パースペクティブの作成時にも作成できます。

#### 本項の内容

- 「TQL クエリの作成」(23ページ)
- 「クエリへのクエリ・ノードと関係の追加」(23ページ)
- 「クエリ・プロパティの設定」(23ページ)
- 1. TQL クエリの作成

モデリング・スタジオで【新規作成】>【クエリ】を選択して, TQL クエリ・エディタを開きます。詳細については, 「TQL クエリ・エディタ」(318ページ)を参照してください。

2. クエリへのクエリ・ノードと関係の追加

クエリを定義する TQL クエリ・ノードと関係を追加します。TQL クエリ・ノードは CI タイプ・マネージャで定義される CIT を表します。関係はノード間の接続を表します。関係は,クエリ内の TQL クエリ・ノードのペアごとに,一度に1つずつ定義されます。詳細については,「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

注: クエリ・ノードからそのノード自身への自己関係も定義できます。

3. クエリ・プロパティの設定

[クエリ定義プロパティ] 「 ボタンをクリックして [クエリ定義プロパティ] ダイアログ・ ボックスを開きます。クエリ・タイプ,スコープ,優先度,およびその他のプロパティを設定 します。詳細については,「[クエリ/ビュー定義プロパティ] ダイアログ・ボックス」(305 ページ)を参照してください。

#### TQL クエリ定義の例を次に示します。

関係の方向は、クエリ・ノード間の依存関係を示します。次の例は、クライアントとサーバの関係によって相互にリンクされた2つのノード、1つのIPサービス・エンドポイント、1つのクライアント・ポートを示しています。TQLクエリ結果は、矢印の方向に適合する必要があります。



## TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加方 法

本項では,クエリ・ノードと関係をTQLクエリに追加する方法について説明します。これには影響分 析マネージャ,エンリッチメント・マネージャ,モデリング・スタジオが関係します。

**注:** TQL クエリを有効にするために, TQL クエリが特定の制限に従う必要があります。詳細については, 「トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。

#### クエリ・ノードと関係を TQL クエリに追加するには,次の手順を実行します。

- 影響分析マネージャまたはエンリッチメント・マネージャで左側の表示枠のツリーから必要な クエリを選択し、 [新規作成] ぶ ボタンをクリックして新しく作成します。
   モデリング・スタジオの左側の表示枠で [リソース] タブを選択し、クエリを [リソースタイ プ] として選択してツリーから必要なクエリを選択するか、 [新規作成] > [クェリ] をクリッ クして新しいクエリを作成します。
- 影響分析マネージャまたはエンリッチメント・マネージャでCIタイプ・セレクタに表示されているツリーから必要なTQLクエリ・ノードを1つ以上クリックして、編集表示枠にドラッグします。モデリング・スタジオの左側の表示枠で[CIタイプ]タブを選択し、必要なTQLクエリ・ノードをツリーから編集表示枠にドラッグします。これらのTQLクエリ・ノードがクエリに含まれます。

フェデレート CI のクエリも行うときは, [クエリ ノード] を右クリックして [統合ポイントの 設定] を選択します。 [統合ポイントの設定] ダイアログ・ボックスから [外部データで使用 する統合ポイント] を選択します。詳細については, 「[統合ポイントの選択] ダイアログ・ ボックス」 (311ページ)を参照してください。

- 3. 2 つのクエリ・ノードの間に関係を追加するには、次のいずれからの手順で行います。
  - CTRL キーを押しながら TQL クエリ・ノードをクリックして必要な TQL クエリ・ノードを選択し、右クリックして [関係の追加] を選択します。 [関係の追加] ダイアログ・ボックスが開きます。必要な関係を選択してください。詳細については、「[関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス」(50ページ)を参照してください。
  - [関係を作成] 「トマーンをクリックし、必要なクエリ・ノードの間に線を引きます。
     [関係のタイプを選択] ダイアログ・ボックスが開きます。必要な関係のタイプを選択してください。詳細については、「[関係のタイプを選択] ダイアログ・ボックス」(83ページ)を参照してください。
- 4. [**OK**] をクリックします。選択したクエリ・ノードが,選択した関係によってリンクされます。

### 複合関係の定義方法 - シナリオ

本項では, IP Subnet CI と IP Address CI の間に複合関係を形成する,許容される手順の定義方法について説明します。

注:必要な結果に到達するためには、次のそれぞれの手順を実行する必要があります。

IP Subnet CI と IP Address CI の間に複合関係を定義するには,次の手順を実行します。

- 1. タイプ・ビューの TQL クエリを作成し,編集表示枠に次のクエリ・ノードをドラッグします。
  - IP Subnet
  - IP アドレス
- 2. [IP サブネット] と [IP アドレス] のクエリ・ノードを右クリックし, [複合関係の追加] を 選択して [複合関係の追加] ダイアログ・ボックスを開きます。
- 3. [追加] 🛃 ボタンをクリックします。エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャで [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックスが開きます。モデリング・スタジオ内のテーブルに行が追加されます。次の選択を行います。
  - [ソース] リストで, [IP サブネット] を選択します。
  - [**ターゲット**] リストで, [Node] を選択します。
  - [**関係**] リストで, [membership] を選択します。

• 必要な関係の方向を選択します。

エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャで [**OK**] をクリックして変更内容 を保存します。

- 4. [追加] 🛃 ボタンをクリックし,次の選択を行います。
  - [ソース] リストで, [ノード] を選択します。
  - [ターゲット] リストで, [IP アドレス] を選択します。
  - [関係] リストで, [Containment] を選択します。
  - 必要な関係の方向を選択します。

エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャで [**OK**] をクリックして変更内容を保存します。

次の例は,変更後の複合定義を示しています。

ソース	関係	ターゲッ
🖾 lpSubnet	Membership	Node
Node Node	Containment	IpAddress

5. [OK]をクリックして、変更内容を保存します。

編集表示枠内の TQL クエリは,次のように表示されます。

Virtual - C	compound
lpAddress	lpSubnet

- 6. TQL クエリに基づいてビューを作成し,保存します。
- T ユニバース・マネージャで必要なビューに移動して結果を表示します。 [ソースおよびター ゲット CI の間にフル パスを表示] オプションを選択していない場合は、関係の実際の名前では なく、CI をリンクする関係の名前が Virtual-Compound として結果に表示されます。次の図を参 照してください。



IT ユニバース・マネージャから [Virtual - Compound] 関係をダブルクリックしてリンク・マッ プを開くと IP Subnet CI と IP アドレス CI をリンクできる手順を構成する CI と関係が表示されま す。



前述の例では, **192.168.168.0**(IP サブネット)CI は, **labm1ccm15**(ノード)CI を通じて **192.168.0.1**(IP アドレス)CI にリンクされています。

[**ソースおよびターゲット CI の間にフル パスを表示**]オプションを選択した場合, IT ユニバース・マネージャの結果には, CI をリンクする関係の実際の名前と, ソース CI とターゲット CI の間のフル・パスが表示されます。次の図を参照してください。



## 結合関係の定義方法 - シナリオ

本項では, 作成者属性値が等しいノード CI と IP アドレス CI をリンクする結合関係を定義する方法について説明します。

注:必要な結果に到達するためには、次のそれぞれの手順を実行する必要があります。

# 作成者属性値が等しい IP アドレス CI とノード CI をすべてリンクする結合関係を定義するには,次の手順を実行します。

- 1. TQL クエリを作成し,次のクエリ・ノードを CI タイプ・セレクタから編集表示枠にドラッグします。
  - Node
  - IP アドレス
- 2. [**ノード**] および [IP アドレス] クエリ・ノードを選択し,右クリックして [結合関係の追加] ダイアログ・ボックスを開きます。
- 3. [追加] 🎦 ボタンをクリックし,次の選択を行います。
  - [Node 属性] ボックスで [作成者] を選択します。
  - [演算子] ボックスで, [等しい] を選択します。

• [IpAddress 属性] ボックスで [作成者] を選択します。

エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャの[関係条件を結合]ダイアログ・ ボックスで,これらの選択を行います。

[定義の結合]領域は、次のように表示されます。

Node	演算子	IpAddress
Created By	等価	Created By

[OK] をクリックして、変更内容を保存します。
 編集表示枠内のTQLクエリは、次のように表示されます。



### 属性条件の定義方法 - シナリオ

このタスクでは、先週に作成または更新されたノード CI を選択するための属性条件を定義する方法 について説明します。

- モデリング・スタジオ、エンリッチメント・マネージャ、または影響分析マネージャで、ノード CI を含む TQL クエリ、ビュー、エンリッチメント・ルール、または影響分析ルールを開きます。
- 2. ノード CI を右クリックし, [**クエリ ノードのプロパティ**]を選択します。
- 3. [属性] タブの [クエリ ノードのプロパティ] ダイアログ・ボックスで, [追加] 🛃 ボタン をクリックして,条件を追加します。
- 4. [属性名]に、ドロップダウン・リストから [作成日時]を選択します。
- 5. [演算子] に、ドロップダウン・リストから [途中で変更 [時間]] を選択します。
- 6. [値] に [7] を入力します。
- 7. [OK]をクリックして、属性条件を保存します。

# 複合タイプ条件の定義方法 - シナリオ

本セクションでは[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスで複合タイプの条件を定義 する方法について説明します。この例では,TQL クエリでノード・クエリ・ノードにサブ・タイプを 追加します。

#### 複合タイプの条件の定義

- 1. TQL クエリを作成し, [ノード] タイプのクエリ・ノードを編集表示枠にドラッグします。
- クエリ・ノードを右クリックし、[クエリ ノードのプロパティ]を選択します。[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3. [要素タイプ] タブから [サブタイプをカスタマイズ] を選択します。
- CIタイプの表示枠から、[Computer]を選択し、[条件]表示枠から[クエリから<コンピュー タ>を除外する]を選択します。[この条件を<コンピュータ>のすべてのサブタイプに再帰的に 適用します]チェックボックスを選択します。クエリ結果からコンピュータ・タイプのすべてのCIとその子孫が除外されます。
- 5. CI タイプの表示枠から, [Unix] を選択し, [条件] 表示枠から [クエリに<Unix>を含める] を選択します。クエリ結果にすべての Unix CI が含まれます。
- CI タイプの表示枠から、[IBM Frame]を選択し、[条件]表示枠から[クエリに< IBM Frame>を含める]を選択します。続いて[修飾子別]から[CONTAINER]修飾子を選択しま す。クエリ結果にすべての IBM Frame Cls とコンテナ修飾子が含まれます。
- CI タイプの表示枠から、[Firewall]を選択し、[条件]表示枠から[クエリから<ファイヤー ウォール>を除外する]を選択します。[修飾子別]から [HIDDEN\_CLASS]と [MAJOR\_APP] 修飾子を選択します。クエリ結果から HIDDEN\_CLASS と MAJOR\_APP 修飾子のすべてのファイ ヤーウォール CI が除外されます。
- 8. [OK] をクリックして条件を保存し、ダイアログ・ボックスを閉じます。

# サブグラフの定義を作成する方法 - シナリオ

本項では,サブグラフの定義を作成する方法について説明します。この例では,TQLクエリの結果として,Containment 関係によりビジネス・サービス CIと接続される,深さ3までのすべての CI が取得されます。

注:必要な結果に到達するためには、次のそれぞれの手順を実行する必要があります。

#### このサンプルのサブグラフの定義を作成するには、次の手順を実行します。

- 1. TQL クエリを作成し, [ビジネス サービス] タイプのクエリ・ノードを編集表示枠にドラッグ します。
- 2. [ビジネス サービス] クエリ・ノードを右クリックし, [**サブグラフの定義**]を選択して [サ ブグラフの定義] ダイアログ・ボックスを開きます。

- 3. [追加] 🐨 ボタンをクリックします。エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャで [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックスが開きます。モデリング・スタジオ内のテーブルに行が追加されます。次の選択を行います。
  - [**ソース**] ドロップダウン・リストで, [管理対象オブジェクト] を選択します。
  - [**ターゲット**] ドロップダウン・リストで, [管理対象オブジェクト] を選択します。
  - [関係] ドロップダウン・リストで, [Containment] を選択します。
  - 関係の方向を左から右に設定します。

エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャで [**OK**] をクリックして変更内容 を保存します。

[サブグラフの定義] ダイアログ・ボックスが、次のように表示されます。

ソース	関係	ターゲット
iT Universe	😭 Container link	it Universe
iT Universe	😭 Contains	iT Universe
🔘 IT Universe	😭 Contained	🕥 IT Universe

- 4. [深さ]の設定を [3] に設定します。
- 5. [サブグラフの定義] ダイアログ・ボックスで [**OK**] をクリックします。 IT ユニバース・マネージャで必要なビューに移動して結果を表示します。



結果として,ビジネス・サービス Cl aaa と,Containment 関係によってそれに連続してリンクされる,レベル3までのすべての Cl が表示されます。

## ショートカット・メニュー・オプション

本項では、TQL クエリのショートカット・メニューのオプションのリストを紹介します。

UI 要素	詳細
計算関 係を追	計算された関係を作成できます。
bu bu	• 計算された関係を作成する方法の詳細については、「「トリノレット」ペーシ」(475 ページ)を参照してください。
	<ul> <li>影響モデリングの詳細については、「計算された関係の使用」(93ページ)を参照して ください。</li> </ul>
複合関	複合関係を使用して2つのクエリ・ノード間の接続を定義できます。

UI 要素	<b>言羊細</b>
係の追 加	詳細については, 「[複合関係の追加 / 編集]ダイアログ・ボックス」(45ページ)を参照 してください。
結合関 係の追 加	結合関係を定義できます。各クエリ・ノードの属性を定義して作成します。クエリ・ ノードの値は,連携するときの比較に使用されます。
	詳細については, 「[結合関係の追加/編集]ダイアログ・ボックス」(48ページ)を参照 してください。
[関 クノー の加 ウ ザ ード	[関連クエリノードの追加] ウィザードが表示されます。このウィザードでは TQL クエ リを作成できます。詳細については,「[関連クエリ ノードの追加]ウィザード」(52 ページ)を参照してください。
関係の 追加	定義済みリストから関係を選択することによって、クエリ・ノードの関係を作成できま す。[関係の追加]ダイアログ・ボックスが表示されます。 詳細については、「[関係の追加/編集]ダイアログ・ボックス」(50ページ)を参照して ください。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャでは, <b>エンリッチメント</b> ・モードで作業している 場合, このオプションを設定するとエンリッチメント関係がルールに追加されま す。通常のクエリ・ノードとエンリッチメント・クエリ・ノードに適用されます。 詳細については, 「エンリッチメント・マネージャ」(489ページ)を参照してくださ い。追加した関係は, 追加済み → インジケータで示されます。
階層に 追加	選択したクエリ・ノードを分離されたクエリ・ノードとして階層に追加します。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
モデル 出力に 追加	選択したクエリ・ノードをパターン・ベースのモデルの出力として指定します。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオ内のパターン・ベースのモデルにのみ関連します。
ノード 要オプ/ 関イプ イ変更	[ノード要素タイプの変更] ダイアログ・ボックスが表示されます。クエリ・ノードの 作成後にクエリ・ノードの CI タイプを変更できます。詳細については,「[ノード要素 タイプの変更] ダイアログ・ボックス」(262ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
クリア	利用するには,エンリッチメント・マネージャの <b>エンリッチメント</b> ・モードで作業して

UI 要素	詳細
	いるときに,クエリ・ノードまたは関係を右クリックします。クエリ・モード/関係のエ ンリッチ・ルールの定義をクリアします。詳細については,「エンリッチメント・マ ネージャ」(489ページ)を参照してください。
	エンリッチメント・ルールを使用してクエリ・ノードまたは関係を更新または削除した 場合にのみ表示されます。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャにのみ関連します。
コピー /貼り	既存の TQL クエリ・ノードまたは関係を同じクエリ内で,または別の TQL クエリにコ ピーまたは貼り付けします。
何け	コピーした TQL クエリ・ノードまたは関係には,TQL 定義がすべて含まれています。
	関係をコピー,貼り付けするには,関係の接続先である TQL クエリ・ノードも選択して いる必要があります。接続先の TQL クエリ・ノードがない単独の関係は,コピーできま せん。
	複数の TQL クエリ・ノードまたは関係を選択することもできます。
	<b>注: [コピー</b> ]と[貼り付け]オプションは,モデリング・スタジオでのみ使用でき ます。[貼り付け]オプションは,[コピー]オプションを使用して既存の TQL ク エリ・ノードまたは関係をコピーした後でのみ利用できます。
影響を 受ける ものを 定義	TQL クエリでトリガ影響分析クエリ・ノードになるクエリ・ノードと,システムで発生 する変更の影響を受けるクエリ・ノードを定義します。詳細については,「[影響を受 けるクエリ ノード]ダイアログ・ボックス」(443ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> 影響分析マネージャにのみ関連します。
削除	選択したクエリ・ノード,関係,または CI が削除されます。
	<b>注:</b> このオプションは,計算された関係には利用できません。
関係/ クエ リ・ ノード を削除	利用するには, <b>エンリッチメント</b> ・モードで作業しているときに, クエリ・ノードまた は関係を右クリックします。
	CI または関係を CMDB から削除するように設計された特定のエンリッチメント・ルール が作成されます。通常のクエリ・ノードと関係にのみ適用されます。たとえばこのオプ ションを使って CMDB から不要なデータを削除できます。詳細については, 「エンリッ チメント・マネージャ」(489ページ)を参照してください。
	削除したクエリ・ノードと関係には,削除済みを示す 🗖 インジケータで示されます。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャにのみ関連します。

UI 要素	詳細
関係を 編集	[関係タイプを詳細化] ダイアログ・ボックスが表示されます。詳細については, 「 [クエリ ノード タイプの再設定] ダイアログ・ボックス」(82ページ)を参照してくだ さい。
	注:
	<ul> <li>モデリング・スタジオには関連しません。</li> </ul>
	<ul> <li>このオブションは、選択した関係に子孫がある場合のみ表示されます。</li> </ul>
クエリ 結果で 要素 非表示	このオプションを選択すると,編集表示枠で選択した TQL クエリ・ノードの右に[ <b>クエ</b> <b>リ結果で非表示</b> ]のインジケータ <sup>®</sup> が表示されます。
	TQLクエリ・ノードに属するクエリ結果は、トポロジ・マップに表示されません。これ は、特定の関係やTQLクエリ・ノードがクエリの構築には必要であるが結果には必要で ないという場合に便利です。ビューを有効にするには、少なくとも1つのクエリ・ノー ドが表示状態である必要があります。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
ビュー 結果で 要素を 非表示	(サービスのビジネス要素 CI の上に適用されている Service_template パースペクティブ に基づき)UCMDB Browser で自動サービス・マップの結果を表示するときに選択した仮 想 - 複合関係を非表示にします。ただし,これは仮想 - 複合関係 によってリンクされた CI が他のどの関係ともリンクされていない場合に限ります。
	注:
	<ul> <li>このオプションは、サービス・モデルの基となるパースペクティブを作成または 編集しているときのみに表示されます。モデリング・スタジオにのみ関連しま す。</li> </ul>
	<ul> <li>ノードに対して [クェリ結果に要素を非表示]オプションが選択されると、ノードおよびすべてのその関係が表示されなくなるため、このオプションは使用できなくなります。</li> </ul>
クエ リ・ ノード /関係 のプロ パティ	[クエリ ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスが表示され,選択した TQL ク エリ・ノードまたは関係の属性条件を定義できます。詳細については,「[クエリ・ ノード / 関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> このオプションは,計算された関係には利用できません。
クエ リ・ ノー ド・タ	[クエリノードタイプの再設定]ダイアログ・ボックスが表示されます。クエリ・ノードの作成後にクエリ・ノードの CI タイプを変更できます。詳細については,「[クエリノードタイプの再設定]ダイアログ・ボックス」(82ページ)を参照してください。

### モデリング・ガイド 第1章: トポロジ・クエリ言語(TQL)

UI 要素	詳細
イプの 再設定	<b>注:</b> このオプションは, CIタイプの子が存在する場合のみ表示されます。影響分析マ ネージャおよびエンリッチメント・マネージャにのみ関連します。
サブグ ラフを 削除	サブグラフを定義している場合のみ表示されます。詳細については,「[サブグラフの 定義]ダイアログ・ボックス」(86ページ)を参照してください。
影響を 受ける ものを	該当するクエリ・ノードに適用されている[影響を受けるものを定義]の定義が削除されます。[影響を受けるものを定義]の定義の詳細については,「[影響を受けるクエリノード]ダイアログ・ボックス」(443ページ)を参照してください。
529 F	<b>注:</b> 影響分析マネージャにのみ関連します。
内部関	見やすいように、トポロジ・マップの自己参照の関係を四角形に再描画します。
保をり セット	<b>注:</b> 四角形でない自己参照の関係にのみ関連します。
すべて 選切	TQL クエリからクエリ・ノードと関係をすべて選択します。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
コンタ クト・ クエ	選択したクエリ・ノードをパースペクティブのコンタクト・クエリ・ノードとして指定 します。
リ・ ノード	<b>注:</b> モデリング・スタジオのパースペクティブにのみ関連します。
・ として 設定	
統合ポ イント の設定	[統合ポイントの選択] ダイアログ・ボックスが表示され, TQL クエリ・ノードの必要 なデータ・ソースを選択できます。
の設た	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
クエリ 結果に	このオプションを選択すると, TQLクエリ・ノードに属するクエリ結果がトポロジ・ マップに表示されます。
要素を 表示	注: モデリング・スタジオにのみ関連します。
ビュー 結果で 要素を 表示	(サービスのビジネス要素 CI の上に適用されている Service_template パースペクティブ に基づき)UCMDB Browser で自動サービス・マップの結果を表示するときに選択した仮 想 - 複合関係を表示します。
UI 要素	詳細
--------------------------------	--
	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションは、サービス・モデルの基となるパースペクティブを作成または 編集しているときのみに表示されます。モデリング・スタジオにのみ関連しま す。</li> <li>ノードに対して [クェリ結果に要素を表示] オプションが選択されると、ノード およびすべてのその関係はすでに表示されているため、このオプションは使用で きなくなります。</li> </ul>
要素イ ンスタ ンスの 表示	[CI インスタンス] ダイアログ・ボックスが表示され,テーブル内の各クエリ・ノード に対して検出されたインスタンスがすべて表示されます。詳細については,「CI インス タンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。
ノード のパラ メータ の表示	[テンプレート パラメータ値] ダイアログ・ボックスが表示され, クエリ・ノードのパ ラメータ値を設定できます。 <b>注:</b> モデリング・スタジオ内のテンプレート・ベースのビューにのみ関連します。
サブグ ラフ定 義	[サブグラフ定義] ダイアログ・ボックスが表示され,特定のクエリ・ノードに関連す る追加の TQL クエリ・データを表すグラフを作成できます。詳細については,「[サブ グラフの定義] ダイアログ・ボックス」(86ページ)を参照してください。
関更クリノを 係新/ ノ・ ー更 新	エンリッチメント・ルールを使用して CMDB 内の CI 属性の値を更新するか,現在値が設 定されていない属性にデータを追加します。 [クエリ ノード定義 - 属性] ダイアログ・ ボックスが開きます。詳細については,「[クエリ ノード/関係の定義] ダイアログ・ ボックス」(514ページ)を参照してください。これは,通常のクエリ・ノードとエンリッ チメント・クエリ・ノードの両方に適用されます。 更新されたクエリ・ノードには,更新されたことを示す マインジケータによって示さ れます。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャにのみ関連します。

# 属性演算子の定義

本項では, [サブグラフ条件] ダイアログ・ボックス, [影響ルール定義] ダイアログ・ボックス, または [クエリ ノード/関係のプロパティ] ダイアログ・ボックスなど, さまざまなダイアログ・ ボックスで属性条件の定義に使用する演算子のリストを紹介します。

演算子	詳細
途中で変更 [時間]	(日付の属性タイプを選択した場合にのみ表示) [ <b>値</b> ] ボックスで指定 した期間内に変更されたインスタンスのみが表示されます。
等しい	属性値が [ <b>値</b> ] ボックスで指定した値に等しいかどうかがチェックされ ます。
等しい (大文字小文字 の区別なし)	属性値が [ <b>値</b> ] ボックスで指定した値に等しいかどうかがチェックされ ます。大文字と小文字は区別されません。
	<b>注:</b> Microsoft SQL Server を使用する場合は,このオプションは <b>等し</b> い と同じです。
より大きい	属性値が [ <b>値</b> ] ボックスで指定した値より大きいかどうかがチェックさ れます。
	<b>注:</b> タイプが[ <b>文字列</b> ]の属性を比較する場合,比較は,文字列の ASCII 値に基づきます。
以上	属性値が[ <b>値</b> ]ボックスで指定した値以上かどうかがチェックされま す。
含まれる	この属性値が選択した値のいずれかに等しいインスタンスのみが表示されます。たとえば、CIの[変更ステータス]が[計画]および[新規] に等しい場合,演算子の <b>含まれる</b> を[ <b>演算子</b> ]リストから選択し,[ <b>計</b> 画]と[新規]の両方を[値]ボックスで選択します。
含まれる (大文字小文 字の区別なし)	大文字小文字に関係なく,この属性値が選択した値のいずれかに等しい インスタンスのみが表示されます。
	<b>注:</b> Microsoft SQL Server を使用する場合は,このオプションは <b>含ま</b> <b>れる</b> と同じです。
null	属性値が NULL かどうかがチェックされます。
より小さい	属性値が [ <b>値</b> ] ボックスで指定した値より小さいかどうかがチェックさ れます。
	<b>注:</b> タイプが[ <b>文字列</b> ]の属性を比較する場合,比較は,文字列の ASCII 値に基づきます。
以下	属性値が[ <b>値</b> ]ボックスで指定した値以下かどうかがチェックされま す。
類似('%' を使用)	ワイルドカード(%)を使用します。検索対象の名前が一部しかわから ないときに <b>類似('%' を使用)</b> を使用します。

演算子	詳細
類似(大文字小文字の 区別なし)('%' を使 用)	ワイルドカード(%)を使用します。検索対象の名前が一部しかわから ないときに[ <b>類似(大文字小文字の区別なし)('%' を使用)</b> ]を使用 します。文字列の大文字と小文字は区別されません。
	<b>注:</b> Microsoft SQL Server を使用する場合は,このオプションは <b>類似</b> と同じです。
等しくない	属性値が [ <b>値</b> ] ボックスで指定した値に等しくないかどうかがチェック されます。
後に発生	(日付タイプの属性を選択したときに表示されます) [ <b>値</b> ] ボックスで 指定した期間後に発生したインスタンスのみが表示されます。
以内に発生	(日付タイプの属性を選択したときに表示されます) [ <b>値</b> ] ボックスで 指定した期間内に発生したインスタンスのみが表示されます。
途中で変更なし [時 間]	(日付タイプの属性を選択したときに表示されます) [ <b>値</b> ] ボックスで 指定した期間内に変更されなかったインスタンスのみが表示されます。

注:

- 等しくない演算子については、クエリ結果には値が割り当てられていないCIインスタンスからのデータは含まれません。たとえば、システムには次の3つのノードが含まれます。Node1に値Aが割り当てられ、Node2には値Bが割り当てられ、Node3には値は割り当てられていません。この場合、Aと等しくない値を持つすべてのノードを取得するクエリを作成すると、ノード3には値が割り当てられていないため、ノード2のみがクエリ結果に含まれることになります。
- HP Universal CMDB は、Microsoft SQL Server と Oracle Server データベースをサポートしてい ます。Microsoft SQL Server では、標準設定で大文字と小文字が区別されません(Oracle デー タベースでは大文字と小文字が区別されます)。その結果、Microsoft SQL Server を使用する 場合、等しい演算子を使うと、等しい(大文字小文字の区別なし)演算子と同じクエリ結果 が取得されます。たとえば、市町村属性を選択し、等しい演算子を選択して [値] ボックス に NEW YORK と入力すると、大文字と小文字の区別は無視されて、クエリ結果には NEW YORK、New York および new york が含まれます。

# TQLログ

本項では、TQL パラメータのログ・ファイルの定義について説明します。

#### 本項の内容

- 「パターン統計情報ログ」(40ページ)
- 「監査簡略ログ/監査詳細ログ(TQLの観点)」(40ページ)

- 「増分統計ログ」(41ページ)
- 「増分スプリッタ・ログ」(41ページ)
- 「増分詳細ログ」(42ページ)

パターン統計情報ログ

ログ名は cmdb.pattern.statistics.log です。

ログ・ファイル	詳細
目的	各 TQL クエリの一般的な計算データで,あらかじめ定義された間隔で 更新されます。
情報レベル	次の情報が各 TQL クエリに与えられます。 • 名前 • 平均計算時間,最短計算時間,および最長計算時間 • 計算の数 • 最終計算時間 • 結果のサイズ
エラー・レベル	利用不可。
デバッグ・レベル	利用不可。
基本的なトラブルシュー ティング	<ul> <li>特定の TQL クエリが更新されたかどうかを検証します。</li> <li>TQL クエリの計算時間を評価します。</li> <li>TQL クエリの結果のサイズを評価します。</li> </ul>

監査簡略ログ/監査詳細ログ(TQLの観点)

### ログ名は, cmdb.audit.short.log ログです。

ログ・ファイル	説明
目的	CMDB の状態の変更, CI タイプの変更, および TQL クエリの結果です。 このログを使用すると, TQL クエリの結果を追跡できます。
情報レベル	利用不可。
エラー・レベル	利用不可。
デバッグ・レベル	<ul> <li>TQL クエリの最終計算がログに記録されます。</li> <li>最終の TQL クエリ計算が直前の計算から変化していない場合は、その 事実が記録されます。</li> </ul>

ログ・ファイル	説明
	<ul> <li>最終の TQL クエリ計算が直前の計算から変化している場合は、CI および関係の結果が詳細ログに記録されます。CI および関係の数は簡略ログに記録されます。</li> </ul>
基本的なトラブル シューティング	<ul> <li>このログを使用して、TQLクエリ・サブシステムがどのような通知を 発行したかを確認します。</li> </ul>
	<ul> <li>それぞれの結果の最後にあるセクションをチェックします。本項には、追加、削除、または更新された CI および関係が含まれています。</li> </ul>
	<ul> <li>CIT の変化を追跡して、クエリ結果も変化したかどうかを調べます。こうすることで、CIT の変化をクエリ計算の結果に関連付けられます。</li> </ul>

増分統計ログ

ログ名は cmdb.incremental.statistics.log です。

ログ・ファイル	説明
目的	各クエリの計算手順(完全または増分)を追跡します。
情報レベル	利用不可。
エラー・レベル	利用不可。
デバッグ・レベル	<ul> <li>日付,時刻,クエリ名,および増分統計の計算が実行されたかどうか (yes/no)が記録されます。</li> <li>増分統計の計算が実行されなかった場合は,その理由,副計算の数(増分 計算にのみ該当),および完全な計算時間が記録されます。</li> </ul>
基本的なトラブル シューティング	計算プロセスを監視します。 特定のクエリの計算に長い時間がかかる場合は、その計算が完全か増分かを チェックします。 ・ 完全な計算の場合は、完全な計算が必要かどうかをチェックします。 ・ 増分の場合は、実行された副計算の数をチェックします。

増分スプリッタ・ログ

ログ名は cmdb.incremental.splitter.log です。

ログ・ファイル	説明
目的	増分計算の最中に行われた増分スプリッタの結果を監視します。

ログ・ファイル	説明
情報レベル	利用不可。
エラー・レベル	利用不可。
デバッグ・レベル	増分スプリッタによって作成された各クエリ・グラフのクエリ・ノード 番号のセットが記録されます。
基本的なトラブル シューティング	増分計算による TQL 結果が誤っている場合は,スプリッタの結果が正し いかどうかを検証します。

増分詳細ログ

ログ名は cmdb.incremental.detailed.log です。

ログ・ファイル	説明
目的	増分計算プロセスを監視します。
情報レベル	利用不可。
エラー・レベル	利用不可。
デバッグ・レベル	<ul> <li>それぞれの増分副計算エントリには、次の要素が含まれます。</li> <li>トリガ・クエリ・ノード</li> <li>トリガ・クエリ・ノードと分類された要素の数</li> <li>副計算ステップが、モデルに追加された新しい要素によって行われたか、それとも既存の要素によって行われたか</li> <li>計算されたクエリ・グラフ</li> </ul>
基本的なトラブル シューティング	増分計算の基本手順に従います。

# トポロジ・クエリ言語のユーザ・インタフェー ス

本項の内容

•	[計算された関係の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス	. 43
•	[複合関係の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス	. 45

•	[関連クエリ ノードの追加] ウィザード	52
•	[トリプレットの追加] ダイアログ・ボックス	59
•	Cl インスタンス・ダイアログ・ボックス	62
•	条件のプレビュー・ダイアログ・ボックス	66
•	要素レイアウトのプレビュー・ダイアログ・ボックス	66
•	[Cl インスタンスをフィルタ] ダイアログ・ボックス	67
•	[関係条件を結合] ダイアログ・ボックス	68
•	[レイアウト設定] ダイアログ・ボックス	69
•	[クエリ・ノード / 関係のプロパティ] ダイアログ・ボックス	69
•	[クエリ ノード タイプの再設定] ダイアログ・ボックス	82
•	[関係のタイプを選択] ダイアログ・ボックス	83
•	[サブグラフ条件の定義] ダイアログ・ボックス	84
•	[サブグラフの定義] ダイアログ・ボックス	86
•	[ユーザ プリファレンス] ダイアログ・ボックス	87

## [計算された関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは, CI タイプ・モデルから計算された関係を使用して 2 つのクエリ・ ノード間の接続を定義できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,モデリング・スタジオで 利用するには,次の手順を実行します。
	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,またはモデリング・スタ ジオの編集表示枠で必要なクエリ・ノードを右クリックし, [計算関係を追加] を選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の上 部で <b>クエリ</b> ・モードを選択して [ <b>計算関係を追加</b> ] オプションを表示しま す。
	データ・フロー管理(DFM)のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行し ます。
	1. [リソース]表示枠でアダプタを選択します。
	2. [ <b>アダプタ定義</b> ]タブで,[ <b>入力クエリの編集</b> ] 🌌 ボタン([ <b>入力クエ</b> リ]ボックスの右)をクリックし,[入力クエリの編集]を開きます。
	3. 必要なクエリ・ノードを右クリックして [ <b>計算関係を追加</b> ] を選択します。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)

	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	<ul> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> </ul>
	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
関連情報	• 「計算された関係の使用」(93ページ)
	• 「CI タイプの関係」(452ページ)

UI 要素	詳細
	<b>すべてを展開 :</b> ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
	<b>すべてを折りたたみ:</b> ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
ッリー・ ビュー ≌	<ul> <li>ツリー・ビュー:計算された関係ツリーの表示形式を選択できます。次のオプションを利用できます。</li> <li>表示ラベル別</li> <li>クラス名別</li> <li>旧クラス名別</li> </ul>
<計算さ れた関係 ツリー>	2 つのクエリ・ノード間の接続を定義する計算された関係を選択します。
関係の方 向	クエリ・ノード間の依存関係を表す関係の方向です。
関係の名 前	計算された関係の名前です。
関係の制 限	クエリ結果において同一クエリ・ノード間の関係,または自己関係を処理する方法を定 義するオプションを選択します。自己関係とは,あるクエリ・ノードから,そのノード 自身につながっている関係のことです。
	<b>注:</b> このリストは, 1つのクエリ・ノードまたは2つの同一クエリ・ノードを選択 したときのみ表示されます。
	<ul> <li>・全関係を許可します:すべての関係がクエリ結果に表示されます。</li> <li>・自己関係のみを許可します:自己関係(自身へとつながる関係)のみが、クエリ結果</li> </ul>

UI 要素	詳細
	に表示されます。 • 非自己関係のみを許可:自己関係は、クエリ結果に表示されません。

### [複合関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは, 複合関係を使用して2つのクエリ・ノード間の接続を定義できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,モデリング・スタ ジオで利用するには,次の手順を実行します。
	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,またはモデリン グ・スタジオの編集表示枠で必要なクエリを右クリックし, [ <b>複合関係の</b> 追加] を選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠 の上部で <b>クエリ・</b> モードを選択して[ <b>複合関係の追加</b> ]オプションを 表示します。
	DFM のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行します。
	1. [リソース]表示枠でアダプタを選択します。
	2. [ <b>アダプタ定義</b> ] タブで, [入力クエリの編集] Ӣ ボタン([入力 クエリ] ボックスの右)をクリックし, [入力クエリの編集] を開き ます。
	3. 必要なクエリ・ノードを右クリックして [ <b>複合関係の追加</b> ] を選択し ます。
重要情報	<b>復台定義は、必要な数たけ作</b> 成できます。
重要情報 関連タスク	<ul> <li>         後台定義は、必要な数たけ作成できます。     </li> <li>         「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)     </li> </ul>
重要情報 関連タスク	<ul> <li>複合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> </ul>
重要情報 関連タスク	<ul> <li>復合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> </ul>
重要情報 関連タスク	<ul> <li>複合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・ア ダプタの実装」</li> </ul>
重要情報 関連タスク	<ul> <li>複合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> </ul>
重要情報 関連タスク	<ul> <li>複合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> </ul>
重要情報 関連タスク	<ul> <li>複合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>
重要情報 関連タスク 関連情報	<ul> <li>複合定義は、必要な数だけ作成できます。</li> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> <li>「複合関係」(17ページ)</li> </ul>

#### ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
4	<b>追加 :</b> 複合定義が追加されます。
	DFM の影響分析マネージャ,エンリッチメント・マネージャ,および入力クエ リ・エディタでは, [トリプレットの追加]ダイアログ・ボックスが開きま す。モデリング・スタジオでは,テーブルに標準設定の複合定義が入力されま す。定義コンポーネントを編集するには, [編集]ボタンをクリックします。
×	<b>削除:</b> 選択した複合定義が削除されます。
Ø	<b>条件 :</b> 選択した結合定義を編集できます。
	DFM の影響分析マネージャ,エンリッチメント・マネージャ,および入力クエリ・エディタでは, [トリプレットの編集]ダイアログ・ボックスが開きます。モデリング・スタジオでは, [複合関係条件の定義]ダイアログ・ボックスが開きます。
最大ステップ数	CMDB内の2つのCI間でディスカバリ・プロセスに含むことが許可されている 最長パスです。 <b>標準設定:</b> 5
最小ステップ	CMDB 内の 2 つの CI 間でディスカバリ・プロセスに含むことが許可されている 最短パスです。
	標準設定:1
関係	2 つのクエリ・ノードを接続する関係です。
関係の方向	クエリ・ノード間の依存関係を表す関係の方向です。
関係の名前	複合関係の名前です。
関係の制限	クエリ結果において同一クエリ・ノード間の関係,または自己関係を処理する 方法を定義するオプションを選択します。自己関係とは,あるクエリ・ノード から,そのノード自身につながっている関係のことです。
	<b>注:</b> このリストは, 1つのクエリ・ノードまたは2つの同一クエリ・ノー ドを選択したときのみ表示されます。
	• 全関係を許可します:すべての関係がクエリ結果に表示されます。
	• 自己関係のみを許可します:自己関係(自身へとつながる関係)のみが,ク エリ結果に表示されます。
	• 非自己関係のみを許可:自己関係は、クエリ結果に表示されません。
クエリ結果に要	[ <b>クエリ結果に要素を表示</b> ]を選択すると,結合関係または複合関係に関係す



UI 要素	詳細
	ベル 2 (パスで検出される 2 つ目の CI) だからです。
ターゲット	必須のターゲット・クエリ・ノードです。

# [結合関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは結合関係を定義できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,モデリング・スタジオで 利用するには,次の手順を実行します。
	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,またはモデリング・スタ ジオの編集表示枠で必要なクエリを右クリックし, [ <b>結合関係の追加</b> ]を選択し ます。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の上部 で <b>クエリ</b> ・モードを選択して[ <b>結合関係の追加</b> ]オプションを表示します。
	DFM のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行します。
	1. [リソ-ス]表示枠でアダプタを選択します。
	2. [ <b>アダプタ定義</b> ] タブで, [ <b>入力クエリの編集</b> ] 🧖 ボタン([ <b>入力クエ</b> リ] ボックスの右)をクリックし, [入力クエリの編集] を開きます。
	3. 必要なジェリ・ノートを石グリックして[結合関係の追加]を選択します。
重要情報	モデリング・スタジオからダイアログ・ボックスにアクセスした場合,属性および演算子はこのダイアログ・ボックス内で選択します。影響分析マネージャまたはエンリッチメント・マネージャからダイアログ・ボックスにアクセスした場合,属性および演算子は[関係条件を結合]ダイアログ・ボックスで選択します。
	<b>注:</b> 結合関係条件のタイプ・リストの属性は選択できません。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」
	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)

関連情報	• 「結合関係」(18ページ)
	• 「結合関係の定義方法 - シナリオ」 (28ページ)

UI 要素	詳細
+	<b>追加:</b> 結合定義を定義できます。DFM の影響分析マネージャ,エンリッチメント・マネージャ,および入力クエリ・エディタでは, [関係条件の結合] ダイアログ・ボックスが開きます。モデリング・スタジオでは,選択した属性および演算子がリストに追加されます。
*	<b>削除:</b> 選択した結合定義が削除されます。
Ø	<b>編集 :</b> 結合定義を編集できます。 [関係条件を結合] ダイアログ・ボックスが開 きます。
	<b>注:</b> このオプションはモデリング・スタジオには関連しません。
<クエリ・ノー ド 1 尾性>ボッ	<end_1> クエリ・ノードの属性を選択します。</end_1>
クス	<b>注:</b> このオプションはモデリング・スタジオでのみ使用できます。
<クエリ・ノー ド 2 尾性>ボッ	<end_2> クエリ・ノードの属性を選択します。</end_2>
クス	<b>注:</b> このオプションはモデリング・スタジオでのみ使用できます。
<選択したクエ リ・ノード 1> カラム	選択したクエリ・ノード。1 つ目の属性は <end_1> に適用されます。</end_1>
<選択したクエ リ・ノード 2> カラム	選択したクエリ・ノード。2 つ目の属性は <end_2> に適用されます。</end_2>
And	すべての結合定義が, <b>および</b> 演算子でリンクされます。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオには関連しません。
演算子ボックス	演算子を選択します。利用可能な演算子の詳細については,「[関係条件を結 合]ダイアログ・ボックス」(68ページ)を参照してください。
	注: このオプションはモデリング・スタジオでのみ使用できます。
[演算子] 列	[関係条件を結合] ダイアログ・ボックスで選択した演算子。演算子の定義の詳

UI 要素	詳細
	細については, 「属性演算子の定義」(37ページ)を参照してください。
関係の方向	クエリ・ノード間の依存関係を表す関係の方向です。
関係の名前	結合関係の名前です。
関係の制限	クエリ結果において同一クエリ・ノード間の関係,または自己関係を処理する方 法を定義するオプションを選択します。自己関係とは,あるクエリ・ノードか ら,そのノード自身につながっている関係のことです。
	<b>注:</b> このリストは, 1つのクエリ・ノードまたは2つの同一クエリ・ノード を選択したときのみ表示されます。
	<ul> <li>全関係を許可します:すべての関係がクエリ結果に表示されます。</li> <li>自己関係のみを許可します:自己関係(自身へとつながる関係)のみが、クエリ結果に表示されます。</li> </ul>
	• 非自己関係のみを許可:自己関係は、クエリ結果に表示されません。
クエリ結果に関 係を表示	[クエリ結果に関係を表示] を選択すると, 結合関係または複合関係に関係する クエリ結果が含まれます。標準設定では, このオプションが選択されています。 このチェック・ボックスをクリアすると, 編集表示枠で選択した関係名の左に [クエリ結果で非表示] インジケータ ◎ が表示されます。関係に属するクエリ 結果は, トポロジ・マップに表示されません。

## [関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、TQLクエリ内の2つのクエリ・ノード間の接続を定義できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,およびモデリング・ス タジオで利用するには,次のいずれかの手順を行います。
	<ul> <li>エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,またはモデリング・</li> </ul>

	スタジオの編集表示枠で必要なクエリを右クリックし, [ <b>関係の追加</b> ]を選 択します。
	• [関係を作成] 🗽 ボタンをクリックし,必要なクエリ・ノードの間に線を 引きます。 [関係のタイプを選択] ダイアログ・ボックスが開きます。 [通 常の関係] を選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の上 部で <b>クエリ</b> ・モードを選択して [ <b>関係の追加</b> ] オプションを表示します。
	DFM のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行します。
	1. [リソース]表示枠でアダプタを選択します。
	<ol> <li>[アダプタ定義] タブで、[入力クェリの編集] 2. [アダプタ定義] タブで、[入力クェリの編集] ボタン([入力クェリ] ボックスの右)をクリックし、[入力クエリの編集] を開きます。</li> <li>3. 必要なクエリ・ノードを右クリックして [関係の追加] を選択します。</li> </ol>
重要情報	このオプションは、選択した2つのクエリ・ノード間(または選択した1つの
	ノエリ・ノード)に有効な関係がない場合は衣がされるとん。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプ 夕の実装」</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>
関連タスク 関連情報	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> <li>「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
8	<b>すべてを展開:</b> 関係ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
	<b>すべてを折りたたみ :</b> 関係ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
ツリー・ビュー 🔒	<b>ツリー・ビュー:</b> 関係ツリーの表示形式を選択します。次のオプションを利用 できます。
	<ul> <li>表示ラベル別</li> </ul>

UI 要素	詳細
	<ul> <li>クラス名別</li> <li>旧クラス名別</li> </ul>
<関係ツリー>	2 つのクエリ・ノード間の接続を定義する関係を選択します。
関係の方向	クエリ・ノード間の依存関係を表す関係の方向です。
関係の名前	関係の名前です。
関係の制限	クエリ結果において同一クエリ・ノード間の関係,または自己関係を処理する 方法を定義するオプションを選択します。自己関係とは,あるクエリ・ノード から,そのノード自身につながっている関係のことです。
	<b>注:</b> このリストは, 1つのクエリ・ノードまたは2つの同一クエリ・ノー ドを選択したときのみ表示されます。
	• 全関係を許可します:すべての関係がクエリ結果に表示されます。
	• 自己関係のみを許可します:自己関係(自身へとつながる関係)のみが,ク エリ結果に表示されます。
	• 非自己関係のみを許可:自己関係は、クエリ結果に表示されません。

[関連クエリノードの追加] ウィザード

このウィザードでは TQL クエリを構築できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,モデリング・スタジオ で利用するには,次の手順を実行します。
	編集表示枠で,必要なクエリ・ノードを右クリックし,[ <b>関連クエリ ノードの</b> <b>追加</b> ]を選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の 上部で <b>クェリ</b> ・モードを選択して[関連クエリ ノードの追加]オプション を表示します。
	DFM の Universal Discovery でアクセスするには:
	1. [ディスカバリ モジュール]表示枠でジョブを選択します。
	2. [プロパティ]タブで[トリガ <i>ク</i> エリ]を選択します。 <b>[クエリ エディ</b>
	<b>夕を開く]</b> ボタン 🌌 をクリックして <b>[トリガ クエリ エディタ]</b> を開き ます。
	3. 必要なクエリ・ノードを右クリックして[ <b>【関連クエリ ノードの追加】</b> <b>ウィザード</b> ]を選択します。

	DFM のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行します。
	1. [リソース]表示枠でアダプタを選択します。
	<ol> <li>[アダプタ定義] タブで、[入力クェリの編集] パタン([入力クェリ] ボックスの右)をクリックし、[入力クエリの編集]を開きます。</li> <li>必要なクエリ・ノードを右クリックして[[関連クエリ ノードの追加] ウィザード]を選択します。</li> </ol>
重要情報	TQL クエリが空の場合,左側の表示枠の Cl タイプ・セレクタまたは [Cl タイ プ] タブに表示されているツリーから編集表示枠に必要な TQL クエリ・ノード をドラッグします。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプ タの実装」
	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
ウィザード・	[関連クエリ ノードの追加]ウィザードには次のページが含まれています。
マップ	「[関連クエリ ノードのタイプ]ページ」 > 「[関係タイプ]ページ」 > 「[関連クエリ ノードのプロパティ]ページ」 > 「[関連クエリ ノードのイン スタンス]ページ」
関連情報	「トポロジ・クエリ言語(TQL)の概要」(14ページ)

[関連クエリノードのタイプ] ページ

このウィザード・ページでは,クエリ・ノードを TQL クエリに追加できます。

重要情報	TQL クエリが空の場合は,必要な TQL クエリ・ノードを [構成アイテム タイプ]表示 枠に表示されているツリーから編集表示枠にドラッグします。 [関連クエリ ノードの追加] ウィザードの一般的な情報については,「[関連クエリ ノードの追加] ウィザード」(52ページ)を参照してください。
ウィザー ド・マッ プ	「[関連クエリノードの追加] ウィザード」には次のページが含まれています。 「[関連クエリノードのタイプ] ページ」>「[関係タイプ] ページ」>「[関連ク エリノードのプロパティ] ページ」>「[関連クエリノードのインスタンス] ペー ジ」

UI 要素	詳細
1	<b>すべてを展開:</b> ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
	<b>すべてを折りたたみ :</b> ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
ッリ- ・ ビュ – ≟	<ul> <li>ツリー・ビュー: CI タイプ・ツリーの表示形式を選択します。次のオプションを利用できます。</li> <li>表示ラベル別</li> <li>クラス名別</li> <li>旧クラス名別</li> <li>注: この機能はモデリング・スタジオでのみ使用できます。</li> </ul>
<クエリ・ ノード>必 須	<ul> <li>関係のカーディナリティを定義します。詳細については、「[クエリ・ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。</li> <li>各クエリ・ノードの [&lt;クエリ・ノード&gt;必須]チェック・ボックスを選択にすると、関係の他端にあるクエリ・ノードのインスタンスが最低1つクエリ結果に含まれます。このチェック・ボックスを選択すると、関係にカーディナリティ値1*が設定されます。</li> <li>[&lt;クエリ・ノード&gt;必須]チェック・ボックスをクリアにすると、関係にカーディナリティ値0*が設定されます。</li> </ul>
<tql クエ<br="">リ・ノー ドの階層 ツリー&gt;</tql>	<ul> <li>必要なクエリ・ノードを選択します。選択したクエリ・ノードは、[要素名] ボック スに表示されます。</li> <li>このリストには、選択した(ソース) クエリ・ノードに対して有効な関係を持つ Cl タイプのクエリ・ノードだけが表示されます。</li> <li>各クエリ・ノードの右に、CMDB に存在する、該当する Cl タイプの Cl インスタンス の数が表示されます。インスタンスの数は、[関連クエリノードの追加] ウィザードを閉じて再度開いた後にのみ更新されます。</li> <li>注: 階層ツリーの最初のクエリ・ノードが標準で選択されています。</li> </ul>
要素名	選択したクエリ・ノードの名前が含まれます(任意指定)。標準設定では、CIタイプ は要素の名前として割り当てられます。 TQLクエリ・ノードの名前は、一意のラベルを付けることによって[ <b>要素名</b> ] ボック スで変更できます。これは、TQLクエリに、同じCIタイプのクエリ・ノードが複数あ る場合に便利です。
インスタ	このチェック・ボックスを選択すると CMDBにインスタンスのある CIT のみが表示さ

UI 要素	詳細
ンスのあ る CIT の み表示す る	れます。このボックスを選択しない場合,ツリーにはソース・クエリ・ノードへの有 効なリンクのある CIT がすべて含まれます。
	<b>注: [インスタンスのある CIT のみ表示する</b> ]チェック・ボックスは,標準設定 で選択されています。

### [関係タイプ] ページ

このウィザード・ページでは,関係をTQLクエリに追加できます。

ウィザー	「[関連クエリ ノードの追加]ウィザード」には次のページが含まれています。
ド・マッ プ	「[関連クエリノードのタイプ]ページ」 <b>&gt;「[関係タイプ]ページ」</b> >「[関連ク エリノードのプロパティ]ページ」>「[関連クエリノードのインスタンス]ペー ジ」

UI 要素	詳細
ツリー・ ビュー 🖹	<ul> <li>ツリー・ビュー:関係ツリーの表示形式を選択します。次のオプションを利用できます。</li> <li>表示ラベル別</li> <li>クラス名別</li> </ul>
	<ul> <li>旧クラス名別</li> </ul>
	<b>注:</b> この機能はモデリング・スタジオでのみ使用できます。
<tql クエリ<br="">関係の階層ツ リー&gt;</tql>	必要な関係を選択してください。
関係の方向	必要な関係の方向を選択します。方向は,クエリ・ノード間の依存関係を示しま す。
関係の名前	関係の名前です。
	<b>注:</b> この機能はモデリング・スタジオでのみ使用できます。
関係の制限	クエリ結果において同一クエリ・ノード間の関係,または自己関係を処理する方法 を定義するオプションを選択します。自己関係とは,あるクエリ・ノードから,そ のノード自身につながっている関係のことです。

UI 要素	詳細
	<b>注:</b> この機能はモデリング・スタジオでのみ使用できます。
関係タイプ	選択したクエリ・ノード間の接続を定義する有効な関係です。このボックスには, 関係階層ツリーで選択した関係が表示されます。
	<b>注:</b> この機能は,エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マネージャでのみ使用できます。
インスタンス のある関係の み表示する	CMDB 内にインスタンスが存在する関係だけが表示されます。このボックスを選択 しない場合,ツリーには選択したクエリ・ノード間の有効な関係がすべて含まれま す。

[関連クエリノードのプロパティ]ページ

このウィザード・ページでは,属性条件をクエリ・ノードまたは関係に追加することで,クエリに表示されるクエリ・ノードの数を制限する式を作成できます。

重要 各行は、指定する属性条件を表します。 [And] / [Or] 列と [大括弧] 列を使用して複数の 情報 条件をリンクします。これにより、より正確な論理ステートメントを構成して必要な結果を 生成できます。 モデリング・スタジオからウィザードを利用する場合、このウィザード・ページには3つの タブが表示されます。[属性],[要素タイプ],[要素レイアウト] [属性] タブには,以 下に説明されている要素が含まれます。 [要素タイプ] タブの詳細については, 「[要素タ イプ] タブ」(77ページ)を参照してください。 [要素レイアウト] タブの詳細については, 「[要素レイアウト]タブ」(78ページ)を参照してください。 ウィ 「[関連クエリノードの追加]ウィザード」には次のページが含まれています。 ザー 「「関連クエリノードのタイプ」ページ」>「「関係タイプ」ページ」>「【関連クエリ ド・ ノードのプロパティ]ページ」>「[関連クエリノードのインスタンス]ページ」 マッ プ

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
4	<b>追加:</b> 属性条件行を追加します。属性名,演算子,値を選択して属性条件を定義しま す。
×	<b>削除:</b> 選択した属性条件を削除します。
	<b>上へ:</b> 選択した行を上へ移動します。

UI 要素	詳細
V	<b>下へ</b> :選択した行を下へ移動します。
Q	<b>基準を表示 :</b> 選択した条件の基準をポップアップ・ダイアログ・ボックスに表示しま す。
AND/OR	複数の条件をリンクさせるには, [AND/OR] フィールド内をクリックし, [AND] また は [OR] を選択します。
属性名	リストから属性を選択します。
大括弧 ( )	[ <b>大括弧</b> ] ボックス内をクリックすると、より複雑な論理ステートメントを作成するの に使用できる括弧のリストが表示されます。
基準	[CI インスタンス] ダイアログ・ボックスで定義した属性条件の定義が含まれていま す。
サブタ	選択した CI とその子がトポロジ・マップに表示されます。
イプを 含める	<b>注:</b> このチェック・ボックスは,エンリッチメント・マネージャおよび影響分析マ ネージャでのみ使用できます。
NOT	定義した内容と反対の条件構文を使用する場合に [NOT] を選択します。
	<b>注:</b> [NOT] を選択した場合, クエリの結果には, 値が割り当てられていない CI インスタンスのデータは含まれません。たとえば, システムに3つのノードがあり。 ノード1には値 A が割り当てられ, ノード2 には値 B が割り当てられ, ノード3 には値が割り当てられていないとします。A に等しい値を持つすべてのノードを取得するクエリを作成し, [NOT] を選択した場合, ノード3 には値が割り当てられていないため, クエリの結果にはノード2のみが含まれます。
演算子	必要な演算子を選択します。詳細については, 「属性演算子の定義」(37ページ)を参照 してください。
クエリ 結果に <b>要素</b> を 表示	[ <b>クェリ結果に要素を表示</b> ]を選択すると,選択した TQL クエリ・ノードが編集表示枠 に表示されます。このチェック・ボックスをクリアすると,編集表示枠で選択した TQL クエリ・ノードの右に [ <b>クエリ結果で非表示</b> ]のインジケータ <sup>®</sup> が表示されます。



[関連クエリノードのインスタンス] ページ

このウィザード・ページでは, 選択した TQL クエリ・ノードに対して検出されたすべてのインスタン スがテーブルに表示されます。

重要 情報	レポートに表示されるカラムは,選択した CI タイプによって異なります。 標準設定では,CI タイプ・マネージャで <b>アセット・データ,管理対象,履歴に残っていない</b> <b>もの,</b> および <b>比較可能</b> 属性修飾子を使って定義されている属性に対応するカラムのみが, ダイアログ・ボックスにカラムとして表示されます。詳細については,「[属性] ペー ジ」(470ページ)を参照してください。
	必要に応じて[ <b>非表示カラムを表示</b> ]ボタンをクリックし,可視として定義されているが 静的として定義されていない属性を表示できます。静的属性の詳細については,「[属 性]ページ」(470ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> [関連クエリ ノードのインスタンス] ページに含まれる要素の情報については, 「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。
ウィ ザー マッ プ	「[関連クエリノードの追加]ウィザード」には次のページが含まれています。 「[関連クエリノードのタイプ]ページ」 > 「[関係タイプ]ページ」 > 「[関連クエリ ノードのプロパティ]ページ」 > <b>「[関連クエリノードのインスタンス]ページ」</b>

### [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、サブグラフの定義, 複合関係, または計算された関係の作成時に, ソース CI からターゲット CI へのトポロジ・グラフのパスで許容される手順を定義できます。

DFM のエンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージゃ,または DFM の入力 クエリ・エディタ内で:
<ul> <li>[複合関係の追加]ダイアログ・ボックスで、[追加]ボタン をクリックします。詳細については、「[複合関係の追加/編集]ダイアログ・ボックス」(45ページ)を参照してください。</li> </ul>
• [サブグラフの定義]ダイアログ・ボックスで, [ <b>追加</b> ] <sup>●</sup> をクリックしま す。詳細については, 「[サブグラフの定義]ダイアログ・ボックス」(86 ページ)を参照してください。
CI タイプ・マネージャで,[CI タイプ]表示枠のドロップダウン・リストから [ <b>計算関係</b> ]を選択します。編集ペインで,[ <b>トリプレット</b> ]ページを選択し, [ <b>追加</b> ] <table-cell-rows> をクリックします。</table-cell-rows>
トポロジ・グラフに含めるクエリ・ノードと関係を選択します。
<b>注:</b> [サブグラフ定義]ダイアログ・ボックスから[トリプレットの追加] ダイアログ・ボックスにアクセスする場合のみ, [条件]フィールドが表示 されます。
• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
<ul> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプ タの実装」</li> </ul>
• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
• 「複合関係」(17ページ) - 「複合関係の定義方法」シナリオ」(25ペーミン)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
	条件:選択したソース・クエリ・ノードとターゲット・クエリ・ノードの属性条件 を定義できます。 [サブグラフの定義] ダイアログ・ボックスから [トリプレット の追加] ダイアログ・ボックスを開くと, [サブグラフ条件の定義] ダイアログ・ ボックスが開きます。 [複合関係の追加] ダイアログ・ボックスから [トリプレッ トの追加] ダイアログ・ボックスを開くと, [複合関係条件の定義] ダイアログ・ ボックスが開きます。
	[条件] ボタンは, クエリ・ノードを <b>ソース</b> ・リストまたは <b>ターゲット・</b> リストか ら選択した後に有効になります。
	<b>注:</b> CI タイプ・マネージャではソース・クエリ・ノードとターゲット・クエ リ・ノードの属性条件を定義できません。
関係	2 つのクエリ・ノードを接続する有効な関係を選択します。有効な関係のリスト は,両方のクエリ・ノードを定義した後でのみ表示されます。
関係の方向	必要な方向を選択します。異なる関係の方向を設定すると,異なるクエリ結果が得られる場合があります。例については,「複合定義に異なる関係の方向を設定」 (60ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> 関係リストは、ソースとターゲットを選択するまで空のままになります。
ソース	必要なソース・クエリ・ノードを選択します。
ターゲット	必要なターゲット・クエリ・ノードを選択します。

複合定義に異なる関係の方向を設定

異なる関係の方向を設定すると,異なる TQL 結果が得られます。たとえば,ビジネス環境において,次の図に示すように,CIT a のクエリ・ノードと CIT b のクエリ・ノードを接続する複合関係を作成するとします。深さは5 に定義されています(詳細については,「深度」(87ページ))。



[トリプレットの追加]ダイアログ・ボックスでは、複合定義を作成して、異なる関係の方向を使用 してクエリ・ノード a と b をリンクできます。

複合定義	ソース	ターゲット	関係	関係の方向
#1	クエリ・ノード a	クエリ・ノードc	<関係>	ソース> ターゲット
#2	クエリ・ノードc	クエリ・ノードb	<関係>	ソース> ターゲット
#3	クエリ・ノードc	クエリ・ノードb	<関係>	ソース < ターゲット

• 複合定義1と2の結果,次のクエリが得られます。



• 複合定義1と3の結果、次のクエリが得られます。



• 複合定義 1, 2, および 3 の結果, 次のクエリが得られます。



## CIインスタンス・ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,選択した TQL クエリ・ノードで検出されたすべての CI インスタン スを表示します。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,モデリン グ・スタジオで利用するには,次の手順を実行します。
	編集表示枠で,必要なクエリ・ノードを右クリックし,[要素イ ンスタンスの表示]を選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は, 編集表示枠の上部で[ <b>クエリ</b> ]モードを選択して[要素イン スタンスの表示]オプションを表示します。
	DFM のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行します。
	1. [リソース]表示枠でアダプタを選択します。
	2. [ <b>アダプタ定義</b> ] タブで, [入力クエリの編集] 🌌 ボタ ン([入力クエリ] ボックスの右)をクリックし, [入力ク エリの編集] を開きます。
	3. 必要なクエリ・ノードを右クリックし, [ <b>要素インスタンス</b> の表示]を選択します。
	Integration Studio で利用するには,次の手順を実行します。
	Jython 統合アダプタに基づいて統合ポイントを作成します。 [ト リガ Cl インスタンス]メニューで[ <b>既存の Cl を選択</b> ]を選択し ます。
重要情報	テーブルのカラムに,選択した CI タイプの属性が表示されま す。表示される属性は,選択した CI タイプによって異なりま す。
	標準設定では,CIT マネージャで[ <b>アセット データ</b> ],[ <b>管理対</b>

	<b>象</b> ],および [ <b>比較可能</b> ] 属性修飾子を使って定義されている属 性に対応するカラムのみが,ダイアログ・ボックスにカラムとし て表示されます。詳細については,「[属性]ページ」(470ペー ジ)を参照してください。
関連タスク	「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491 ページ)
	「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
	『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「ポピュ レーション・ジョブの操作方法」
	『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の 「データ・ プッシュ・ジョブの使用方法」
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・クエリ言語(TQL)の概要」(14ページ)</li> <li>「トポロジ・クエリ言語のユーザ・インタフェース」(42ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
次の CI インスタンスを表示: Network (5) 💌	テーブルに表示する CIT を指定します。テーブ ルには,選択した CIT の子も含まれます。
8	<b>CMDB から削除 :</b> 選択した CI を削除します。
	<b>プロパティ :</b> 選択した Cl の[構成アイテムの プロパティ]ダイアログ・ボックスが開きま す。
	<b>更新:</b> CI インスタンスのリストを更新します。
	<b>フィルタの設定:</b> 選択したクエリ・ノードで 表示する CI インスタンスをフィルタします。 [CI インスタンスをフィルタ] ダイアログ・ ボックスが開きます。

UI 要素	詳細
	<b>フィルタのクリア:</b> [Cl インスタンスをフィル タ] ダイアログ・ボックスで作成したフィル 夕定義をクリアします。
	カラムの選択:表示するカラムを選択できま す。詳細については,「[カラムの選択]ダ イアログ・ボックス」(529ページ)を参照して ください。
	カラム・コンテンツの並べ替え: CI インスタン スの並べ替え順序を設定できます。詳細につ いては,「[カラム コンテンツの並べ替え] ダイアログ・ボックス」(530ページ)を参照し てください。
9	<b>検索:</b> 検索ツールバーが表示されます。
	<b>メールを送信 :</b> テーブルのデータを電子メール で送信できます。
	<ul> <li>データをファイルにエクスポート:表のデータのプレビューおよびエクスポートの形式を 選択できます。次のオプションを使用できます。</li> <li>Excel:テーブルのデータは、スプレッド</li> </ul>
	シートに表示できる.xls (Excel) ファイル 形式に整形されます。 • PDF:テーブルのデータは, PDF 形式でエク スポートされます。
	<b>注:</b> PDF にエクスポートする場合, レ ポートが読みやすくなるよう表示列の 適切な数を選択します。
	<ul> <li>csv:テーブルのデータは、スプレッドシートに表示できるカンマ区切り(CSV)テキスト・ファイル形式に整形されます。</li> </ul>
	<b>注:</b> CSV 形式のテーブルのデータを正し く表示するには,カンマ(,)を区切り 文字として定義する必要があります。 Windows では,区切り文字の値を確認 または変更するには,コントロール・

UI 要素	詳細
	パネルの [地域のオプション] を開い て, [数値] タブでカンマが区切り文 字の値として定義されていることを確 認します。Linux では, CSV ファイルを 開くアプリケーションで区切り文字を 指定できます。
	<ul> <li>xml:テーブルのデータは、テキスト・エ ディタまたは XML エディタで開くことがで きる XML ファイルとして整形されます。</li> </ul>
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出 するには,次の手順を実行します。
	<ul> <li>・ ファイルをHIME エアイクで開きます。</li> <li>・ 関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーする。</li> </ul>
30 ▼ページの行数	各ページに表示する行の数を選択します。ま た,手動でページあたりの行数の値を入力す ることができます。
🖾 3 of 16528 ▷ 🔀	クリックすると、ページごとに結果を移動し たり、または最初のページや最後のページに 移動したりできます。
<cl インスタンス=""></cl>	選択した TQL クエリ・ノードに対して検出さ れた CI インスタンスです。インスタンスをダ ブルクリックすると,その CI の[構成アイテ ムのプロパティ]ダイアログ・ボックスが開 きます。
<ci インスタンスのショートカット・メニュー=""></ci>	詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ペー ジ)を参照してください。
表示ラベル	トポロジ・マップに表示される CI インスタン スの名前です。

### 条件のプレビュー・ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスは, [クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスの [要素タイプ] タブで, 複合タイプの条件を選択するときに選択した状態を表示します。

利用方法	[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスの[要素タイプ]タブか ら[ <b>プレビュー</b> ]ボタン 🔍 をクリックします。
関連情報	「クエリ・ノード条件」(18ページ)

以下では,使用されるインタフェース要素について説明します。

UI 要素	詳細
CI タイプ	条件を定義したサブタイプを表示します。
条件	凡例で定義され,選択した条件のアイコンが表示されます。
フィルタ基準	選択した条件を指定します(たとえば, CI タイプや修飾子別。また, 修 飾子の場合は特定の修飾子を指定します)。

要素レイアウトのプレビュー・ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスは,選択した要素のクエリ結果に含まれる, [クエリ ノードのプロパ ティ]ダイアログ・ボックスの [要素レイアウト] タブで選択した属性が表示されます。

利用方法	[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスの[要素レイアウト]タ ブから[ <b>プレビュー</b> ]ボタン 🔍 をクリックします。
関連情報	「クエリ・ノード条件」(18ページ)

以下では、使用されるインタフェース要素について説明します。

UI 要素	詳細
属性 モード	[クエリ ノードのプロパティ] ダイアログ・ボックスの [要素レイアウ ト] タブで選択した属性の状態が表示されます。
CI タイプ	選択したクエリ・ノードまたは関係の CIT が表示されます。
除外属性	[クエリ ノードのプロパティ] ダイアログ・ボックスの [要素レイアウ ト] タブで, [除外属性] 表示枠に表示される属性が表示されます。
修飾子でマークされた 属性	[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスの[要素レイアウ ト]タブで選択した修飾子が表示されます。
特定の属性	[クエリ ノードのプロパティ] ダイアログ・ボックスの [要素レイアウ

UI 要素	詳細
	ト] タブで, [特定の属性] 表示枠に表示される属性が表示されます。

# [CIインスタンスをフィルタ] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,特定の CI に対して条件と値を選択することによって,リストに表示する CI インスタンスの数を減らすことができます。

利用方法	[CI インスタンス]ダイ リックします。	<b>゚アログ・ボックスから</b>	[ <b>フィルタ</b> ] ボタン 🗹 をク
重要情報	定義したフィルタ条件の 表示されるテーブルのカ タイプが Windows である を作成しました。	)説明は, [Cl インスタ )ラムの上に表示されま <sup>:</sup> る Cl インスタンスのみる	ンス] ダイアログ・ボックスに す。たとえば,次の図では,Cl を表示するようにフィルタ条件
	フィルタ: Cl Type[等価 n	t];	
	Display Label	CI Type	
	🛃 bert	Windows	
関連タスク	• 「影響ルールの定義方	方法 - ワークフロー」(43	33ページ)
	• 「エンリッチメント・	・ルールを定義する方法	- シナリオ」(491ページ)
	<ul> <li>「TQL クエリの定義方</li> </ul>	ī法」(23ページ)	
	・『HP Universal CMDB』 夕の実装」	開発者向け参照情報ガィ	イド』の「ディスカバリ・アダプ
	<ul> <li>「パターン・ビューク</li> </ul>	D作成方法」(246ページ	)
	<ul> <li>「テンプレートの作反</li> </ul>	戊方法」(247ページ)	
	「パーフペクニノブク	の作成方法」 (240ペーミ)	0
	• 77-2797170	リートルのフィム」(249・ヘーン	1

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
属性	CI が属する CI タイプの属性がすべて表示されます。
条件	必要な演算子を選択します。詳細については, 「属性演算子の定義」(37ページ)を 参照してください。
NOT	条件および値の否定によって結果をフィルタする場合に選択します。
値	必要な値を選択または入力します。

# [関係条件を結合] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,結合関係を使用して2つのクエリ・ノード間の接続を定義できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャまたは影響分析マネージャの[結合関係の追 加]ダイアログ・ボックスで,[ <b>追加</b> ]ボタン 🍡 をクリックします。
重要情報	結合関係条件のタイプ・リストの属性は選択できません。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプ 夕の実装」</li> </ul>

UI 要素	詳細
<選択したクエ リ・ノード 1>	選択したクエリ・ノード。1 つ目の属性は <end_1> に適用されます。</end_1>
<選択したクエ リ・ノード 2>	選択したクエリ・ノード。2 つ目の属性は <end_2> に適用されます。</end_2>
演算子	次の演算子のいずれかを選択します。
	• 等しい:選択した2つの属性が等しいかどうかがチェックされます。
	• 等しくない:選択した2つの属性が等しくないかどうかがチェックされます。
	<ul> <li>サブ・ストリング:1つ目の属性の値が、2つの属性の値の部分文字列かどう かがチェックされます。</li> </ul>
	<ul> <li>サブ・ストリング(大文字小文字を区別しない):1つ目の属性の値が、2つ目の属性の値の部分文字列かどうかがチェックされます(文字列の大文字と小文字は区別されません)。</li> </ul>
	注:演算子の等しくないを使用するときは、結合関係の両側で結果のサイズ が制限されていることを確認してください。膨大な量の結果によりシステム が過負荷になるのを避けるために、より具体的な条件を定義することをお勧 めします。

## [レイアウト設定] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,UCMDB API を使用するときに TQL クエリの計算に使用する属性を決 定できます。詳細については,『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「HP Universal CMDB Web サービス API」を参照してください。

利用方法	エンリッチメント・マネージャまたは影響分析マネージャの[クエリ ノード/ 関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>詳細レイアウト設定</b> ]をクリッ クします。
重要情報	このオプションは,CMDB API に問い合わせるときしか関係ないため,ユーザ・ インタフェースに対するクエリ結果は,このダイアログ・ボックスで選択する 属性の影響を受けません。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
属性名	属性の名前です。
計算	このチェック・ボックスを選択すると、クエリの計算に属性が含まれます。

[クエリ・ノード/関係のプロパティ] ダイアログ・ ボックス

このダイアログ・ボックスでは,選択した TQL クエリ・ノードまたは関係の属性条件を定義できます。

利用 エンリッチメント・マネージャ、影響分析マネージャ、モデリング・スタジオで利用するに方法 は、次の手順を実行します。

編集ペインで,必要なクエリ・ノードを右クリックし, [**クエリ ノード/関係のプロパ ティ**]を選択するか,必要なクエリ・ノードや関係をダブルクリックします。

	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の上部で[ <b>クエ</b> リ モード]を選択して[ <b>クエリ ノードのプロパテ</b> ィ]オプションを表示します。
	<ul> <li>DFM で利用するには、次の手順を実行します。</li> <li>1. [アダプタ定義] タブから利用するには、アダプタを選択し、[入力クエリ] ボック スの右にある [入力クエリの編集] パタンをクリックして、入力クエリ・エディ タを開きます。</li> <li>2. 必要なクエリ・ノードまたは関係を右クリックして [クエリノードのプロパティ] または [関係のプロパティ] を選択するか、必要なクエリ・ノードや関係をダブルク リックします。</li> </ul>
関連 タス ク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

示されま れます。 <b>名</b> ] ボッ ードが複
'プを変 ン・リス
IJ.
ジャで



[属性] タブ

このタブでは、クエリに表示されるクエリ・ノードの数を制限するための条件を定義する式を作成で きます。クエリ・ノードまたは関係に属性条件を追加して、クエリ結果をフィルタすることもできま す。

利用方法	[クエリ ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>属性</b> ]タブをク リックします。
重要情報	各行は,指定する属性条件を表します。 [And] / [Or] 列と [大括弧] 列を使用し て複数の条件をリンクします。これにより,より正確な論理ステートメントを構成 して必要な結果を生成できます。
	注: ・ このタブは、計算された関係には利用できません。

	<ul> <li>モデリング・スタジオで [クエリノード/関係プロパティ] ダイアログ・ ボックスにアクセスする場合、このタブはエンリッチ・ルールまたは影響 ルールが定義されるエンリッチメントや影響タイプでは読み取り専用です。</li> </ul>
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの 実装
	ス衣」 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	<ul> <li>「テノノレートのTF成方法」(24/ヘーン)</li> </ul>
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
+	<b>追加:</b> 属性条件行を追加します。属性名,演算子,値を選択して属性条件を定義し ます。
×	<b>削除:</b> 選択した属性条件を削除します。
	<b>上へ</b> :選択した行を上へ移動します。
$\checkmark$	<b>下へ</b> :選択した行を下へ移動します。
Q	<b>基準を表示:</b> 選択した条件の基準をポップアップ・ダイアログ・ボックスに表示し ます。
詳細レイア ウト設定	[レイアウト設定]ダイアログ・ボックスが開きます。このダイアログ・ボックス では,サードパーティー製ツールまたはカスタム・ツールで CMDB にクエリを行う ときに TQL クエリの計算で使用する属性を決定できます。
	<b>注:</b> この機能は、エンリッチメント・マネージャと影響分析マネージャにのみ 表示されます。
AND/OR	複数の条件をリンクさせるには、 [AND/OR] フィールド内をクリックし, [AND] または [OR] を選択します。
属性名	ドロップダウン・リストから属性を選択します。
	<b>注:</b> 次のいずれかの属性タイプを選択すると, <b>含まれる</b> 演算子は使用できませ
UI 要素	説明
------------	--
	$h_{\circ}$
大括弧 ( )	[ <b>大括弧</b> ] ボックス内をクリックすると、より複雑な論理ステートメントを作成す るのに使用できる括弧のリストが表示されます。
基準	[Cl インスタンス] ダイアログ・ボックスで定義した属性条件の定義が含まれてい ます。
標準設定値	パラメータ化された属性について、パラメータの標準設定値を入力します。
NOT	定義した内容と反対の条件構文を使用する場合に [NOT] を選択します。
	<b>注:</b> [NOT] を選択した場合, クエリの結果には, 値が割り当てられていない CI インスタンスのデータは含まれません。たとえば, システムに3つのノードが あり。ノード1には値 A が割り当てられ, ノード2 には値 B が割り当てられ, ノード3 には値が割り当てられていないとします。A に等しい値を持つすべて のノードを取得するクエリを作成し, [NOT] を選択した場合, ノード3 には 値が割り当てられていないため, クエリの結果にはノード2 のみが含まれま す。
演算子	必要な演算子を選択します。詳細については, 「属性演算子の定義」(37ページ)を 参照してください。
	<b>注:</b> 次のいずれかの属性タイプを選択すると, <b>含まれる</b> 演算子は使用できません。
パラメータ 化	属性にパラメータ化された値を定義する場合は, <b>[はい</b> ]を選択します。属性に固 定値を定義する場合は, <b>[いいえ</b> ]を選択します。
	<b>注:</b> この機能はモデリング・スタジオでのみ使用できます。
パラメータ 名	属性にパラメータ化された値を定義する場合は、パラメータ名を入力する必要があ ります。
	<b>注:</b> この機能はモデリング・スタジオでのみ使用できます。
値	属性の値を入力または選択します。 [ <b>値</b> ] オプションは,選択した属性タイプに応 じて変わります。
	<b>注:</b> キーボードで CTRL+v を押すと,コピーした値をウィンドウに貼り付けでき ます。

### [カーディナリティ] タブ

この領域では関係のカーディナリティを定義します。これにより、クエリ結果で関係の端部に得られる CI インスタンスの数を定義できます。

利用方法	[クエリ ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>カーディナリ</b> <b>ティ</b> ]タブをクリックします。
重要情報	選択したクエリ・ノードに関連付ける必要な関係を選択します。次に、クエリ結果 で関係の他端に含めるクエリ・ノードの下限と上限を定義します。
	各行は, 指定するカーディナリティ条件を表します。 [And] / [Or] 列と [大括 弧] 列を使用して複数の条件をリンクします。
	条件を定義する式を作成することによって,関係の接続クエリ・ノードが TQL クエ リ結果に含まれるようにする関係条件を定義できます。例については,「関係条件 の例」(76ページ)を参照してください。
	注:
	<ul> <li>このタブはクエリ・ノードが選択されているときにのみ表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>モデリング・スタジオで [クエリ ノード/関係プロパティ] ダイアログ・ ボックスにアクセスする場合。このタブはエンリッチ・ルールまたは影響</li> </ul>
	ルールが定義されるエンリッチメントや影響タイプでは読み取り専用です。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	<ul> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> </ul>
	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)

UI 要素	説明
*	<b>追加:</b> カーディナリティ条件行を追加します。クエリ・ノードと最大お よび最小値を選択してカーディナリティ条件を定義します。
×	<b>削除:</b> [カーディナリティ]領域からカーディナリティ条件が削除されます。
	<b>上へ:</b> 選択した行を上へ移動します。

UI 要素	説明
₩	<b>下へ:</b> 選択した行を下へ移動します。
Q	<b>基準を表示 :</b> ポップアップ・ダイアログ・ボックスに条件が表示されま す。
1*	[最小] ボックスに1を, [最大]ボックスに*を挿入します。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
0*	[最小] ボックスに0を, [最大] ボックスに*を挿入します。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにのみ関連します。
AND/OR	複数の条件をリンクさせるには, [AND/OR] フィールド内をクリック し, [AND] または [OR] を選択します。
大括弧()	[ <b>大括弧</b> ] ボックス内をクリックすると、より複雑な論理ステートメン トを作成するのに使用できる括弧のリストが表示されます。
基準	[Cl インスタンス] ダイアログ・ボックスで定義したカーディナリティ 条件の定義が含まれています。
最大	クエリ結果で関係の他端に含めるクエリ・ノードの上限を定義する値を 入力します。
	<b>注:</b> [ <b>最大</b> ] ボックスでアスタリスク(*)を使用すると, 無限大を 表します。
最小	クエリ結果で関係の他端に含めるクエリ・ノードの下限を定義する値を 入力します。
	たとえば、 <end_1> が lpAddress で、<end_2> が Windows の場合、[最小] ボックスに「1」と入力し、[最大] ボックスにアスタリスク(*) を入力すると、少なくとも1つの Windows オペレーティング・システム に接続されている IP アドレスのみが取得されます(アスタリスクは無限 大を表します)。[最小] ボックスに「3」と入力し、[最大] ボックス にアスタリスク(*) を入力すると、少なくとも3つの IP アドレスに接続 されている Windows オペレーティング・システムのみが取得されます。</end_2></end_1>
クエリ・ノード	選択したクエリ・ノードに関連付ける必要な関係を選択します。リスト には,選択したクエリ・ノードにリンクされている関係がすべて含まれ ます。
NOT	定義した内容と反対の条件構文を使用する場合に [NOT] を選択します。

UI 要素	説明
	注: [NOT] を選択した場合, クエリの結果には, 値が割り当てられ ていない CI インスタンスのデータは含まれません。たとえば, シス テムに3つのノードがあり。ノード1 には値 A が割り当てられ, ノード2 には値 B が割り当てられ, ノード3 には値が割り当てられ ていないとします。A に等しい値を持つすべてのノードを取得するク エリを作成し, [NOT] を選択した場合, ノード3 には値が割り当て られていないため, クエリの結果にはノード2 のみが含まれます。

#### 関係条件の例

関係条件の例は、次の TQL クエリに基づいています。



[関係のカーディナリティ]ダイアログ・ボックスで、クエリに対して次の関係条件を定義します。

- Containment 最小:2, 最大:4
- Membership 最小:1, 最大:\*

OR 演算子を使用すると、次のようにカーディナリティ セクションに定義が表示されます。

NOT	(	基準	)	AND/OR
		Containment (Node, IpAddress): 24		OR
		Membership (IpSubnet, Node) : 1*		

• [Containment (Node, IP Address)] OR [Membership (IP Subnet, Node)] は, ノードは 2 つから 4 つの IP アドレスを持っているか, または IP サブネットのメンバである必要があることを意味します。

AND 演算子を使用すると、次のようにカーディナリティ セクションに定義が表示されます。

NOT	(	基準	)	AND/OR
		Containment (Node, lpAddress) : 24		AND
		Membership (IpSubnet, Node) : 1*		

 [Containment (Node, IP Address)] AND [Membership (IP Subnet, Node)] は、ノードは2つから4つの IP アドレスを持ち、かつ IP サブネットのメンバでもある必要があることを意味します。

注: (0..0) のカーディナリティは,関係の両端がそのカーディナリティで定義場合の唯一の値で す。1 つの端がカーディナリティ (0..0) で定義され,他の端が別のカーディナリティで定義され る場合は,その条件は無効です。ただし,TQL クエリは保存されます (カーディナリティのクエ

#### リ結果に影響しません)。

[要素タイプ] タブ

この領域では、選択したクエリ・ノードまたは関係のサブタイプ条件を指定できます。

利用方法	[クエリ ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>要素タイプ</b> ] タブをクリックします。
重要情報	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。 このタブは,計算された関係には利用できません。
関連タスク	<ul> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> <li>「複合タイプ条件の定義方法 - シナリオ」(30ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
<凡例>	サブタイプの横に選択した条件に応じたアイコンが表示されます。
	• 🗯 子孫なしのサブタイプを含みます。
	• 🕸 子孫ありのサブタイプを含みます。
	• 🧖 子孫なしのサブタイプを除外します。
	• 🧏 子孫ありのサブタイプを除外します。
[CI タイプ] / [関係] ウィン ドウ	[サブタイプをカスタマイズ]を選択した場合, [CI タイプ]ウィンドウに, 選択した CI タイプのすべてのサブタイプのツリーが表示されます(関係につい ては, [関係]ウィンドウに選択した関係のすべてのサブタイプのツリーが表 示されます)。[条件]ウィンドウで条件を選択したら, [ <b>プレビュー</b> ]ボタ ン(()をクリックして[条件のプレビュー]ダイアログ・ボックスを開きます。
[条件] ウィン ドウ	詳細については, 「[条件]ウィンドウ」(78ページ)を参照してください。
サブタイプをカ スタマイズ	複合タイプ条件を設定する場合は [サブタイプをカスタマイズ] を選択しま す。下記のとおり, [Clタイプ] / [関係] ウィンドウのツリーから必要なサブ タイプを選択し, [条件] ウィンドウから条件を選択します。

UI 要素	説明
要素タイプ	簡易タイプ条件を設定する場合は[ <b>要素タイプ</b> ]を選択します。選択した CI タ イプのすべてのサブタイプを含める場合は, <b>[サブタイプを含める</b> ] チェッ ク・ボックスを選択します。すべてのサブタイプを含める場合は, チェック・ ボックスをクリアしてください。

#### [条件] ウィンドウ

UI 要素	説明
この条件を<選択した Cl タイプ>のすべての サブタイプに再帰的に 適用します	選択した CI タイプの指定条件を CI タイプの子孫すべてに再帰的に適用す る場合にこのチェック・ボックスを選択します。
CI タイプ別	クエリ結果で選択した CI タイプのすべてのインスタンスを含めるか除外 する場合に[ <b>CI タイプ別</b> ]を選択します。
修飾子別	クエリ結果で選択した特定修飾子付き CI タイプのすべてのインスタンス を含めるか除外する場合に [ <b>修飾子別</b> ] を選択します。修飾子一覧の ポップアップ・ウィンドウが表示されます。選択したサブタイプに必要 な修飾子を選択します。修飾子の詳細については,「[修飾子] タブ」 (80ページ)を参照してください。
条件	<ul> <li>選択した CI タイプの条件を選択します。次のオプションを利用できます。</li> <li>なし:この CI タイプには条件選択がありません。この CI タイプのイン スタンスはおよびすべての子孫がクエリ結果に含まれます。ただし, この CI タイプの親タイプが除外選択されており [この条件を&lt;選択し たサブタイプ&gt;のすべてのサブタイプに再帰的に適用します] チェック・ボックスが選択されている場合はこの限りではありません。</li> <li>クエリに&lt;選択したサブタイプ&gt;を含める。選択した CI タイプのインス タンスがクエリ結果に含まれます(選択した条件に基づく)。このオ プションが該当する状況の例には、CI タイプの親が除外選択されており [この条件を&lt;選択したサブタイプ&gt;のすべてのサブタイプに再帰的に適用します] チェックボックスが選択されている場合があります。 クエリ結果に指定したものを除いて親 CI タイプのすべてのサブタイプ を除外するように、特定のサブタイプを含めることもできます。</li> <li>クエリから&lt;選択したサブタイプ&gt;除外する。選択した CI タイプのイン スタンスがクエリ結果から除外されます(選択した条件に基づく)。</li> </ul>

[要素レイアウト] タブ

この領域では、選択したクエリ・ノードまたは関係のクエリ結果で帰された属性値を選択できます。

利用方法	[クエリ ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>要素レイアウ</b> <b>ト</b> ]タブをクリックします。
重要情報	特定 CIT のクエリ結果に含める属性を選択した場合,この選択は子孫 CIT にも適 用されます。[条件]ウィンドウで,手動で子孫 CIT の特定の属性を除外するこ とができます。
	このオプションは,CMDB API のクエリ時にのみ該当します。ユーザ・インター フェースのクエリ結果は,このダイアログ・ボックスで選択した属性の影響は受 けません。
	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。
	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。 このタブは,計算された関係には利用できません。
関連タスク	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。 このタブは,計算された関係には利用できません。 • 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
関連タスク	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。 このタブは,計算された関係には利用できません。 • 「TQL クエリの定義方法」(23ページ) • 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
関連タスク	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。 このタブは,計算された関係には利用できません。 ・「TQL クエリの定義方法」(23ページ) ・「パターン・ビューの作成方法」(246ページ) ・「テンプレートの作成方法」(247ページ)
関連タスク	このタブはモデリング・スタジオでのみ使用できます。 このタブは,計算された関係には利用できません。 ・「TQLクエリの定義方法」(23ページ) ・「パターン・ビューの作成方法」(246ページ) ・「テンプレートの作成方法」(247ページ) ・「パースペクティブの作成方法」(249ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
<凡例>	サブタイプの横に選択した属性条件に応じたアイコンが表示されます。
	• 邱 このサブタイプのすべての属性を含めます。
	• 🕸 このサブタイプの選択した属性のみが含まれます。
[CI タイプ] / [関係] ウィ ンドウ	[ <b>レイアウトの属性を選択</b> ]を選択した場合, [CIタイプ]ウィンドウに,選択 した CI タイプのすべてのサブタイプのツリーが表示されます(関係については, [関係]ウィンドウに選択した関係のすべてのサブタイプのツリーが表示されま す)。[条件]ウィンドウで条件を選択したら, [ <sub>プレビュー</sub> ] 🔍 ボタンをク リックして [条件のプレビュー] ダイアログ・ボックスを開きます。
[条件] ウィ ンドウ	詳細については, 「[条件]ウィンドウ」(79ページ)を参照してください。
属性なし	[ <b>属性なし</b> ]を選択した場合,選択したクエリ・ノードまたは関係について,ク エリ結果に属性値が返されません。
レイアウトの 属性を選択	[ <b>レイアウトの属性を選択</b> ]を選択した場合,選択したクエリ・ノードまたは関 係のクエリ結果に含める属性を選択できます。

[条件] ウィンドウ

UI 要素	説明
属性条件	<ul> <li>次のオプションのいずれかを選択します。</li> <li>なし:選択した要素のクエリ結果に属性は含まれません。</li> <li>すべて:選択した要素に定義されたすべての属性がクエリ結果に含まれます。</li> <li>特定の属性:選択した要素のクエリ結果に選択した属性のみが含まれます。</li> </ul>
Attributes with the following qualifiers	特定の修飾子の付いた属性を含めることができます。省略ボタンをクリックすると、利用可能な修飾子のダイアログ・ボックスが表示され必要な修飾子を選択することができます。 注: この機能は、 [属性] 条件で [特定の属性] を選択した場合にの み表示されます。
利用可能な属性	選択した要素に使用できる属性がすべて表示されます。
除外属性	[属性]条件に [すべて] を選択した場合, 属性を [除外属性] 表示枠 に移動することで, 選択した属性を除外できます。 親 CIT から属性選択を継承した CIT の [属性] 条件として [特定の属性] を選択した場合, 属性を [除外属性] 表示枠に移動することで選択から 特定の属性を除外できます。 または, CIT の選択修飾子付き属性を選択した場合は, 属性を [除外属 性] 表示枠に移動することで, 一部の属性を選択から除外できます。 属性は, 矢印ボタンを使用して表示枠内外に移動できます。
特定の属性を除外する	[利用可能な属性] および [除外属性] 表示枠および矢印ボタンを有効 化するにはこのチェック・ボックスを選択します。 注: この機能は, [属性] 条件で [すべて] を選択した場合にのみ表 示されます。
特定の属性	選択したノードに関してクエリ結果に含められる属性が表示されます。 属性は、矢印ボタンを使用して表示枠内外に移動します。 注:この機能は、[属性]条件で[特定の属性]を選択した場合にの み表示されます。

[修飾子] タブ

この領域では,選択したクエリ・ノードまたは関係の修飾子条件を定義できます。たとえば,修飾子を使用して, CIT を abstract として定義できます。これは,その CIT からインスタンスを作成できな

いことを意味します。

利用方法	[クエリ ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>修飾子</b> ]タブ をクリックします。
重要情報	標準設定では, 複数選択すると条件が OR 演算子でリンクされます。
	<b>注:</b> このタブは,DFM のエンリッチメント・マネージャ,影響分析マネー ジャ,または入力クエリ・エディタでのみ利用できます。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
<修飾子>	利用可能な修飾子オプションのリストについては, 「 [修飾子] ページ」(474 ページ)を参照してください。
無効な修飾子	このチェック・ボックスを選択すると, 要素は, 選択した修飾子のリストに修飾 子がない場合にのみクエリ結果に含まれます。

[ID] タブ

この領域では,選択した TQL クエリ・ノードに対して検出されたインスタンスの要素 ID に従って TQL クエリ結果をフィルタできます。

利用方法	[クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>ID</b> ]タブをクリックし ます。
重要情報	左右の矢印を使用して,必要な要素を左側の[ <b>オプション ID</b> ]表示枠から右側の [ <b>選択された ID</b> ]表示枠に移動して,TQL クエリ結果に含める要素を定義しま す。
	<b>注:</b> このタブはクエリ・ノードが選択されているときにのみ表示されます。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)

• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
<ul> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプ タの実装」</li> </ul>
• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)

含まれている要素は次のとおりです(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示します)。

UI 要素	説明
<ツールバー>	ツールバー・ボタンの説明は, 「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」 (62ページ)を参照してください。
[オプション ID] 表示枠	選択した TQL クエリ・ノードに対して検出されたインスタンスがすべて表示 されます。
[選択された ID] 表示枠	TQL クエリ結果に含める要素を定義するのに使用する要素が表示されます。

[クエリノードタイプの再設定] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは, TQL クエリの作成後に TQL クエリ・ノードの CI タイプを変更できます。

利用方法	影響分析マネージャまたはエンリッチメント・マネージャで必要なクエリ・ ノードを右クリックし, [ <b>クエリ ノード タイプの再設定</b> ]を選択します。 注:エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の上部 で <b>クエリ・</b> モードを選択して [ <b>クエリ ノード タイプの再設定</b> ] オプションを 表示します。
重要情報	Cl タイプを Cl タイプの子のいずれかのタイプに変更できます(存在する場 合)。そのような Cl タイプが存在しない場合,このオプションは表示されま せん。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> </ul>

モデリング・ガイド 第1章: トポロジ・クエリ言語(TQL)

	<ul> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・クエリ言語(TQL)の概要」(14ページ)</li> <li>「CI タイプ・マネージャ」(450ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<選択元の Cl タイプのリスト>	必要な Cl タイプを選択します。

## [関係のタイプを選択] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,作成する TQL 関係のタイプを選択できます。

利用方法	影響分析マネージャ,エンリッチメント・マネージャ,およびモデリング・スタ
	ジオの編集ペイン表で, ツールバーにある [ <b>関係を作成</b> ] ボタン 🏠 をクリック し, 2 つのクエリ・ノードの間に線を引きます。 [関係のタイプを選択] ダイア ログ・ボックスが自動的に開きます。
重要情報	次の関係のタイプのいずれかを選択します。
	• 通常の関係 : 詳細については, 「[関係の追加/編集]ダイアログ・ボックス」(50ページ)を参照してください。
	• 結合関係:詳細については,「[結合関係の追加/編集]ダイアログ・ボック ス」(48ページ)を参照してください。
	• 複合関係:詳細については, 「[複合関係の追加/編集]ダイアログ・ボック ス」(45ページ)を参照してください。
	• 計算関係:詳細については, 「[計算された関係の追加/編集] ダイアログ・ ボックス」(43ページ)を参照してください。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	<ul> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプ タの実装」</li> </ul>
	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
関連情報	• 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)

• 「CI タイプの関係」(452ページ)

## [サブグラフ条件の定義] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、クエリに表示されるクエリ・ノードの数を制限するための条件を作 成できます。

利用方法	DFM の影響分析マネージャ,エンリッチメント・マネージャ,および入力 クエリ・エディタで,[トリプレットの追加]ダイアログ・ボックスから [条件] 2をクリックします。 モデリング・スタジオで,[サブグラフ条件の定義]ダイアログ・ボック スから[条件] 2をクリックします。
重要情報	<ul> <li>次のタブが表示されます。</li> <li>属性:クエリ・ノードと関係に対して属性条件を定義できます。[属性] タブの要素の説明は、下の表を参照してください。各行は、指定する属 性条件を表します。[And] / [Or] 列と [大括弧] 列を使用して複数の 条件をリンクします。これにより、より正確な論理ステートメントを構 成して必要な結果を生成できます。</li> <li>修飾子 (DFM のエンリッチメント・マネージャ、影響分析マネージゃ、 または入力クエリ・エディタ用):選択したクエリ・ノードまたは関係の 修飾子条件を定義できます。詳細については、「[修飾子] タブ」(80 ページ)を参照してください。</li> </ul>
	• [要素タイプ] (モデリンク・スタジオ) 選択したクエリ・ノードまた は関係のサブタイプの条件を定義できます。詳細については,「[要素 タイプ] タブ」(77ページ)を参照してください。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「Microsoft Internet Information Services (IIS) Discovery」(『HP UCMDB</li> </ul>
	<ul> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
÷	<b>追加:</b> サブグラフ条件の定義が追加されます。
×	<b>削除:</b> サブグラフ条件の定義が削除されます。
	<b>上へ :</b> 選択した行を上へ移動します。
₩	<b>下へ</b> :選択した行を下へ移動します。
	<b>基準を表示 :</b> サブグラフの条件定義をポップアップ・ダイアログ・ボックスに表 示します。
AND/OR	複数の条件をリンクさせるには, [AND/OR] フィールド内をクリックし, [AND] または [OR] を選択します。
属性名	リストから属性を選択します。
大括弧()	[ <b>大括弧</b> ] ボックス内をクリックすると,より複雑な論理ステートメントを作成 するのに使用できる括弧のリストが表示されます。
СІТ	[ <b>ソース</b> ]リストと[ <b>ターゲット</b> ]リストから選択した CIT が含まれています。
	<b>注:</b> このオプションは,モデリング・スタジオからダイアログ・ボックスを 利用する場合には該当しません。
基準	[Cl インスタンス] ダイアログ・ボックスで定義した属性条件の定義が含まれて います。
NOT	定義した内容と反対の条件構文を使用する場合に [NOT] を選択します。
	<b>注:</b> [NOT] を選択した場合, クエリの結果には, 値が割り当てられていない CIインスタンスのデータは含まれません。たとえば, システム内に3つの ノードがあるとします。ノード1には値Aが割り当てられ, ノード2には値 Bが割り当てられ, ノード3には値が割り当てられていないとします。Aに 等しい値を持つすべてのホストを取得するクエリを作成し, [NOT] を選択 した場合, ノード3には値が割り当てられていないため, クエリの結果には ノード2のみが含まれます。
演算子	必要な演算子を選択します。詳細については,「属性演算子の定義」(37ページ) を参照してください。
値	属性の値を入力または選択します。 [ <b>値</b> ] オプションは,選択した属性タイプに 応じて変わります。

## [サブグラフの定義] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,特定の CI に関連する追加の TQL クエリ・データを表すグラフを作成できます。

利用方法	エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,モデリング・スタジオ で利用するには,次の手順を実行します。
	編集表示枠で必要なクエリ・ノードを右クリックし,[ <b>サブグラフの定義</b> ]を 選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・マネージャを使用している場合は,編集表示枠の 上部で <b>クエリ・</b> モードを選択して [ <b>サブグラフの定義</b> ] オプションを表示 します。
	DFM のアダプタ管理で利用するには,次の手順を実行します。
	1. [リソース]表示枠でアダプタを選択します。
	2. [ <b>アダプタ定義</b> ] タブで, [ <b>入力クエリの編集</b> ] 🌌 ボタン([入力ク エリ] ボックスの右)をクリックし, [入力クエリの編集] を開きま す。
	3. 必要なクエリ・ノードを右クリックして[ <b>サブグラフの定義</b> ]を選択し ます。
重要情報	次のアイコンが、サブグラフを定義するクエリ・ノードの横に表示されます。
関連タスク	• 「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
	• 「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
	• 「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
	<ul> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダ プタの実装」</li> </ul>
	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
関連情報	<ul> <li>「サブグラフ定義」(21ページ)</li> </ul>
	• 「サブグラフの定義を作成する方法 - シナリオ」(30ページ)

UI 要素	詳細
+	<b>追加:</b> サブグラフの定義が追加されます。DFM の影響分析マネージャ,エン リッチメント・マネージャ,および入力クエリ・エディタで,クリックして [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックスを開きます。モデリング・スタ ジオでは,クリックするとテーブルに行が追加されます。
×	<b>削除:</b> 選択したサブグラフ定義が削除されます。
	<b>条件:</b> サブグラフ定義を編集できます。DFM の影響分析マネージャ,エンリッ チメント・マネージャ,および入力クエリ・エディタでは, [トリプレットの 編集]ダイアログ・ボックスが開きます。モデリング・スタジオでは, [サブ グラフ条件の定義]ダイアログ・ボックスが開きます。
深度	DFM プロセスに含める必要がある CMDB の 2 つの CI 間で許可されている最長パ ス(つまり,最も接続の多いクエリ・ノード)の数です。 <b>標準設定:</b> 5
要素条件が存在 します	[サブグラフ条件の定義] ダイアログ・ボックスで,サブグラフの定義のソース,関係,またはターゲットのいずれかに属性条件が定義されている場合は,緑色のアスタリスクがその横に表示されます。詳細については,「[サブグラフ条件の定義] ダイアログ・ボックス」(84ページ)を参照してください。
関係	ソースからターゲット・クエリ・ノードへの接続に選択されている関係です。
関係の方向	選択されている関係の方向です。クエリ・ノード間の依存関係を示します。
ソース	選択されている必要なソース・クエリ・ノードです。
ターゲット	選択されている必要なターゲット・クエリ・ノードです。

## [ユーザプリファレンス] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、システムのプリファレンスをリセットできます。

利用方法	[ <b>ツール</b> ]>[ <b>ユーザ プリファレンス</b> ]を選択するか,またはステータス・バー で[ <b>ユーザ プリファレンスの構成</b> ]ボタン <sup>[1]</sup> をクリックします。
重要情報	選択したプリファレンスはすべて(特定のウィザード・ページを表示するかどう かや,警告メッセージのプリファレンスなど)システムに保存されます。このダ イアログ・ボックスでは,これらのプリファレンスをリセットできます。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<左の表示枠>	編集するプリファレンス・ページを選択します。次のオプションを利用でき ます。
	• ウィザード・プリファレンス特定のウィザード・ページを表示または非表 示に定義できます。
	<ul> <li>オプション・メッセージ・プリファレンス特定のメッセージを表示または 非表示に定義できます。</li> </ul>
	• ディスカバリ・プリファレンス下記を定義できます。
	• 特定のディスカバリーの警告メッセージを表示または非表示
	• 必要な初期設定の外部エディタ(メモ帳など)
	• 基本または詳細ディスカバリー・モードを使用するかどうか
	• 全般 一般的なアプリケーションの環境設定を定義することができます。
	• レポート初期設定で選択されたカスタム・レポートのカテゴリを設定する ことができます。
<プリファレン ス・リスト>	警告メッセージとユーザが選択したプリファレンスのリストです。
フィルタ基準	オプションのリストをフィルタするための検索語を入力します。
すべてリセット	クリックすると、すべてのプリファレンスが標準設定値にリセットされま す。
ページのリセット	クリックすると,選択したプリファレンスが標準設定値にリセットされま す。

トラブルシューティングと制限事項 – トポロ ジ・クエリ言語

本項では、トポロジ・クエリ言語のトラブルシューティングと制限事項について説明します。

- TQL クエリ, ビュー, 影響ルールなどのリソース作成時は, リソース名の最後にスペースがないようにしてください。
- マルチテナンシ環境では, TQL クエリ名に @ 文字を含めることはできません。
- モデリング管理者のビューで作業中、CMDBにCIを追加するとき、または既存のCIを更新するときにエラーが発生して、エラーログにオブジェクトがデータベース内にありませんと示された場合は、JMX コンソールにアクセスして[service = DAL services]から次の手順を実行します。

- rebuildModelViews
- rebuildModelDBSchemaAndViews
- モデリング・モジュールに移動するときにログインに長い時間がかかる場合、インフラストラク チャ設定マネージャに移動し, mam.gui.automation.flow.mapping.enabled 設定の値を false に設 定してください。これにより、自動化フロー機能が無効になりますが、モデリング・モジュール のログイン時間が改善します。
- TQL クエリを有効にするために、TQL クエリが特定の制限に従う必要があります。
   本項の内容
  - 「検証制限について」(89ページ)
  - 「影響分析 TQL クエリの検証」(90ページ)
  - 「エンリッチメント TQL クエリの検証」(91ページ)

検証制限について

影響分析,ディスカバリ,およびエンリッチメント TQL クエリ・タイプを有効にするには,これらが次の制限に従っている必要があります。

- 一意の名前: TQL クエリ要素は一意の名前である必要があります。
- 自己関係: TQL クエリは自己関係を含むことができません。つまり、次の例に示すように、関係 がクエリ・ノードから、そのクエリ・ノード自身につながっていてはいけません。



• 環状図:次の例に示すように、TQL クエリ構造は閉じた円にはできません。



クエリ・ノードとグループの分離:すべてのTQL クエリ・ノードは互いにリンクされている必要があります。つまり、次の例に示すようにTQL クエリは分離されたクエリ・ノードやグループを含むことはできません。



影響分析 TQL クエリの検証

影響分析 TQL クエリは次の制限にも従っている必要があります。

- **クエリ・ノードの数**:影響分析 TQL クエリは,少なくとも 2 つのクエリ・ノードで構成されている必要があります。
- トリガと影響を受けるクエリ・ノードが接続されていること: 起動されるクエリ・ノードから影響を受けるクエリ・ノードまでの関係のパスがある必要があります。
- 影響分析トリガとして機能するクエリ・ノードの選択:影響分析トリガとして機能するクエリ・

ノードを選択するときは、クエリ・ノードは次の制限に従う必要があります。

- 複数のクエリ・ノードをトリガとして選択できます。ただし、1つのクエリ・ノードを影響
   を受けるクエリ・ノードおよびトリガの両方として定義することはできません。
- クエリ・ノードに、下限が0の関係がある場合(つまり、関係の一端にクエリ・ノードが リンクされていないかもしれない場合)、他端にリンクされているクエリ・ノードは根本 原因クエリ・ノードになれません(TQLクエリに存在するかどうかわからないため)。下限 の詳細については、「[カーディナリティ]タブ」(74ページ)を参照してください。たとえ ば、構成アイテムは、最小0でクエリ・ノードに接続されているため、根本原因クエリ・ ノードまたは影響を受けるクエリ・ノードのいずれにもできません。



**注:** 非表示クエリ・ノードは,根本原因クエリ・ノードまたは影響を受けるクエリ・ ノードになれません。

 トリガ・クエリ・ノードと影響を受けるクエリ・ノードの間の接続:定義するトリガ・クエリ・ ノードと影響を受けるクエリ・ノードは、起動されたクエリ・ノードから影響を受けるクエ リ・ノードに関係のパスによって接続されている必要があります。

エンリッチメント TQL クエリの検証

エンリッチメント TQL クエリは、次の制限に従っている必要があります。

必須な要素:必須でないクエリ・ノードにはエンリッチメントは実行できません。必須でないクエリ・ノードとは、TQLクエリ結果に必ずしも表示されないクエリ・ノードのことです。
 例1:この例では、TQLクエリ結果はAおよびB、またはAおよびCです。このため、エンリッチメント・クエリ・ノードをクエリ・ノードBまたはCに追加できません。これらは必須な要素ではないためです。クエリ・ノードAにはエンリッチメント・クエリ・ノードを追加できます。このクエリ・ノードは常にTQLクエリ結果に表示されるためです。エンリッチメント・クエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「エンリッチメント・クエリ・ノードと関係をエンリッチメント TQL クエリに追加する方法」(495ページ)を参照してください。



**例 2**:この例では、A と B の両方が TQL クエリ結果に常に表示される必須な要素です。C のみ が、カーディナリティが 0 なので必須な要素ではありません。このため、C にはエンリッチメ ント・クエリ・ノードを追加できません。



# 第2章:計算された関係の使用

#### 本章の内容

•	計算された関係の概要	.93
•	計算関係	93
•	計算された関係のタイプ	. 94
•	複合 CI の折りたたみルールの設定方法	94

## 計算された関係の概要

計算された関係は,パスが CI タイプ・マネージャで関係が基づいているトリプレットに対し定義された条件を満たしている,2つの CI の間の接続を表します。トリプレットを定義する方法の詳細は,「[トリプレット]ページ」(475ページ)を参照してください。

CI タイプ・モデルのほかの関係と同様,計算された関係を使用して TQL クエリを作成できます。これ により,エンリッチメント・ルール,影響ルールおよびビュー・ルールは計算された関係をベースに することができます。

計算された関係の方向は、CIタイプ・モデルから得られる物理的な関係の方向と必ずしも同じである とは限りません。計算された関係のベースとなるトリプレットの定義方法に応じて、2つのCIの間に は関係が1つ以上存在する可能性があります。

## 計算関係

計算された関係は,1つ以上のトリプレットで定義されます。各トリプレットは次のコンポーネント で定義されます。

- 1つのソース CI タイプ
- 1つのターゲット CI タイプ
- 2つの CI タイプをリンクする物理的な関係タイプ(包含など)
- 必須の方向は、ソース CI とターゲット CI 間の物理的な関係の方向と同じまたは反対の、いずれの可能性もあります。

計算された関係は、クラス・モデル内から物理的な関係によって定義されるため、その存続期間は物 理的な関係の存続期間によって決まります。クラス・モデルの物理的な関係が削除されたときは、対 応する計算された関係もすべてのビュー結果から削除されます。

**注:** CI タイプ・マネージャで新しい CI タイプまたは関係を作成する場合は,適切なトリプレット を定義する必要があります。

#### トリプレット定義の例:

💿 Web Service	😰 Link	🔅 RunningSoftware	$\rightarrow$

# 計算された関係のタイプ

Impacted By という,定義済みの計算関係があります。Impacted By には2つのサブタイプが含まれ ており,それぞれが異なるタイプの依存関係(完全な依存と潜在的な依存)を表します。

- Impacted by (Directly)
- Impacted By (Potentially)

## 複合 CI の折りたたみルールの設定方法

このタスクでは、Configuration Manager で使用される複合 CI を定義する折りたたみルールの設定方法について説明します。複合 CI は管理ビューのコンテンツを形成します。

注: このタスクは, HP Universal CMDB Configuration Manager のユーザにのみ該当します。

#### 本項の内容

- 「前提条件」(94ページ)
- 「条件のない折りたたみルールの定義」(94ページ)
- 「条件付きの折りたたみルールの定義」(95ページ)
- 1. 前提条件

Configuration Manager の複合 CI のデータの表示方法を考慮し, 複合 CI の範囲のルールを決定します。

- 2. 条件のない折りたたみルールの定義
  - a. [モデリング] > [CI タイプ マネージャ] を選択します。
  - b. [CI タイプ]表示枠のリスト・ボックスから, [計算関係]を選択します。 [計算リンク] の下で, [折りたたみルール (Config Manager)]を選択します。
  - c. 右の表示枠で [トリプレット] タブをクリックします。
  - d. [**トリプレット**] タブで, 🛃 をクリックして [トリプレットの追加] ダイアログ・ボック スを開きます。トリプレットを次のように定義します。

UI 要素	詳細	
ソース	目的のソース CI タイプを選択します。	
<b>ターゲット</b> 目的のターゲット CI タイプを選択します。		
関係	ソース CI タイプとターゲット CI タイプに必要な関係を選択しま す。	
	<b>注:</b> 使用可能な関係のリストは, ソース CI タイプとターゲット CI タイプを定義した後にのみ表示されます。	
関係の方向	必要な方向を選択します。	
	。 🔿 方向は, ソースからターゲットです。	
	。 🖛 方向は, ターゲットからソースです。	
	関係の方向により, どちらが複合 CI でどちらがコンポーネント CI かが決まります。	
	<ul> <li>関係の矢印がターゲットに向いている場合、ソース・クエリ・ ノードは複合 CI で、ターゲット・クエリ・ノードはコンポーネ ント CI です。</li> </ul>	
	複合 CI コンボーネント CI	
	<ul><li>リース A</li><li>関係</li><li>ターゲット A</li></ul>	
	<ul> <li>関係の矢印がソースに向いている場合、ターゲット・クエリ・ ノードは複合 CI で、ソース・クエリ・ノードはコンポーネント CI です。</li> </ul>	
	コンボーネント CI 複合 CI	
	ソース B         関係         ターグット B	

変更を保存すると、Configuration Manager が変更の通知を受け取り、関連ビューを再計算します。

3. 条件付きの折りたたみルールの定義

特定のノードに属性条件を指定する場合は、このオプションを選択します。これらの条件に一 致する CI のみが Configuration Manager のルールで折りたたみが行われます。たとえば、特定の 名前を持つインストール済みのソフトウェアがノードのコンポーネント CI である場合にのみ、 指定できます。

- a. [モデリング] > [モデリング スタジオ] を選択します。
- b. [**リソース**] タブで, [リソースタイプ] リスト・ボックスから [**クエリ**] を選択しま す。
- c. まだ存在しない場合は、ツリーの [Configuration Manager] ノードで 4 をクリックして、Filtered Folding Rules というフォルダを追加します。
- d. **【新規作成】> [クエリ]** を選択して, TQL クエリ・エディタを開きます。次の構成を持った TQL クエリを定義します。

[ソース] > [関係] > [ターゲット]

ソース・ノードとターゲット・ノードの詳細については, 「条件のない折りたたみルールの 定義」(94ページ)の表を参照してください。TQL クエリ作成の全般的な情報については, TQL クエリの定義 を参照してください。

- e. [**プロパティの編集**] 「オタンをクリックし, [タイプ] ドロップ・ダウン・リストで [**パースペクティブ**] を選択します。
- f. **[OK**] をクリックします。
- g. ソース・クエリ・ノード・アイコンを右クリックし, [**コンタクト クエリ ノードとして設** 定]を選択します。
- h. ターゲット・クエリ・ノード・アイコンを右クリックし, [**クエリ ノードのプロパティ**] を選択します。 🛃 をクリックして, 折りたたみルールに必要な条件を指定します。
- i. [OK] をクリックして、変更内容を保存します。次の図に、折りたたみルールに定義された TQL クエリの例を示します。この例では、Node は TQL クエリのソース、 InstalledSoftware はターゲットです。



- j. 次の JMX コマンドを実行します:
  - i. Web ブラウザを起動して、次のアドレスを入力することによって、JMX コンソールに アクセスします。http://<サーバ名>:<ボート番号>/cnc/jmx-console。<サーバ名>は、 Configuration Manager がインストールされているマシンの名前です。
  - ii. JMX コンソールの認証資格情報を入力します。

- iii. [構成マネージャ] > [View Service] をクリックします。updateFoldingRules を選択して [Invoke] をクリックします。
- k. Configuration Manager のサーバを再起動します。

# 第3章:ダイレクト・リンクのURLの作成

#### 本章の内容

•	ダイレクト・リンクの生成 – 概要	98
•	ダイレクト・リンクの生成方法 - シナリオ	99
•	パラメータ値を含むテンプレートへのダイレクト・リンクの作成方法	99
•	JMX コンソールを使用してダイレクト・リンクのパスワードを暗号化する方法	100
•	[ダイレクト リンクを生成] のユーザ・インタフェース	100

## ダイレクト・リンクの生成 - 概要

ダイレクト・リンクを使用することで,別のユーザを HP Universal CMDB 内の特定のターゲット・ ビューまたは CI に誘導する URL を作成できます。

次のような URL を作成できます。

 HP Universal CMDBで特定のHP Universal CMDBビューまたは CI を直接開きます。これによりユーザ は、HP Universal CMDBコンテキストで検索せずにHP Universal CMDBから情報を取得できるように なります。

**注:** 特定のビューまたは CI を直接HP Universal CMDBで開くには, [**コンテキスト リンクで開** く] オプションを使用します。詳細については, 「 [コマンドを選択] ページ」(102ページ) を参照してください。

- HP Universal CMDBとの統合を可能にします。
  - [埋め込みリンク]オプションを使用して URL を作成した場合は、最初にHP Universal CMDBロ グイン・ページが表示されます。ログイン名とパスワードを入力すると、ターゲット・ページ がブラウザに表示されます。

**注:** ブラウザでターゲット・ページを開くには, [**埋め込みリンク**] オプションを使用します。詳細については, 「[コマンドを選択] ページ」(102ページ)を参照してください。

URL の作成時には次のことができます。

- URLを電子メール受信者に送信する
- URL をクリップボードにコピーする
- URL をテストして, ターゲット・アプリケーション・ページが見つかるか確認する

URL の送信先となるユーザには、ターゲット・ページを開くのに十分な権限が割り当てられているア カウントが必要です。ターゲット・ビューへのアクセスが必要なユーザおよびユーザ・グループに は、適切なビュー権限および編集権限を適用する必要があります。 【マネージャ】 > 【セキュリ **ティ】 > 【ロール マネージャ】**を選択します。詳細については、プラットフォーム管理の『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「Roles Manager Page」を参照してください。

# ダイレクト・リンクの生成方法 - シナリオ

本シナリオでは、ダイレクト・リンクを生成して特定の CI の URL を電子メールで別のユーザに送信 する方法について説明します。

Jane Harrison は ABC ソフトウェアという会社のシニア・エンジニアです。彼女は、自分が作成した ビューで問題のある CI を発見しました。そこで、HP ServiceCenterを通じてその同じビューを使用し ている Henry Jones に、この問題のある CI のことを知らせようと思いました。彼女が作成したビュー には何百もの CI が含まれているため、Henry がその特定の CI を探すのに多くの時間を割かなくても いいように、CI の URL を電子メールで Henry に送信することにしました。

Jane は IT ユニバース・マネージャの [編集] メニューから [ダイレクト リンクの生成] を選択しま した。そして, [コマンドの選択] ページで [コンテキストリンクで開く] を選択し, [ビューを表 示] オプションを選択してから [次へ] をクリックしました。

[ダイレクト リンク パラメータ] ページでは, Jane 自身が作成したビューと問題のある CI を選択 し, Henry が CI を開くモードとして [トポロジの表示] を選択しました。URL が作成されたので, Jane は問題のある CI へのリンクを電子メールで Henry に送信しました。

詳細については, 「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。

## パラメータ値を含むテンプレートへのダイレク ト・リンクの作成方法

このタスクでは, URL にパラメータ値を指定してテンプレートへのダイレクト・リンクを生成する方 法について説明します。

本項の内容

- 「テンプレートへのダイレクト・リンクを作成する」(99ページ)
- 「URL を編集する」(99ページ)
- 「ブラウザに URL を貼り付ける」(100ページ)
- 1. テンプレートへのダイレクト・リンクを作成する

IT ユニバース・マネージャで、[編集] > [ダイレクト リンクの生成] を選択して [ダイレクト リンクの生成] ウィザードを実行します。 [コマンドの選択] ページで、[埋め込みリンク] を選択します。オプションのリストから [トポロジの表示] を選択します。 [ダイレクト リン クパラメータ] ページで、ドロップダウン・リストから必要なテンプレートを選択します。

2. URL を編集する

ウィザードが完了したら, [URL をコピー]をクリックして, メモ帳などのテキスト・エディ タに URL に貼り付けます。

次のテキストを URL の末尾に追加します。

&params=[parameter1=value1,parameter2=value2]

ここで, parameter1 および parameter2 は選択したテンプレートのパラメータ名, value1 および value2 はパラメータに入力する値です。

**注:** 特殊文字は URL エンコーディングを使用して入力する必要があります。前述の例では, [文字の URL エンコーディングは %5B,]文字の URL エンコーディングは %5D, コンマ の URL エンコーディングは %2C です。このため,入力する実際のテキストは次のようにな ります。

&params=%5Bparameter1=value1%2Cparameter2=value2%5D

3. ブラウザに URL を貼り付ける

ブラウザに URL を貼り付けます。HP Universal CMDB は,指定した値が割り当てたパラメータを 含む,選択されているテンプレートを開きます。

JMX コンソールを使用してダイレクト・リンクのパスワードを暗号化する方法

このタスクでは、JMX コンソールを使用してダイレクト・リンク内に含まれるパスワードを暗号化する方法について説明します。

JMX コンソールを使用してダイレクト・リンクのパスワードを暗号化するには,次の手順を実行します。

- Web ブラウザを起動して、次のアドレスを入力します。http://<サーバ名>:<ボート番号>/jmxconsole に移動します。ここで、<サーバ名> は、HP Universal CMDB がインストールされている マシンの名前です。
- 2. [UCMDB-UI] 下で, [UCMDB Integration] を検索します。
- 3. getEncryptedPasswordForURL でユーザ名と暗号化するパスワードを入力します。
- 4. [Invoke]をクリックして暗号化された文字列を表示します。

[ダイレクトリンクを生成] のユーザ・インタ フェース

本項の内容

- 「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)
- 「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)

## [ダイレクトリンクの生成] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,ユーザに送信して HP Universal CMDBにアクセスできるようにする ための URL を作成できます。

利用方法	[モデリング] メイン・メニューから, [編集] > [ダイレクト リンクの生 成] を選択します。「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)でダ イレクト・リンクのパラメータを設定した後, [完了] ページで [完了] をク リックして [ダイレクト リンクの生成] ダイアログ・ボックスを開きます。 IT ユニバース・マネージャで, [ビューの参照] モードの [Clの選択] ツール バーで [ビューへのダイレクト リンクを生成] ☞ ボタンをクリックします。 [レポート] モジュールのツールバーで [ダイレクト リンクの生成] ☞ ボタ ンをクリックするか, [モデリング] メイン・メニューで [操作] > [ダイレク ト リンクの生成] > [アプリケーションへのダイレクト リンク] を選択しま す。
関連タスク	「ダイレクト・リンクの生成方法 - シナリオ」(99ページ)
関連情報	「ダイレクト・リンクの生成 – 概要」(98ページ)

UI 要素	詳細
URL をコピー	URL がクリップボードにコピーされます。
説明	URL に含まれるパラメータについて説明します。パラメータの選択の詳細については, 「[コマンドを選択]ページ」(102ページ)を参照してください。
リンク URL	作成された URL で,指定のHP Universal CMDB機能にアクセスします。
URL をメール	リンクの URL が含まれた電子メールが開きます。
URL をテスト	指定されたアプリケーション・ページが見つかるかどうか URL が検査されま す。
	<b>注:</b> このボタンは, Linux の使用時には利用できません。

### ダイレクト・リンクの生成ウィザード

このウィザードでは,別のユーザを HP Universal CMDB 内の特定のターゲット・ビューまたは CI に誘 導する URL を作成できます。

利用方法	[ <b>モデリング</b> ]メイン・メニューから, <b>[編集]&gt;[ダイレクト リンクの生</b> <b>成]</b> を選択します。
重要情報	標準設定では,このウィザードは [ようこそ] ページを表示するように設定 されています。 [ようこそ] ページを表示しないようにするには, [ <b>次回か</b> <b>らこのページを表示しない</b> ] チェック・ボタンを選択します。
関連タスク	「ダイレクト・リンクの生成方法 - シナリオ」(99ページ)
ウィザード・マッ プ	[ダイレクト リンクの生成] ウィザードには次の項目が含まれます。 「[コマンドを選択]ページ」(<[コンテキストリンクで開く]オプション >と<[埋め込みリンク]オプション>)> 「[完了]ページ」
関連情報	「ダイレクト・リンクの生成 – 概要」(98ページ)

[コマンドを選択] ページ

このウィザード・ページでは, URL に追加する必要のある必須パラメータを選択できます。

次の2種類のリンクを作成できます。

- **コンテキスト・リンクで開く:** HP Universal CMDBコンテキストである必要なしに,特定のビュー または CI を直接 HP Universal CMDB に開く URL を作成します。
- 埋め込みリンク: HP Universal CMDB アプレットを外部アプリケーションに埋め込むことができる URL を作成します。

重要情 報	標準設定では,このウィザードは [ようこそ] ページを表示するように設定されていま す。 [ようこそ] ページを表示しないようにするには, [次回からこのページを表示し ない] チェック・ボタンを選択します。
ウィ ザー ド・ マップ	[ダイレクト リンクの生成] ウィザードには次の項目が含まれます。 「【コマンドを選択】ページ」(< [コンテキストリンクで開く] オプション>と< [埋め 込みリンク] オプション>)>「【完了】ページ」
関連情 報	「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<左の表示 枠>	選択したコマンドのイラストです。
CII グリッ ド	CMDB で見つかった,選択した CI タイプとその子のすべての CI インスタンスを表示 する URL を作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ] - [CII グリッド]ページ」(107ページ)を参照してください。
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
CI の選択	選択したビューの CI を表示する CI の選択を外部アプリケーションに埋め込む URL を 作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ]-[CI の選択] ページ」(105ページ)を参照してください。
	注: [埋め込みリンク]オプションを選択した場合にのみ使用できます。
CI タイプ・ セレクタ	CI タイプ・セレクタを外部アプリケーションに埋め込む URL を作成します。詳細に ついては, 「[ダイレクト リンク パラメータ]-[CI タイプ セレクタ]ページ」 (106ページ)を参照してください。
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
詳細	選択したコマンドの説明です。
影響マップ	影響マップを外部アプリケーションに埋め込む URL を作成します。詳細について は, 「[ダイレクト リンク パラメータ] - [影響マップ]ページ」(107ページ)を参 照してください。
	注: [埋め込みリンク]オプションを選択した場合にのみ使用できます。
モデル・エ ディタ	モデル・エディタを,モデル・エディタの CI の選択で選択した CI を強調表示して外部アプリケーションに埋め込む URL を作成します。詳細については,「[ダイレクトリンクパラメータ]-[モデルエディタ]」(109ページ)を参照してください。
	<b>注: [埋め込みリンク</b> ] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
クエリ・エ ディタ	選択した TQL クエリが表示されているモデル・エディタを外部アプリケーションに 埋め込む URL を作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ] -[クエリ エディタ]」(110ページ)を参照してください。
	注: [埋め込みリンク]オプションを選択した場合にのみ使用できます。
関連 CI	選択したビュー内で選択した CI とその直接の隣接を表示するトポロジ・マップを開 く URL を作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ] – [関連 CI]ページ」(110ページ)を参照してください。

### モデリング・ガイド 第3章: ダイレクト・リンクの URL の作成

UI 要素	詳細
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
レポート・ ビューア	特定のレポートを開く URL を作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ]-[レポート ビューア]ページ」(111ページ)を参照してください。
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
レポート・ ビューア - 保存済みレ	保存済みのトポロジまたはカスタム・レポートを開く URL を作成します。詳細につ いては, 「[ダイレクト リンク パラメータ]-[レポート ビューア]-[保存済みレ ポート]ページ」(112ページ)を参照してください。
シート	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
Cl プロパ ティを表示	Cl プロパティを表示する URL を作成します。詳細については, 「[ダイレクト リン ク パラメータ]-[Cl プロパティを表示]ページ」(112ページ)を参照してくださ い。
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
ビューを表 示	選択したビューおよび,任意でそのビューに事前に選択したクエリ・ノードを表示 する URL を作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ] – [ビューを表示]ページ」(115ページ)を参照してください。
	<b>注: [コンテキストリンクで開く</b> ]オプションを選択した場合にのみ使用できま す。
ビュー・ト ポロジを表 示	選択したビューのトポロジ・マップを表示し,そのトポロジ・マップを外部アプリ ケーションに埋め込む URL を作成します。詳細については,「[ダイレクト リンク パラメータ] – [ビュー トポロジを表示]ページ」(113ページ)を参照してくださ い。
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。
モードで開 始	選択したページで HP Universal CMDB を開く URL を作成します。詳細については, 「[ダイレクト リンク パラメータ]-[モードで開始]ページ」(116ページ)を参照 してください。
	<b>注: [コンテキストリンクで開く</b> ]オプションを選択した場合にのみ使用できま す。
ステップ	手順の現在のステップ。
ビューエ	モデリング・スタジオのパターン・ビュー・エディタで特定のビューを開く URL を

UI 要素	詳細
ディタ	作成します。詳細については, 「[ダイレクト リンク パラメータ]ページ – [ビュー エディタ]ページ」(114ページ)を参照してください。
	<b>注: [埋め込みリンク</b> ]オプションを選択した場合にのみ使用できます。
ビュー・セ レクタ	ビュー・セレクタを外部アプリケーションに埋め込み,アプリケーション内で ビューを選択,表示できるようにする URL を作成します。詳細については,「[ダ イレクト リンク パラメータ]-[ビュー セレクタ]ページ」(114ページ)を参照して ください。
	注: [埋め込みリンク] オプションを選択した場合にのみ使用できます。

[ダイレクトリンクパラメータ] - [CIの選択] ページ

このウィザード・ページでは,選択したビューの CI を表示する CI の選択を外部アプリケーションに 埋め込む URL を作成できます。

ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [Cl の選択]) > 「[完了] ページ」
重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了]をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>

UI 要素	詳細
複数選択を許可	CIの単一選択または複数選択を可能にします。
選択されたビュー	CIを選択する必要のあるビューを選択します。   ・

### [ダイレクトリンクパラメータ] - [CIタイプセレクタ] ページ

このウィザード・ページでは、外部アプリケーションに埋め込むことができる、選択した CI タイプの階層ツリーまたはリストへの URL を作成できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了]をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [CI タイプ セレクタ]) > 「[完了]ページ」

UI 要素	詳細
CI タイプ・セレ クタ・モード	選択した CI タイプが階層ツリーまたはリストで表示されます。
非表示 CIT(ツ リーのみ)	<ul> <li>ツリーに表示しない CI タイプを選択します。</li> <li> <ul> <li>                  をクリックして, [CI タイプセレクタ] ダイアログ・ボックスを開きます。ツリーに表示する CI タイプを選択します。</li> </ul> <li>                  をクリックして, 選択した CI タイプを削除します。</li> </li></ul>
ルート CI タイ プ (ツリーの み)	<ul> <li>階層ツリーで、ルート CI タイプとして使用する CI タイプを選択します。</li> <li>をクリックして、[CI タイプセレクタ]ダイアログ・ボックスを開きます。階層ツリーで、ルート CI タイプとして使用する CI タイプを選択します。</li> <li>をクリックして、選択した CI タイプを削除します。標準設定は [構成ア イテム]です。</li> </ul>
選択モード	CI タイプの単一選択または複数選択を可能にします。
選択不可の CIT (ツリーのみ)	<ul> <li>ツリーで選択できない CI タイプを選択します。</li> <li> ● をクリックして、[CI タイプセレクタ]ダイアログ・ボックスを開きます。ツリーで選択できない CI タイプを選択します。 </li> <li> ● をクリックして、選択した CI タイプを削除します。 </li> </ul>

UI 要素	詳細
可視 CIT(リス トのみ)	<ul> <li>CIタイプ・リストに表示する CIタイプを選択します。</li> <li>をクリックして、[CIタイプセレクタ]ダイアログ・ボックスを開きます。CIタイプ・リストに表示する CIタイプを選択します。</li> </ul>
	• 赵 をクリックして,選択した CI タイプを削除します。
	<b>注:</b> CIT をリストに表示することを選択した場合は, 少なくとも1つの CI タ イプを選択する必要があります。

## [ダイレクトリンクパラメータ] - [CIIグリッド] ページ

このウィザード・ページでは, CMDB で見つかった, 選択した CI タイプとその子のすべての CI イン スタンスを表示できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「 [コマンドを選択] ページ」( [埋め込みリンク] > [Cll グリッド] ) > 「 [完 了] ページ」
関連情 報	「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
クラス・タイプ	必要な Cl タイプを選択します。
	<ul> <li>・ をクリックして、必要なCIタイプを選択します。</li> <li>・ ※ をクリックして、ボックスをクリアします。</li> </ul>

### [ダイレクトリンクパラメータ] - [影響マップ] ページ

このウィザード・ページでは、影響分析マネージャで定義した影響分析ルールを実行できます。作成 された URL では、選択した重大度および状態に対するトリガ CI の影響を受けるすべての CI のシミュ レーションが表示されたトポロジ・マップを埋め込むことができます。詳細については,「[影響分析を実行]ダイアログ・ボックス」(225ページ)を参照してください。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [影響マップ]) > 「[完了] ページ」
関連情 報	「IT ユニバース・マネージャ」(173ページ)

UI 要素	詳細
CI タイプで フィルタ	影響分析結果に表示しない CI タイプを選択します。
	•
	• 🞽 をクリックして,選択した CI タイプを削除します。
ルール・バン ドル	影響ルールを実行できる場所を定義できます。
重大度	ドロップダウン・リストで必要な重大度を選択します。
	<b>注:</b> 状態の重大度リストは,システム・タイプ・マネージャで定義されます。 詳細については,「システム・タイプ・マネージャ」(453ページ)を参照して ください。
	たとえば、トリガ・クエリ・ノードの重大度を「変更なし」以外として定義する 影響ルールを影響分析マネージャで作成するとします(「[影響ルール定義]ダ イアログ・ボックス」(444ページ)を参照してください)。この場合、「No Change」以外の重大度(たとえば、「Plan」)を選択すると、条件が一致し、シ ミュレートされたシステム内の変化が起動されます。
	詳細については, 「[影響分析を実行]ダイアログ・ボックス」(225ページ)を参照してください。
トリガ CI	• をクリックして,影響マップでトリガとして使用する CI を選択します。 これらの CI は,システムに対するシミュレートされた変更を表します。 [CI の
UI 要素	詳細
-------	---
	選択] ダイアログ・ボックスが開きます。 [Cl の選択] 表示枠の使用方法の詳 細については, 「Cl セレクタ」(130ページ)を参照してください。
	• 🐱 をクリックして,選択した CI を削除します。

[ダイレクトリンクパラメータ] - [モデルエディタ]

このウィザード・ページでは、モデル・エディタを、モデル・エディタのCIの選択で選択したCIを 強調表示して外部アプリケーションに埋め込むことができます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [モデル エディタ]) > 「[完了]ページ」
関連情 報	「ビジネス CI モデル」(238ページ)

UI 要素	詳細
モデル名	モデル・エディタに表示するモデルを選択します。
	<ul> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ をクリックして、 [モデルを選択] ダイアログ・ボックスを開きます。モデル・エディタに表示するモデルを選択します。</li> <li>・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</li></ul>
選択された	モデル・エディタの CI の選択で強調表示する CI を選択します。
検索中 CI	• をクリックして, [CIの選択]を開きます。
	• 🐱 をクリックして,選択した CI を削除します。

### [ダイレクトリンクパラメータ] - [クエリエディタ]

このウィザード・ページでは,選択した TQL クエリが表示されているモデル・エディタを外部アプリケーションに埋め込むことができます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [クエリ エディタ]) > 「[完了]ページ」
関連情 報	「ビジネス CI モデル」(238ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
クエリ名	モデル・エディタに表示するモデルを選択します。
	<ul> <li>をクリックして、[クエリを選択]ダイアログ・ボックスを開きます。モデル・エディタに表示するクエリを選択します。</li> </ul>
	• 🞽 をクリックして,選択したクエリを削除します。

[ダイレクトリンクパラメータ] – [関連 CI] ページ

このウィザード・ページでは,トポロジ・マップを外部アプリケーションに埋め込むことができます。このマップは特定の CI と,ただ1つの関係の距離でその CI にリンクされているすべての CI を表示します。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [関連 Cl] ) > 「[完了]ペー
ザー	ジ」

ド・ マップ

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
CI	トポロジ・マップに表示する CI のタイプを選択します。
	• - をクリックして,必要な CI タイプを選択します。 [CI の選択] ダイアロ グ・ボックスが開きます。
	• 🞽 をクリックして, [CI] ボックスの値を削除します。
() タイプで	1 つ以上の Cl タイプの関連 Cl にトポロジ・マップの結果を制限します。
フィルタ	• - をクリックして,必要な CI タイプを選択します。
	• 😹 をクリックして,[ <b>CI タイプでフィルタ</b> ]ボックスの値を削除します。
表示に限定	特定のビューの関連 CI にトポロジ・マップの結果を制限します。
	<ul> <li>をクリックして、必要なビューを選択します。 [ビュー セレクタ] ダイアログ・ボックスが開きます。</li> </ul>
	• をクリックして、 [表示に限定] ボックス内の選択したビューを削除します。

[ダイレクトリンクパラメータ] - [レポートビューア] ページ

このウィザード・ページでは,特定のレポートを開く URL を作成できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [レポート ビューア]) > 「[完了]ページ」

UI 要素	詳細	
レポート・ タイプ	必要なレポート・タイプを選択します。各レポート・タイプの詳細については, ポート」(327ページ)を参照してください。	۲L

[ダイレクトリンクパラメータ] - [レポートビューア] - [保 存済みレポート] ページ

このウィザード・ページでは,保存済みのトポロジまたはカスタム・レポートを開く URL を作成できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [レポート ビューア - 保存済み レポート]) > 「[完了]ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
レポート	必要な保存済みレポートを選択します。
	<ul> <li>をクリックして、[レポートの選択] ダイアログ・ボックスを開きます。必要なトポロジまたはカスタム・レポートを選択します。</li> <li>をクリックして、選択したレポートを削除します。</li> <li>保存済みレポートの詳細については、「レポート」(327ページ)を参照してください。</li> </ul>

[ダイレクト リンク パラメータ] - [CI プロパティを表示] ペー ジ

このウィザード・ページでは、既存の CI の基本情報を表示できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> </ul>
	• ウィザードを閉じて URL を作成するときは [ <b>完了</b> ] をクリックします。詳細につい

モデリング・ガイド 第3章: ダイレクト・リンクの URL の作成

	ては, 「[ダイレクト リンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照し てください。
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [Cl プロパティを表示]) > 「[完了]ページ」
関連情 報	「[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス」(199ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
ソース CI のオブジェ クト ID	必要な CI を選択します。 ●
	<ul> <li>をクリックして、[ソース CI のオブジェクト ID] ボックス内の値 を削除します。</li> </ul>

[ダイレクトリンクパラメータ] - [ビュートポロジを表示] ページ

このウィザード・ページでは,選択したビューのトポロジ・マップを表示し,そのトポロジ・マップ を外部アプリケーションに埋め込むことができます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [ビュー トポロジを表示]) > 「[完了]ページ」

UI 要素	詳細
次のビューのトポロジ を表示	<ul> <li>をクリックして、URLによって開く必要があるビューを選択します。</li> <li>ビューセレクタ]ダイアログ・ボックスが開きます。</li> </ul>
	<ul> <li>をクリックして、ビュー・ボックスの[トポロジの表示]で選択したビューを削除します。</li> </ul>

[ダイレクトリンクパラメータ]ページ - [ビューエディタ] ページ

このウィザード・ページでは,モデリング・スタジオのパターン・ビュー・エディタで特定のビューを開く URL を作成できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [ビュー エディタ]) > 「[完了]ページ」
関連情 報	「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
ビュー名	<ul> <li>・ たクリックして、URLによって開く必要があるビューを選択します。[ビュー セレクタ]ダイアログ・ボックスが開きます。</li> <li>・ 次に、 をクリックして、[ビュー名]ボックスで選択したビューを削除します。</li> </ul>

### [ダイレクトリンクパラメータ] - [ビューセレクタ] ページ

このウィザード・ページでは,ビュー・セレクタを外部アプリケーションに埋め込み,そのアプリ ケーションでビューを選択,表示するようにできます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([埋め込みリンク] > [ビュー セレクタ]) > 「[完了]ページ」
関連情 報	「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)

[ダイレクトリンクパラメータ] – [ビューを表示] ページ

このウィザード・ページでは、特定のビュー、および任意でそのビューで選択した特定のノードの URLを作成できます。ビューが開くと、選択した CI がビュー内で選択された状態になります。 ビューは IT ユニバース・マネージャ内で開きます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成] ウィザードの全般的な情報については,「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了] をクリックします。詳細については,「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([コンテキストリンクで開く] > [ビューを表示]) >「[完了]ページ」

以下では、使用されるインタフェース要素について説明します。

UI 要素	詳細
<左の表 示枠>	選択したオプションのイラストです。
詳細表示 枠 (可視 性)	IT ユニバース・マネージャの詳細表示枠を表示または非表示にします。
ビュー結 果から CI を選	CIを選択してそのオブジェクト ID を取得するときにクリックします(任意指定)。 ビューが開くと,選択した CI がビュー内で選択された状態になります。

UI 要素	詳細
択	<ul> <li>         をクリックして、ターゲット・ビューで選択するCIを選び、そのオブジェクト         ID を取得します。[CIの選択]ダイアログ・ボックスが開きます。詳細について         は、「CIセレクタ」(130ページ)を参照してください。     </li> <li>         をクリックして、[ビュー結果からCIを選択]ボックスで選択したCIのオブ         ジェクトID を削除します。     </li> </ul>
選択され たビュー	<ul> <li>URL で開くターゲット・ビューです。</li> <li> をクリックして、URL によって開くターゲット・ビューを選択します。 [ビューの選択] ダイアログ・ボックスが開きます。 </li> <li> 次に、 をクリックして、[選択したビュー] ボックス内の選択したビューを削除します。 </li> </ul>
ビュー・ モード	次のビュー・オプションを使用できます。 ・ トポロジの表示:ビュー内の全レイヤが表示されます。 ・ ビュー内の関連 CI:現在のビュー内の選択された CI とその直接の隣接が表示されます。 ・ CMDB 内の関連 CI:CMDB 内の選択された CI とその直接の隣接が表示されます。

[ダイレクトリンクパラメータ] - [モードで開始] ページ

このウィザード・ページでは,たとえば [モデリングスタジオ]ページなど,選択したページで UCMDB アプリケーションを開始できます。

重要情 報	<ul> <li>[ダイレクトリンクの生成]ウィザードの全般的な情報については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。</li> <li>ウィザードを閉じて URL を作成するときは [完了]をクリックします。詳細については、「[ダイレクトリンクの生成]ダイアログ・ボックス」(101ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「[コマンドを選択]ページ」([コンテキストリンクで開く] > [モードで開始] ページ) > 「[完了]ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<左の表示枠>	選択したモードのイラストです。
初期モード	選択したモードで UCMDB アプリケーションを開始します。

#### [完了] ページ

これは [ダイレクト リンクの生成] ウィザードの最後のページです。ウィザードを閉じて URL を作 成するときは [**完了**] をクリックします。 [ダイレクト リンクの生成] ダイアログ・ボックスが開 きます。

重要情報	[ダイレクト リンクの生成] ウィザードの全般的な情報については, 「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。
ウィザー ド・マッ プ	「[コマンドを選択]ページ」(<[コンテキストリンクで開く]オプション>と< [埋め込みリンク]オプション>)> <b>「[完了]ページ」</b>

# 第4章:ダイレクト・リンクを使用した UCMDB アプレットの埋め込み

#### 本章の内容

- ダイレクト・リンク機能を使用した UCMDB アプレットの埋め込み ......118
- UCMDB アプレット・タグ 概要 ......119
- ダイレクト・リンク操作フロー ......120

注:この章は、統合開発者にのみ関係があります。

# ダイレクト・リンク機能を使用した UCMDB アプレットの埋め込み

ダイレクト・リンクを使用して UCMDB アプレットを外部アプリケーションに直接埋め込むことがで きます。ダイレクト・リンクは、ダイレクト・リンク・ウィザードを使用して作成する URL です。 詳細については、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。

UCMDB アプレットは、次の方法で埋め込むことができます。

 URL そのものを使用して、CMDBのコンテンツを外部アプリケーションに表示します。たとえば、 ダイレクト・リンク・ウィザードで URL を作成して、特定の CI プロパティを表示できます。HP Universal CMDB で有効でない場合、ログイン・ページが開きます。

注: URL を使用した統合を可能にするには、Iframe または新規ウィンドウでリンクを開く必要 があります。この場合、クロスサイト・スクリプティングに関する問題により、UCMDB アプ レットを Javascript を使用して管理することはできません。たとえば、オブジェクト ID を使 用して特定 CI プロパティを表示する URL を使用する場合、同じ URL を使用して他の CI プロパ ティを表示することはできません。

UCMDB アプレット・タグを使用して、UCMDB アプレットを外部アプリケーションに埋め込みます。これにより、統合開発者は HP Universal CMDB ユーザ・インタフェースの一部を独自のアプリケーションの一部として表示できます。また、Javascript を使用した埋め込み HP Universal CMDB ユーザ・インタフェースとのやり取りが可能になります。

### UCMDB アプレット・タグ - 概要

UCMDB アプレット・タグは,UCMDB アプレットの実行に必要な環境(HTML, Javascript,および サーバ・セッションのパラメータ)を作成します。次のいずれかの場合,タグの背後にあるコードに より,HP Universal CMDB サーバにログインできます。

- ログイン・パラメータが指定されていて、ユーザがまだログインしていない
- clear session パラメータが true である。

ユーザ・セッションが確立されると、JSP プロセッサが結果を出すまで、タグは必要なアプレット環 境(HTML および Javascript コード)の記述を続けます。生成された HTML ページには、指定した サーバから UCMDB アプレットをロードするのに必要な Javascript コードが含まれます。エラー発生 時には、指定されたエラー文字列がページに印刷されます。この文字列は、userErrorMessage パラ メータを使用してカスタマイズできます。また、エラー処理シナリオを開始するための HTML 要素お よび HTML ラップ Javascript コードを含むことがあります。

#### UCMDB アプレット・タグのユース・ケース

<ucmdb:ucmdb\_applet serverConnectionString="http://server\_name.server\_domain:server\_port" serverType="UCMDB" directLinkParameters="initViewName=NetworkTopology" userName="user-name" userPassword="password" customerId="1" encoded="false" printDebugLogs="true" userErrorMessage="This is your general error" navigation="false" clearSessionCookies="false" command="ShowCISelector"/>

**注意: directLinkParameters** は、ダイレクト・リンク・ウィザードで作成された URL から取 得します。各パラメータの値を、表示どおりにタグに挿入します。上記に表示されてない パラメータ値が URL に含まれている場合、それらをコピーして、タグの **directLinkParameters** 行に追加します。ダイレクト・リンクを作成する方法の詳細につい ては、「ダイレクト・リンクの生成ウィザード」(102ページ)を参照してください。

UCMDB アプレット・タグは **<HP Universal CMDBルート・フォルダ>\deploy\ucmdb-ui\WEB-**INF\ucmdb\_applet.tag にあります。

UCMDB アプレット・タグを外部アプリケーション・サーバにコピーできます。次の場合,UCMDB ア プレット・タグは HP Universal CMDB サーバからのログイン・データを要求します。

- 外部アプリケーション・サーバが JSP タグとやり取りできる場合。
- 外部アプリケーション・サーバおよびブラウザが HP Universal CMDB サーバにアクセスできる場

合。

# ダイレクト・リンク操作フロー

本項では,ダイレクト・リンクを使用して UCMDB アプレットを外部マシンに埋め込むさまざまなシ ナリオを説明します。

本項の内容

- 「通常のログイン」(120ページ)
- 「リンク URL を使用した UCMDB アプレットの埋め込み」(121ページ)
- 「UCMDB アプレット・タグを使用した UCMDB アプレットの埋め込み」(123ページ)

通常のログイン

このフローでは, HP Universal CMDB サーバへの通常のログインについて説明します。これは, ダイレクト・リンク・フローの基本情報となります。



- 1. ダイレクト・リンク URL をブラウザに入力して, HP Universal CMDB サーバにログインします。
- 2. ブラウザはログイン要求を HP Universal CMDB サーバに送信します。
- 3. サーバはユーザの資格情報を確認し、必要に応じてユーザ・セッションを作成します。
- 4. サーバは要求された HP Universal CMDB の最初のページを返します。
- 5. ブラウザは code base location パラメータ(このパラメータは,JVM に UCMDB アプレット・ ファイルのロード元を指示します)を HP Universal CMDB サーバとして指定して,Java 仮想マシ ン(JVM)をロードします。
- UCMDB アプレット・ファイル (jars) およびデータが、HP Universal CMDB サーバとブラウザに ロードされた JVM 間で転送されます。
   この時点で、UCMDB アプレットがロードされ、HP Universal CMDB がやり取りするサーバとして

リンク URL を使用した UCMDB アプレットの埋め込み

このフローでは、ダイレクト・リンクを使用して、新しいブラウザ・フレームで UCMDB アプレット

認識されます。



を開く(指定したコンテキストで開く)方法を示します。

- 1. 外部アプリケーションに, UCMDB アプレットの表示を必要とするページがあります。
- 返されたページには, Iframe または新しいブラウザ・ウィンドウでダイレクト・リンクを開く ディレクティブが含まれます。
- 3. ブラウザは,ダイレクト・リンクをフレーム URL として新しいフレーム (Iframe または新しい ウィンドウ)を開きます。
- 4. 新しいフレームは、ダイレクト・リンクを HP Universal CMDB サーバに送信します。
- 5. ユーザがまだ HP Universal CMDB, HP Universal CMDB はログイン・ページを表示し,ユーザが資格情報を入力してログイン・ボタンをクリックするまで待機します。
- 6. 必要に応じて、ユーザ・セッションが作成されます。
- 7. HP Universal CMDB サーバは,UCMDB アプレットをロードするディレクティブを含むページを返します。
- ブラウザはページを処理します。UCMDB アプレットをロードするディレクティブを見つけたら、ブラウザは JVM を起動します。次にブラウザは、HP Universal CMDB サーバの場所を "コード・ベース" として指定したパラメータなどの必須パラメータを JVM に渡します。
- 9. UCMDB アプレット・ファイル (jars) およびデータが, HP Universal CMDB サーバとブラウザに

ロードされた JVM 間で転送されます。

注意: HP Universal CMDB サーバは、ブラウザ・マシンからアクセスできる必要があります。

UCMDB アプレット・タグを使用した UCMDB アプレットの埋め込み

このフローでは,UCMDB アプレット・タグをダイレクト・リンクとともに使用して,外部アプリ ケーション・ページにUCMDB アプレット(指定したコンテキストで開いた)を埋め込む方法を示し ます。



- 1. UCMDB アプレット・タグが、外部アプリケーションの処理済み JSP に格納されます。
- 2. UCMDB アプレット・タグは指定されたパラメータを使用して, HP Universal CMDB サーバへの HTTP/HTTPS 接続を作成し, アプレット HTML スニペット・コードを要求します。
- ユーザがまだログインしていない場合,UCMDB アプレット・タグのパラメータが使用されます (この手順の参照情報については、タグ自体を参照してください)。ログインに失敗すると, UCMDB アプレット・タグは、事前設定されているエラー・メッセージまたは UCMDB アプレッ ト・タグのパラメータで指定されたエラー・メッセージを返します。
- 4. HP Universal CMDB サーバは, UCMDB アプレットをロードする HTML スニペット・コードを(埋め込み Javascript とともに)返します。これで,外部アプリケーションはこのスニペット・コー

ドをページに実装し、ページをブラウザに送信できます。

- 5. 外部アプリケーションは, HTML スニペット・コードを含む完了ページをブラウザに送信しま す。
- ブラウザはページを処理します。UCMDB アプレットをロードする HTML スニペット・コードを 見つけたら、ブラウザは JVM を起動します。次にブラウザは、HP Universal CMDB サーバの場所 を "コード・ベース" として指定したパラメータなどの必須パラメータを JVM に渡します。
- 7. UCMDB アプレット・ファイル (jars) およびデータが, HP Universal CMDB サーバとブラウザに ロードされた JVM 間で転送されます。

**注意:** HP Universal CMDB サーバは、ブラウザ・マシンおよび外部アプリケーション・マシンの両方からアクセスできる必要があります。

# 第5章: CI セレクタでの作業

#### 本章の内容

•	CI セレクタの概要	125
•	ブラウザ・モードでのビューの表示方法	125
•	検索モードでの Cl の検索方法	126
•	CI セレクタ表示オプションの修正方法	127
•	CI の選択のユーザ・インタフェース	128
•	トラブルシューティングおよび制限事項 – Cl の選択	141

### CIセレクタの概要

**注:** CI の選択は,前のバージョンの HP Universal CMDB ではビュー・エクスプローラと呼ばれていました。

CI の選択では, HP Universal CMDB 内の IT ユニバース・モデルの要素をビューを使って表示します。 HP Universal CMDB では, CI の選択は IT ユニバース・マネージャとモデリング・スタジオの左側の表 示枠に表示されます。

CIの選択でビューを選択すると、CI間で定義されている関係に従って、ビューに含まれている構成ア イテム(CI)が階層ツリー形式で表示されます。TQLクエリに一致するCIが見つからない場合は、 ビューは空の場合があります。ビューの詳細については、「ビュー形式」(232ページ)を参照してく ださい。

CIの選択を使用し,ビューを選択して CIを検索できます。ビューを選択して, CIのリストの参照 や,名前または CI タイプで特定の CI の検索を行うことができます。後で使うために検索条件を保存 することもできます。

CI の選択のコンポーネントの詳細については, 「CI の選択のユーザ・インタフェース」(128ページ) を参照してください。

## ブラウザ・モードでのビューの表示方法

CI の選択を参照モードに設定すると,選択したビューの内容を表示できます。参照モードでの CI の 選択のユーザ・インタフェースの詳細については,「CI セレクタ」(130ページ)を参照してくださ い。

本項の内容

- 「前提条件」(126ページ)
- 「表示するビューの選択」(126ページ)
- 1. 前提条件

[CIの選択]表示枠で、[ビューの参照]モードを選択します。

2. 表示するビューの選択

省略記号 ご ボタンをクリックして [ビュー セレクタ] ダイアログ・ボックスを開き, 表示す るビューを選択します。選択したビューの名前が [**ビュー**] ボックスに表示されます。ビュー 内の CI は, [CI の選択] 表示枠の下部にある CI ツリーに表示されます。HP Universal CMDB で他 のアプリケーションに移動しても, このビューが選択された状態が維持されます。

### 検索モードでのCIの検索方法

CI の選択の検索ツールを使用すると,特定の CI を検索できます。検索は CMDB 全体で実行されます。CI の選択の検索ツールのユーザ・インタフェースの詳細については,「CI セレクタ」(130ページ)を参照してください。

#### 本項の内容

- 「前提条件」(126ページ)
- 「CI名またはグローバル ID による検索」(126ページ)
- 「構成アイテム・タイプによる検索」(127ページ)
- 「検索の実行と結果の並べ替え」(127ページ)
- 「高度な検索の実行」(127ページ)

前提条件

[CIの選択]表示枠で[CIの検索]モードを選択し、[簡易]タブを選択します。

#### CI名またはグローバルID による検索

名前を使って CI を検索するには、 [CI 名] ボックスに CI の名前,または名前の一部を表す文字列を 入力します。検索結果には、入力文字列を名前のどこか(定義したほかの検索条件の境界内)に含む、すべての CI が返されます。

[CI 名] ボックスに CI のグローバル ID を入力することもできます。この場合,完全なグローバル ID を入力する必要があります。

注: CI 名による検索のオプションでは、大文字と小文字は区別されません。

構成アイテム・タイプによる検索

[**CI タイプ**] ボックスを使用して CI を検索できます。この検索では, [**CI タイプ**] ボックスで指定 したタイプの CI が返されます。

省略記号 🔤 ボタンをクリックして,必要な CI タイプを選択します。 [**CI タイプ**] ボックスに CIT を手動で入力することはできません。

[**CI タイプ**] ボックスで CI を定義したら,異なるアプリケーションに移動するまで,または異なる 値を定義するまで,HP Universal CMDB によって選択内容が記憶されます。

検索の実行と結果の並べ替え

検索を実行します。結果は[CIの選択]表示枠の下部に表示され、エントリごとに CI 名とタイプが示されます。検索結果を並べ替えるには、該当する見出しをクリックします。

検索結果で CI を選択すると,トポロジ・マップに,その CI が CMDB 内の関連する CI とともに表示されます。

(任意指定), [最後の検索パターンを保存] 🛅 ボタンをクリックして検索条件を保存し,検索名 を入力します。詳細については, 「 [検索基準を保存] ダイアログ・ボックス」(140ページ)を参照 してください。

高度な検索の実行

ほかの検索オプションでは、[詳細]タブを選択できます。CI条件検索の詳細については、「[CI条 件検索]ダイアログ・ボックス」(128ページ)を参照してください。実行中のソフトウェア検索の詳 細については、「[ソフトウェア検索を実行]ダイアログ・ボックス」(140ページ)を参照してくだ さい。

### CIセレクタ表示オプションの修正方法

CIの選択の表示オプションは変更できます。これらのオプションは、インフラストラクチャ設定マネージャで設定します。

注意: インフラストラクチャ設定マネージャで特定の設定を変更すると, HP Universal CMDB のパ フォーマンスが低下する場合があります。設定を変更する際は,まずHP ソフトウェア・サポー トまたは HP プロフェッショナル・サービス担当者にお問い合わせください。

#### 本項の内容

- 「前提条件」(128ページ)
- 「選択した設定の変更」(128ページ)

1. 前提条件

[マネージャ] > [管理] > [インフラストラクチャ設定マネージャ]の順に選択して、インフラストラクチャ設定マネージャにアクセスします。

2. 選択した設定の変更

次の設定を変更できます。

- **すぐに表示される子の数**: CI の選択で親クエリ・ノードを展開したときに即座に表示される 子の数。
- 子の最大数: CI の選択の親クエリ・ノードの下に表示される子の最大数。
- 最大検索結果サイズ:1回の検索操作で返される CMDB インスタンスの最大数。
- 最近使ったビュー・リストのサイズ:ユーザごとに格納する最近使ったビューの最大数。

# CIの選択のユーザ・インタフェース

本項の内容

- [ソフトウェア検索を実行] ダイアログ・ボックス ......140
- [検索基準を保存] ダイアログ・ボックス ......140

### [CI条件検索] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,属性条件,関連 CI,または関連 CI の属性条件に基づいて CI を検索できます。

利用	[CI の選択]で,検索モードの[ <b>詳細</b> ]タブを選択し, [CI 条件検索]の横の省略記号の
方法	ボタンをクリックします。
関連 情報	「CI セレクタの概要」(125ページ)

UI 要素	詳細
属性名	ドロップダウン・リストから属性を選択します。

UI 要素	詳細
	<b>注: [属性名]</b> リストから [表示ラベル] を選択する場合は, CI名/関連する CI名を使用して [ <b>User Label 類似 (大文字小文字の区別なし) ('%'を使</b> 用)]条件を追加できるので, [ <b>演算子</b> ] リストに演算子 [ <b>類似 (大文字小</b> 文字の区別なし)] が表示されません。
CI 名	検索する CI の名前を入力します。
CI タイプ	省略記号 🚥 ボタンをクリックして,ツリーから Cl タイプを選択します。
統合ポイント	フェデレート Cl でも検索を実行する場合は,省略記号 🚥 ボタンをクリックし て,Cl のターゲット統合ポイントを選択します。
	<b>注:</b> 切断された統合ポイントを検索に選択すると,検索の実行時にエラー・ メッセージが表示され,ローカルの検索結果を表示するどうかを質問してき ます。
演算子	ドロップダウン・リストから演算子を選択します。
関連する CI 名	検索する関連 CI の名前を入力します。
関連する CI タ イプ	省略記号 🚥 ボタンをクリックして,関連 CI で検索するためにツリーから CI タ イプを選択します。
関係タイプ	省略記号 🚥 ボタンをクリックして,関連 CI で検索するためにツリーから関係 を選択します。
CI 条件で検索	チェック・ボックスを選択すると、指定した条件でCIの検索を実行します。
	各行は,指定する属性条件を表します。 [And] / [Or] 列と [大括弧] 列を使用 して複数の条件をリンクします。定義した内容と反対の条件構文を使用する場合 に [NOT] を選択します。これにより,より正確な論理ステートメントを構成し て必要な結果を生成できます。
	◆ 属性条件の追加: 属性条件行を追加します。属性名,演算子,値を選択して 属性条件を定義します。
	<b>送 選択した行の削除:</b> 選択した属性条件を削除します。
	1 選択した行を上へ移動: 選択した行を上へ移動します。
	選択した行を下へ移動:選択した行を下へ移動します。

UI 要素	詳細
	基準を表示:選択した条件の基準をポップアップ・ダイアログ・ボックスに 表示します。
関連 CI 基準で 始売	指定した条件で, CI に関連する CI を検索するときに選択します。
ТЯ Ж	<b>注: [属性名]</b> リストから [表示ラベル] を選択する場合は, CI名/関連する CI名を使用して [ <b>User Label 類似(大文字小文字の区別なし)('%'を使</b> 用)] 条件を追加できるので, [ <b>演算子</b> ] リストに演算子 [ <b>類似(大文字小</b> 文字の区別なし)] が表示されません。
関連 CI 基準で 検索	指定した CI または CI タイプに関連する CI を検索するときに選択します。
値	属性条件の値を入力します。

CIセレクタ

ビューを選択してCIを検索できます。

利用方法	[IT ユニバース マネージャ] ページとモデリング・スタジオの左側の表示枠に 表示されます。
重要情報	CI の選択では,ビューの参照モードと CI の検索モードの 2 つの機能を使用できます。
	<ul> <li>ビューの参照モードでは、ビューを検索、表示したり、ビューを参照して特定の CI を検索できます。ショートカット・メニューから CI に対する操作を実行することもできます。</li> </ul>
	• CIの検索モードでは, CMDB内のCIを, 名前やCIタイプで検索できます。
関連タスク	「ブラウザ・モードでのビューの表示方法」(125ページ)
	「検索モードでの CI の検索方法」(126ページ)
関連情報	「CI セレクタの概要」(125ページ)

ビューの参照モード

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
G	CI ツリーの更新: ほかのユーザによって変更された可能性がある階

UI 要素	詳細
	層ツリー構造のデータ内容が更新されます。
	<b>テンプレート・パラメータを表示:</b> [テンプレート パラメータ値] ダイアログ・ボックスが表示され,選択したテンプレートのパラ メータを編集できます。
	<b>注:</b> このボタンは, テンプレートが選択されている場合のみ有 効です。
⇒	<b>選択した CI をモデル/ビューに追加 :</b> 選択した CI が現在のモデルま たはビューに追加されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオにのみ表示されま す。
(p)	<b>関連 CI としてモデルに追加 :</b> 選択した CI が関連 CI としてモデルに 追加されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオのモデル・エディタ でのみアクティブになります。
60	<b>選択したモデルを新しいタブで開く :</b> 選択したモデルをモデル・エ ディタで開きます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオでモデルを選択して いる場合のみアクティブになります。
\$	<b>選択した CI を含むモデルを表示 :</b> 選択した CI を含むモデルのリス トが表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオにのみ表示されます。
The second secon	IT ユニバース・マネージャでは,これは[ <b>ビュー定義の表示</b> ]を表 しており,現在のビューに対するモデリング・スタジオのビュー定 義に直接移動できます。
	モデリング・スタジオでは,これは [ <b>選択されたビューを開く</b> ]を 表しており,選択したビューをエディタ表示枠で開きます。
<b>L</b> a	<b>選択した CI/モデルを含むビューを表示 :</b> 選択した CI やモデルを含 むビューのリストが表示されます。

UI 要素	詳細
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオにのみ表示されま す。
<b>1</b>	<b>選択したモデルのビューを生成:</b> [新規ビューの作成] ダイアロ グ・ボックスが開き,選択したモデルに基づいてビューを構築でき ます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオでモデルを選択して いる場合のみアクティブになります。
(c)	<b>ディスカバリおよび変更のサマリを表示</b> :最初にCIを検出した DFM ジョブを手動で開始することによって,選択したビュー内のす べてのCIが再検出されます。詳細については,「[ディスカバリ のステータスと変更の表示]ダイアログ・ボックス」(228ページ) を参照してください。
	<b>注:</b> このボタンは, IT ユニバース・マネージャにのみ表示され ます。
69	<b>ビューへのダイレクト・リンクを生成 :</b> ダイレクト・リンク・ウィ ザードの生成を使用してビューへのダイレクト・リンクを作成でき ます。
	<b>注:</b> このボタンは, IT ユニバース・マネージャにのみ表示され ます。
2	<b>ブラウズ結果をファイルヘエクスポート :</b> ブラウズ結果をエクス ポートできます。次のオプションからエクスポート形式を選択しま す。
	• Excel : テーブルのデータは,スプレッドシートに表示できる .xls (Excel)ファイル形式に整形されます。
	• <b>PDF</b> :テーブルのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。
	注: CI を PDF 形式にエクスポートする場合,エクスポート可能な最大 CI 数はおよそ 20,000 CI ですが,エクスポートする CI に関連付けられたテキストの量に応じて変わります。レポートが読みやすくなるよう表示列の適切な数を選択する ことも重要です。
	• RTF:テーブルのデータは, リッチ・テキスト形式でエクスポー トされます。

UI 要素	詳細
	<ul> <li>CSV:テーブルのデータは、スプレッドシートに表示できるカンマ区切り(CSV)テキスト・ファイル形式に整形されます。</li> </ul>
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには、カ ンマ(,)を区切り文字として定義する必要があります。 Windows では、区切り文字の値を確認または変更するに は、コントロール・パネルの[地域のオプション]を開い て、[数値]タブでカンマが区切り文字の値として定義さ れていることを確認します。Linux では、区切り文字は CSV ファイルを開くアプリケーションで指定できます。
	<ul> <li>XML:テーブルのデータは、テキスト・エディタまたは XML エ ディタで開くことができる XML ファイルとして整形されます。</li> </ul>
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出するには,次の手順 を実行します。
	・ ファイルを HTML エディタで開きます。
	<ul> <li>関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーする。</li> </ul>
	<b>スナップショット:</b> スナップショットを使用できます。次のオプ ションを利用できます。
	<ul> <li>スナップショットを保存する:選択して[スナップショットを保存する]ダイアログ・ボックスを開き、ビューのスナップショットを保存します。詳細については、「[スナップショットを保存する]ダイアログ・ボックス」(227ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>スナップショットを比較する:スナップショット比較レポートを 実行する場合に選択します。詳細については、「スナップ ショット比較レポート」(364ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>スナップショットをスケジュールする:選択すると、[スナップショットをスケジュールする]ダイアログ・ボックスが開きます。詳細については、「[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]」(411ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>スケジュールされたスナップショット・ジョブを表示:選択すると、[ジョブリスト]ダイアログ・ボックスが開きます。詳細については、「[ジョブリスト]ダイアログ・ボックス」(385ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<b>注:</b> このボタンは,IT ユニバース・マネージャにのみ表示され ます。

UI 要素	詳細
	<b>ビュー・ベース・レポート :</b> 選択したビューのトポロジ・レポート が表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは, IT ユニバース・マネージャにのみ表示され ます。
	<b>アセット・レポート :</b> 選択したビューのアセット・レポートを開き ます。詳細については, 「アセット・レポート」(341ページ)を参 照してください。
	<b>注:</b> このボタンは, IT ユニバース・マネージャにのみ表示され ます。
	[ビュー] ボックスの右にある省略記号のボタンをクリックする と, [ビュー セレクタ] ダイアログ・ボックスが開きます。フォ ルダ・ツリーを参照して,表示するビューを見つけることができま す。
	[検索] ボックスに入力した文字列の次の検索結果または前の検索 結果に移動できます。
<()>	現在選択されているビューに含まれている CI です。
<ツールチップ>	カーソルを CI に合わせると,関連する CI タイプのツールチップが 表示されます。
検索	[検索]ボックスに CI 名またはその一部を入力して, CI ツリーで CI を検索します。
ビュー	[ビュー] ボックスには,現在選択されているビューが表示されま す。表示するビューを選択するには, [ビュー] ボックスの右側に ある下矢印をクリックします。これにより,ごく最近にアクセスし たビューを含むビューの簡略リストが表示されます。リストの下部 にある矢印をクリックすると,リスト全体をスクロールできます。 最近アクセスしたビューは,ドロップダウン・リストの上部の分割 線の上に表示されます。ビューの完全なリストは,分割線の下に表 示されます。
	あるいは,カーソルをリスト内に合わせ,ビューの名前を入力しま す。入力した最初の数文字が既存のエントリに一致する場合は, HP Universal CMDB によりビューの名前の残りが入力されます。同 じ文字で始まる名前を持つビューが複数存在する場合は,一致する ビューがすべてリストに表示されます。

UI 要素	詳細
	<b>注:</b> [ビュ-]ボックスで選択したビューがロードに失敗した 場合は, [表示]ボックスの値が標準設定(空白)の選択範囲 に設定されています。

CIの検索モード

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
	<b>検索結果をテーブルで表示 :</b> 別の表示枠が開いて検索結果に含ま れる CI がテーブルに表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは, IT ユニバース・マネージャにのみ表示され ます。
<b>&gt;</b>	<b>選択した CI をモデル/ビューに追加 :</b> 選択した CI が現在のモデル またはビューに追加されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオにのみ表示されま す。
<u>î</u> @	<b>関連 CI としてモデルに追加 :</b> 選択した CI が関連 CI としてモデル に追加されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオのモデル・エディタ でのみアクティブになります。
60	<b>選択したモデルを新しいタブで開く :</b> 選択したモデルをモデル・ エディタで開きます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオでモデルを選択して いる場合のみアクティブになります。
	<b>選択した CI を含むモデルを表示 :</b> 選択した CI を含むモデルのリス トが表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオにのみ表示されま す。

UI 要素	説明
<b>Г</b> а	<b>選択した CI/モデルを含むビューを表示</b> :選択した CI やモデルを含 むビューのリストが表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオにのみ表示されま す。
<b>Ģ</b>	<b>選択したモデルのビューを生成:</b> [新規ビューの作成] ダイアロ グ・ボックスが開き,選択したモデルに基づいてビューを構築で きます。
	<b>注:</b> このボタンは,モデリング・スタジオでモデルを選択している場合のみアクティブになります。
<b>E</b>	<b>検索結果をファイルヘエクスポート :</b> 検索結果をエクスポートで きます。次のオプションからエクスポート形式を選択します。
	• Excel:テーブルのデータは,スプレッドシートに表示できる .xls(Excel)ファイル形式に整形されます。
	• PDF:テーブルのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。
	<b>注:</b> CI を PDF 形式にエクスポートする場合,エクスポート 可能な最大 CI 数はおよそ 20,000 CI ですが,エクスポート する CI に関連付けられたテキストの量に応じて変わりま す。レポートが読みやすくなるよう表示列の適切な数を選 択することも重要です。
	• RTF:テーブルのデータは、リッチ・テキスト形式でエクス ポートされます
	<ul> <li>CSV: テーブルのデータは、スプレッドシートに表示できるカンマ区切り(CSV)テキスト・ファイル形式に整形されます。</li> </ul>
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには, カンマ(,)を区切り文字として定義する必要があります。 Windows では,区切り文字の値を確認または変更するに は,コントロール・パネルの[地域のオプション]を開い て,[数値]タブでカンマが区切り文字の値として定義さ れていることを確認します。Linux では,区切り文字はCSV ファイルを開くアプリケーションで指定できます。
	<ul> <li>XML:テーブルのデータは、テキスト・エディタまたは XML エ ディタで開くことができる XML ファイルとして整形されます。</li> </ul>
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出するには,次の手

UI 要素	説明
	順を実行します。 ・ ファイルを HTML エディタで開きます。 ・ 関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーす る。
	<b>保存した検索のリストを管理:</b> [検索の整理] ダイアログ・ボッ クスが開き,保存した検索のリストから検索を編集または削除で きます。
*	<b>検索条件パネルを折りたたみ/検索条件パネルを展開:</b> 検索条件領 域を折りたたむまたは展開します。
٩	<b>検索を開始:</b> 検索を実行します。検索結果は, [CIの選択]表示 枠の下部に表示されます。
	<b>最後の検索パターンを保存 :</b> 後で使用するために現在の検索条件 を保存します。
	[検索]フィールドに入力した文字列の次の検索結果または前の 検索結果に移動できます。
<検索結果>	検索の実行後,結果は [Clの選択] 表示枠の下部にリストされま す。結果は,次の2つのカラムに表示されます。 ・名前:Clの名前が含まれます。 ・Clタイプ:ClのClタイプが含まれます。 Clまたはビューの名前が短縮されている場合は,ポインタをエン トリに合わせると完全な名前が表示されます。検索結果を並べ替 えるには,該当する見出しをクリックします。
[詳細] タブ	<ul> <li>次の詳細検索オプションを利用できます。</li> <li>CI条件検索:属性条件,関連CI,または関連CIの属性条件に基づいてCIを検索できます。</li> <li>実行中のソフトウェア検索:ホストで実行されているアプリケーションを検索条件にしてホストを検索できます。また,アプリケーションが実行されているホストを検索条件にしてアプリケーションを検索できます。</li> <li>検索ごとに,省略記号 ボタンをクリックして検索ダイアログ・ボックスを開きます。検索を実行した後に,[保存] をクリックして今後の使用のために検索を保存します。</li> </ul>

UI 要素	説明
(1 名	名前で CI を検索するには,検索する CI の名前またはグローバル ID を入力します。
CI タイプ	CI タイプで CI を検索するには,省略記号のボタンをクリックして [構成アイテム タイプの選択]ダイアログ・ボックスから CI を選 択します。
検索	[検索] ボックスに CI 名または CI 名の一部を入力して,モデル内 の CI を検索します。
検索	保存した検索のドロップダウン・リストから検索を選択します。
検索結果数	[検索] ボックスの下の検索結果数には,検索で検出された CI の 合計数が表示されます。
[簡易] タブ	[簡易] タブでは,標準の検索機能を使用できます。詳細な検索 オプションを使用する場合は, [詳細] タブをクリックします。

### ショートカット・メニュー・オプション

メニュー項目	説明
<it ユニバース・マ<br="">ネージャのショート カット・メニュー・ オプション&gt;</it>	IT ユニバース・マネージャのトポロジ・マップの通常のショートカット・ メニューは, CI の選択からも利用できます。メニュー・オプションの詳細 については, 「 [IT ユニバース マネージャ] ページ」(209ページ)を参照 してください。
追加	選択した CI が現在のモデルまたはビューに追加されます。
	<b>注:</b> この機能は,モデリング・スタジオにのみ表示されます。
関連 CI としてモデル	選択した CI が関連 CI として現在のモデルに追加されます。
に追加	<b>注:</b> この機能は,モデリング・スタジオにのみ表示されます。
選択したモデルの ビューを生成	選択すると,現在のモデルに基づいてビューが作成されます。 [新規 ビューの作成] ダイアログ・ボックスが開き,適用するパースペクティブ を選択できます。
	<b>注:</b> この機能は,モデリング・スタジオにのみ表示されます。
選択したモデルを新	選択したモデルがモデル・エディタの新しいタブで開きます。
しいダフで用く	<b>注:</b> この機能は、モデリング・スタジオにのみ表示されます。

メニュー項目	説明
含まれるモデルを表 示	[ <b>選択した CI を含むモデルを表示</b> ] を選択すると,選択した CI を含むモ デルのリストが表示されます。
	注: このオプションは,モデリング・スタジオにのみ表示されます。
含まれるビューを表 示	[ <b>選択した CI/モデルを含むビューを表示</b> ]を選択すると,選択した CI ま たはモデルを含むビューのリストが表示されます。
	注: このオプションは,モデリング・スタジオにのみ表示されます。

[検索を整理] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、保存した検索のリストから検索を編集または削除できます。

利用方法	[CI の選択]で[ <b>保存した検索のリストを管理</b> ] 🚰 ボタンをクリックします。
関連情報	「CI セレクタの概要」(125ページ)

UI 要素	詳細
	クリックして,選択した検索を編集します。簡易検索の場合は, [Cl 簡易検索] ダイアログ・ボックスが開き,Cl の名前やタイプを編集できます。Cl 条件検索の 場合は, [Cl 条件検索] ダイアログ・ボックスが開きます。
×	選択した検索を削除する場合にクリックします。
R.	クリックすると,検索ツリーが展開されます。
	クリックすると,検索ツリーが折りたたまれます。
<検索ツリー>	保存したすべての検索がツリー形式で表示されます。
検索	[検索] ボックスに検索名または検索名の一部を入力して, リスト内を検索しま す。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の次の項目を検索するときにクリッ クします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の前の項目を検索するときにクリッ クします。

### [ソフトウェア検索を実行] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,ホストで実行されているアプリケーションを検索条件にしてホスト を検索したり,アプリケーションが実行されているホストを検索条件にしてアプリケーションを検索 できます。

**利用** [CIの選択] で,検索モードの [詳細] タブを選択し, [実行中のソフトウェア検索] の 方法 横の省略記号のボタンをクリックします。

関連 「CI セレクタの概要」(125ページ) 情報

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
ホスト名	検索するノードの名前を入力します。
実行中のソフ トウェア	ドロップダウン・リストから実行中のソフトウェア CI を選択します。
	<b>注:</b> ドロップダウン・リストには,利用可能な実行中のソフトウェア CI タイ プの正確なリストが表示されないことがあります([ <b>任意</b> ] オプションのみ が表示される)。この場合,ホスト名検索のみを実行します。
検索対象	[Running Software] または [Node] を選択します。
	<b>注:</b> 特定のノードで実行されている実行中のソフトウェア CI を検索するに は,ノード名を入力し,必要な実行中のソフトウェア CI を選択して, [ <b>検</b> <b>索</b> ] をクリックして検索を実行します。

[検索基準を保存] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、後で使用するために現在の検索条件を保存できます。

利用方法	[Cl の選択]の検索モードで, [ <b>保存</b> ] 🛅 をクリックします。
関連情報	「CI セレクタの概要」(125ページ)

UI 要素	詳細
既存のクエリ	既存の検索のリストがツリー形式で表示されます。
名前	現在の検索の名前を入力します。

UI 要素	詳細
検索	[検索] ボックスに検索名または検索名の一部を入力して, リスト内を検索 します。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の次の項目を検索するときにク リックします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の前の項目を検索するときにク リックします。

### トラブルシューティングおよび制限事項 – CIの 選択

本項では、CIの選択のトラブルシューティングと制限事項について説明します。

利用できないビューとCI

次の理由から, [CIの選択]の[ビュー]リストに CMDB 内のすべてのビューが表示されない場合や,ビューの内容が表示されない場合があります。

- [ビュー] リストには、必要な権限をユーザが持っているビューだけが含まれます。同様に、検索モードは、 [検索を許可] 全般アクション権限を持っている場合のみ利用できます。権限を設定するには、 [マネージャ] > [管理] > [ロール マネージャ] を選択します。詳細については、「ロール・マネージャ」(『HP Universal CMDB 管理ガイド』)を参照してください。
- 現在非アクティブなビューは、[ビュー]リストに赤色に表示されますが、これらのビューを選 択することはできません。IT ユニバース・マネージャでは、非アクティブなビューは淡い色のテ キストで表示されます。
- ・ 定義済みビューで、ユーザがライセンスを持っていないビューは、[ビュー]リストに表示されますが、これらのビューには CI は含まれていません。定義済みビューの詳細については、「定義済みのフォルダとビュー」(236ページ)を参照してください。

**注:** 1 つ以上のクエリ・ノードを TQL クエリから削除した後,変更内容をビューに更新するの に時間がかかる場合があります。この間,削除した CI はビューに表示されています。ビューが 更新される前に,削除した CI を選択すると,エラー・メッセージが表示されます。 [**更新**] ボ タンをクリックしてビューを更新してください。

# 第6章:トポロジ・マップの作業

#### 本章の内容

•	トポロジ・マップの概要	142
•	大きなビューの処理	142
•	トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス	143

### トポロジ・マップの概要

トポロジ・マップは, ビューのグラフィック表示を提供します。ビューの1レイヤ内のすべてのCl がアイコンで表され, それらをつなぐ線がCl間の関係を表します。トポロジ・マップ内でも, 左の 表示枠の[Clの選択]でも, Clを選択できます。[Clの選択]でドリル・ダウンして, ビューの別の レイヤをトポロジ・マップに表示することもできます。

CIのラベルがアイコンの下に表示されます。 [ユーザ プリファレンス] ダイアログ・ボックスの [全般] で,行ごとの最大文字数と最大行数を設定できます。詳細については,「[ユーザ プリ ファレンス] ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。

ビューの階層セットによって作成された,別の CI 階層を持つ CI は,トポロジ・マップで下矢印アイ コンと,すべてのサブレイヤの CI の合計数を表示するカウント・インジケータとともに表示されま す。矢印をクリックして,サブレイヤに含まれる CI を表示できます。

192.168.214.0/2

CI アイコンにポインタを置いたままにすると、CI の詳細がツールチップに表示されます。カウント・ インジケータにポインタを置いたままにすると、CI の下にある CI のブレークダウンが CI タイプごと にツールチップに表示されます。

トポロジ・マップは, IT ユニバース・データに変更があった場合, 自動的かつ動的に更新されます。 データ・フロー管理プロセスにより検出された新しい CI などがこの例です。

トポロジ・マップの上にあるツールバーとメイン・メニューを使って,ズームイン,トポロジ・マッ プのレイアウトの変更,トポロジ・マップの印刷ができます。このほかに,トポロジ・マップまたは CIの選択で CI を右クリックすると表示されるショートカット・メニューから使用できる機能もあり ます。

# 大きなビューの処理

トポロジ・マップでは,単一のレイヤに 900 個を超える CI が含まれているビューは表示できません。CI の数が 900 個を超えるレイヤを含んでいるビューを選択すると,トポロジ・マップの表示が空

白になります。900 を超える CI があるレイヤは,テキスト・モードでテーブルに表示できます。 トポロジ・マップで大きなビューを表示するには,次のいずれかの方法を使用します。

- モデリング・スタジオでビューを再定義して、TQLクエリの結果を減らします。詳細については、
   「[ノード要素タイプの変更]ダイアログ・ボックス」(262ページ)を参照してください。
- ビューのレイヤの CI を再分配するには,ビューに異なる階層を定義します。階層の定義の詳細に ついては,「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。
- 設定パラメータで,許可される CI の最大数を設定しなおします。インフラストラクチャ設定マネージャの [視覚化設定] にある [TS の最大オブジェクト数 GUI] パラメータを選択します。ただし、レイヤあたりの CI の最大数を増やすと、トポロジ・マップの再描画が非常に遅くなる可能性があります。

インフラストラクチャ設定マネージャの詳細については, 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「インフラストラクチャ設定マネージャのユーザ・インタフェース」を参照してください。

# トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス

本項の内容

•	画像にマップをエクスポート	.143
•	レイアウト・プロパティ・ダイアログ・ボックス	. 144
•	メイン・メニュー	.157
•	[印刷] ダイアログ・ボックス	. 158
•	[印刷プレビュー] ダイアログ・ボックス	. 159
•	[印刷設定] ダイアログ・ボックス	.159
•	ツールバー・オプション	.160
•	「トポロジマップ」サイドバー	169

#### 画像にマップをエクスポート

このダイアログ・ボックスでは、トポロジ・マップをファイルに保存できます。

利用方法	トポロジ・マップから <b>[操作] &gt; [画像にマップをエクスポート]</b> を選択します。	
関連タスク	「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)	
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・マップの概要」(142ページ)</li> <li>「トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス」(143ページ)</li> </ul>	

#### モデリング・ガイド 第6章: トポロジ・マップの作業

UI 要素	詳細
実際のサイズ	グラフ・ノードのサイズが最大になるようにしてビューを 保存します。
現在のズーム・レベル	ビューをトポロジ・マップに表示されているとおりに保存 します。たとえば、 [インタラクティブズーム] モード を使ってビューの倍率を下げていた場合は、保存された ビューでもグラフ・ノードが小さく表示されます。詳細に ついては、「インタラクティブ・ズーム」(164ページ)を 参照してください。
カスタム	[ <b>幅</b> ]ボックスと[ <b>高さ</b> ]ボックスで,保存するビューの サイズを指定します。
ファイル名	必要なファイル名と保存場所を指定します(または, [ <b>参</b> 照]をクリックしてファイルと保存場所を検索します)。
用紙にフィット	ビューを拡大または縮小して表示枠にぴったり合わせま す。
画像品質	印刷するマップの品質です。 [ <b>高</b> ] , [ <b>中間</b> ] , または [ <b>低</b> ]を選択します。
選択済みオブジェクトのみ	マップ内で選択されているグラフ・ノード/CI とそれらの 関係だけを保存します。
タイプ	必要なファイル形式を選択します。
可視ウィンドウのみ	グラフのうち表示枠内に表示されている部分だけを保存し ます。

# レイアウト・プロパティ・ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、ビュー内の特定のレイヤのレイアウトをカスタマイズして、可能な 範囲内で最大限明確なプレゼンテーションを実現することによって、管理対象のデータをより的確に 把握して監視できるようになります。

利用方法	<b>[レイアウト] &gt; [レイアウト プロパティ]</b> を選択します。
重要情報	レイヤー内に表示されるグラフのノードおよび関係の論理的な位置を割り当て ることによって, ビューのレイヤーのレイアウトを定義します。レイヤのレイ アウトをカスタマイズするには, 標準設定値を変更します。
	レイアウト定義の設定は,特定のレイヤに対してのみできます。定義を別のレ イヤや別のビューに対して保存することはできません。 パラメータ値はピクセル数です。
関連情報	• 「トポロジ・マップの概要」(142ページ)
------	-----------------------------------
	• 「トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス」(143ページ)

[グローバル] タブ

この領域では、グローバルなレイアウト・パラメータを定義できます。

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>グローバル</b> ]タブをク リックします。
重要情報	[グローバル] タブでは, レイアウトのグローバルな設定を定義できます。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
描画にフィット	次のいずれかのオプションを選択して,レイアウトを調整します。 • 用紙に合わせる:レイアウトを画面の用紙に合わせます。 • 印刷に合わせる:レイアウトを印刷ページに合わせます。 • フィットなし:レイアウトを変更しません。
ラベリング	[ <b>ラベリングの実行</b> ]を選択して、レイアウトの再描画時にラベルが表示され るようにします。このフィールドが選択されていないと、再描画レイアウトに ラベルは表示されません。
スタイル	[ <b>スタイルを強制的に適用</b> ]を選択し,選択したレイアウトをトポロジ・マッ プのネストされたすべてのレイヤに適用します。

[すべてのスタイル] タブ

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで [ <b>すべてのスタイル</b> ]タブ をクリックします。
重要情報	[すべてのスタイル] タブでは,非接続グラフ・ノードと接続コンポーネントの 一般的なレイアウト・パラメータを定義できます。
	<ul> <li>非接続グラフ・ノードは、ほかのグラフ・ノードにいっさい接続されていな いノードです。</li> </ul>
	<ul> <li>非接続ノードは、ほかのノードにいっさい接続されていないノードです。コンポーネントには、相互に接続できる一群のグラフ・ノードが含まれています。</li> </ul>
	次の図は5つのグラフ・ノードを持つ接続コンポーネントを示しています。



UI 要素	説明
コポネト	非接続グラフ内のコンポーネント間の間隔は, 各コンポーネントのサイズに基づいた定数値 と比例値で構成されます。
	[コンボーネントの検出]を選択すると,非接続コンボーネントを表示できます。すべての コンポーネントを一緒にレイアウトすることも,ほかのコンポーネントに関係なく個別にレ イアウトすることもできます。コンポーネントのグループ化を選択すると,各コンポーネン トがレイアウトされ,その後一緒にまとめられます。
	[コンポーネントの検出] が選択されている場合,次の設定の値を入力します。
	<ul> <li>コンスタント・スペーシング:それぞれの非接続コンポーネントの周囲の固定間隔(水 平および垂直)を設定します。</li> <li>標準設定値:20</li> </ul>
	• <b>プロポーショナル・スペーシング :</b> それぞれの非接続コンポーネントの周囲の間隔(水

UI 要素	説明
	平および垂直)を, コンポーネントのサイズとの比率で設定します。 <b>標準設定値:</b> 0.05
切さたノド ド	非接続グラフ内のグラフ・ノード間の間隔は, 各グラフ・ノードのサイズに基づいた定数値 と比例値で構成されます。
	[ <b>切断されたノードの検出</b> ]を選択すると,非接続グラフ・ノードを表示できます。非接続 グラフ・ノードをグループ化して1つのコンポーネントにすることも,各ノードを個別にレ イアウトすることもできます。
	[切断されたノードの検出] が選択されている場合,次の設定の値を入力します。
	<ul> <li>コンスタント・スペーシング:それぞれの非接続グラフ・ノードの周囲の固定間隔(水 平および垂直)を設定します。</li> <li>標準設定値:20</li> </ul>
	<ul> <li>プロポーショナル・スペーシング:それぞれの非接続グラフ・ノードの周囲の間隔(水 平および垂直)を、コンポーネントのサイズとの比率で設定します。</li> <li>標準設定値:0.05</li> </ul>
余 ス ペ シ グ	レイアウトの右,左,上,したの余白スペーシングの値を入力します。

[円形] タブ

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>円形</b> ]タブをクリックし ます。
重要情報	[円形] タブは,選択するグループ化オプションに基づいて,グラフのノード をいくつかのグループまたはクラスタにまとめます。 これは特に,リングおよ びスター・ネットワーク・トポロジと,リンク分析に適しています。

UI 要素	説明
クラスタリング	次の設定の値を指定します。
	<ul> <li>クラスタ・サイズ・ファクタ:平均クラスタ・サイズとクラスタ数との比率 を指定します。クラスタのサイズは、そのクラスタ内の全グラフ・ノード の加重の合計として定義されます。加重値を各グラフ・ノードに割り当て ることができます。</li> </ul>



UI 要素	説明
	<ul> <li>中間: [ドラフト] と [プルーフ] を組み合わせたような結果を生成します。グラフのレイアウトの精密度は [ドラフト] と [プルーフ] の中間になります。</li> <li>プルーフ:より洗練された結果を生成しますが、より多くの時間がかかります。</li> </ul>
	注: これらの品質設定それぞれによる速度と結果の差異は、レイアウトされているグラフの性質によって変わります。各オプションを試した上で、 どの設定が一番有用かを決めてください。
スペーシング	<ul> <li>同一クラスタ内とクラスタ間での各グラフ・ノードの間隔を設定します。</li> <li>次の設定の値を入力します。</li> <li>ノード間:同一クラスタ内での各グラフ・ノード間の間隔を設定します。間隔が大きくなるほど、クラスタ境界上に位置するグラフ・ノードが多くなります。</li> <li>標準設定値:50</li> <li>次の図はグラフ・ノードの間隔が小さい場合を示しています。</li> <li>次の図はグラフ・ノードの間隔が大きい場合を示しています。</li> <li>アボの間:クラスタ間の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:50</li> <li>次の図はクラスタの間隔が小さい場合を示しています。</li> </ul>



[階層構造] タブ

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>階層的</b> ]タブをクリック します。
重要情報	[階層的] タブでは,組織または情報管理システムの依存関係,プロセス・モデル,ソフトウェア呼び出しグラフ,およびワーク・フローを表す優先順位関係を 表示します。階層レイアウトでは,グラフ・ノードを異なるレベルに配置するこ とで依存関係が強調されます。

UI 要素	説明
後方エッジ	階層レイアウト内で逆行関係がどのように表示されるかを指定します。
	次のオプションのいずれかを選択します。
	• 最小後方エッジ:レイヤ内に表示される逆行関係の数を最小に設定します。
	<ul> <li>フィードバック・フローの最適化:レイヤ内に表示される逆行関係の数</li> <li>を最大に設定します。このモードはフロー・チャートに適しています。</li> </ul>
水平スペーシング	各レベルの隣り合う 2 つのグラフ・ノード間の水平方向の最小間隔を設定 できます。
	次の設定の値を入力します。
	<ul> <li>ノード間:レイヤ内の各グラフ・ノードの周囲に水平方向の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:28</li> </ul>
	<ul> <li>エッジ間:この設定は、【ルーティング】&gt;【直交】を選択した場合にの み使用できます。グラフ内のエッジ間の水平方向の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:12</li> </ul>
レイアウト品質	生成されたレイアウトの品質を, アプリケーションのニーズに合うように 調節します。この品質は, レイアウトの生成に使用されたステップまたは メソッドの数を反映しています。たとえば, 高品質にすると表示がより明

UI 要素	説明
	瞭になりますが、レイアウトの設定にかかる時間が長くなります。
	次のオプションのいずれかを選択します。
	• ドラフト:([中間]および[プルーフ]よりも早く)高速に結果を生成します。
	F97F
	• 中間: [ドラフト] と [プルーフ] を組み合わせたような結果を生成し ます。グラフのレイアウトの精密度は [ドラフト] と [プルーフ] の中 間になります。
	<ul> <li>プルーフ:より洗練された結果を生成しますが、より多くの時間がかかります。</li> </ul>
	<b>注:</b> これらの品質設定それぞれによる速度と結果の差異は、レイアウト されているグラフの性質によって変わります。各オプションを試した 上で、どの設定が一番有用かを決めてください。
レベルの配置	グラフ・ノードを垂直方向に位置合わせする方法を設定できます。
	次のオプションのいずれかを選択します。
	• 上。次の図では,階層の同じレベルにある各グラフ・ノードの上端で位置合わせされています。
	• <b>中央</b> 。次の図では,階層の同じレベルにある各グラフ・ノードの中央で 位置合わせされています。

UI 要素	説明
	• した。次の図では、階層の同じレベルにある各グラフ・ノードの下端が 位置合わせされています
方向	階層の向きを設定できます。
	次のオプションのいずれかを選択します。
	• 上から下:子は親の上に配置されます。
	• <b>左から右</b> :子は親の左に配置されます。
	• 下から上:子は親の下に配置されます。 - たかきた。スは娘のたに配置されます。
	<ul> <li>         ・</li></ul>
直交ルーティング - 固定ノード・サイズ	この設足は、【 <b>ルーティング】&gt; [直交]</b> を選択した場合にのみ使用できま す。グラフ・ノードのサイズを維持します。グラフ・ノードの同じ側に複 数の関係が接続されるときに、指定した関係の間隔設定を維持する必要が あり、レイアウト内のグラフ・ノードのサイズを拡大できるようにする場 合は、このオプションをクリアします。
ポリライン・ルー ティング - ベンド間 のスペーシング	この設定は、【ルーティング】>【ポリライン】を選択した場合にのみ使用 できます。ポリライン・ルーティングでは、任意の角度で曲がる1つ以上 の直線分としてエッジ(連結線)がルーティングされます。エッジ(連結 線)が重なり合わないように、パス・ノードが自動的に追加されます。 標準設定値:12

UI 要素	説明
ルーティング	レイアウトのルーティング・タイプを選択します。次のオプションを使用 できます。 ・ 直交 ・ ポリライン
方向付けのないレイ アウト	階層図のレベル構築にエッジの方向を使用しません。
変数レベル・スペー シング	可変レベル間隔では、レベル間のエッジの密度に従って、隣り合う2つの レベル間の間隔を調整します。 図中のエッジが直交ルーティングされている場合は、これによってレベル 間にルーティングされた水平方向のエッジ間に必要な垂直方向の間隔が確 保されます(上から下または下から上のレイアウトで)。 ポリライン・ルーティングの場合は、可変レベル間隔を使うことによっ て、密度の高い図でも各エッジを区別しやすくなります。
垂直スペーシング	異なるレベルにある隣り合う2つのグラフ・ノード間の垂直方向の最小間 隔を設定できます。 次の設定の値を入力します。 ・ ノード間:レベル内の各グラフ・ノードの周囲に垂直方向の間隔を設定 します。 標準設定値:28 ・ エッジ間:この設定は、[ルーティング] > [直交] を選択した場合にの み使用できます。グラフ内のエッジ間の垂直方向の間隔を設定します。 標準設定値:12

[直交] タブ

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>直交</b> ]タブをクリックし ます。
重要情報	[直交] タブでは,直交線レイアウトのルート関係を水平方向と垂直方向で設 定できます。この結果,関係を示す線の折れ曲がりは常に 90 度になります。

UI 要素	説明
固定 ノー ドサ イズ	グラフ・ノードのサイズを維持します。グラフ・ノードの同じ側に複数の関係が接続される ときに,指定した関係の間隔設定を維持する必要があり,レイアウト内のグラフ・ノードの サイズを拡大できるようにする場合は,このオプションをクリアします。
水平 ス	グラフ・ノード間の水平方向の最小距離を設定できます。
ペー	次のオプションのいずれかを選択します。
シン	• ノード間:レイヤ内の各グラフ・ノードの周囲に水平方向の間隔を設定します。
2	標準設定值:20
	• エッジ間:レイヤ内の要素間の水平方向の間隔を設定します。
	標準設定值:12
レイ アウ ト品 質	生成されたレイアウトの品質を,アプリケーションのニーズに合うように調節します。この品質は,レイアウトの生成に使用されたステップまたはメソッドの数を反映しています。たとえば,高品質にすると表示がより明瞭になりますが,レイアウトの設定にかかる時間が長くなります。
	次のオプションのいずれかを選択します。
	• ドラフト:レイアウトを下書き品質に設定します。
	• 中間:レイアウトを中間品質に設定します。
	• プルーフ:レイアウトを最高品質に設定します。
垂直	グラフ・ノード間の垂直方向の最小距離を設定できます。
スペー	次のオプションのいずれかを選択します。
、シン	• ノード間:レイヤ内の各グラフ・ノードの周囲に垂直方向の間隔を設定します。
グ	標準設定值:100
	• エッジ間:レイヤ内の要素間の垂直方向の間隔を設定します。
	標準設定值:20

[対称] タブ

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで[ <b>対称</b> ]タブをクリックしま す。
重要情報	[対称] タブでは, 複雑なネットワークをわかりやすくビジュアル化して表示し ます。対称レイアウトでは, グラフ内に存在する対称性が強調されます。

UI 要素	説明
レイアウト品 質	生成されたレイアウトの品質を,アプリケーションのニーズに合うように調節し ます。この品質は,レイアウトの生成に使用されたステップまたはメソッドの数 を反映しています。たとえば,高品質にすると表示がより明瞭になりますが,レ イアウトの設定にかかる時間が長くなります。
	次のオプションのいずれかを選択します。
	• ドラフト:([中間]および[プルーフ]よりも早く)高速に結果を生成します。
	<ul> <li>中間: [ドラフト] と [プルーフ] を組み合わせたような結果を生成します。</li> <li>グラフのレイアウトの精密度は [ドラフト] と [プルーフ] の中間になります。</li> </ul>
	<ul> <li>プルーフ:より洗練された結果を生成しますが、より多くの時間がかかります。</li> </ul>
	<b>注:</b> これらの品質設定それぞれによる速度と結果の差異は、レイアウトされ ているグラフの性質によって変わります。各オプションを試した上で、どの 設定が一番有用かを決めてください。
スペーシング	レイヤ内の各グラフ・ノードの周囲に水平方向と垂直方向の固定間隔を設定でき ます。指定した値はレイアウトのガイドラインであり,特定のグラフ・ノードの ペアの間隔がここで指定した値と異なる場合もあります。グラフ・ノード間隔を 大きく指定するほど,最終的なレイアウトのグラフ・ノード間の間隔が広がりま



### [ルーティング] タブ

利用方法	[レイアウト プロパティ]ダイアログ・ボックスで [ <b>ルーティング</b> ]タブをク リックします。
重要情報	[ルーティング] タブでは, 原則としてグラフ・ノードの位置はそのままで, 線 が直交するようにルーティングしなおすことができます。

UI 要素	説明
ノード位置の固 定	表示内のすべてのグラフ・ノードの位置を維持します。レイアウトを改良する必 要があり、レイアウト内のグラフ・ノードを移動できるようにする場合は、この オプションをクリアします。重なり合いを避け、折れ曲がりの数が最少になるよ うに、最小限の移動が行われます。
固定ノードサイ ズ	グラフ・ノードのサイズを維持します。グラフ・ノードの同じ側に複数の関係が 接続されるときに,指定した関係の間隔設定を維持する必要があり,レイアウト 内のグラフ・ノードのサイズを拡大できるようにする場合は,このオプションを クリアします。
水平スペーシン グ	グラフ・ノード間の水平方向の最小距離を設定できます。 次のオプションのいずれかを選択します。

UI 要素	説明
	<ul> <li>ノード間:レイヤ内の各グラフ・ノードの周囲に水平方向の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:20</li> <li>エッジ間:レイヤ内の要素間の水平方向の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:12</li> </ul>
垂直スペーシン グ	<ul> <li>グラフ・ノード間の垂直方向の最小距離を設定できます。</li> <li>次のオプションのいずれかを選択します。</li> <li>ノード間:レイヤ内の各グラフ・ノードの周囲に垂直方向の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:20</li> <li>エッジ間:レイヤ内の要素間の垂直方向の間隔を設定します。</li> <li>標準設定値:12</li> </ul>

メイン・メニュー

この機能には、トポロジ・マップの作業のためのオプションが含まれます。

利用方法	画面の左上にあります。
重要情報	メイン・メニューの各ドロップダウン・リストに含まれている個々のオプ ションについては, 「ツールバー・オプション」(160ページ)を参照してく ださい。
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・マップの概要」(142ページ)</li> <li>「トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス」(143ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
編集	トポロジ・マップ用の選択オプションが含まれています。
エディタ・アイ テム	現在のマネージャ用のトポロジ・マップ・ショートカット・メニュー・オプ ションが含まれています。
	<b>注:</b> このドロップダウンは, CIタイプ・マネージャには表示されません。
レイアウト	トポロジ・マップのレイアウトを変更するためのオプションが含まれていま す。

UI 要素	詳細
	注: このドロップダウンは、レポートには表示されません。
マネージャ	さまざまな UCMDB モジュールへのリンクが含まれています。
操作	トポロジ・マップを印刷またはエクスポートするためのオプションが含まれて います。
リソース	現在のマネージャ用の左表示枠ショートカット・メニュー・オプションが含ま れています。
	<b>注:</b> このドロップダウンは, IT ユニバース・マネージャ,レポートには表示 されません。CI タイプ・マネージャでは,これは <b>CI タイプ</b> と呼ばれます。
ツール	ユーザ・プリファレンス・ツール,ユーザ・プロファイル,ログ設定ツール, 画面キャプチャ,およびユーザ認証の更新ツールが含まれます。
ビュー	モジュールの各表示枠の表示/非表示を切り替えられます。

### [印刷] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、トポロジ・マップの内容を印刷できます。

利用方法	<b>[操作] &gt; [印刷]</b> を選択します。
重要情報	トポロジ・マップの印刷結果は, 画面キャプチャとほぼ同じです。したがって, 印刷前に次の作業を行うことをお勧めします。
	<ul> <li>印刷設定を定義し、必要に応じてトポロジ・マップの内容を整理します。詳細については、「[印刷設定]ダイアログ・ボックス」(159ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>トポロジ・マップの内容を印刷用に整理します。それには、[レイアウト]オ プションと[レイアウト プロパティ]を使用します。レイアウト・オプションの詳細については、「レイアウト・プロパティ」(165ページ)を参照してください。レイアウト・プロパティの詳細については、「レイアウト・プロパティ・ ダイアログ・ボックス」(144ページ)を参照してください。</li> </ul>
関連タスク	「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・マップの概要」(142ページ)</li> <li>「トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス」(143ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
部数	印刷する部数を入力します。
プロパティ	必要に応じてドキュメントのプロパティを定義します。

### [印刷プレビュー] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、印刷前にトポロジ・マップの内容をプレビューできます。

利用方法	[操作] > [印刷プレビュー] を選択します。				
関連タスク	「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)				
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・マップの概要」(142ページ)</li> <li>「トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス」(143ページ)</li> </ul>				

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

メニュー項目	詳細
	<b>印刷設定:</b> [印刷設定] ダイアログ・ボックスが表示され,印刷設定を指定で きます。
	<b>印刷:</b> マップを印刷します。詳細については,「[印刷]ダイアログ・ボック ス」(158ページ)を参照してください。
٠	<b>ズーム・イン :</b> マップの特定の詳細にズーム・インします。
<₽	<b>ズーム・アウト:</b> マップをズーム・アウトして表示します。
8	<b>フィット</b> :ビュー全体を表示枠内にぴったり収めます。

### [印刷設定] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、トポロジ・マップの印刷設定を定義できます。

利用方法	[操作] > [印刷設定] を選択します。			
関連タスク	「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)			
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・マップの概要」(142ページ)</li> <li>「トポロジ・マップ・ユーザ・インターフェイス」(143ページ)</li> </ul>			

UI 要素	詳細				
実際のサイ ズ	ビューを実際の大きさで印刷します。				
色	テキストの色を設定します。				
フォント	必要なフォントを設定します。				
ページ設定	印刷設定を定義します。				
ページ	マップを行と列に分割し,各セクションを別々に印刷します。 <b>[ページ カラム</b> ] ボックスと <b>[ページ行</b> ] ボックスに,それぞれ列数と行数を入力します。				
位置	キャプションの位置を[ <b>位置</b> ]リストから選択します。				
背景を印刷	ビューの背景を印刷します。				
境界を印刷	マップを境界線付きで印刷します。境界線の色を選択するには, [ <b>色</b> ]をクリック します。				
印刷キャプ ション	テキスト領域にキャプションを入力し, [ <b>フォント</b> ]をクリックして使用するカス タム・フォントを選択します。				
描画全体を 印刷	クロップ・マークを印刷します。				
現在の選択 範囲を印刷	選択したグラフ・ノードとその関係を印刷します。				
現在のウィ ンドウを印 刷	ビューの表示枠内に表示されている部分を印刷します。				
描画全体を 印刷	ビューの全体を印刷します。				
ページ番号 を印刷	ページ番号を印刷します。				
ズーム・レ ベル	現在のズーム・レベルでビューを印刷します。				

ツールバー・オプション

トポロジ・マップの各ツールバー・オプションについて、次の表で説明します。

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
	追加数	エンリッチメント・ルールの結果として作成されたインスタ ンスの数を計算します。作成された TQL クエリ・ノード・イ ンスタンスおよび関係の数は,次の図のようにエンリッチメ ント・クエリ・ノードまたは関係の横に表示されます。
	詳細表示 枠	詳細表示枠を画面の下部中央に表示するか非表示にするかを 切り替えます。 利用方法: [ビュー] > [詳細表示枠] を選択します。
	クエリ結 果数を計 算する	各 TQL クエリ・ノード/関係について,見つかったインスタン スの数を計算します。
	ラベルの 長さを変 更/ラベ ル・プロ パティの 変更	ラベルに含める最大文字数を入力します。 利用方法:IT ユニバース・マネージャとモデリング・スタジ オで, [レイアウト] > [ラベル プロパティの変更] を選択 します。その他のマネージャでは, [レイアウト] > [ラベル の長さを変更] を選択します。
	CI タイ プ・ツ リー	CI タイプ・セレクタを画面の右に表示するか非表示にするか を切り替えます。 利用方法:[ビュー] > [CI タイプ ツリー] を選択します。
		<b>注:</b> モデリング・スタジオでは,このオプションは[Cl タイプ]と呼ばれます。
Ît	関係を作 成	ほとんどのマネージャでは,2 つの既存の TQL クエリ・ノー ドの間に関係を作成します。詳細については,「TQL クエリ

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
		へのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照し てください。
		IT ユニバース・マネージャで,既存 CI 間の関係を作成しま す。詳細については,「既存の CI の関連付け」(181ページ)を 参照してください。
×	選択した 項目の削 除	IT ユニバース・マネージャから CI を削除するか,影響分析マ ネージャまたはエンリッチメント・マネージャから TQL クエ リ・ノードを削除します。
	マップを	ビューをドラッグします。
	ドラッグ	<b>利用方法:[モード]</b> ボックスのドロップダウン・メニュー を開くか,または [ビュー] > [マップをドラッグ] を選択し ます。IT ユニバース・マネージャとモデリング・スタジオ で, [レイアウト] > [ドラッグ モード] を選択します。
F	レイヤを 1 つドリ ル・ダウ ン	トポロジ・マップ内の1つ下のレベルに移動します。このオ プションは、ビューの階層を設定して作成された、別のCIレ イヤが下位に存在する場合にのみ有効になります。階層設定 の詳細については、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照 してください。
		<b>注:</b> このオプションは IT ユニバース・マネージャでのみ 表示されます。
â <sub>60</sub>	関連 CI の 取得を無 効化/有効	CIの選択で新しい CI を選択するときに、関連する CI でのトポ ロジ・マップの再描画の無効化と有効化を切り替えます。
	化	<b>注:</b> このオプションは [関連 Cl] タブの IT ユニバース・ マネージャでのみ表示されます。
	エンティ ティ・ツ リー	マネージャ固有のエンティティ・ツリーを画面の左に表示す るか非表示にするかを切り替えます。
		<b>利用方法:[ビュー]&gt;[エンティティ ツリー</b> ]を選択しま す。
		<b>注:</b> モデリング・スタジオでは,左表示枠(リソース, Cl タイプ, Cl の選択)の各タブが別個のオプションとして 表示されます。
	画像に	トポロジ・マップをファイルに保存します。詳細について

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
	マップを エクス ポート	は, 「画像にマップをエクスポート」(143ページ)を参照して ください。 <b>利用方法:[操作] &gt; [画像にマップをエクスポート</b> ]を選択 します。
	ウィンド ウに合わ せる	マップ全体を表示枠内にぴったり収めます。 <b>利用方法:[レイアウト] &gt; [ウィンドウに合わせる</b> ] を選択 します。
	ダイレク ト・リン クの生成	ビューまたは CI へのダイレクト・リンクを生成します。 <b>利用方法:[編集] &gt; [ダイレクト リンクの生成</b> ] を選択しま す。
<b>1</b>	レイヤを 1 つ上げ る	トポロジ・マップ内の1つ上のレベルに移動します。このオ プションは、ビューの階層を設定して作成された、別のCIレ イヤが上位に存在する場合にのみ有効になります。階層設定 の詳細については、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照 してください。 注: このオプションはIT ユニバース・マネージャでのみ 表示されます。
	マップか らすべて の継承 非表示	Inheritance_f 関係と、その接続クエリ・ノードの表示 / 非表示を切り替えます。 利用方法: [レイアウト] > [マップからすべての継承を非表示] を選択します。 注: このオプションがツールバーに表示されるのは、CI タイプ・マネージャだけです。
	全クエ リ・ノー ドのラベ ルを非表 示	CI/CIT/クエリ・ノード/パターン・ラベルの表示/非表示を切 り替えます。 利用方法: [レイアウト] > [全クエリノードのラベルを非表 示] を選択します。 注: このオプションは, IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは利用できません。
	全関係ラ ベルを非 表示	関係ラベルの表示と非表示を切り替えます。 利用方法:[レイアウト]> [全関係ラベルを非表示]を選択

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
		します。
		<b>注:</b> このオプションは, IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは <b>エッジのラベルを非表示</b> という 名前になっています。
	全関係を 非表示	表示されているマップ内の関係の表示/非表示を切り替えま す。 <b>利用方法: [レイアウト] &gt; [全関係を非表示]</b> を選択しま オ
		9。 注: このオプションは, IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは利用できません。
Ra	[関連 CI た取得)	[関連 CI を取得] 表示枠の表示/非表示を切り替えます。
	を取 <b>侍」</b> 表示枠の 表示 / 非 表示	<b>注:</b> このオプションは [関連 CI] タブの IT ユニバース・ マネージャでのみ表示されます。
	インタラ クティ	<ul> <li>クリックしてマウス・ポインタを上に移動すると、表示倍率が低くなります。</li> </ul>
	ブ・ズー ム	<ul> <li>クリックしてマウス・ポインタを下に移動すると、表示倍率が高くなります。</li> </ul>
		<b>利用方法:[モード</b> ]ボックスでドロップダウン・メニュー を開くか,[ <b>ビュー]&gt;[インタラクティブ ズーム</b> ]を選択 します。
		<b>注:</b> このオプションは, IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは利用できません。
	レイアウ ト	リストからレイアウト表示を選択します。次のオプションを 選択できます。
		<ul> <li>         ・ 階層レイアウト:トポロジ・マップ内の優先関係を表示できます。     </li> <li>         ・直交ルーティングを持つ階層レイアウト:水平線と垂直線         ・         ・         ・</li></ul>
		のみで構成されるエッジで階層レイアウトを表示し,交差 する右側の角度を形成します。
		<ul> <li>         ・  対称型レイアウト: 複雑なネットワークをわかりやすくビジュアル化して表示できます。     </li> </ul>

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
		<ul> <li>・ 円形レイアウト: グラフのノードをグループまたはクラス タにグループ化します。</li> <li>・ 直交レイアウト:水平線と垂直線のみで構成されるエッジ でレイアウトを表示し,交差する右側の角度を形成しま す。</li> <li>各オプションの詳細については、「レイアウト・プロパ ティ・ダイアログ・ボックス」(144ページ)を参照してください。</li> <li>注: このレイアウト・オプションは、エンリッチメン ト・マネージャ、CIT マネージャ、影響分析マネージャで のみ使用されます。</li> </ul>
	レイアウ ト・プロ パティ	クエリ・ノードのポジションとビューの関係を割り当て, ビューのレイヤ・レイアウトを定義します。詳細について は,「レイアウト・プロパティ・ダイアログ・ボックス」 (144ページ)を参照してください。 利用方法:[レイアウト] > [レイアウト プロパティ]を選択 します。
	ログ構成	[ログ構成] ダイアログ・ボックスが開きます。 <b>利用方法:[ツール</b> ] > [ <b>ログ構成</b> ] を選択します。
	マップ概 要	トポロジ・マップのコピーを表示する小さなボックスが開き ます。この機能は,大きなビューで表示をズーム・インして いるときに便利です。 利用方法:[レイアウト] > [マップ概要]を選択します。IT ユニバース・マネージャとモデリング・スタジオで, [レイ アウト] > [マップ概要を表示] を選択します。
	ワークス ペースの 最大化/ ワークス ペースの 復元	トポロジ・マップの通常表示と全画面表示を切り替えます。
	ナビゲー ション	時計回りで次の接続された CI/CIT/TQL クエリ・ノードにポイ ンタを移動します。 • 関係を左クリックすると,時計回りに次の CI/CIT/ノード/

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
		パターンへ移動します。
		<ul> <li>注:</li> <li>このオプションは,関係で接続されている CI/CIT/クエリ・ノード/パターンだけに使用できます。</li> <li>このオプションは,IT ユニバース・マネージャとモデリング・スタジオでは利用できません。</li> </ul>
<b>*</b>	新規 CI	新規の関連付けされていない CI を作成します。詳細について は, 「CI での作業」(177ページ)を参照してください。 注: このオプションがツールバーに表示されるのは, IT ユニバース・マネージャだけです。
<b>a</b>	新規関連 Cl	新規の関連 CI を作成します。詳細については, 「CI での作 業」(177ページ)を参照してください。 注: このオプションがツールバーに表示されるのは, IT ユニバース・マネージャだけです。
	中央に配 置	選択した CI/CIT/クエリ・ノード/パターンをマップの中央に配置します。 利用方法: [レイアウト] > [中央に配置] を選択します。 注: このオプションは, IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは利用できません。
	印刷	トポロジ・マップの内容を印刷します。詳細については, 「[印刷] ダイアログ・ボックス」(158ページ)を参照してく ださい。 利用方法:[操作] > [印刷] を選択します。
	印刷プレ ビュー	マップの内容を印刷前にプレビューできます。 <b>利用方法:[操作] &gt; [印刷プレビュー</b> ] を選択します。

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
	印刷設定	トポロジ・マップの印刷設定を定義します。詳細について は, 「[印刷設定]ダイアログ・ボックス」(159ページ)を参 照してください。
		<b>利用方法:[操作] &gt; [印刷設定</b> ]を選択します。
<u>Afan</u>	ゲニ エンリッ チメント 結果を削 除する	CMDB からのエンリッチメント・ルールが作成したインスタ ンスを削除します。
		<b>注:</b> このオプションがツールバーに表示されるのは,エ ンリッチメント・マネージャだけです。
	画面キャ プチャ	画面キャプチャ・ツールを使用して,画面のスナップショッ トを取ります。
		<b>利用方法:[ツール] &gt; [画面キャプチャ]</b> を選択します。
k	選択	単一の CI/CIT/TQL クエリ・ノード,または複数の CI/CIT/TQL クエリ・ノードを選択します。
		利用方法:[モード]ボックスでドロップダウン・メニュー を開くか, [ビュー] > [選択] を選択します。IT ユニバー ス・マネージャとモデリング・スタジオで, [レイアウト] > [選択モード] を選択します。
	すべて選	選択したレイヤ内のすべての CI と関係を選択します。
	択	<b>利用方法:[編集] &gt; [すべて選択</b> ] を選択します。
		<b>注:</b> このオプションは、IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは利用できません。
	全クエ	選択したレイヤ内のすべてのクエリ・ノードを選択します。
	リ・ノー ドを選択	<b>利用方法:[編集] &gt; [全クエリ ノードを選択</b> ] を選択しま す。
		<b>注:</b> このオプションは、IT ユニバース・マネージャとモ デリング・スタジオでは利用できません。
	カラムの 選択	表示するカラムを選択できます。詳細については, 「[カラ ムの選択]ダイアログ・ボックス」(529ページ)を参照してく ださい。
		<b>注:</b> このオプションは IT ユニバース・マネージャのテキ スト・モードでのみ表示されます。

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
変更時間           枠の設定	[時間枠を変更]ダイアログ・ボックスが開き,追加または 変更した CI インジケータの表示時間を設定できます。	
		<b>注:</b> このオプションがツールバーに表示されるのは, IT ユニバース・マネージャだけです。
割除の候	削除候補の CI を現在のビューで識別します。	
	州で衣尓	<b>注:</b> このオプションがツールバーに表示されるのは, IT ユニバース・マネージャだけです。
<ul> <li>         スケ ジュー     </li> <li>         情報を 示     </li> </ul>	スケ ジュール 情報を表 示	選択したジョブのスケジュール情報を表示します。詳細につ いては, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の 「[ディスカバリスケジューラ]ダイアログ・ボックス」を 参照してください。
		<ul> <li>注: このオプションはツールバーの【データ フロー管理】 &gt; 【ディスカバリ モジュール/ジョブ】 &gt; 【依存関係マップ】タブに表示されます。詳細については、『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「【依存関係】タブ」を参照してください。</li> </ul>
<u>≞</u> ↑	カラム・ コンテン ツの並べ 替え	表示されているカラムの順序を設定できます。詳細について は, 「[カラム コンテンツの並べ替え]ダイアログ・ボック ス」(530ページ)を参照してください。
		<b>注:</b> このオプションは IT ユニバース・マネージャのテキ スト・モードでのみ表示されます。
そろえ	そろえる	角度がある2つのクエリ・ノード間の選択した関係をまっす ぐにできます。
		<b>利用方法:[レイアウト]&gt;[そろえる]</b> を選択します。
	<b>注:</b> このオプションは,エンリッチメント・マネージャ と影響分析マネージャでのみ使用できます。	
	ユーザ・ プリファ レンス	<ul> <li>[ユーザプリファレンス] ダイアログ・ボックスが開き、そこで警告メッセージのプリファレンスをリセットできます。</li> <li>詳細については、「[ユーザプリファレンス] ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。</li> <li>利用方法: [ツール] &gt; [ユーザプリファレンス] を選択しま</li> </ul>

ボタン	オプショ ン名	このオプションの機能
		す。
	ユーザ・ プロファ イル	[ユーザ・プロファイル] ダイアログ・ボックスが開き,現 在ログインしているユーザのユーザ詳細情報が表示されま す。 利用方法:[ツール] > [ユーザ プロファイル] を選択しま す。
	ズーム・ イン	トポロジ・マップ内の拡大する部分をクリックし,選択の矩 形で囲むことによって,その部分を拡大表示できます。選択 した領域は,トポロジ・マップに収まる最大の倍率で表示さ れます。
		利用方法:[モード] ボックスでドロップダウン・メニュー を開くか, [ビュー] > [ズーム イン] を選択します。IT ユ ニバース・マネージャとモデリング・スタジオで, [レイア ウト] > [ズーム イン] を選択します。

### [トポロジマップ] サイドバー

トポロジ・マップの各サイドバー・オプションについて,次の表で説明します。 [トポロジマップ] サイドバーは, IT ユニバース・マネージャとモデリング・スタジオに表示されます。

ボタン	オプション名	このオプションの機能
*	レイアウト・ ツールバーを 右 / 左へ移動	サイドバーを画面の右側または左側に移動します。
<b>a</b>	ズーム・イン /ズーム・ア ウト	トポロジ・マップでズーム・インまたはズーム・アウトしま す。
►	選択モード / ドラッグ・ モード	トポロジ・マップで選択モードとドラッグ・モードを切り替 えます。
	最適なレイア	トポロジ・マップを更新し,レイアウトを最適化します。

ボタン	オプション名	このオプションの機能
	ウトを取得す るため更新	
	ウィンドウに 合わせる	マップ全体を表示枠内にぴったり収めます。
	マップ・レイ アウトを変更	マップ・レイアウトを選択します。次のオプションを利用で きます。
		• [ <sup></sup> 階層レイアウト] トポロジ・マップ内の優先関係を 表示します。
		• <sup> </sup>
		・ <sup> ②</sup> [円形レイアウト] グラフのノードをグループまたは クラスタにグループ化します。
		• <sup> </sup>
		• <sup>III</sup> 対称型レイアウト: 複雑なネットワークをわかりやすく ビジュアル化して表示します。
102	マップ設定	次の設定を修正できます。
		• <sup>2</sup> エッジのラベルを表示/非表示 : すべての関係のラベル を表示または非表示にします。
		. <sup>⋈</sup> インジケータを表示/非表示:クエリ・ノードのカウント・インジケータを表示または非表示にします。
		• <b>メ エッジの強調表示を有効/無効</b> :選択したクエリ・ ノードのすべての関係を強調表示します。
		• <b>凡例を表示/非表示:</b> トポロジ・マップの凡例の表示/ 非表示を切り替えます。
₽ <mark>Ţ</mark>	マップ・ツー ル	次のツールが利用できます。 ・ ・ マップ概要を表示:トポロジ・マップのコピーを表示 する小さなボックスが開きます。この機能は、大きな ビューで表示をズーム・インしているときに便利です。

ボタン	オプション名	このオプションの機能
		<ul> <li>回印刷:トポロジ・マップを印刷します。</li> <li></li></ul>
	すべてのグ ループを展開	トポロジ・マップですべての CI グルーピングを展開します。 <b>注:</b> このオプションは,グルーピング・オプションが選 択されている場合にのみ利用できます。
	すべてのグ ループを折り たたむ	トポロジ・マップですべての CI グルーピングを折りたたみま す。 <b>注:</b> このオプションは,グルーピング・オプションが選 択されている場合にのみ利用できます。

# モデリング

## 第7章: IT ユニバース・マネージャ

本章の内容

•	IT ユニバース・マネージャの概要	173
•	IT ユニバース・マネージャでの作業	174
•	ツリー構造を表示	176
•	Cl での作業	
•	関係での作業	179
•	CIと関係の作成方法	184
•	関連 CI の表示方法	185
•	アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法(ビューの再検出)	186
•	影響分析結果の取得方法 - シナリオ	188
•	ビューのスナップショットを取る方法	194
•	トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法	194
•	IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース	194

### ITユニバース・マネージャの概要

IT ユニバース・マネージャにより, IT ユニバース・モデルのコンテンツを管理できます。次に, この アプリケーションの基本機能を示します。

- 関係を作成せずに CI を作成: CMDB に追加する新しい CI を個々に定義して,新しい関係が作成されないようにできます。詳細については,「非関連 CI の作成」(177ページ)を参照してください。
- 対応する関係を持つ CI を作成:新しい CI を定義して既存の CI に関連付けることで,新しい CI と 新しい関係を CMDB に定義できます。詳細については,「関連 CI の作成」(177ページ)を参照して ください。
- 既存の CI を追加して,追加した CI の関係を作成: CI を既存の CI に関連付けると,既存の CI に対して新しい関係を作成できます。詳細については,「既存の CI の関連付け」(181ページ)を参照してください。
- **CI の削除 :** CI を CMDB から削除できます。詳細については, 「CI の削除」(177ページ)を参照して ください。
- 影響分析結果の取得:ビューに定義した影響ルールを実行すると、定義された特定の変化がシステムに及ぼす影響をシミュレートし、変化の根本原因を発見できます。影響ルールの詳細については、「影響分析マネージャの概要」(432ページ)を参照してください。
- ビューのスナップショットを取る:HP Universal CMDBでは,ビューのステータスを別の時点で取得 したステータスと比較して,1つのスナップショットに表示できます。スナップショットを取る方

法の詳細については, 「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)を参照してください。

#### ITユニバース・モデルの作成

CMDB 内の IT ユニバース・モデルには, HP Universal CMDB 内で動作する CI 生成ツールによって生成 された CI と関係が含まれています。ほとんどの CI と関係は,次のいずれかのソースから発生しま す。

- データ・フロー管理(DFM):社内のインフラストラクチャ内で検出された IT リソースやトポロジ に基づいて、CI と関係を自動的に作成します。詳細については、『HP Universal CMDB データ・フ ロー管理ガイド』の「Data Flow Management Overview」を参照してください。
- IT ユニバース・マネージャ:ビジネスの論理要素や物理要素を表す CI と関係を手動で作成できま す。詳細については、「CI での作業」(177ページ)を参照してください。
- エンリッチメント・マネージャ:エンリッチメント TQL クエリに定義されているエンリッチメント・クエリ・ノードの属性からデータを受け取ることで、CI と関係を CMDB に追加できます。詳細については、「エンリッチメント・マネージャ」(489ページ)を参照してください。

### ITユニバース・マネージャでの作業

IT ユニバース・マネージャでは,ビュー・レベルでデータを分析します。ビューは,IT ユニバースの サブセットで,特定の対象領域に関連する CI だけが含まれています。すべてのビューは,ビューの 内容を決定するパターンに基づいています。

- パターン・ビューとテンプレート・ベース・ビューは、ビューの構造を定義する TQL(トポロジ・ クエリ言語)クエリから構築されます。ビューには、クエリ定義に適合する CI と関係だけが表示 されます。
- パースペクティブ・ベース・ビューは、CIのグループを選択し、パースペクティブを適用することによって手作業で構築します。パースペクティブとは、ビューに含まれる関連CIの定義に使用するパターンです。

ビューの各タイプに応じたエディタを使うことによって,すべてのビューはモデリング・スタジオで 構築します。異なる種類のビューと,それぞれの機能については,「ビュー形式」(232ページ)を参 照してください。

**注:** ビューを編集するには、ビューの更新権限が必要です。必要な権限がない場合は、HP Universal CMDBの管理者にお問い合わせください。

DFM で作成した CI は, CI (およびその関係) がビューの TQL 定義に適合するように, 各ビューに自動的に追加されます。 [CI の選択] でビューを開くと, そのビューの TQL クエリにより, 定義されて いるパターンに一致する CI が存在するかどうか, CMDB にクエリされます。一致する CI が見つから ない場合 (プロセスがまだ実行されていない DFM プロセスのビューのときなど), ビューは空の状態のままになります。

フェデレート・データ・ソースの統合ポイント全体で実行するようにクエリを定義することにより, 外部データ・ソース(フェデレート CI)からの CI をビューに含めることもできます。フェデレート CI は,フェデレート・ソースから取られたことを示す矢印アイコンと一緒にビュー内に表示されま す。



フェデレート・データ・ソースの詳細については, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイ ド』の「Integration Studio の概要」を参照してください。

**注:** 定義済みの統合ポイントを持つ事前定義済みのクエリの場合は, データ・ソースが UCMDB として設定されます。

IT ユニバース・マネージャのビューで作業しているときに新しい CI を定義すると、CI (およびすべての関連付けられた関係)が CMDB に作成されます。CI は、現在のビューの TQL 仕様を満たしている場合のみビューに追加されます。

作成した CI と関係が TQL の要件を満たしていない場合,その CI と関係は CMDB 内に作成されますが,ビューには表示されません。同様に,既存の CI をビュー内の CI に関連付け,新しいパターンが TQL の要件を満たしていない場合,関連付けた CI はビューに表示されませんが,その関係は作成され ています。

テンプレートとテンプレート・ベース・ビュー

テンプレートをIT ユニバース・マネージャで開くと、パターン・ビューのようにトポロジ・マップ でテンプレートが表示されます。 [CI の選択] ツールバーの [**テンプレート パラメータを表示**] 「シ ボタンをクリックすると、 [テンプレート パラメータ値] ダイアログ・ボックスが開き、テンプ レート・パラメータの値を変更してトポロジ・マップ内の表示結果を変更できます。さまざまなパラ メータ値を試してトポロジ・マップがどう変わるのかをご覧ください。なお、変更はテンプレート自 体に保存することはできません。選択したパラメータとともにテンプレート・ベース・ビューに表示 結果を保存するには、 [テンプレート パラメータ値] ダイアログ・ボックスで [ビューに名前を付 けて保存] ボタンをクリックします。

IT トポロジ・マネージャ内のテンプレートへのダイレクト・リンクを作成して,パラメータ値を直接 URL に挿入することもできます。詳細については,「パラメータ値を含むテンプレートへのダイレク ト・リンクの作成方法」(99ページ)を参照してください。

ビューのライフサイクル

ー定期間, [CI の選択] からビューへのアクセスがなければ,システムのメモリを節約するために ビューはクリアされます。ただし,ビューは CMDB からは削除されていないので,そのビューをク リックすると再び取得できます。未使用のビューをクリアする標準設定の期間は1時間です。

注:永続として定義されているビューはクリアされることはなく、常にメモリに保持されます。

非表示ビュー

非表示ビューのバンドルを定義してそのバンドルにビューを割り当てると, IT ユニバース・マネージャに表示されない非表示ビューとしてビューを指定できます。

#### ビューを非表示ビューとして指定するには、次の手順を実行します。

- 1. インフラストラクチャ設定マネージャで, [CI の選択に含まれる非表示のバンドル名]を選択 します。
- 2. 標準設定値として新規バンドル名を入力し,設定を保存します。
- 3. 関連するビューをモデリング・スタジオで開き, ツールバーの [定義プロパティの表示] 🖾 ボ タンをクリックします。
- 4. [定義プロパティの表示] ダイアログ・ボックスで,非表示ビューのバンドルを選択しそのバンドルにビューを割り当てます。

### ツリー構造を表示

ビューは, IT ユニバース・マネージャの左表示枠に階層ツリー形式で表示されます。これをビュー・ エクスプローラ(または CI の選択)と呼びます。これをビュー・エクスプローラ(または CI の選 択)と呼びます。ビューの名前は、ツリー上部の[ビュー]ボックスに表示され、ビュー内の CI を 格納するフォルダとして機能します。

[CIの選択] ツリーの最初のレベルは,ルート CI のクエリ・ノードから構成されています。ルート CI は,ビューのサブツリーの起点です。ビューには,任意の数のサブツリーが含まれます。ルート CI の下には分岐 CI があり,各分岐の末端の最終クエリ・ノードであるリーフ CI まで展開されます。

サブツリー内の各レベルの CI は,そのすぐ上の分岐上にある CI に関連付けられているとみなされま す。この関係付けは,一般に依存関係を表しています。したがって,上位の(ルート CI に近い)分 岐はビジネス・プロセス内の1つ下の(リーフ CI に近い)分岐上にある CI に依存するビジネスのコ ンポーネントを表します。たとえば,アプリケーションはそのアプリケーションを実行するサーバに 依存します。

上位クエリ・ノードと下位クエリ・ノードの関係付けは,親子関係と呼ばれます。親 CI は多くの関係付けられた子 CI を持つことができ,子 CI は親に動作ステータスを渡します。

ツリーのトポロジは、そのビューに定義された階層によって決定されます。パターン・ビューでは、 これらは特定のビューに対して定義されます。テンプレート・ベース・ビューやパースペクティブ・ ベース・ビューの階層は、テンプレートまたはパースペクティブの一部として定義されます。階層定 義の詳細については、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。

### CI での作業

IT ユニバース・マネージャでは, 関連 CI および非関連 CI の作成, CI の削除, CI プロパティの編集, エイジング・メカニズムを使用した古い CI の削除を行うことができます。

本項の内容

- 「非関連 CI の作成」(177ページ)
- 「関連 CI の作成」(177ページ)
- 「CIの削除」(177ページ)
- 「CI プロパティ」(178ページ)
- 「エイジング・メカニズムを使った期限切れ CI の削除」(179ページ)

#### 非関連 CI の作成

IT ユニバース・マネージャで新規 CI を定義するには,ツールバーで [新規 CI ] <sup>1</sup> ボタンをクリックします。 [新規 CI] ダイアログ・ボックスが開き,新しい CI プロパティを定義できます。CMDB に CI が作成されます。詳細については,「 [新規 CI / 新規関連 CI] ダイアログ・ボックス」(219ページ)を参照してください。

**注:** CI は, ビューのパターン, テンプレート, またはパースペクティブの仕様に適合する場合にのみビューに追加されます。

この方法で作成された CI は, CMDB に存在するほかの CI と関係を持たない独立したエンティティとして追加されます。

関連 CI の作成

新しいCIが、既存のCIの親、子、または兄弟として追加されるように定義できます。

#### 新しい関連 CI を定義するには,次の手順を実行します。

- 1. 新しい CI を関連付ける CI をビューで選択します。
- 2. ツールバーの [新規関連 CI] 🕺 ボタンをクリックします。
- 3. [新規関連 CI] ダイアログ・ボックスで、CI プロパティと関係を定義します。詳細について は、「[新規 CI / 新規関連 CI] ダイアログ・ボックス」(219ページ)を参照してください。

CIと関係がCMDBに作成されます。

**注:** CI と関係は, ビューのパターン, テンプレート, またはパースペクティブの仕様が一致 した場合のみビューに追加されます。

CIの削除

CIを削除するには、IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニューで [CMDB から削除] を

選択します。CI が CMDB およびすべてのビューから削除されます。CI に子がある場合は,親 CI を削除しても子は自動的には削除されません。ビュー内で親 CI と,親 CI とともに表示される子 CI の関係を削除せずに親 CI を削除すると,子 CI はビューに表示されなくなります。

子 CI がほかのビューに表示されていない場合,子 CI はビューに表示されませんが CMDB には残されています。それらの子 CI は,パターン要件を満たした場合にそのビューに表示されるようになります。

このルールの例外は,子 CI と親 CI の関係が **Composition** の場合です。この場合は,親 CI が削除されると,それに含まれている CI も CMDB から削除されます。たとえば,ノード CI が子 CPU CI のコンテナである場合,ノード CI が削除されると,CPU も CMDB から削除されます。

DFM プロセスによって作成された CI を削除すると,次に DFM が実行されるときに CI が復元され(CI がまだ有効であった場合),関連するすべてのビューに再び表示されます。

**注:** 場合によっては CI が CMDB から削除されますが,クエリはその優先度のためにまだ更新され ていないので,TQL クエリは表示されます。クエリが IT ユニバース・マネージャで消費される と,UCMDB は CI のプロパティを見つけることができず,トポロジ・マップに [**ラベルなし**]の 名前と表示されます。

#### CIプロパティ

CI プロパティは, IT ユニバース・マネージャで編集できます。CI プロパティは複数のカテゴリに分割 されて [新規 CI] ダイアログ・ボックスに表示されます。

- CIの一般プロパティは、すべての CI で共通です。一般プロパティには、CI の作成中に自動的に定 義されるものと、[新規 CI] ダイアログ・ボックスで手動による定義が必要なものがあります。
- CIT 固有のプロパティは、CI タイプ・マネージャでCIT 定義の一部として作成されます。CIT 固有の プロパティの値は、DFM 中に検出されたCI から取得されます。インフラストラクチャ内のエン ティティを表すためにCI を手動で作成する場合は、これらの値を手動で入力することもできま す。詳細については、「CI タイプ・マネージャ」(450ページ)を参照してください。
- キー・プロパティには一般プロパティと CIT 固有のプロパティがあり、CI タイプのインスタンスを 作成するために値を割り当てる必要があります。

IT ユニバース・マネージャから [構成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックスにアクセスして CI プロパティを表示するには、CI を右クリックして [**プロパティ**] を選択するか、詳細表示枠で [プ ロパティ] タブをクリックします。CI の編集に必要な権限を持っている場合は、CI プロパティを編集 することもできます。CI プロパティの詳細については、「[構成アイテムのプロパティ] ダイアロ グ・ボックス」(199ページ)を参照してください。

CIT 固有のプロパティは、 [カテゴリ分け済み] ボタンを使用してプロパティを並べ替えると、 [構 成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックスの特定のプロパティ・セクションに表示されます。 自動的に作成された CI プロパティには編集できるものもありますが、CI が [Allow CI Update] (全 般プロパティ)に設定されている場合は、DFM が CI を更新するときに変更内容を上書きする場合が あります。選択したプロパティの説明は、 [構成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックスの下 部にある詳細領域で確認できます。 DFM CI の CIT 固有のプロパティには、変更を監視するように標準で設定されるものがあります。これ らのプロパティが修正された場合は、変更に関する情報を CI 変更レポートで表示できます。詳細に ついては、「CI 変更レポート」(350ページ)を参照してください。

#### エイジング・メカニズムを使った期限切れCIの削除

CI または関係が一定期間,更新またはリフレッシュされていない場合(CI が DFM によって再検出されておらず,かつ手動更新が実施されていないときなど),エイジング・メカニズムによって CI が CMDB から削除されます。詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクル とエイジング・メカニズム」を参照してください。

注: CI に適用される次の操作は、フェデレート CI では実行できません。

- CI プロパティの編集
- CIの削除
- 別の CI との関係の作成
- CI 履歴の表示
- ディスカバリ・ジョブへの CI の追加
- ディスカバリ・ジョブからの CI の削除

### 関係での作業

CMDB における CI 間の関係の多くは, DFM などによって自動的に作成されます。また, IT ユニバー ス・マネージャ, エンリッチメント・マネージャ, 影響分析マネージャ, モデリング・スタジオで は, 手動で関係を作成することもできます。

#### 本項の内容

- 「関係の作成」(180ページ)
- 「階層関係の作成」(180ページ)
- 「既存の CI の関連付け」(181ページ)
- 「ビュー階層の設定」(181ページ)
- 「関係のプロパティ」(182ページ)
- 「関連 CI の表示」(182ページ)
- 「関係の削除」(182ページ)
- 「レイヤ間の関係」(183ページ)

関係の作成

関係を作成するには, [CIの選択]表示枠またはトポロジ・マップで1つまたは複数のCIを右ク リックし,ショートカット・メニューで[**CI に関連付け**]を選択します。トポロジ・マップでは,

ツールバーの [**関係を作成**] <sup>【】</sup> ボタンを使用してビュー内の 2 つの CI の間に線を引くことによっ て, 2 つの CI の関係を定義できます。いずれの操作でも [関係を挿入] ダイアログ・ボックスが開き ます。詳細については, 「 [関係の挿入] ダイアログ・ボックス」(205ページ)を参照してくださ い。

CMDB内のCIとほかのCIとの間で必要な数の関係を作成できます。新しい各関係は、独自のエン ティティとしてCMDB内に存在し、ITユニバース・マネージャで編集可能な独自のプロパティを持っ ています(「[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス」(199ページ)を参照してくださ い)。各関係が異なる関係のタイプに基づいている場合は、2つの同じCIの間に複数の関係を作成す ることもできます。次の例では、host7はBackboneとTalkの2つの関係をswitch3に対して持ってい ます。



**注:** 実行中のソフトウェア CI が Containment 関係のある別の CI に関連する場合は,実行中のソフトウェア CI から別の Containment 関係を作成できません。

階層関係の作成

CIをIT ユニバース・マネージャの別のCIに関連付けることにより、CI間に階層関係(親子関係)を 作成し、1 つのCIがほかのCIの影響を受けるようにします。

この方法で定義された関係は、関係タイプ [Usage] (関係が2つの非モニタリング CI 間の場合)または関係タイプ [Monitored By] (関係内の子 CI がモニタ・タイプ CI の場合)に制限されますが、 特定のタイプの CI 間では、ほかの関係タイプが使用されます。たとえば、2つのノード CI 間で関係 を定義する場合、複数の関係タイプが可能になります。
#### モデリング・ガイド 第7章: IT ユニバース・マネージャ



注: 子 CI を親 CI に関連付ける場合, CMDB 内でその関係が作成されます。このため,子は,関係 が存在するすべてのビューにおいて親 CI に影響を与えるとともに,子と関係が TQL クエリに一 致するすべてのビューに表示されます。

#### 既存のCIの関連付け

[関係を挿入]ダイアログ・ボックスを使用すると、既存の CI を関連付けることができます。この ダイアログ・ボックスには、次の 2 つのモードがあります。

- 関連付ける CI を選択する。
- ・ 元の CI と関連付ける CI の関係を定義する。

関連付ける CI を選択する場合,複数の CI をビューから選択して元の CI に関連付けることができます。ただし,一度の操作で関連付ける CI はすべて,同じ関係のタイプを持っている必要があります。たとえば, [Usage]関係を使用する CI を, [Monitored By]関係を使用する CI と同じ操作で 関連付けることはできません。

#### ビュー階層の設定

ビューのクエリ・ノード定義と関係定義を設定した後は、そのビューに対して階層を設定できます。 これにより、選択した CI が異なるレベルで表示されるようになり、ビュー内の CI の組織構造を定義 できます。階層を定義しなかった場合、トポロジ・マップまたはテーブルは標準で、クエリ結果に含 まれるすべての CI を 1 つのレベルで表示します。たとえば、クエリ結果にノードと IP Subnet が含ま れる場合、トポロジ・マップまたはテーブルではどちらの CI タイプも同じレベルで表示されます。

注: トポロジ・マップで1つのレイヤに表示できる CI の最大数は 900 個です。ビューに 900 個を

超える CI が存在するレイヤがある場合, 階層が変更されるまで, そのビューはトポロジ・マッ プに表示されません。ただし, 900 個を超える CI が存在するレイヤは, テキスト・モードのテー ブルには表示できます。

階層設定の詳細については、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。

関係のプロパティ

関係には CI に類似したプロパティがあります。IT ユニバース・マネージャから [構成アイテムのプ ロパティ]ダイアログ・ボックスにアクセスして関係プロパティを表示するには、関係を右クリック して [**プロパティ**]を選択するか、詳細表示枠で [プロパティ]タブをクリックします。CI の編集に 必要な権限を持っている場合は、関係プロパティを編集することもできます。関係プロパティの詳細 については、「 [構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス」(199ページ)を参照してくだ さい。

**注:** ノード構成要素タイプの CI またはその子孫の CI タイプに接続された**複合**タイプの関係の場合 は、関係プロパティは保存されません。このような関係を持つ TQL クエリが実行されると、プロ パティを編集した場合でも、関係プロパティの標準設定値が使用されます。

関連 CI の表示

選択した CI に関連する CI はすべて,トポロジ・マップで表示できます。ビューで CI を選択し, [**関 連 CI**] タブを選択します。 [関連 CI を取得] 表示枠では,表示範囲を選択できます。 [**表示**] を選 択すると,トポロジ・マップには,選択した CI とビュー内の関連 CI だけが表示されます (ビュー階 層内の位置は関係しません)。 [CMDB] を選択すると,選択された CI と CMDB 内の関連 CI すべてが 表示されます。 [関連 CI を取得] 表示枠の結果に CI タイプごとのフィルタを適用して, CI にパース ペクティブを適用することもできます。詳細については,「[関連 CI を取得] 表示枠」(218ページ) を参照してください。

[CMDB] ダイアログ・ボックスの [関連 CI を取得] を使用して, [関連 CI] を表示することもでき ます。詳細については, 「[CMDB からの関連 CI の取得] ダイアログ・ボックス」(204ページ)を参 照してください。

関係の削除

トポロジ・マップには、現在のビューに含まれる CI の関係だけが表示されます。ただし、同じ関係 がほかのビューにも含まれる場合があます。IT ユニバース・マネージャで関係を削除すると、その関 係は CMDB とすべてのビューから削除されます。

関係を削除した場合,ビューのパターンに一致する場合には,関係の対極にある CI はビューに表示 された状態になる場合があります。ただし,削除した関係が composition link である場合,ターゲッ ト CI もともに削除されます。

パースペクティブ・ベース・ビューでは、モデリング・スタジオのパースペクティブ・ベース・ ビュー・エディタでビューから非表示にすることによって、CIをビューから完全に削除できます (CMDB からは削除されません)。 DFM プロセスによって作成された関係を削除すると、次に DFM が実行されるときに関係が復元され (関係がまだ有効であった場合),関連するすべてのパターン・ビューに再び表示されます。

ビューからサブツリーまたは複数の CI と関係を削除するには、数分かかることがあります。

レイヤ間の関係

ー定の状況において、IT ユニバース・マネージャはビューの1つのレイヤにあるCI間の関係を表示 しますが、その関係には、そのレイヤにあるCI間の実際の関係ではなく、むしろビューのさらに深 いレイヤにあるCI間の関係が反映されます。そのような関係をレイヤ間関係と呼びます。

たとえば次のビューでは、2 つのノード CI が依存関係でお互いに関連し合っています。また、それぞれがメンバシップ関係によって IP Subnet に関連付けられ、ノードが IP Subnet の下のレイヤになるようにビュー階層が定義されます。



IT ユニバース・マネージャでビューを削除すると、実際の関係はビューの下層レイヤにある CI 間に のみ存在するとしても、異なる IP Subnet の下のノード CI 間の関係が、親 IP Subnet 間の関係として ビューの上層レイヤに表示されます。IP Subnet 間のフル・パスを表示するには、関係をダブルク リックしてください。

別の形態のレイヤ間関係は、上層レイヤにある同タイプの複数の親 CI の下に同じ CI が表示される場合に発生します。そのような場合は、階層定義に従って、子 CI とその関係がビュー内で複製されます。そのような子 CI の関係により、親 CI の間でレイヤ間関係が作成されます。このタイプのレイヤ間関係を重複メタリンクと呼びます。

たとえば次のビューでは,1つのノード CI が階層内の2つの IP Subnet CI の下に存在しています。そのためこのノードとその子は,各 IP Subnet の下に1回ずつ,ビュー内に2回表示されます。各ノー

ドは他方の IP Subnet 以下のノードの子 CI に事実上関連付けられており,これにより,2つの IP Subnet 間でレイヤ間関係が生成されます。



レイヤ間関係と重複メタリンクは、トポロジ・マップにグレーで表示されます。(モデリング・スタ ジオの[定義プロパティの表示]ダイアログ・ボックスで定義された)レイヤ間関係を表示するため に次のオプションを使用できます。

- なし:全レイヤ間関係を非表示
- 中間層:重複メタリンクではなく、最初のタイプのレイヤ間関係を表示します。
- フル:重複メタリンクを含むすべてのレイヤ間関係を表示します。

レイヤ間関係のツールチップは、その関係が表す内部関係を示します。内部関係が1つだけの場合 は、関係ラベルにその関係タイプが表示されます。複数の内部関係がある場合は、ラベルが[**中間** 層]となり、ツールチップにすべての内部関係が一覧表示されます。内部関係の数が10を超える場 合は、最初の10件のみが表示され、さらに内部関係が存在することが注記に示されます。

# CIと関係の作成方法

このタスクでは,関連 CI と非関連 CI,および CI 間の関係を CMDB 内に作成する方法について説明します。

本項の内容

- 「新しい非関連 CI の定義」(185ページ)
- 「新しい関連 CI の定義」(185ページ)
- 「既存の CI の関係付け」(185ページ)

新しい非関連 CIの定義

ツールバーの [新規 CI] থ ボタンをクリックします。 [新規関連 CI] ダイアログ・ボックスで, CI タイプをツリーから選択し, 新しい CI プロパティを定義します。詳細については, 「[新規 CI/新規 関連 CI] ダイアログ・ボックス」(219ページ)を参照してください。

新しい関連CIの定義

ツールバーの [新規関連 CI] W ボタンをクリックします。 [新規関連 CI] ダイアログ・ボックス で、CI タイプをツリーから選択し、新しい CI プロパティを定義します。ダイアログ・ボックスの [関係] ページで、関係のタイプを選択してプロパティを定義します。詳細については、「[新規 CI / 新規関連 CI] ダイアログ・ボックス」(219ページ)を参照してください。

#### 既存のCIの関係付け

ビューで CI を選択します。CI を右クリックして [**CI に関連付け**] を選択します。 [関係を挿入] ダ イアログ・ボックスで,ターゲット CI を選択します。ダイアログ・ボックスの [関係] ページで, 関係のタイプを選択してプロパティを定義します。詳細については,「[関係の挿入] ダイアログ・ ボックス」 (205ページ)を参照してください。

# 関連 CI の表示方法

次の手順で, IT ユニバース・マネージャで関連 CI を表示するオプションについて説明します。

- 「関連 CI の表示」(185ページ)
- 「表示範囲の選択」(186ページ)
- 「関連 CI のフィルタ処理」(186ページ)
- 「CI へのパースペクティブの適用」(186ページ)

関連 CI の表示

IT ユニバース・マネージャで、トポロジ・マップまたは CI の選択で CI を選択して、 [関連 CI] タブ

を選択します。 [**関連 CI の取得を有効化**] <sup>6</sup> ボタンをクリックします。選択した CI とその関連 CI が表示されます。 [CI の選択] から別の CI または複数の CI を選択すると、それに応じて表示が変更 されます。

注: 関連 CI の内容は, マップ・モードまたはテキスト・モードで表示できます。

[関連 Cl を取得] ユーザ・インタフェースの詳細については, 「[関連 Cl を取得]表示枠」(218 ページ)を参照してください。 表示範囲の選択

[関連 CI を取得]表示枠で,関連 CI の表示範囲を選択します。 [関連 CI を常時] ボタンをクリック します。選択した範囲に応じて,表示内容が変更されます。

関連 CI のフィルタ処理

[CI タイプで関連する CI をフィルタリング] セクションで,関連 CI で表示する CI タイプを選択しま す。[**関連 CI をフィルタ**] ボタンをクリックします。フィルタ処理の結果がタブに表示されます。 上記で選択した範囲は適用されたままで,選択したフィルタに応じて表示内容が削減されます。

CIへのパースペクティブの適用

[パースペクティブを CI に追加] セクションで,選択した CI に適用するパースペクティブを選択します。[パースペクティブを適用] ボタンをクリックします。結果がタブに表示されます。

注: この機能は,範囲として [CMDB] が選択されている場合にのみ有効です。

# アプリケーション・ディスカバリのステータス をチェックする方法(ビューの再検出)

アプリケーションの所有者または管理者として,アプリケーションに関する問題を常に把握している 必要があります。たとえば,ディスカバリが正しく機能していて,現在の設定でアプリケーション・ データベースに接続できることを知っておくことが重要です。本項では,アプリケーションのディス カバリの現在のステータスをチェックする再検出手順を実行する方法について説明します。

注:

- セットアップと設定は、UCMDB管理者が実行します。詳細については、「前提条件」(187 ページ)を参照してください。
- ・ 再検出は、アプリケーションの所有者または管理者が実行します。詳細については、
   「ビューへのアクセス」(187ページ)を参照してください。
- この手順を実行するのに、データ・フロー管理(DFM)の知識は必要ありません。
- 標準設定では,10,000 個より少ない CI を含むビューに対して再検出手順を実行できます。この数値を変更する方法の詳細については,「重要情報」(228ページ)を参照してください。

本項の内容

- 「前提条件」(187ページ)
- 「ビューへのアクセス」(187ページ)
- 「ビューに結果を表示」(187ページ)
- 「再検出のスケジュール設定」(188ページ)

1. 前提条件

注: この手順は, UCMDB 管理者が実行します。

- a. DFM で, アプリケーションを検出する必要があるジョブを含むモジュールを作成します。詳 細については, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「モジュール/ジョブ ベースのディスカバリの実行方法」を参照してください。
- b. モジュールとすべてのジョブをアクティブにします。ジョブは, アクティブな状態にしてお く必要があります。
- c. モジュールがエラーなく実行されたことを確認します。詳細については、『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「エラー・メッセージの概要」および「ディスカバリ モジュール/ジョブ - 詳細」を参照してください。
- d. アプリケーションのエラーを修正し,次の実行時に DFM でエラーが検出されないことを確認します。

**注意:** アプリケーションの所有者は, DFM によってエラーが報告されている場合は, ビューを再検出できません。エラーのないベースラインを設定する必要があります。

- e. モデリング・スタジオで,再検出対象のアプリケーション CI (1 つまたは複数)を含む ビューを定義します。これらは,アプリケーションを検出するジョブをアクティブにすると きに作成される CI です。詳細については,「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)を 参照してください。
- f. アプリケーションの所有者にビューの名前を通知します。
- 2. ビューへのアクセス

注: このステップは,アプリケーションの所有者または管理者が実行します。

IT ユニバース・マネージャで,再検出対象のアプリケーション CI を含むビューにアクセスします。詳細については,「検索モードでの CI の検索方法」(126ページ)を参照してください。

- 3. ビューに結果を表示
  - a. 完全なアプリケーションをチェックします。 [CI の選択] ツールバーで [ディスカバリおよ び変更のサマリを表示] ジ ボタンをクリックします。 [ディスカバリのステータスおよび ビューの変更を表示] ダイアログ・ボックスが表示されます。ダイアログ・ボックスには, DFM によってジョブのディスカバリが最後に実行されたときの, ビュー内で CI を検出した ジョブと CI に関する情報が表示されます。詳細については, 「 [ディスカバリのステータ スと変更の表示] ダイアログ・ボックス」(228ページ)を参照してください。

ディスカバリを実行するには、 [検出を再実行] ボタンをクリックします。ジョブとトリガ CI に関する情報を表示するには、リンクを使用してドリル・ダウンします。詳細について は、『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラー・メッセージの概要」を 参照してください。 b. アプリケーションの特定のコンポーネントをチェックします。コンポーネントの CI を [トポロジマップ]表示枠で選択し、詳細表示枠に [ディスカバリ]タブを表示します。詳細については、「[ディスカバリのステータスと変更の表示]ダイアログ・ボックス」(228ページ)を参照してください。

複数の CI を再検出するには, CTRL キーを押して CI を選択し, [ディスカバリ] タブを表示 します。

ディスカバリを実行するには、 [検出を再実行] ボタンをクリックします。

4. 再検出のスケジュール設定

再検出手順を実行する頻度について,スケジュールを設定できます。[ジョブ定義]ウィンド ウで, [**ビューでディスカバリを再実行**]アクションを選択します。詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「[ジョブ定義]ダイアログ・ボックス」を参照してください。

# 影響分析結果の取得方法 - シナリオ

影響分析マネージャでは,特定のインフラストラクチャの変化がシステムに及ぼす影響をシミュレートできる影響ルールを作成できます。影響ルールの結果は,ITユニバース・マネージャに表示されます。このタスクの影響分析結果は,接続されているノードに CPU 操作の変化がどのような影響を与えるかを示してします。

本項の内容

- 「影響分析 TQL クエリの定義」(188ページ)
- 「影響ルールの定義」(189ページ)
- 「モデリング・スタジオでのビューの作成」(190ページ)
- 「影響分析結果の取得」(190ページ)
- 1. 影響分析 TQL クエリの定義

影響分析 TQL クエリを定義するには、影響ルールを作成し、次にクエリを定義する TQL クエリ・ノードと関係を追加する必要があります。

影響分析 TQL クエリを作成するには、 [マネージャ] > [モデリング] > [影響分析マネー ジャ]を選択します。クエリにクエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

#### 影響分析 TQL クエリの例:

この影響分析 TQL クエリでは、CPU とノードを Composition 関係でリンクします。

#### モデリング・ガイド 第7章: IT ユニバース・マネージャ



#### 2. 影響ルールの定義

影響ルールを定義するときは、クエリ・ノード間で必須の因果関係を指定する必要がありま す。1 つのクエリ・ノードをトリガすなわちシステムに加える変更を示すクエリ・ノードとし て、別のクエリ・ノードをその影響を受けるものとして定義します。

トリガとして定義するクエリ・ノードを右クリックし、[影響を受けるものを定義]を選択し て、[影響を受けるクエリノード]ダイアログ・ボックスを開きます。トリガ・クエリ・ノー ドの影響を受けるクエリ・ノードを選択して、[次へ]をクリックします。次に、[追加]ボ タンをクリックして、[影響ルール定義]ダイアログ・ボックスを開き、影響を受けるクエ リ・ノードを定義する条件を設定します。影響ルールを定義する方法の詳細については、 「[影響ルール定義]ダイアログ・ボックス」(444ページ)を参照してください。

**注:** 影響ルール定義の [change] 状態オプションは影響分析には関係しなくなりました。サポートされる状態は [operation] のみです。

#### 影響ルールの例:

[影響ルール定義]ダイアログ・ボックスの[条件]領域で、システムの変更シミュレーションが起動される条件を定義します。ダイアログ・ボックスの下部で、影響を受けるクエリ・ノードに対する影響の重要度を定義します。

この例の状態の影響ルールでは, CPU 動作が標準状態でないときにノードに影響があります。トリガの重要度が 100% に設定されているため,ノードの重大度は CPU の重大度と同じになります。この重大度は影響分析の実行時に決まります。

影響ルー)	レ定義					×
¥細:						
条件						
状態:	operation					-
演算子:	等価					-
値の比較:	Normal					•
対象範囲						
◉ 任意						
○ すべて						
🔘 範囲	0	%	-	100	%	
○固定された重大度:						
● 重大度はトリガの重大度との相対値 (%): 100						
				ок ј	キャンセ	2.74

結果の TQL クエリでは、トリガ・クエリ・ノードとして定義されたクエリ・ノードの横に 上向き矢印が表示され、影響を受けるクエリ・ノードとして定義されたクエリ・ノードの横 に下向き矢印が表示されます。



3. モデリング・スタジオでのビューの作成

モデリング・スタジオに移動し、定義した影響ルールの TQL クエリと一致するビューを作成します。詳細については、「パターン・ビュー・エディタ」(292ページ)を参照してください。

4. 影響分析結果の取得

[マネージャ] > [モデリング] > [IT ユニバース マネージャ] を選択し, [CIの選択] から必要なビューを選択します。影響分析結果を取得するには,トポロジ・マップ内のトリガとなる

CI インスタンスに対して影響ルールを実行します。トリガ CI を右クリックし, [影響分析を実行]を選択して[影響分析を実行]ダイアログ・ボックスを開きます。ダイアログ・ボックス で,実行する影響ルールを選択します。指定したバンドルにある影響ルールのみを選択する場 合は,必ず選択した影響ルールのプロパティ・オプションを使用して影響ルールを必要なバン ドルに追加してください。詳細については,「[影響ルールグループ]ページ」(448ページ)を 参照してください。

影響ルールを実行する方法の詳細については,「[影響分析を実行]ダイアログ・ボックス」 (225ページ)を参照してください。

#### 影響分析結果の取得例:

Composition の関係によって接続されている CPU とノードを含む,影響分析 TQL クエリが作成されています。CPU クエリ・ノードはトリガ・クエリ・ノードとして定義され,タイプ・ ノードのクエリ・ノードは影響を受けるクエリ・ノードとして定義されています。

🍰 影響ルーク	● 定義 🛛 📉			
詳細:				
条件				
状態:	operation			
演算子:	等価 🔽			
値の比較:	Normal			
対象範囲				
◉ 任意				
○ ★ ~ ₹				
◯ 範囲	0 % - 100 %			
◯固定きれた重大度: Critical ▼				
◉ 重大度はトリガの重大度との相対値 (%): 100				
	OK キャンセル			

このクエリには、次の影響ルールが定義されています。

ビューから CPU CI を右クリックし, [影響分析を実行] を選択して [影響分析を実行] ダ イアログ・ボックスを開きます。トリガの重大度を, [Normal] 以外の値に設定します。

形容 トリガの重	#お竹のトリカる 大度	2、夫179 つ一)	■の影響ルール	を選択します					
Normal	Warning(1)	Warning(2)	Minor(3)	Minor(4)	Minor(5)	Minor(6)	Major(7)	Major(8)	Critical
相関ルール ・ すべて の	の影響ルール								
<ul> <li>特定の/</li> </ul>	「ンドル内の影	響ルールのみ							
影響ルール	のパンドル: [								

結果を表示するには、次のいずれかをクリックします。

ビューで表示:この場合は、ビュー内のすべてのCIにステータスが割り当てられます。
 CPU CI (重大度が変更されたもの)に接続しているノードCI だけが影響を受けます。
 [影響分析を実行]ダイアログ・ボックスで、トリガの重大度がオレンジ色を割り当てた[重大(7)]に設定されているため、トリガCIと影響を受けたCIがオレンジ色に変わります。



行]ダイアログ・ボックス」(225ページ)を参照してください。

# ビューのスナップショットを取る方法

IT ユニバース・マネージャでビューのスナップショットを取って保存し、スナップショット比較レポートを使って、異なる時間に取られた同じビューのスナップショットどうしを比較できます。 ビューのスナップショットを取る方法の詳細については、「[スナップショットを保存する]ダイアログ・ボックス」(227ページ)を参照してください。比較したビューの実際の差異を表示する方法の詳細については、「スナップショット比較レポート」(364ページ)を参照してください。

# トポロジ・マップをファイルに印刷して保存す る方法

トポロジ・マップの内容を印刷し、それをファイルに保存できます。印刷する前に、要件に従って印 刷設定を定義し、トポロジ・マップの内容を整列することをお勧めします。印刷設定を定義する方法 の詳細については、「[印刷設定]ダイアログ・ボックス」(159ページ)を参照してください。印刷 の前にトポロジ・マップの内容をプレビューする方法の詳細については、「[印刷プレビュー]ダイ アログ・ボックス」(159ページ)を参照してください。トポロジ・マップの内容を印刷する方法の詳 細については、「[印刷]ダイアログ・ボックス」(158ページ)を参照してください。トポロジ・ マップをファイルに保存する方法の詳細については、「画像にマップをエクスポート」(143ページ) を参照してください。



本項の内容

•	[Cl をモデルに追加] ダイアログ・ボックス	195
•	[CI をビューに追加] ダイアログ・ボックス	.196
•	[時間枠の変更] ダイアログ・ボックス	.196
•	[CI / 関係の履歴] ダイアログ・ボックス	. 197
•	[構成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックス	. 199
•	[サブ レポートの生成] ダイアログ・ボックス	. 204
•	[CMDB からの関連 CI の取得] ダイアログ・ボックス	. 204
•	[関係の挿入] ダイアログ・ボックス	. 205

•	[IT ユニバース マネージャ] ページ	209
•	[新規 Cl / 新規関連 Cl] ダイアログ・ボックス	219
•	[最近のディスカバリ元] ダイアログ・ボックス	224
•	[影響分析を実行] ダイアログ・ボックス	
•	[スナップショットを保存する] ダイアログ・ボックス	
•	[ディスカバリのステータスと変更の表示] ダイアログ・ボックス	
•	[影響を表示] 表示枠	

# [CIをモデルに追加] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、選択した CI をモデルに追加できます。

利用方法	[ <b>マネージャ]</b> >[ <b>モデリング]&gt;[IT ユニバース マネージャ]</b> を選択します。 CI の選択で CI を右クリックし,[ <b>CI をモデルに追加</b> ]を選択します。
重要情報	この機能は, インスタンス・ベース・モデルにのみ関連します。パターン・ ベース・モデルに選択した CI を追加することはできません。
関連情報	<ul> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> <li>「ビジネス CI モデル」(238ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
<モデル・ツリー>	[ <b>既存のモデル</b> ]が選択されている場合,ツリーからモデルを選択しま す。
新規 Cl プロパティの 定義	[ <b>新規モデル</b> ]が選択されている場合,モデルの名前とプロパティを定 義します。
既存のモデル	選択した CI を既存のモデルに追加するには, [ <b>既存のモデル</b> ]を選択し ます。
新規モデル	選択した CI を新規モデルに追加するには,[ <b>新規モデル</b> ]を選択しま す。
CI タイプの選択	[ <b>新規モデル</b> ]が選択されている場合,モデルの Cl タイプを選択しま す。

### [CIをビューに追加] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,選択した CI をパースペクティブ・ベース・ビューに追加できます。

 利用
 [マネージャ] > [モデリング] > [IT ユニバース マネージャ] を選択します。CIの選択で

 方法
 CIを右クリックし, [CIをビューに追加] を選択します。

 関連
 • 「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)

- 情報 「IT ユニバース・マネージャでの作業」(174ページ)
  - 「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
<ビューのツ リー>	[ <b>既存のビュー</b> ] が選択されている場合,ツリーからビューを選択します。
既存のビュー	選択した CI を既存のパースペクティブ・ベース・ビューに追加するには,[ <b>既存</b> <b>のビュー</b> ]を選択します。
新規ビュー	選択した CI を新しいパースペクティブ・ベース・ビューに追加するには,[ <b>新規</b> <b>ビュー</b> ]を選択します。
ビュー名	[ <b>新規ビュー</b> ] が選択されている場合,ビューの名前を編集します。

### [時間枠の変更] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,トポロジ・マップの変更を表示するとともに,表示する変更の時間 枠を設定できます。

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [IT ユニバース マネージャ] を選択しま す。メイン・ツールバーまたは IT ユニバースのステータス・バーで, [変更時 間枠の設定] <sup>[6]</sup> ボタンをクリックします。
重要情報	トポロジ・マップに変更インジケータが表示されている場合, IT ユニバースの ステータス・バーには [ <b>変更時間枠はアクティブです</b> ] というメッセージが表 示されます。
	インジケータを非表示にするには,ダイアログ・ボックスを開き [ <b>変更を表示</b> しない]を選択するか,ITユニバースのステータス・バーから [ <b>変更時間枠の</b> リセット] 😡 ボタンをクリックします。
関連情報	• 「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)

	• 「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)					
ユーザ・イン	ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。					
UI 要素	詳細					
選択した時間枠に応じ	このオプションを選択すると,選択した期間中に追加または変更された各 CI の横 に,次のインジケータを表示します。					
た変更の表 示	<ul> <li>         ・ <sup>1</sup> 追加された CI のインジケータ     </li> </ul>					
	<ul> <li>▲ 変更された CI のインジケータ</li> </ul>					
	ドロップダウン・リストから期間を選択します。 [カスタム] を選択する場合は,省					
	略記号					
	インジケータが表示されているときにそのインジケータをクリックすると,選択した 期間中のその CI の履歴を表示する [CI 履歴] ダイアログ・ボックスが開きます。					
変更を表示 しない	このオプションを選択すると、変更インジケータを非表示にできます。					

[CI/関係の履歴] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスには,変更があった CI または関係の属性,および 2 つの構成ファイルの 違いが表示されます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャの CI の選択またはトポロジ・マップで,選択した CI または関係を右クリックし, <b>[CI 履歴</b> ] を選択します。
	<b>注:</b> CI および関係の履歴データは, IT ユニバース・マネージャの詳細表示枠 の[履歴]タブにも表示されます。
重要情報	すべての CI および関係属性は, CI タイプ・マネージャで [ <b>履歴用の追跡ではあ</b> <b>りません</b> ] 修飾子でマーキングされている属性を除き, 履歴に含まれています。 詳細については, 「[属性の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス」(460ページ) を参照してください。
	<b>注:</b> マルチテナンシー環境では、 [CI 履歴] ダイアログ・ボックスにビュー CI 権限に関連付けられたテナントに関連する履歴イベントのみが表示され ます。ただし、UCMDB バージョン 10.01 にアップグレードする前に発生し た [CI/関係の削除] イベントは、 [ビュー CI] 権限に関連付けられたテナ ントと無関係に表示されます。
関連情報	• 「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)

<ul> <li>「IT ユニパ</li> </ul>	「ース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)				
ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。					
UI 要素	詳細				
6	<b>更新:</b> テーブルのデータを更新します。				
9	<b>相違を表示 :</b> 構成ファイルの内容の 2 つの履歴エントリの相違を 表示できます。この機能は,次の状況で使用します。				
	<ul> <li>タイプが [Configuration Document] である CI の [Document Content] 属性の 2 つの履歴エントリを選択して,相互に比較 する。</li> </ul>				
	<ul> <li>タイプが [Configuration Document] である CI の [Document Content] 属性の 1 つの履歴エントリを選択して,その CI の現 在の内容と比較する。</li> </ul>				
	[相違を表示] ボタンをクリックすると Visualdiff レポートが開 きます。このレポートには、2 つのエントリの比較が表示されま す。2 つ目のエントリに追加したテキストは、黄色で強調表示さ れます。1 つ目のエントリから削除したテキストは、赤色で強調 表示されます。エントリ間の違いは、緑色で強調表示されます。				
	<ul> <li>データをファイルにエクスポート:履歴データをエクスポートできます。次のオプションからエクスポート形式を選択します。</li> <li>XLS:テーブルのデータは、スプレッドシートに表示できる.xls(Excel)ファイル形式に整形されます。</li> <li>PDF:テーブルのデータは、PDF形式でエクスポートされます。</li> </ul>				
	<b>注:</b> PDF にエクスポートする場合, レポートが読みやすくなるよう表示列の適切な数を選択します。				
	• RTF:テーブルのデータは,リッチ・テキスト形式でエクス ポートされます。				
	<ul> <li>CSV:テーブルのデータは、スプレッドシートに表示できるカンマ区切り(CSV)テキスト・ファイル形式に整形されます。</li> </ul>				
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには, カンマ(,)を区切り文字として定義する必要がありま す。Windows では,区切り文字の値を確認または変更する には,コントロール・パネルの[地域のオプション]を開 いて,[数値]タブでカンマが区切り文字の値として定義 されていることを確認します。Linux では,区切り文字は				

UI 要素	詳細
	CSV ファイルを開くアプリケーションで指定できます。
	• XML:テーブルのデータは,テキスト・エディタまたは XML エ ディタで開くことができる XML ファイルとして整形されま す。
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出するには,次の手 順を実行します。
	<ul> <li>ファイルを HTML エディタで開きます。</li> </ul>
	<ul> <li>関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーする。</li> </ul>
属性	属性の名前です。
日付の変更	最後に変更が行われた日付です。
適用フィルタ	次のフィルタの1つまたは複数を使って,テーブル内のデータが フィルタ処理されます。
	• 時間範囲でフィルタ: [Cl 履歴] を表示する期間を選択しま す。
	• 変更タイプ:テーブルに表示する変更のタイプを選択します。
	• 属性:テーブルに表示する属性のタイプを選択します。
変更元	変更理由が示されます。たとえば、このフィールドにはユーザま たは DFM ジョブの名前が含まれます。
新規値	属性の新しい値です。
古い値	属性の古い値です。

### [構成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、既存の CI または関係の基本情報を表示、編集できます。

利用方法	[マネージャ]>[モデリング]>[IT ユニバース マネージャ]を選択し,次 のいずれかを使用します。
	<ul> <li>トポロジ・マップまたは [CIの選択] で CI または関係を選択します。詳細表 示枠で、 [プロパティ] タブを選択し [編集] をクリックします。</li> </ul>
	<ul> <li>トポロジ・マップまたは [CIの選択] で CI または関係を選択し、 [CI プロ</li> </ul>
	<b>パティの表示</b> ] 🚰 ボタンをクリックします。
	<ul> <li>トポロジ・マップまたは [CIの選択] で CI または関係を右クリックし、 [プ</li> </ul>

	<b>ロパティ</b> ]を選択します。
重要情報	[構成アイテムのプロパティ] ダイアログ・ボックスには,次の 2 種類のプロ パティがあります。
	<ul> <li>一般プロパティ: CI または関係に関する一般情報が含まれています。これらのプロパティは、すべての CIT に共通しており、後述のようにドキュメント化されています。</li> </ul>
	<ul> <li>CIT 固有のプロパティ:特定の CI に固有のプロパティが含まれています。これらのプロパティは、CI または関係のタイプによって異なるため、ドキュメント化されていません。</li> </ul>
	プロパティをカテゴリごとに並べ替える場合,CIT 固有のプロパティはリスト の上部に表示され,一般プロパティは下部に表示されます。
	選択したプロパティの説明は,ダイアログ・ボックスの下部にある説明領域に 表示されます。説明領域を表示するには, [詳細領域を表示 / 非表示] ボタン をクリックします。
	必須フィールドにはアスタリスク(*)が付いています。
	<b>注:</b> HP Universal CMDB では,サロゲート・ペアおよび結合文字は完全には サポートされていません。
関連情報	・ 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエイジング・メ カニズム」
	• 「CI での作業」(177ページ)
	• 「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
6	カテゴリ分け済み:プロパティがカテゴリごとに表示されます。
<u>₽</u> ↓	<b>アルファベット:</b> プロパティがアルファベット順に表示されます。
i	詳細領域を表示/非表示: [CI プロパティ] ダイアログ・ボックスの下部に ある説明領域の表示と非表示が切り替わります。
*	<b>展開:</b> プロパティをカテゴリごとに表示したときに,プロパティ・ツリー が展開されます。
*	<b>折りたたみ:</b> プロパティをカテゴリごとに表示したときに、プロパティ・ ツリーを折りたたみます。

UI 要素	詳細
🖹 エクスポート 🔹	<b>データをファイルにエクスポート :</b> テーブル・データをエクスポートでき ます。次のオプションからエクスポート形式を選択します。
	• Excel : テーブルのデータは,スプレッドシートに表示できる .xls (Excel)ファイル形式に整形されます。
	• PDF:テーブルのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。
	<b>注:</b> PDF にエクスポートする場合, レポートが読みやすくなるよう表 示列の適切な数を選択します。
	• RTF:テーブルのデータは, リッチ・テキスト形式でエクスポートされ ます。
	<ul> <li>CSV:テーブルのデータは、スプレッドシートに表示できるカンマ区切り(CSV)テキスト・ファイル形式に整形されます。</li> </ul>
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには、カンマ (,)を区切り文字として定義する必要があります。Windows では、 区切り文字の値を確認または変更するには、コントロール・パネル の[地域のオプション]を開いて、[数値]タブでカンマが区切り 文字の値として定義されていることを確認します。Linux では、区 切り文字は CSV ファイルを開くアプリケーションで指定できます。
	<ul> <li>XML:テーブルのデータは、テキスト・エディタまたは XML エディタで 開くことができる XML ファイルとして整形されます。</li> </ul>
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出するには,次の手順を実行 します。
	• ファイルを HTML エディタで開きます。
	<ul> <li>関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーする。</li> </ul>
<クイック・フィル タ>	[クイックフィルタ]ボックスに文字列を入力して,プロパティ名および 値をフィルタ処理します。左端のボックスをクリックして,フィルタ・オ プションのドロップダウン・メニューを開きます。
	• [ <b>すべて</b> ]を選択すると、プロパティ名およびプロパティ値内のフィル タ文字列が検索されます。 [ <b>名前</b> ] を選択すると、プロパティ名内の フィルタ文字列のみが検索されます。 [ <b>値</b> ] を選択すると、プロパティ 値内のフィルタ文字列のみが検索されます。
	• [大文字小文字を区別する] を選択すると、入力されたとおりのフィル 夕文字列が検索されます。 [大文字小文字を区別] を選択すると、フィ ルタ文字列の大文字小文字は考慮されません。
	• [ <b>ワイルドカードを使用する</b> ]を選択すると、フィルタ文字列内でワイ

UI 要素	詳細
	ルドカード記号*を使用できます。 • [はじめがマッチする]を選択すると、プロパティ名またはプロパティ 値の先頭のフィルタ文字列が検索されます。 [正確にマッチ]を選択す ると、完全に一致するフィルタ文字列が検索されます。 [いずれかが マッチする]を選択すると、プロパティ内のすべてのフィルタ文字列が 検索されます。
Actual Deletion Period	CI または関係が削除されるまでの日数です。
Allow CI Update	このオプションを選択すると、DFM プロセスが検出した情報を使用して、 CI または関係のプロパティを自動的に更新できます。DFM プロセスによっ て提供されたプロパティの値を変更した場合、値は検出された値によって 上書きされます。 このオプションをオフにすると、CI または関係のプロパティは、DFM プロ セスによって上書きされません。
適用	[ <b>適用</b> ]をクリックすると、CIまたは関係のプロパティに加えた変更内容 が保存されます。
CI タイプ	CI または関係のタイプ(読み取り専用の値)。HP Universal CMDB の CIT の 詳細については, 「CI タイプ・マネージャ」(450ページ)を参照してくださ い。
作成者	CI または関係を手動で作成した管理者のユーザ名です(該当する場合) (読み取り専用の値)。
Create Time	Clまたは関係が作成された日時です。
Deletion Candidate Period	エージング・メカニズムが有効なときに CI が削除の候補になってからの期 間です。
説明	CIまたは関係の簡単な説明です。
表示ラベル	CI の選択に表示される CI または関係の名前です。
編集	詳細表示枠の [プロパティ] タブでは CI プロパティを表示できますが,編 集することはできません。 [ <b>編集</b> ] をクリックして [構成アイテムのプロ パティ] ダイアログ・ボックスを開き,そこでプロパティを編集できま す。
エイジングの有効化	CI または関係が一定期間,更新またはリフレッシュされていない場合(CI が DFM によって再検出されておらず,かつ手動更新が実施されていないと きなど),エイジング・メカニズムによって CI が CMDB から削除されま す。詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「エイジング・

UI 要素	詳細
	メカニズムの概要」を参照してください。
	<b>True の場合</b> :この Cl または関係のエイジング・メカニズムは有効になって います。
	False の場合 :この CI または関係のエイジング・メカニズムは無効になりま す。
	注:
	<ul> <li>エージング・メカニズムが [エイジング ステータス] で無効の場合,このフィールドは無視されます。</li> </ul>
	• このフィールドは,特定の CI に対してのみ表示されます。
	<ul> <li>標準設定値は,選択した CI の CI タイプの [エイジングの有効化]</li> <li>属性の標準設定値によって決定されます。</li> </ul>
Global Id	CMDB内のCIまたは関係の内部ID(読み取り専用の値)です。
最終アクセス日時	DFM による更新または検出時に, CI または関係が最後にアクセスされた時 刻です。このフィールドは,特定のCI または関係に対してのみ表示されま す。
	このパラメータは, エージング・メカニズムによって使用されます。詳細 については, 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエ イジング・メカニズム」を参照してください。
	注: 標準設定では、このプロパティはディスカバリ・ジョブまたはイ ンテグレーションの実行によって (I が検出されるたびに更新されま す。このプロパティがディスカバリ・ジョブまたはインテグレーショ ンによって更新されないようにするには、データ・フロー管理モ ジュールの [アダプタ管理] > [アダプタ構成] タブで、[「最終アク セス日時」の更新を有効化] オプションをクリアします。詳細につい ては、『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[アダプ タ構成] タブ」を参照してください。
Last Modified Time	CI または関係のプロパティが最後に更新された日時です。
Name	CIまたは関係の名前です。
Note	CI または関係に関する, ほかの情報を入力できます。
Origin	CI または関係を自動的に作成したソース,あるいは CI または関係が作成されたアプリケーションの ID(読み取り専用の値)です。
リセット	[ <b>リセット</b> ] ボタンをクリックすると、CI または関係の元のプロパティ設 定が復元されます。

モデリング・ガイド 第7章: IT ユニバース・マネージャ

UI 要素	詳細
更新者	CI または関係のプロパティを更新した管理者のユーザ名です。
ユーザ・ラベル	CI または関係の表示ラベルを定義できます。値が入力されていない場合, CI 名が標準設定ラベルとして表示されます。

ショートカット・メニュー

メニュー項目	説明
プロパティ名と値をコ ピー	選択したプロパティの名前と値がメモリにコピーされます。

[サブレポートの生成] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、選択した CI のサブ・レポートを生成できます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャで,トポロジ・マップまたは CI の選択で CI を 右クリックして, [ <b>サブ レポートを生成</b> ]を選択します。
重要情報	サブ・レポートでは,選択した CI にパースペクティブを適用し,結果を レポート形式で表示できます。リストからパースペクティブを選択し, [ <b>OK</b> ] をクリックします。サブ・レポートが別のウィンドウに表示され ます。
関連情報	<ul> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<利用可能なパースペクティブの リスト>	リストには,レポートのプロパティでサブ・レポートのパー スペクティブとして指定されているパースペクティブのみが 表示されます。選択した CI タイプに一致するパースペクティ ブのみが表示されます。
詳細	選択したパースペクティブの説明です。

### [CMDBからの関連CIの取得] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは, CMDB で指定した CI に関連する CI を, マップ形式またはテーブル 形式で表示できます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャで,対象の CI を右クリックして[ <b>関連 CI を取得</b> ]を 選択します。
重要情報	[CMDB から関連 CI を取得] ダイアログ・ボックスは, IT ユニバース・マネー ジャの [関連 CI] タブのスタンドアロン・バージョンです。 [関連 CI を取得] 表 示枠内の機能を使用して,表示内容を制御できます。詳細については,「[関連 CI を取得] 表示枠」(218ページ)を参照してください。
	[CMDB から関連 CI を取得] ダイアログ・ボックスでは,関連 CI の表示範囲を選 択できません。範囲は CMDB 全体となります。
	<b>注:</b> テキスト・モード形式には, [Cl インスタンス] ダイアログ・ボックス で使われているアイコンが使用されます。詳細については, 「Cl インスタン ス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。
関連タスク	「関連 Cl の表示方法」(185ページ)
関連情報	<ul> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> </ul>

[関係の挿入] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、CIの選択で選択したCIに、CIを関係付けることができます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャで,トポロジ・マップまたは CI の選択で CI を右クリックして, [ <b>CI に関連付け</b> ]を選択します。
重要情報	2 つの CI の間に関係を作成するには、CI の選択またはトポロジ・マップでソース CI を選択し、ショートカット・メニューで [CI に関連付け] を選択します。ダイ アログ・ボックスの最初のページ([CI の選択] ページ)で、ターゲット CI (1 つまたは複数)を選択します。次に、[関係] をクリックし、ダイアログ・ボッ クスの 2 ページ目で関係のタイプを選択します。
	また,ツールバーの [ <b>関係を作成</b> ]
	• 関係の選択:利用可能な関係のタイプを含むツリーが表示されます。必要な関係を選択してください。
	<b>注:</b> 選択した関係をダブルクリックすると,標準設定のプロパティを使用 して保存できます。
	• <b>関係のプロパティ :</b> 選択した関係のプロパティが表示されます。「[関係のプロパティの定義]表示枠」(207ページ)に説明されている方法で,プロパティを

	編集できます。	
関連タスク	「CI と関係の作成方法」(184ページ)	
関連情報	<ul> <li>「CI セレクタ」(130ページ)</li> <li>「[関係] ページ」(206ページ)</li> </ul>	

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細	
⇒	左側の表示枠で選択した CI が [ターゲット CI] 表示枠に追加されます。	
¢	選択した CI が[ターゲット CI]表示枠から削除されます(CI は CMDB からは削 除されません)。	
ターゲット CI の選択	ビュー・ツリーに表示するビューを選択し, [ターゲット CI] 表示枠に移動す る CI を選択します。	
	[ <b>ターゲット CI の選択</b> ]表示枠の詳細については, 「CI セレクタ」(130ページ) を参照してください。	
ソース ()	ソース CI として選択した CI です。	
ターゲット CI	選択した CI が関係のターゲット CI として表示されます。	

[関係] ページ

このページでは,元の CI と,ダイアログ・ボックスの [CI の選択] ページで選択した CI の間に作成 する関係を定義できます。

利用方法	[関係を挿入] ダイアログ・ボックスで [ <b>関係</b> ] ボタンをクリックします。
重要情報	複数の関係を定義するときは,関係ごとに異なる説明とプロパティ値を定義で きます。その場合は,ここではプロパティの定義は省略して,関係の作成後に 各関係を個別に編集します。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

[関係の選択] 表示枠

UI 要素	Description
方向	関係の方向を選択します。
	ー部の関係タイプ( <b>Composition</b> ,またはグループ CI とモニタ CI の間など)については,1方向しか利用できません。

UI 要素	Description
関係	元の CI と関係付け先の CI の間に作成する関係のタイプを定義します。リストから オプションを選択してください。
ソースロ	関係の1つ目の CI の名前が表示されます。これはビューで選択した CI です。
ターゲット Cl	元の CI に関連付けられる,関係の 2 つ目の CI の名前が表示されます。

### [関係のプロパティの定義] 表示枠

UI 要素	説明	
Actual Deletion Period	エイジング・メカニズムが有効なときに,関係を削除するまでの期間です。	
Allow CI Update	値が true に設定されていると,DFM プロセスによって関係が自動的に更新されま す。	
作成者	関係を手動で作成した管理者のユーザ名(該当する場合)です。	
Create Time	関係が作成された日時です。	
Deletion Candidate Period	関係が削除の候補になった後の日数です。	
説明	関係の詳細な説明です。	
Destination Network Address	ルート・リンクに対してのみ定義します。このルートの設定先となる宛先のネット ワーク・アドレスを示します。	
エイジング の有効化	CI または関係が一定期間,更新またはリフレッシュされていない場合(CI が DFM に よって再検出されておらず,かつ手動更新が実施されていないときなど),エイジ ング・メカニズムによって CI が CMDB から削除されます。詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエイジング・メカニズム」を 参照してください。	
	<b>True の場合</b> :この Cl または関係のエイジング・メカニズムは有効になっています。	
	<b>標準設定値 :False</b> 。DFM CI の標準設定値は <b>True</b> です。	
	注:	

UI 要素	説明	
	<ul> <li>エージング・メカニズムが無効の場合、このフィールドは無視されます。</li> <li>このフィールドは、特定の CI に対してのみ表示されます。</li> </ul>	
最終アクセ ス日時	DFM による更新または検出時に,関係が最後にアクセスされた時刻です。この フィールドは,特定の CI に対してのみ表示されます。 このパラメータは,エージング・メカニズムによって使用されます。詳細について は,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエイジング・メカニ ズム」を参照してください。	
Last Modified Time	関係のプロパティが最後に更新された日時です。	
Must	値を true に設定すると、親 CI のステータスの計算にパーセンテージ・ルールを使用 するときに子 CI が有力になります。CI のステータスが低い場合、親は子 CI のステー タスを取り、必要な場合にはパーセンテージ・ルールの計算を上書きする必要があ ります。これは、重要な CI に重点を置くのに便利です。たとえば、データベースに 障害が発生した場合に、サブツリー内のほかの CI のステータスに関係なく、データ ベース CI に [Must] を定義して、サブツリーの上位までステータスを [致命的] に する必要がある場合があります。 関係に定義した must ステータスは、その関係にのみ適用され、子 CI のほかの関係 では使用されません。このフィールドは、HP Business Service Management を使用し ている場合にのみ関連します。	
Name	関係の簡単な説明です。値を入力しなければ、名前の代わりに関係のタイプが使用 されます。	
Note	関係に関する,ほかの情報を入力できます。	
Origin	関係を自動的に作成したソース,または関係が作成されたアプリケーションの ID で す。	
更新者	CI プロパティを更新した管理者のユーザ名です。	
ユーザ・ラ ベル	関係の表示ラベルを定義できます。値が入力されていない場合,関係名が標準設定 ラベルとして表示されます。	
Weight	重み付けの値を入力すると,親CIのステータスの計算にパーセンテージ・ルールを 使用するときに,パーセンテージの計算で子CIに重みが付けられます。たとえば, 子CIに3の重みを付けると,重み付けのない兄弟と比べて,親のステータスの計算 に3倍の影響があります。 関係に定義した重み付けは,その関係にのみ適用され,子CIが持っている,ほかの	

UI 要素	説明	
	関係では使用されません。このフィールドは,HP Business Service Management を使 用している場合にのみ関連します。	

### [ITユニバースマネージャ] ページ

このページでは、CIと関係をビューで定義、管理できます。

利用方法	[ナビゲーション メニュー]から[IT ユニバース マネージャ]を選択するか, [マネージャ]>[モデリング]>[IT ユニバース マネージャ]を選択します。
重要情報	[IT ユニバース マネージャ] ページには次の表示枠があります。
	<ul> <li>CI セレクタ:選択したビューの CI が表示されます。ドロップダウン・リストからビューを選択するか、特定の CI を検索できます。詳細については、「CIセレクタ」(130ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>トポロジ・マップ:選択したビューのCIがマップ・モードまたはテキスト・ モードで表示されます。</li> </ul>
	• 詳細表示枠:選択した CI またはビューのプロパティ,履歴,およびディスカ バリが表示されます。
	• 関連 CI を取得 :この表示枠は, [トポロジマップ]の [関連 CI] タブからア クセスできます。タブ内の表示内容を制御します。
	IT ユニバース・マネージャでは,新しい CI の作成,既存の CI の変更,または CI の削除を行えます。これらのアクションはすべて, IT ユニバース・モデル全体に 直接影響します。たとえば、ビューで CI を削除すると、その CI は IT ユニバー
	ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。
関連タスク	<ul> <li>ス・モデルから削除され,いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> </ul>
関連タスク	ス・モデルから削除され,いずれのビューにも表示されなくなります。 • 「CIと関係の作成方法」(184ページ) • 「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)
関連タスク	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CIと関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「関連 CI の表示方法」(185ページ)</li> </ul>
関連タスク 関連情報	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「関連 CI の表示方法」(185ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> </ul>
関連タスク 関連情報	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「関連 CI の表示方法」(185ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャでの作業」(174ページ)</li> </ul>
関連タスク 関連情報	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「関連 CI の表示方法」(185ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャでの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャでの作業」(174ページ)</li> <li>「CI セレクタ」(130ページ)</li> </ul>
関連タスク 関連情報	<ul> <li>ス・モデルから削除され、いずれのビューにも表示されなくなります。</li> <li>「CI と関係の作成方法」(184ページ)</li> <li>「トポロジ・マップをファイルに印刷して保存する方法」(194ページ)</li> <li>「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)</li> <li>「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)</li> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「ビューの表示方法」(185ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャでの作業」(174ページ)</li> <li>「CI セレクタ」(130ページ)</li> <li>「トポロジ・マップの概要」(142ページ)</li> </ul>

### トポロジ・マップ

この領域には,現在選択しているビューの CI がグラフィック形式またはテーブル形式で表示されます。標準設定では, CI はグラフィック形式で表示されます。

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [IT ユニバース マネージャ] を選択します。
重要情報	[トポロジマップ] ショートカット・メニューをカスタマイズすると, ほかのコマンド (ping, プログラムの実行, URLの表示など)を CI タイプ・マネージャ内から追加できます。詳細については, 「構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成」(468ページ)を参照してください。
	注: グループ化されている CI およびその関係については、ショートカット・ メニューの全オプションがアクティブになるわけではありません。グループ 化されている CI は、CI の選択およびトポロジ・マップで括弧内に表示されま す。グループ化されている CI へのリンクをダブルクリックすると、リンク・ マップを開いて個々の CI と関係を表示することができます。リンク・マップ で CI または関係を右クリックすると、通常のショートカット・メニューを表 示できます。グループ化されている CI の詳細については、「[クエリノー ドのグループ化] ダイアログ・ボックス」(304ページ)を参照してください。
関連情報	「トポロジ・マップの作業」(142ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<sup>田マップ</sup> マップ・モード	<b>マップ :</b> Cl の選択したレイヤがトポロジ・マップ形式で表示されま す。
	<b>注:</b> ビューで選択したレイヤが大きすぎてトポロジ・マップ形 式で表示できない場合は,テキスト形式でレイヤを表示するた めのリンクとともにメッセージが表示されます。
<sup>いっテキスト</sup> テキスト・モード	<b>テキスト :</b> 選択したレイヤにある CI の属性プロパティがテーブル形 式で表示されます。
	テキスト・モードのツールバー・アイコンの詳細については, 「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してくだ さい。
次の CIインスタンスを表示: Network (5) 💌	テーブルに表示する CIT を指定します。テーブルには,選択した CIT の子も含まれます。
	<b>注:</b> このオプションは,テキスト・モードでのみ表示されま

UI 要素	詳細
	す。
<現在位置表示リスト>	トポロジ・マップ上部にある現在位置表示リストは,選択したレイ ヤへのパスに対する,ビューの各レイヤ内の関連するクエリ・ノー ドを示します。パス内の最初の項目は <b>最上位レイヤ</b> です。また,下 のレイヤから CI を選択するとき,親 CI が現在位置表示パス内の次の 項目になります。パス内のいずれかの項目をクリックすると,トポ ロジ・マップ内のそのレイヤが表示されます。
<cl タイプ属性=""></cl>	テキスト・モードで表示されるカラムは,選択した CI の CIT 属性を 表しています。
<グループ化>	トポロジ・マップ内の CI は, ビュー定義で選択したデフォルト・グ ループ化に従って表示されます。IT ユニバース・マネージャで ビューを消費するときは, 別のグループ化方法を手動で選択しま す。次のオプションを使用できます。
	<ul> <li>レイヤでグループ化: CI タイプの [レイヤ] 属性の値に従って CI をグループ化します。</li> </ul>
	・ CI タイプでグループ化 : CI タイプに従って CI をグループ化しま す。
	• 分類でグループ化:CIタイプの [分類] 属性の値に従ってCI をグ ループ化します。
	• グループ化なし:CI をグループ化しません。
	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションはマップ・モードのみで使用できます。</li> <li>グループ化オプションを選択すると、各グループには、グループ内のCIの数を表示するインジケータが含まれます。グループに多数のCIが含まれている場合、形式が破損して表示され、グループ名とカウント・インジケータしか表示されません。[+]記号ボタンをクリックしてグループを展開し、すべてのCIを表示します。インフラストラクチャ設定マネージャの[初めにグループ最大CIしきい値を展開します]設定を修正することで、自動グループ折りたたみのCIしきい値を設定できます。</li> </ul>
<it ステータ<br="" ユニバース="">ス・バー&gt;</it>	トポロジ・マップ下のステータス・バーには,次のプロセスのス テータスが表示されます。 • 影響分析がアクティブかどうか

UI 要素	詳細
	<ul> <li>・変更時間枠がアクティブかどうか</li> <li>・削除の候補が表示されているかどうか</li> <li>・データが最後に更新された時刻</li> </ul>
<凡例>	<ul> <li>CIの横に表示されるアイコンは、次の特別な状態を表します。</li> <li>追加済み:変更時間枠がアクティブなとき、CIが追加されたことを表します。</li> <li>削除の候補:CIが削除の候補であることを表します。</li> <li>変更済み:変更時間枠がアクティブなとき、CIが変更されたことを表します。</li> <li>レイヤを1つドリル・ダウン:仮想レイヤ上のCI下にCIがあることを示します。</li> <li>外部:CIがフェデレートCIであることを表します。</li> <li>影響を受ける:影響分析がアクティブなとき、影響を受けたCIを示します。</li> <li>影響を受けてトリガする:影響分析がアクティブなとき、影響を受けたトリガCIを示します。</li> <li>メモ:CIにメモが追加されたことを表します。</li> <li>トリガ:影響分析がアクティブなとき、トリガCIを示します。</li> </ul>
<メイン・メニュー>	詳細については, 「メイン・メニュー」(157ページ)を参照してくだ さい。
<クエリ・ノード>	トポロジ・マップ内のクエリ・ノードは, CI を表します。 ポインタをクエリ・ノードの上に置くと, CI のタイプを説明する ツールチップが表示されます。
<関係>	トポロジ・マップ内のリンクは、関係を表します。 ポインタを関係の上に置くと、関係のタイプを説明するツールチッ プが表示されます。 注:計算された関係を選択すると、ツールバーの【削除】
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプション」(160ページ)を参照し てください。 注: ダイレクト・リンクを通じてトポロジ・マップにアクセス

UI 要素	詳細
	するときは,関連 CI マップからのオプションがツールバーに表示されます。詳細については,「 [CMDB からの関連 CI の取 得]ダイアログ・ボックス」(204ページ)を参照してください。
<ツールチップ>	ポインタを CI に合わせると、 CI データを示すツールチップが表示さ れます。ツールチップは、次のいずれかの修飾子よってマークされ る CI について、すべての属性を表示します。 ・ 比較可能 ・ アセット・データ ・ 管理対象 カウント・インジケータを保持した場合は、ツールチップは、その 下にある CI タイプ別 CI のブレークダウンを表示します。グループ化 オプションを選択した場合は、グループ上にポインタを保持して、 グループ内の CI タイプ別 CI ブレークダウンをツールチップで表示し ます。
< [トポロジ マップ] サイ ドバー>	詳細については, 「[トポロジ <i>マップ</i> ]サイドバー」(169ページ)を 参照してください。
関連 CI	[ <b>関連 CI</b> ] タブをクリックすると,ビュー内または CMDB 全体に対して,選択された CI の相互依存関係が表示されます。 [関連 CI を取 得]表示枠で,表示範囲を制御できます。
結果の表示	[ <b>結果の表示</b> ] タブをクリックすると, ビュー内の全レイヤが表示 されます。

ITユニバース・マネージャのショートカット・メニュー

[IT ユニバース マネージャ]ページには次の要素があり, [CI の選択] 表示枠または [トポロジ マップ] で, CI または関係を右クリックすると表示されます。

メニュー項目	説明
アクション	次のオプションのいずれかを選択します。
	<ul> <li>ディスカバリ・ジョブへの CI の追加: [ディスカバリ ジョブへの CI の追加]</li> <li>ダイアログ・ボックスが表示され,選択した CI の DFM ジョブを手動で呼び出すことができます。このオプションを使用すると,利用可能な DFM ジョブの1つを通じて,CI に関する追加の情報を検出できます。</li> </ul>
	<ul> <li>ディスカバリ・ジョブからの CI の削除: [ディスカバリ ジョブからの CI の削除] ダイアログ・ボックスが表示され, CI を DFM ジョブから手動で削除でき</li> </ul>

メニュー項目	説明	
	ます。	
	• ディスカバリの進行状況を表示 : 選択した Cl の [ディスカバリの進行状況] ダイアログ・ボックスが開きます。	
	• 最近のディスカバリ元:選択した CIの [最近のディスカバリ元] ダイアロ グ・ボックスが開きます。	
	• CI 資格情報を開く: [プロトコル パラメータ] ダイアログ・ボックスが表示 され,該当 CI に対して以前に定義した資格情報の詳細を表示できます。変更 を行うことはできません。このオプションは,資格情報プロパティを持つ CI のみに関係しています。	
	詳細については, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[プ ロトコル パラメータ]ダイアログ・ボックス」を参照してください。	
	• CI 資格情報を編集: [資格情報の選択] ダイアログ・ボックスが表示され, 別の資格情報セットを選択したり既存の資格情報を編集したりできます。このオプションは, 資格情報プロパティを持つ CI のみに関係しています。	
	詳細については,『HP UCMDB Discovery and Integrations Content Guide』に記 載のサポートされているプロトコルを参照してください。	
	• スキャン・ファイルの再処理 選択したノードのスキャン・ファイルが再処理 されます。	
	<b>注:</b> このオプションは, [ <b>ノード</b> ] タイプまたはそのサブタイプの CI に のみ使用できます。	
CI をモデルに追 加	選択した CI を新規または既存のモデルに追加します。	
CI をビューに追 加	選択した CI を新規または既存のパースペクティブ・ベース・ビューに追加しま す。	
テナントを割り 当て	[テナントを割り当て] ダイアログ・ボックスが開き, テナントを CI に割り当 てることができます。	
	<b>注:</b> このオプションは,マルチテナンシが有効になっている場合にのみ利用 できます。	
CI 関係履歴	[CI 履歴] ダイアログ・ボックスが表示されます。詳細については,「[CI / 関 係の履歴] ダイアログ・ボックス」(197ページ)を参照してください。	
CI 比較レポート	選択した CI に対して CI 比較レポートを実行します。詳細については, 「CI 比較 レポート」(359ページ)を参照してください。	
	<b>注:</b> このオプションは, 1つまたは2つの CI が選択されている場合にのみ有	

効です。         CMDB から削除       選択した CI または関係をビューおよび CMDB から削除できます。         注:親 CI を削除すると,選択した CI およびその子はビューから削除されます。         ナブレボート         サブレボート         [サブレポートを生成] ダイアログ・ボックスを開きます。ここで、CI のスペクティブを選択して、サブレポートを作成できます。詳細については「「サブレポートの生成] ダイアログ・ボックス」(204ページ)を参照してい。         関連 CI を取得       [CMDB から関連 CI を取得] ダイアログ・ボックスを開きます。詳細についてはない。	
CMDB から削除       選択した CI または関係をビューおよび CMDB から削除できます。         注:親 CI を削除すると,選択した CI およびその子はビューから削除されます。         サブレポート         すが、データベースからは選択した CI のみが削除されます。         サブレポート         を生成       [サブレポートを生成] ダイアログ・ボックスを開きます。ここで、CI のスペクティブを選択して、サブレポートを作成できます。詳細については「[サブレポートの生成] ダイアログ・ボックス」(204ページ)を参照してい。         関連 CI を取得       [CMDB から関連 CI を取得] ダイアログ・ボックスを開きます。詳細については、	
注:親CIを削除すると、選択したCIおよびその子はビューから削除されます。         サブレポート         サブレポート         [サブレポートを生成]ダイアログ・ボックスを開きます。ここで、CIのスペクティブを選択して、サブレポートを作成できます。詳細については「「サブレポートの生成]ダイアログ・ボックス」(204ページ)を参照していい。         関連CIを取得       [CMDBから関連CIを取得]ダイアログ・ボックスを開きます。詳細についてはない。	
サブレポート       [サブレポートを生成] ダイアログ・ボックスを開きます。ここで、CLO         を生成       スペクティブを選択して、サブレポートを作成できます。詳細については         「[サブレポートの生成] ダイアログ・ボックス」(204ページ)を参照して         さい。         関連 CL を取得         [CMDB から関連 CLを取得] ダイアログ・ボックスを開きます。詳細については	ょ
関連 CI を取得 [CMDB から関連 CI を取得] ダイアログ・ボックスを開きます。詳細につ	>パ− ҟ, てくだ
は, 「 [CMDB からの関連 CI の取得] ダイアログ・ボックス」(204ページ 照してください。	)いて りを参
<b>ラベル</b> 次のオプションのいずれかを選択します。	
<ul> <li>・ ラベルを編集: [ラベルを編集] ダイアログ・ボックスが開き, CI の名集できます。</li> <li>・ 標準設定ラベルに戻す: CI 名が CMDB の標準設定値にリセットされます</li> </ul>	i前を編
<b>CI を結合</b> [CI を結合] ダイアログ・ボックスを開きます。ここで,実行中ソフトウ ア,ノード,ビジネス要素 CI を手動で結合できます。	יד
[ <b>CI を結合</b> ] ダイアログ・ボックスで,メイン CI とする CI を 1 つ選択すの他の CI ( <b>結合 CI</b> )は,メイン CI に結合されます。CI は次のように結合す。	る。そ されま
<ul> <li>メイン CI に存在しない結合 CI プロパティがメイン CI にコピーされます</li> </ul>	- 0
<ul> <li>メイン CI と結合 CI の両方に存在するプロパティは、定義済みの調整プ ティに従って結合されます。</li> </ul>	゚ロパ
<ul> <li>すべての CI が同じプロパティを持つ場合は、メイン CI プロパティカ されます。</li> </ul>	が保持
<ul> <li>各 CI が異なるプロパティを持つ場合は、高いプロパティを持つ CI フ ティが使用されます。</li> </ul>	プロパ
結合の後,メイン CI のグローバル ID が保持され,結合 CI が削除されます	o
注:	
<ul> <li>このオプションは、タイプ「実行中ソフトウェア」、「ノード」、まは「ビジネス要素」の少なくとも2つのCIを選択した場合にのみ関連</li> </ul>	ミた

メニュー項目	説明
	ます。CI が結合されるのは,そのCI タイプが [クラスモデル]内で同じ ブランチにある場合のみです。 • CI 結合すると,該当CI を含むビューのトポロジが更新されます。
	例:
	Node Cl IP 1.1.1.1 Node Cl Merge Cls IP 1.1.1.1 IP 1.1.1.1 IP 1.1.1.1 IP 1.1.1.1 IP 1.1.1.1 IP 1.1.1.1 IP 1.1.1.1 IP
Note	次のオプションのいずれかを選択します。
	<ul> <li>メモを追加:編集ボックスが開き、メモを CI に追加できます。</li> <li>メモを削除:選択した CI のメモに保存されているテキストがすべて削除されます。</li> </ul>
UCMDB Browser を開く	UCMDB Browser を開きます。
	<b>注:</b> このオプションは,単一の CI が選択された場合にのみ使用できます。これは関係には関連しません。
プロパティ	選択した CI または関係の[プロパティ]ページが表示されます。詳細について は, 「[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス」(199ページ)を参 照してください。
CI に関連付け	[関係を挿入] ダイアログ・ボックスが開きます。詳細については, 「[関係 の挿入] ダイアログ・ボックス」(205ページ)を参照してください。
影響分析を実行	影響分析マネージャで定義した影響ルールを実行できます。[影響分析を実 行]ダイアログ・ボックスが表示されます。詳細については、「影響分析マ ネージャ」(432ページ)を参照してください。 注:影響分析結果を表示できるのは、影響分析マネージャで該当するビュー に影響ルールを定義した場合のみです。
複合パスを表示	複合関係に対してのみ表示されます。選択した関係のリンク・マップが表示され,複合関係に含まれる CI が表示されます。
メニュー項目	説明
---------	--
影響を表示	影響ルールで根本原因 CI として定義された CI を選択し,その影響を受けたすべ ての CI とそのステータスを別のウィンドウに表示できます。
	このオプションが表示されるのは,次の場合だけです。
	<ul> <li>影響分析マネージャで選択したビューの影響ルールを定義した後(詳細については、「影響分析マネージャ」(432ページ)を参照してください)。</li> </ul>
	• 「影響分析を実行」タイアロク・ボックスで「ビューで表示」をクリックした後。
	• 影響分析結果がトポロジ・マップに表示された後。
	たとえば(IP アドレス CI に対して)影響ルールが定義され,その IP アドレスに リンクされたノード,ポート,およびクライアント・サーバ・システムがその ルールから影響を受けるように指定されたとします。
	この場合は, [ <b>影響を表示</b> ]オプションを使用すると, <b>IP アドレス</b> CI の影響を 受けるすべての CI を表示できます。
根本原因を表示	このオプションを使用すると, 一連の影響ルールから影響を受ける CI に関する 根本原因情報を取得できます。 [根本原因を表示] の出力には, CI に影響を与 える一連のトリガ CIT または影響を受ける CIT を示す論理マップが表示されま す。
	根本原因 CI は,別のウィンドウに表示されます。この CI に影響ルールが1つだ け定義されている場合は,[影響分析]ウィンドウが直接表示されます。
	このオプションが表示されるのは,次の場合だけです。
	<ul> <li>影響分析マネージャで選択したビューの影響ルールを定義した後(詳細については、「影響分析マネージャ」(432ページ)を参照してください)。</li> </ul>
	• [影響分析を実行] ダイアログ・ボックスで [ビューで表示] をクリックした後。
	• 影響分析結果がトポロジ・マップに表示された後。
	表示されるウィンドウには,根本原因 CI と影響ルール・チェーン内のほかのす べての CIT が含まれます。
	影響ルールによってトリガまたは影響を受ける,特定の CI に関する情報を表示 するには,CI に接続している関係をダブルクリックします。マップが表示され ます。

詳細表示枠

UI 要素	説明
[ディスカバ リ] タブ	選択した Cl のディスカバリ進行状況を表示します。詳細については,『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[ディスカバリの進行状況]ダ イアログ・ボックス」を参照してください。
[履歴] タブ	選択した CI の履歴が表示されます。詳細については,「[CI / 関係の履歴]ダイ アログ・ボックス」(197ページ)を参照してください。
[プロパティ] タブ	選択した CI プロパティ([構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス に表示されるのと同じプロパティ)を表示します。プロパティは[プロパティ] タブで表示できますが,プロパティを編集するにはこのダイアログ・ボックスを 開く必要があります。詳細については,「[構成アイテムのプロパティ]ダイア ログ・ボックス」(199ページ)を参照してください。

[関連 CI を取得] 表示枠

この表示枠では、選択した CIの関連 CIを表示するさまざまなオプションを制御できます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャの [関連 CI] タブに表示されます。非表示の場合は, 【関連 CI を取得】表示枠を表示
重要情報	次のコントロールを使用して, [関連 CI] タブ内の表示を制御できます。 • 表示範囲の設定 • CI タイプ別の関連 CI のフィルタ処理 • 選択した CI へのパースペクティブの適用 複数の CI の関連 CI を同時に表示できます。CTRL キーを押したまま, [CI の選 択] またはトポロジ・マップで複数の CI を同時に選択します。
	注: 統合 CI に対する [関連 CI を取得]検索の実行も選択できます。フェデ レート・データ・ソースの CI が検索結果に含まれる場合, これらは, 矢印と ともにトポロジに表示され, フェデレート CI であることが示されます。ただ し, フェデレート CI の関連 CI を表示することはできません。
関連タスク	「関連 Cl の表示方法」(185ページ)

UI 要素	説明
$\Diamond$	<b>戻る:</b> 前の検索結果を表示します。
$\Diamond$	<b>進む:</b> 次の検索結果を表示します。

UI 要素	説明
¢	<b>現在の表示をクリア:</b> このボタンが選択されている場合,関連 CI が現在の結果に追加されます。選択されていない場合は,現在の表示内容がクリアされ,新しい関連 CI のみが表示されます。
<b>6</b>	グループ化して検索結果を表示/グループ化せずに検索結果を表示:このボタンが選 択されている場合,適用されたパースペクティブの階層グループ化により関連 CI が 表示されます。選択されていない場合には,関連する CI がグループ化なしで表示さ れます。
2]	<b>ターゲット統合ポイントを選択:</b> 統合された CI を検索結果に含めることができま す。ポップアップ・ダイアログ・ボックスから必要な統合ポイントを選択します。
	<b>注:</b> 切断された統合ポイントを検索に選択すると,検索の実行時にエラー・ メッセージが表示され,ローカルの検索結果を表示するどうかを質問してきま す。
パースペク ティブを Cl に追加	選択した CI に適用するパースペクティブをリストから選択します。リストには,選択した CI に関連するパースペクティブのみが表示されます。選択した CI は,選択したパースペクティブの内容として使用され,ビューの結果が表示されます。
	<b>注:</b> パースペクティブの適用は,範囲として CMDB が選択されている場合にの み有効です。範囲に [ビュー] が選択されている場合,この機能は非アクティ ブです。
CI タイプで 関連する CI をフィルタ リング	関連 CI の結果に表示する CI タイプをリストから選択します。選択した CI タイプの みが結果に表示されます。
範囲の選択	関連 Cl の表示範囲を選択します。
	• ビュー:選択したビュー内のすべての関連 Cl。
	• CMDB:CMDB内のすべての関連 Cl。
	<b>注:</b> この機能は,ショートカット・メニューから開いた [CMDB から関連 CI を取 得]ダイアログ・ボックスでは使用できません。
関連 CI を表 示	クリックすると,選択した範囲に応じて関連 CI が表示されます。

### [新規 CI / 新規関連 CI] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、新しい CI または新しい関連 CI を定義できます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャで,ツールバーの[ <b>新規 CI</b> ] 찬 ボタンをクリックし て非関連 CI を作成します。トポロジ・マップで CI を選択し,[ <b>新規関連 CI</b> ] 🔯 ボタンをクリックして関連 CI を作成します。
重要情報	新しい CI を定義するには、ダイアログ・ボックスの上部のツリーで CI タイプを選 択します。インスタンスを作成できるツリーの CI タイプは、黒色に表示されま す。淡い色のテキストで表示されている CI タイプは、インスタンスを作成できま せん。 [新規 CI プロパティの定義]領域でプロパティを編集します。下のテーブルに は、すべての CI に共通するプロパティが表示されます。また、各 CI に固有のプロ パティもあります。 関連 CI を作成する場合は、[ <b>関係</b> ]をクリックしてダイアログ・ボックスの関係
	モードに移動します。関係を選択してプロパティを編集します。
関連タスク	「CI と関係の作成方法」(184ページ)
関連情報	<ul> <li>「CI セレクタ」(130ページ)</li> <li>「[関係] ダイアログ・ボックス」(222ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエイジング・メカニズム」</li> </ul>

UI 要素	Description
Actual Deletion Period	エイジング・メカニズムが有効なときに、CIを削除してからの期間です。
Allow CI Update	値が true に設定されている場合,このオプションは,DFM プロセスが検出した情報を 使用して CI プロパティを自動的に更新できます。DFM プロセスによって提供されたプ ロパティの値を変更した場合,値は検出された値によって上書きされます。
	他がTable に設定されていると、U ノロハティは DFM ノロセスによう C工者でされよ せん。
作成者	手動で CI を作成した管理者のユーザ名(該当する場合)です。
Create Time	CI が作成された日時です。
Deletion Candidate Period	エージング・メカニズムが有効なときに CI が削除の候補になってからの期間です。

UI 要素	Description
説明	CIの説明です。
表示ラベ ル	トポロジ・マップに表示される CI のラベルです。
エイジン グの有効 化	CI または関係が一定期間,更新またはリフレッシュされていない場合(CI が DFM に よって再検出されておらず,かつ手動更新が実施されていないときなど),エイジン グ・メカニズムによって CI が CMDB から削除されます。詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「エイジング・メカニズムの概要」を参照してくださ い。
	<b>True の場合</b> :この Cl のエイジング・メカニズムは有効になっています。
	False の場合 :この CI のエイジング・メカニズムは無効になっています。
	標準設定値は, Cl タイプの [ <b>エイジングの有効化</b> ] 属性の標準設定値によって決定さ れます。
ls Candidate	<ul> <li>注:</li> <li>エージング・メカニズムが [エイジングステータス] で無効の場合, このフィールドは無視されます。</li> <li>このフィールドは, 特定の CI に対してのみ表示されます。</li> <li>この CI タイプの [エイジングの有効化] 属性の標準設定値を編集することにより, このタイプのすべての新規 CI の標準設定値を変更できます。詳細については, 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「エイジング・メカニズムの有効化と実行方法」を参照してください。</li> <li>CI が削除の候補かどうかを表します。</li> </ul>
For Deletion	
Last Access Time	DFM による更新または検出時に, CI が最後にアクセスされた時刻です。このフィール ドは,特定の CI に対してのみ表示されます。
	このパラメータは,エージング・メカニズムによって使用されます。詳細について は,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエイジング・メカニズ ム」を参照してください。
Last Modified Time	CI プロパティが最後に更新された日時です。
Name	CIの名前です。

UI 要素	Description
Note	CI に関する, ほかの情報を入力できます。
Origin	CI を自動的に作成したソース,または CI が作成されたアプリケーションの ID です。
関係	関連 CI については, [ <b>関係</b> ]をクリックしてダイアログ・ボックスの関係モードに移 動します。
CI タイプ の選択	新しい CI の CI タイプをツリーから選択できます。選択した CI またはビューに利用で きる CI タイプが,CI タイプ・ツリーでアクティブになります。ほかの CI タイプは,淡 い色のテキストで表示されて選択できません。
	CI タイプ・ツリーを現在のビューからの CI タイプに制限するには,右側の[ <b>現在の</b> ビューからの CI タイプ]を選択します。すべての CI タイプをツリーに表示するに は,[ <b>すべての CI タイプ</b> ]を選択します。
更新者	CI プロパティを更新した管理者のユーザ名です。
ユーザ・ ラベル	CI の表示ラベルを定義できます。値が入力されていない場合, CI 名が標準設定ラベル として表示されます。

### [関係] ダイアログ・ボックス

このページでは,新しいCIとビューで選択したCI間の関係,および関係のプロパティを定義できます。

利用方法	[新規関連 CI] ダイアログ・ボックスで [ <b>関係</b> ] をクリックします。
重要情報	このページは,新しい関連 Cl でのみ表示されます。

UI 要素		Description
Allow C	l Update	値が true に設定されていると,DFM プロセスによって関係が自動的に更新さ れます。
CI の定	義	<b>CI の定義 :</b> ダイアログ・ボックスの CI プロパティ・モードに戻ります。
作成者		関係を手動で作成した管理者のユーザ名(該当する場合)です。
Create <sup>·</sup>	Time	関係が作成された日時です。
説明		関係の説明です。
方向		ドロップダウン・リストで関係の方向を選択します。
エイジ: 化	ングの有効	CI または関係が一定期間,更新またはリフレッシュされていない場合 (CI が DFM によって再検出されておらず,かつ手動更新が実施されていないときな

UI 要素	Description
	ど),エイジング・メカニズムによって CI が CMDB から削除されます。詳細 については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「エイジング・メカニズム の概要」を参照してください。
	<b>True の場合</b> :この関係のエイジング・メカニズムは有効になっています。
	False の場合 :この関係のエイジング・メカニズムは無効になっています。
	標準設定値は, CI タイプの [ <b>エイジングの有効化</b> ] 属性の標準設定値によっ て決定されます。
	注:
	<ul> <li>エージング・メカニズムが [エイジング ステータス] で無効の場合, このフィールドは無視されます。</li> </ul>
	• このフィールドは、特定の関係に対してのみ表示されます。
	<ul> <li>この関係タイプの [エイジングの有効化] 属性の標準設定値を編集することにより、このタイプのすべての新規関係の標準設定値を変更できます。詳細については、『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「エイジング・メカニズムの有効化と実行方法」を参照してください。</li> </ul>
最終アクセス日時	DFM による更新または検出時に,関係が最後にアクセスされた時刻です。このフィールドは,特定の関係に対してのみ表示されます。
	このパラメータは, エージング・メカニズムによって使用されます。詳細に ついては, 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「CI ライフサイクルとエイジ ング・メカニズム」を参照してください。
Must	値を true に設定すると, 親 CI のステータスの計算にパーセンテージ・ルール を使用するときに子 CI が有力になります。CI のステータスが低い場合, 親は 子 CI のステータスを取り, 必要な場合にはパーセンテージ・ルールの計算を 上書きする必要があります。これは, 重要な CI に重点を置くのに便利です。 たとえば, データベースに障害が発生した場合に, サブツリー内のほかの CI のステータスに関係なく, データベース CI に [Must] を定義して, サブツ リーの上位までステータスを致命的にする必要がある場合があります。
	関係に定義した Must ステータスは,その関係にのみ適用され,子 CI のほか の関係では使用されません。このフィールドは HP Business Service Management を操作するときのみ関連します。
名前	CIの名前です。
Network Address	ルート・リンクに対してのみ定義します。このルートの設定先となる宛先の ネットワーク・アドレスを示します。
Note	CI に関する,ほかの情報を入力できます。

UI 要素	Description
Origin	関係を自動的に作成したソース,または関係が作成されたアプリケーション の ID です。
関係	2 つの CI の間に作成する関係のタイプを定義できます。
	注: CI の作成時に調整データが欠けているというエラー・メッセージを 受信する場合は, Composition または Containment 関係を使用します。CI を作成した後に, 関係を別のタイプに変更できます。
ソース (	関係の1つ目の CI の名前です。これはビューで選択した CI です。
ターゲット Cl	関係の 2 つ目の CI の名前です。これは作成中の新しい CI です。
更新者	関係のプロパティを更新した管理者のユーザ名です。
Update Time	CI プロパティが最後に更新された日時です。
ユーザ・ラベル	関係の表示ラベルを定義できます。
加重	重み付けの値を入力すると,親CIのステータスの計算にパーセンテージ・ ルールを使用するときに,パーセンテージの計算で子CIに重みが付けられま す。たとえば,子CIに3の重みを付けると,重み付けのない兄弟と比べて, 親のステータスの計算に3倍の影響があります。
	関係に定義した重み付けは、その関係にのみ適用され、子 CI のほかの関係で は使用されません。このフィールドは HP Business Service Management を操 作するときのみ関連します。

### [最近のディスカバリ元] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスには、指定した期間内で選択した CI を検出したディスカバリ・ジョブが 表示されます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャで, CI を右クリックしてショートカット・メニュー
	から【 <b>アクション】&gt; 【最近のディスカバリ元】</b> を選択します。

UI 要素	詳細
S	<b>更新:</b> データを更新します。
検出日	Cl がディスカバリ・ジョブで検出された日付。
開始日付	選択した CI を検出したジョブをチェックする期間を選択します。 [ <b>カスタム</b> ] を 選択し,特定の日付を選択すると,その日付から現在までのすべてのディスカバ

UI 要素	詳細
	リ・ジョブを検索できます。
ジョブ名	選択した CI を検出したジョブ名。
プローブ	CIが検出されたプローブ。
トリガ Cl	ディスカバリ・ジョブのトリガ Cl。

### [影響分析を実行] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,影響分析マネージャで該当のビューに定義した影響ルールを実行で きます。

利用方法	【マネージャ】> [モデリング] > [IT ユニバース マネージャ】を選択します。ト ポロジ・マップでトリガ・クエリ・ノードを右クリックして [影響分析を実行] を選択するか, IT ユニバース・ステータス・バーで [直ちに影響分析を実行] ボタンをクリックします。
重要情報	<ul> <li>次のことが行えます。</li> <li>トリガロの影響を受けるすべてのCIを新しいウィンドウに表示できます。マップ内の関係は、影響ルールを表します。関係の名前は、影響分析マネージャで定義された影響ルールの名前です。詳細については、「マップを表示」(226ページ)を参照してください。</li> <li>影響を受けるCIのステータスがどのように影響を受けるかをシミュレートできます。詳細については、「ビューで表示」(226ページ)を参照してください。</li> <li>シミュレートされた変化の結果として影響を受けるシステム内のCIのリストを表示するレポートを生成できます。詳細については、「レポートを生成」(226ページ)を参照してください。</li> </ul>
	注: このダイアログ・ホックスは, 該当のビューに影響ルールが定義されてい る場合にのみ表示されます。詳細については, 「影響分析マネージャ」(432 ページ)を参照してください。
関連タスク	「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)
関連情報	<ul> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
すべての影響ルール	選択すると,影響分析のすべての影響ルールを実行します。
レポートを生成	影響分析レポートを生成します。このレポートに表示される情報は,次 のように分かれています。
	<ul> <li>CIT 別のグループ化:影響を受けるすべてのCI(シミュレートされた変化の結果として影響を受けるシステム内のCI)。CIT で並べ替えられます。</li> </ul>
	• 影響を受けるアプリケーション:影響を受けるすべての CI のうち,特 定のビジネス・サービスに属するもの。
	• トリガ CI :システムに加える変化を表す Cl。
	影響分析レポートの詳細については, 「影響分析レポート」(383ページ) を参照してください。
影響ルールのバンドル	影響分析で必要な影響ルールを含むバンドルを選択します。
特定のバンドル内の影 響ルールのみ	影響分析の指定されたバンドルから影響ルールを実行する場合に選択し ます。
ビューで表示	選択した状態に関して,影響を受けるCIのステータスがどのように影響 を受けるかをシミュレートできます。トポロジ・マップには,トリガCI のステータスに加えて,その影響を受けるCIの全ステータスが表示され ます。
	トポロジ・マップには,次の影響分析インジケータも表示されます。
	• トリガ CI は,このインジケータでマークされます。 🛨
	<ul> <li>影響を受け、トリガにもなる CI は、このインジケータでマークされます。</li> </ul>
	<ul> <li>影響を受けた CI はこのインジケータでマークされます。</li> </ul>
	<b>注:</b> ここに表示されるステータスと各ステータスを表す色は,システム・タイプ・マネージャでその状態の重大度リストに定義されたものです。詳細については,「[リスト/一覧定義の作成/更新]ダイアログ・ボックス」(483ページ)を参照してください。
マップを表示	影響ルールを選択して,選択した状態に関してトリガロの影響を受ける すべてのロのシミュレーションを,新しいウィンドウに表示できます。 このロに影響ルールが1つだけ定義されている場合は,[影響ルール] ウィンドウが直接表示されます。詳細については,「[影響を表示]表 示枠」(229ページ)を参照してください。
	マップ内の関係は,影響ルールを表します。また関係の名前は,影響分 析マネージャで定義された影響ルールの名前です。

UI 要素	詳細
	<b>注: [マップを表示</b> ]では, 複数のトリガの結果を表示できます。
トリガの重大度	スケールから必要な重大度を選択します。
	<b>注:</b> 状態の重大度スケールは,システム・タイプ・マネージャで定義 されます。詳細については,「システム・タイプ・マネージャ」 (453ページ)を参照してください。
	たとえば影響分析マネージャでは、トリガ・クエリ・ノードの重大度を [注意域(1)]以外に定義する影響ルールを作成できます。この場合、 [注意域(1)]以外の重大度(たとえば「警戒域(3)])を選択する と、条件が一致し、シミュレートされたシステム内の変化が起動されま す。
	詳細については,「[影響ルール定義]ダイアログ・ボックス」(444 ページ)を参照してください。

### [スナップショットを保存する] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、ビューのスナップショットを取り、保存できます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャで,[CI の選択]の[ <b>スナップショット</b> ] <u>帰</u> ボタンをクリックし,[ <b>スナップショットを保存する</b> ]を選択します。
重要情報	スナップショット比較レポートを使うと,異なる時間に取られた同じ ビューのスナップショットどうしを比較できます。詳細については,「ス ナップショット比較レポート」(364ページ)を参照してください。
関連タスク	<ul> <li>「ビューのスナップショットを取る方法」(194ページ)</li> <li>「スナップショットを比較する方法」(331ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
説明	スナップショットの説明です(任意指定)。
注	スナップショットに関するメモです(任意指定)。
ビュー名	CIの選択に表示されるビューの名前です。このフィールドは編集できません。

### [ディスカバリのステータスと変更の表示] ダイアロ グ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、CIおよびジョブをビューで再検出することによって、アプリケーションなどに対する最近の変更を調べることができます。

利用方法	IT ユニバース・マネージャの場合
	<ul> <li>ビューのすべての CI を再検出するには、[CI の選択]の[ビューの参照]タブのツールバーから[ディスカバリおよび変更のサマリを表</li> </ul>
	示]   ボタンをクリックします。 [ディスカバリのステータスと変 更の表示] ダイアログ・ボックスが表示されます。
	<ul> <li>1つまたは複数の CI をビューで再検出するには、CI を選択して、詳細 表示枠の [ディスカバリ] タブを表示します。</li> </ul>
重要情報	標準設定では, 10,000 個より少ない CI を含むビューに対して再検出手順 を実行できます。
	ビューで再検出できる CI の数を増やすには,次の手順を実行します。
	<ol> <li>インフラストラクチャ設定マネージャにアクセスします([管理] &gt;</li> <li>[インフラストラクチャ設定マネージャ])。</li> </ol>
	2. インフラストラクチャ設定テーブルで, [ <b>再検出をサポートする</b> ビュー内の最大 CI 数]設定を選択します。
	3. [値]カラムをクリックして数値を変更します。
	4. サーバを再起動して変更内容を反映させます。
	インフラストラクチャ設定マネージャの操作の詳細については, 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「インフラストラクチャ設定マネー ジャ」を参照してください。
関連タスク	「アプリケーション・ディスカバリのステータスをチェックする方法 (ビューの再検出)」(186ページ)
関連情報	<ul> <li>『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[ディスカバリコントロールパネル] - [詳細] タブ」</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
S	<b>更新:</b> 選択した CI のステータスが更新されます。
	このボタンは,再ロードするデータがないときには無効になっています。

UI 要素	詳細
	<b>検出の再実行:</b> 検出を再実行します。
ビュー上のディスカバ	詳細については, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の
リ進行ステータス	「[ディスカバリ コントロール パネル] - [詳細]タブ」
ビューに関する変更履	詳細については, 「[CI / 関係の履歴]ダイアログ・ボックス」(197ペー
歴	ジ)を参照してください。

### [影響を表示] 表示枠

このページでは,トリガ CI のステータスと,その影響を受ける CI のすべてのステータスを表示する ウィンドウが開きます。

利用方法	[影響分析を実行] ダイアログ・ボックスで [ <b>マップを表示</b> ] をクリックしま す。 影響分析がすでにアクティブになっている場合は, [IT ユニバース] ステータ ス・バーから [ <b>影響分析はアクティブです</b> ] リンクをクリックします。
重要情報	次のタブを利用できます。 ・ 影響の結果:選択したCIに影響を受けるすべてのCIのマップを表示します。 ・ トリガCI:選択したトリガCIの情報をテーブルで表示します。 影響分析結果を表示できるのは、影響分析マネージャで該当するビューに影響 ルールを定義した場合のみです。詳細については、「影響分析マネージャ」 (432ページ)を参照してください。 影響ルールによってトリガまたは影響を受ける、特定のCIに関する情報を表示 するには、CIに接続している関係をダブルクリックします。マップが表示され ます。 マップ内の関係は、影響ルールを表します。関係の名前は、影響分析マネー ジャで定義された影響ルールの名前です。
関連タスク	「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ページ)
関連情報	<ul> <li>「IT ユニバース・マネージャの概要」(173ページ)</li> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「IT ユニバース・マネージャのユーザ・インタフェース」(194ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<凡例>	<ul> <li>CIの横に表示されるアイコンは、次の特別な状態を表します。</li> <li>追加済み:変更時間枠がアクティブなとき、CIが追加されたことを表します。</li> <li>削除の候補:CIが削除の候補であることを表します。</li> <li>変更済み:変更時間枠がアクティブなとき、CIが変更されたことを表します。</li> <li>レイヤを1つドリル・ダウン:仮想レイヤ上のCI下にCIがあることを示します。</li> <li>外部:CIがフェデレートCIであることを表します。</li> <li>影響を受ける:影響分析がアクティブなとき、影響を受けたCIを示します。</li> <li>影響を受けてトリガする:影響分析がアクティブなとき、影響を受けたトリガCIを示します。</li> <li>メモ:CIにメモが追加されたことを表します。</li> <li>トリガ:影響分析がアクティブなとき、トリガCIを示します。</li> </ul>
<関係>	これらの関係は,影響分析マネージャで定義した影響ルールを表します。詳細については,「[影響ルール定義]ダイアログ・ボックス」(444ページ)を参照してください。
<ステータ スと各ス テータスを 表す色>	表示されるステータスと各ステータスを表す色は,システム・タイプ・マネージャ でその状態の重要度リストに定義されたものです。詳細については,「[リスト/ 一覧定義の作成 / 更新]ダイアログ・ボックス」(483ページ)を参照してください。
<ツール バー>	[影響を表示] 表示枠のツールバーには, [IT ユニバース マネージャ] ツールバー のボタンのほとんどがあります。
< [トポロ ジ マッ プ] サイド バー>	詳細については, 「[トポロジ <i>マ</i> ップ]サイドバー」(169ページ)を参照してくださ い。

# 第8章: モデリング・スタジオ

#### 本章の内容

•	モデリング・スタジオ概要	. 231
•	ビュー形式	232
•	ビジネス・ビューの構築	.232
•	テンプレートとパースペクティブ	235
•	定義済みのフォルダとビュー	.236
•	テンプレート・ベース・ビューの作成	. 237
•	ビジネス CI モデル	. 238
•	パースペクティブ・ベース・ビューの作成	. 240
•	隣接検索 CI とウォッチポイント	242
•	パターン・ビューの作成方法	.246
•	テンプレートの作成方法	.247
•	パースペクティブの作成方法	.249
•	動的ウィジェットの作成方法	.250
•	テンプレート・ベース・ビューの作成方法	. 252
•	複数のテンプレート・ベース・ビューの作成方法	. 253
•	レポート設定の定義方法	.255
•	インスタンス・ベース・モデルの作成方法	. 256
•	新規パターン・ベース・モデルの作成方法	. 257
•	モデルに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法	. 258
•	CI のコレクションに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法	. 259
•	モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース	. 259

## モデリング・スタジオ概要

モデリング・スタジオは、ビューを作成、管理するためのツールです。独自のビューを作成すること も、HP Universal CMDBに付属する定義済みのビュー(ファクトリ・ビュー)を利用することもできま す。

構成管理データベースのIT ユニバース・モデルは非常に大きくなり、数千の構成アイテム(CI)を保持できます。ビューでは、IT ユニバース・モデル全体のサブセットを構築して、特定の関心領域に関

連する CI のみを保持できます。独自のビューを定義することにより、組織のビジネス・ニーズに関連する情報だけを表示できます。

HP Universal CMDB は 3 つのビュー形式をサポートしています。これらのビューは,異なるプロセス を介してポピュレートされます。詳細については,「ビュー形式」(232ページ)を参照してくださ い。

ビュー形式

HP Universal CMDBでは,ビューを設定するために使用可能な形式として次の3つのビュー形式をサポートしています。

- パターン・ビューは、ビューの構造を定義する TQL (Topology Query Language) クエリから構築 されます。ビューを構築するときに新しい TQL クエリを作成することも、既存のクエリに基づい てビューを構築することもできます。ビューには、クエリ定義に適合する CI と関係だけが表示さ れます。ビューを表示または更新すると、モデリング・スタジオはクエリに適合するすべての要 素を CMDB から検索し、それらの要素でビューを自動的に更新します。
- テンプレート・ベース・ビューは、TQL クエリに基づいて作成され、さらにテンプレートが適用されます。テンプレートは、パラメータを含む再利用可能なビューです。これらの設定は、テンプレートの一部として保存されます。これにより、パラメータ情報を入力し直すことなく、同じ設定を持つビューを複数構築できます。ビューには、クエリ定義とテンプレートの条件に適合するCIと関係だけが表示されます。テンプレートの詳細については、「テンプレートとパースペクティブ」(235ページ)を参照してください。
- パースペクティブ・ベース・ビューは、個々のCIのコレクションを選択し、それにパースペク ティブと呼ばれる特殊なテンプレートを適用することによって構築されます。インスタンス・ ビューは廃止され、パースペクティブ・ベース・ビューに置き換えられました。パースペクティ ブの詳細については、「テンプレートとパースペクティブ」(235ページ)を参照してください。

左表示枠のビュー・ツリーから編集するビューを選択すると、ビューが対応するエディタの編集表示 枠で開きます。

### ビジネス・ビューの構築

モデリング・スタジオでは,独自のビューを定義して,ビジネス環境をモデル化できます。

本項の内容

- 「ビューの構造」(232ページ)
- 「ビュー階層の設定」(233ページ)
- 「トポロジ・レポート」(235ページ)

ビューの構造

作成したビューは、ビジネス・ユーザに自社の構造、プロセス、および目標の論理的な表現を提供し

ます。これらの要件を満たすには,通常,ビジネスのさまざまな側面を表現する複数のビューを構築 します。たとえば,次の側面を中心とするビジネス・ビューを構築できます。

企業の構造:支店の地理的な位置やデータ・センターなどを基準にしてデータが分類されます。

- ビジネス・プロセス:ビジネス・ラインやアプリケーションを基準にしてデータが分類されます。
- ビジネスの目標:売り上げや主要顧客を基準にしてデータが分類されます。

ビューは組織の個々の要求によって異なり,ビューの実際の階層構造にはそれらの要求が反映されま す。

ビューの通常の階層形式は次のとおりです。

- 最上位レベル:ビューの最上位レベルは,ルート CI とその下の分岐で構成され,通常は場所,ビジネス・ライン,顧客,アプリケーションなどの論理的なビジネス CI タイプから構築されます。
- ・中間レベル:ビューの中間の分岐は、通常、実際のハードウェアやソフトウェアを表すシステム CI タイプ、またはモニタを含むグループを表すモニタ・グループ CI タイプ、あるいはその両方で構成されます。
- 最下位レベル:ビューの最下位レベルは、サブツリーの末端にあるリーフ CI で構成され、モニタ CI タイプから構築されます。

**注:** 最下位レベルは, HP Business Service Management などの監視ソリュー・ションがCMDBに 接続され,モデル化されている場合にのみ関連します。

ビュー階層の設定

パターン・ビュー・エディタでは,画面右側の [階層]表示枠を使用してビュー階層を設定できます。階層を設定するには,手動とルール・ベースの2つの方法を使用できます。標準設定では,手動 メソッドが選択されています。

• 手動の階層メソッド

手動の階層メソッドでは,ビューのクエリ・ノードはツリー形式で表示されます。階層を作成す るには,選択したクエリ・ノードを手動で別のクエリ・ノードの下にドラッグするか,ツール バー・ボタンを使用します。クエリ・ノードを別のクエリ・ノードの下に移動できるのは,作成 後の階層が有効な場合のみです。詳細については,「[階層]表示枠」(293ページ)を参照してく ださい。

ビューから階層に1つのクエリ・ノードを複数回配置することができます。配置したら,必要な レイアウトに応じて,クエリ・ノードが異なるレイヤに表示されるように階層を調整できます。 作成されたビューは,別のクエリ・ノードをTQLクエリに追加した場合と同じになります。階層 で同じクエリ・ノードを2回使用すると,より簡単なTQLクエリを使用して必要なビューを作成 できます。

クエリ・ノードのグループ化

ビュー階層を手動で設定する場合,表示が見やすくなるようにサブグループを作成して異なる基準で CI をグループ化できます。 [次の項目別でグループを追加] 🔤 ボタンをクリックして,オプションのいずれかを選択します。トポロジ・マップ内に同じタイプの CI のサブグループを作成

するには、「**タイプ別でグループを追加**]オプションを使用します。特定のクエリ・ノードのサ ブグループを作成するには、「**ビューノードでグループを追加**]オプションを選択します。共通 の属性で CI をグループ化するには、「**属性別でグループを追加**]ボタンを使用し、「[クエリ ノードのグループ化]ダイアログ・ボックス」(304ページ)で説明されている方法で正規表現を入 力します。正規表現の詳細については、「正規表現の例」(532ページ)を参照してください。 ネストされたグループ(内部に別のクエリ・ノード・グループを含むクエリ・ノード・グルー プ)を作成することにより、トポロジ・マップに表示される TQL クエリの結果を微調整すること もできます。

たとえば、ノード・タイプのクエリ・ノードを CIT でグループ化した後, operation state 属性を 使用してより焦点を絞ったグループを作成できます。

ルール・ベースの階層メソッド

ルール・ベースの階層メソッドでは, [階層ルール]ダイアログ・ボックスを使用して階層ルー ルを定義します。ソース CIT,ターゲット CIT,関係タイプ,関係の方向を選択して,階層ルール の条件を定義します。定義した条件を満たす CI がビュー内にあった場合,その CI はルールの対象 となります。つまり,ターゲット CI がソース CI の配下のレイヤに配置されます。階層ルールの定 義の詳細については,「[階層ルール]ダイアログ・ボックス」(268ページ)を参照してくださ い。

ビュー結果でのクエリ・ノードの表示と非表示

ビュー結果に表示されないように,特定のクエリ・ノードを非表示として選択できます。次のオプ ションを利用できます。

- クエリ結果に要素を表示/非表示:これらのオプションは[クエリ定義]表示枠のクエリ・ノード を右クリックすると使用できます。クエリ・ノードと一致する CI が非表示に設定されると、クエ リ結果から除外されます。クエリ・ノードをすべて非表示にすることはできません。クエリ定義 を有効にするため、少なくとも1つのクエリ・ノードを表示する必要があります。
- ビュー・ノードを表示/非表示に設定:これらのオプションは [階層] 表示枠のクエリ・ノードを 右クリックすると使用できます。クエリ・ノードと一致する CI が非表示に設定されると、ビュー 結果から除外されます。ただし、関数が [レポート レイアウト] 表示枠で定義されている場合 は、非表示のクエリ・ノードを考慮します。たとえば、合計カウントで Count 関数を非表示クエ リ・ノードに対応する CI に含めます。

クエリ・ノードが階層で非表示として設定されると、その子孫はすべて自動的に非表示に設定されます。これにより、ビュー結果の分岐全体を非表示にできます。クエリ定義は、可視クエリ・ ノードを非表示クエリ・ノードで持つことはできません。非表示クエリ・ノードが表示として設 定されると、その子孫は自動的に変更されません。

有効な階層定義は、ルート・クエリ・ノード以外に、少なくとも1つの表示クエリ・ノードを持つ必要があります。ルート・クエリ・ノードは非表示に設定することはできません。

TQL クエリが計算される場合, UCMDB は初めに [クエリ結果に要素を表示/非表示] 設定によりクエ リ結果をフィルタします。次に, クエリ結果は [クエリ ノードを非表示/表示に設定] 設定により再 びフィルタされます。最終のビュー結果は, 両方のフィルタの組み合わせを反映し, IT ユニバース・ マネージャ,モデリング・スタジオの結果プレビュー,およびレポートのビューのトポロジ・レポートに表示されます。

トポロジ・レポート

レポート・モジュールでは、ビューのデータをレポート形式で表示できます。このようなレポート は、ビューの**トポロジ・レポート**と呼ばれます。トポロジ・レポート設定は、モデリング・スタジオ のパターン・ビュー・エディタの [レポート] タブで定義します。トポロジ・レポートの詳細につい ては、「トポロジ・レポートの概要」(327ページ)を参照してください。

## テンプレートとパースペクティブ

テンプレートは,定義されたパラメータを持つ再利用可能なパターンです。テンプレートを使用して テンプレート・ベース・ビューを構築し,個々のビューのパラメータ値を設定します。テンプレート に対して行った変更は,そのテンプレートに基づいて作成された既存のすべてのビューに影響しま す。

テンプレート・ベース・ビューは,パターン・ビューと同様にIT ユニバース・マネージャで開くこ とができます。IT ユニバース・マネージャでは,テンプレート自体を開いてさまざまなパラメータ値 の結果を表示することもできます。結果を保存する場合は,テンプレート・ベース・ビューとして保 存する必要があります。テンプレート,テンプレート・ベース・ビュー,パターン・ビューはパター ン・ビュー・エディタで定義します。

パースペクティブは,特定の CI のコレクションに適用するために設計されたテンプレートの一種 で,パターン・ビューのパターンと似ています。たとえば,パースペクティブを IP アドレスが含ま れるノードで構成できます。その場合,作成されたパースペクティブ・ベース・ビューには,ノード CI に含まれる IP アドレスと一緒に CI の選択にある CI のすべてのノード CI が表示されます。

最も基本的なパースペクティブは Content Only パースペクティブと呼ばれるもので,クエリ・ノード そのものだけで構成されます。Content Only パースペクティブを CI のコレクションに適用した場合, 結果のビューに含まれるのは選択された CI のみです。

パースペクティブは,パターン・ビュー・エディタでも作成,編集されます。パターン・ビュー・エ ディタでは,複数のビュー,テンプレート,パースペクティブを同時に開くことができます。それぞ れ別個のタブに表示されます。

パースペクティブは, IT ユニバース・マネージャのビューのリストには表示されませんが, パースペクティブ・ベース・ビューは, ほかのビューと同様に IT ユニバース・マネージャで開くことができます。詳細については, 「パースペクティブ・ベース・ビューの作成」(240ページ)を参照してください。

このように,モデリング・スタジオの CI の選択にある [リソース] タブのビュー・ツリーには,次の個別のエンティティを含めることができます。

- パターン・ビュー
- テンプレート
- テンプレート・ベース・ビュー

- パースペクティブ
- パースペクティブ・ベース・ビュー

ツリーにフィルタを設定して,表示するビューまたはテンプレートのタイプを選択できます。 次の表には,ビューのタイプと,作成および表示する場所がまとめられています。

ビューのタイプ	作成場所	IT ユニバース・マネージャで 開けるか
パターン・ビュー	パターン・ビュー・エディタ	はい
テンプレート	パターン・ビュー・エディタ	はい(現在のセッションでの み)
テンプレート・ベース・ ビュー	パターン・ビュー・エディタ	はい
パースペクティブ	パターン・ビュー・エディタ	なし
パースペクティブ・ベー ス・ビュー	パースペクティブ・ベース・ ビュー・エディタ	はい

### 定義済みのフォルダとビュー

モデリング・スタジオの CI の選択にある [リソース] タブのビュー・ツリーには,以降のセクションで説明するように,定義済みのフォルダとビューが含まれています。

- 「定義済みのフォルダ」(236ページ)
- 「ファクトリ・ビュー」(236ページ)
- 「定義済みのパースペクティブ」(237ページ)

定義済みのフォルダ

CIの選択の階層ファイル・フォルダ・システムは、ビューの整理に役立ちます。定義済みのフォルダ は、定義済みのビューのために提供されています。これらのフォルダを変更したり、組織の要件に応 じて別のフォルダを追加したりできます。

ファクトリ・ビュー

HP Universal CMDB のインストールには,定義済みのパターン・ビュー,テンプレート,およびパー スペクティブが含まれています。これらのビューにより,CMDB の操作を即座に開始できます。

定義済みのビューは、初期状態では空です。各パターン・ビューに組み込まれた TQL クエリは、いず れかの CI ジェネレータによって CI が CMDB に追加された直後から、パターンの要件に適合する CI を 認識し、それらをビューに追加できるようになります。 CIのビューは、検出プロセスが実行されたときに作成されます。付属する定義済みのビューは、関連 するデータ・フロー管理アクション(Universal Discovery)パッケージに対応しています。たとえ ば、Oracle ビュー(【Root】>【Database】>【Oracle】>【Oracle】) には、DFM で Database -Oracle モジュールがアクティブ化されたときに作成された CI が設定されます。詳細については、 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「モジュール / ジョブベースのディスカバリ・ ワークフロー」を参照してください。

を参照してください。

定義済みビューの一部は、システムにとって基本的とみなされ、フォルダから削除できません。

定義済みのパースペクティブ

HP Universal CMDBには,定義済みのパースペクティブも用意されています。その一例として,追加の CI がなく,ビュー・コンテンツ自体の要素だけが含まれている Content Only パースペクティブがあります。

テンプレート・ベース・ビューの作成

同じテンプレートに基づくテンプレート・ベース・ビューには、同じクエリ・ノードと関係が含まれ ています。異なるのはパラメータ値のみです。テンプレート・ベース・ビューは、[テンプレート ベースビュー]ウィザードを使用して作成します。このウィザードでは、同じテンプレートを使用 して一度に複数のビューを作成できます。複数のビューを作成するときは、パラメータ値を手動で入 力するか、CSV ファイルからインポートするかを選択できます。値をインポートするには、ウィザー ドで CSV ファイルを正しく整形する必要があります。最初の行に少なくとも1つのテンプレート・パ ラメータの名前を含める必要があります。また、そのパラメータに少なくとも1つのレコードを含め る必要があります。レコードは個別の行に含める必要があり、各レコードのパラメータ値はコンマで 区切って、同じ行内に含める必要があります。

また、ウィザードではパラメータ値に基づいてビュー名の式を定義できる [Advanced Naming] 機能 を提供します。たとえば、ベース・テンプレートが Server\_Template という名前で、テンプレート のパラメータの1つがシリアル番号である場合、ビュー名を Server <シリアル番号> と定義できま す。このように、ウィザードではパラメータのシリアル番号の各値を各ビューの名前に自動的に挿入 します。

CSV ファイルから値をインポートするときにビューに名前を割り当てる別の方法では,template\_ based\_view\_name というファイルにカラムを含めます。このカラムに対応するファイル・エントリ は、ウィザードでビュー名として自動的に入力されます。なお、この命名方法は [Advanced Naming] 機能よりも優先されます。つまり、 [Advanced Naming] が選択されている場合でも、ファ イルの template\_based\_view\_name カラムのエントリにビュー名が割り当てられます。

テンプレート・ベース・ビューの作成の詳細については, 「[テンプレート ベース ビュー]ウィ ザード」(313ページ)を参照してください。

また,エディタでビューが開いているときは, [テンプレート パラメータ値] ダイアログ・ボック スからテンプレート・ベース・ビューのパラメータを編集することもできます。詳細については, 「[テンプレート パラメータ値] ダイアログ・ボックス」(318ページ)を参照してください。 テンプレート・ベース・ビューのレポート・レイアウトは編集できません。レポート・レイアウトを 変更するには、ビューのベース・テンプレートを変更する必要があります。

### ビジネスロモデル

本項の内容

- 「インスタンス・ベース・モデル」(238ページ)
- 「パターン・ベース・モデル」(239ページ)
- 「インスタンス・ベース・モデル上でのパターン・ベース・モデルの定義」(239ページ)

パースペクティブ・ベース・ビューのビュー・コンテンツを構成するCIのコレクションの選択方法 は2つあります。1つは、CIの選択からCIを選択し、それを編集表示枠にドラッグするという方法で す。この場合、パースペクティブをコレクションに適用することによってビューを作成できます。こ のコレクションをほかのビューで再利用するには、選択プロセスを繰り返す必要があります。ビュー に表示するCIを選択するもう1つの方法は、モデルを作成するというものです。

モデルとは、ビジネス・サービスやビジネス内容などのビジネス・エンティティを定義する CI イン スタンスの再利用可能コレクションです。モデルを作成することで、異なるビューを作成するほかの パースペクティブで再利用可能な CI のコレクションが作成されます。その後にモデルに加えた変更 は、そのモデルをベースとしているすべてのビューに反映されます。モデルにはインスタンス・ベー ス・モデルとパターン・ベース・モデルの2つのタイプがあります。

インスタンス・ベース・モデル

インスタンス・ベース・モデルの作成では,まずベースとなるビジネス CI を選択します。利用可能 なビジネス CI は,グループ,アプリケーション,ビジネス・サービス,ビジネス単位,ビジネス内 容などです。そして,次の方法で CI をモデルに追加します。

- CIの選択からモデル・エディタに手動でCIをドラッグします。
- 隣接検索パスを使用して関連 CI を隣接検索して選択し、モデルに追加します。
- 選択した CI に監視を定義して、自動的に CI をモデルに追加します。

また, CI を空のキャンバスにドラッグし, [新規モデルの作成] を選択するという方法でもモデルの 作成を開始できます。

作成したモデルは CI そのものであり,モデル内の CI は**Contains**関係によってそのモデルに関連付け られます。ビューの作成のためにパースペクティブをモデルに適用する前に,モデルを保存しておく 必要があります。

**注意:** モデルに加えた変更は,そのモデルに基づいているビューだけでなくユニバース全体に影響します。したがって,モデルから CI を削除すると,CI 間に存在していた関係が CMDB から削除されることになります。

IT ユニバース・マネージャでの作業時には,選択した CI を新規または既存のモデルに直接追加でき ます。詳細については,「[CI をモデルに追加]ダイアログ・ボックス」(195ページ)を参照してく ださい。

パターン・ベース・モデル

もう1つの構築可能なモデルは、パターン・ベース・モデルです。パターン・ベース・モデルでは、 含まれるCIを手動で選択するのではなく、それらを判別するTQLクエリを定義します。パターン・ ベース・モデルを既存のTQLクエリに基づいて構築することも、新しいTQLクエリを作成すること もできます。

モデルの TQL クエリには少なくとも 1 つのクエリ・ノードをモデルの出力として指定する必要があり ます。そのタイプの CI が TQL クエリのパターンに一致すれば,その CI がモデル出力に含まれます。

通常のモデルと同様,作成したパターン・ベース・モデルは,CIとして保存されます。また,パースペクティブ・ベース・ビューのコンテンツを構成するために使用されます。作成された新しいTQLクエリは通常のクエリとして保存され,パターン・ビューのベースとして使用されます。

パターン・ベース・モデルは連続して更新されません。各モデルは、それが保存され、モデル更新の 特定の間隔で TQL クエリが実行されるときに計算されます。既存のパターン・ベース・モデルは、す べて同時に更新されます。パターン・ベース・モデル更新の頻度を設定するには、左側のペインの

[リソース] タブで () ボタンをクリックして, [パターン ベース モデル スケジューラ] ダイアロ グ・ボックスを開きます。選択した設定は,順次作成されるすべてのパターン・ベース・モデルにも 適用されます。詳細については, 「[パターン ベース モデル スケジューラ] ダイアログ・ボック ス」(289ページ)を参照してください。

注:

- [パッケージマネージャ]でパターン・ベース・モデルをエクスポートすると、モデル・コンテンツ更新用のエンリッチメントだけでなく、モデルの基本 TQL クエリがパッケージに追加されます。パッケージ・リソースを表示すると、またはパッケージのデプロイまたはアンデプロイを実行すると、リソースのみが表示されます。モデル名は表示されません。UCMDB10.0 からエクスポートされたパターン・ベース・モデルは、UCMDB バージョン 10.00 より前のバージョンにインポートすることはできません。
- モデリング・スタジオまたはITユニバースからパターン・ベース・モデルを削除すると、ビジネス・エンリッチメント、ジョブ・スケジューラ、およびパターン・ベース・モデルCIも削除されます。

#### インスタンス・ベース・モデル上でのパターン・ベース・モデルの定義

パターン・ベース・モデルを定義すると、既存のインスタンス・ベース・モデルを最上部で構築する ことが可能です。この場合、構築するモデルのパターンは、新規のパターン・ベース・モデルと同様 にキャンバス上で可視となります。ただし、モデルを使用してパースペクティブ・ベース・ビューを 構築したときには、インスタンス・ベース・モデル内のCIも新規モデルに残り、ビュー結果に表示 されます。同様に、ITユニバース・マネージャ内のモデルにアクセスするときは、インスタンス・ ベース・モデル内のCIとパターン・ベース・モデルによって取得されたCIの両方が可視となりま す。モデルは,元のインスタンス・ベース・モデルの名前で保存され,実質的に,インスタンス・ ベース・コンポーネントとパターン・ベース・コンポーネントの両方によってハイブリッド・モデル が作成されます。

モデルを削除する場合,モデルの追加パターン・ベース部のみが削除されます。モデルは,インスタンス・ベース・モデルに戻り,モデルに含まれる CI は, [モデル エディタ]上で可視となります。

パースペクティブ・ベース・ビューの作成

パースペクティブ・ベース・ビューは,モデルまたは CI のコレクションに適用されるパースペク ティブによって構成されます。パースペクティブは,IT ユニバース・モデルのサブセットに適用され るように設計された特別なタイプのテンプレートです。

パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタの [コンテンツ] 表示枠には, ビューのベースとする ために選択したモデルまたは CI が表示されます。 [パースペクティブ] 表示枠には選択したパース ペクティブが表示されます。 [結果の表示] 表示枠には, 選択したコンテンツとパースペクティブに 基づいた結果のビューが表示されます。コンテンツまたはパースペクティブの選択を変更すると, そ れに応じて [結果の表示] 表示枠のビューが更新されます。詳細については, 「パースペクティブ・ ベース・ビュー・エディタ」 (298ページ)を参照してください。

#### 本項の内容

- 「コンテンツ」(240ページ)
- 「パースペクティブ」(241ページ)
- 「複数のパースペクティブに基づいたビュー」(241ページ)
- 「子 CI の包含と除外」(242ページ)

#### コンテンツ

パースペクティブ・ベース・ビューのコンテンツは、次の2つの方法で選択できます。

- CIの選択を使用して、個々のCIを手動でビューに追加できます。コレクションのCIは互いに独立しています。この場合、CIのコレクションはモデルとして定義されず、ほかのビューで再利用できません。
- CIの選択を使用して、1つ以上のモデルをビューに追加できます。あるいは、モデル・エディタで モデルを扱うところから始めて、[選択したモデルのビューを生成]を選択し、そのモデルに基 づいたビューを作成することもできます。この場合、同じモデルを選択することによって、同一 のコンテンツで別のビューを作成できます。

パースペクティブ・ベース・ビューのコンテンツを構成する際,個々の CI とモデルの両方を選択できます。ただし,その場合,モデルは普通の CI として扱われます。モデル自体は,子 CI の階層なしでビューに含まれます。

IT ユニバース・マネージャでの作業時には,選択した CI を新規または既存のパースペクティブ・ ベース・ビューのコンテンツに直接追加できます。詳細については,「[CI をビューに追加]ダイア ログ・ボックス」(196ページ)を参照してください。 パースペクティブ

たとえば,次のパースペクティブでは,Windows タイプのクエリ・ノードがコンタクト・クエリ・ ノードとして指定されており,IP アドレスが Containment 関係によって関連付けられています。



このパースペクティブを CI コレクションに適用すると、その結果表示されるビューには、元のコレクションの中のすべての CI と、コレクション内の各 Windows CI (パースペクティブを適用することで追加された各 CI) に接続された IP アドレスが表示されます。

パースペクティブには複数のコンタクト・クエリ・ノードを含めることができますが,パースペク ティブ内の切断されたグラフごとに少なくとも1つのコンタクト・クエリ・ノードが必要です。

パースペクティブに変更を加えると,そのパースペクティブに基づいているすべてのビューが影響を 受けます。

複数のパースペクティブに基づいたビュー

複数のパースペクティブを選択してビューのコンテンツに適用できます。複数のパースペクティブを 選択するには、次の2つの方法があります。

- パースペクティブ・グループ
- パースペクティブ・チェーン

**パースペクティブ・グループ**では,複数のパースペクティブを選択して同じ入力コンテンツに同時に 適用します。

**パースペクティブ・チェーン**では,複数のパースペクティブをビュー作成の異なるレベルで選択します。第1レベルのパースペクティブは元のビュー・コンテンツに適用され,CIコレクションの形式で 結果を生成します。このCIコレクションが次のレベルの入力コンテンツになります。第2レベルの パースペクティブはこのコンテンツに適用され,ビューの結果を生成します。複数レベルのパースペ クティブに基づいてビューを構築し,各レベルで次のレベルの入力コンテンツを生成することができ ます。

パースペクティブ・グループとパースペクティブ・チェーンの両方を同時に適用することもできま す。この場合,パースペクティブ適用対象のレベルごとに複数のパースペクティブを選択します。

たとえば、IP Subnet CI のコレクションを入力コンテンツとして選択し、IP サブネットに関連する ノード CI を追加するパースペクティブを第1レベルのパースペクティブとして選択します。この段 階の結果は、元の IP Subnet とそれに関連するノードで構成されます。次に、第2パースペクティ ブ・レベルを追加し、それに対して2つのパースペクティブを選択します。一方はノードに関連する CPU CI を追加し、もう一方はノードに関連するファイル・システム CI を追加します。最終結果に は、元の IP Subnet とそれに関連するノード、それらのノードに関連する CPU およびファイル・シス テムが含まれます。

このようなオプションによって、パースペクティブの機能が各構成部分に分解されるため、パースペ クティブ・ベース・ビューを作成するプロセスが簡略化されます。必要なビューごとに別個の大きく 複雑なパースペクティブを構築するのではなく、小さく基本的なパースペクティブから特定のケース の要件に合わせてカスタム・パースペクティブ結合を構築できます。

#### 子CIの包含と除外

子が存在する CI をビューに追加するとき,選択した CI タイプの子がパースペクティブのパターンに 含まれている場合にのみ,CI とその子がビューに含まれるようになります。この場合,そのタイプの すべての CI の子が含まれます。ビューの作成後,ビュー上で特定の CI を非表示にできます。それに は,[結果の表示]表示枠で CI を選択し,ショートカット・メニューから[ビューから CI を非表 示]を選択するか,ツールバーの[ビューから CI を非表示]ボタンをクリックします。このオプ ションは,パースペクティブを介してビューに追加され,ビューの基礎となっている元のコンテンツ の一部ではない CI に対してのみ有効です。したがって,ビューが CI のコレクションに基づいている 場合,そのコレクションの CI はビューで非表示にできません。ビューがモデルに基づいている場 合,そのモデルはビューで非表示にできませんが,そのモデルに含まれている CI は非表示にできま す。

### 隣接検索 CI とウォッチポイント

モデリング・スタジオでは,2つの高度な方法,すなわち関連 CI の公開および監視の定義という方法 で既存のモデルに CI を追加できます。

#### 本項の内容

- 「CIの隣接検索」(243ページ)
- 「ウォッチポイント」(245ページ)

CIの隣接検索

モデルを作成する方法の1つは、モデル内でCIに関連するCIを追加することです。モデリング・ス タジオには、そのようなCIを公開するのに役立つツールが用意されています。関連CIを公開するプ ロセスには、公開パスの作成が含まれます。公開パスは、互いに関連するCIタイプのチェーンで す。公開パスの最初のアイテムは、CIの公開を開始したCIのCIタイプです。モデリング・スタジオ は、関連CIをすべて探し出し、そのCIタイプを一覧表示します。いずれかのタイプを選択して、パ スの次のステップを作成します。ダイアログ・ボックス下部の表示枠に、そのタイプの関連CIがす べて表示されます。ここで、モデルに含めるCIを選択できます。パスの次のステップを作成するに は、このプロセスを繰り返します。

たとえば, Windows タイプの CI から CI の公開を開始する場合,インタフェース,ネットワーク, IP といったタイプの関連 CI が公開されるかもしれません。ネットワークを選択すると,下部の表示枠 にネットワーク・タイプの関連 CI が表示されます。その関連 CI を CI バスケットにドラッグするか, CI バスケット・アイコンをクリックすれば,モデルに追加することができます。

CI を公開				×
関連 CI を公開しています (2)           公開バスの各ステップで、モデルに追加	llする公開 CI を選択します。			
パスを公開: 🥵 <u>Windows</u> ⊅ 🕂 Network				パスの保存
×	· · ·			
	CIタイプ	条件	CI数	_
	Network Share			8 🔺
	CPU			2
	Service Address			24
	Windows User			7
	Network Interface			3
	, 및문 Network			3
	📑 Memory			1 🖵
	検索(E):			
	L			
④ モデルに追加された順番で CI を削除	名前	CIタイプ		
	뒷물 192.168.119.0	Network		
	<b>燛</b> 16.152.236.0	Network		
	192.168.112.0	Network		
	検索( <u>F</u> ):		0 0	===
ロハスゲット				
	_ <<戻る	次へ>> 完了	キャンセル	ヘルプ

[次へ] をクリックすると,選択したネットワークを使用してパスの次のステップが作成されます。 Windows, UNIX, IP といったタイプの関連 CI が公開されます。UNIX を選択すると,下部の表示枠に UNIX の CI が表示されます。選択した CI を [CI バスケット] 表示枠にドラッグすれば,モデルに追加 することができます。

#### モデリング・ガイド 第8章: モデリング・スタジオ

CI を公開 検査 関連 CI を公開しています… (2) 公開バスの各ステップで、モデルに追	I 加する公開 CI を選択します。			×		
パスを公開: 曇 <u>Windows</u> ⇒ 聲 Unix パスの保存						
▲ ① モデルに追加された順番で CI を削除…	CI タイプ 좋 NTCMD % Process Installed Software 좋 WMI 좋 Service	条件	CI数	1 9 143 1 132		
	図 SQL Server 登 Unix 検索(E):					
	名前 登 sun-001-002-node-13	Unix	CIタイプ			
	検索(E):		00			
	<<戻る	) (次へ>>) (完了)	キャンセル	ヘルプ		

[次へ]をクリックすると,選択した UNIX を使用してパスの次のステップが作成されます。

#### モデリング・ガイド 第8章: モデリング・スタジオ

i を公開 A 関連 ci を公開しています (3)				2	
公開パスの各ステップで、モデルに追	, 加する公開 CI を選択します。				
《スを公開: 🧕 <u>Windows</u> 🔿 督 <u>Unix</u> 🖈				パスの保存	
X	ロタイプ	条件	CI	汝	
	SNMP			1 🔺	
	🛃 Windows			1	
	<i>i</i> File System			14 🚍	
	📧 Service Address			5	
	🖷 Network Interface			2	
	19 Network			1	
	T IP			1 💌	
	検索(E):		$\odot$	$\bigcirc$	
① モデルに追加された順番で CI を削除	名前		CIタイプ		
」 CIバスケット					
	 <<戻る	次へ>> 完了	(キャンセル)	「ヘルプ	

この場合, Windows > Network > Unix の公開パスが作成されます。各ステップで,公開されている 関連 CI をモデルに追加するというオプションもあります。CI の隣接検索の詳細については,「[CI を隣接検索]ダイアログ・ボックス」(308ページ)を参照してください。

CIを公開せずに公開パスを作成することも可能です。詳細については、「[隣接検索パスの作成/編集/保存]ダイアログ・ボックス」(265ページ)を参照してください。

ウォッチポイント

モデルに追加する関連 CI を探し出すもう一つの方法は、モデル内の選択した CI に監視を定義すると いうものです。監視は、指定されたタイプの関連 CI が新しく作成されたときに起動されるメカニズ ムです。どの監視も公開パスと関連付けて定義されます。公開パスに含まれる CI タイプの関連 CI が 新しく作成されると、監視が起動され、モデルの横にインジケータが表示されます。ウォッチポイン トの定義の詳細については、「[新規ウォッチポイント]ダイアログ・ボックス」(287ページ)を参 照してください。

**注:** 新しいモデルは、CI に監視を定義する前に保存しておく必要があります。

ウォッチポイントによって検出された関連 CI はすべて, [ウォッチポイントの更新] ダイアログ・ボックスに表示されます。このダイアログ・ボックスでは, モデルに追加する関連 CI を選択した

り,抑制する,つまりモデルから除外する関連 CI を選択したりできます。詳細については, 「[ウォッチポイントの更新]ダイアログ・ボックス」(324ページ)を参照してください。

また,検出された CI を自動的にモデルに含めるというオプションもあります。それには, [新規 ウォッチポイント]ダイアログ・ボックスのチェック・ボックスを選択します。この場合, 監視で検 出されたすべての CI がモデルに追加されます。

監視は,モデルに関連しなくなったモデル内の CI を検出するのにも使用できます。このような CI は,ウォッチポイントに関連付けられている隣接検索パスをたどって探し出された場合,[ウォッチ ポイントの更新]ダイアログ・ボックスにも表示されます。モデルから CI を削除するという提案を 受け入れることができます。また,その提案を受け入れず,モデルに CI を残しておくこともできま す。

#### 注:

- 監視は個々の CI に定義されますが,監視の結果,モデル内のすべての CI の公開パスに含まれ ている CI タイプの関連 CI が表示されます。
- マルチテナンシー環境でウォッチポイントまたは隣接検索 CI を使用して CI をモデルに追加する場合は、オーナー・テナントまたはモデルのコンシューマ・テナントと一致するコンシューマ・テナントを持った CI のみが追加されます。

### パターン・ビューの作成方法

このタスクでは、パターン・ビューを作成してその TQL クエリを定義する方法について説明します。 本項の内容

- 「パターン・ビュー・エディタで新規ビューを開く」(246ページ)
- 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加」(246ページ)
- 「ビュー階層の設定」(247ページ)
- 「ビュー・プロパティの設定」(247ページ)
- 「レポート設定の定義 任意指定」(247ページ)
- 「権限の設定」(247ページ)
- 1. パターン・ビュー・エディタで新規ビューを開く

[新規作成] き をクリックして, [パターンビュー] を選択します。 [新規パターン ビュー] ダイアログ・ボックスで, 新しいビューの基にするベース TQL クエリを選択するか, [新規クエリの作成] を選択して新しい TQL クエリを作成します。パターン・ビュー・エディ タが開きます。詳細については, 「[新規パターンビュー] / [新規テンプレート] / [新規 パースペクティブ] ダイアログ・ボックス」 (286ページ)を参照してください。

2. TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加

クエリを定義するクエリ・ノードと関係を追加します。TQL クエリにクエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

**注:** 空のビューで開始する場合,ビューを保存するには,クエリ・ノードを少なくとも1つ 追加する必要があります。

3. ビュー階層の設定

ビューの階層を設定するには、[階層]表示枠で必要なクエリ・ノードを移動します。詳細に ついては、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。

完了したら, [保存] 🛅 をクリックしてビューを保存します。

4. ビュー・プロパティの設定

[定義プロパティの表示]ダイアログ・ボックス内の表示での優先度や標準設定のレイアウト などのビュー・プロパティを設定します。詳細については、「[クエリ/ビュー定義プロパ ティ]ダイアログ・ボックス」(305ページ)を参照してください。

5. レポート設定の定義 - 任意指定

パターン・ビュー・エディタで [レポート] タブを選択します。ビューのクエリ・ノードごと に、レポートに含める属性を選択します。レポートのカラムの順序の設定,各カラムの並べ替 え順序の設定,グラフの追加もできます。詳細については、「レポート設定の定義方法」(255 ページ)を参照してください。

**6.** 権限の設定

新しいビューのユーザやユーザ・グループにビュー権限と編集権限を適用します。 【マネー ジャ】 > 【セキュリティ】 > 【ロール マネージャ】を選択します。詳細については, プラット フォーム管理の『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「Roles Manager Page」を参照してくださ い。

### テンプレートの作成方法

このタスクでは、新しいテンプレートを定義する方法について説明します。

#### 本項の内容

- 「パターン・ビュー・エディタで新規テンプレートを開く」(248ページ)
- 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加」(248ページ)
- 「パラメータ値の設定」(248ページ)
- 「テンプレート階層の設定」(248ページ)
- 「テンプレート・プロパティの設定」(248ページ)

- 「レポート設定の定義 任意指定」(248ページ)
- 「権限の設定」(249ページ)
- 1. パターン・ビュー・エディタで新規テンプレートを開く

[新規作成] 🔛 をクリックして, [テンプレート] を選択します。 [新規テンプレート] ダイ アログ・ボックスで, 新しいテンプレートの基にするベース TQL クエリを選択するか, [新規 クエリの作成] を選択して新しい TQL クエリを作成します。詳細については, 「[新規パター ンビュー] / [新規テンプレート] / [新規パースペクティブ] ダイアログ・ボックス」(286ペー ジ)を参照してください。

2. TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加

クエリを定義するクエリ・ノードと関係を追加します。TQL クエリにクエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

**注:** 空のテンプレートで開始する場合,テンプレートを保存するには,クエリ・ノードを少なくとも1つ追加する必要があります。

3. パラメータ値の設定

TQL クエリ内のノードまたは関係を右クリックして, [クエリ ノードのプロパティ]を選択し ます。 [属性] タブで, パラメータ化された値を持つ属性を追加します。詳細については, 「[クエリ・ノード/関係のプロパティ] ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してくださ い。

**注:** パラメータを設定しない場合,テンプレートを保存するときにパターン・ビューとして 保存する必要があります。

4. テンプレート階層の設定

テンプレートの階層を設定するには、[階層]表示枠で必要なクエリ・ノードを移動します。 詳細については、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。

完了したら, [保存] 🛅 をクリックしてテンプレートを保存します。

5. テンプレート・プロパティの設定

[定義プロパティの表示]ダイアログ・ボックス内のテンプレートでの優先度や標準設定のレ イアウトなどのテンプレート・プロパティを設定します。詳細については、「[クエリ/ビュー 定義プロパティ]ダイアログ・ボックス」(305ページ)を参照してください。

6. レポート設定の定義 - 任意指定

パターン・ビュー・エディタで [レポート] タブを選択します。ビューのクエリ・ノードごと に、レポートに含める属性を選択します。レポートのカラムの順序の設定,各カラムの並べ替 え順序の設定,グラフの追加もできます。詳細については,「レポート設定の定義方法」(255

#### ページ)を参照してください。

7. 権限の設定

新しいテンプレートのユーザやユーザ・グループにビュー権限と編集権限を適用します。 **ネージャ】 > 【セキュリティ】 > 【ロール マネージャ】**を選択します。詳細については、プ ラットフォーム管理の『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「Roles Manager Page」を参照して ください。

### パースペクティブの作成方法

このタスクでは、新しいパースペクティブを定義する方法について説明します。

本項の内容

- 「パターン・ビュー・エディタで新規パースペクティブを開く」(249ページ)
- 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加」(249ページ)
- 「コンタクト・クエリ・ノードの選択」(249ページ)
- 「パースペクティブ階層の設定」(250ページ)
- 「パースペクティブ・プロパティの設定」(250ページ)
- 「レポート設定の定義 任意指定」(250ページ)
- 「権限の設定」(250ページ)
- 1. パターン・ビュー・エディタで新規パースペクティブを開く

[新規作成] あクリックして、 [パースペクティブ] を選択します。 [新規パースペクティブ] ダイアログ・ボックスで、新しいパースペクティブの基にするベース TQL クエリを選択するか、 [新規クエリの作成] を選択して新しい TQL クエリを作成します。詳細については、 「[新規パターン ビュー] / [新規テンプレート] / [新規パースペクティブ] ダイアログ・ボックス」 (286ページ)を参照してください。

2. TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加

クエリを定義するクエリ・ノードと関係を追加します。TQL クエリにクエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

3. コンタクト・クエリ・ノードの選択

TQL クエリでコンタクト・クエリ・ノードにするクエリ・ノードを少なくとも1つ選択します。 クエリ・ノードを右クリックし, [**コンタクトクエリノードとして設定**]を選択します。

**注:** コンタクト・クエリ・ノードを選択しない場合,パースペクティブを保存するときにパターン・ビューとして保存する必要があります。

4. パースペクティブ階層の設定

パースペクティブの階層を設定するには、[階層]表示枠で必要なクエリ・ノードを移動しま す。詳細については、「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。

完了したら, [保存] 🛅 をクリックしてパースペクティブを保存します。

5. パースペクティブ・プロパティの設定

[定義プロパティの表示]ダイアログ・ボックス内のパースペクティブでの優先度や標準設定のレイアウトなどのパースペクティブ・プロパティを設定します。詳細については、「[クエリ/ビュー定義プロパティ]ダイアログ・ボックス」(305ページ)を参照してください。

6. レポート設定の定義-任意指定

パターン・ビュー・エディタで [レポート] タブを選択します。ビューのクエリ・ノードごと に、レポートに含める属性を選択します。レポートのカラムの順序の設定,各カラムの並べ替 え順序の設定,グラフの追加もできます。詳細については、「レポート設定の定義方法」(255 ページ)を参照してください。

7. 権限の設定

新しいパースペクティブのユーザやユーザ・グループにビュー権限と編集権限を適用します。 【マネージャ】 > 【セキュリティ】 > 【ロール マネージャ】を選択します。詳細については, プラットフォーム管理の『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「Roles Manager Page」を参照し てください。

### 動的ウィジェットの作成方法

このタスクでは,UCMDB Browser の新しい動的ウィジェットを定義する方法について説明します。 本項の内容

- 「パターン・ビュー・エディタで新しい動的ウィジェットを作成する」(250ページ)
- 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加」(250ページ)
- 「ウィジェットの属性の選択」(251ページ)
- 「ウィジェットの属性に対する値の設定」(251ページ)
- 1. パターン・ビュー・エディタで新しい動的ウィジェットを作成する

[新規作成] 🚵 ボタンをクリックして, [動的ウィジェット] を選択します。 [新規動的 ウィジェット] ダイアログ・ボックスで, 新しいウィジェットの基にするベース TQL クエリを 選択するか, [新規クエリの作成] を選択して新しい TQL クエリを作成します。

2. TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加

[ビュー] タブで,クエリを定義するクエリ・ノードと関係を追加します。詳細については, 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

**注:** 動的ウィジェットが UCMDB Browser のそのノードについてのデータを表示するため, TQL クエリには折りたたみ定義のルート(ルートのみ)をコンタクト・クエリ・ノードとし て指定する必要があります。コンタクト・クエリ・ノードが指定されていないと, TQL クエ リはパターン・ビューとして保存され,動的ウィジェットとして保存されません。

a. TQL クエリを定義する際に,手動(標準設定)とルート・ベース階層のどちらを使うか指定 します。詳細については,「ビュー階層の設定」(233ページ)を参照してください。

**注:** 空のウィジェットで開始する場合,ウィジェットを保存するために,クエリ・ノードを少なくとも1つ追加する必要があります。

- b. 動的ウィジェットで通知にデータを表示させる各プロパティについて,次の手順を実行しま す。
  - i. トポロジ・マップのノードを右クリックし, [**クエリ ノードのプロパティ**]を選択し ます。
  - ii. [要素レイアウト] タブをクリックします。
  - iii. [レイアウトの属性を選択] ラジオ・ボタンを選択します。
  - iv. [条件]表示枠から, [**すべて**] (選択したノードのすべての属性を表示する場合) または [**特定の属性**] (選択する属性のみを表示する場合)を選択します。
  - v. [利用可能な属性]表示枠で属性を選択し, 🖻 をクリックして選択した属性を [特定の属性]表示枠に追加します。
  - vi. 完了したら [OK] をクリックします。
- 3. ウィジェットの属性の選択

[レポート] タブで, [階層] 表示枠からノードを選択し, ウィジェットにデータを表示する ためにそのノードの属性を選択します。

注: [レポート] タブまたは [表示] タブのいずれかの [階層] 表示枠では,任意のノード のグループ化オプションを指定できます。異なるグループ化オプションから選択できます が,UCMDB Browser でウィジェット詳細モードで動的ウィジェットを表示する場合,CIの 属性は常にCIタイプ別にグループ化されて表示されます。グループ化オプションを設定す るには,階層ツリーで任意のノードを右クリックし,グループ化オプション(属性,CIタ イプまたは表示ノード)のいずれかを選択します。

4. ウィジェットの属性に対する値の設定

[ウィジェット] タブで,ノードを選択し,選択した属性をウィジェットに表示する方法と場所を指定します。詳細については,「パターン・ビュー・エディタ」(292ページ)を参照してください。

• [パスを表示] チェック・ボックスを選択して,ビュー定義の特定のノードからノードのす べての子へのルートを UCMDB Browser が動的ウィジェットに表示するようにします。

- [ブラウザ CI アクセス制御] チェック・ボックスを選択して,動的ウィジェットで,ロー ル・マネージャの [ブラウザ CI アクセス制御] タブで指定した権限のみに基づいて,動的 ウィジェットにデータを表示するように指定します。このチェック・ボックスを選択しない 場合,動的ウィジェットには権限の強制なしですべてのデータが表示されます。
- 動的ウィジェットの初期表示モードを選択します。
  - プロパティ・モード:CIの個別のプロパティを表示します。

**注:** [ウィジェット タイプ] の値を選択していない場合,プロパティ・モードが標準 設定で有効になります。

- トポロジ・マップ・モード:現在のトポロジに応じて CI を表示します。
- トポロジ CIT グループ・モード:現在のモデルに応じて CI タイプでグループ化された CI を 表示します。
- トポロジ・テキスト・モード:CIタイプでブレーク・ダウンされた CIのリストを表示します。

選択するトポロジ・モードは, UCMDB Browser で別のものに変更するまで, 初期ビューの選 択になります。

完了したら, [保存] 🛅 をクリックします。

### テンプレート・ベース・ビューの作成方法

このタスクでは,1つのテンプレート・ベース・ビューを定義する方法について説明します。

#### 本項の内容

- 「前提条件」(252ページ)
- 「新しいテンプレート・ベース・ビューの定義」(252ページ)
- 「テンプレートの選択」(253ページ)
- 「パラメータ値の追加方法を選択する」(253ページ)
- 「パラメータの設定」(253ページ)
- 「権限の設定」(253ページ)
- 1. 前提条件

新しいテンプレートに基づいてビューを作成する場合は,最初にテンプレートを作成します。 詳細については,「テンプレートの作成方法」(247ページ)を参照してください。

3. 新しいテンプレート・ベース・ビューの定義
 新しいテンプレート・ベース・ビューは、 [テンプレートベースビュー] ウィザードを使って
 定義します。 [新規作成] <sup>●</sup> をクリックして、 [テンプレート ベース ビュー] を選択しま
#### す。

- テンプレートの選択
   ウィザードの [テンプレートの選択] ページで、ビューの基になるテンプレートを選択します。詳細については、「[テンプレートの選択] ページ」(314ページ)を参照してください。
- 4. パラメータ値の追加方法を選択する

ウィザードの [パラメータ値をインポート] ページで, パラメータ値の追加方法を選択しま す。詳細については, 「 [パラメータ値をインポート] ページ」(315ページ)を参照してくださ い。

5. パラメータの設定

[パラメータを入力] ページで,ビューのパラメータ値を入力します。詳細については, 「[パラメータを入力] ページ」(315ページ)を参照してください。

**注:** ビューの作成後,エディタのツールバーまたはショートカット・メニューから [パラ メータを表示] <sup>(1)</sup> を選択します。

終了したら, [**完了**]をクリックしてエディタでビューを開きます。 [**保存**  [] をクリックし てビューを保存します。

**6**. 権限の設定

ビューのユーザやユーザ・グループにビュー権限と編集権限を適用します。 【マネージャ】 > 【セキュリティ】 > 【ロール マネージャ】を選択します。詳細については、プラットフォーム 管理の『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「Roles Manager Page」を参照してください。

複数のテンプレート・ベース・ビューの作成方 法

このタスクでは、複数のテンプレート・ベース・ビューを定義する方法について説明します。

本項の内容

- 「前提条件」(254ページ)
- 「新規テンプレート・ベース・ビューの定義」(254ページ)
- 「テンプレートの選択」(254ページ)
- 「パラメータ値の追加方法とビューの命名方法の選択」(254ページ)
- 「パラメータの設定」(254ページ)
- 「ビューを保存する場所を選択する」(254ページ)

モデリング・ガイド 第8章: モデリング・スタジオ

- 「ビューの保存」(254ページ)
- 「権限の設定」(254ページ)
- 1. 前提条件

新しいテンプレートに基づいてビューを作成する場合は,最初にテンプレートを作成します。 詳細については,「テンプレートの作成方法」(247ページ)を参照してください。

- 新規テンプレート・ベース・ビューの定義
   新しいテンプレート・ベース・ビューは、[テンプレートベースビュー]ウィザードを使用して定義します。[新規作成] をクリックして、[テンプレートベースビュー]を選択します。
- 3. テンプレートの選択

ウィザードの [テンプレートの選択] ページで,ビューの基になるテンプレートを選択しま す。詳細については,「[テンプレートの選択] ページ」(314ページ)を参照してください。

4. パラメータ値の追加方法とビューの命名方法の選択

ウィザードの [パラメータ値をインポート] ページで,パラメータ値の追加方法を選択しま す。また, [Advanced Naming] 機能を使用する場合は,このページのチェック・ボックスを選 択します。詳細については,「[パラメータ値をインポート] ページ」(315ページ)を参照して ください。

5. パラメータの設定

[パラメータを入力] ページで,ビューのパラメータ値を入力します。CSV ファイルからのパラ メータ値のインポートを選択した場合は,パラメータ値がテーブルに自動的に入力されます。 このページでは,ビュー名とパラメータ値を手動で編集できます。また,テーブルに新しい ビューを追加したり,テーブルからビューを削除したりすることもできます。詳細について は,「[パラメータを入力] ページ」(315ページ)を参照してください。

6. ビューを保存する場所を選択する

[Select Location] ページで,新しいビューを保存するビュー・ツリーの場所を選択します。詳細については,「[ビューの場所を選択] ページ」(316ページ)を参照してください。

7. ビューの保存

[サマリ]ページで,作成したビューの詳細を確認します。これ以上変更しない場合は, [**保** 存]をクリックして選択した場所にビューを保存します。

8. 権限の設定

作成した各ビューのユーザやユーザ・グループにビュー権限と編集権限を適用します。 **ネージャ】 > [セキュリティ】 > [ロール マネージャ】**を選択します。詳細については、プ ラットフォーム管理の『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「Roles Manager Page」を参照して ください。

# レポート設定の定義方法

このタスクでは、ビュー、テンプレート、またはパースペクティブのレポート設定を定義する方法について説明します。

本項の内容

- 「前提条件」(255ページ)
- 「レポートのカラムとして表示する属性の選択」(255ページ)
- 「レポートへの関数カラムの追加 任意指定」(255ページ)
- 「カラム・コンテンツの並べ替え順序の設定」(255ページ)
- 「レポートへのグラフの追加 任意指定」(256ページ)
- 「レポート・プロパティの設定」(256ページ)

1. 前提条件

ビュー,テンプレート,またはパースペクティブのコンテンツと階層を定義したら,レポート 設定を定義できます。パターン・ビュー・エディタで [レポート] タブを選択します。

2. レポートのカラムとして表示する属性の選択

ビューのクエリ・ノードごとに、[階層]表示枠で該当するクエリ・ノードを選択し、そのク エリ・ノードのレポートにカラムとして表示する属性を選択します。[クエリノード定義]表 示枠で属性を選択するには、属性を[属性]リストから[レポートのレイアウト]リストに移 動します。[レポートのレイアウト]リストの矢印ボタンを使用してカラムの順序を設定しま す。詳細については、「パターン・ビュー・エディタ」(292ページ)を参照します。

3. レポートへの関数カラムの追加-任意指定

選択したクエリ・ノードを構成するデータが、子クエリ・ノードのいずれかで実行される関数 から派生する場合、任意でそのクエリ・ノードにカラムを追加することができます。 [**関数の** 追加] 4 ボタンをクリックして [関数の追加] ダイアログ・ボックスを開き、そこから関連す る設定を選択できます。詳細については、「[関数の追加/編集] ダイアログ・ボックス」(261 ページ)を参照してください。

4. カラム・コンテンツの並べ替え順序の設定

[並べ替え順を設定] ■ ボタンをクリックして, [カラム コンテンツの並べ替え] ダイアロ グ・ボックスを開きます。レポートの並べ替えに使用するカラムを決定するには,カラムを [利用可能なカラム] リストから [並べ替えられたカラム] リストに移動します。矢印ボタン を使用してカラムの並べ替え順序を設定します。各カラムの並べ替え方向を設定するには, [昇順ソート] ボタンまたは [降順ソート] ボタンを使用します。詳細については, 「[カラ ム コンテンツの並べ替え] ダイアログ・ボックス」(312ページ)を参照してください。 5. レポートへのグラフの追加-任意指定

任意でレポートにグラフを追加できます。グラフは、ビューの選択したレイヤに対してテーブ ルの代わりに追加します。グラフの追加に必要な条件が満たされると、[クエリノード定義] 表示枠の[グラフのプロパティ]セクションで[**グラフを定義**]リンクがアクティブになりま す。リンクをクリックしてグラフ設定を入力します。詳細については、「グラフのプロパ ティ」(297ページ)を参照してください。

6. レポート・プロパティの設定

パターン・ビュー・エディタで [ビュー] タブを選択します。 [**レポートのプロパティ**] 「 ダンを選択して, レポートにタイトルとサブタイトルを割り当て, レポート形式を選択しま す。詳細については, 「 [レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックス」(401ページ)を参照 してください。

インスタンス・ベース・モデルの作成方法

このタスクでは,インスタンス・ベース・ビューのベースとして使用できるビジネス CI モデルの作成方法について説明します。

#### 本項の内容

- 「新規モデルの作成」(256ページ)
- 「手動での CI へのモデルの追加」(256ページ)
- 「CIを隣接検索する」(256ページ)
- 「モデルの CI にウォッチポイントを定義する」(257ページ)
- 1. 新規モデルの作成

モデリング・スタジオで, [新規作成] 🚵 をクリックして, [インスタンス ベース モデル] を選択して [新規モデル] ダイアログ・ボックスを開きます。Cl タイプを選択し, プロパティ の値を入力します。詳細については, 「[新規モデル] ダイアログ・ボックス」(285ページ)を 参照してください。

注:既存の名前ではインスタンス・ベース・モデルを作成できません。

2. 手動でのCIへのモデルの追加

CIの選択で、モデルに含める CIを検索します。CIを選択してモデルにドラッグします。

**ヒント:** 複数の CI を選択するには, CTRL キーを押しながら CI を選択します。

3. CIを隣接検索する

モデルの CI を選択し、公開パスをたどって関連 CI を公開します。公開 CI の中から選択した CI を

モデルに追加します。完了したらモデルを保存します。詳細については, 「[CIを隣接検索] ダイアログ・ボックス」(308ページ)を参照してください。

4. モデルの CI にウォッチポイントを定義する

モデルの CI を右クリックし, **[ウォッチボイント] > [新規ウォッチポイント]** を選択します。 [新規ウォッチポイント] ダイアログ・ボックスが開きます。公開パスを選択し, **[OK**] をク リックします。CI の横に, ウォッチポイントが定義されていることを示す小さいアイコンが表 示されます。詳細については, 「 [新規ウォッチポイント] ダイアログ・ボックス」(287ペー ジ)を参照してください。

# 新規パターン・ベース・モデルの作成方法

このタスクでは,新規パースペクティブ・ベース・ビューのベースとして使用できるパターン・ベース・モデルの作成方法について説明します。

#### 本項の内容

- 「新規モデルの定義」(257ページ)
- 「モデルの詳細の入力」(257ページ)
- 「TQL クエリの選択」(257ページ)
- 「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加」(258ページ)
- 「出力クエリ・ノードの設定」(258ページ)
- 「モデルの保存」(258ページ)
- 1. 新規モデルの定義

新規パターン・ベース・モデルは, [パラメータ ベース モデル]ウィザードを使って定義しま す。 [新規作成] 🔤 をクリックして, [パターン ベース モデル]を選択します。

注:既存の名前ではパターン・ベース・モデルを作成できません。

2. モデルの詳細の入力

ウィザードの先頭ページで [**新規モデル**] を選択します。続いて,モデルの CI タイプを選択 し,プロパティを入力します。詳細については,「[CI タイプの選択] ページ」(290ページ)を 参照してください。

3. TQLクエリの選択

次のウィザード・ページで,モデルの TQL クエリを選択します。新しい TQL クエリを作成する ことも,ツリーから既存のクエリを選択することもできます。TQL クエリ・エディタが開き,選 択したクエリが表示されます。詳細については,「[クエリの選択]ページ」(291ページ)を参 照してください。 4. TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加

クエリを定義するクエリ・ノードと関係を追加します。TQL クエリにクエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

5. 出力クエリ・ノードの設定

TQL クエリで,モデルの出力として使用するクエリ・ノードを1つ以上選択します。該当するク エリ・ノードを右クリックし, [モデル出力に追加]を選択します。クエリ・ノードは,横に ある小さいアイコンで示されます。

6. モデルの保存

終了したら,モデルに一意の名前を付けて保存します。新しい TQL クエリを作成した場合,ク エリもモデルとは別に保存され,通常の TQL クエリとして再利用できます。

モデルに基づいたパースペクティブ・ベース・ ビューの作成方法

本タスクでは,モデリング・スタジオでモデルおよびパースペクティブに基づいたビューを作成する 方法について説明します。

#### 本項の内容

- 「モデルを開く」(258ページ)
- 「パースペクティブの選択」(258ページ)
- 「ビューを保存する」(258ページ)
- 1. モデルを開く

モデリング・スタジオの左表示枠で[リソースタイプ]として[**モデル**]を選択し,関連する モデルを選択してから,左表示枠のツールバーで[**モデルを開く**] <sup>(1)</sup>をクリックします。

2. パースペクティブの選択

モデル・エディタでモデルを右クリックし, [**選択したモデルのビューを生成**]を選択しま す。[新規ビューの作成] ダイアログ・ボックスが開きます。モデルに適用するパースペク ティブを選択します。詳細については,「[新規ビューの作成] ダイアログ・ボックス」(266 ページ)を参照してください。

3. ビューを保存する

パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタが開いて新しいビューが表示されます。任意 で,作成するビューのほかのレベルに対してパースペクティブを選択し,パースペクティブ・ チェーンを作成します。ビューの名前を変更し,適切なフォルダに保存します。詳細について は,「パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタ」(298ページ)を参照してください。

CIのコレクションに基づいたパースペクティ ブ・ベース・ビューの作成方法

本タスクでは,モデリング・スタジオでCIのコレクションおよびパースペクティブに基づいた ビューを作成する方法について説明します。

#### 本項の内容

- 「新規ビューの作成」(259ページ)
- 「CIのビューへの追加」(259ページ)
- 「パースペクティブの選択とビューの保存」(259ページ)
- 1. 新規ビューの作成

モデリング・スタジオで, [新規作成] 🐱 をクリックし, [パースペクティブ ベース ビュー] を選択してパースペクティブ・ベース・ビュー・エディタを開きます。詳細について は, 「パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタ」(298ページ)を参照してください。

2. CIのビューへの追加

CI の選択で、ビューに含める CI を検索します。CI を選択してビューにドラッグします。 [CI の 選択]の詳細については、「CI セレクタ」(130ページ)を参照してください。

ヒント: 複数の CI を選択するには, CTRL キーを押しながら CI を選択します。

3. パースペクティブの選択とビューの保存

[パースペクティブ]表示枠で、CIコレクションに適用するパースペクティブを選択します。 任意で、作成するビューのほかのレベルに対してパースペクティブを選択し、パースペクティ ブ・チェーンを作成できます。ビューの名前を変更し、適切なフォルダに保存します。詳細に ついては、「パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタ」(298ページ)を参照してくださ い。

モデリング・スタジオのユーザ・インタフェー ス

本項の内容

• [関数の追加/編集] ダイアログ・ボックス	
• [ノード要素タイプの変更] ダイアログ・ボックス	262
• [選択した項目に対する操作の選択] ダイアログ・ボックス	
• [関連 CI の条件] ダイアログ・ボックス	
• [隣接検索パスの作成/編集/保存]ダイアログ・ボックス	
• [新規ビューの作成] ダイアログ・ボックス	266
• [サイクル定義] ダイアログ・ボックス	267
• [非表示 CI] ダイアログ・ボックス	268
• [階層ルール] ダイアログ・ボックス	
• 左側の表示枠	269
• [Cl ウォッチポイントの管理] ダイアログ・ボックス	
• モデル・エディタ	276
• [モデリング スタジオ] ページ	
• [選択済みの Cl を含むモデル] ダイアログ・ボックス	
• [新規モデル] ダイアログ・ボックス	285
• [新規パターン ビュー] / [新規テンプレート] / [新規パースペクティブ] ダイ	アログ・
ボックス	
• [新規ウォッチポイント] ダイアログ・ボックス	
• [隣接検索パスを開く] ダイアログ・ボックス	
• [パターン ベース モデル スケジューラ] ダイアログ・ボックス	
• [パターン ベース モデル]ウィザード	
• パターン・ビュー・エディタ	292
• パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタ	298
<ul> <li>[クエリノードのグループ化]ダイアログ・ボックス</li> </ul>	
• [クエリ/ビュー定義プロパティ]ダイアログ・ボックス	
<ul> <li>[CI を隣接検索] ダイアログ・ボックス</li> </ul>	
• [クエリを保存] ダイアログ・ボックス	
• [ビュー/テンプレート/パースペクティブを保存] ダイアログ・ボックス	
• [統合ポイントの選択] ダイアログ・ボックス	
• [カラム コンテンツの並べ替え] ダイアログ・ボックス	
• [テンプレート ベース ビュー] ウィザード	
<ul> <li>[テンプレート パラメータ値]ダイアログ・ボックス</li> </ul>	
<ul> <li>TQL クエリ・エディタ</li> </ul>	
• [選択した CI を含むビュー] ダイアログ・ボックス	
• [ウォッチポイントの更新] ダイアログ・ボックス	

• [<クエリ/テンプレート/パースペクティブ名>の依存関係]ダイアログ・ボックス ......325

## [関数の追加/編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,レポートに含めるクエリ・ノードの関数およびパラメータを定義で きます。

利用方法	パターン・ビュー・エディタで, [クエリ ノード定義]表示枠の[レポート のレイアウト]ボックスの下にある[ <b>関数の追加</b> ] 🍒 ボタンをクリックしま す。
重要情報	ビュー, テンプレート, またはパースペクティブの選択したクエリ・ノード に対してレポート・カラムを定義する場合, いずれかの子クエリ・ノードに 定義された関数から派生するデータで構成されるカラムを定義できます。定 義対象とする関連の子クエリ・ノード, 属性, 関数を選択します。 最初に, 必要なクエリ・ノードと関数を選択します。属性リストが調整さ れ, 選択した組み合わせについて関連属性が表示されます。必要な属性を選 択します。
関連タスク	「レポート設定の定義方法」(255ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
属性	リストから属性を選択します。
関数	[関数] リストから、カラムに関する結果の計算に使用する関数を選択します。
	次のオプションを使用できます。
	• <b>平均</b> :選択したクエリ・ノードのすべての CI インスタンスを対象とした,選択した属性の平均値です。
	• 連結リスト:選択したクエリ・ノードのすべての CI インスタンスを対象とした, 選択した属性の値のリストを表示します。
	• カウント:選択したクエリ・ノードの CI インスタンス数を計算します。
	• 明確なリスト:選択したクエリ・ノードのすべての CI インスタンスを対象とした,選択した属性の一意の値のリストを表示します。
	• 最大:選択したクエリ・ノードのすべての CI インスタンスを対象とした,選択した属性の最大値です。
	• 最小:選択したクエリ・ノードのすべての CI インスタンスを対象とした,選択した属性の最小値です。

UI 要素	詳細
	• 合計:選択したクエリ・ノードのすべての CI インスタンスを対象とした,選択した属性の値の合計です。
関連クエ リ・ノード	関数を実行する子クエリ・ノードです。
タイトル	レポートに表示されている関数属性の名前です。

# [ノード要素タイプの変更] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは, TQL クエリの作成後に TQL クエリ・ノードまたは関係の CI タイプ を変更できます。

利用方法	TQL クエリ・エディタまたはパターン・ビュー・エディタで,必要なクエリ・ ノードを右クリックし,[ <b>クエリ ノード タイプの変更</b> ]を選択します。関係の 場合は,必要な関係を右クリックし,[ <b>関係タイプを変更</b> ]を選択します。
重要情報	選択したクエリ・ノードの CI タイプは,そのクエリ・ノードの既存の関係および 条件に基づいてほかの有効なタイプに変更できます。
関連タスク	<ul> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「ディスカバリ・アダプタの実装」</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
1	<b>すべてを展開 :</b> ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
5	<b>すべてを折りたたみ :</b> ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
ツリー・ ビュー 🔒	CI タイプ/関係ツリーの表示形式を選択するには, [ツリー ビュー]をクリックし ます。次のオプションを利用できます。
	• 表示ラベル別
	<ul> <li>クラス名別</li> </ul>
	<ul> <li>旧クラス名別</li> </ul>

UI 要素	詳細
<ci タイプ="" 関<br="">係ツリー&gt;</ci>	必要な CI タイプまたは関係を選択します。
関係の方向	関係の方向を選択します。
	<b>注:</b> 関係にのみ関連します。
関係の名前	関係の名前です。
	<b>注:</b> 関係にのみ関連します。
関係の制限	クエリ結果において同一クエリ・ノード間の関係,または自己関係を処理する方 法を定義するオプションを選択します。自己関係とは,あるクエリ・ノードか ら,そのノード自身につながっている関係のことです。
	• 全関係を許可します:すべての関係がクエリ結果に表示されます。
	• 自己関係のみを許可します:自己関係(自身へとつながる関係)のみが,クエリ 結果に表示されます。
	• 非自己関係のみを許可:自己関係は、クエリ結果に表示されません。
	<b>注:</b> 関係にのみ関連します。

[選択した項目に対する操作の選択]ダイアログ・ボッ クス

このダイアログ・ボックスでは、選択したCIからモデルおよびビューを作成できます。

利用方法	モデリング・スタジオで, [Cl の選択] で検索した Cl を空のキャンバスにド ラッグします。
重要情報	個々の CI または複数の CI をキャンバスにドラッグできます。また,通常の CI またはモデル,あるいはその両方を選択してキャンバスにドラッグできま す。複数の CI を選択するには, <b>CTRL</b> キーを押しながら CI を選択します。
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「ビジネス CI モデル」(238ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
新規モデルの作	選択した CI から成るモデルを作成するときに選択します。キャンバスにドラッ

UI 要素	詳細
成	グした CI の中に,モデル CI タイプへの有効なリンクを持たない CI が少なくとも 1 つ含まれている場合,このオプションは無効になります。
新規ビューの作 成	選択によって形成された CI のコレクションに基づいたビューを作成するときに 選択します。
選択した CIの	選択したモデルをモデル・エディタで編集するときに選択します。
てテルの編糸	<b>注:</b> このオプションは,キャンバスに単一のモデルがドラッグされている場合にのみ表示されます。

# [関連 CI の条件] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、隣接検索パスの CI タイプに条件を定義することができます。

利用 方法	[Cl を隣接検索] ダイアログ・ボックスの条件カラムにある[ <b>条件の追加</b> ]ボタンまたは [ <b>定義を編集</b> ]ボタンをクリックします。
関連	• 「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)
情報	• 「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

UI 要素	詳細
+	定義した属性条件を追加します。
*	属性条件を削除します。
	選択した行を上へ移動します。
₩	選択した行を下へ移動します。
9	条件定義を表示します。
AND/OR	複数の条件をリンクさせるには、 [AND/OR] フィールド内をクリックし, [AND] または [OR] を選択します。
属性名	リストから属性を選択します。
( ) 大括弧	[ <b>大括弧</b> ] ボックス内をクリックすると、より複雑な論理ステートメントを作 成するのに使用できる括弧のリストが表示されます。
基準	[CI インスタンス] ダイアログ・ボックスで定義した属性条件の定義が含まれ

UI 要素	詳細
	ています。
NOT	定義した内容と反対の条件構文を使用する場合に [NOT] を選択します。
	<b>注:</b> [NOT] を選択した場合, クエリの結果には, 値が割り当てられてい ない CI インスタンスのデータは含まれません。たとえば, システムに3つ のノードがあり, ノード1 には値 A が割り当てられ, ノード2 には値 B が 割り当てられ, ノード3 には値が割り当てられていないとします。A に等 しい値を持つすべてのノードを取得するクエリを作成し, [NOT] を選択 した場合, ノード3 には値が割り当てられていないため, クエリの結果に はノード2 のみが含まれます。
演算子	必要な演算子を選択します。詳細については,「属性演算子の定義」(37ペー ジ)を参照してください。
値	属性の値を入力または選択します。 [ <b>値</b> ] オプションは,選択した属性タイプ に応じて変わります。

[隣接検索パスの作成/編集/保存]ダイアログ・ボック ス

このダイアログ・ボックスでは,新規隣接検索パスの定義または既存パスの編集を行うことができます。

利用 方法	新しい隣接検索パスを定義するには,モデル・エディタで [ <b>隣接検索</b> ] 🙇 ボタンをク リックし, [ <b>隣接検索パスの作成</b> ]を選択します。
	既存の隣接検索パスを編集するには, [隣接検索パスを開く] ダイアログ・ボックスで隣 接検索パスを選択し, [ <b>編集</b> ]をクリックします。
	隣接検索パスを保存するには, [CIを隣接検索] ダイアログ・ボックスの [ <b>パスの保存</b> ] をクリックします。
関連	• 「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)
IFJ ŦX	• 「モテリンク・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

UI 要素	詳細
説明	パスの説明を入力します。
名前	パスの名前を入力します。

UI 要素	詳細
プレビュー	[CI を隣接検索] ダイアログ・ボックスが開き,パスの関連 CI が表示されま す。
	<b>注:</b> このボタンは [隣接検索パスの保存] ダイアログ・ボックスには表示 されません。
隣接検索パス	ボタンをクリックして CI タイプのツリーが表示されたダイアログ・ボックスを開き,パスを作成します。パスの次のアイテムの CI タイプを選択します。 公開パス・アイテムの上にポインタを置くと,次のオプションが有効になります。
	• 選択した項目の削除: 隣接検索パスから選択したアイテムを削除します。
	• 条件の追加: [関連 CI の条件] ダイアログ・ボックスが開きます。ここで公開パス・アイテムの条件を設定できます。
	<ul> <li>クエリ・ノード・タイプの再設定: CI タイプのツリーが開きます。ここで公開パス・アイテムの CI タイプを変更できます。</li> </ul>

### [新規ビューの作成] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,モデルからビューを作成するためのパースペクティブを選択できます。

利用方法	モデリング・スタジオのモデル・エディタ,パースペクティブ・ベース・ ビュー・エディタ,またはCIの選択でモデルを右クリックして[選択したモデル のビューを生成]を選択するか,モデル・エディタから[選択したモデルの ビューを生成] 🔜 ボタンをクリックします。
重要情報	左表示枠でパースペクティブを選択し,矢印ボタンを使用して右表示枠に移動し ます。
関連タスク	「モデルに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法」(258ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
利用可能なパースペクティ	モデルへの適用対象として選択可能なパースペクティブのリストで
ブ	す。

UI 要素	詳細
選択したパースペクティブ	モデルへの適用対象として選択したパースペクティブです。

### [サイクル定義] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、ビューにサイクル階層を定義できます。

利用方法	モデリング・スタジオのパターン・ビュー・エディタで, [階層]表示枠のクエ リ・ノードを右クリックし, [ <b>サイクルの定義</b> ]を選択します。
重要情報	ビュー階層にサイクルを定義することで、ビューの TQL クエリ定義を拡張できま す。[階層]表示枠でソース・クエリ・ノードにするクエリ・ノードを選択しま す。[サイクル定義]ダイアログ・ボックスにそのソースに対して有効なター ゲット・クエリ・ノードが表示されます。サイクル内のターゲット・クエリ・ ノードとその階層は、ソース・クエリ・ノードの子または兄弟(選択した折りた たみルールに応じて異なる)として扱われます。
関連タスク	「パターン・ビューの作成方法」(246ページ), 「テンプレートの作成方法」(247 ページ), 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
折りたたみルー	次のオプションのいずれかを選択します。
Л	<ul> <li>ソースの下で折りたたまれたサイクル:ターゲット・クエリ・ノードはソース・クエリ・ノードの子になります。</li> </ul>
	• 親の下で平均化されたサイクル:ターゲット・クエリ・ノードはソース・ク エリ・ノードの兄弟になります。
ターゲット	選択したソース・クエリ・ノードに対して有効なターゲット・クエリ・ノード が表示されます。この場合の有効なターゲット・クエリ・ノードとは、次の条 件すべてを満たすクエリ・ノードです。
	• ソース・クエリ・ノードに関連付けられている
	<ul> <li>ソース・クエリ・ノードの祖先(またはソース・クエリ・ノード自体)である</li> </ul>
	<ul> <li>クエリ・ベース・ノードである(グループ化ノードではない)</li> </ul>

#### [非表示 CI] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、非表示CIをビューに戻すことができます。

利用	パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタで,[結果の表示]表示枠のツールバーに
方法	ある[ <b>非表示 CI を表示</b> ]ボタンをクリックします。
関連 情報	<ul> <li>「パースペクティブ・ベース・ビューの作成」(240ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<チェック・ ボックス>	元に戻す CI のチェック・ボックスを選択します。
CI タイプ	除外された CI の CI タイプです。
名前	除外された CI の名前です。
復元	選択した CI をビューに含めるときに, [ <b>復元</b> ] をクリックします。
すべて選択	ビューに含めるためにリスト内のすべての CI を選択するときに, [ <b>すべて選</b> <b>択</b> ] をクリックします。
すべて選択解除	リスト内のすべての CI のチェック・ボックスをクリアするときに、 [すべて選 択解除] をクリックします。

[階層ルール] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、階層ルールを定義してビューの階層を設定できます。

利用方法	パターン・ビュー・エディタの [階層] 表示枠で階層メソッドとして [ <b>ルール</b> ベース] を選択している場合, ツールバーから [ <b>階層ルールを追加</b> ] 📌 ボタン をクリックします。
重要情報	定義する階層ルールごとに, ソース CI タイプ, ターゲット CI タイプ, 関係, 方向 を選択します。
関連タスク	「パターン・ビューの作成方法」(246ページ),「テンプレートの作成方法」(247 ページ),「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
+	<b>追加:</b> 階層ルールを追加します。
*	<b>削除:</b> 選択した階層ルールを削除します。
関係	選択した階層ルールを編集するときに、ドロップダウン・リストから関係を選択 します。
関係の方向	選択した階層ルールを編集するときに、ドロップダウン・リストから方向を選択 します。
ソース	選択した階層ルールを編集するときに,ドロップダウン・ツリーからソース CI タイプの CI タイプを選択します。
ターゲット	選択した階層ルールを編集するときに、ドロップダウン・ツリーからターゲット CI タイプの CI タイプを選択します。

### 左側の表示枠

この領域では,ビュー(動的ウィジェットを含む)とTQLクエリの参照,エディタ表示枠で開くCI またはモデルの検索,TQLクエリ・エディタまたはパターン・ビュー・エディタで使用するCIタイプ の選択ができます。

利用方 法	モデリング・スタジオのエディタ表示枠の左側にあります。
重要情 報	<ul> <li>次のタブを利用できます。</li> <li>リソース:エディタ表示枠で開くモデル,ビュー,またはTQLクエリを選択できます。</li> <li>CIの選択:詳細については,「CIセレクタ」(130ページ)を参照してください。</li> <li>CIタイプ:TQLクエリにクエリ・ノードとして追加するCIタイプをツリーから選択できます。</li> </ul>
関連情 報	<ul> <li>「テンプレートとパースペクティブ」(235ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

[リソース] タブ

重要情報	リソース・タイプとして <b>ビュー</b> または <b>クエリ</b> を選択した場合,ビュー,クエ
	リ,またはフォルダをドラッグしてフォルダ間で移動できます。

UI 要素	詳細
	<b>新規フォルダ:</b> リソース・ツリーに新しいフォルダを作成します。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>クエリ</b> ] または [ <b>ビュー</b> ] を選 択している場合にのみ表示されます。
×	<b>削除:</b> CMDB から選択したリソースを削除します。
	<b>注:</b> 依存リソースを持ったリソースを削除すると,依存リソースも削除されます。依存リソースにはクエリ,ビュー,またはカスタム・レポートが含まれます。
S	<b>更新:</b> リソース・ツリーを更新します。
1	<b>すべてを展開:</b> リソース・ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>クエリ</b> ] または [ <b>ビュー</b> ] を選 択している場合にのみ表示されます。
-	<b>すべてを折りたたみ :</b> リソース・ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
	<b>注:</b> このボタンは,リソース・タイプとして[ <b>クエリ</b> ]または[ <b>ビュー</b> ]を選 択している場合にのみ表示されます。
	[ <b>クエリ</b> ]または[ <b>ビュー</b> ]をリソース・タイプとして選択した場合は, [ <b>空の</b> フォルダを非表示]をクリックして, ビューまたは TQL クエリを含むフォルダのみ を表示します。
	[モデル] をリソース・タイプとして選択した場合は, [コンテンツがあるモデル のみを表示] をクリックして, CI を含むモデルのみを表示します。
Y	フィルタ・ツリー/フィルタ・テーブル:
	リソース・タイプとして [ビュー] を選択している場合, ツリーに表示される ビュー, テンプレート, および動的ウィジェットのタイプを絞り込むには, [フィ ルタ ツリー] をクリックします。
	[ <b>クエリ</b> ]をリソース・タイプとして選択した場合は, [ <b>フィルタ テーブル</b> ]をク リックして, TQL クエリをフィルタし, クエリ別ツリーに表示します。
	リソース・タイプとして[ <b>モデル</b> ]を選択している場合,テーブル内のモデルを Cl タイプで絞り込むには,[ <b>フィルタ テーブル</b> ]をクリックします。

UI 要素	詳細
	<b>バンドルによるツリーのフィルタ :</b> 事前定義済みのバンドルでクエリやビューを フィルタできます。
	使用可能リストから複数のバンドルを選択する場合は,少なくとも1つのバンドル に属する各リソースが表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは,フィルタ可能なバンドル・リスト設定がインフラストラク チャ設定マネージャで設定されている場合にのみアクティブになります。詳細 については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「[インフラストラクチャ設 定マネージャ]ページ」を参照してください。
<b>D</b>	<b>クエリを開く:</b> 選択した TQL クエリを新しいタブに開きます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>クエリ</b> ] を選択している場合に のみ表示されます。
<b></b>	<b>ビューを開く:</b> 選択したビューを新しいタブに開きます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ビュー] を選択している場合に のみ表示されます。
	<b>CI プロパティ:</b> 選択したモデルのプロパティを表示できます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>モデル</b> ] を選択している場合に のみ表示されます。
Г.	<b>選択した CI/モデルを含むビューを表示 :</b> 選択した CI やモデルを含んだビューのリ ストが表示されます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>モデル</b> ] を選択している場合に のみ表示されます。
€	<b>モデルを開く:</b> 選択したモデルをモデル・エディタで開きます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>モデル</b> ] を選択している場合に のみ表示されます。
٩	<b>パターン・ベース・モデル・スケジューラ :</b> すべてのパターン・ベース・モデルの 開始時間や繰り返し間隔を変更できます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>モデル</b> ] を選択している場合に のみ表示されます。

UI 要素	詳細
<b>2</b> 6,	<b>テナントを割り当て:</b> [テナントを割り当て]ダイアログ・ボックスが開き,テナ ントをモデルに割り当てることができます。
	注:
	<ul> <li>このボタンは、リソース・タイプとして [モデル] を選択している場合にの み表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>このボタンは、マルチテナンシーが有効な場合にのみ利用できます。</li> </ul>
<b>KHI</b>	XML からインポート :保存したビューまたはクエリを含んだ XML ファイルをモデリ ング・スタジオにインポートできます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>クエリ</b> ] または [ <b>ビュー</b> ] を選 択している場合にのみ表示されます。
	XML ヘエクスポート :ビューまたはクエリを XML スクリプトとしてエクスポートで きます。このオプションは,ビューまたはクエリをあるワークステーションから別 のワークステーションへ移動するときに使用できます。
	<b>注:</b> このボタンは, リソース・タイプとして [ <b>クエリ</b> ] または [ <b>ビュー</b> ] を選 択している場合にのみ表示されます。
<リソース>	リソース・タイプとして <b>ビュー</b> または <b>クエリ</b> が選択されている場合,利用可能な ビューまたは TQL クエリがそれぞれのフォルダの下にツリー形式で表示されます。 リソース・タイプとして【 <b>モデル】</b> を選択している場合は,利用可能なモデルが テーブルに表示されます。
	ビューの場合は、次のビュー・タイプが含まれます。
	• 県 パターン・ビューを表します。
	• 🗎 テンプレートを表します。
	• <sup>1</sup> テンプレート・ベース・ビューを表します。
	• 🖾 パースペクティブを表します。
	• 驙 パースペクティブ・ベース・ビューを表します。
	<ul> <li>         ・         ・         ・</li></ul>
	• 🤣 動的ウィジェットを表します。
リソース・	表示枠に表示するリソース・タイプを選択します。選択できるオプションは, [モ

UI 要素	詳細
タイプ	デル] , [ビュー], [クエリ]です。
	<b>注:</b> モデリング・スタジオにロードされるモデルの最大数は,標準設定で 400,000 に設定されています。この設定を変更するには,インフラストラク チャ設定マネージャの [ <b>ビュー結果のモデルの最大数</b> ]の設定を変更します。 詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「[インフラストラク チャ設定マネージャ]ページ」を参照してください。

[リソース] タブのショートカット・メニュー

[リソース] タブでは, リソースを右クリックすると次の要素を選択できます。

メニュー項目	説明
テナントを割り当 て	[テナントを割り当て] ダイアログ・ボックスが開き, テナントをリソース に割り当てることができます。
新規ビュー / テン プレート / パース ペクティブの作成	新規ビュー,テンプレート,パースペクティブを作成します。
削除	CMDB から選択したリソースを削除します。
	<b>注:</b> 依存リソースを持ったリソースを削除すると,依存リソースも削除 されます。依存リソースにはクエリ,ビュー,またはカスタム・レポー トが含まれます。
XML ヘエクスポー ト	ビューまたはクエリを XML スクリプトとしてエクスポートします。このオ プションは,ビューまたはクエリをあるワークステーションから別のワーク ステーションへ移動するときに使用できます。
セキュリティを管 理	選択したリソースを特定のロールまたはリソース・グループに割り当てま す。
	<b>注:</b> このオプションはモデルには関連しません。
新規フォルダ	リソース・ツリーに新しいフォルダを作成します。
新規テンプレー ト・ベース・ ビュー	選択したテンプレートのパラメータを編集して,新しいテンプレート・ベー ス・ビューを定義します。
	<b>注:</b> このオプションは, ビュー・ツリーでテンプレートを選択している 場合にのみアクティブになります。

メニュー項目	説明
クエリ / ビュー / モデルを開く	新しいタブで選択したビュー,TQL クエリ,またはモデルを開きます。
プロパティ	選択したモデルの [Cl プロパティ] ダイアログ・ボックスが開きます。
	<b>注:</b> このオプションはモデルにのみ関連します。
更新	リソース・ツリーを更新します。
削除	選択したモデルを削除します。
	<b>注:</b> このオプションはモデルにのみ関連します。
フォルダの名前の 変更	選択したフォルダの名前を変更します。
名前を付けて保存	選択した TQL クエリに新しい名前を付けて保存します。
含まれるビューを 表示	希望のモデル用に選択した Cl ダイアログ・ボックスを含む [ビュー] を開 きます。
	<b>注:</b> このオプションはモデルにのみ関連します。

[CIタイプ] タブ

UI 要素	説明
1	すべてを展開:CIタイプ・ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
	<b>すべてを折りたたみ :</b> CI タイプ・ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみま す。
ツリー・ ビュー 🔮	CI タイプ・ツリーの形式を表示します。次のオプションを利用できます。 ・ 表示ラベル別 ・ クラス名別 ・ 旧クラス名別
\$	<b>選択した CIT をクエリに追加 :</b> 選択した CI タイプをエディタ表示枠で開いている TQL クエリに追加します。

UI 要素	説明
	<b>注:</b> このボタンは,エディタ表示枠でビューまたは TQL クエリを開いている 場合にのみアクティブになります。
ø	<b>更新:</b> CI タイプ・ツリーを更新します。
<ci タイプ・<br="">ツリー&gt;</ci>	利用可能な CI タイプがツリー形式で表示されます。

[CI タイプ] タブのショートカット・メニュー

[CIタイプ] タブでは、CIタイプを右クリックして次の要素を選択できます。

メニュー項目	説明
選択した CIT をク エリに追加	選択した CI タイプをエディタ表示枠で開いている TQL クエリに追加するとき に選択します。
CI タイプの定義 へ移動	CIT マネージャ内の選択した CI タイプに直接移動します。
要素インスタンス の表示	[CI インスタンス] ウィンドウが開き,選択した CIT のすべてのインスタンス が表示されます。詳細については,「CI インスタンス・ダイアログ・ボック ス」(62ページ)を参照してください。

## [Clウォッチポイントの管理] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,モデルの CI に対するウォッチポイントを追加または削除できます。

利用方法	モデル・エディタのモデル内から, <b>[ウォッチポイント]</b> 💁 ボタンをクリックし, <b>[CI ウォッチポイントの管理</b> ]を選択するか, モデルの CI を右クリック して <b>[ウォッチポイント] &gt; [CI ウォッチポイントの管理]</b> を選択します。
関連情報	<ul> <li>「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
🔁 追加	新しいウォッチポイントの追加が行える[新規ウォッチポイント]ダイアロ グ・ボックスを開きます。

UI 要素	詳細
🔀 削除	選択したウォッチポイントを削除します。
自動	チェック・マークは, 監視で見つかった新しい CI が自動的にビューに追加され ることを示します。
ソースロ	公開パスの開始部分となる CI が表示されます。
ウォッチポイン ト名	監視に関連付けられている公開パスの名前です。
ウォッチポイン トパス	ウォッチポイントの公開パスが表示されます。

### モデル・エディタ

この機能では、モデルを作成および編集できます。

利用方法	モデリング・スタジオで,[ <b>新規作成] 膨</b> ボタンをクリックし,[ <b>インスタ</b> ンス ベース モデル]を選択して新しいモデルを作成するか,リソース・タイプ として[モデル]を選択し,既存のモデルを開きます。
重要情報	モデル・エディタには次の表示枠があります。
	• 【内容】表示枠:モデルに含まれている CI およびモデルが一覧表示されます。
	• [情報]表示枠:選択した CI またはモデルのプロパティ,関連 CI,監視が表示されます。
	モデルに CI を追加するには,CI の選択から既存モデルの内容表示枠に CI をド ラッグします。ただし,すでにモデルに含まれている CI はドラッグできませ ん。
	選択したソース CI とターゲット CI を <b>usage</b> 関係で関連付けることができるので あれば, CI の選択から [情報] 表示枠の [関連 CI] タブに CI をドラッグできま す。
関連タスク	「インスタンス・ベース・モデルの作成方法 」(256ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス CI モデル」(238ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

[内容] 表示枠

UI 要素	詳細
<b>田</b> マップ	マップ:図のアイコンとして CI が表示されます。
┃ ┋┋ <del>,</del> テキスト	<b>テキスト :</b> CI がリストに表示されます。
	<b>CI プロパティ:</b> 選択した CI の[構成アイテムのプロパティ]ダイアロ グ・ボックスが開きます。
₿	<b>選択した CI を含むモデルを表示 :</b> 選択した CI を含むモデルのリストが表 示されます。
<b>F</b> a	<b>選択した CI/モデルを含むビューを表示 :</b> 選択した CI やモデルを含む ビューのリストが表示されます。
60	<b>選択したモデルを新しいタブで開く :</b> 選択したモデルが別のモデル・エ ディ・タブで開きます。
<b>N</b>	<b>選択したモデルのビューを生成:</b> 現在のモデルに基づいてビューを作成 できます。適用するパースペクティブを選択できる[新規ビューの作 成]ダイアログ・ボックスが開きます。
*	<b>選択した CI をモデルから削除 :</b> 選択した CI をモデルから削除します(CI は CMDB に残ります)。
<b>€</b> ®	<b>新規モデルの挿入:</b> [新規モデル]ダイアログ・ボックスが開き,既存 モデル内に新規モデルを定義できます。
1	<b>すべてを展開:</b> モデルの階層を展開します。
-	<b>すべてを折りたたみ :</b> モデルの階層を折りたたみます。
20	<b>隣接検索:</b> 次のオプションが含まれます。
	• 隣接検索を開始:[CIを隣接検索]ダイアログ・ボックスが開きま す。詳細については, [CIを隣接検索]ダイアログ・ボックスを参照 してください。
	<ul> <li>隣接検索パスの作成: [隣接検索パスの作成] ダイアログ・ボックス が開きます。詳細については、 [隣接検索パスの作成] ダイアログ・ ボックスを参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>隣接検索パスを開く: [隣接検索パスを開く] ダイアログ・ボックス が開きます。詳細については、 [隣接検索パスを開く] ダイアログ・ ボックスを参照してください。</li> </ul>
<b>%</b>	<b>ウォッチポイント :</b> 次のオプションが含まれます。

UI安系	
	<ul> <li>ウォッチポイントの更新:ウォッチポイント結果を表示し、モデルに 追加する CI を選択できます。詳細については、[ウォッチポイントの 更新]ダイアログ・ボックスを参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>新規ウォッチポイント:選択した CI に新しい監視を定義できます。詳細については、[新規ウォッチポイント]ダイアログ・ボックスを参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>CI ウォッチポイントの管理:新しいウォッチポイントを CI に追加したり,既存のウォッチポイントを削除できます。詳細については,[CI ウォッチポイントの管理]ダイアログ・ボックスを参照してください。</li> </ul>
ē	<b>Cl コレクション :</b> Cl をモデルの下のコレクションにグループ化できます。 次のオプションのいずれかを選択します。
	• 新規 CI コレクションの挿入:空の新しい CI コレクションが作成されま す。コレクションの作成後は, CI の選択, [関連 CI] タブ, またはモ デル自体からコレクションに CI をドラッグできます。
	<ul> <li>CI コレクションに結合: モデルの CI を 1 つまたはいくつか選択し、その CI を既存の CI コレクションに結合するか、新しいコレクションを作成します。</li> </ul>
	• CI コレクションの解除: CI コレクションを選択して解除します。CI は、メイン・モデルの直下に存在するようになります。
Q	<b>検索:</b> 検索ボックスと矢印コントロールの表示/非表示が切り替わりま す。
	<b>注:</b> このボタンはテキスト・モードの場合にのみ表示されます。
	<b>更新:</b> マップを更新し,レイアウトを最適化します。
	<b>注:</b> このボタンはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
	<b>ウィンドウに合わせる :</b> 表示枠のサイズに合わせてマップのサイズが変 更されます。
	<b>注:</b> このボタンはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
▶ 選択 ▼	<ul> <li>[モード] ドロップダウン・リストからカーソルの機能を選択します。</li> <li>次のオプションを利用できます。</li> <li>選択</li> <li>マップをドラッグ</li> </ul>

UI 要素	詳細
	・ズーム・イン
	<b>注:</b> この機能はマップ・モードの場合にのみ表示されます。
@ 印刷	<b>印刷:</b> [印刷], [印刷プレビュー], [印刷設定]を選択できます。
-	<b>外部関係を表示:</b> 選択した CI の関連 CI を表示します。
	<b>注:</b> このボタンはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
2	<b>外部関係を非表示:</b> 選択した CI の関連 CI を非表示にします。
	<b>注:</b> このボタンはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
0	現在の CI にウォッチポイントが定義されていることを示します。
٥	監視が,現在のモデルに関連付けられた新しい CI を検出したことを示し ます。クリックすると,[ウォッチポイントの更新]ダイアログ・ボッ クスが開きます。
[CI タイプ] カラム	モデルの各 CI のタイプが表示されます。
検索	[検索] ボックスに CI 名または CI 名の一部を入力して,モデル内の CI を 検索します。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する,モデル内の次の項目を検索するとき にクリックします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する、モデル内の前の項目を検索するとき にクリックします。
強調表示	検索フレーズに一致する, モデル内のすべての項目を強調表示するとき にクリックします。
[名前] カラム	モデルの各 CI の名前が表示されます。

#### ショートカット・メニュー・オプション

メニュー項目	説明
CI コレクション	モデルの配下のコレクションに CI をグループ化する場合は, <b>[CI コレク</b> <b>ション</b> ]をクリックします。次のオプションのいずれかを選択します。
	• 新規 CI コレクションの挿入: 空の新しいコレクションが作成されま す。コレクションの作成後は, CI の選択, [関連 CI] タブ, またはモ

メニュー項目	説明
	<ul> <li>デル自体からコレクションにCIをドラッグできます。</li> <li>CI コレクションに結合:モデルのCIを1つまたはいくつか選択し、そのCIを既存のCIコレクションに結合するか、新しいグループを作成します。</li> <li>CI コレクションの解除:CIコレクションを選択して解除します。CIは、メイン・モデルの直下に存在するようになります。</li> </ul>
ウィンドウに合わせる	表示枠のサイズに合わせてマップのサイズが変更されます。 <b>注:</b> このオプションはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
選択したモデルの ビューを生成	現在のモデルに基づいてビューを作成します。 [新規ビューの作成] ダ イアログ・ボックスが開き,適用するパースペクティブを選択できま す。
外部関係を非表示	マップ上の関連 CI が非表示になります。 注: このオプションはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
新規モデルの挿入	既存モデル内に新規モデルを作成できる [新規モデル] ダイアログ・ ボックスが開きます。
選択したモデルを新し いタブで開く	選択したモデルが別のモデル・エディタタブで開きます。
印刷	次のオプションのいずれかを選択します。 • 印刷 • 印刷プレビュー • 印刷設定
プロパティ	選択した CI の[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックスが開 きます。
レイアウト更新	マップが更新され,マップのレイアウトが最適化されます。 注: このオプションはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
選択した CI をモデル から削除	選択した CI がモデルから削除されます(CI はCMDBに残ります)。
隣接検索	次のオプションを利用できます。 • 隣接検索を開始: [Cl を隣接検索] ダイアログ・ボックスが開きま

メニュー項目	説明
	す。詳細については, [CIを隣接検索]ダイアログ・ボックスを参照 してください。 ・ <b>隣接検索パスを開く:</b> [隣接検索パスを開く]ダイアログ・ボックスが 開きます。詳細については, [隣接検索パスを開く]ダイアログ・ ボックスを参照してください。
選択	カーソルの機能を選択します。次のオプションを利用できます。 ・ 選択 ・ マップをドラッグ ・ ズーム・イン 注: このオプションはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
含まれるモデルを表示	選択した CI を含むモデルのリストが表示されます。
含まれるビューを表示	選択した CI やモデルを含むビューのリストが表示されます。
外部関係を表示	選択した CI の関連 CI を表示します。
	<b>注:</b> このオプションはマップ・モードの場合にのみ表示されます。
ウォッチポイント	<ul> <li>次のオプションを利用できます。</li> <li>ウォッチポイントの更新:監視結果を表示し、モデルに追加する CI を 選択します。詳細については、[ウォッチポイントの更新]ダイアロ グ・ボックスを参照してください。</li> <li>新規ウォッチポイント:選択した CI に新しい監視を定義します。詳細 については、[新規ウォッチポイント]ダイアログ・ボックスを参照 してください。</li> <li>CI ウォッチポイントの管理:新しいウォッチポイントを CI に追加しま す。または、既存のウォッチポイントを削除します。詳細について は、[CI ウォッチポイントの管理]ダイアログ・ボックスを参照して ください。</li> </ul>
ズーム	パーセントのリストからマップのサイズを選択します。 <b>注:</b> このオプションはマップ・モードの場合にのみ表示されます。

[情報] 表示枠 - [プロパティ] タブ

この領域には,選択した CI プロパティが表示されます。

重要情報	この表示枠は, IT ユニバース・マネージャの情報表示枠の[プロパティ]タブ
	とまったく同じです。詳細については, 「[構成アイテムのプロパティ]ダイ
	アログ・ボックス」(199ページ)を参照してください。

[情報] 表示枠 - [関連 CI] タブ

この領域には, Impacted By (Potentially)関係が含まれるいずれかのトリプレットによって,モデル に関連付けられている CI が表示されます。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
×	選択した CI への関係を削除するときにクリックします。
- B	[反転方向]をクリックすると、選択した CIの関係の方向が切り替わります。
	<b>注:</b> このオプションは, CI が <b>usage</b> 関係によって関連付けられている場合にのみア クティブになります。
<こ リス ト>	Usage 関係によってモデルに関連付けられている Cl の名前と Cl タイプのリストが,関 係の方向とともに表示されます。
適用フィ ルタ	結果をフィルタする際の基準となるフィールドを選択し, [ <b>適用</b> ] ボックスに値を入 力します。

[情報] 表示枠 - [ウォッチポイント] タブ

この領域には、選択した CI に対して定義されているウォッチポイントが表示されます。

UI 要素	説明
Ø	ウォッチポイントを編集できる [Cl ウォッチポイントの管理] ダイアログ・ボッ クスを開くときにクリックします。
自動	監視で見つかった新しい CI が自動的にビューに追加されるかどうかを示します。
ソースロ	公開パスの開始部分となる CI が表示されます。
ウォッチポイ ント名	監視に関連付けられている公開パスの名前です。
ウォッチポイ ントパス	監視の公開パスが表示されます。

### [モデリングスタジオ] ページ

このページでは、モデルとビューを作成および編集できます。

利用方法	ナビゲーション・メニューから[ <b>モデリング スタジオ</b> ]を選択するか, [ <b>マ</b> <b>ネージャ]</b> >[ <b>モデリング]&gt;[モデリング スタジオ</b> ]を選択します。
重要情報	[モデリング スタジオ] ページには次の表示枠があります。
	• 左表示枠:CIを検索したり,開くビュー,モデル,またはTQLクエリを選択 したりできます。詳細については,「左側の表示枠」(269ページ)を参照して ください。
	<ul> <li>エディタ表示枠:選択したビュー、モデル、または TQL クエリのトポロジ・ マップが表示されます。</li> </ul>
	ビューまたはモデルを開くまで,エディタ表示枠は空のキャンバスになってい ます。ビュー,モデル,またはTQLクエリを開くと,それぞれに関連するエ ディタが表示されます。エディタ表示枠では同時に複数のビュー,モデル,ク エリを開くことができます。それぞれ別のタブに表示されます。
関連タスク	• 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)
	• 「テンプレートの作成方法」(247ページ)
	• 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
	• 「動的ウィジェットの作成方法」(250ページ)
	• 「テンプレート・ベース・ビューの作成方法」(252ページ)
	• 「複数のテンプレート・ベース・ビューの作成方法」(253ページ)
	• 「インスタンス・ベース・モデルの作成方法」 (256ページ)
	• 「新規パターン・ベース・モデルの作成方法 」(257ページ)
	• 「レポート設定の定義方法」(255ページ)
	<ul> <li>「CI のコレクションに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法」(259ページ)</li> </ul>
	• 「モデルに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法 」(258 ページ)
関連情報	・ 「パースペクティブ・ベース・ビューの作成」(240ページ)
	• 「ビジネス CI モデル」(238ページ)
	• 「テンプレート・ベース・ビューの作成」(237ページ)
	・ 「テンプレートとパースペクティブ」(235ページ)
	• 「ビュー形式」(232ペー <i>ジ</i> )
	• 「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
😹 新規作成	<b>新規作成 :</b> 次のオプションのいずれかを選択します。
	• インスタンス・ベース・モデル : 新しいインスタンス・ベース・モデルを作 成する場合。
	• <b>パターン・ベース・モデル:</b> 新しいパターン・ベース・モデルを作成する場合。
	• パターン・ビュー : 新しいパターン・ビューを作成する場合。
	<ul> <li>テンプレート・ベース・ビュー:新しいテンプレート・ベース・ビューを作成する場合。</li> </ul>
	<ul> <li>パースペクティブ・ベース・ビュー:新しいパースペクティブ・ベース・</li> <li>ビューを作成する場合。</li> </ul>
	• テンプレート : 新しいテンプレートを作成する場合。
	• <b>パースペクティブ</b> : 新しいパースペクティブを作成する場合。
	• <b>動的ウィジェット :</b> UCMDB Browser の新しい動的ウィジェットを作成しま す。
	• <b>クエリ:</b> 新しい TQL クエリを作成する場合。
	<ul> <li>自動フロー・マッピング。自動フロー・マッピングを作成します。自動フ ロー・アダプタ使用時のみ該当。詳細については、UCMDB Browser のドキュ メントを参照してください。</li> </ul>
ii)	<b>保存:</b> ビュー,モデル,またはクエリに加えた変更を保存します。
	ビューの場合は,ビューの名前を変更し,そのビューを適切なフォルダに保存 できるダイアログ・ボックスが開きます。
	<b>名前を付けて保存:</b> ビュー,モデル,または TQL クエリに新しい名前を付けて 保存できます。
5	<b>取り消す :</b> 最後に行った変更を元に戻します。
3	やり直す:最後に行った操作を繰り返します。
	<b>ワークスペースの最大化 :</b> エディタの通常表示とフル画面表示を切り替えます。
<メニュー>	詳細については, 「メイン・メニュー」(157ページ)を参照してください。

# [選択済みのCIを含むモデル] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、選択した CI を含むモデルのリストが表示されます。

利用方法	モデル・エディタで[ <b>選択した CI を含むモデルを表示</b> ] 🗐 ボタンをクリッ クするか,ショートカット・メニューから[ <b>含まれるモデルを表示</b> ]を選択し ます。
関連情報	<ul> <li>「ビジネス CI モデル」(238ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
	<b>CI プロパティ</b> : 選択したモデルの[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ ボックスが開きます。
	<b>選択した CI/モデルを含むビューを表示 :</b> 選択したモデルを含むビューのリスト が表示されます。
*	<b>モデルの削除 :</b> 選択したモデルを削除します。
CI タイプ	選択した CI を含むモデルの CI タイプが表示されます。
検索	[検索]ボックスにモデル名またはモデル名の一部を入力して,リスト内でモ デルを検索します。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の次の項目を検索するときにク リックします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の前の項目を検索するときにク リックします。
名前	選択した CI を含むモデルの名前が表示されます。
	<b>注:</b> 現在のモデルの名前は淡い色のテキストで表示されます。

### [新規モデル] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、CIのコレクションを含む再利用可能なモデルを定義できます。

利用方法	[新規作成 🐱] ボタンをクリックして [インスタンス ベース モデル] を選択するか, [CI の選択] のツリーから編集表示枠に CI をドラッグし て, [新規モデルの作成] を選択します。
関連タスク	「インスタンス・ベース・モデルの作成方法 」(256ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス CI モデル」(238ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
新規 Cl プロパ ティの定義	CI プロパティの値を入力します。必須プロパティの値を入力する必要があり ます。必須プロパティにはアスタリスクが付いています。
CI タイプの選択	モデルのベースとなる CI タイプをリストから選択します。

[新規パターンビュー] / [新規テンプレート] / [新規 パースペクティブ] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,パターン・ビュー・エディタを使用して新しいパターン・ビュー, テンプレート,またはパースペクティブを定義できます。

利用方法	モデリング・スタジオで,[ <b>新規作成] </b> 跡 ボタンをクリックし,ドロップダ ウン・メニューから <b>[パターン ビュー],[テンプレート]</b> ,または <b>[パース ペクティブ]</b> を選択します。
重要情報	選択して[ <b>OK</b> ]をクリックしたら,直接パターン・ビュー・エディタに移動し てビューの作成を開始します。詳細については,「パターン・ビュー・エディ 夕」(292ページ)を参照してください。
関連タスク	「パターン・ビューの作成方法」(246ページ), 「テンプレートの作成方法」(247 ページ), 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
$\bigcirc$	<b>次を検索:</b> 選択した検索フレーズに一致する,TQL クエリのリスト内の次の項目に 移動します。
$\bigcirc$	<b>前を検索 :</b> 選択した検索フレーズに一致する,TQL クエリのリスト内の前の項目に 移動します。
In a line line line line line line line line	<b>すべてを強調表示 :</b> 検索フレーズに一致する,TQL クエリのリスト内のすべての項 目を強調表示します。
<tql クエ<br="">リ・ツリー&gt;</tql>	既存の TQL クエリがツリー形式で表示されます。
ベース・クエ	既存の TQL クエリに基づいて新しいビューを作成する場合,このオプションを選

UI 要素	詳細
リの選択	択し,ツリーから TQL クエリを選択します。パターン・ビュー・エディタが開 き,選択した TQL クエリがキャンバスに表示されます。
新規クエリの 作成	新しい TQL クエリに基づいて新しいビューを作成する場合,このオプションを選 択します。パターン・ビュー・エディタが開き,空のキャンバスが表示されま す。
検索	[検索]ボックスに TQL クエリ名または TQL クエリ名の一部を入力して, リスト 内の TQL クエリを検索します。

[新規ウォッチポイント] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、モデルの CI に対するウォッチポイントを定義できます。

利用方法	モデル・エディタのモデル内から, [ウォッチポイント] 🐼 ボタンをクリッ クして [新規ウォッチポイント] を選択するか, モデルで CI を右クリックして 【ウォッチポイント】 > 【新規ウォッチポイント】を選択します。
重要情報	選択した CI の公開パスが見つからなかった場合は,監視を定義できません。 新規モデルの場合,モデルを保存しないうちは CI に監視を定義できません。
関連タスク	「インスタンス・ベース・モデルの作成方法 」(256ページ)
関連情報	<ul> <li>「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
モデルを自動的 に更新	選択したパスで公開された CI をすべて自動的にモデルに追加するときに選択 します。
	<b>注:</b> マルチテナンシー環境では,このアクションには,モデルのすべての テナントとの接続にデータ更新権限が必要です。
更新を手動で制 御	隣接検索された CI を選択したパスからモデルに手動で追加するときに選択し ます。
ウォッチポイン ト隣接検索パス を選択	ドロップダウン・リストから公開パスを選択します。
CI タイプに対す	ドロップダウン・リストから CI タイプを選択します。下部のドロップダウ

UI 要素	詳細
る公開パスを表	ン・ボックスのリストに, この CI タイプで始まるすべての公開パスが表示さ
示	れます。

# [隣接検索パスを開く] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、既存のパスを開くことができます。

利用方法	モデル・エディタのモデル内から、 [隣接検索] 💫 ボタンをクリックして [隣接検索パスを開く] を選択するか、モデルの CI を右クリックして [隣接 検索] > [隣接検索パスを開く] を選択します。
重要情報	使用する公開パスを選択したら、 [ <b>実行</b> ] をクリックします。選択したパスで CI が見つかった場合,そのパスの [CI を隣接検索] ダイアログ・ボックスが開 きます。CI が見つからなかった場合は、当該パスでCI が見つからなかったこ とを伝えるメッセージが表示されます。
関連情報	<ul> <li>「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
詳細カラム	既存パスの説明が表示されます。
編集	選択したパスを編集できる [隣接検索パスの編集] ダイアログ・ボックスが 開きます。
実行	選択した隣接検索パスの [Cl を隣接検索] ダイアログ・ボックスが開きま す。
検索	[検索] ボックスにパス名またはパス名の一部を入力して, リスト内のパス を検索します。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する,パスのリスト内の次の項目を検索すると きにクリックします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する,パスのリスト内の前の項目を検索すると きにクリックします。
ハイライト表示	検索フレーズに一致する, パスのリスト内のすべての項目を強調表示すると きにクリックします。
[名前] カラム	既存パスの名前が表示されます。
UI 要素	詳細
-----------------------	--
削除	選択したパスが削除されます。
CI タイプに対する 公開パスを表示	ドロップダウン・リストから CI タイプを選択します。下部のテーブルに, 選択した CI で始まるすべてのパスが表示されます。

[パターンベースモデルスケジューラ]ダイアログ・ ボックス

このダイアログ・ボックスでは,開始日と終了日,および,パターン・ベース・モデルの繰り返し間 隔を設定できます。

利用方法	モデリング・スタジオで,左表示枠の[リソース]タブにある[ <b>パターン ベー</b> <b>ス モデル スケジューラ</b> ] 🅒 ボタンをクリックします。
重要情報	パターン・ベース・モデルは、すべて同時に更新されます。選択した設定は、 順次作成されるものだけでなく、すべての既存のパターン・ベース・モデルに も適用されます。モデル更新のデフォルト開始時間は、最初のモデルが作成さ れる時点のサーバ時間です。ダイアログ・ボックスを開いたときは、デフォル ト開始時間がその時点の現在のサーバ時間となります。デフォルト繰り返し間 隔は12時間です。
関連タスク	「新規パターン・ベース・モデルの作成方法 」(257ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス CI モデル」(238ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
詳細パターン・ベース・モデル・ スケジューラの更新	Cron 式を使用してパターン・ベース・モデルの更新をスケ ジュールするときは,このオプションを選択します。
Cron 式	[ <b>詳細パターン ベース モデル スケジューラの更新</b> ]を選択 した場合は, Cron 式を入力します。 cron 式で使用されるフィールドとそのユース・ケースについ ては, 「Cron 式」(332ページ)を参照してください。
日次パターン・ベース・モデル・ スケジューラの更新	開始日時と繰り返し間隔を使用してパターン・ベース・モデ ルの更新をスケジュールするときは,このオプションを選択 します。

UI 要素	詳細
繰り返し間隔	[ <b>日次パターン ベースモデル スケジュールの更新</b> ]を選択 した場合は,繰り返し間隔(時間単位)のオプションを選択 します。これにより,パターン・ベース・モデルの更新の頻 度が決まります。
	<b>注:</b> 毎日同じ時間帯に更新を実行するために,繰り返し 間隔は,24時間周期で均等に割り切れる値にします。
サーバ時間	サーバ上の時間を表示します。
開始時刻	パターン・ベース・モデルの更新の開始日時を選択します。
式を検証	Cron 式を入力した後, [ <b>式を検証</b> ]ボタンをクリックして, 式が有効なことを確認します。

## [パターンベースモデル] ウィザード

このウィザードでは、パターン・ベース・モデルを作成できます。

利用方法	モデリング・スタジオで, [ <b>新規作成] </b> ボタンをクリックし, ドロップダ ウン・メニューから [ <b>パターン ベース モデル</b> ] を選択します。
重要情報	パターン・ベース・モデルを作成すると、インスタンス・ベース・モデルと同 様に、モデルは CI として保存されます。新しい TQL クエリに基づいてモデルを 作成する場合、クエリも保存され、TQL クエリ・ツリーに表示されます。 既存のインスタンス・ベース・モデル上でパターン・ベース・モデルを構築す ると、モデルは、インスタンス・ベース・モデルの名前で保存されます。 以前削除したパターン・ベース・モデルと同じ名前で新規のパターン・ベー ス・モデルを作成する場合、新規パターン・ベース・モデルが基づく対象とす る旧クエリを選択するか、新規クエリを作成できます。
関連タスク	「新規パターン・ベース・モデルの作成方法 」(257ページ)
ウィザード・ マップ	[パターン ベース モデル] ウィザードには次のページが含まれています。 「 [Cl タイプの選択] ページ」 > 「 [クエリの選択] ページ」
関連情報	<ul> <li>「パターン・ベース・モデル」(239ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

[CIタイプの選択] ページ

このウィザードでは、モデルの CI タイプを選択し、詳細を定義できます。

ウィザード・マップ	[パターン ベース モデル] ウィザードには次のページが含まれています。
	<b>「 [CI タイプの選択] ページ」</b> >「 [クエリの選択] ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
既存のモデル	[ <b>既存のモデル</b> ]を選択して,既存のインスタンス・ベース・モデル上で パターン・ベース・モデルを構築します。ツリーから既存のモデルを選択 します。
新規モデル	[新規モデル]を選択して,新規のパターン・ベース・モデル(他のモデ ルに関連しない)を作成します。 [CI タイプの選択] セクションで,モデ ルのベースとする CI タイプをリストから選択します。続いて, [新規 CI プロパティの定義] セクションに CI プロパティの値を入力します。

[クエリの選択] ページ

このウィザード・ページでは、モデルのベースとなる TQL クエリを選択できます。

ウィザード・マップ	[パターン ベース モデル]ウィザードには次のページが含まれています。
	「 [Cl タイプの選択] ページ」 <b>&gt; 「 [クエリの選択] ページ」</b>

UI 要素	詳細
$\bigcirc$	<b>次を検索 :</b> 選択した検索フレーズに一致する,TQL クエリのリスト内の次の項目に移動 します。
$\bigcirc$	<b>前を検索 :</b> 選択した検索フレーズに一致する,TQL クエリのリスト内の前の項目に移動 します。
	<b>すべてを強調表示:</b> 検索フレーズに一致する, TQL クエリのリスト内のすべての項目を 強調表示します。
<tql ク<br="">エリ・ツ リー&gt;</tql>	既存の TQL クエリがツリー形式で表示されます。
ベース・ クエリの 選択	既存の TQL クエリに基づいてモデルを作成する場合,このオプションを選択し,ツ リーからクエリを選択します。TQL クエリ・エディタが開いて,選択したクエリがキャ ンバスに表示されます。
新規クエ	新しい TQL クエリに基づいてモデルを作成する場合,このオプションを選択します。

UI 要素	詳細
リの作成	TQL クエリ・エディタが開き,空のキャンバスが表示されます。
	<b>注:</b> 新規クエリに基づいてパターンベース・モデルを作成する場合,クエリの優先 順位は自動的に[ <b>非アクティブ</b> ]に設定されます。
検索	[検索] ボックスに TQL クエリ名または TQL クエリ名の一部を入力して, リスト内の クエリを検索します。

## パターン・ビュー・エディタ

この機能では、パターン・ビュー、テンプレート、パースペクティブを作成できます。

利用方法	パターン・ビュー・エディタで新しいビューを開くには、モデリング・スタジオに
	移動し, [新規作成] 迷 ボタンをクリックして, 必要なビューのタイプを選択します。
	パターン・ビュー・エディタで既存のビューを開くには,モデリング・スタジオの 左表示枠にある [リソース] タブに移動し, [リソースタイプ] として [ <b>ビュー</b> ]を選択します。ツリーでビューを右クリックして [ <b>ビューを開く</b> ] を選 択します。または,ビューをダブルクリックするか,ビューをエディタ表示枠にド ラッグします。エディタ表示枠にビューのトポロジ・マップが開きます。
重要情報	次のいずれかのモードで,エディタを利用できます。
	<ul> <li>ビュー・モードでは、次の表示枠が表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>【クエリ定義】表示枠:詳細については、「TQL クエリ・エディタ」(318 ページ)を参照してください。</li> </ul>
	• 詳細表示枠:詳細については,1ページの「詳細表示枠」を参照してください。
	• 【階層】表示枠:ビューの階層を設定できます(エディタ・ページの右側部 分にあります)。
	• レポート・モードでは,次の表示枠が表示されます。
	• 【階層】表示枠:ビューの階層を設定できます(エディタ・ページの左側部 分にあります)。
	<ul> <li>クエリ・ノード定義:レポートに含める属性を選択し、その順序を設定できます。</li> </ul>
	• ウィジェット・モードでは,次の表示枠が表示されます。
	• 【階層】表示枠 :ビューの階層を設定できます(エディタ・ページの左側部

	<ul> <li>分にあります)。</li> <li>ウィジェット・ノード定義:CIの属性にオプションを指定して動的ウィジェットに含めることができます。</li> <li>注:ウィジェット・モードは、動的ウィジェットを作成または編集する場合にのみ使用できます。</li> </ul>
	<b>注:</b> ビュー,テンプレート,パースペクティブ,または動的ウィジェットを保存するには,モデリング・スタジオのメイン・ツールバーにある [ <b>保存</b> ] ボタンを使用します。
関連タスク	<ul> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> <li>「動的ウィジェットの作成方法」(250ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「パースペクティブ・ベース・ビューの作成」(240ページ)</li> <li>「テンプレートとパースペクティブ」(235ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

[階層] 表示枠

UI 要素	詳細
	<b>次の項目別でグループを追加:</b> 階層内にサブグループを作成できます。次のオプ ションを利用できます。
	• <b>属性別でグループを追加:</b> [クエリ ノードのグループ化] ダイアログ・ボックス が開き,階層内のサブグループの属性を選択できます。
	• <b>タイプ別でグループを追加</b> :選択したクエリ・ノードの CI タイプに対して階層内 にサブグループが作成されます。
	• ビュー・ノードでグループを追加:選択したクエリ・ノードのみに対して階層内 にサブグループが作成されます。
	<b>注:</b> パースペクティブのコンタクト・クエリ・ノード上にサブグループを定義 することはできません。
Ø	<b>属性別でグループを編集:</b> [クエリ ノードのグループ化]ダイアログ・ボックスが 開き,階層内のサブグループの属性を編集できます。

UI 要素	詳細
R	<b>名前の変更 :</b> 選択したクエリ・ノードの名前を変更できます。
×	<b>ビュー・ノードの削除</b> 選択したクエリ・ノードを階層ツリーから削除します。
¢	<b>ビュー・ノード・レイヤを上へ移動 :</b> 選択したクエリ・ノードを階層で1レイヤ上 に移動します。
⇒	<b>ビュー・ノード・レイヤを下へ移動 :</b> 選択したクエリ・ノードを階層でその上にあ るクエリ・ノードの下に移動します。
	<b>注:</b> 選択したクエリ・ノードが階層ツリーの最上位にある場合, [ビュー ノー ド レイヤを下へ移動] をクリックすると, 階層でそのすぐ下にあるクエリ・ ノードの配下に移動します。
	<b>ビュー・ノードを上に移動:</b> 階層ツリーで選択したクエリ・ノードを上に移動しま す。階層内のクエリ・ノードの順序によって, [レポート] でビューに対して生成 されるレポートでのクエリ・ノードの順序が決まります。
45	<b>ビュー・ノードを下に移動:</b> 階層ツリーで選択したクエリ・ノードを下に移動しま す。階層内のクエリ・ノードの順序によって, [レポート] でビューに対して生成 されるレポートでのクエリ・ノードの順序が決まります。
	<b>プレビュー:</b> トポロジ・レポートのプレビューを表示します。
	<b>注:</b> このオプションは,レポート・モードが選択されている場合にのみ [階 層] 表示枠に表示されます。
11	レポート・プロパティ [レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックスが開き, ビューのトポロジ・レポートのタイトル,サブタイトル,形式を設定できます。詳 細については,「[レポートのプロパティ]ダイアログ・ボックス」(401ページ)を 参照してください。
<階層ツリー >	階層ツリー内での TQL クエリのクエリ・ノードの配置には, ビューに対して定義さ れた階層が反映されます。
	クエリ・ノードをクリックしてドラッグすると,階層を変更できます。クエリ・ ノードをクリックしてドラッグを開始すると,そのクエリ・ノードを配下に配置で きるクエリ・ノードが緑で強調表示されます。
階層メソッ	階層を設定するメソッドを選択します。
	• <b>手動:</b> 階層を手動で設定します。クエリ・ノードをドラッグするか, ツール バー・ボタンを使用します。
	• ルール・ベース:[階層ルール]ダイアログ・ボックスが開き,階層のルールを

UI 要素	詳細
	設定できます。

ショートカット・メニュー

[階層] 表示枠では, 階層ツリーでクエリ・ノードを右クリックすると次の要素を選択できます。

メニュー項目	説明
属性別でグ ループを追加	[ <b>属性別でグループを追加</b> ]を選択すると,[クエリ ノードのグループ化]ダイ アログ・ボックスが開き,階層内のサブグループの属性を編集できます。
タイプ別でグ ループを追加	[ <b>タイプ別でグループを追加</b> ]を選択すると,選択したクエリ・ノードの CI タイ プに対して階層内にサブグループを作成できます。
ビュー・ノー ドでグループ を追加	[ <b>ビュー ノードでグループを追加</b> ]を選択すると,選択したクエリ・ノードに 対してのみ階層内にサブグループを作成できます。
サイクルの定 義	[ <b>サイクルの定義</b> ]を選択すると,サイクル階層を定義できます。詳細について は,「[サイクル定義]ダイアログ・ボックス」(267ページ)を参照してくださ い。
ビュー・ノー ドを削除	階層ツリーから選択したクエリ・ノードを削除するときに選択します。
ビュー・ノー ドを下に移動	階層ツリーで選択したクエリ・ノードを下に移動するときに選択します。
ビュー・ノー ド・レイヤを 下に移動	選択したクエリ・ノードを階層ツリーでその上にあるクエリ・ノードの配下に配 置するときに, [ <b>ビュー ノード レイヤを下に移動</b> ]を選択します。
トに移動	<b>注:</b> 選択したクエリ・ノードが階層ツリーの最上位にある場合, [ビュー ノード レイヤを下に移動] を選択すると, 階層でそのすぐ下にあるクエ リ・ノードの配下に配置します。
ビュー・ノー ド・レイヤを 上に移動	選択したクエリ・ノードを階層の1つ上のレイヤに配置するときに[ <b>ビュー</b> ノード レイヤを上に移動]を選択します。
ビュー・ノー ドを上に移動	階層ツリーで選択したクエリ・ノードを上に移動するときに選択します。
名前の変更	選択したクエリ・ノードの名前を変更するときに選択します。
ビュー・ノー ドを非表示に	選択したクエリ・ノードを非表示に設定するときに選択します。このタイプの CI はビュー結果に表示されません。

メニュー項目	説明
設定	このオプションを選択すると,階層ツリーで選択したクエリ・ノードの隅に [ <b>ク</b> <b>エリ結果で非表示</b> ]のインジケータ 🛛 が表示されます。
ビュー・ノー ドを表示に設 定	選択したクエリ・ノードを表示に設定するときに選択します。このタイプの CI は ビュー結果に表示されます。
サブグラフ階 層	選択したクエリ・ノードに対して定義したサブグラフをフラット表示するか、ク エリ・ノードの下に折りたたんで表示するかを定義できます。
	<b>注:</b> このオプションは, サブグラフが定義されているクエリ・ノードにのみ 適用されます。

#### [クエリノード定義] 表示枠

重要情報	[クエリ ノード定義] ペインは,テンプレート・ベース・ビューに無効です。レ
	ポート・レイアウトを変更するには、ビューのベース・テンプレートを編集しま
	す。エディタでテンプレート・ベース・ビューを開き, [レポート] タブを開くと
	きに、ビューのベース・テンプレートへのリンクを示す警告メッセージが表示され
	ます。

UI 要素	説明
	<b>上へ</b> :選択した属性をレポートのレイアウト順で下へ移動します。
₩	<b>下へ</b> :選択した属性をレポートのレイアウト順で下へ移動します。
Ø	<b>編集:</b> 選択した属性の関数を編集できます。
×	<b>削除 :</b> 選択した属性をレポートのレイアウトから削除します。
\$	選択した属性を [レポートのレイアウト] リストに移動します。
関数の追加	[ <b>関数の追加</b> ]をクリックすると, [関数の追加]ダイアログ・ボックスが開き,選択したクエリ・ノードについて,レポートに含める関数を定義できます。 追加した各関数は属性として扱われ,レポートのカラムになります。
	<b>注:</b> このボタンは, ビュー階層で選択したクエリ・ノードの配下にクエリ・ ノードがある場合にのみアクティブになります。

UI 要素	説明
属性	選択したクエリ・ノードに使用できる属性のリストです。
グラフを定義	<ul> <li>ビューの現在のレイヤのデータをグラフ形式で表示するには、[グラフを定義] をクリックします。[グラフのプロパティ]フィールドが表示されます。</li> <li>[グラフを定義]オプションは、次の条件を満たすクエリ・ノードまたはグループ化ノードに対してのみアクティブになります。</li> <li>ビューの最上位層であり、かつ、ビュー階層内で下に層がある。</li> <li>属するビューのレイヤで唯一のクエリ・ノードである</li> <li>レポート・レイアウトに対して数値属性が少なくとも1つ選択されている</li> </ul>
レポートのレ イアウト	レポートの表示対象として選択された属性のリストが表示されます。レポートで の属性の順序を変更する場合や,関数を追加する場合は,ツールバー・ボタンを 使用します。
並べ替え順を 設定	クリックすると, [カラムの並べ替え順序の設定]ダイアログ・ボックスが開 き, レポート・カラムの順序を設定できます。

#### グラフのプロパティ

表示枠の [グラフのプロパティ] 部分には、次の要素が含まれています。

UI 要素	説明
×	<b>グラフを削除:</b> レポートからグラフを削除します。レポートはテーブル形式で生成 されます。
次でブレー クダウン	グラフは,Cl またはグループ化ノードの表示ラベル別にブレークダウンされます。 すべてのレポートについてこの設定が適用されます。
グラフのタ イプ	円グラフを作成するには [ <b>円</b> ] を,棒グラフを作成するには [ <b>棒</b> ] を選択します。
値	ドロップダウン・リストから値を選択します。

ウィジェット定義表示枠

UI 要素	説明
<ブラウザ Cl アクセス制御 の強化>	このチェック・ボックスを選択して,動的ウィジェットで,ロール・マネージャ の [ブラウザ Cl アクセス制御] タブで指定した権限のみに基づいて,動的ウィ ジェットにデータを表示するように指定します。このチェック・ボックスを選択 しない場合,動的ウィジェットには権限の強制なしですべてのデータが表示され

UI 要素	説明
	ます。
<パスを表示>	このチェック・ボックスを選択して,ビュー定義の特定のノードからノードのす べての子へのルートを UCMDB Browser が動的ウィジェットに表示するようにしま す。
属性名	動的ウィジェットに表示される選択したノードの属性。
詳細	この属性がウィジェット詳細モードで表示されるかどうかを指定します。
グループ名	属性がウィジェット詳細モードでグループ化される名前を指定します。
概要	この属性が CI 概要モードで表示されるかどうかを指定します。
再フォーカス 可能	この属性がハイパーリンクとして表示され,属性が定義された CI に再フォーカス できるかどうかを指定します。
ウィジェット タイプ	<ul> <li>初期の表示モードを選択できます。次のタイプを選択できます。</li> <li>プロパティ・モード:CIの個別のプロパティを表示します。</li> <li>注: [ウィジェットタイプ]の値を選択していない場合,プロパティ・ モードが標準設定で有効になります。</li> <li>トボロジ・マップ・モード:現在のトポロジに応じてCIを表示します。</li> </ul>
	<ul> <li>トポロジ CIT グループ・モード:現在のモデルに応じて CI タイプでグループ化 された CI を表示します。</li> <li>トポロジ・テキスト・モード:CI タイプでブレーク・ダウンされた CI のリスト を表示します。</li> <li>選択するトポロジ・モードは, UCMDB Browser で別のものに変更するまで,初期 ビューの選択になります。</li> </ul>

# パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタ

この機能では、パースペクティブ・ベース・ビューを作成および編集できます。

利用方法	モデリング・スタジオで、 [新規作成] 🔊 ボタンをクリックし、 [パースペ クティブベース ビュー]を選択して新しいビューを作成するか、 [CIの選 択] から空白のキャンバスに CI をドラッグして [新規ビューの作成] を選択し ます。
	エディタで既存のビューを開くには, [リソース] 表示枠でリソース・タイプ として [ビュー] を選択し, ツリーから必要なパースペクティブ・ベース・ ビューを選択して [ <b>ビューを開く</b> ] 🛄 をクリックするか, ビューをダブルク

	リックします。
重要情報	パースペクティブ・ベース・ビュー・エディタには次の表示枠があります。
	• [内容]表示枠:Clまたはモデル,あるいはその両方をビューに含めるに は,それらをこの表示枠にドラッグします。
	• [パースペクティブ]表示枠:ビューの作成のためにコンテンツに適用する パースペクティブを選択します。
	• [結果の表示]表示枠:現在のビューのプレビューが示されたトポロジ・ マップが表示されます。この表示枠には, IT ユニバース・マネージャ・マ ネージャの機能のほとんどが含まれています。
関連タスク	• 「モデルに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法」(258 ページ)
	<ul> <li>「CI のコレクションに基づいたパースペクティブ・ベース・ビューの作成方法」(259ページ)</li> </ul>
関連情報	• 「パースペクティブ・ベース・ビューの作成」(240ページ)
	• 'T) ') / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

### [コンテンツ] 表示枠

UI 要素	説明
•	<b>ビュー結果を IT ユニバースに表示 :</b> IT ユニバース・マネージャの現在のビューに 直接移動します。
	<b>プロパティ:</b> 選択した CI の[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス が開きます。
	<b>選択した CI を含むモデルを表示 :</b> 選択した CI を含むモデルのリストが表示されま す。
<b>L</b> a	<b>選択した CI/モデルを含むビューを表示 :</b> 選択した CI やモデルを含むビューのリス トが表示されます。
60	<b>選択したモデルを新しいタブで開く :</b> 選択したモデルが別のモデル・エディ・タブ で開きます。
<b>1</b>	<b>選択したモデルのビューを生成:</b> 選択したモデルに基づいてビューを作成できます。 [新規ビューの作成] ダイアログ・ボックスが開き,適用するパースペク ティブを選択できます。
×	ベース CI の削除:選択した CI をビュー内容から削除します。

UI 要素	説明
<u>-</u>	<b>ビュー定義プロパティ:</b> [ビュー定義プロパティ]ダイアログ・ボックスが開 き,ビューのプロパティを設定できます。
	検索:検索ボックスと矢印コントロールの表示/非表示が切り替わります。
[CI タイプ] カラム	ビューの各 CI のタイプが表示されます。
検索	[検索]ボックスに CI 名または CI 名の一部を入力して, ビュー内の CI を検索し ます。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する, ビュー内の次の項目を検索するときにクリッ クします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する, ビュー内の前の項目を検索するときにクリッ クします。
ハイライト表 示	検索フレーズに一致する,ビュー内のすべての項目を強調表示するときにクリッ クします。
[名前] カラ ム	ビューの各 CI の名前が表示されます。

#### ショートカット・メニュー・オプション

メニュー項目	説明
選択したモデル のビューを生成	選択したモデルに基づいてビューを作成するときに選択します。[新規ビュー の作成]ダイアログ・ボックスが開き,適用するパースペクティブを選択でき ます。
選択したモデル を新しいタブで 開く	選択したモデルが別のモデル・エディタタブで開きます。
プロパティ	選択した Cl の[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックスが開きま す。
ベース CI の削 除	選択した CI またはモデルがビュー・コンテンツから削除されます。
含まれるモデル を表示	選択した CI を含むモデルのリストを表示するときにクリックします。
含まれるビュー を表示	選択した CI またはモデルを含むビューのリストを表示するときにクリックしま す。

#### [パースペクティブ] 表示枠

#### ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
*	<b>パースペクティブ・ステップを削除 :</b> 選択したパースペクティブの選択したレベ ルを削除します。
	<b>ステップを上げる :</b> 選択したパースペクティブを現在のレベルから前のレベルに 移動します。
$\downarrow$	<b>ステップを下げる:</b> 選択したパースペクティブを現在のレベルから次のレベルに移 動します。
<b>+</b>	<b>パースペクティブ・ステップを追加:</b> 選択したパースペクティブに新しいレベル を追加します。前のパースペクティブ・レベルの結果は,新しいレベルの入力コ ンテンツとして使用されます。
•••	<b>パースペクティブを選択:</b> ダイアログ・ボックスを開き,利用可能なパースペク ティブが表示されます。矢印ボタンを使用して,必要なパースペクティブを利用 可能なカラムから選択済みカラムに移動します。
	パースペクティブ定義を表示するには、どちらかのカラムでパースペクティブを 選択し、 [ <b>定義を開く</b> ] リンクをクリックします。別のタブでパースペクティブ 定義が開きます。
モデル階層の 上に適用	モデルに基づくビューの場合, [モデル階層の上に適用] チェック・ボックスを 選択すると, ビューにモデル階層が組み込まれ, モデルに含まれている CI および モデル自体にパースペクティブが適用されます。このチェック・ボックスをクリ アすると, モデル階層がビューから除外され, モデル自体にのみパースペクティ ブが適用されるようになります。この場合, モデルは通常の CI として扱われま す。
	<b>注:</b> Cl コレクション,またはモデルと Cl コレクションに基づくビューの場合,このオプションは無効です。
パースペク ティブ	選択したパースペクティブのリストが表示されます。 選択する前に,標準設定のパースペクティブがウィンドウに表示されます。[ <b>新 しいパースペクティブ ベース ビューに選択したパースペクティブ</b> ]インフラスト ラクチャ設定を使用して,標準設定のパースペクティブの値を設定できます。

[結果の表示] 表示枠

UI 要素	説明
マッ プ	ビューの結果をマップ・モードで表示します。
テキ スト	ビューの結果をテキスト・モードで表示します。
グ ルー プ化	トポロジ・マップのCI にグループ化メソッドを選択します。次のオプションを使用できま す。 ・ レイヤでグループ化: CI タイプの [レイヤ] 属性の値に従ってCI をグループ化します。 ・ CI タイプでグループ化: CI タイプに従ってCI をグループ化します。 ・ 分類でグループ化: CI タイプの [分類] 属性の値に従ってCI をグループ化します。 ・ グループ化なし: CI をグループ化しません。
	<ul> <li>このオプションはマップ・モードのみで使用できます。</li> <li>グループ化オプションを選択すると、各グループには、グループ内のCIの数を表示 するインジケータが含まれます。グループに多数のCIが含まれている場合、形式が 破損して表示され、グループ名とカウント・インジケータしか表示されません。</li> <li>[+] 記号ボタンをクリックしてグループを展開し、すべてのCIを表示します。イ ンフラストラクチャ設定マネージャの[初めにグループ最大CIしきい値を展開しま す] 設定を修正することで、自動グループ折りたたみのCIしきい値を設定できま す。</li> </ul>
Îħ	<b>関係を作成:</b> ビューの 2 つの Cl 間に関係を作成します。
♪	<b>レイヤを1つ上げる:</b> トポロジ・マップ内の1つ上のレベルに移動します。
F	<b>レイヤを1つドリル・ダウン:</b> トポロジ・マップ内の1つ下のレベルに移動します。
×	<b>CMDB から削除 :</b> 選択した Cl が CMDB から削除されます。
F	<b>Cl プロパティを表示:</b> 選択した Cl の[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ボックス が開きます。
S	<b>更新:</b> ビューの結果を更新します。
Ū	<b>ビューから CI を非表示:</b> 選択した CI をビューで非表示にします。このオプションは,パー スペクティブを介してビューに追加された CI にのみ関係します。元のビュー・コンテンツ の CI をビューで非表示にすることはできません。

UI 要素	説明
	<b>注:</b> 非表示になっている CI は [非表示 CI] ダイアログ・ボックスで復元できます。
<b>1</b>	<b>非表示 CI を表示:</b> [非表示 CI] ダイアログ・ボックスが開き,ビューで非表示になってい る CI を手動で復元できます。
<b>1</b>	<b>選択された CI に基づいてビューを作成:</b> [結果の表示]表示枠から選択した CI に基づいた 新しいビューを作成できます。
	<b>プレビュー表示の展開:</b> 別の表示枠でプレビューを表示します。
<現在置示ス >	トポロジ・マップ上部にある現在位置表示リストは,選択したレイヤへのパスに対する, ビューの各レイヤ内の関連するクエリ・ノードを示します。パス内の最初の項目は <b>最上位 レイヤ</b> です。また,下のレイヤから CI を選択するとき,親 CI が現在位置表示パス内の次の 項目になります。パス内のいずれかの項目をクリックすると,トポロジ・マップ内のその レイヤが表示されます。
<凡例>	<ul> <li>CIの横に表示されるアイコンは、次の特別な状態を表します。</li> <li>追加済み:変更時間枠がアクティブなとき、CIが追加されたことを表します。</li> <li>削除の候補:CIが削除の候補であることを表します。</li> <li>変更済み:変更時間枠がアクティブなとき、CIが変更されたことを表します。</li> <li>レイヤを1つドリル・ダウン:仮想レイヤ上のCI下にCIがあることを示します。</li> <li>外部:CIがフェデレートCIであることを表します。</li> <li>影響を受ける:影響分析がアクティブなとき、影響を受けたCIを示します。</li> <li>影響を受けてトリガする:影響分析がアクティブなとき、影響を受けたトリガCIを示します。</li> <li>メモ:CIにメモが追加されたことを表します。</li> <li>トリガ:影響分析がアクティブなとき、トリガCIを示します。</li> </ul>
<ト ポ ジ マ プ>	[結果の表示] 表示枠のトポロジ・マップは, IT ユニバース・マネージャのトポロジ・ マップのレイアウトに従います。詳細については, 「トポロジ・マップ」(210ページ)を参 照してください。
く 【ト ポロ ジ	詳細については, 「[トポロジ <i>マ</i> ップ]サイドバー」(169ページ)を参照してください。

UI 要素	説明
マッ プ] サイ ド 、	

ショートカット・メニュー・オプション

メニュー項目	説明
<it ユニバー<br="">ス・マネージャ のショートカッ ト・メニュー・ オプション&gt;</it>	IT ユニバース・マネージャでは,ショートカット・メニュー・オプションを使 用できます。詳細については,「[IT ユニバース マネージャ]ページ」(209 ページ)を参照してください。
選択された CI に 基づいてビュー を作成	[ <b>選択された CI に基づいてビューを作成</b> ]を選択すると, [結果の表示] 表示 枠から選択した CI に基づいて新しいビューが作成されます。
ビューから CI を 非表示	選択した CI をビューで非表示にするときにクリックします。このオプション は,パースペクティブを介してビューに追加された CI にのみ関係します。元の ビュー・コンテンツの CI をビューで非表示にすることはできません。モデルに 基づくビューの場合,モデルは非表示にできませんが,その CI は非表示にでき ます。
非表示 CI を表示	非表示の CI をビューに復元します。

[クエリノードのグループ化] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,新しいCIのグループを定義したり,既存のグループを編集したり できます。

 

 利用 方法
 パターン・ビュー・エディタの [階層] 表示枠で [次の項目別でグループを追加] 
 □ ボタ

 パターン・ビュー・エディタの [階層] 表示枠で [次の項目別でグループを追加] 
 □ ボタ

 ウンをクリックして [属性別でグループを追加] を選択するか,必要なクエリ・ノードを右ク リックしてショートカット・メニューから [属性別でグループを追加] を選択します。

 関 タ
 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ),「テンプレートの作成方法」(247ページ), 「パースペクティブの作成方法」(249ページ)

スク	
関	• 「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)
連 情 報	• 「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
式キャプチャグループのイ ンデックス	正規表現の関連部分の番号を入力します。表現全体が関連する場合 は「 <b>0</b> 」を入力します。
グループ化	ドロップダウン・リストから属性を選択します。
グループ化のマスク	選択した属性の構造を表す正規表現パターンを入力します。
	詳細については, 「クエリ・ノードのグループ化」(233ページ)を参 照してください。

# [クエリ/ビュー定義プロパティ] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、TQL クエリまたはビューのプロパティを設定できます。

利用方法	モデリング・スタジオの TQL クエリ・エディタまたはパターン・ビュー・エディ タで, [ <b>クエリ定義プロパティ] / [定義プロパティの表示</b> ] 🚰 ボタンをクリッ クします。
重要情報	[定義プロパティの表示]ダイアログ・ボックスでビューの標準設定のレイアウ トを選択できます。 [ <b>マップ レイアウト</b> ]または[ <b>グループ化</b> ]でオプションを 選択できます(1 つだけ選択できます)。
関連タスク	<ul> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
ベース・クエリ	新しいクエリの基にする既存の TQL クエリを選択します。 [ベース クエ リをクリア]   の をクリックすると選択したベース・クエリが削除され ます。
	<b>注:</b> ・ このフィールドは TQL クエリにのみ関連します。 ・ このフィールドは省略可能です。
バンドル	TQLクエリまたはビューをカテゴリ別にグループ化する方法です。現在 のクエリまたはビューに関連付けられたバンドルを選択するか,現在の クエリまたはビュー用に新しいバンドルを作成します。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。
説明	TQLクエリまたはビューの説明です。
グループ化	IT ユニバース・マネージャまたはビュー・プレビューでの消費時に, ビューに標準設定のレイアウトを選択します。使用できるオプション は, 「トポロジ・マップ」(210ページ)の「グループ化」で説明されてい るオプションです。
	<ul> <li>注:</li> <li>このフィールドはビューにのみ関連します。</li> <li>このドロップダウンから標準設定のレイアウト([グループ化なし]以外)を選択すると, [マップレイアウト]が無効になります。</li> </ul>
レイヤ間リンク	トポロジ結果に表示される中間層関係の範囲を設定します。詳細につい ては, 「レイヤ間の関係」(183ページ)を参照してください。 <b>注:</b> このフィールドはビューにのみ関連します。
Configuration Manager による管理	チェック・ボックスを選択して, ビューが HP Universal CMDB Configuration Manager で管理されていることを示します。 <b>注:</b> このフィールドはビューにのみ該当し, HP Universal CMDB Configuration Manager が設定され実行している場合にのみ適用され ます。
マップ レイアウト	IT ユニバース・マネージャまたはビュー・プレビューでの消費時に, ビューに標準設定のレイアウトを選択します。使用できるオプション

UI 要素	詳細
	は, [メイン メニュー]の[レイアウト]で表示されているオプション です。
	<ul> <li>注:</li> <li>このフィールドはビューにのみ関連します。</li> <li>このフィールドは、[グループ化]で[グループ化なし]を選択したときにのみ関連します。</li> </ul>
永続	TQL クエリを永続として定義する場合に選択します。永続クエリは,常 にメモリに保持されます。
優先度	TQL クエリまたはビューの優先度をドロップダウン・リストから選択し ます(低,中,高,至急,非アクティブ)。この設定により,システム が CMDB から更新情報を取り込むためにこのクエリを自動的に再実行す る頻度が決定します。
	<b>注:</b> ビューの優先度を変更すると,ビューの基になる TQL クエリの優 先度も変更されます。
スコープ	TQL クエリの対象範囲をドロップダウン・リストから選択します。
	<b>注:</b> このフィールドは統合 TQL クエリにのみ関連します。
タイプ	TQL クエリのタイプをドロップダウン・リストから選択します。
	<b>注:</b> このフィールドは TQL クエリにのみ関連します。
Configuration Manager で更新タイミングを表 ニ	ビューが <b>Configuration Manager による管理</b> に設定されている場合は,ド ロップダウン・リストから更新頻度を選択します。
<i>3</i> 7	<b>注:</b> このフィールドはビューにのみ該当し,HP Universal CMDB Configuration Manager が設定され実行している場合にのみ適用され ます。
Configuration Manager でタイプを表示	ビューが <b>Configuration Manager による管理</b> に設定されている場合は,ド ロップダウン・リストからビューのタイプを選択します。
	<b>注:</b> このフィールドはビューにのみ該当し,HP Universal CMDB Configuration Manager が設定され実行している場合にのみ適用され ます。

## [Clを隣接検索] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、モデルの CI に関連する CI を検索し、モデルに追加することができます。

利用方法	モデリング・スタジオのモデル・エディタで、CIを選択し、 [隣接検索] 🧖 ボ タンをクリックして [隣接検索を開始] を選択するか、モデルの CI を右クリックし て【隣接検索】 > [隣接検索を開始] を選択します。
重要情報	上部の表示枠には,選択した CI に関連する CI の CI タイプが表示されます。下部の 表示枠には,上部の表示枠で選択したタイプの CI が表示されます。
	公開の始点にした CI の CI タイプが公開の最初ステップとなります。上部の表示枠 のリストから CI タイプを選択すると,その CI タイプがパスの 2 番目のステップに なります。 [次へ] をクリックすると,パスの次のステップで使用できる CI タイプ が表示されます。
	ボックスの上部に表示される括弧で囲まれた数字は,それまでに作成されたパスの 長さを表します。
関連タスク	「インスタンス・ベース・モデルの作成方法」 (256ページ)
関連情報	<ul> <li>「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
*	選択した項目の削除:選択した項目を CI バスケットから削除します。
	<b>Cl プロパティ :</b> 選択した Cl の [Cl プロパティ] ダイアログ・ボックスが開きま す。
	<b>CI をバスケットに追加 :</b> 下部の表示枠で選択した CI を CI バスケットに追加しま す。
$\bigcirc$	<b>次を検索 :</b> 選択した検索フレーズに一致する, CI のリスト内の次の項目に移動し ます。
$\bigcirc$	<b>前を検索 :</b> 選択した検索フレーズに一致する, CI のリスト内の前の項目に移動し ます。
<下部の表示枠 >	上部の表示枠で選択したタイプの関連 CI のリストが表示されます。

UI 要素	詳細
CI 数	各タイプの関連 CI がいくつ見つかったかを示します。
CI バスケット	モデルに含めるために選択した関連 CI が表示されます。
() タイプ	選択した CI に関連する CI タイプのリストが表示されます。
条件	チェック・マークは,選択した CI タイプに条件が定義されていることを示しま す。選択する CI タイプの [条件] カラムをクリックし, [ <b>条件の追加</b> ] ボタン または [ <b>定義を編集</b> ] ボタンをクリックすると, [関連 CI の条件] ダイアロ グ・ボックスが開きます。ここで, CI タイプに条件を定義したり, CI タイプの条 件を編集したりできます。
検索	[検索] ボックスに CI 名または CI 名の一部を入力して, CI のリストで CI を検索 します。
完了	Cl バスケットへの Cl の追加が完了したときに[ <b>完了</b> ]をクリックします。
次へ	[ <b>次へ</b> ]をクリックすると,パスの次のステップで使用できる CI タイプが表示 されます。
隣接検索パス	作成中の公開パスが表示されます。
	パス内の青い矢印 ⇒ をクリックすると,パスの次のステップで使用できる Cl タ イプのドロップダウン・リストが表示されます。
	パス内の CI タイプをクリックすると,次のオプションが表示されます。
	• ページへ移動:パス内の選択したステップで使用できる CI タイプでテーブル が更新されます。
	• 定義を編集: [関連 CI の条件] ダイアログ・ボックスが開きます。
	• 選択した項目の削除:選択した CI タイプが公開パスから削除されます(パス は前の CI タイプで終了します)。
パスの保存	パスを保存できる [隣接検索パスの保存] ダイアログ・ボックスが開きます。こ のオプションは,一意の公開パスが作成された場合にかぎり有効になります。

# [クエリを保存] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,新しい TQL クエリを保存できます。

利用方法	モデリング・スタジオで,新しい TQL クエリの定義時に [ <b>保存</b> ] 🛅 をクリックしま す。
関連タス ク	「TQL クエリの定義方法」(23ページ)

関連情報	•	「TQL クエリ結果の表示」(16ページ)
	•	「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
-	<b>新規フォルダ:</b> リソース・ツリーに新しいフォルダを作成します。
*	<b>削除:</b> CMDB から選択したリソースを削除します。
ø	<b>更新:</b> リソース・ツリーを更新します。
1	<b>すべてを展開 :</b> リソース・ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
5	<b>すべてを折りたたみ :</b> リソース・ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみま す。
$\bigcirc$	次を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の次の項目に移動します。
	前を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の前の項目に移動します。
	<b>すべてを強調表示 :</b> 検索フレーズに一致するツリー内のすべての項目を強調表示 します。
<リソース・ツ リー>	クエリの保存先とするツリー内のフォルダを選択します。
検索	[検索]ボックスにフォルダ名またはフォルダ名の一部を入力して, リスト内の ビューを検索します。
クエリ名	新しい TQL クエリの名前を入力します。

[ビュー/テンプレート/パースペクティブを保存] ダイ アログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,新しいパターン・ビュー,テンプレート・ベース・ビュー,パース ペクティブ・ベース・ビュー,テンプレート,またはパースペクティブを保存できます。

利用方法 モデリング・スタジオで、新しいパターン・ビュー、テンプレート・ベース・ ビュー、パースペクティブ・ベース・ビュー、テンプレート、またはパースペ クティブの定義時に、[保存] ボタンをクリックします。

関連情報	•	「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)
	•	「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
	<b>新規フォルダ:</b> リソース・ツリーに新しいフォルダを作成します。
*	<b>削除:</b> CMDB から選択したリソースを削除します。
S	<b>更新 :</b> リソース・ツリーを更新します。
1	<b>すべてを展開:</b> リソース・ツリー内のすべてのフォルダが展開されます。
1	<b>すべてを折りたたみ:</b> リソース・ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
$\bigcirc$	次を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の次の項目に移動します。
$\bigcirc$	前を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の前の項目に移動します。
	<b>すべてを強調表示 :</b> 検索フレーズに一致するツリー内のすべての項目を強調表示し ます。
<リソース・ ツリー>	ビュー,テンプレート,またはパースペクティブの保存先とするツリー内のフォ ルダを選択します。
検索	[検索]ボックスにフォルダ名またはフォルダ名の一部を入力して, リスト内の ビューを検索します。
新規クエリ	新しい TQL クエリに基づいてビューを作成する場合, [ <b>新規クエリ</b> ]を選択しま す。
	<b>注:</b> このフィールドはテンプレート・ベース・ビューおよびパースペクティ ブ・ベース・ビューには適用されません。
ビュー名	新しいビュー,テンプレート,またはパースペクティブの名前を入力します。

## [統合ポイントの選択] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,統合ポイントを選択して,TQLクエリ・ノードに必要なデータ・ ソースにアクセスできます。

利用方法	モデリング・スタジオで,TQL クエリ・ノードを右クリックし, [ <b>統合ポイ</b> <b>ントの選択</b> ]を選択します。
重要情報	TQL クエリが各クエリ・ノードの結果を生成するために使用するデータ・ ソースを選択できます。データ・ソースの詳細については, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「Integration Studio の概要」を参照して ください。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
< [統合ポイント] リスト>	利用可能なデータ・ソースの統合ポイントのリストです。
すべての統合ポイン ト	TQL クエリの結果の中の選択したクエリ・ノードのすべての UCMDB と外部 ソース・データから CI を取り込むことができます。
	<b>注:</b> 選択したクエリ・ノードの CI タイプがフェデレートとマークされて いる統合ポイントのみを取り込みます。
ローカル・データ・ ソース	TQL クエリの結果の中の選択したクエリ・ノードのみの UCMDB から CI を取 り込みます。
統合ポイントの選択	統合ポイントを選択して, TQL クエリの結果の中の選択したクエリ・ノード のみの必要なデータ・ソースから CI を取り込みます。

## [カラムコンテンツの並べ替え] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、レポートでのカラム・コンテンツの順序を設定できます。

利用方法	モデリング・スタジオで, パターン・ビュー・エディタ(レポート・モード) の[クエリ ノード定義]表示枠から[ <b>並べ替え順を設定</b> ]をクリックします。
重要情報	レポートは [並べ替えられたカラム] 表示枠の属性の順序に従って各カラムで 並べ替えられます。選択した各カラムは,指定に従って昇順または降順に並べ 替えられます。
関連タスク	「レポート設定の定義方法」(255ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
\$	<b>並べ替えられたカラムへ移動 :</b> 選択した属性を [並べ替えられたカラム] 表示 枠に移動します。
¢	<b>利用可能なカラムへ移動 :</b> 選択した属性を [利用可能なカラム] 表示枠に移動 します。
**	すべての属性を [並べ替えられたカラム] 表示枠に移動します。
<b>E</b>	すべての属性を [利用可能なカラム] 表示枠に移動します。
$\overline{\mathbf{V}}$	選択した属性を [並べ替えられたカラム] リストの中で下に移動します。
	選択した属性を [並べ替えられたカラム] リストの中で上に移動します。
ET.	<b>昇順ソート :</b> 選択したカラムを昇順で並べ替えます。
₹↓	<b>降順ソート :</b> 選択したカラムを降順で並べ替えます。
利用可能なカラム	レポートの表示対象カラムとして選択した属性です。
並べ替えられたカ ラム	並べ替え対象として選択したカラムです。

# [テンプレートベースビュー] ウィザード

このウィザードでは,手動で,または CSV ファイルからパラメータ・データをインポートすることで,テンプレート・ベース・ビューを定義できます。

利用方法	[ <b>新規作成] </b> 涵 ボタンをクリックして, [ <b>テンプレート ベース ビュー</b> ]を選 択します。
重要情報	このウィザードでは,同じテンプレートを使用して複数のテンプレート・ベー ス・ビューを作成できます。複数のビューを作成すると,ウィザードに最終ペー ジとして[ビューを保存]ページが含まれます。単一のテンプレート・ベース・ ビューを作成する場合,ウィザードが[パラメータ]ページを終了したら,エ ディタで新しいビューが開きます。新しいビューはエディタで保存できます。
関連タスク	<ul> <li>「テンプレート・ベース・ビューの作成方法」(252ページ)</li> <li>「複数のテンプレート・ベース・ビューの作成方法」(253ページ)</li> </ul>
ウィザード・ マップ	[テンプレート ベース ビュー] ウィザードには次のページが含まれます。 「[テンプレートの選択]ページ」 > 「[パラメータ値をインポート]ページ」

	>「[パラメータを入力]ページ」>「[ビューの場所を選択]ページ」> 「[サマリ]ページ」>「[ビューを保存]ページ」
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>
	• 「モテリング・スタンオのユーザ・インタフェース」(259ページ)

## [テンプレートの選択] ページ

このウィザード・ページでは、ビューの基にするテンプレートを選択できます。

重要情 報	ツリー内のテンプレートを使用しない場合,最初に新しいテンプレートを作成し,それに 基づいてビューを作成できます。テンプレートの作成の詳細については,「テンプレート の作成方法」(247ページ)を参照してください。
ウィ	[テンプレート ベース ビュー]ウィザードには次のページが含まれます。
ザー ド・ マップ	「【テンプレートの選択】ページ」>「【パラメータ値をインポート】ページ」>「【パ ラメータを入力】ページ」>「【ビューの場所を選択】ページ」>「【サマリ】ページ」 >「【ビューを保存】ページ」

UI 要素	詳細
S	<b>更新:</b> テンプレート・ツリーが更新されます。
	<b>すべてを展開 :</b> テンプレート・ツリー内のすべてのフォルダを展開します。
	<b>すべてを折りたたみ :</b> テンプレート・ツリー内のすべてのフォルダを折りたた みます。
$\bigcirc$	次を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の次の項目に移動します。
	<b>前を検索 :</b> 選択した検索フレーズに一致するツリー内の前の項目に移動します。
	<b>すべてを強調表示 :</b> 検索フレーズに一致するツリー内のすべての項目を強調表 示します。
<テンプレー ト・ツリー>	既存のテンプレートがツリー形式で表示されます。
検索	[検索]ボックスにテンプレート名またはテンプレート名の一部を入力して, リスト内のテンプレートを検索します。

#### [パラメータ値をインポート] ページ

このウィザード・ページでは、CSV ファイルからパラメータ値をインポートできます。

重要情	同じテンプレートに基づくビューを多く作成する場合は,CSV ファイルでパラメータ値
報	を保存し,ウィザードにパラメータ値を直接インポートできます。
	<b>注:</b> CSV ファイルに,英語以外の文字が含まれている場合,文字の適切な表示を確保 するために UTF-8 エンコーディングを使用する必要があります。
ウィ	[テンプレート ベース ビュー]ウィザードには次のページが含まれます。
ザー	「[テンプレートの選択]ページ」>「[パラメータ値をインポート]ページ」>
ド・	「[パラメータを入力]ページ」>「[ビューの場所を選択]ページ」>「[サマリ]
マップ	ページ」>「[ビューを保存]ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
パラメータ 値を手動で 追加	単ービューまたは複数ビューのどちらの場合でも,パラメータ値を手動で入力する 場合,このオプションを選択します。
パラメータ 値を CSV ファイルか らインポー ト	CSV ファイルからパラメータ値をインポートする場合,このオプションを選択しま す。省略記号 ボタンをクリックし,ファイルを参照して必要なファイルを見 つけます。
詳細な名前 付けを使用	パラメータ値に基づいて作成されたビューに自動的に名前を付けるには、[詳細な 名前付けを使用]オプションを選択します。このボックスでは、少なくとも1つの パラメータ名を含む式を山括弧で囲んで入力します。選択したパラメータの値に基 づいてビューに名前が付きます。

#### [パラメータを入力] ページ

このウィザード・ページでは,新規に作成した各ビューのテンプレート・パラメータの値を設定できます。

 重要 複数のビューを作成する場合は、パラメータ値の設定後 [次へ] をクリックして、
 情報 [ビューを保存] ページに進みます。単一のビューを作成する場合は、パラメータ値の設 定後 [完了] をクリックすると、エディタで新しいビューが開きます。

 ウィ
 [テンプレートベースビュー] ウィザードには次のページが含まれます。

 ザー
 「[テンプレートの選択] ページ」>「[パラメータ値をインポート] ページ」>「[パ

 ド・
 ラメータを入力] ページ」>「[ビューの場所を選択] ページ」>「[サマリ] ページ」

 マッ
 プ

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要 素	詳細
+	<b>ビュー・インスタンスを追加 :</b> 新しいビュー・インスタンスを追加します。
×	<b>ビュー・インスタンスを削除 :</b> 選択したビューを削除します。
<パラ メー 夕・カ ラム>	各パラメータ・カラムで,各ビューに必要なパラメータ値を入力または選択します。
リセッ ト	クリックすると,選択したパラメータが元の値にリセットされます。
詳細な 名前付 けを使 用	パラメータ値に基づいて作成されたビューに自動的に名前を付けるには, [詳細な名前付 けを使用]オプションを選択します。このボックスでは,少なくとも1つのパラメータ名 を含む式を山括弧で囲んで入力します。選択したパラメータの値に基づいてビューに名前 が付きます。
	<b>注:</b> すべてのビュー名は一意である必要があります。
ビュー 名	新しいビューそれぞれに名前を入力するか,割り当てられた標準設定の名前を使用しま す。

[ビューの場所を選択] ページ

このウィザード・ページでは、作成したビューを保存する場所を選択できます。

重要情 報	作成したすべてのビューは同じ場所に保存する必要があります。
ウィ	[テンプレート ベース ビュー]ウィザードには次のページが含まれます。
ザー	「[テンプレートの選択]ページ」>「[パラメータ値をインポート]ページ」>
ド・	「[パラメータを入力]ページ」> <b>「[ビューの場所を選択]ページ」</b> >「[サマリ]
マップ	ページ」>「[ビューを保存]ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
	<b>新規フォルダ:</b> ビュー・ツリーに新しいフォルダを作成します。
S	<b>更新:</b> ビュー・ツリーが更新されます。
1	<b>すべてを展開:</b> ビュー・ツリー内のすべてのフォルダを展開します。
44	<b>すべてを折りたたみ :</b> ビュー・ツリー内のすべてのフォルダを折りたたみます。
$\bigcirc$	次を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の次の項目に移動します。
$\bigcirc$	前を検索:選択した検索フレーズに一致するツリー内の前の項目に移動します。
	<b>すべてを強調表示 :</b> 検索フレーズに一致するツリー内のすべての項目を強調表示し ます。
<ビューの ツリー>	ビューのツリーからフォルダ(またはルート)を選択します。
検索	[検索]ボックスにテンプレート名またはテンプレート名の一部を入力して,ツ リー内のテンプレートを検索します。

### [サマリ] ページ

このウィザード・ページでは保存する前に作成したビューの詳細が表示されます。

ウィ	[テンプレート ベース ビュー]ウィザードには次のページが含まれます。
ザー	「[テンプレートの選択]ページ」>「[パラメータ値をインポート]ページ」>
ド・	「[パラメータを入力]ページ」>「[ビューの場所を選択]ページ」> <b>「[サマリ]</b>
マップ	<b>ページ」</b> >「[ビューを保存]ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
ビューのサマ	ベース・テンプレートの名前, 作成したビューの数, ビューの保存に選択した場
リを保存	所を含む, 作成したビューのサマリ。

[ビューを保存] ページ

このウィザード・ページでは、新規に作成したビューを保存できます。

重要情	このウィザード・ページは,複数のテンプレート・ベース・ビューを作成する場合にの
報	み関連します。
ウィ	[テンプレート ベース ビュー]ウィザードには次のページが含まれます。
ザー	「[テンプレートの選択]ページ」>「[パラメータ値をインポート]ページ」>
ド・	「[パラメータを入力]ページ」>「[ビューの場所を選択]ページ」>「[サマリ]
マップ	ページ」> <b>「[ビューを保存]ページ」</b>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
結果を	新規ビューの各名前,および,各ビューが正常に保存されたかどうかを示すメッセージ
保存	がテーブルに表示されます。

# [テンプレートパラメータ値] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、テンプレート・ベース・ビューのパラメータを編集できます。

利用方法	モデリング・スタジオのテンプレート・ベース・ビューで,定義されたパラメータ を含むクエリ・ノードを右クリックし, [ノード パラメータの表示]を選択する か,ツールバーの [ <b>パラメータを表示</b> ] <sup>(P)</sup> ボタンをクリックします。
重要情報	定義されたパラメータを含むクエリ・ノードを右クリックして,ショートカット・ メニューからダイアログ・ボックスを開くと,選択したクエリ・ノードのパラメー タのみがダイアログ・ボックスに表示されます。ツールバーからダイアログ・ボッ クスを開くと,ビュー内にあるクエリ・ノードに定義されているすべてのパラメー タが表示されます。
関連タスク	「テンプレート・ベース・ビューの作成方法」(252ページ)
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<パラメータ>	パラメータの値を編集します。

TQLクエリ・エディタ

この機能では、TQL クエリを作成および編集できます。

利用方法	TQL クエリ・エディタで新しい TQL クエリを開くには,モデリング・スタジオ に移動し, [ <b>新規作成</b> ] 😹 ボタンをクリックし, [ <b>クエリ</b> ]を選択します。
	TQL クエリ・エディタで既存の TQL クエリを開くには,モデリング・スタジオ の左表示枠にある [リソース] タブに移動し, [リソースタイプ] として [ク エリ] を選択します。ツリーで TQL クエリを右クリックして [ <b>クェリを開く</b> ] を選択します。または, TQL クエリをダブルクリックするか, TQL クエリを空の キャンバスにドラッグします。新しいタブで TQL クエリが開きます。
重要情報	TQL クエリを保存するには,モデリング・スタジオのメイン・ツールバーにある [ <b>保存</b> ]ボタンを使用します。
関連タスク	「TQL クエリの定義方法」(23ページ)
関連情報	<ul> <li>「TQL クエリ結果の表示」(16ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
٩	ビュー結果を IT ユニバースに表示 : IT ユニバース・マネージャの選択したビューに 直接移動します。
	<b>注:</b> このボタンは,ビュー,テンプレート,またはパースペクティブの場合にのみ適用されます。
1×	<b>関係を作成 :</b> クエリ・ノード間に関係を設定できます。
	<b>クエリ結果数を計算する:</b> 各 TQL クエリ・ノードまたは関係について,見つかった インスタンスの数を計算します。
	<b>プレビュー:</b> IT ユニバース・マネージャに表示されるときの TQL クエリの結果をプ レビュー表示します。
×	<b>削除:</b> 選択したクエリ・ノードまたは関係がクエリから削除されます。
<b>F</b>	クエリ定義プロパティ/定義プロパティの表示:
	クエリの場合, [クエリ定義プロパティ] ダイアログ・ボックスが開き, TQLクエ リのタイプ, 範囲, および優先度を編集できます。
	ビューの場合, [定義プロパティの表示] ダイアログ・ボックスが開きます。
J.	レポート・プロパティ [レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックスが開き, ビューのトポロジ・レポートのタイトル,サブタイトル,形式を設定できます。詳 細については,「 [レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックス」(401ページ)を

UI 要素	詳細
	参照してください。
	<b>注:</b> このボタンは,ビュー,テンプレート,またはパースペクティブの場合にのみ適用されます。
<b>2</b> 5-	<b>テナントを割り当て:</b> [テナントを割り当て]ダイアログ・ボックスが開き,テナ ントをリソースに割り当てることができます。
	<b>注:</b> このボタンは,マルチテナンシーが有効な場合にのみ利用できます。
2	<b>セキュリティを管理 :</b> 選択したリソースを特定のロールまたはリソース・グループ に割り当てることができます。
<p></p>	<b>パラメータを表示:</b> [テンプレート パラメータ値]ダイアログ・ボックスが開き, テンプレート・ベース・ビューでクエリ・ノードのパラメータを編集できます。
	<b>注:</b> このボタンは, テンプレート・ベース・ビューの場合にのみ表示されま す。
<凡例>	CI の横に表示されるアイコンが次の特殊な意味を持つことを示します。 ・ パースペクティブ内のコンタクト・クエリ・ノードとして定義されている ・ フェデレート CI です。 ・ 属性が定義されている ・ 選択した ID が定義されている ・ クエリの結果では非表示です。 ・ パターン・ベース・モデルの出力クエリ・ノードとして定義されている ・ サブグラフが定義されている
<メイン・ メニュー>	詳細については, 「メイン・メニュー」(157ページ)を参照してください。
<ショート カット・メ ニュー・オ プション>	詳細については, 「ショートカット・メニュー・オプション」(32ページ)を参照し てください。
< [トポロ ジ マップ] サイドバー >	詳細については, 「[トポロジ <i>マ</i> ップ]サイドバー」(169ページ)を参照してください。

詳細表示枠

この領域には,選択したクエリ・ノードおよび関係のプロパティ,条件,およびカーディナリティが 表示されます。

重要情報	詳細表示枠は,モデリング・スタジオ,影響分析マネージャ,エンリッチメ ント・マネージャ,入力クエリエディタ,DFMのトリガ・クエリ・エディタ の各マネージャとユーザ・インタフェースで,ウィンドウ下部に表示されま す。 データを含んでいるタブの横には,小さな緑色のインジケータ★が表示され ます。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
	ウィンドウの幅が狭くてすべてのタブが表示されない場合は,左矢印または右 矢印を使って必要なタブに移動します。
V	[ <b>リストを表示する</b> ]をクリックすると,現在のモジュールで使用できるタブ のリストが表示されます。このリストからタブを選択できます。
属性	クエリ・ノードまたは関係に対して定義された属性条件が表示されます。詳細 については,「[属性]タブ」(71ページ)を参照してください。
カーディナリ ティ	カーディナリティは,関係のもう一方の端にあることが期待されるクエリ・ ノードの数を定義します。たとえば,ノードとIP アドレスの関係でカーディナ リティが1:3 である場合,TQL クエリは1~3 個の IP アドレスに接続されてい るノードのみを取得します。詳細については,「[カーディナリティ]タブ」 (74ページ)を参照してください。
データ・ソース	選択したクエリ・ノードのデータ・ソース・セットが表示されます。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
詳細	次の情報が表示されます。 • CI タイプ/要素タイプ : 選択したクエリ・ノード/関係の CIT です。

UI 要素	詳細
	• 要素名:クエリ・ノード/関係の名前です。モデリング・スタジオにのみ表示 されます。
	<ul> <li>クエリ結果に表示:緑色のチェック記号は、選択したクエリ・ノード/関係が トポロジ・マップに表示されることを示します。赤色のマークは、表示され ないことを示します。モデリング・スタジオでは、[はい]または[いい え]という語によって示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>サブタイプを含める:緑色のチェック記号は、選択した CI とその子の両方が トポロジ・マップに表示されることを示します。赤色のマークは、選択した CI だけが表示されることを示します。この項目はモデリング・スタジオでは 表示されません。</li> </ul>
編集	[ <b>編集</b> ]をクリックすると,選択したタブに対応するダイアログ・ボックスが 開きます。
要素レイアウト	選択したクエリ・ノード/関係での選択属性が表示されます。クエリ結果に含め るために選択された属性が一覧表示されます([特定の属性]が属性条件とし て選択されている場合)。また,除外された属性と,属性で選択されたすべて の修飾子も一覧表示されます。詳細については,「[要素レイアウト]タブ」 (78ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
要素タイプ	クエリ・ノードまたは関係に対して定義されたサブタイプ条件が表示されま す。詳細については,「[要素タイプ]タブ」(77ページ)を参照してくださ い。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
エンリッチメン ト・ルール	選択したクエリ・ノード/関係に対して定義されたエンリッチメント・ルールが 表示されます。エンリッチメント・ルールを使って CI の属性を更新する場合 は、必要に応じて [編集] をクリックして [クエリ・ノード/関係の定義] ダイ アログ・ボックスを開き、ルールを編集します。詳細については、「[クエリ ノード/関係の定義] ダイアログ・ボックス」(514ページ)を参照してくださ い。
	注: このタブはエンリッチメント・マネージャにのみ表示されます。
影響を受けるク エリ・ノード	選択したトリガ・クエリ・ノードで発生する変更の影響を受けるクエリ・ノー ドが表示されます。必要な場合は、[編集]をクリックして、[影響を受ける クエリノード]ダイアログ・ボックスを開いて変更できます。詳細について は、「[影響を受けるクエリノード]ダイアログ・ボックス」(443ページ)を参 照してください。

UI 要素	詳細
	<b>注:</b> このタブは影響分析マネージャにのみ表示されます。
修飾子	クエリ・ノードまたは関係に対して定義された修飾子条件が表示されます。詳 細については,「[修飾子]タブ」(80ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> このタブは,エンリッチメント・マネージャと影響分析マネージャにのみ表示されます。
選択された ID	TQL クエリ結果に含める必要があるものを定義するために使用される要素イン スタンスが表示されます。詳細については,「[ID]タブ」(81ページ)を参照し てください。

# [選択した CI を含むビュー] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、選択したCIを含むビューのリストを表示できます。

利用方法	モデル・エディタで[ <b>選択した CI/モデルを含むビューを表示</b> ] 📠 ボタンを クリックするか,ショートカット・メニューから[ <b>含まれるビューを表示</b> ]を 選択します。
関連情報	<ul> <li>「ビジネス・ビューの構築」(232ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
٢	<b>ビュー結果を IT ユニバースに表示 :</b> IT ユニバース・マネージャの選択したビュー に直接移動します。
*	<b>選択した項目の削除 :</b> 選択したビューを削除します。
Za	<b>ビューをパースペクティブから切断 :</b> 選択したビューをそのパースペクティブか ら切断します。ビューは,パターン・ビューになります。
検索	[検索] ボックスにビュー名またはビュー名の一部を入力して, リスト内の ビューを検索します。
次を検索	選択した検索フレーズに一致する、リスト内の次の項目を検索するときにクリッ クします。
前を検索	選択した検索フレーズに一致する, リスト内の前の項目を検索するときにクリッ クします。

UI 要素	詳細
強調表示	検索フレーズに一致する、リスト内のすべての項目を強調表示するときにクリッ クします。
ビュー名	選択したテンプレートまたはパースペクティブに依存するビューのリストが表示 されます。
	<b>注:</b> 現在のビューの名前は淡い色のテキストで表示されます。

## [ウォッチポイントの更新] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスには,モデルに定義されたウォッチポイントにより,関連 CI で見つかった変更が表示されます。

利用方法	モデル・エディタのモデル内から, [ <b>ウォッチポイント</b> ] 💁 ボタンをクリッ クして[ <b>ウォッチポイントの更新</b> ]を選択するか, モデルで CI を右クリックし て <b>[ウォッチポイント] &gt;[ウォッチポイントの更新]</b> を選択します。
重要情報	[ウォッチポイントの更新] ダイアログ・ボックスには, 関連付けられた隣接 検索パスを介し, モデルに関連する CI について見つかった変更が表示されま す。モデルに含まれていない新しい関連 CI が見つかった場合, 推奨更新は CI の 追加となります。モデルの CI がパスを介して関連しなくなったことがわかった 場合, 推奨更新は CI の削除となります。 このオプションは, モデルに監視が定義されていて, CI が見つかっている場合 にのみ有効となります。
関連情報	<ul> <li>「隣接検索 CI とウォッチポイント」(242ページ)</li> <li>「モデリング・スタジオのユーザ・インタフェース」(259ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
承認	モデルに追加する CI のチェック・ボックス,またはモデルから削除する CI の チェック・ボックスを選択します。
すべて承認	推奨された変更をすべてモデルに適用するときに、 [ <b>すべて承認</b> ] をクリックしま す。
CI	監視により見つかったCIの名前です。
CI タイプ	監視により見つかったCIのタイプです。
すべてクリ	見つかったすべての CI のチェック・ボックスをクリアするときに, [ <b>すべてクリ</b>
UI 要素	詳細
---------------	--
<b>7</b>	<b>ア</b> ]をクリックします。
復元	[抑制された CI] 表示枠で, モデルに含めることを検討する CI のチェック・ボッ クスを選択します。
抑制の表示/ 非表示	ダイアログ・ボックスの [抑制された CI] 表示枠の表示と非表示を切り替えます。
推奨更新	推奨された変更が CI の追加か CI の削除かを示します。
抑制	モデルから除外する CI のチェック・ボックス,またはモデルに残す CI のチェッ ク・ボックスを選択します。
すべて抑制	モデルに対する推奨された変更をすべて受け入れないときに, [ <b>すべて抑制</b> ]をク リックします。

[<クエリ/テンプレート/パースペクティブ名>の依存 関係] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、クエリ、テンプレート、またはパースペクティブへの変更を保存す るときに依存リソースのステータスを確認できます。

利用方法	モデリング・スタジオで,依存リソースを含むクエリ,テンプレート,また はパースペクティブを変更します。 [ <b>保存</b> ] をクリックすると,ダイアロ グ・ボックスが開きます。
重要情報	リソースに対して行った変更はすべて,そのリソースに基づくビューまたは カスタム・レポートに影響します。変更を保存する前に,依存リソースで希 望する結果を指定する必要があります。各依存リソースに対して,次のいず れかの選択できるオプションを選択します。を削除または再適用。
	依存リソースにはクエリ,テンプレート,またはパースペクティブに基づい たビュー,ビューに基づいたカスタム・レポート(ビュー変更レポートな ど)があります。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
削除	選択した依存リソースを削除するには,このオプションを選択します。
再適用	修正したクエリ,テンプレート,またはパースペクティブを,選択した依存 ビューに適用するには,このオプションを選択します。ビュー・タイプは以前の タイプ(パターン・ビュー,テンプレート・ベース・ビュー,パースペクティ ブ・ベース・ビュー)のままです。カスタム・レポートの場合は,レポートは改

UI 要素	詳細
	訂されたビューに応じて更新されます。
リソース	依存リソースがツリー形式で表示されます。

# 第9章:レポート

本章の内容

<ul> <li>トポロ</li> </ul>	コジ・レポートの概要	
<ul> <li>カスタ</li> </ul>	タム・レポートの概要	
<ul> <li>トポロ</li> </ul>	コジ・レポートの表示方法	
<ul> <li>カス</li> </ul>	タム・レポートの生成方法	
• CI をは	北較する方法	
<ul> <li>スナ</li> </ul>	ップショットを比較する方法	
• //-/	パーリンクを有効化する方法とアイコンの表示方法	
• Cron	式	
• レポ-	ートのユーザー・インタフェース	
● 英語」	以外のロケールでのレポート - 注意事項および制限事項	431

# トポロジ・レポートの概要

トポロジ・レポートでは、ビューのデータをレポート形式で表示できます。モデリング・スタジオで 定義されているすべてのビューの [レポート モジュール] には、対応するトポロジ・レポートがあ ります。レポート設定は、パターン・ビュー・エディタのレポート・モードでビュー定義を使用して 定義します。詳細については、「パターン・ビュー・エディタ」(292ページ)を参照してください。

ビューに表示される CI の選択の詳細については, 「CI セレクタでの作業」(125ページ)を参照してください。

また,パースペクティブ,パースペクティブ・ベース・ビュー,およびテンプレート・ベース・ ビューにも,トポロジ・レポートがあります。このようなビューのレポート設定は,ベース・テンプ レートまたはパースペクティブで定義される設定に基づいています。

レポート・モジュールでテンプレートを開き,テンプレートのパラメータを編集できます。その後, [ビューに名前を付けて保存]をクリックして,テンプレート・ベース・ビューとしてテンプレート のインスタンスを保存できます。

レポートのプロパティ

トポロジ・レポート・テーブルには,2つの形式があります。

フラット:フラット・レポートでは、レポートの最上位レイヤが CI とともに表示され、子 CI がリンクとして表示されています。CI をクリックしてドリルダウンし、子 CI を表示できます。レイヤの最上部に表示されている現在位置表示リストを使用してレベルの上位レイヤに戻ることができ

ます。

• 階層構造: 階層構造レポートでは、レポートの各 CI は、ツリー形式で同じテーブルに表示されま す。子 CI を持つ CI は、それ自体の下に子 CI が表示されるように展開可能です。

フラット・レポートと階層構造レポートの別の重要な違いは、レポート用チャートの定義に関係して います。フラット・レポートでは、上位レポートがテーブル形式の場合でも、レポートの任意のレイ ヤ用にチャートを定義できます。階層構造レポートでは、それ自体の上にあるレイヤがテーブル形式 の場合、レイヤ用のチャートは定義できません。

レポート形式は,モデリング・スタジオとレポート・モジュールの両方で使用できる[レポートのプロパティ]ダイアログ・ボックスで設定できます。詳細については,「[レポートのプロパティ]ダイアログ・ボックス」(401ページ)を参照してください。

# カスタム・レポートの概要

カスタム・レポートは,監視対象環境の状況を追跡/分析できるグラフとテーブルで構成されていま す。カスタム・レポートでは,HP Universal CMDB によって収集され,CMDB に保管されたパフォーマ ンス・データを表示/評価できます。レポートを作成するときに,時間範囲や位置など,さまざまな レポート設定を指定できるだけでなく,ドリル・ダウンして詳細情報を確認できます。

# トポロジ・レポートの表示方法

このタスクでは、以前に保存したビューまたはパターンに基づいてレポートを作成する方法について 説明します。

#### 本項の内容

- 「前提条件」(328ページ)
- 「レポートの選択」(328ページ)
- 「テンプレート・パラメータの編集」(328ページ)
- 1. 前提条件

(任意指定)モデリング・スタジオを使用して新規ビューを定義します。詳細については, 「モデリング・スタジオ」(231ページ)を参照してください。

2. レポートの選択

レポート・モジュールで,同じ名前のビューに対応する既存のトポロジ・レポートを選択しま す。そのレポートをダブルクリックまたは右クリックして,[**レポートを開く**]を選択しま す。右の表示枠でレポートが開きます。詳細については,「トポロジ・レポート」(420ページ) を参照してください。

3. テンプレート・パラメータの編集

テンプレートに対応するレポートを選択した場合は,テンプレートのパラメータを編集して, レポートを生成します。 [ビューに名前を付けて保存] をクリックして,テンプレート・ベー ス・ビューとして保存します。

# カスタム・レポートの生成方法

このタスクでは、カスタム・レイアウトに基づいてレポートを定義および生成する方法について説明 します。

#### 本項の内容

- 「レポート・タイプの選択」(329ページ)
- 「必須パラメータを指定する」(329ページ)
- 「レポートの生成」(329ページ)
- 1. レポート・タイプの選択

[カスタム レポート]表示枠で,次のいずれかを行います。

- レポート名を右クリックし, [新規レポートの作成] を選択する。
- [新規レポートの作成] 🚵 ボタンをクリックし,必要なレポートを選択する。
- レポート名をダブルクリックする。
- 2. 必須パラメータを指定する

選択したレポート・タイプの必須パラメータを指定します。各レポート・タイプの必須パラ メータの詳細については, 「レポートのユーザー・インタフェース」(333ページ)に記載されて いる関連するレポートを参照してください。

3. レポートの生成

[**生成**]をクリックして、レポートを作成します。必要であれば、パラメータを再設定して [**生成**]を再度クリックし、更新されたレポートを表示できます。

# CIを比較する方法

このタスクでは,2つの複合 CI の階層を比較し,CI の構成ドキュメントを表示して,2つの構成ドキュメント間の相違を示す方法について説明します。

#### 本項の内容

モデリング・ガイド 第9章: レポート

- 「必要な CI を選択する」(330ページ)
- 「CIの構成ドキュメントを表示する」(330ページ)
- 「2つの構成ドキュメントの相違を表示する」(330ページ)
- 1. 必要なCIを選択する

IT ユニバース・マネージャで,比較する2つのCIを選択します。2つの複合CIの階層がCI比較 レポートで比較されます(詳細については,「CI比較レポート」(359ページ)を参照してくださ い)。選択したビューまたはCMDBに表示される2つのCIを比較できます。詳細については, 「CIセレクタ」(130ページ)を参照してください。

一致しない CI の例 :

この例では,他方に一致する CI がないため CI **LABM3QCRNDDB03**の横に [**一致する CI な** し] アイコンが表示されます。

CI LABM3QCRNDDB02 と LABM3ASTDB01 の MemorySize の値が異なるため, MemorySize プロパティの横に [Show Different Attribute Values] アイコンが表示されます。



2. CIの構成ドキュメントを表示する

CIT [**構成ドキュメント**]のCIを選択して,構成ドキュメントを表示します。詳細については, 「CI 比較レポート」(359ページ)を参照してください。

3.2つの構成ドキュメントの相違を表示する

CIT [**構成ドキュメント**]のCIを選択して,2つの構成ドキュメントの相違を表示します。詳細 については,「CI 比較レポート」(359ページ)を参照してください。

# スナップショットを比較する方法

このタスクでは、ビューのスナップショットを取り、異なる時刻に取った特定ビューの2つのスナップショットを比較する方法について説明します。

本項の内容

- 「ビューのスナップショットを取る」(331ページ)
- 「スナップショットを定期的に保存する」(331ページ)
- 「スナップショットを比較する」(331ページ)
- 1. ビューのスナップショットを取る
  - a. IT ユニバース・マネージャまたは [レポート] モジュールの [トポロジ] レポートでビュー を選択します。
  - b. [**スナップショット**] 「 ボタンをクリックして [**スナップショットを保存する**] を選択 し、ビューのスナップショットを撮って保存します。詳細については、「[スナップショッ トを保存する] ダイアログ・ボックス」(227ページ)を参照してください。
- 2. スナップショットを定期的に保存する

オプションで,タスクを定義することによって,指定の時刻に特定ビューのスナップショット を取るようスケジュールできます。詳細については,「[スナップショットをスケジュールす る]/[定期レポート]」(411ページ)を参照してください。

3. スナップショットを比較する

異なる時刻に取ったビューのスナップショットを比較します。 [**モデリング] > [レポート]** を選択し,スナップショット比較レポートを作成します。詳細については,「「スナップ ショット比較レポート」(364ページ)」を参照してください。

異なる時刻に取ったビューのスナップショットの例:

次の例では,右表示枠の vmamqa278 Cl の横にある [削除された項目] アイコンが,新しい



# ハーパーリンクを有効化する方法とアイコンの 表示方法

レポート内のハイパーリンクを有効化するには, [**エクスポートされたレポートのリンクを有効化**] のインフラストラクチャ設定を [**TRUE**] に設定します。

エクスポートされたレポートのアイコンを表示するには、[**エクスポートされたレポートのアイコン** を表示]のインフラストラクチャ設定を[TRUE]に設定します。

## Cron 式

cron 式は, 6~7個のフィールドを空白文字で区切った文字列です。これらのフィールドのうち, 6個は必須であり, 1個は任意です。

次の表は、cron 式に使用されるフィールドを示します。

フィールド名	使用できる値	使用できる特殊文字
秒	0-59	,-*/

フィールド名	使用できる値	使用できる特殊文字
<b>分</b>	0-59	,-*/
時間	0-23	,-*/
日付	1-31	,-*?/LWC
月	1-12 または JAN-DEC	,-*/
曜日	1-7 または SUN-SAT	,-*?/LC#
年 (任意指定)	空, 1970-2099	,-*/

**注:** [日付] および [曜日] の両方を指定することはできません。これらのフィールドのどちら かまたは両方で「?」文字を使用する必要があります。

次の表は、	cron 式のユース	・ケースを示します。
-------	------------	------------

Cron 式	意味
0 0 12 * * ?	このタスクは,毎日午後 12:00 に実行されます。
0 15 10 ? * *	このタスクは,毎日午前 10:15 に実行されます。
0 15 10 * * ? 2011	このタスクは, 2011 年中の毎日午前 10:15 に実行されます。
0 0/5 14 * * ?	このタスクは,毎日午後 2 時から午後 2:55 までの間,5 分間隔で実行されま す。
0 15 10 15 * ?	このタスクは,毎月 15 日の午前 10:15 に実行されます。
0 15 10 ? * 6L	このタスクは,毎月最後の金曜日の午前 10:15 に実行されます。
0 15 10 ? * 6#3	このタスクは,毎月第3金曜日の午前10:15に実行されます。

# レポートのユーザー・インタフェース

#### 本項の内容

•	エージェント・ステータス・レポート	. 335
•	アプリケーション・ブレークダウン・レポート	.337
•	アプリケーション・ライセンス・レポート	. 339
•	アセット・レポート	. 341
•	監査レポート	.342

変更済みアプリケーション・レポート	346
変更されたビューのレポート	
CI 変更レポート	350
CMDB 使用率レポート	353
アーカイブ・レポートを比較	
CI 比較レポート	359
スナップショット比較レポート	
Configuration Manager ポリシー・レポート	
データベース・ブレークダウン・レポート	
削除候補レポート	
依存関係レポート	
ディスカバリ・エラー・レポート	
汎用ブレークダウン・レポート	
ゴールド・マスタ・レポート	
ハードウェア・コンポーネント・サマリ・レポート	
影響分析レポート	
[ジョブ リスト] ダイアログ・ボックス	
ライセンスがある 0SI のレポート	
移行の進行状況レポート	
ネットワーク・デバイス・ブレークダウン・レポート	
ノード 0S のブレークダウン・レポート	
ノード・サマリ・レポート	
VLAN によるノード・サマリ・レポート	
変更数	
認識されたアプリケーション・レポート	
[レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックス	401
[レポート] ページ	
ルールベース・サポート・レポート	
スキャン・ファイル・ステータス・レポート	
スキャナ実行詳細レポート	409
[スナップショットをスケジュールする] / [定期レポート]	411
Service Discovery エラー・レポート	415
ソフトウェア使用率レポート	417
Solaris ゾーン・レポート	419
トポロジ・レポート	
	変更済みアプリケーション・レポート           変更されたビューのレポート           CI 変更レポート           CMDB 使用率レポート           アーカイブ・レポートを比較           CI 比較レポート           スナップショット比較レポート           Configuration Manager ポリシー・レポート           データペース・プレークダウン・レポート           データペース・プレークダウン・レポート           開除候補レポート           依存瞭係レポート           ディスカバリ・エラー・レポート           ブールド・マスタ・レポート           パードウェア・コンポーネント・サマリ・レポート           パードウェア・コンポーネント・サマリ・レポート           ジョブリスト] ダイアログ・ポックス           ライセンスがある OSI のレポート           移行の進行状況レポート           ネットワーク・デバイス・プレークダウン・レポート           ノード OS のプレークダウン・レポート           ノード NS のプレークダウン・レポート           レポート           「レホート           「レポートのプロパティ」 ジィアログ・ボックス           「レポートのプロパティ」 ジィーレホート           スキャン・ファイル・ステータス・レポート           スキャン・ファイル・ステータス・レポート           「スキャン・ファイル・ステータス・レポート           Service Discovery エラー・レポート           Solaris ゾーン・レポート           Solaris ゾーン・レポート           ドレポート           ドレポート           ドレポート           シレポート

•	ビュー変更レポート	.421
•	VMware ホスト・レポート	423
•	VMware 仮想センター・レポート	424
•	ゾーンベースのディスカバリ・エラー・レポート	425
•	ツールバー・オプションのレポート	.427

## エージェント・ステータス・レポート

# このレポートには, Upgrade UD Agent ディスカバリ・ジョブによって更新されたすべてのインストール済みディスカバリ・エージェントの状態が示されます。

📔 エージェント ステータス	、レポート1* ×			4 ▷ 🗉
🚰 レポートのバラメータ	10 🖂 🕶 🚽 😜	▼ 図 次の CI イ	ンスタンスを表示: Managed	Object (0) 🔽 🗶 🔐 🥵 🛄 😂 🔍
ジョブ ステータス: グループ化: <mark>。</mark> 生成	<b>すべて</b> ▼ なし ▼			
表示ラベル	エージェントのバージョン	ボート	ブラットフォーム	エージェントのアッブグレード日
ddmivm32	v10.00.000 build:427	2,738	Windows 2008 R2	

レポートの例					4 5 12
	■ エーシェントステータ	× <u>↓</u> ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	・ 🔄 次の CIイ	ンスタンスを表示: Managed (	Dbject (0) 👻 🗶 🚰 💭 🔛 🔍
	ジョブステータス: グループ化:  生成	र   र   र   र			
	表示ラベル	エージェントのバージョン	ポート	ブラットフォーム	エージェントのアップグレード日
	ddmivm32	v10.00.000 build:427	2,738	Windows 2008 R2	
	サムネイルをク	リックしてフル・サ	イズ・イ	メージを表示しる	ます。
利用万法	[マネージャ] ポート] 表示枠 <sup>・</sup>	> <b>[モテリンク] &gt;</b> で,次のいずれかを	[ <b>レホート</b> 行います	<b>ゝ」を選択します</b> 。	。 [ከスタム レ
	・ [新規レポー ス レポート]	トの作成] 🚵 ボタ を選択する。	ンをクリ	ックして [ <b>エ−</b>	・ジェント ステータ
	・ [ディスカバ	<b>リ ステータス</b> ]で:			
	<ul> <li>[エージュ</li> </ul>	こント ステータス レ	ポート]	をダブルクリッ	クする
	・ [エージュ 作成] を選	<b>c ント ステータス レ</b> 選択する。	ポート]	を右クリックし	, [新規レポートの

	• [エージェント ステータス レポート]を選択し,右表示枠にドラッグす る。
重要情報	このレポートには,表示ラベル,エージェントのバージョン,ポート,プラット フォーム,プローブ名など各ディスカバリ・エージェントの詳細情報が示されま す。
	[ <b>カラムの選択</b> ] <sup>山</sup> ボタンを使用して,レポートに表示する属性を選択しま す。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<ショート カット・ メニュー>	レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ] ショートカット・メ ニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショート カット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツール バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してくだ さい。
グループ 化	データを表示するためのグループ化方法を選択します。次のオプションを使用できま す。 ・ なし ・ ジョブのステータス ・ エージェントのバージョン
ジョブの ステータ ス	ドロップダウン・リストから,エージェントのディスカバリ・ジョブのジョブ・ス テータス別に結果をフィルタリングするオプションを選択します。

アプリケーション・ブレークダウン・レポート

このレポートには、メジャー・アプリケーションのブレークダウンとそのバージョンが表示されま す。メジャー・アプリケーションは、MAJOR\_APP クラス修飾子を割り当てられた Running Software CIT です。詳細については、「[修飾子]ページ」(474ページ)を参照してください。

生成 プリケーション ブレークダウ	ッ アプリイ	ケーション ブ	レークダウン	
ブレークダウンカウン	٢		グラフ セクションを	クリックしてドリル ダウンし
Weblogic AS 数量: 4 割合: ( Siebel Gatew 数量: 1 割合: ( SAP ITS AGa 数量: 1 割合: ( SAP ABAP	5 )% ay )% te			IBM HTTP Server 数量: 2 割合: 0% IBMWebSphereMQ 数量: 16 割合: 2%
Application Service 教量: 9 割合: 1 JBoss AS 教量: 284 割合: 31 J2EE SAP Central Service 教量: 6 割合: 10	We Ve			IIS Web Server 数量: 603 割合: 65%

• [新規レポートの作成] 🚵 ボタンをクリックして [アプリケーション ブ レークダウン レポート] を選択する。

• [**ブレークダウン**]から次を行います。

**ポート**]表示枠で,次のいずれかを行います。

	<ul> <li>[アプリケーション ブレークダウン レポート] をダブルクリックする</li> </ul>				
	<ul> <li>[アプリケーション ブレークダウン レポート]を右クリックし、[新規レ ポートの作成]を選択する。</li> </ul>				
	<ul> <li>[アプリケーション ブレークダウン レポート]を選択し、右表示枠にド ラッグする。</li> </ul>				
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)				

UI 要素	詳細
<棒グラフ/ 円グラフ>	円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,異なるアプリケーションを示 します。
	スライス/棒をクリックするとバージョンごとに並べ替えられたアプリケーショ ンが表示され,ドリルダウンするとアプリケーション・インスタンスとその属 性が表示されます。
	各セグメント / 棒の上にマウスを置くと,アプリケーション名,各アプリケー ションで検出される Cl インスタンス数,全体に対するセグメントの割合(円グ ラフ形式で情報を表示している場合),およびスライス / 棒で表される Cl タイ プがツールチップに表示されます。
	円グラフの下にある凡例には,各CIの名前とその下のレベルにバージョンが表 示されます。
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	個々の CI のレベルまでドリル・ダウンして,レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メニューにアクセスします。詳 細については,「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」 (213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
市町村	アプリケーション・ブレークダウン・データを表示する対象の都市を選択する か, [ <b>すべて</b> ]を選択して, すべての都市のブレークダウンを表示します。
	注: [市町村] 属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。

UI 要素	詳細
国または地域	アプリケーション・ブレークダウン・データを表示する対象の国または地域を 選択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択して, すべての国または地域のブレークダウン を表示します。
	<b>注: [国または地域</b> ]属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。
すべての統合ポ イントを含める	このチェック・ボックスを選択すると,フェデレート CI がレポートに組み込ま れます。このチェックボックスがオフになっていると,ローカル CI のみがレ ポートに含まれます。
Ж	アプリケーション・ブレークダウン・データを表示する対象の州を選択する か, [ <b>すべて</b> ]を選択して, すべての州のブレークダウンを表示します。
	注: [州] 属性にデータを含む CIT のみに関連します。

## アプリケーション・ライセンス・レポート

このレポートには、ライセンスを必要とするシステムで検出されたすべてのアプリケーションのイン スタンスを表示します。

グループ化: アプリケーション名 💌

😞 生成 📄

アプリケーション名	インストールの合計	必要なライセンス
7Zip	1	0
Active Perl	2	0
Administration Assistant for Windows	2	0
Chrome Frame	1	0
CommTax Communcations Tax L	1	0
FileZilla Client	2	0
FineReader Engine	1	0
Firefox	2	0
Google Chrome Browser	1	0
HP Application Lifecycle Management Client	1	0
HP Application Lifecycle Management Platform	1	0
HP Asset Manager	2	2
HP Asset Manager API	1	0



	<ul> <li>[アプリケーション ライセンス レポート]を選択し、右表示枠にドラッグ する。</li> </ul>
重要情報	レポートの最上部には,選択されたグループ化オプションに応じて,各アプリ ケーション,ベンダ,または関連ノードのアプリケーション・インスタンスの数 が表示されます。これは,SAIファイルで定義された各アプリケーションのライセ ンス・タイプに基づきます。
	任意のレイヤで, [ <b>カラムの選択</b> ] <sup>IIII</sup> ボタンを使用して,レポートに表示する 属性を選択します。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。
グループ化	データを表示する方法を選択します。次のオプションを使用できます。 ・ アプリケーション名 ・ ベンダ名 ・ 関連ノード
必要なライセンス	各アプリケーション、ベンダ、または関連ノードには、ライセンスを必要とす るアプリケーションの数が表示されます。この数をクリックすると、ドリル・ ダウンしてアプリケーションのインスタンスを表示できます。 ドリル・ダウン画面で、[コンポーネント]列の数値が0より大きい場合、選 択したアプリケーションにはライセンス元のコンポーネントがあります。

### アセット・レポート

このレポートには,指定したビューのすべての CI,その属性値,および CMDB におけるその子 CI の リストが表示されます。アセット・レポートは,ビューの内容を表示/分析して,関心のあるデータ に重点的に取り組むのに使います。たとえば,アセット・レポートでは,ビューに含まれている特定 アプリケーションの一部であるすべてのサーバのリストを表示できます。

ビュー: SAN Topology 💌 🔜 次に基づく情報を検索 🖲 CMDB 🔿 ビュー						
◎ 生成						
Display Label			PrimaryDnsName	···· ··· ··· ···		
🖃 📇 000E7FFD99F1			LABM3MAM11.devlab.ad			
🗏 🔳 16.59.56.213						

利用方法	[マネージャ】 > [モデリング] > [レポート]を選択します。 [カスタム レ ポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 😹 ボタンをクリックして [アセット レポート] を 選択する。
	• [ <b>全般</b> ] から次を行います。
	• [ <b>アセット レポート</b> ]をダブルクリックする。
	• [ <b>アセット レポート</b> ]を右クリックし, [ <b>新規レポートの作成</b> ]を選択す る。
	• [ <b>アセット レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
重要情報	レポートには, CIタイプ・マネージャの [ <b>属性</b> ] タブの [ <b>アセット データ</b> ] 修飾 子でマークされている属性のみが含まれます。詳細については, 「 [属性の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス」(460ページ)を参照してください。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<ショートカッ ト・メニュー>	詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」 (213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し

UI 要素	詳細
	てください。
次に基づく情報 を検索	次のいずれかを選択します。  • CMDB:選択したビューからの情報に加えて, CMDB における子 CI とその属性  佐に関ナスはおよのよさす
	値に関する情報も含めます。 レポートには, [ <b>コンテナ</b> ] 修飾子との関係によって, 選択したビューの中 の CI に接続している CI が含まれます。たとえば, ビューに含まれている サーバの CPU とメモリがレポートに含まれます。
	<ul> <li>ビュー:選択したビューに含まれている CI とその属性に関する情報のみが含まれます。</li> </ul>
ビュー	ビュー・セレクタを開いてビューを選択できます。詳細については, 「CI セレ クタ」(130ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> 特定のビューからアセット・レポートを生成すると、レポートにはト ポロジ・マップの関連ビューと同じ階層構造が保持されます。

# 監査レポート

このレポートは CI、関係、または多数の Unified Resource Manager(URM)リソースに関連する監査 情報を表示します。

∫≧ 監査レ	Image: Imag					▷ 🗉		
🔡 レポー	😭 レポートのバラメータ 📲 🗟 🤨 📼 🚽 📾 🔸 者 🔸 🔤							
時間範囲:	時間範囲: 直近の1週間 ▼ 開始日付: 15/03/20 15:30 ▼ 終了日付: 15/03/27 15:30 ▼							
ユーザピ	ブループ	admir	ı					
リソース	タイプ 🖸	1,クエ	リ,クラス,ロール	,関係				
変更タイ	変更タイプ 作成削除,更新							
😞 生成								
次の <b>C</b> Iイ:								
更新者	リソース	<u>ع</u>	リソース名	変更タイプ	変更日	ID	リビジョン	
admin	TQL		🔄 mngd_Vir	Resource created	2015年3月27日 (金曜日) 04:	mngd_Virtualized M	12035	-
admin	TQL		🔄 mngd_Vir	Resource modified	2015年3月27日 (金曜日) 04:	mngd_Virtualized M	12039	=
admin	TQL		🔄 mnad Vir	Resource created	2015年3月27日 (金曜日) 04:	mnod Virtualized M	12035	
利用方法	利用方法 【マネージャ】 > 【モデリング】 > 【レポート】を選択します。 【カスタム レポー							

ト]表示枠で,次のいずれかを行います。 ・ [新規レポートの作成] 😹 をクリックして, [監査レポート] を選択します。

	• [ <b>管理</b> ] から次を行います。
	• [ <b>監査レポート</b> ] をダブルクリックする。
	• [ <b>監査レポート</b> ]を右クリックし, [ <b>新規レポートの作成</b> ]を選択する。
	• [ <b>監査レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
重要情報	<ul> <li>レポートは監査の権限があるユーザに対してのみ表示されます。</li> <li>定義済みの TenantAdmin ロールは監査権限がなく,監査レポートを作成できません。</li> <li>このレポートは次のようなカスタム・レポートの標準的な機能をすべてサポートします。         <ul> <li>電子メール</li> <li>スケジューリング</li> <li>エクスポート (CSV, Excel, および XML のみ)</li> <li>入力パラメータの保存</li> </ul> </li> <li>変更の調査は、行を右クリックすると有効になります。         <ul> <li>CI と関係の場合は、次のようになります。</li> <li>CI に関連するオプションを含んでいる、[CI 履歴] などのショートカット・メニューが表示されます。 調査によって、選択した時間枠内の履歴が表示されます。</li> <li>URM リソースの場合は、次のようになります。</li> <li>URM リソースの場合は、次のようになります。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul> <li>めに使用されます。</li> <li>              IMX からの履歴をパージした後は、結果を取得することができません。                  ・ ディスカバリ・プロセスを通してプローブによって行われた変更、または統合ポイントを介して行われた変更は、レポートの出力に表示されません。      </li> <li>             [リソースの調査]をクリックします。[リビジョンの比較]ダイアログが、JMX のものと同じ Diff コードが付いたテキスト領域を表示している状態で開きます。現在の選択したリビジョンの XML が左側のパネルに表示されます。ユーザは同じリソースの他のリビジョンを任意に選択して右側のパネルに表示できます。             異なる色で、次のように各種の変更を表します。      </li> </ul>

	<ul> <li>緑色:変更された行</li> </ul>
	○ 赤色:削除された行
	○ 黄色:追加された行
関連タスク	『HP Universal CMDB モデリング・ガイド』の「カスタム・レポートの生成」。

UI 要素	説明
<ショート カット・ メニュー>	レポートで Cl を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メ ニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショート カット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツール バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してくだ さい。
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
時間範囲	表示する変更の時間枠を選択します。開始日付と終了日付は,システムによって[ <b>開</b> <b>始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスの開 始日付と終了日付を手動で設定できます。
ユーザ/グ ループ	
リソー ス・タイ プ	<ul> <li>をクリックして,監査レポートに含めるリソース・タイプを選択します。次のリ ソース・タイプを選択できます。</li> <li>Cl</li> <li>クラス</li> <li>顧客設定</li> <li>デプロイ済みパッケージ</li> <li>ディスカバリ・スクリプト</li> <li>エンリッチメント・ルール</li> <li>グローバル設定</li> <li>識別ルール</li> <li>影響ルール</li> <li>統合ポイント</li> </ul>

UI 要素	説明
	<ul> <li>クエリ</li> </ul>
	• 関係
	• リソース・グループ
	• リソース・テナントの関連付け
	<ul> <li>ロール</li> </ul>
	• ロールの割り当て
	• スケジュールされたレポート
	• システム・タイプ
	・ユーザ
	• ユーザ・グループ
	<ul> <li>ビュー</li> </ul>
変更タイ	
プ	<b>इ</b> .
	• 作成
	• 削除
	• 更新
😓 生成 📄	<b>レポートを生成:</b> 選択したレポートを生成できます。
🔒 生成 🌖	<b>注:</b> このボタンは,レポート・パラメータを定義するまでは無効になっています。
< 主成され たレポー	生成されたレホートが表示されます。
۲»	生成されたレポートには、次のカラムが含まれます。
	• 更新者:項目を更新した管理者のユーザ名です。
	• リソース・タイプ : 項目のリソース・タイプです。
	• リソース名:項目のリソース名です。
	• 変更タイプ:項目の変更タイプです。
	• 日付の変更:項目が変更された日付と時刻です。
	<ul> <li>ID:項目の識別子です。</li> </ul>
	• リビジョン:項目のリビジョン番号です。

### 変更済みアプリケーション・レポート

このレポートには, 定義した期間内にアプリケーションで検出された変更件数を示す棒グラフが表示 されます。





利用方 法	[ <b>マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。[カスタム レポート</b> ]表 示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 🐱 ボタンをクリックして [変更済みアプリケーション レ ポート]を選択する。
	• [ <b>変更</b> ] から次を行います。
	• [ <b>変更済みアプリケーション レポート</b> ]をダブルクリックする。
	• [ <b>変更済みアプリケーション レポート</b> ]を右クリックし, [ <b>新規レポートの作</b> 成]を選択する。
	• [ <b>変更済みアプリケーション レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
関連タ スク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<棒グラフ>	それぞれの棒が異なるアプリケーション・タイプを示します。各棒の色は,アプ リケーションで発生したさまざまなタイプの変更を示します。
	凡例の各色は,異なるタイプの変更を示します。各アプリケーションの CI タイプ は関連する棒の下に表示されます。
	各棒の上にマウスを置くと,棒が表す CI タイプだけでなく,発生した変更の数 (色に応じて CI の追加,削除,更新など)がツールチップに表示されます。
	棒の必要な色をクリックすると,ドリルダウンして,変更された CI のリストが表示されます。
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの最 上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照して ください。
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
時間範囲	検出された変更を表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,シス テムによって [ <b>開始日付</b> ] および [ <b>終了日付</b> ] ボックスに自動的に表示されま す。
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックス の開始日付と終了日付を手動で設定できます。

### 変更されたビューのレポート

このレポートには、定義した期間内に特定ビューで発生した変更件数が表示されます。



ビュー別にグループ化

関連タ スク

「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<棒グラフ>	それぞれの棒は異なるビューを示します。各ビューの名前は関連する棒の下に表 示されます。各棒の色は,ビューで発生したさまざまなタイプの変更(追加,削 除,更新)を示します。
	各棒の関連する色の上にマウスを置くと,ビュー名,変更タイプ,およびビュー で変更された CI インスタンスの数がツールチップに表示されます。
	各色で表される変更タイプを確認するには,凡例を参照してください。
	ビューのスナップショットが異なる時刻に取られた場合,棒をクリックして [ビューをスナップショットで比較する] ダイアログ・ボックスを開き,ビュー の相違点を表示できます。詳細については,「スナップショット比較レポート」 (364ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> 変更されたビューのレポートの [ <b>開始日付</b> ] の日付前に取られたスナッ プショット (利用できない場合は [ <b>開始日付</b> ] の日付後) と [終 <b>了日付</b> ] の 日付前に取られた別のスナップショット, 2 つのスナップショットの相違を 示す変更のあるビューだけがレポートに表示されます。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照して ください。
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
時間範囲	変更を表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムによっ て[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックス の開始日付と終了日付を手動で設定できます。

#### CI変更レポート

CI変更レポートでは、特定のCIとその子に加えられた実際の変更を表示 / 分析できます。変更レポートは、該当のCIに関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。たとえば、CIの変更にまでわたって、問題の原因を追跡できることもあります。また、トラブルシューティング問題の原因が、期待されていたのに発生しなかった変更に関連している可能性もあります。このレポートでは、CI属性の変更や、CIとその子の追加または削除されたCIを表示できます。

	時間範囲: 直近の1ヶ月 💌 開始日付: 15/02/25 15:33 💌 終了日付: 15/03/27 15:33 💌					
	選択された CI: win-eq536blndiq ふに基づく情報を検索: 〇 CMDB ⑧ ビュー					
	🗹 CI の変更 🛛 関係	の変更				
4						
	次の CIインスタンス?	を表示: [ Windows (4)				
	表示ラベル	クラス名 属性名 変更日 変更者     変更者				
	win-eq536bIndiq	Windows Display Label 2015年3月11日 (水曜日) 05:02 CST ProbeGW_Topology_Task_				
	Win-eq536bindiq	Windows PrimaryDnsivame 2015年3月11日 (水曜日) 05:02 CST ProbeGW_10p0logy_13sk_				
7	利用方法	<ul> <li>【マネージャ】 &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [カスタムレポート] 表示枠で、次のいずれかを行います。</li> <li>「新規レポートの作成] ふ ボタンをクリックして [Cl 変更レポート] を選択する。</li> <li>[変更] から次を行います。 <ul> <li>[Cl 変更レポート] をダブルクリックする。</li> <li>[Cl 変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選択する。</li> <li>[Cl 変更レポート] を選択し、右表示枠にドラッグする。</li> </ul> </li> </ul>				
I	重要情報	<ul> <li>CI プロパティが「管理」または「比較可能」とマークされているCIのみがレポートに表示されます。詳細については、「[属性の追加/編集]ダイアログ・ボックス」(460ページ)を参照してください。</li> <li>CI 変更レポートの表示内容:</li> <li>選択したCI,および、[変更レポートのリンク名]インフラストラクチャ設定で指定した関係によって関連付けられているCIのすべての子CIで発生した変更。この設定の標準設定値は、空の値(managed_relationship)であり、 [履歴要の追跡ではありません]としてマーキングされていないすべての関係属性の変更を追跡できます</li> </ul>				

	<ul> <li>生成したレポートに表示される (I を変更するには、【マネージャ】&gt;【管理】</li> <li>[インフラストラクチャ設定マネージャ】に移動し、次の設定を編集します。</li> <li>[変更レポートのリンク名]を選択し、選択した計算済みの関係によってリンクされる (I を取得します。関係の名前の設定値を、CI タイプ・マネージャで選択した関係の[詳細]ページにある[名前] ボックス([表示 名] ボックスではない)に表示されるとおりに変更します。詳細については、「【詳細】ページ」(469ページ)を参照してください。空の場合、クラス名は managed relationship とみたされます</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ [変更レポートのリンク修飾子]を選択し、修飾子で定義されている CI を 取得します。設定の値を必要な修飾子の名前に変更します。修飾子の詳細 については、「[修飾子]ページ」(474ページ)を参照してください。空の 場合、修飾子は、コンテナ とみなされます。     </li> <li>         ・ CI に追加または削除された Composition 関係のある CI。     </li> </ul>
	<b>注:</b> マルチテナンシー環境では, ビュー CI 権限に関連付けられたテナントに 関連する変更は, CI 変更レポートにのみ表示されます。ただし, UCMDB バージョン 10.01 にアップグレードする前に発生した [CI/関係の削除] イベ ントは, [ビュー CI] 権限に関連付けられたテナントと無関係に表示され ます。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
次に基づ く情報を 検索	次のいずれかを選択します。  • CMDB:CMDB全体で CI とその子に発生した変更が表示されます。  • ビュー:選択したビューで CI とその子に発生した変更が表示されます。
選択され た Cl	必要な CI を選択します。 [CI / ビューの選択] ダイアログ・ボックスを開きます。詳 細については, 「CI セレクタでの作業」(125ページ)を参照してください。 CI の変更のみ,関係の変更のみ,または両方を結果に表示することを選択できます。
時間範囲	変更を表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムによって [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および [ <b>終了日付</b> ]ボックスの開 始日付と終了日付を手動で設定できます。

#### [CI変更] タブ

重要情報	CIの変更履歴を表示するには、必要なCIの行の任意の部分を右クリックし、
	[ <b>CI 履歴</b> ] を選択します。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
<ショートカッ ト・メニュー>	詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」 (213ページ)を参照してください。
属性名	変更された CI 属性の名前です。
日付の変更	変更の発生した日付です。
変更者	Cl プロパティを手動で変更したユーザの名前,または Cl プロパティに対する変 更を自動検出した Data Flow Probe の名前です。
クラス名	変更された CI の CI タイプです。
表示ラベル	ルートから CI へのパスのラベルです。
	CI 名のバックスラッシュ(\)は,親子関係を <parent_ci>\<child_ci> という形 式で示します。たとえば,エントリ 16.59.63.0\Windows は,Windows CI の子で ある 16.59.63.0CI に関する変更情報を提供します。</child_ci></parent_ci>
新規値	CI 属性の新しい値です。
旧値	CI 属性の以前の値です(変更前)。

[関係の変更] タブ

重要情報	CIの変更履歴を表示するには、必要なCIの行の任意の部分を右クリックし、	[CI
	<b>履歴</b> ]を選択します。	

UI 要素	説明
<ショートカット・	詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メ
メニュー>	ニュー」(213ページ)を参照してください。

UI 要素	説明
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参 照してください。
日付の変更	更新が実行された日付です。
変更者	Cl プロパティを手動で変更したユーザの名前,または Cl プロパティに対す る変更を自動検出した Data Flow Probe の名前です。
コンテナ・ラベル	ルートからコンテナ CI へのパスのラベルです。
	CI 名のバックスラッシュ(\)は,親子関係を <parent_ci>\<child_ci> という 形式で示します。たとえば,エントリ 16.59.63.0\Windows は,Windows CI の子である dancer.hp.comCI に関する変更情報を提供します。</child_ci></parent_ci>
イベント・タイプ	次の値のいずれかを設定できます。
	<ul> <li>関連 CI を追加: Composition 関係を使用して、含まれている CI がコンテナ CI に追加されます。</li> </ul>
	• 関連 CI を削除: Composition 関係を使用してコンテナ CI にリンクされて いた含まれている CI が削除されます。
リンク・タイプ	関係のタイプです。
新規値	関係属性の新しい値です。
古い値	関係属性の以前の値です(変更前)。
関連するラベル	ルートから包含 CI へのパスのラベルです。
関係の属性	変更された関係属性の名前です。

### CMDB 使用率レポート

このレポートには、一般的な CMDB 統計データが表示されます。たとえば、統計データには、作成された影響ルールの数、CMDB にある CI の数、または取られたスナップショットの数が含まれます。

名前	値
Cls and Relationships	11
<ul> <li>Views and Reports</li> </ul>	0
— Enrichment Rules	26
<ul> <li>Correlation Rules</li> </ul>	13
- Snapshots	0
<ul> <li>Connected users</li> </ul>	4
Running Discovery Jobs	0

利用方法

[マネージャ] > [モデリング] > [レポート] を選択します。 [カスタム レ

	<ul> <li>ポート]表示枠で、次のいずれかを行います。</li> <li>「新規レポートの作成] ぶタンをクリックして [CMDB 使用率レポート]を選択する。</li> <li>[全般]から次を行います。</li> <li>[CMDB 使用率レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>					
	<ul> <li>[CMDB 使用率レポート]を右クリックし、[新規レポートの作成]を選択する。</li> <li>[CMDB 使用率レポート]を選択し、右表示枠にドラッグする。</li> </ul>					
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)					

UI 要素	詳細
<ツール バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく ださい。
名前	CMDB 統計の名前です。
値	システムで検出された CMDB 統計のインスタンス数です。

## アーカイブ・レポートを比較

このレポートでは,2つのアーカイブ・レポート間で,または,あるアーカイブ・レポートとその最 新版との間で比較ができます。

阃 スナップショット比較レポ	– Ի1	* ×				
🔓 レポートのパラメータ	8	10 🖂 🖬	ə • 🚰 • 🗵	** ** 4 -	A 🛛 🗛 🔳	
スナップショットを持つビュー	All N	ly Windows Serv	ers			•
利用可能なスナップショット		時間	詳細	所有者	サイズ	XE
		現在	現在		0	
		2012年8月2	before delet		1	
		2012年8月2	current		1	
🡵 生成						
ロターを削除された百日、女任	8-2 0	4 再転きわた酒	日。百姓うわた	酒日大会社		
	鬼児日	9 史初さ4(/2頃	日 型 史初さすいさ	増日を古む		*°
before deleteing (12/0	)8/2;	3 13:49)				現在
						labm3amdb39
						LABM3AMDB40
LABM3FTRND17					X	LABM3FTRND17
LABM3LT60						LABM3LT60
	LABM3MAMDB03			LABM3MAMDB03		
						LABM3PCOEDB06
			LABM3PCOEDB18			
LABM3PCOEDB19			LABM3PCOEDB19			
LABM3QC52				m3-cnb-f11		
- ≥ m3-cnb-f11 - ■ mydvm0071			mydvm0071			
mydvm0071						mydvm0073
mydvm0073						mydvm0074
						mydvm0077
						mydvm0078
- 🕮 sis11f920						sis111920 uemdb903f9201
- 🚝 ucmdb903f9201						vmamga360
—× 🕮 vmamqa354						vmamqa361
- 💾 vmamqa360						vmamda362
利用方法 [マネ	ージ	ヤ] > [モデ	・リング] > [	レポート] そ	を選択します	。[カスタム レ
ポート	] 表	示枠で,次の	<b>)いずれかを</b> (	テいます。		
			-			
● [ 余	「規レ	・ポートの作り	🗓 🔛 ボタ	ンをクリック	フして [ <b>アー</b>	カイブ レポートを
比較	<b>え</b> ]を	選択する。				
	レフ	/ <b>ライアンス</b> 1	から次を行	います。		
		- · · · · · ·				
•	[7-	-カイブ レオ	「一トを比較]	をタブルク	リックする。	

	• [ <b>アーカイブ レポートを比較</b> ]を右クリックし, [新規レポートの作 成]を選択する。
	• [ <b>アーカイブ レポートを比較</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
	あるいは, [ <b>トポロジ レポート</b> ]表示枠で同じレポートの2つのアーカイブを
	選択し,[ <b>レポート アーカイブを比較</b> ]
重要情報	<ul> <li>[アーカイブを比較]レポートは、トポロジ・レポートにのみ使用できます。</li> </ul>
	<ul> <li>あるレポートの最新バージョンを、そのレポートのアーカイブとの間で、または、同じレポートの2つのアーカイブ間で比較できますが、異なるレポートのアーカイブ間の比較はできません。</li> </ul>
	<ul> <li>[アーカイブを比較]レポートのプレビューとエクスポートに使用できる形 式は, Excel 形式のみです。</li> </ul>
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
1	<b>すべてを展開:</b> 選択した CI の階層ツリー構造全体を展開します。
	<b>すべてを折りたたみ:</b> 選択した CI の階層ツリー構造を折りたたみます。
4	前の相違:「変更あり」とマークされた前の項目を検索します。
4	次の相違:「変更あり」とマークされた次の項目を検索します。
	<b>構成ファイルの相違を表示:</b> 2 つの構成ファイルの内容の相違を表示します。構 成ファイルには, xml, txt, またはini拡張子が使用されています。
	2 つの表示枠で CIT <b>Configuration File</b> の CI を選択し,[ <b>相違を表示</b> ]ボタンを クリックします。ウィンドウが開いて,構成ファイルの相違が(青でマークさ れて)表示されます。
460	<b>ツリー内の異なる CI のみを表示:</b> < [プロパティ] 表示枠>に,一致していない CI を含むツリー構造部分のみが表示されます。
	<b>異なる属性値のみを表示:</b> < [プロパティ]表示枠>で,選択したCIのすべての 属性値が表示されている状態と,変更された属性値のみが表示されている状態 が切り替わります。

UI 要素	詳細
000 000	<b>選択を同期化:</b> 一方の表示枠で CI を選択すると,他方の表示枠で対応する CI を 自動的に選択できます。 標準設定の状態では, [ <b>選択を同期化</b> ] ボタンが選択されています。このボタ
	ンの選択を解除すると,2つの各ツリーで異なるCIを選択できます。これで,2 つの異なるCIを比較して,異なるプロパティを確認できます。
	<b>更新された項目を含む:</b> CI の属性値が変更されていることを示します。たとえ ば,次の図では <b>10.0.0.0</b> CI の横に [ <b>更新された項目を含む</b> ] アイコンが表示さ れています。これは,子である CI [ <b>10.168.100.3</b> ] アイコンの属性が変更された ためです。
	10.0.0.0 10.0.0.0 10.0.0.0 10.168.100.2 10.168.100.3 + + • • • • • • • • • • • • • • •
	検索(E):
	NameValueRoutingDomainDefaultDomP Network Mask255.0.00
×	<b>削除された項目</b> :CI がビューから削除されたことを示します。
*	新規項目:CIがビューに追加されたことを示します。          □-       ●       10.0.0.0         □-       ●       IpAddress         □-       ●       IpAddress         □       ■       10.168.100.2         *       ■       10.168.100.3         ●-       ●       ●         Windows       ●
Ç	更新された項目:CIの属性値が変更されたことを示します。
	たとえば、次の図ではCILABM3MAM16 に [更新された項] アイコンが表示され
	ています。これは, CI LABM3MAM16 か <b>[異なる属性値のみを表示] ――</b> アイコ ンで示されるように新しい [ <b>Version</b> ] 値で更新されたためです(ツリー構造の 下にある表示枠の [ <b>名前</b> ] カラムと [ <b>値</b> ] カラムを参照)。

UI 要素	詳細					
	sanity rep			4月11日 (日開	肈日) 10:55	
	telebinist 145 中國LABM3LTDB01 中國LABM3LTDB02 中國LABM3LTDDB01 中國LABM3LTDDB01 中國LABM3MAM16 ▼ 社BM3MAM16 ▼ 社BM3MAM16			Q LABM3LTDB01 (LABM3LTDB01) Q LABM3LTDB02 (LABM3LTDB02) Q Q LABM3LTDDB01 (LABM3LTDDB0 Q Q LABM3LTDDB02 (LABM3LTDDB0 Q Q LABM3MAM16 (LABM3MAM16) ↓ ↓ 検索(E):		
	名前	値		名前	値	
	DiscoveredProduc	MSSQL DB		DiscoveredProduc	MSSQL DB	
	Application Category	Database		Application Category	Database	
	Application Versio			Application Versio		
	ProductName	sql_server_datab		ProductName	sql_server_databa	
	Version			Version	2005	
	·		_			
<左右表示枠>	各アーカイブのビコ 側の表示枠には,2	ーにあるすべての つのアーカイブのう	CI 5 t	の階層ツリー構造か 5必ず古いほうが表着	「表示されます。左 示されます。	
< [プロパ ティ] 表示枠>	選択した CI の属性を表示します。 [プロパティ]表示枠には次のフィールドがあります。 •名前:CI のラベルに定義されている選択した CI の名前が表示されます。 •値:現在選択している CI の属性値を表示します。					
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右ク メニューにアクセス ショートカット・メ	7リックして[IT ユ くします。詳細につい 、ニュー」(213ページ	ニ い <sup>-</sup> ジ)	バース マネージャ] ては, 「IT ユニバー を参照してください	ショートカット・ ス・マネージャの ヘ。	
<ツールバー>	詳細については, てください。	「ツールバー・オプ	<b>ا</b>	ョンのレポート」(4)	27ページ)を参照し	
利用可能なアー カイブ	[ <b>アーカイブを含む</b> アーカイブを表示し	<b>\$レポート</b> ] フィー) \$ます。比較する 2 <sup>-</sup>	ルつ	ドで選択したレポー のアーカイブを選択	トの使用できる します。	
	注: [レポートの/	<b>パラメータ</b> ]ボタン	が	押された場合にのみ	表示されます。	
アーカイブを含 むレポート	比較するアーカイフ トのみが表示されま	プのレポートの名前 ます。	を	表示します。アーカ	イブのあるレポー	
	注: [レポートの/	<b>パラメータ</b> ]ボタン	が	押された場合にのみ	表示されます。	

## CI比較レポート

このレポートでは,2つの複合 CI の階層を比較できます。複合 CI は,CONTAINER 修飾子のある関係 によって別の CI にリンクされている CI です。選択したビューまたは CMDB に表示される複合 CI とそ の子 CI を表示できます。

比較 000129F4226 比較 16.59.50.88 D 相互ビュー: unix_V 比較: ○ビ ◆ 生成 凡例: ≠ → 致する 000129F4226	9 DefaultDomain /iew_1 ュー   CI なし  の更新された 59	<u>こ</u> こ 項目	<ul> <li>■</li> <li>■ 更新された項目を</li> <li>16.59.50.88 [</li> </ul>	全也 DefaultDomain
Image: Coord 12 St 42203       10         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203         Image: Coord 12 St 42203       Image: Coord 12 St 42203			E → ♥ № 16.59.50.88	3 DefaultDomain ess .59.50.88 IMP (16.59.50.88 Default
検索(F);			検索(F):	$\bigcirc$
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Name	Value		Name	Value
DiscoveredProdu	snmp		DiscoveredProdu	snmp 🔺
Application Categ			Application Categ	
Application Versio			Application Versio	=
ProductName Candidate For	Sat May 1 2010 0		ProductName Candidate For	Sun May 2 2010 0
利用方法	[マネージャ]	[ <del>.</del>	デリング] > [IT ユ:	ニバース マネージャー ?

【マネージャ】 [モデリング] > [IT ユニバース マネージャ] を選択しま す。トポロジ・マップ内の CI を右クリックし, [CI 比較レポート] を選択し ます。

	または,
	[マネージャ] >[モデリング]>[レポート]を選択します。[カスタム レポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 🐱 ボタンをクリックして [CI 比較レポート] を選択する。
	• [コンプライアンス]から次を行います。
	• [CI 比較レポート] をダブルクリックする。
	• <b>[CI 比較レポート</b> ]を右クリックし, [ <b>新規レポートの作成</b> ]を選択 する。
	• [CI 比較レポート] を選択し,右表示枠にドラッグする。
重要情報	• [CIを比較] ページは2つの表示枠に分かれています。各表示枠に,選択 したCIの階層ツリー構造が表示されます。 [選択を同期化] を押していれ ば,一方の表示枠でCIを選択すると,他方の表示枠で対応するCIが自動 的に選択されます。
	<ul> <li>比較できるのは、同じ CI タイプの 2 つの CI,または階層内にある同じ CI タイプの子のいずれかです。</li> </ul>
	• [CI を比較] レポートのプレビューとエクスポートに使用できる形式は, Excel 形式のみです。
関連タスク	<ul> <li>「CI を比較する方法」(329ページ)</li> </ul>
	• 「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
4	前の相違:「変更あり」とマークされた前の項目を検索します。
4	次の相違:「変更あり」とマークされた次の項目を検索します。
	<b>構成ファイルの相違を表示:</b> 2 つの構成ファイルの内容の相違を表示します。構 成ファイルには, xml, txt, またはini拡張子が使用されています。
	2 つの表示枠で CIT <b>Configuration File</b> の CI を選択し,[ <b>相違を表示</b> ]ボタンをク リックします。ウィンドウが開いて,構成ファイルの相違が(青でマークされ て)表示されます。
4.	<b>ツリー内の異なる CI のみを表示:</b> < [プロパティ] 表示枠>に,一致していない CI を含むツリー構造部分のみが表示されます。
UI 要素	詳細
--------------	---
	<b>異なる属性値のみを表示 :</b> < [プロパティ]表示枠>で,選択した CI の比較可能な すべての属性値が表示されている状態と,異なる属性値のみが表示されている状 態が切り替わります。
5050 1000	選択を同期化:一方の表示枠でCIを選択すると,他方の表示枠で対応するCIを自動的に選択できます。 標準設定の状態では,[選択を同期化]ボタンが選択されています。このボタン の選択を解除すると,2つの各ツリーで異なるCIを選択できます。これで,2つ の異なるCIを比較して,異なるプロパティを確認できます。
<u>®</u>	更新された項目を含む:CIの属性値が変更されていることを示します。たとえば、次の図では lpAddress CI の横に [更新された項目を含む] アイコンが表示されています。これは、子である CI [10.168.100.2] アイコンの属性が変更されたためです。
*	<ul> <li>一致する CI なし: ある表示枠の CI が別の表示枠の対応する CI と一致しないことを示します。</li> <li>次の例では,他方の表示枠に対応する CI がないため, [Windows] アイコンの横に[一致する CI なし] アイコンが表示されています。</li> <li>●● 10.0.00</li> <li>●● 10.0</li></ul>
G	<b>更新された項目 :</b> CI の属性値が変更されたことを示します。 たとえば,次の図では CI <b>10.0.0.2</b> と <b>16.59.124.1</b> に[ <b>更新された項目</b> ]アイコン



UI 要素	詳細
比較対象	次のいずれかを選択します。 ・ CMDB:CMDB全体に表示される選択した CI とその子 CI が含まれます。 ・ ビュー:特定のビューにのみ表示される選択した CI とその子 CI が含まれます。
比較 CI	比較する 2 つの CI を選択できます。
検索	<b>検索:[検索</b> ]フィールドに検索名または検索名の一部を入力して,リスト内の CI を検索します。
相互ビュー	比較する CI が同じビュー内に両方とも存在している場合, ビューの名前がこの フィールドに表示されます。両方とも存在していない場合, このフィールドには [ <b>相互ビューがありません</b> ]と表示されます。

## スナップショット比較レポート

このレポートを使用すると,異なる時刻に取った特定ビューの2つのスナップショットを比較できます。これにより,スナップショットを取った時刻におけるビューのステータスを比較して,ビューの 相違を視覚化できます。

🞯 スナップショット比較レポ、	–	* ×					
📑 レポートのバラメータ		9 🖂 🧃	e • 🛃	) - 🗟 9	§ 4 4	2 4.	
スナップショットを持つビュー NetworkTopology							
利用可能なスナップショット		時間	言羊術田	所有者	サイズ	ХŦ	
		現在	現在		0		
		2009			13		
😞 生成							
凡例: ★削除された項目 ★新規項目 ↓ 更新された項目 ● 更新された項目を含む							
NetworkTopology			Sat Ju	un 27 19	5:24:36	GMT	
<ul> <li>⊕-□ 172.16.7.0</li> <li>⊕-□ 192.168.111.0</li> <li>⊕-□ 192.168.196.0</li> </ul>		4		72.16.7.0  92.168.11  92.168.19	1.0 6.0		

利用方法 [マネージャ] > [モデリング] > [レポート] を選択します。 [カスタムレ ポート] 表示枠で、次のいずれかを行います。

 [新規レポートの作成] ふ ボタンをクリックして [スナップショット比較レポート] を選択する。
 [コンプライアンス] から次を行います。
 [スナップショット比較レポート] をダブルクリックする。
 [スナップショット比較レポート] を右クリックし、[新規レポートの 作成] を選択する。
 [スナップショット比較レポート] を選択し、右表示枠にドラッグす る。

**>>** 

	<b>注:</b> IT ユニバース・マネージャでスナップショットを取って比較すること もできます(詳細については,「[スナップショットを保存する]ダイア ログ・ボックス」(227ページ)を参照してください)。
重要情報	<ul> <li>現在のスナップショットと以前のスナップショット,または過去に取得した2つのスナップショットを比較できます。</li> <li>定期的に特定ビューのスナップショットを取って保存するスケジュールを定義できます。詳細については、「[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]」(411ページ)を参照してください。</li> <li>[スナップショットを比較]レポートのプレビューとエクスポートに使用できる形式は、Excel 形式のみです。</li> </ul>
	<b>注:</b> UCMDB 10.00 より前のバージョンで作成したスナップショットは, UCMDB 10.00 以上で作成したスナップショットと比較できません。
関連タスク	<ul> <li>「スナップショットを比較する方法」(331ページ)</li> <li>「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「[スナップショットを保存する]ダイアログ・ボックス」(227ページ)</li> <li>「[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]」(411ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
1	<b>すべてを展開 :</b> 選択した CI の階層ツリー構造全体を展開します。
	<b>すべてを折りたたみ</b> :選択した CI の階層ツリー構造を折りたたみます。
4	前の相違:「変更あり」とマークされた前の項目を検索します。
<u>_</u>	次の相違:「変更あり」とマークされた次の項目を検索します。
	<b>構成ファイルの相違を表示:</b> 2 つの構成ファイルの内容の相違を表示します。構成 ファイルには,xml,txt,またはini拡張子が使用されています。
	2 つの表示枠で CIT <b>Configuration File</b> の CI を選択し, [ <b>相違を表示</b> ]ボタンをク リックします。ウィンドウが開いて,構成ファイルの相違が(青でマークされ て)表示されます。
4.	<b>ツリー内の異なる CI のみを表示:</b> < [プロパティ]表示枠>に,一致していない CI を含むツリー構造部分のみが表示されます。

UI 要素	詳細
	<b>異なる属性値のみを表示:</b> < [プロパティ]表示枠>で,選択したCIのすべての属 性値が表示されている状態と,変更された属性値のみが表示されている状態が切 り替わります。
	<b>選択を同期化:</b> 一方の表示枠で CI を選択すると,他方の表示枠で対応する CI を自 動的に選択できます。
	標準設定の状態では, [ <b>選択を同期化</b> ] ボタンが選択されています。このボタン の選択を解除すると, 2 つの各ツリーで異なる CI を選択できます。これで, 2 つ の異なる CI を比較して, 異なるプロパティを確認できます。
Đ	更新された項目を含む: CI の属性値が変更されていることを示します。たとえば、次の図では 10.0.0 CI の横に [更新された項目を含む] アイコンが表示されています。これは、子である CI [10.168.100.3] アイコンの属性が変更されたためです。          10.0.0         10.0.0         「●●● lpAddress         10.168.100.2         ●●●● Windows         検索(E):         ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
*	<b>削除された項目</b> :CI がビューから削除されたことを示します。
*	新規項目:CIがビューに追加されたことを示します。          □-↓ 図 10.0.0.0         □-↓ 図 lpAddress         □-↓ ③ lpAddress         □-↓ ③ lpAddress         □-↓ ③ lpAddress         □-↓ ③ lpAddress         □-↓ ④ lpAddress         □-↓ ④ lpAddress         □-↓ ● Windows
G	<b>更新された項目:</b> CI の属性値が変更されたことを示します。 たとえば,次の図では CI LABM3MAM16 に [ <b>更新された項</b> ] アイコンが表示され

UI 要素	詳細				
	ています。これは, CI LABM3MAM16 が [ <b>異なる属性値のみを表示</b> ] で示されるように新しい [ <b>Version</b> ] 値で更新されたためです(ツリー構造の ある表示枠の [ <b>名前</b> ] カラムと [ <b>値</b> ] カラムを参照)。				
	sanity rep 4月11日 (日曜日) 10:55…				
	Image: Additional of the second se				ABM3LTDB01) ABM3LTDB02) 11 (LABM3LTDDB0 22 (LABM3LTDDB0 (LABM3MAM16)
	検索(E):		1	検索(E):	
	名前	値		名前	値
	DiscoveredProduc	MSSQL DB	1	DiscoveredProduc	MSSQL DB
	Application Category	Database	1	Application Category	Database
	Application Versio	and annual datate		Application Versio	and annual databa
	Version	sql_server_datab		Version	sql_server_databa 2005
<左右表示枠>	該当のスナップショ ます。左側の表示格 す。	ıットのビューにある ≌には, 2つのバーミ	るす <sup>.</sup> ジョン	べての Cl の階層ツ ンのうち必ず古い!	リー構造が表示され まうが表示されま
< [プロパ	選択した CI の属性を表示します。				
ティ」表示枠	[プロパティ]表示枠には次のフィールドがあります。				
	<ul> <li>名前:CIのラベルに定義されている選択したCIの名前が表示されます。</li> <li>値:現在選択しているCIの属性値を表示します。</li> </ul>				
<ショート カット・メ ニュー>	レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ] ショートカット・メ ニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。				
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照して ください。				
利用可能なス ナップショッ ト	[スナップショットを持つビュー]フィールドで選択したビューの現在のステー タスと以前に保存したスナップショットが表示されます。比較する2つのスナッ プショットを選択します。 標準設定では、3ヵ月間空のスナップショットは非表示になります。				

UI 要素	詳細
	注: [レポートのパラメータ] ボタンが押された場合にのみ表示されます。
スナップ ショットを持 つビュー	比較するスナップショットのビューの名前を表示します。スナップショットを 取ったビューだけが表示されます。
	注: [レポートのパラメータ] ボタンが押された場合にのみ表示されます。

## Configuration Manager ポリシー・レポート

このレポートは, Configuration Manager のポリシーのコンプライアンス・レベル・データを表示します。



重要情報	Configuration Manager が実行中で,かつ,UCMDB で動作するように設定されて いる場合,このレポートは顧客レポートに表示されます。インフラストラク チャ設定マネージャの [ <b>構成マネージャ URL</b> ] 設定には,Configuration Manager のアプリケーションの URL を設定しておく必要があります。
	レポートを表示するには, UCMDB で CMPolicyAdapter を設定する必要がありま す。詳細については, 『HP Universal CMDB Configuration Manager ユーザーズ・ ガイド』の「UCMDB での連合ワークフロー」を参照してください。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<棒グラフ/ 円グラフ>	レポートには,各ポリシーとともに, [ <b>グループ化</b> ] で選択したグループ化に応じ て各グループのメンバーの平均コンプライアンス・レベルが表示されます。
	グループをクリックして次のレベルまでドリルダウンができます。ここで,グルー プ内の Cl の詳細情報が表示されます。
<現在位置表 示リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの最上 部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっています。
<ツールバー >	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく ださい。
グループ化	ドロップダウン・リストから属性を選択します。選択した属性によって,レベルの x 軸に沿って出力がどのようにグループ化されるかが決まります。また,どのカラ ムがレポートの第2レイヤに表示するのかも決まります。
	次のオプションを使用できます。
	• СІ Туре
	Classification
	• Layer
	<ul> <li>ポリシー名</li> </ul>
	Policy Compliance Status
Views	省略記号のボタンをクリックすると, [Views] ダイアログ・ボックスが開きま す。必要なビューを選択し, [ <b>OK</b> ] をクリックします。ビューは,少なくとも1 つ,かつ,5つ以下を選択する必要があります。

データベース・ブレークダウン・レポート

このレポートには,データベース・タイプとバージョンのブレークダウンが表示されます。システム にデプロイされているすべてのデータベース,または特定の場所にデプロイされているデータベース を表示できます。

国または地域: すべて 🔷 状態: すべて 🔷 市町村: すべて 🗨
データベース・ブレークダウン
データベース・ブレークダウン
<b>次でブレークダウンカウント</b> グラフ セクションをクリックしてドリル ダウンします
NySQL 数量: 100 割合: 25% 文도 Server 教量: 228 割合: 56% 이racle 数量: 76 割合: 19%
<ul> <li>利用方法         [マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート]を選択します。 [カスタムレポート] ま         示枠で、次のいずれかを行います。         • [新規レポートの作成] ③ ボタンをクリックして [データベース・ブレークダウ ン・レポート]を選択する。         • [ブレークダウン] から次を行います。         • [ブレークダウン] から次を行います。         • [データベース ブレークダウン レポート] をダブルクリックする。         • [データベース ブレークダウン レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選択する。         • [データベース ブレークダウン レポート] を選択し、右表示枠にドラッグする。         • [データベース ブレークダウン レポート] を選択し、         • [データベース ブレークダウン レポート] を 第         • [データベース ブレークダウン レポート] を 第         • [ データベース ブレークダウン レポート] を 第         • [ データベース ブレークダウン レポート] ●         • [ データベース ブレークダウン レポート] ●         • [ データベース ブレークダウン レポート] ●         • [ データ ●</li></ul>

関連タ	「カスタム・レポートの生成方法」	(329ページ)
スク		

UI 要素	詳細
<棒グラフ/円グ ラフ>	円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,異なるデータベースを示しま す。
	スライス/棒をクリックするとバージョンごとに並べ替えられたデータベースが 表示され,再度クリックするとドリルダウンしてテーブル形式でバージョン情 報が表示されます。
	各セグメント / 棒の上にマウスを置くと,データベース名,各データベースで検 出される CI インスタンス数,全体に対するセグメントの割合(円グラフ形式で 情報を表示している場合),およびスライス / 棒で表される CI タイプがツール チップに表示されます。
	円グラフの下にある凡例には,各CIの名前とその下のレベルにバージョンが表 示されます。
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	個々の CI のレベルまでドリル・ダウンして,レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メニューにアクセスします。詳 細については,「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」(213 ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
市町村	データベース・ブレークダウン・データを表示する対象の都市を選択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択して,すべての都市のブレークダウンを表示します。
	注: [市町村] 属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。
国または地域	データベース・ブレークダウン・データを表示する対象の国または地域を選択 するか, [ <b>すべて</b> ]を選択して, すべての国または地域のブレークダウンを表 示します。
	<b>注: [国または地域</b> ]属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。

UI 要素	詳細
すべての統合ポ イントを含める	このチェック・ボックスを選択すると,フェデレート Cl がレポートに組み込ま れます。このチェックボックスがオフになっていると,ローカル Cl のみがレ ポートに含まれます。
州	データベース・ブレークダウン・データを表示する対象の州を選択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択して,すべての州のブレークダウンを表示します。
	注: [州] 属性にデータを含む CIT のみに関連します。

削除候補レポート

このレポートには,定義した期間内に削除された CIT と関係,および削除される予定の CIT と関係が 表示されます。



HP Universal CMDB (10.20)

	• [新規レポートの作成] 膨 ボタンをクリックして [削除候補レポート] を選択す
	る。
	• [ <b>全般</b> ] から次を行います。
	• [ <b>削除候補レポート</b> ] をダブルクリックする。
	• [ <b>削除候補レポート</b> ]を右クリックし, <b>[新規レポートの作成</b> ]を選択する。
	• [ <b>削除候補レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
関連タ スク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要 素	詳細
<棒グ	棒グラフのカラムの各セグメントは,CI または関係の CIT を示します。
ラフ>	バーをクリックすると,ドリルダウンして削除された CIT と関係,および削除される予定 の CIT と関係が表形式で表示されます。
	各棒の関連する色の上にマウスを置くと,削除された CI と関係の数または削除される予定 の CI と関係の数,および棒で表される CI タイプがツールチップに表示されます。
	凡例には,削除された CI と関係を示す色,削除される予定の CI と関係を示す色が表示さ れます。各 CI または関係の CIT は下に表示されます。
<ツー ル バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してください。
開始 日付	レポートの開始日時を設定します。
終了 日付	レポートの終了日時を設定します。
時間 範囲	検出された変更を表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムに よって[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスの開始日 付と終了日付を手動で設定できます。

## 依存関係レポート

このレポートでは,選択したビューのサーバ同士,またはCMDBのサーバと選択したビューのサーバを接続するすべてのタイプの依存関係のリストを生成できます。

このレポートには次の関係が含まれます。

- データベースとクライアント間に存在する関係
- クライアントとサーバ間に存在する関係
- MQ 接続の結果として作成される関係

ビュー: Weblogic_To 🔻 🔜 次に基づく情報を検索 🔿 CMDB 💿 ビュー			
Node	Relationship	Counter	Clients
DR3	Talk	2	[DR3, DR3]
ilo-labm3amrnddb06.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm3amrnddb06.devlab.ad, ilo-labm3amrnddb06.devla
VMAMRND91	Talk	2	[VMAMRND91, VMAMRND91]
LABM3AM202	Talk	2	[LABM3AM202, LABM3AM202]
LABM2AM31	Talk	2	[LABM2AM31, LABM2AM31]
☐ ilo-illabesx23.devlab.ad	Talk	2	[ilo-illabesx23.devlab.ad, ilo-illabesx23.devlab.ad]
☐ ilo-labm3erp01.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm3erp01.devlab.ad, ilo-labm3erp01.devlab.ad]
VMFTRND27	Talk	2	[VMFTRND27, VMFTRND27]
☐ ilo-labm3ccm29.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm3ccm29.devlab.ad, ilo-labm3ccm29.devlab.ad]
ilogb8920rfc6.devlab.ad	Talk	2	[ilogb8920rfc6.devlab.ad, ilogb8920rfc6.devlab.ad]
📄 ilo-illabbac011.devlab.ad	Talk	2	[ilo-illabbac011.devlab.ad, ilo-illabbac011.devlab.ad]
ilo-labm3amrnd57.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm3amrnd57.devlab.ad, ilo-labm3amrnd57.devlab.ad]
☐ ilo-labm3am235.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm3am235.devlab.ad, ilo-labm3am235.devlab.ad]
llabesx60.devlab.ad	Talk	2	[illabesx60.devlab.ad, illabesx60.devlab.ad]
IMPULSE	Talk	2	[IMPULSE, IMPULSE]
	Talk	2	[ilo-labm3am241.devlab.ad, ilo-labm3am241.devlab.ad]
📄 ilo-labm1rac02.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm1rac02.devlab.ad, ilo-labm1rac02.devlab.ad]
LABM3AMRNDDB03	Talk	2	[LABM3AMRNDDB03, LABM3AMRNDDB03]
ilo-labm3am224.devlab.ad	Talk	2	[ilo-labm3am224.devlab.ad, ilo-labm3am224.devlab.ad]
VMAMQA70	Talk	2	[VMAMQA70, VMAMQA70]
ilaab9024tkay daylab ad	Talk	2	filesh902.tttcou douloh od, ilesh902.tttcou douloh od1

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート]を選択します。[カスタム レ ポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 迷 ボタンをクリックして [依存関係レポート] を 選択する。
	• [ <b>全般</b> ] から次を行います。
	• [依存関係レポート] をダブルクリックする。
	• [依存関係レポート]を右クリックし,[新規レポートの作成]を選択す る。

	• [依存関係レポート]を選択し,右表示枠にドラッグする。
重要情報	エンリッチメント・マネージャで新しい TQL クエリを作成するには, <b>Dependency</b> 関係を使ってノード間の接続を記述します。新しい <b>依存関係</b> が使用 されるたびに,依存関係レポートに表示されます。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<ショートカット・ メニュー>	詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メ ニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。
次に基づく情報を 検索	次のいずれかを選択します。 ・ CMDB:選択したビューのサーバに依存している CMDB 内のサーバをすべ て表示します。 ・ ビュー:選択したビューのサーバ間の依存関係がすべて表示されます。
ビュー	必要なビューを選択します。

生成されるレポートには、次の要素が含まれています。

UI 要素	説明
クライアント	サーバにリンクされているクライアントのリストです。
カウンタ	サーバが接続されているクライアントの数です。
Node	選択したビューのサーバです。
関係	トポロジ・マップにおける関係の表示ラベルです。

## ディスカバリ・エラー・レポート

このレポートでは,不正な資格情報など,実行時にデータ・フロー管理で発生する特定の問題を検出 できます。

利用方法	【マネージャ】 > 【モデリング】 > 【レポート】を選択します。 [カスタム レ ポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 述 ボタンをクリックして,[ディスカバリ エラー

	レポート]を選択します。 ・ [ディスカバリ ステータス] で: ・ [ディスカバリ エラー レポート] をダブルクリックする。 ・ [ディスカバリ エラー レポート] を右クリックし, [新規レポートの作 成] を選択する。
	• [ <b>ディスカバリ エラー レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
重要情報	<ul> <li>表示するカラムを選択には、「カラムの選択」ボタンをクリックします。</li> <li>カラムを非表示にするには、カラムのヘッダを右クリックして「カラムを削除」を選択します。</li> <li>空のカラムを非表示にするには、ヘッダを右クリックして「空のカラムを削除」を選択します。</li> <li>カラムの順序を変更するには、カラム・ヘッダをドラッグ・アンド・ドロップします。</li> <li>注:ディスカバリ・エラー・レポートは、現在アクティブなジョブのエラーのみに関連します。</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[ディスカバリの進行状況] ダイアログ・ボックス」</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラー・メッセージの概要」</li> </ul>

UI 要素	詳細
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。
ディスカバリ・ モジュール	エラーを表示するモジュールを選択します。すべてのモジュールまたは特定の モジュールを選択できます。
<b>Discovery Probe</b>	Data Flow Probe を選択します。
生成	クリックするとエラーのリストを生成します。
重大度	表示するエラーのタイプを選択します。エラーの定義については, 『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラーの重大度レベル」を参

UI 要素	詳細
	照してください。
	<b>注:</b> 複数のエラー・タイプを選択できます。
時間範囲	エラーを表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムに よって[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注: [カスタム</b> ] を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ] および [ <b>終了日付</b> ] ボック スの開始日付と終了日付を手動で設定できます。

生成されるレポートには、次の要素が含まれています。

UI 要素	説明	
CI タイプ	トリガ CI の CIT です。	
カウント	エラー・サマリ・グループに含まれるエラーの数です。	
エラー・メッ セージ	詳細なエラー・メッセージ。	
エラーサマリ	エラーの要約。	
	<b>注:</b> 類似のエラーはまとめてグループ化されます。 [カウント] カラムはエ ラーの数を示します。	
ジョブ	エラーがレポートされているジョブ。	
プローブ	エラーをレポートした Data Flow Probe。	
関連 IP	トリガ CI に関連することが認識されている IP。	
関連ノード	トリガ CI に関連するノード。	
重大度	エラーの重大度のレベル(警告,エラー,致命的エラー)。	
エラー報告時間	エラーがレポートされた時間。	
トリガ CI	エラーがレポートされたトリガ Cl。	

### 汎用ブレークダウン・レポート

このレポートには、次の情報による CI タイプのブレークダウンが表示されます。

- CIT ツリーの選択した CIT でグループ化される CIT
- CIT 属性

#### CIタイプの詳細については、「CIタイプ・マネージャ」(450ページ)を参照してください。



汎用ブレークダウン レポート

```
次でブレータダウン: Cl Type
```





利用方 法	[ <b>マネージャ] &gt;[モデリング]&gt;[レポート]を選択します。[カスタム レポート</b> ]表 示枠で,次のいずれかを行います。
	<ul> <li>「新規レポートの作成」 ボタンをクリックして [汎用ブレークダウン レポート]を選択する。</li> </ul>
	<ul> <li>[ブレークダウン] から次を行います。</li> <li>[汎用ブレークダウン レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>
	• [ <b>汎用ブレークダウン レポート</b> ]を右クリックし, [ <b>新規レポートの作成</b> ]を選 択する。
	• [ <b>汎用ブレークダウン レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。
関連タ スク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<棒グラフ/円グ ラフ>	円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,CIT または CIT 属性を示しま す。これは,ブレークダウンしたレベルによって異なります。
	スライス/棒をクリックすると,次のレベルにドリルダウンします(定義されて いる場合)。最大 3 つの異なるレベルがあるレポートを生成できます。情報を テーブル形式で表示することもできます。

UI 要素	詳細
	関連するセグメント / 棒の上にマウスを置くと,CIT または CIT 属性で検出され る CI インスタンス数,全体に対するセグメントの割合(円グラフ形式で情報を 表示している場合),およびスライス / 棒で表される CIT または CIT 属性がツー ルチップに表示されます。
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの最 上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	個々の CI のレベルまでドリル・ダウンして,レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メニューにアクセスします。詳 細については,「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」(213 ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
次でブレーク ダウン	最初のレベルに必要なブレークダウンを選択します。
ブレークダウ ンする CIT	選択した属性でブレークダウンされているインスタンスを持つ CIT。
すべての統合 ポイントを含 める	このチェック・ボックスを選択すると,フェデレート Cl がレポートに組み込ま れます。このチェックボックスがオフになっていると,ローカル Cl のみがレ ポートに含まれます。
続いて次で並 べ替え	(任意指定)2 番目および 3 番目のレベルに必要なブレークダウンを選択しま す。

ゴールド・マスタ・レポート

このレポートは,1つ以上の CI とゴールド・マスタとして指定されている別の CI を比較し,比較 CI のどの設定がゴールド・マスタ CI と異なるのかを示します。

このレポートは、ゴールド・マスタ CI の属性値を同じ CIT の比較 CI の属性値と比較します。

注:

- ゴールド・マスタ・レポートでは、値が異なる場合にのみ CI 属性の比較結果が表示されます。
- ゴールド・マスタ・レポートは,フェデレート CI には使用できません。

セクションが空の場合は、ゴールド・マスタ CI とその CIT の比較 CI のすべての属性値が同一である ことを意味します。このような場合は、サブグラフの次のレイヤの属性が比較され、その後も同様に 繰り返されます。

あるレイヤの比較 CI に異なる属性が見つかると、ゴールド・マスタ・レポートはサブグラフ内のほかのレイヤを比較して相違点を見つける処理を中止します。

マスタ CI: 10.12.37.31			A
比較 CI: pactserver	a	除外 CI タイプ:	≡
☑ 同一の属性値を表示			•
•			•
🧕 生成			
Display Label	属性名	Goldmaster CI内の値	比較 CI の値
- 🖆 pactserver			
– 📖 Interface	CIインスタンス カウン	1	1
IpAddress	CIインスタンス カウン	1	1

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート] を選択します。 [カスタム レ ポート] 表示枠で,次のいずれかを行います。 [新規レポートの作成] <sup>[</sup> ポタンをクリックして [ゴールド マスタ レポー
	ト」を選択する。
	[ <b>コンプライアンス</b> ] から次を行います。
	<ul> <li>[ゴールドマスタレポート]をダブルクリックする</li> </ul>
	・ [ゴールド マスタ レポート]を右クリックし, [新規レポートの作成]を選 択する。
	• [ゴールド マスタ レポート]を選択し、右表示枠にドラッグする。
重要情報	比較できるのは, CIT マネージャで <b>比較可能</b> な修飾子を割り当てられた属性だけ です。詳細については, 「CI タイプ・マネージャ」(450ページ)を参照してくだ さい。
関連タスク	「スナップショットを比較する方法」(331ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
<ショート カット・メ ニュー>	詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」 (213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照して ください。
属性名	CI 属性の名前です。

UI 要素	詳細
比較 CI	属性値をゴールド・マスタ CI と比較する CI を選択できます。 [CI の選択]が開き ます。詳細については, 「CI セレクタ」(130ページ)を参照してください。
同一の属性値 を表示	ゴールド・マスタ CI の設定と同じ設定の比較 CI を含む場合,このチェック・ボッ クスを選択します。
	<b>注:</b> このチェックボックスを選択しないと,同一属性値を持つ [Gold Master CI 内の値] と [比較 CI の値] の両カラムは空になります。
表示ラベル	比較 Cl の表示名です。
除外 CI タイプ	レポートから除外する CI タイプを選択します。
マスタ CI	ゴールド・マスタ CI として使用する CI を選択できます。 [CI の選択] が開きま す。詳細については, 「CI セレクタ」(130ページ)を参照してください。
比較 CI の値	比較 CI の属性の値です。

# ハードウェア・コンポーネント・サマリ・レポート

このレポートには、システム内で検出されたすべてのハードウェア・タイプのノード要素が示されま す。

🛅 デパイス 猜報レポート1* 🛛 🔝 ノードサマリレポート2* 🗙 📓 デパイス 情報レポート2* 🗙		
💾 🗟 📷 🗐 🚥 🗲 🔁 🗴 🔞 女囚 ロインスタンスを表示。 anaged Object (0) 🔻 🗶 🚰 🤪 限 🔄 🔍		
Hardware Component Summary Report D Interface		
Display Label	InterfaceDescription	MacAddress
e1000g0		0050569B66C9
e1000g0:1		
eth1	Advanced Micro Devices [AMD] 79c970 [PCnet32 LANCE]	005056AA0067
i lo		
i lo0		
Local Area Connection 2	Intel(R) PRO/1000 MT Network Connection #2	005056AA000A
Local Area Connection* 11	Teredo Tunneling Pseudo-Interface	020054554E01
Local Area Connection* 8	isatap.asiapacific.hpqcorp.net	
Local Area Connection* 9	6TO4 Adapter	
Loopback Pseudo-Interface 1	Software Loopback Interface 1	
Microsoft Tun Miniport Adapter	Microsoft Tun Miniport Adapter	020054554E01
iii virbr0		D6E8BA2AC73B



	<ul> <li>[ハードウェア コンポーネント サマリ レポート]を右クリックし、 [新 規レポートの作成]を選択する。</li> </ul>
	• [Hardware Component Summary Report] を選択し,右表示枠にドラッ グする。
重要情報	レポートのトップ・レベルには,各デバイス・タイプについて,要素の数が表 示されます。番号をクリックすると次のレイヤにドリルダウンし,個別ハード ウェア・コンポーネントと詳細データの一覧が表示されます。
	レポートに表示されるハードウェア・コンポーネントには, CPU, ディスク・デ バイス, ファン, ハードウェア・ボード, I/O スロット, インターフェース, メ モリ・ユニット, 物理ポート, 電源, プリンタ, SCSI アダプタがあります。
	[ <b>カラムの選択</b> ] ᇞ ボタンを使用して,レポートに表示する属性を選択しま す。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフ の最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ] ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。

## 影響分析レポート

このレポートには、シミュレートされた変化の結果として影響を受けるシステム内の CI のリストが 表示されます。詳細については、「[影響分析を実行]ダイアログ・ボックス」(225ページ)を参照 してください。

🚰 レポートのバラメータ 📋 🕲 🖂 🥥 🖙 🔸 🎦 🗸			
トリガ CI: OC 🔜 重大度: Major(7) 💌 ルールバンドル: UCMDB 💌			
😞 生成			
トリガ CI CIT 別のグループ化 影響を受けるアプリケーション			
次の CI インスタンスを表示: 🛛 Interface (1) 💿 🗙 😭 🥵 眠 計 🂙			
Display Label 👳			
iiii 0013729B95D0			

利用方 法	[ <b>マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。[カスタム レポート</b> ]表 示枠で,次のいずれかを行います。				
	• [新規レポートの作成] 🐱 ボタンをクリックして [影響分析レポート] を選択する。				
	<ul> <li>「全般」から次を行います。</li> <li>「影響分析レポート」をダブルクリックする。</li> </ul>				
	• [影響分析レポート]を右クリックし,[ <b>新規レポートの作成</b> ]を選択する。				
	• [ <b>影響分析レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグする。				
関連タ スク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)				
関連情	• 「影響分析マネージャ」(432ページ)				
報	• 「[影響分析を実行]ダイアログ・ボックス」(225ページ)				

UI 要素	詳細
<ショートカット・メニュー>	レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネー

UI 要素	詳細		
	ジャ] ショートカット・メニューにアクセスします。詳細 については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカッ ト・メニュー」(213ページ)を参照してください。		
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」 (427ページ)を参照してください。		
ルール・バンドル	影響の分析ルールで使用するルール・グループを選択でき ます。		
重大度	トリガ CI をシミュレートする重大度レベルを設定しま す。		
トリガロ	システムに加える変化を表す Cl を選択します。 [Cl の選 択] が開きます。		

[影響を受けるアプリケーション] タブ

このタブには、トリガ CI の重大度の変更による影響を受けた特定のビジネス・アプリケーションに属するすべての CI が表示されます。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
<b>表示ラベル</b> トポロジ・マップに表示される CI または関係の名前。	
トリガの重大度	[ <b>重大度</b> ] ボックスで選択された重大度です。

[CIT 別のグループ化] タブ

このタブには、シミュレートされた変化の結果として影響を受けるシステム内のトリガ CI に関連するすべての CI が CI タイプごとに並べ替えられた状態で表示されます。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
表示ラベル	トポロジ・マップに表示される CI または関係の名前。
トリガの重大度	[ <b>重大度</b> ] ボックスで選択された重大度です。

[トリガCI] タブ

このタブには、システムに加える変化を表す CI がすべて表示されます。このタブの CI は、 [トリガ CI] ボックスで選択した CI です。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
表示ラベル	トポロジ・マップに表示される Cl または関係の名前。

# [ジョブリスト] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスには、「[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]」 (411ページ)で実行するようスケジュールされたレポート/スナップショットのリストが表示されま す。

	×
ジョブリスト	
* / b x > 11 6 5 %	
名前     詳細     現在のス     実行ステー     最終実行     次の実行     タイムゾーン	
	2

利用方法	<ul> <li>実行するようスケジュールされたレポートのリストを表示するには、[マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [レポート] ページで、[スケジュールされたレポート ジョブを表示] ⑤ ボタンをクリックします。</li> <li>スナップショットを取るスケジュールを定義するには、[マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [トポロジレポート] 表示枠で、必要なビューを選択して [スナップショット] 応 ボタンをクリックし、[スケジュールされたスナップショット ジョブを表示] を選択します。</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「トポロジ・レポートの表示方法」(328ページ)</li> <li>「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
*	<b>新規のスケジュールされたレポートを挿入:</b> [定期レポート]ダイアログ・ボッ クスを使用して新しいジョブを定義できます。
<i>Ø</i>	<b>ジョブを編集:</b> [定期レポート] ダイアログ・ボックスを使用して選択したジョ ブを編集できます。
₽ <b>`</b>	<b>コピーを作成:</b> 選択したジョブのコピーを作成できます。選択したジョブの詳細 を使用する [定期レポート] ダイアログ・ボックスで新しいジョブを開きます。
×	<b>ジョブの削除 :</b> 選択したジョブをスケジュールされたジョブのリストから削除し ます。
	<b>直ちにジョブを実行:</b> 選択したジョブを実行します。
	ジョブの中断:選択したジョブを中断します。ジョブのステータスが [ <b>保留中</b> ] の場合にのみ有効になります。
<b>()</b>	<b>ジョブの再開 :</b> 選択したジョブを再開します。
	<b>注: [ジョブの再開</b> ] ボタンは,ステータスが [ <b>中断</b> ] のジョブの場合にの み有効になります。
S	更新:スケジュールされたジョブのリストを更新します。
V	<b>フィルタのクリア :</b> 現在のフィルタをクリアします。
	<b>表示カラムの変更:</b> 表示するカラムを選択できます。
現在のステー タス	スケジュールされた各ジョブの現在のステータスです。 • 実行中:このジョブは現在実行中です。 • 保留中:このジョブはスケジュールの要件が満たされるのを待機しています。 • 完了:このジョブは実行が完了しています。 • 中断:このジョブは中断しています。
	<b>注:</b> ステータスが [ <b>完了</b> ] になっているジョブの実行を再開する場合, [直 ちにジョブを実行] をクリックするか, [ <b>次の実行時間</b> ] を現在時刻に変更 します。未来の時刻に変更すると, ステータスが [ <b>保留中</b> ] に変わります。
詳細	[定期レポート] ダイアログ・ボックスで定義された, スケジュールされたジョ ブの説明です。
実行ステータ ス	ジョブの現在の実行ステータス : • 成功 : ジョブは正常に完了しました( <sup>〇</sup> アイコンで示されます)。

UI 要素	詳細
	<ul> <li>失敗:ジョブの実行は失敗しました(<sup>2</sup> アイコンで示されます)。<sup>2</sup> アイコン上にポインタを置くと次の情報が表示されます。</li> <li>エラーの詳細</li> </ul>
	• 関連する HP Universal CMDB 内部例外
	• なし:このジョブはまだ実行されていません。
最終実行時間	レポートが最後に実行された時間です。
名前	[定期レポート] ダイアログ・ボックスで定義された, スケジュールされたジョ ブの名前です。
次の実行時間	このレポートが次に実行される時間です。
タイムゾーン	このジョブの実行がスケジュール設定されている時間帯です。

# ライセンスがある OSI のレポート

このレポートには,ライセンスがあるすべての OSI (UDi およびフル)および加算対象のサードパー ティのライセンスを表示します。

📔 ライセンスがある OSI1* ×			4 ▷ 🗉		
📋 🚹 👘 🖂 🗐 🖨 🔹 🎦 🔹 🖪					
ライセンスがある CI サード パーティ ライセンス ASM ライセンス					
)次の CI インスタンスを表示: 🛛 Windows (1) 💦 🗶 😭 😂 🛄 計 🔍					
CLID	CIタイプ	UD Full	CM管理対象		
📇 win-eq536bIndiq	Windows	-	true		

利用方法	<b>[モデリング]&gt;[レポート]</b> を選択します。[ <b>カスタム レポート</b> ]表示枠 で,次のいずれかを行います。
	<ul> <li>         ・ [新規レポートの作成] ※ ボタンをクリックして、[ライセンスがある         OSI のレポート]を選択します。     </li> </ul>
	• Click [管理] をクリックして,次のいずれかを行います。
	<ul> <li>         ・         「ライセンスがある OSI のレポート]を右クリックし、         「新規レポート         の作成]を選択する。     </li> </ul>
	• [ <b>ライセンスがある 0SI のレポート</b> ] をダブルクリックする。

	• [ <b>ライセンスがある 0SI のレポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグす る。
関連タスク	『HP Universal CMDB モデリング・ガイド』の「カスタム・レポートの生成」

UI 要素	説明
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・ メニューにアクセスします。詳細については,「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。

ライセンスがあるCIタブ

重要情報	CIの変更履歴を表示するには、必要なCIの行の任意の部分を右クリックし、
	[ <b>CI 履歴</b> ]を選択します。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427 ページ)を参照してください。
<ショートカット・メニュー>	詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショートカッ ト・メニュー」(213ページ)を参照してください。
CI ID	CI の名前とアイコンです。
CI タイプ	Cl のタイプです。
CM 管理	CM ライセンスが使用可能かどうかを示します。
UD Full/UD SAW	このカラムに表示される UI 要素は既存のライセンスのタイプに よって,およびライセンスが使用可能かどうかによって変わりま す。
UD Inventory	UD Inventory のライセンスが使用可能かどうかを示します。

**注:** [CM 管理], [UD Full/UD SAW], および [UD Inventory] の各カラムは, その種類の該 当ライセンスが適用されると, ユーザ・インタフェースに表示されます。 これらの3つのカラムには次の値が含まれます。

- "true": 類似のライセンスの関連コンテキストで CI インスタンスが加算される場合
- "false":類似のライセンスの関連コンテキストでCIインスタンスが加算される場合で,容量の制限を超過している場合。
- "-" 上記のライセンス・タイプ内で CI インスタンスが適用されない場合。

[サードパーティ ライセンス] タブ

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
<ツール バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく ださい。
アダプタ名	アダプタの名前です。
統合名	管理データのリポジトリ(MDR)ライセンスについて考慮に入れられる統合の名前 です。

ASMライセンス・タブ

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明			
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を 参照してください。			
表示ラベル	ディスカバリ・サービスのアクティビティの名前です。			
ASM ライセンス	ASM ライセンスのステータスを示します。			
	• True - 有効な ASM ライセンスが使用可能な状態です。			
	• False - ASM ライセンスが使用できません。			

## 移行の進行状況レポート

このレポートは, DDMI から Universal Discovery への移行後に有用な, ノードおよびエージェントに 関する情報を表示します。

利用方法	<b>[モデリング] &gt; [レポート]</b> を選択します。 [カスタム レポート] 表示枠
	で, [ <b>管理</b> ]をクリックし, [ <b>移行の進行状況レポート</b> ]を選択します。 [ <b>生</b>
	<b>成</b> ]をクリックして,レポートを作成します。

#### ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照して ください。
グループ化	必要なグループ化を選択します。たとえば,エージェントがインストールされて いるノードを表示するには, <b>[エージェントがあるノード</b> ]を選択します。さら に,カウント情報を含むすべてのパラメータの概要を表示するには, <b>[概要</b> ]を 選択します。

ネットワーク・デバイス・ブレークダウン・レポート

このレポートには,ネットワーク・デバイスのブレークダウンが表示されます。次の条件を満たす ネットワーク・デバイスのみがレポートに表示されます。

ネットワーク・デバイスの CIT は修飾子NETWORK\_DEVICESを割り当てられています。詳細については、「[修飾子] タブ」(80ページ)を参照してください。

国または地域: [	すべて	▼ 状態:	すべて	▼ 市町村:	すべて	-
👃 生成						

ネットワーク デバイス ブレークダウン



利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート] を選択します。 [カスタム レ ポート] 表示枠で,次のいずれかを行います。
	<ul> <li>         ・ [新規レポートの作成]         ・ ボタンをクリックして         「ネットワーク デバイ         ス ブレークダウン レポート]         を選択する。     </li> </ul>
	• [ <b>ブレークダウン</b> ]から次を行います。
	<ul> <li>[ネットワーク デバイス ブレークダウン レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>
	<ul> <li>[ネットワーク デバイス ブレークダウン レポート]を右クリックし、</li> <li>[新規レポートの作成]を選択する。</li> </ul>
	<ul> <li>         ・ [ネットワーク デバイス ブレークダウン レポート]を選択し、右表示枠 にドラッグする。     </li> </ul>
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細				
<棒グラフ/円グラ フ>	円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,異なるネットワーク・デバ イスを示します。				
	スライス/棒をクリックすると,ドリルダウンしてネットワーク・デバイスご との Cl インスタンス数が表示されます。				
	各セグメント / 棒の上にマウスを置くと,ネットワーク・デバイス名,各 ネットワーク・デバイスで検出される CI インスタンス数,全体に対するセグ メントの割合(円グラフ形式で情報を表示している場合),およびスライス/ 棒で表される CI タイプがツールチップに表示されます。				
	セグメント/棒をクリックすると,メーカーで並べ替えられた特定のネット ワーク・デバイスが表示されます。セグメント/棒を再度クリックすると,そ のメーカーの当該ネットワーク・デバイスの CI インスタンスに関する詳細が テーブル形式で表示されます。				
	凡例の各色は異なるネットワーク・デバイスを示します。				
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフ の最上部に横方向に表示されます。				
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。				
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。				
市町村	オペレーティング・システム・ブレークダウン・データを表示する市町村を 選択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択してすべての市町村のブレークダウンを表示 します。				
	<b>注:</b> [ <b>市町村</b> ] 属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。				
国または地域	オペレーティング・システム・ブレークダウン・データを表示する国または 地域を選択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択してすべての国または地域のブレーク ダウンを表示します。				
	<b>注: [国または地域</b> ]属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。				
すべての統合ポイ ントを含める	このチェック・ボックスを選択すると,フェデレート CI がレポートに組み込 まれます。このチェックボックスがオフになっていると,ローカル CI のみが レポートに含まれます。				
州	オペレーティング・システム・ブレークダウン・データを表示する州を選択				

UI 要素	詳細
	するか, [ <b>すべて</b> ]を選択してすべての州のブレークダウンを表示します。
	注: [州] 属性にデータを含む CIT のみに関連します。

# ノードOSのブレークダウン・レポート

このレポートには,オペレーティング・システムのブレークダウンが表示されます。デプロイされた すべてのオペレーティング・システムを表示したり,特定の場所にあるか,一定のサブネットで稼動 しているオペレーティング・システムのデータを表示できます。

□ すべての続	合ポイントを含める
フィルタ: 💿	場所 ○ サブネット
国または地域:	<u>†</u> ≪ र <b>∨</b>
<del>/</del> н:	マンク
市町村:	▼ ×
♀ 生成	

() Clィンスタンスは存在しません

利用方	「マネージャ】 > 「モデリング] > 「レポート]を選択します。「カスタム レポート]表
法	示枠で、次のいずれかを行います。
	<ul> <li>「新規レポートの作成] ぶタンをクリックして [ノード 0/S ブレークダウン レポート]を選択する。</li> <li>[ブレークダウン] から次を行います。</li> <li>[ノード 0/S ブレークダウン レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>
	<ul> <li>[ノード 0/S ブレークダウン レポート]を右クリックし、[新規レポートの作 成]を選択する。</li> </ul>
	• [ノード 0/S ブレークダウン レポート]を選択し,右表示枠にドラッグする。
関連タ スク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)
ユーザ・ す)。	インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま

UI 要素	詳細		
<棒グラフ/円グラ フ>	円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,異なるオペレーティング・ システムを示します。		
	スライス/棒をクリックすると, ドリルダウンしてオペレーティング・システ ムごとの CI インスタンス数がテーブル形式で表示されます。		
	各セグメント / 棒の上にマウスを置くと,オペレーティング・システム名,各 オペレーティング・システムで検出される CI インスタンス数,全体に対する セグメントの割合(円グラフ形式で情報を表示している場合),およびスライ ス / 棒で表される CI タイプがツールチップに表示されます。		
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。		
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。		
<ショートカッ ト・メニュー>	個々の CI のレベルまでドリル・ダウンして,レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メニューにアクセスします。 詳細については,「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」 (213ページ)を参照してください。		
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。		
市町村	オペレーティング・システム・ブレークダウン・データを表示する市町村を選 択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択してすべての市町村のブレークダウンを表示しま す。		
	<b>注:</b> [市町村] 属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。		
国または地域	オペレーティング・システム・ブレークダウン・データを表示する国または地 域を選択するか, [ <b>すべて</b> ]を選択してすべての国または地域のブレークダウ ンを表示します。		
	<b>注:</b> [国または地域] 属性内のデータを含む CIT にのみ関連します。		
フィルタ	次のいずれかを選択します。		
	• 場所:必要な場所を選択します。		
	<ul> <li>サブネット:必要なサブネットを入力します。ワイルドカード文字にアスタリスク(*)を使用して複数のサブネットを含めることができます。たとえば、11*などです。</li> </ul>		
すべての統合ポ イントを含める	このチェック・ボックスを選択すると,フェデレート CI がレポートに組み込 まれます。このチェックボックスがオフになっていると,ローカル CI のみが		

node1

UI 要素	詳細
	レポートに含まれます。
Ж	オペレーティング・システム・ブレークダウン・データを表示する州を選択す るか,  [ <b>すべて</b> ]を選択してすべての州のブレークダウンを表示します。
	注: [州] 属性にデータを含む CIT のみに関連します。

# ノード・サマリ・レポート

このレポートには,システム内のすべての検出ノードおよびそれらにインストールされたハードウェ アが示されます。

グループ化: なし <b>▼</b>				
Display Label	Memory Units	Create Time	CI Type	
📇 LABM3UCMDB08.devlab.ad	0	Mon Apr 16 2012 04:28 AM IDT	nt	
📕 MTtest	0	Mon Apr 16 2012 08:58 AM IDT	node	
newNode	0	Tue Apr 17 2012 09:55 AM IDT	node	

0 Mon Apr 16 2012 08:08 AM IDT

利用方法	<ul> <li>[マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [カスタムレポート] 表示枠で,次のいずれかを行います。</li> <li>• [新規レポートの作成] → ボタンをクリックして [ノードサマリレポート] を選択する。</li> <li>• [インベントリ] で: <ul> <li>• [ノードサマリレポート] をダブルクリックする。</li> <li>• [ノードサマリレポート] を右クリックし, [新規レポートの作成] を選択する。</li> <li>• [ノードサマリレポート] を選択し, 「表示枠にドラッグする。</li> </ul> </li> </ul>
重要情報	いずれかのグループ化オプションを選択すると、レポートのトップ・レベルに 各グループについて、ノード数が表示されます。次のレイヤにドリルダウン し、これらノードのデータを表示するには、ノード数をクリックします。グ ループ化オプションで [ <b>なし</b> ]を選択した場合、最上位層にすべてのノードが 表示されます。 第2レイヤにもいくつかの番号付きサマリ・カラムがあり、リンクをクリック

node

	できます(たとえば, [ <b>ディスク デバイス</b> ] には各ノードのディスク・デバイ ス数が表示されます)。次のレイヤにドリルダウンし,これらノードのデータ を表示するには,番号をクリックします。	
	任意のレイヤで, [ <b>カラムの選択</b> ] 🔐 ボタンを使用して, レポートに表示す る属性を選択します。	
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)	

UI 要素	詳細
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ] ショートカット・ メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
グループ化	データを表示する方法を選択します。次のオプションを使用できます。 ・ なし ・ 場所 ・ 0S ファミリ

## VLAN によるノード・サマリ・レポート

このレポートには, VLAN によってグループ化されたシステム内のすべての検出ノードが示されます。

■ VLAN によるノード サマリ レボート3*×			
💾 🗟 🐚 💷 🗐 📾 🔹 🛃 🔹 🔄 次の Cl インスタンスを表示: 🛛 anaged Object (0) 💌 🗶 🔐 🚭 🕔 眠 😫 🔍			
VLAN	Device Count		
trnet-default	1		
fddinet-default	1		
VLAN0176	1		
VLAN0177	1		
default	1		
fddi-default	1		
token-ring-default	1		
VLAN0178	1		
利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート]を選択します。 [カスタム レ ポート]表示枠で,次のいずれかを行います。		
-------	---		
	<ul> <li>「新規レポートの作成] </li> <li>ボタンをクリックして [VLAN によるノード サマリレポート] を選択する。</li> </ul>		
	• [インベントリ] で:		
	<ul> <li>[VLAN によるノード サマリ レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>		
	<ul> <li>[VLAN によるノード サマリ レポート]を右クリックし、 [新規レポートの作成]を選択する。</li> </ul>		
	・ <b>[VLAN によるノード サマリ レポート</b> ]を選択し,右表示枠にドラッグす る。		
重要情報	レポートのトップ・レベルには,各 VLAN について,デバイスの数が表示されま す。番号をクリックすれば,ドリルダウンして,インストールされている各		
	VLAN についての詳細データを表示できます。 [ <b>カラムの選択</b> ] 🔐 ボタンを使 用して,レポートに表示する属性を選択します。		
	注: VLAN に接続しないノードはレポートに表示されません。		
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)		

UI 要素	詳細
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。

#### 変更数

このレポートには、定義した期間内に CIT で検出された変更(追加,削除,更新)の件数が表示されます。



利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート]を選択します。 [カスタム レポー ト]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 🚵 ボタンをクリックして [変更数] を選択する。
	• [ <b>変更</b> ]から次を行います。
	• [ <b>変更数</b> ] をダブルクリックする。
	• [ <b>変更数</b> ]を右クリックし, [ <b>新規レポートの作成</b> ]を選択する。

	• [ <b>変更数</b> ]を選択し、右表示枠にドラッグする。
重要情報	<b>注:</b> マルチテナンシー環境では, ビュー CI 権限に関連付けられたテナントに関 連する変更は, 変更数レポートにのみ表示されます。ただし, UCMDB バー ジョン 10.01 にアップグレードする前に発生した [CI/関係の削除] イベント は, [ビュー CI] 権限に関連付けられたテナントと無関係に表示されます。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<棒グラフ/円グ ラフ>	最初のレベルで,円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,変更が検出 された CI または関係の CIT を示します。凡例には,各 CIT を表す色が表示され ます。
	各セグメント/棒の関連する色の上にマウスを置くと,該当の CIT で発生した変 更の数,全体に対するセグメントの割合(円グラフ形式で情報を表示している 場合),およびスライス/棒で表される CI タイプがツールチップに表示されま す。
	スライス/棒をクリックして2番目のレベルにドリルダウンすると,各CITとその子CITで発生した変更のタイプが表示されます。各セグメント/棒の色は,ア プリケーションで発生したさまざまなタイプの変更を示します。各色で表され る変更タイプを確認するには,凡例を参照してください。
	必要な色をクリックすると,ドリルダウンして該当の変更タイプの Cl または関 係の数がテーブル形式で表示されます。2 回目のドリルダウンを行うと,説明 した変更を表すインスタンスが表示されます。
	変更タイプ [ <b>追加済み</b> ] または [ <b>更新済み</b> ] は CMDB から取得されます。変更 タイプ [ <b>削除済み</b> ] は CI または関係履歴から取得されます。
<ショートカッ ト・メニュー>	個々の CI のレベルまでドリル・ダウンして,レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メニューにアクセスします。詳 細については,「IT ユニバース・マネージャのショートカット・メニュー」 (213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
時間範囲	検出された変更を表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,シ ステムによって[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示され

UI 要素	詳細
	ます。
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックス の開始日付と終了日付を手動で設定できます。

## 認識されたアプリケーション・レポート

このレポートには, Discovery Probe を実行しているノード上にインストールされたアプリケーショ ンすべてが示されます。

<b>N</b>	<b>B</b> : <b>N A</b>	
認識されたアプリケーション・レポート 🧅 Installed Softwares On a	mdev02	
グループ化: 関連ノード		

Display Label	DiscoveredVendor	Version
වා 7Zip	Igor Pavlov	4.42
Adobe Reader	Adobe	7.0.8
Asset Center	Hewlett-Packard (Peregrine Systems)	4.00
Business Objects Enterprise Client Tools	SAP (Business Objects)	XI 3.1
🔁 CollabNet Subversion Command-Line Client	CollabNet	1.6.12
🙄 Crystal Report Runtime	SAP (Business Objects)	2008 sp3
🔁 DB2 Data Server Client	IBM	9.7.300.291
Firefox	Mozilla	3.6.17
🔁 HP Asset Manager	Hewlett-Packard	5.12
🔁 HP Asset Manager API	Hewlett-Packard	9.30
HP Asset Manager Import Tool	Hewlett-Packard	5.11
E HP Performance Manager	Hewlett-Packard	9.00

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート]を選択します。 [カスタム レ ポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 🔛 ボタンをクリックして [認識されたアプリ ケーション レポート] を選択する。
	• [インベントリ] で:
	<ul> <li>         ・          [認識されたアプリケーション レポート]をダブルクリックする。      </li> </ul>
	• [認識されたアプリケーション レポート]を右クリックし, [新規レ ポートの作成]を選択する。
	• [認識されたアプリケーション レポート]を選択し、右表示枠にドラッ グする。
重要情報	レポートのトップ・レベルには,各アプリケーションにインストールされたア プリケーションの数が表示されます。ドリルダウンして,インストールされて いる特定のアプリケーションについての詳細データを表示できます。

	[カラムの選択] ボタンを使用して、レポートに表示する属性を選択しま す。レポートをアプリケーション名またはベンダ名でグループ化する場合、イ ンストールされたアプリケーションのレベルで、[インストール先]という名 前の列が利用できます。この列には、アプリケーションがインストールされる 場所を表示し、ノードへのクリック可能なリンクが表示されます。
	レポートを関連ノードでグループ化する場合,そのノードにインストールされ たアプリケーションの件数を表示する [ <b>インストール済みソフトウェア</b> ]とい う名前の列が利用できます。この列には,ドリルダウンしてアプリケーション の詳細を表示する,クリック可能なリンクも表示されます。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして [IT ユニバース マネージャ] ショートカット・ メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
グループ化	データを表示する方法を選択します。次のオプションを使用できます。 • アプリケーション名 • ベンダ名 • 関連ノード

## [レポートのプロパティ] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、レポートのタイトルとサブタイトルを設定できます。

利用方法	レポート・モジュールの [レポート] ツールバー, またはモデリング・スタジ
	オの [TQL クエリ エディタ] ツールバーの [ <b>レポートのプロパティ</b> ] 📠 ボタ ンをクリックします。
関連情報	「トポロジ・レポートの概要」(327ページ)

UI 要素	詳細
形式	レポート形式を選択します。次のオプションを利用できます。
	<ul> <li>フラット構造トップ・レイヤの CI はリンクとして表示されます。CI をクリックすると、ドリルダウンして子 CI を表示できます。</li> </ul>
	• 階層構造 レポートのすべての CI はツリー形式で1つの表に表示されます。
サブ・レポー ト・パースペ クティブ	[ <b>サブ レポート パースペクティブ</b> ]チェック・ボックスを選択すると,[サブ レポートの生成]ダイアログ・ボックスのサブ ・レポートの構築に利用できる ようになります。
	<b>注:</b> このチェックボックスは, パースペクティブの [レポート] プロパティ でのみ利用できます。
サブタイトル	レポートのサブタイトルを入力します。
タイトル	レポートのタイトルを入力します。

[レポート] ページ

このページでは,ビューのデータや事前定義されている多数のカスタム・レポート・タイプに基づい てトポロジ・レポートを作成できます。

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート]
関連タスク	<ul> <li>「トポロジ・レポートの表示方法」(328ページ)</li> <li>「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)</li> <li>「CIを比較する方法」(329ページ)</li> <li>「スナップショットを比較する方法」(331ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)</li> <li>「カスタム・レポートの概要」(328ページ)</li> <li>「トポロジ・レポートの概要」(327ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
<左の表示枠>	含まれている表示枠は次のとおりです。
	• トポロジ・レポート:モデリング・スタジオを使用して作成されたビューお

UI 要素	詳細
	よびテンプレートのレポートが表示されます。詳細については, 「トポロ ジ・レポート」(420ページ)を参照してください。
	<ul> <li>カスタム・レポート:あらかじめ設定されたさまざまなタイプのレポートが グラフ形式またはテーブル形式で表示されます。詳細については、「レポー トのユーザー・インタフェース」(333ページ)を参照してください。</li> </ul>
<右の表示枠>	選択したレポートが表示されます。

左の表示枠

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
*	<b>新規レポートの作成 :</b> 作成するレポートのタイプを選択できます。
	[トポロジ レポート]表示枠で,[ <b>パターン ビュー</b> ],[ <b>パースペクティブ</b> ]ま たは[ <b>テンプレート</b> ]を選択し,直接モデリング・スタジオに入って,選択した リソース・タイプを作成できます。
	[カスタム レポート]表示枠で,カスタム・レポートのリストからレポートを選 択します。
2	<b>レポートを開く:</b> [レポート]表示枠の既存のレポートが生成されます。
<b>T</b>	ビュー定義の表示 :モデリング・スタジオに選択したビューの定義が表示されます。詳細については, 「モデリング・スタジオ」(231ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> このオプションはトポロジ・レポートでのみ使用できます。
×	レポートの削除:
	<ul> <li>[カスタム レポート]表示枠では,選択したレポートが削除されます。</li> </ul>
	<ul> <li>[トポロジレポート]表示枠では、アーカイブ・レポートが削除されます。</li> </ul>
E.	<b>レポート・アーカイブを比較します。</b> 同じレポートの 2 つのアーカイブが選択さ れている場合, アーカイブ比較レポートを開きます。
	<b>注:</b> このオプションはトポロジ・レポートでのみ使用できます。
٩	<b>定期レポート:</b> [スケジュールされたレポート]ダイアログ・ボックスを開く と,次のジョブを定義できます。
	• レポート生成のスケジュール

UI 要素	説明
	<ul> <li>レポートを送信する1つ以上の形式と、レポートの受取人を指定します。</li> <li>ジョブの繰り返しの指定         [スケジュールされたレポート]ダイアログ・ボックスの詳細については、             「[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]」(411ページ)を             参照してください。     </li> <li> <b>注</b>: このオプションは、レポートを生成する前または保存したレポートを開     </li> </ul>
	くときにのみ使用できます。
٩	スケジュールされたレポート・ジョブを表示: [ジョブリスト] ダイアログ・ ボックスが開き,実行するようスケジュールされたレポートが表示されます。詳 細については,「[ジョブリスト] ダイアログ・ボックス」(385ページ)を参照し てください。
	<b>スナップショット :</b> 次の操作ができます。
	<ul> <li>アクティブなレポートのスナップショットを保存する。詳細については、         「[スナップショットを保存する]ダイアログ・ボックス」(227ページ)を参照         してください。         以前に保存したスナップショットを、アクティブなレポートまたは別のスナッ         プショットと比較する。詳細については、「スナップショット比較レポート」         (364ページ)を参照してください。         保存するスナップショットをスケジュールする。詳細については、「[スナッ         プショットをスケジュールする]/[定期レポート]」(411ページ)を参照して         ください。         現在スケジュールされているスナップショット・ジョブや詳細情報を表示する         (「[ジョブリスト]ダイアログ・ボックス」(385ページ)を参照)。         注: このオプションはトポロジ・レポートでのみ使用できます。     </li> </ul>
	<ul> <li>アールを区間: 「メールを区間」 ダイアログ・小ックスが開きます。 さまさまな 形式で生成されたレポートまたはダイレクト・リンクとして生成されたレポート を含む電子メールを送信できます。さまざまな形式の詳細については、「ツール バー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してください。</li> <li>添付ファイルとして電子メール受信者に送信される生成されたレポートの形式を 1つ以上選択します。</li> <li> <u>注:</u> ・必須フィールドにはアスタリスク(*)が付いています。     </li> </ul>
	• 電ナメール・アドレスをヘルする場合、電子メールのドメインか有効なも

UI 要素	説明			
	のであることを確認してください。 • [メールを送信] ダイアログ・ボックスでは, [From] フィールドに現在 のユーザのユーザ詳細で定義された電子メール・アドレスが分布されま す。現在のユーザに電子メールが指定されていない場合, カスタマの標準 設定の電子メール・アドレスが使用されます。			
69	<b>ダイレクト・リンクの生成:</b> 選択したレポートのサーバの特定の場所へのダイレ クト・リンクまたは特定の形式でエクスポートしたデータへのダイレクト・リン クを作成します。			
<b>E</b>	<b>レポートのエクスポート :</b> レポートのエクスポートをプレビューする形式を選択 できます。次のオプションを使用できます。			
	<ul> <li>CSV:レポートのデータは、カンマで区切られた値(CSV)のテキスト・ファイル形式に設定されます。これは、スプレッドシードで表示できます。</li> </ul>			
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには、カンマ(,)を区切り文字として定義する必要があります。Windows では、区切り文字の値を確認または変更するには、コントロール・パネルの[地域のオプション]を開いて、[数値] タブでカンマが区切り文字の値として定義されていることを確認します。Linux では、CSV ファイルを開くアプリケーションで区切り文字を指定できます。			
	• PDF:レポートのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。			
	<b>注:</b> PDF にエクスポートする場合, レポートが読みやすくなるよう表示列の 適切な数を選択します。			
	• XLS:レポートのデータは,スプレッドシートに表示できる.xls(Excel)ファイ ル形式に整形されます。			
	<b>注:</b> 大規模なレポートについては,インフラストラクチャ設定マネージャの [XLS エクスポートの列サイズ] 設定で固定の列サイズを設定することで,レポートのエクスポートに要する時間を削減できます。			
	<ul> <li>XML:レポートのデータは、テキスト・エディタまたは XML エディタで開くことができる XML ファイルとして整形されます。</li> </ul>			
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出するには,次の手順を実行します。			
	<ul> <li>ファイルを HTML エディタで開きます。</li> <li>関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーする。</li> </ul>			

UI 要素	説明
	<b>注:</b> 生成したレポートをエクスポートする場合,ダイアログ・ボックスが開き,エクスポートしたファイルを開くかどうかの確認が表示されます。 「[ユーザプリファレンス]ダイアログ・ボックス」(87ページ)を使用して,このメッセージを非表示にするか,表示するかを設定できます。
Ø	<b>更新:</b> レポート・ツリーが更新されます。
	<b>すべてを展開:</b> ツリー構造が展開されます。
	<b>すべてを折りたたみ :</b> ツリー構造が折りたたまれます。
<b>2</b> 5-	<b>テナントを割り当て:</b> [テナントを割り当て]ダイアログ・ボックスが開き,選 択したカスタム・レポートにテナントを割り当てることができます。
	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションは,保存されたカスタム・レポートが選択されている場合にのみ関連します。</li> <li>このオプションは,マルチテナンシが有効になっている場合にのみ利用できます。</li> </ul>
2	<b>セキュリティを管理:</b> 選択したカスタム・レポートの権限を特定のロールに割り 当てたり、レポートを選択したリソース・グループに追加できます。
	<b>注:</b> このオプションはカスタム・レポートでのみ使用できます。
	<b>空のフォルダを非表示 :</b> すべてのフォルダが表示されている状態とレポートを含 むフォルダのみが表示されている状態が切り替わります。
00	<b>フレーズの次回発生を検索/フレーズの前回発生を検索:</b> [検索]フィールドに入 力した文字列の次または前の検索結果に移動できます。
<b></b>	<b>フレーズのすべての発生をハイライト表示:[検索</b> ]フィールドに入力した文字 列に一致する, CI ツリー内のすべての項目が強調表示されます。
検索	[ <b>検索</b> ]フィールドに検索名または検索名の一部を入力して,リスト内の CI を検 索します。

#### ルールベース・サポート・レポート

このレポートはデバイス・ノードとそれらの属性に関する情報を表示します。このレポートはルール ベースに関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。

**注:** このレポートは、HP サポートに送信するときに、.csv 形式にエクスポートしてください。

利用方法	【モデリング】 > 【レポート】を選択します。 [トポロジ レポート]表示枠
	で, [ <b>ネットワーク</b> ]をクリックし, [ <b>ルールベース サポート レポート</b> ]を ダブルクリックします。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明	
<ツール バー>	詳細については, ださい。	「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく

## スキャン・ファイル・ステータス・レポート

このレポートには, [Inventory Discovery by Scanner] ディスカバリ・ジョブによって生成された スキャン・ファイルが表示されます。

📴 レポートのパラメータ 🛛 🛅 📾 🗐 📾 🔹 💀 🕈 🔹 🖄 次の Clインスタンスを表示: Node (56) 💿 🗶 🗶 🖆 📿 📖 🔄 🔍

時間範囲: 直近の1日 💌 開始日付: 13/12/11 15:21 💌 終了日付: 13/12/12 15:21 💌				
ホスト	実行日	スキャナ設定	アップグレード日	ブローブ名
itsamqavm02	2013年12月12日 (木曜日) 14:42 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:42 CST	DataFlowProbe
PCOESHV22	2013年12月12日 (木曜日) 14:40 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:40 CST	DataFlowProbe
BBPFSMM2	2013年12月12日 (木曜日) 14:39 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:39 CST	DataFlowProbe
itsamqavm59	2013年12月12日 (木曜日) 14:39 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:39 CST	DataFlowProbe
WIN-B2FVLLC2080	2013年12月12日 (木曜日) 14:41 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:41 CST	DataFlowProbe
ddmivm23	2013年12月12日 (木曜日) 14:38 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:38 CST	DataFlowProbe
BBPFSMM5	2013年12月12日 (木曜日) 14:37 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:37 CST	DataFlowProbe
amdevjp	2013年12月12日 (木曜日) 14:47 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:47 CST	DataFlowProbe
@ ucmdb0101	2013年12月12日 (木曜日) 14:59 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:59 CST	DataFlowProbe
itsamqavm64	2013年12月12日 (木曜日) 14:44 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:44 CST	DataFlowProbe
SAQAXS930VMP12	2013年12月12日 (木曜日) 14:39 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:39 CST	DataFlowProbe
QASERVER2	2013年12月12日 (木曜日) 14:38 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:38 CST	DataFlowProbe
@ g11nvm145	2013年12月12日 (木曜日) 14:42 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:42 CST	DataFlowProbe
itsamqavm145	2013年12月12日 (木曜日) 14:40 CST	_default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:40 CST	DataFlowProbe
SMCI031	2013年12月12日 (木曜日) 14:39 CST	default.cxz	2013年12月12日 (木曜日) 12:39 CST	DataFlowProbe

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート] を選択します。 [カスタム レ ポート] 表示枠で,次のいずれかを行います。
	<ul> <li>「新規レポートの作成」 ぶタンをクリックして [スキャン ファイル ステータス レポート]を選択する。</li> </ul>
	• [ディスカバリ ステータス] で:
	<ul> <li>[スキャン ファイル ステータス レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>
	<ul> <li>[スキャン ファイル ステータス レポート]を右クリックし、 [新規レ</li> </ul>

	<b>ポートの作成</b> ]を選択する。
	• [ <b>スキャン ファイル ステータス レポート</b> ]を選択し,右表示枠にド ラッグする。
重要情報	[ホスト] カラムには、生成されたスキャン・ファイルのノードが表示され ます。 [実行日] および [アップグレード日] カラムには、スキャナの最新 の実行日およびアップグレード時間が表示されます。 [スキャナ構成] およ び [プローブ名] カラムには、スキャナが最後に使用した構成ファイルおよ び Data Flow Probe ゲートウェイが表示されます。 [ファイル パスをスキャ ン] という非表示カラムがあり、Data Flow Probe に保存されているスキャ ン・ファイルのフル・パスが表示されます。 このカラムを表示するには、新 規レポートが生成される度に [カラムの選択] ズタンを使用して手動で 可視カラムに追加します。
	スキャン・ファイルを右クリックしてコンテキスト・メニューから [ <b>スキャ</b> ンファイルをダウンロード] を選択することで,選択したスキャン・ファイ ルをローカル・マシンにダウンロードできます。インベントリ・ツールがコ ンピュータにインストールされている場合は,ダウンロードしたスキャン・ ファイルを開くとビューアのアプリケーションが起動してスキャン・ファイ ルのコンテンツが表示されます。詳細については,『HP Universal CMDB デー タ・フロー管理ガイド』の「インベントリ・ツール」を参照してください。
	スキャンを右クリックして[ <b>通信ログを表示</b> ]を選択すると,デバッグ情報 のスキャナ・ログが表示されます。このオプションは,スキャンが正常に終 了しなかった場合にのみ利用できます。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<ショート カット・ メニュー>	レポートで Cl を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メ ニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショート カット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツール バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してくだ さい。
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
時間範囲	スキャン・ファイルを表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,シス テムによって[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。

# UI 要素 詳細 注: [カスタム] を選択すれば, [開始日付] および [終了日付] ボックスの開始日付と終了日付を手動で設定できます。

## スキャナ実行詳細レポート

このレポートには, すべてのインベントリ・ディスカバリ・ジョブのランタイム・データが示されま す。

ジョブステータス:	すべて	
グループ化:	なし	
😞 生成		
	(i) CIィンスタンスは存在	Eしません

利用方法	[マネージャ】 > [モデリング] > [レポート] を選択します。[カスタム レ ポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 🐱 ボタンをクリックして [スキャナ実行詳細レ ポート]を選択する。
	・ [ディスカバリ ステータス] で:
	• [ <b>スキャナ実行詳細レポート</b> ]をダブルクリックする。
	• [スキャナ実行詳細レポート]を右クリックし, [新規レポートの作 成]を選択する。
	• [ <b>スキャナ実行詳細レポート</b> ]を選択し,右側の表示枠にドラッグす る。
重要情報	レポートには,各インベントリ・ディスカバリ・ジョブについて,スキャン対 象ホストの表示ラベル,スキャナのバージョン,開始時間,期間,ジョブのス ケジュールおよびステータス,プローブ名,エラーメッセージ,ジョブが最後

	に正常に実行された時間が示されます。	
	[ <b>カラムの選択</b> ] 🔐 ボタンを使用して,レポートに表示する属性を選択しま す。	
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)	

UI 要素	詳細
<ショート	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メ
カット・メ	ニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャのショー
ニュー>	トカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく
>	ださい。
グループ化	表示データのグループ化オプションを選択します。
ジョブのス	ドロップダウン・リストから,ディスカバリ・ジョブのジョブ・ステータス別に結
テータス	果をフィルタリングするオプションを選択します。

## [スナップショットをスケジュールする] / [定期レポー ト]

このダイアログ・ボックスでは、レポートを実行するスケジュールの定義を行い、それらのレポート を指定した受信者に電子メールで送信することができます。また、特定のビューのスナップショット を取得するスケジュールを設定できます。「[ジョブリスト]ダイアログ・ボックス」(385ページ) で実行するようスケジュールされたスナップショットのreports/リストを確認できます。

遙 定則レポート		×
(上) 定期し	✓ボート	
- ccrei	よ、予定されているレポートを定義できます 	
定期レポー	- þ	_
名前:	レポート <service cluster="" guard="">の送信</service>	
	このジョブはレポート <service cluster="" guard=""> を送信します</service>	
ロケール:	日本語	•
アクション	/定義	-
レポート:	Service Guard Cluster	
Actions:	🗌 メール (SMTP サーバが設定されていません) 🛛 アーカイブ 🗌 ファイルシステム (バスが構成されていません) への保存	
BT:	□ Adobe 文書 (*.pdf)	
	Microsoft Office Excel Workbook (*.xls)     カンママドルレの(体 (*.csu)	
	□ XMLデータ (*xml)	
	□ダイレクトリンク (URL)	
送信先:		6
タイム ポ!	リシー	
繰り返し:	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	15/03/27 ▼ 15:29 ▼ ● 実行… ○ 次まで 15/03/27 ▼	
	月ごと	
	年ごと Cron	
タイムソーン:	(GMT -08:00) Los_Angeles マーノ時間: 15/03/28 6:30	
	OK キャンセル へ	ルブー

利用方法	<ul> <li>レポートの実行をスケジュールするには、【マネージャ】&gt;【モデリング】</li> <li>&gt;【レポート】を選択します。 [トポロジレポート] または [カスタムレ</li> </ul>
	ポート] 表示枠で,レポートを選択し, [ <b>定期レポート</b> ] 墬 ボタンをク リックします。

	<ul> <li>スナップショットを取るスケジュールを定義するには、【マネージャ】&gt;</li> <li>【モデリング】&gt;【レポート】を選択します。 [トポロジレポート]表示枠</li> </ul>
	で,必要なビューを選択して[スナップショット] 🔚 ボタンをクリック し,[スナップショットをスケジュールする]を選択します。または IT ユ ニバース・マネージャで,CI セレクタで[スナップショット]ボタンをク リックし,[スナップショットをスケジュールする]を選択します。
関連タスク	<ul> <li>「CIを比較する方法」(329ページ)</li> <li>「スナップショットを比較する方法」(331ページ)</li> </ul>

#### 含まれている要素は次のとおりです。

UI 要素	詳細
検証	クリックすると,[ <b>cron 式</b> ]ボックスで入力した cron 式が検証されま す。
Utzak	([ <b>日付</b> ]を選択すると表示されます)。カレンダーの選択した日付を クリアします。
アクション	次のオプションを使用できます。 ・ <b>メール : [送信</b> ] ボックスのメール受信者にレポートが送信されま
	す。 • アーカイブ:レポート結果がデータベースにアーカイブされます。
	<ul> <li>ファイル・システムに保存レホートをUCMDBサーバ・ファイル・シ ステムに保存します(UCMDBServer/Runtime フォルダ内)。このオプ ションは、インフラストラクチャ設定マネージャで[レポート ルート フォルダ]設定を使用してパスが設定されている場合にのみ利用でき ます。</li> </ul>
	<ul> <li>注:</li> <li>この機能は、レポートを実行するスケジュールが定義されている 場合にのみ使用できます。</li> <li>複数のオプションを選択できます(たとえば、メールしてファイ ル・システムに保存など)。</li> </ul>
Cron 式	ジョブをスケジュールする cron 式を入力します。cron 式で使用される フィールドとそのユース・ケースについては, 「Cron 式」(332ページ)を 参照してください。
説明	スケジュールされたジョブの説明です。
終了	次のオプションのいずれかを選択します。 • しない : 終了日を指定しません。

UI 要素	詳細
	• 次まで:アクションの実行を停止する日時を選択します。
	<b>注:</b> 1 回のみ実行するレポートを定義する場合,この要素は関係あり ません。
形式	<b>注:</b> レポートを実行するスケジュールが定義されている場合にのみ使 用できます。
	レポートの形式を選択します。 [アクション] で [ <b>メール</b> ] または [ <b>ファイル システムに保存</b> ] オプションを選択すると、利用できます。
	• Excel:レホートのテーダは、スノレッドシートに表示できる.xls (Excel)ファイル形式に整形されます。
	• <b>PDF</b> :レポートのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。
	<b>注:</b> PDF にエクスポートする場合, レポートが読みやすくなるよう 表示列の適切な数を選択します。
	<ul> <li>CSV:レポートのデータは、カンマで区切られた値(CSV)のテキスト・ファイル形式に設定されます。これは、スプレッドシードで表示できます。</li> </ul>
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには、カンマ (,)を区切り文字として定義する必要があります。Windows で は、区切り文字の値を確認または変更するには、コントロール・ パネルの [地域のオプション]を開いて、[数値] タブでカンマ が区切り文字の値として定義されていることを確認します。Linux では、CSV ファイルを開くアプリケーションで区切り文字を指定 できます。
	• XML:レポートのデータは,テキスト・エディタまたは XML エディタ で開くことができる XML ファイルとして整形されます。
	<ul> <li>ダイレクト・リンク:レポート・データを含む電子メールがダイレクト・リンクとして送信されます。([メール]オプションにのみ該当)。</li> </ul>
ロケール	レポートの言語を選択します。
名前	スケジュール設定されたジョブの名前です。
繰り返し	次のいずれかのアクションを選択します。
	• 1回:ジョブを1回だけアクティブ化します。

UI 要素	詳細
	• 間隔: 一定の間隔でジョブを実行します。分,時間,日,週の間隔を選 択できます。
	• 日付:毎月指定の日にジョブを実行します。
	• <b>週ごと:</b> ジョブを毎週実行します。アクションを実行する曜日を1つ または複数選択します。
	• <b>月ごと:</b> ジョブを毎月実行します。ジョブを実行する月を1つまたは 複数選択します。
	• <b>年ごと:</b> ジョブを毎年実行します。
	<ul> <li>Cron: cron 式を使ってジョブのスケジュールを設定します。cron 式で使用されるフィールドとそのユース・ケースについては、「Cron 式」 (332ページ)を参照してください。</li> </ul>
繰り返し間隔	([ <b>間隔</b> ]または[ <b>年ごと</b> ]を選択する場合のみ表示されます)。連続 する実行の間隔の値を選択します。
	たとえば, [ <b>年ごと</b> ]と[ <b>2</b> ]を選択すると, ジョブは隔年で実行されま す。
繰り返し	([ <b>日付],[週ごと</b> ],[ <b>月ごと</b> ]を選択する場合にのみ表示されま す)。ジョブを実行する曜日または日付を選択します。
	たとえば,[ <b>月ごと</b> ]を選択し,[ <b>1 月</b> ]と[ <b>7 月</b> ]を選択すると,ジョ ブは 1 月と 7 月の指定された日時に実行されます。
レポート	実行するトポロジ・レポートまたはカスタム・レポートを選択できま す。 [レポートの選択]ダイアログ・ボックスが開きます。
送信先	<b>注:</b> レポートを実行するスケジュールが定義されている場合にのみ使 用できます。
	スケジュールされたレポートをメールで自動的に受信できる受信者を定
	義します。 [ <b>アドレス帳を開く</b> ] 🔤 ボタンをクリックして, [メッ セージ受取人] ダイアログ・ボックスを開き,メール受信者を選択しま す。
	[メッセージの受信者] ダイアログ・ボックスの[ <b>追加</b> ], [編集], [ <b>削除</b> ]ボタンを使用して,メール・リストを変更できます。
	<b>注:</b> [メッセージの受信者] ダイアログ・ボックスに表示される受信 者は, 『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「[受信者マネージャ] ページ」で定義された電子メール受信者で更新されます。
サーバ時間	クライアントのタイム・ゾーンに基づく,正確なサーバ時間。

UI 要素	詳細
開始	ジョブの実行を開始する日時を選択します。
タイムゾーン	必要なタイムゾーンを設定します。

## Service Discovery エラー・レポート

このレポートでは,不正な資格情報など,実行時にデータ・フロー管理で発生する特定の問題を検出 できます。

利用方法	【マネージャ】 > 【モデリング】 > 【レポート】を選択します。 【カスタム レ ポート】表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [新規レポートの作成] 🚵 ボタンをクリックして, [Service Discovery エ ラー レポート] を選択します。
	・ [ディスカバリ ステータス] で:
	• [Service Discovery エラー レポート] をダブルクリックする。
	<ul> <li>[Service Discovery エラー レポート]を右クリックし、 [新規レポートの作成] を選択する。</li> </ul>
	<ul> <li>[Service Discovery エラー レポート]を選択し、右表示枠にドラッグする。</li> </ul>
重要情報	• 表示するカラムを選択には, [ <b>カラムの選択</b> ] ボタンをクリックします。
	<ul> <li>カラムを非表示にするには、カラムのヘッダを右クリックして [カラムを削除]を選択します。</li> </ul>
	<ul> <li>空のカラムを非表示にするには、ヘッダを右クリックして[空のカラムを削除]を選択します。</li> </ul>
	<ul> <li>カラムの順序を変更するには、カラム・ヘッダをドラッグ・アンド・ドロップします。</li> </ul>
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)
関連情報	<ul> <li>『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[ディスカバリの進行 状況]ダイアログ・ボックス」</li> </ul>
	• 『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラー・メッセージの 概要」

UI 要素	説明
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・ メニューにアクセスします。詳細については,「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
生成	クリックするとエラーのリストを生成します。
Service Discovery アク ティビティ	エラー・レポートを作成する Service Discovery アクティビティを選択します。
重大度	表示するエラーのタイプを選択します。エラーの定義については,『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラーの重大度レベル」を参 照してください。
	<b>注:</b> 複数のエラー・タイプを選択できます。
時間範囲	エラーを表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムに よって[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注: [カスタム</b> ] を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ] および [ <b>終了日付</b> ] ボックス の開始日付と終了日付を手動で設定できます。

生成されるレポートには、次の要素が含まれています。

UI 要素	説明
CI タイプ	トリガ CI の CIT です。
エラー・メッセージ	詳細なエラー・メッセージ。
エラー・サマリ	エラーの要約。
ジョブ	エラーがレポートされているジョブ。
プローブ	エラーをレポートした Data Flow Probe。
関連 IP	トリガ CI に関連することが認識されている IP。
関連ノード	トリガ CI に関連するノード。
重大度	エラーの重大度のレベル(警告,エラー,致命的エラー)。
エラー報告時間	エラーがレポートされた時間。
トリガ CI	エラーがレポートされたトリガ Cl。

#### ソフトウェア使用率レポート

このレポートは,使用率データとともに,現在使用しているコンピュータにインストールされている すべてのソフトウェアを表示します。

グループ化: アプリケーション名 ▼ スコープ: 直近の1ヶ月 ▼

😓 生成 📄

\_\_\_\_\_\_\_ ソフトウェア使用率レポート ⊅ イン ストー ル済み ソフトウェー

表示ラベル	検出ペンダ	バージョン	ソフトウェアの			使用率
Active Perl	ActiveState Software	6.8.3	英語	0	0	37.81
🖹 FileZilla Client	GNU	3.3.1	英語	0	0	0
🔁 Firefox	Mozilla	3.6.6	英語	0	0	0
🙄 HP Asset Manager Application Designer	Hewlett-Packard	5.20	英語	0	0	0
岂 HP Asset Manager client	Hewlett-Packard	5.20	英語	0	0	0
🖹 HP DDM Inventory Agent	Hewlett-Packard	9.30.000	英語	0	0	37.81
🕲 Internet Explorer	Microsoft	8.0	英語	0	0	0
🖹 Java 2 Runtime Environment	Oracle (Sun Microsystems)	1.5.0_19 SE	英語	0	0	0
🔁 Java 2 SDK	Oracle (Sun Microsystems)	1.4.2_14-b05 SE	英語	0	0	37.81
巴 Java 2 SDK	Oracle (Sun Microsystems)	1.5.0_19 SE	英語	0	0	0
🔁 Java SE Runtime Environment	Oracle	1.6.0_22	英語	0	0	12.88

利用方法	<ul> <li>[マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [カスタムレボート] 表示枠で,次のいずれかを行います。</li> <li>「新規レボートの作成] ぶ ボタンをクリックして [ソフトウェア使用率レポート] を選択する。</li> <li>[インベントリ] で: <ul> <li>[ソフトウェア使用率レボート] をダブルクリックする。</li> <li>[ソフトウェア使用率レボート] を右クリックし, [新規レポートの作成] を選択する。</li> </ul> </li> </ul>
	• [ソフトウェア使用率レポート]を選択し,右表示枠にドラッグす る。
重要情報	レポートのトップ・レベルには,各ソフトウェア・タイプについて,インス トールされたアプリケーションの数が表示されます。ドリルダウンして,特 定のソフトウェア・アプリケーションについての使用率データを表示できま す。
	[ <b>カラムの選択</b> ] 🔐 ボタンを使用して,レポートに表示する属性を選択し ます。レポートをアプリケーション名またはベンダ名でグループ化する場 合,インストールされたアプリケーションのレベルで, [ <b>インストール先</b> ]

関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)
	使用率データのないアプリケーションの場合はこのレポートは表示されませ ん。
	レポートを関連ノードでグループ化する場合,そのノードにインストールされたアプリケーションの件数を表示する [インストール済みソフトウェア] という名前の列が利用できます。この列には,ドリルダウンしてアプリケー ションの詳細を表示する,クリック可能なリンクも表示されます。
	という名前の列が利用できます。この列には,ソフトウェアがインストール される場所を表示し,ノードへのクリック可能なリンクが表示されます。

UI 要素	詳細
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については,「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
グループ化	データを表示する方法を選択します。次のオプションを使用できます。 ・ アプリケーション名 ・ ベンダ名 ・ 関連ノード
対象範囲	<ul> <li>レポートの対象範囲を選択します。次のオプションを使用できます。</li> <li>直近の1ヶ月:前月の使用率データを持つアプリケーションを表示します。</li> <li>直近の四半期:前四半期の使用率データを持つアプリケーションを表示します。</li> <li>直近の1年:前年の使用率データを持つアプリケーションを表示します。</li> <li>すべて:使用率データを持つすべてのアプリケーションを表示します。</li> </ul>
フォーカス対象 の使用率のみを	このチェック・ボックスを選択して,アプリケーションがフォーカスされてい た(アプリケーションが前面にあった)ときにのみ使用率が表示されるように

UI 要素	詳細
表示	レポートを設定します。
	チェック・ボックスが解除されている場合は,レポートはアプリケーションが 実行中だったときの使用率データ(背面にあった場合も含まれる)を表示しま す。

## Solaris ゾーン・レポート

このレポートには, Solaris ゾーンについての情報が示されます。Solaris ゾーンとは, 物理ホスト・マシン上のアプリケーションで実行される分離仮想環境です。

1 🖬 🔝 🗐 🖙 🔸 🛃 🔹	Show CI instances of: Unix (	2)	- X 🖻 C 📖	Et   Q
<u>solaris_zones</u> ⇒ bld-solaris				
Device	Zone Name	Operatin	Status	Update Time
2 005056B85E7A_my-zone1	my-zone1		installed	Thu Apr 19 2012 10:16 AM IDT
🞽 twilightZone	twilightZone		running	Thu Apr 19 2012 10:16 AM IDT

利用方法	<ul> <li>[マネージャ] &gt; [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [カスタムレ ボート] 表示枠で,次のいずれかを行います。</li> <li>[Solaris ゾーン レポート] を右クリックし, [新規レポートの作成] を選 択する。</li> <li>[新規レポートの作成] ぶ ボタンをクリックし, [Solaris ゾーン レポー ト] を選択する。</li> <li>[Solaris ゾーン レポート] をダブルクリックする。</li> <li>[Solaris ゾーン レポート] を選択し,右表示枠にドラッグする。</li> </ul>
重要情報	レポートのトップ・レベルには、Solaris ゾーンについての情報が表示されま す。[非グローバル ゾーン数] カラムの数字をクリックすると、次のレイヤ にドリルダウンし、グローバル・ゾーン上でホストされている非グローバル・ ゾーンについての情報が表示されます。第2レイヤでは、[ネットワーク デ バイス] カラムの数字をクリックして次のレイヤにドリルダウンし、このゾー ンで利用可能なネットワーク・デバイスについての情報を表示することができ ます。 [ <b>カラムの選択</b> ] ズタンを使用して、レポートに表示する属性を選択し ます。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの最 上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・メ ニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照して ください。

## トポロジ・レポート

このレポートには、ビューのトポロジがレポート形式で表示されます。

利用方法	[ <b>モデリング]&gt;[レポート]を選択します。 [トポロジ レポート</b> ]表示枠 で,ツリーから必要なレポートを選択します。		
重要情報	UCMDBのすべてのビューをレポート形式で表示できます。モデリング・スタ ジオのビューの [レポート] タブでレポートの設定を定義します。		
	テンプレートは [レポート] でも開くことができます。テンプレートのパラ メータを編集し, インスタンスをビューとして保存できます。		
関連タスク	「トポロジ・レポートの表示方法」(328ページ)		

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
<棒グラフ/円グ ラフ>	円グラフの各セグメント/棒グラフの各カラムは,選択したレベルのビューの Cl を示します。
	スライス/棒をクリックすると,次のレベルにドリルダウンします(存在する場合)。情報をテーブル形式で表示することもできます。
	関連するセグメント / 棒の上にマウスを置くと, CIT で検出されるインスタンス 数,全体に対するセグメントの割合(円グラフ形式で情報を表示している場 合),およびスライス / 棒で表される CIT または CIT 属性がツールチップに表示 されます。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。

UI 要素	詳細
リセット	テンプレートのパラメータを元の値に戻します。
	<b>注:</b> テンプレートの場合のみ関係します。
ビューに名前を 付けて保存	クリックすると,選択したパラメータ値を含むテンプレート・ベース・ビュー としてインスタンスが保存されます。
	<b>注:</b> テンプレートの場合のみ関係します。

### ビュー変更レポート

このレポートは,選択したビューにおいて,CIまたは関係の変更を表示します。このレポートは,該 当のCIに関する問題のトラブルシューティングに役立ちます。たとえば,CIの変更で,それらの変 更が問題の原因であると判断できることもあります。同様に,トラブルシューティング問題の原因 が,期待されていたのに発生しなかった変更に関連している可能性もあります。

時間範囲: 直近の1日 💌 開始日付: 2009年11月29日 (日曜日) 午後 03:06 PST 💌 終了日付: 2009年11月30日 (月曜日) 午後 03:06 PST 💌						
ピュー: NetworkTopology 💌 🔐 终	ビュー: NetworkTopology 🔽 🛄 次に基づく情報を検索 💿 CMDB 🔿 ビュー					
● 生成						
			CI変更 関係の変更			
12 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
Display Label	Class Name	Attribute Name	New Va			
🖵 🗐 16.59.70.0\labm1lt21	Windows	DiscoveredOsName	Windows 2003 🔺			
— 🔄 16.59.70.01abm1tt21	Windows	DiscoveredOsVersion	5.2.3790			
— 🔄 16.59.70.01abm1tt21	Windows	Host Operating System Installation type	Server Enterprise			
— 🔄 16.59.70.01abm1tt21	Windows	Host Operating System Release	3790			
— 🔄 16.59.70.01abm1tt21	Windows	Windows Service Pack	2.0			
— 📃 16.59.70.01abm1tt21	Windows	Host is Desktop	False			
- 🔲 16.59.60.0\vmbto16	Windows	MemorySize	2,048			
- 🖃 16.59.60.0\vmbto16	Windows	DiscoveredOsName	Windows 2003 R2			
<ul> <li>利用方法         [モデリング] &gt; [レポート] を選択します。 [カスタムレポート] 表示枠で、次のいずれかを行います。         • [新規レポートの作成] ☆ ボタンをクリックして [ビュー変更レポート] を選択する。         • [変更] から次を行います。         • [ビュー変更レポート] をダブルクリックする。         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選択する。         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選択する。         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選択する。         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選         • [ビュー変更レポート] を右クリックし         • [ビューの作成] を選         • [ビュー変更レポート] を右クリックし、[新規レポートの作成] を選         • [ビュー変更レポート] を右クリックし         • [ビューターレポート] を         • [ビューター・         •</li></ul>						
• [t	• [ビュー変更レポート]を選択し,右表示枠にドラッグする。					

重要情報	CI プロパティが <b>「管理対象」</b> とマークされている CI のみがレポートに表示され ます。詳細については,「[属性の追加 / 編集]ダイアログ・ボックス」(460 ページ)を参照してください。
	ビュー変更レポートの表示内容:
	<ul> <li>該当のビューに存在する CI のみの変更。</li> </ul>
	<ul> <li>選択した CI,および、[変更レポートのリンク名]インフラストラクチャ 設定で指定した関係によって関連付けられている CI のすべての子 CI で発生 した変更。この設定の標準設定値は、空の値(managed_relationship)であ り、[履歴要の追跡ではありません]としてマーキングされていないすべて の関係属性の変更を追跡できます。</li> <li>生成されるレポートに表示される CI を変更するには、[マネージャ]&gt;[管 理]&gt;[インフラストラクチャ設定]をクリックし、次の設定を編集しま</li> </ul>
	す。
	<ul> <li>[変更レボートのリンク名]を選択し、選択した計算済みの関係によってリンクされる CI を取得します。関係の名前の設定値を、CI タイプ・マネージャで選択した関係の[詳細]ページにある[名前]ボックス([表示名]ボックスではない)に表示されるとおりに変更します。詳細については、「[詳細]ページ」(469ページ)を参照してください。</li> </ul>
	• [変更レポートのリンク修飾子]を選択し,修飾子で定義されている Cl を取得します。設定の値を必要な修飾子の名前に変更します。修飾子の 詳細については,「[修飾子]ページ」(474ページ)を参照してくださ い。
	<ul> <li>CI に追加または削除された Composition 関係のある CI。</li> </ul>
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。
開始日付	レポートの開始日時を設定します。
終了日付	レポートの終了日時を設定します。
時間範囲	変更を表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムに よって [ <b>開始日付</b> ] および [ <b>終了日付</b> ] ボックスに自動的に表示されます。

UI 要素	詳細			
	<b>注: [カスタム</b> ]を選択すれば, [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボック スの開始日付と終了日付を手動で設定できます。			
ビュー	変更を確認するビューを選択します。 [Cl / ビューの選択] ダイアログ・ボッ クスを開きます。詳細については, 「Cl セレクタでの作業」(125ページ)を参照 してください。			

[CI変更] タブ

[CI変更] タブの詳細については, 「 [CI変更] タブ」(352ページ)を参照してください。

[関係の変更] タブ

[関係の変更] タブの詳細については、「 [関係の変更] タブ」(352ページ)を参照してください。

## VMware ホスト・レポート

このレポートには, VMware ホスト(VMware ESX サーバ)および ESX サーバ上にホストされた VMware 仮想マシンについての情報が示されます。

ſ	VMware Host Report1* ×						
	🛅 🗟 🖄 📼 🗐 🖙 👻 🛃 Show Clinstances of: 🛛 Windows (4) 💽 🗶 🖆 💋 🔣 🔄 🔍						
	<u>vwmare_hosts</u> ⇒ ontario1						
	Device	VM Name	VM Ope	VM UUID	VM Status		
	📇 administ-831954	win2k3-french		500c4e02-f4b2-3602-9792-e615c48517a2	poweredOn		
	📇 jacky-win-2k3	win2k3-xj		4239b2dd-4add-3e76-d99f-97a8e2d0620a	poweredOn		
	📇 hpadmin-8169f3d	win2k3-german		564d9426-96a7-4d72-5b3a-c7b7d515d80d	poweredOn		
	📇 jacky-win-2k3	win2k3- zxy		500c4173-192c-d823-db37-ad83e1daf747	poweredOn		

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート] を選択します。 [カスタム レ ポート] 表示枠で,次のいずれかを行います。 ・ [VMware ホスト レポート] を右クリックし, [新規レポートの作成] を選択 する。
	<ul> <li>「新規レポートの作成] ジボタンをクリックし、「VMware ホスト レポート」を選択する。</li> <li>「VMware ホスト レポート」をダブルクリックする。</li> <li>[VMware ホスト レポート]を選択し、右表示枠にドラッグする。</li> </ul>
重要情報	レポートのトップ・レベルには,システムで検出された各 VMware ホストについ ての情報が表示されます。 [仮想マシン数] カラムの数字をクリックすると,次 のレイヤにドリルダウンし,当該ホストの VMware 仮想マシンすべてについての 詳細情報が表示されます。

	[ <b>カラムの選択</b> ] 🔐 ボタンを使用して,レポートに表示する属性を選択しま す。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<現在位置表示 リスト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフの 最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカット・ メニューにアクセスします。詳細については,「IT ユニバース・マネージャの ショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照し てください。

VMware 仮想センター・レポート

このレポートには、単一のリソース論理プールとして実行される物理サーバ(VM ホスト)および仮想マシン(VM)を管理する仮想センタに関する情報が示されます。

ſ	T VMware Virtuaenter Report1* ×							
	🛅 🗟 🕲 📼 🗐 📾 👻 🚰 👻 Show Clinstances of: 🛛 vare ESX Server (4) 💌 🗶 ៅ 🤪 🔣 😫 🔍							
	<u>virtual centers</u> ⇒ nile							
Device Server VM Count		VM Count	Version	Platform	Model			
	📄 baikal1	VMware ES⊠i	3	5.0.0.469512	baremetal_hypervisor	hp workstation xw8200		
	📄 huron1	VMware ESX	<u>6</u>	3.5.0.153875	baremetal_hypervisor	hp workstation xw8200		
	📄 ontario1	VMware ESX	4	3.5.0.153875	baremetal_hypervisor	hp workstation xw8200		
	📄 michgan1	VMware ESX	<u>5</u>	3.5.0.153875	baremetal_hypervisor	hp workstation xw8200		

利用方法	[マネージャ] > [モデリング] > [レポート]を選択します。[カスタム レポート]表示枠で,次のいずれかを行います。
	• [VMware 仮想センター レポート] を右クリックし, [新規レポートの 作成] を選択する。
	• [新規レポートの作成] 😹 ボタンをクリックし, [VMware 仮想セン ター レポート] を選択する。
	• [VMware 仮想センター レポート] をダブルクリックする。

	• [VMware 仮想センター レポート] を選択し,右表示枠にドラッグす る。
重要情報	レポートのトップ・レベルには,仮想センタについての情報が表示されま す。 [VMware ホスト数] カラムの数字をクリックすると,次のレイヤにド リルダウンし,当該仮想センタ内の VMware ホストそれぞれに関する情報が 表示されます。
	第 2 レイヤで[仮想マシン数]カラムの数字をクリックすると,次のレイ ヤにドリルダウンし,当該ホストの VMware 仮想マシンすべてについての詳 細情報を表示できます。
	[ <b>カラムの選択</b> ] 🔐 ボタンを使用して,レポートに表示する属性を選択 します。
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)

UI 要素	詳細
<現在位置表示リ スト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラフ の最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになっていま す。
<ショートカッ ト・メニュー>	レポートで CI を右クリックして[IT ユニバース マネージャ]ショートカッ ト・メニューにアクセスします。詳細については, 「IT ユニバース・マネー ジャのショートカット・メニュー」(213ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照 してください。

## ゾーンベースのディスカバリ・エラー・レポート

このレポートでは,不正な資格情報など,選択した管理ゾーンでのアクティビティ実行時にデータ・ フロー管理で発生する特定の問題を検出できます。

利用方法	[ <b>モデリング]&gt;[レポート</b> ]を選択します。[カスタム レポート]表示枠で,次 のいずれかを行います。
	<ul> <li>         ・ [新規レポートの作成]          ※         がタンをクリックして         「ゾーンベースのディスカ         バリ エラーレポート]を選択する。      </li> </ul>
	・ [ディスカバリ ステータス] で:

	<ul> <li>[ゾーンベースのディスカバリ エラー レポート] をダブルクリックする。</li> </ul>
	<ul> <li>「ゾーンベースのディスカバリ エラー レポート」を右クリックし、「新規 レポートの作成」を選択する。</li> </ul>
	<ul> <li>[ゾーンベースのディスカバリ エラー レポート]を選択し、右表示枠にド ラッグする。</li> </ul>
重要情報	<ul> <li>表示するカラムを選択には、[カラムの選択] 取 ボタンをクリックします。</li> <li>カラムを非表示にするには、カラムのヘッダを右クリックして [カラムを削除]を選択します。</li> <li>空のカラムを非表示にするには、ヘッダを右クリックして [空のカラムを削除]を選択します。</li> <li>カラムの順序を変更するには、カラム・ヘッダをドラッグ・アンド・ドロップします。</li> </ul>
関連タスク	「カスタム・レポートの生成方法」(329ページ)
関連情報	<ul> <li>『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の「[ディスカバリの進行状況] ダイアログ・ボックス</li> <li>『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラー・メッセージの概要」</li> </ul>

UI 要素	詳細	
<ツール バー>	詳細については, 「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく ださい。	
アクティ ビティ・ タイプ	.エラーを表示するディスカバリ・アクティビティのタイプを選択します。ディスカ バリ・アクティビティ・エラーのすべてのタイプを表示するには, [ <b>すべて</b> ]を選択 します。	
管理ゾー ン	エラーを表示する管理ゾーンを選択します。すべての管理ゾーンを選択するか,特定 の管理ゾーンを選択することが可能です。	
生成	クリックして,レポートを生成します。	
重大度	表示するエラーのタイプを選択します。エラーの定義については, 『HP Universal CMDB 開発者向け参照情報ガイド』の「エラーの重大度レベル」を参照してくださ い。	
	<b>注:</b> 複数のエラー・タイプを選択できます。	

UI 要素	詳細
時間範囲	エラーを表示する時間範囲を選択します。開始日付と終了日付は,システムによって [ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]ボックスに自動的に表示されます。
	<b>注:</b> 手動で[ <b>開始日付</b> ]および[ <b>終了日付</b> ]の値をカスタマイズするには,[ <b>時</b> 間範囲]一覧から[カスタム]を選択します。

生成されるレポートには、次の要素が含まれています。

UI 要素	説明
CI タイプ	トリガ CI の CIT です。
エラー・メッセージ	詳細なエラー・メッセージ。
エラー・サマリ	エラーの要約。
ジョブ	エラーがレポートされているジョブ。
プローブ	エラーをレポートした Data Flow Probe。
関連 IP	トリガ CI に関連することが認識されている IP。
関連ノード	トリガ CI に関連するノード。
重大度	エラーの重大度のレベル(警告,エラー,致命的エラー)。
エラー報告時間	エラーがレポートされた時間。
トリガ CI	エラーがレポートされたトリガ Cl。

ツールバー・オプションのレポート

本項では, [レポート] 表示枠のツールバー・オプションについて説明します。

UI 要素	詳細
😭 レポートのバラメータ	レポートに対して定義されたパラメータを表示します。
	<b>レポートを保存:</b> 選択したレポートを保存します。
L.	<b>レポート・プロパティ</b> [レポートのプロパティ]ダイアログ・ボックスを 開くと,レポートのタイトル,サブタイトル,形式を設定できます。
٢	<b>定期レポート:</b> [スケジュールされたレポート] ダイアログ・ボックスを開 くと,次のジョブを定義できます。
	• レポート生成のスケジュール

UI 要素	詳細
	<ul> <li>レポートを送信する1つ以上の形式と、レポートの受取人を指定します。</li> <li>ジョブの繰り返しの指定         [スケジュールされたレポート]ダイアログ・ボックスの詳細については、「[スナップショットをスケジュールする]/[定期レポート]」(411 ページ)を参照してください。     </li> <li>注: このオプションは、レポートを生成する前または保存したレポートを開くときにのみ使用できます。</li> </ul>
	メールを送信:[メールを送信]ダイアログ・ボックスが開きます。さまざ まな形式で生成されたレポートまたはダイレクト・リンクとして生成され たレポートを含む電子メールを送信できます。さまざまな形式の詳細につ いては,「ツールバー・オプションのレポート」(427ページ)を参照してく ださい。 添付ファイルとして電子メール受信者に送信される生成されたレポートの 形式を1つ以上選択します。
	<ul> <li>注:</li> <li>必須フィールドにはアスタリスク(*)が付いています。</li> <li>[メールを送信]ダイアログ・ボックスでは、[From]フィールドに現在のユーザのユーザ詳細で定義された電子メール・アドレスが分布されます。現在のユーザに電子メールが指定されていない場合、カスタマの標準設定の電子メール・アドレスが使用されます。</li> </ul>
9	<ul> <li>アーカイブ・レポート:レポート結果をデータベースに保存できます。レポートがアーカイブされると、[アーカイブ・レポート] 「「ボタンがレポート名の隣に表示されます。</li> <li>注:トポロジ・レポートおよびゴールド・マスタ・レポートでのみ有効になります。</li> </ul>
69	<b>ダイレクト・リンクの生成:</b> 選択したレポートのサーバの特定の場所へのダ イレクト・リンクまたは特定の形式でエクスポートしたデータへのダイレ クト・リンクを作成します。
<b>E</b>	レポートのエクスポート: レポートのエクスポートをプレビューする形式を選択できます。次のオプ ションを使用できます。 • CSV:レポートのデータは,カンマで区切られた値(CSV)のテキスト・

UI 要素	詳細
	ファイル形式に設定されます。これは, スプレッドシードで表示できま す。
	注: CSV 形式のテーブルのデータを正しく表示するには、カンマ (,) を区切り文字として定義する必要があります。Windows では、 区切り文字の値を確認または変更するには、コントロール・パネル の [地域のオプション]を開いて、[数値] タブでカンマが区切り 文字の値として定義されていることを確認します。Linux では、CSV ファイルを開くアプリケーションで区切り文字を指定できます。
	• PDF:レポートのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。
	<b>注:</b> PDF にエクスポートする場合, レポートが読みやすくなるよう表 示列の適切な数を選択します。
	• XLS:レポートのデータは,スプレッドシートに表示できる.xls (Excel) ファイル形式に整形されます。
	<b>注:</b> 大規模なレポートについては,インフラストラクチャ設定マネージャの [XLS エクスポートの列サイズ] 設定で固定の列サイズを設定することで,レポートのエクスポートに要する時間を削減できます。
	<ul> <li>XML:レポートのデータは、テキスト・エディタまたは XML エディタで 開くことができる XML ファイルとして整形されます。</li> </ul>
	<b>ヒント:</b> レポートから HTML コードを抽出するには,次の手順を実行し ます。
	• ファイルを HTML エディタで開きます。
	<ul> <li>関連するテーブルをターゲット・ファイルにコピーする。</li> </ul>
£ <sub>5</sub> .	テナントを割り当て:[テナントを割り当て]ダイアログ・ボックスが開き,選択したカスタム・レポートにテナントを割り当てることができます。
	<ul> <li>注:</li> <li>このオプションは保存したレポートでのみ使用できます。</li> <li>このオプションは、マルチテナンシが有効になっている場合にのみ利用できます。</li> </ul>
8	<b>セキュリティを管理:</b> レポートの権限を特定のロールに割り当てたり,選択 したリソース・グループにレポートを追加できます。

UI 要素	詳細
	<b>注:</b> このオプションは保存したレポートでのみ使用できます。
■ 棒グラフ	棒グラフ:生成されたレポートが棒グラフとして表示されます。
🌍 円グラフ	<b>円グラフ:</b> 生成されたレポートが円グラフとして表示されます。
<u>₩</u> <del>7</del> −ブル	<b>テーブル :</b> 生成されたレポートがテーブル形式で表示されます。
	短いラベルを表示: グラフのラベルの情報の最大化/最小化が状態が切り替わります。
	<b>注:</b> このオプションは円グラフでのみ使用できます。
=	<b>凡例を表示:</b> グラフのラ凡例の表示 / 非表示が状態が切り替わります。
	<b>注:</b> このオプションは円グラフでのみ使用できます。
*	スライス・グラフ: 円グラフのセグメントが切り離されている状態と切り離 されていない状態が切り替わります。
	<b>注:</b> このオプションは円グラフでのみ使用できます。
12 12	<b>すべてを展開:</b> ツリー構造が展開されます。
1	<b>すべてを折りたたみ :</b> ツリー構造が折りたたまれます。
×	<b>CMDB から削除 :</b> 選択した CI が CMDB から削除されます。
<b>F</b>	<b>プロパティ:</b> 選択した CI の[構成アイテムのプロパティ]ダイアログ・ ボックスが開きます。
S	<b>更新:</b> レポート・ツリーが更新されます。
	<b>カラムの選択:</b> レポートに表示するカラムを選択できます。詳細について は, 「[カラムの選択]ダイアログ・ボックス」(529ページ)を参照してく ださい。
<b>≜</b> ↑	<b>カラム・コンテンツの並べ替え :</b> 選択したカラム・コンテンツの並べ替え順 を設定できます。
Q	<b>検索 :</b> ユーティリティの表示/非表示が切り替わります。

UI 要素	詳細
00	<b>フレーズの次回発生を検索/フレーズの前回発生を検索:</b> [検索]フィール ドに入力した文字列の次または前の検索結果に移動できます。
	<b>フレーズのすべての発生をハイライト表示:</b> [検索] フィールドに入力した 文字列に一致する, CI ツリー内のすべての項目が強調表示されます。
🨞 生成 📄	<b>レポートを生成:</b> 選択したレポートを生成できます。
9 生成	<b>注:</b> このボタンは,レポート・パラメータを定義するまでは無効になっ ています。
<現在位置表示リス ト>	現在のレベルに到達するまでに移動してきたレベルが表示されます。グラ フの最上部に横方向に表示されます。
	<b>注:</b> 現在位置表示リストの各レベルはクリック可能なリンクになってい ます。
<生成されたレポー ト>	生成されたアクティブなレポートが表示されます。
検索	[ <b>検索</b> ]フィールドに検索名または検索名の一部を入力して,リスト内の CI を検索します。

## 英語以外のロケールでのレポート-注意事項お よび制限事項

- HP Universal CMDB は, 50 文字より長いマルチバイト文字を含むカスタム・レポート名はサポート していません。
- ある言語ロケールで作成されたレポートが別の言語ロケールの電子メールで送信された場合,レポートにはサーバの言語と元のロケールの言語のシステム情報が含まれます。
- レポートのファイル名にマルチバイト文字(日本語,中国語,韓国語など)が含まれており、そのレポートが電子メールの添付ファイルとして送信された場合、レポート名が読めなくなります。
- CI インスタンスを PDF ファイルにエクスポートすると,その PDF ファイルでマルチバイト文字 (日本語,中国語,韓国語など)は表示されない場合があります。
- トポロジ・レポートのスナップショットの保存時、英語以外の最大 25 文字を名前に含めることができます。

## 第10章:影響分析マネージャ

本章の内容

•	影響分析マネージャの概要	432
•	影響ルールの定義方法 - ワークフロー	.433

## 影響分析マネージャの概要

影響分析マネージャでは,ITインフラストラクチャにおけるコンポーネント間の相互依存関係を定義して,インフラストラクチャの変更(新しいソフトウェアのインストールやアップグレードなど)が システムにどのように影響するかをシミュレートできます。

TQL クエリに基づいて影響ルールを作成すると,問題の真の原因とそのビジネス・インパクトを究明できます。定義する各影響ルールは,個別の影響分析 TQL クエリに関連付けられます。TQL クエリの詳細については,「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)を参照してください。

影響ルールを定義して,複数の影響分析クエリ・ノード間の因果関係を指定します。1つのクエリ・ ノードをトリガすなわちシステムに加える変更を示すクエリ・ノードとして,別のクエリ・ノードを その影響を受けるものとして定義します。因果関係が確立されると,影響分析マネージャによって, 根本原因クエリ・ノードで行われる変更の影響を究明できます。

次に, IT ユニバース・マネージャで影響ルールを実行し,変更がシステムに与える影響をシミュレートして,変更の根本原因を検出できます(詳細については,「[影響分析を実行]ダイアログ・ボックス」(225ページ)を参照してください)。これで,アクション,更新,新規デプロイメント,またはサービス配信障害の関与の可能性を適宜に評価して処理できます。

影響を受ける CI での変更シミュレーションによって、CI のマップ・ステータスが変化する可能性が あります。これは CI のシンボルにステータス・アイコンを追加することで明らかになります。トポ ロジ・マップには、トリガ CI のステータスに加えて、その影響を受ける CI の全ステータスが表示さ れます。それぞれの色は異なるステータスを示します。

ステータス・アイコンとそれらを示す色の詳細については,「[影響を表示]表示枠」(229ページ) を参照してください。

また、次の情報を表示するレポートを作成できます。

- システムで変更の影響を受ける Cl。
- トリガ CI (システムに加える変更を示す CI)。
- 特定のビジネス・サービスに属する Cl。
# 影響ルールの定義方法-ワークフロー

本項では、「CPU 動作の変化が、接続されているノードに影響を与える」という影響ルールを定義する方法について説明します。

本項の内容

- 「影響分析 TQL クエリの作成」(433ページ)
- 「影響ルールの定義」(433ページ)
- 1. 影響分析 TQL クエリの作成

影響分析 TQL クエリを作成するには、影響分析 TQL を作成し、次にクエリを定義する TQL クエリ・ノードと関係を追加する必要があります。

[マネージャ] > [モデリング] > [影響分析マネージャ] を選択して,影響分析マネージャを 開きます。影響分析 TQL クエリの作成方法の詳細については,「新規影響ルール/影響ルールの プロパティ/影響ルールとして保存ウィザード」(445ページ)を参照してください。クエリにク エリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については,「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係 の追加方法」(24ページ)を参照してください。

#### 影響分析 TQL クエリの例:

この影響分析 TQL クエリでは, CPU とノードを Composition 関係でリンクします。TQL クエリ結果は, 矢印の方向に適合する必要があります。



**注:** 影響分析 TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については, 「トラブル シューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してくださ い。

2. 影響ルールの定義

影響ルールを定義するときは、クエリ・ノード間で必須の因果関係を指定する必要があります。1つのクエリ・ノードをトリガすなわちシステムに加える変更を示すクエリ・ノードとして、別のクエリ・ノードをその影響を受けるものとして定義します。

トリガ・クエリ・ノードとして定義するクエリ・ノードを右クリックし, [影響を受けるもの を定義]を選択して, [影響を受けるクエリノード]ダイアログ・ボックスを開きます。トリ ガ・クエリ・ノードの影響を受けるクエリ・ノードを選択します。次に, [追加]ボタンをク リックして, [影響ルール定義]ダイアログ・ボックスを開き,影響を受けるクエリ・ノード を定義する条件を設定します。影響ルールを定義する方法の詳細については, 「[影響ルール 定義]ダイアログ・ボックス」(444ページ)を参照してください。

**注:** 影響ルール定義の [change] 状態オプションは影響分析には関係しなくなりました。サポートされる状態は [operation] のみです。

#### 影響ルールの例:

[影響ルール定義] ダイアログ・ボックスの [条件] 領域で,システムの変更シミュレー ションが起動される条件を定義します。ダイアログ・ボックスの下部で,影響を受けるクエ リ・ノードに対する影響の重要度を定義します。

この例の状態の影響ルールでは、CPU 動作が標準状態でないときにノードに影響があります。トリガの重要度が100%に設定されているため、ノードの重大度は CPU の重大度と同じになります。この重大度は影響分析の実行時に決まります。

▲ 影響ルー/	▶定義			×
詳細:				
条件				
状態:	operation			-
演算子:	等価			-
値の比較:	Normal			•
→対象範囲				
● 任意				
○すべて				
〇 範囲	0	% -	100	%
	ヤチャー		Critical	
	~ 里入度.		Chucar	
◎ 重大度は	トリガの重大関	<b>寛との相対値</b> (	(%): 100	
		(	ок	キャンセル

結果の TQL クエリでは、トリガ・クエリ・ノードとして定義されたクエリ・ノードの横に 上向き矢印が表示され、影響を受けるクエリ・ノードとして定義されたクエリ・ノードの横 に下向き矢印が表示されます。



**注:** 影響分析の結果を取得するには、IT ユニバース・マネージャで影響ルールを実行す る必要があります。詳細については、「影響分析結果の取得方法 - シナリオ」(188ペー ジ)を参照してください。

# 影響分析マネージャのユーザ・インタフェース

本項の内容

•	[詳細] ダイアログ・ボックス	. 435
•	[影響分析マネージャ] ページ	. 436
•	[影響を受けるクエリ ノード] ダイアログ・ボックス	443
•	[影響ルール定義] ダイアログ・ボックス	. 444
•	新規影響ルール / 影響ルールのプロパティ / 影響ルールとして保存ウィザード	. 445

### [詳細] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスには, [影響ルール定義]ダイアログ・ボックスで作成した新しい影響 ルールが表示されます。

利用方 法	影響分析マネージャの[影響を受けるクエリ ノード]ダイアログ・ボックスで[ <b>次</b> <b>へ</b> ]をクリックします。
関連タ スク	「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
関連情 報	<ul> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「影響分析マネージャのユーザ・インタフェース」(435ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
説明	新しい影響ルールの詳細です。
状態	[影響ルール定義] ダイアログ・ボックスの [ <b>状態</b> ] リストで選択したカテゴリ です。

### [影響分析マネージャ] ページ

このページでは、影響ルールを定義できます。

利用方法	[ナビゲーション] メニューで[ <b>影響分析マネージャ</b> ]を選択するか,[ <b>マネー</b> ジャ]>[モデリング]>[ <b>影響分析マネージ</b> ャ]を選択します。
重要情報	影響分析トリガとして機能するクエリ・ノードを選択するときは,一定の制限に 従う必要があります。詳細については,「トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。
関連タスク	「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
関連情報	<ul> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「影響分析マネージャのユーザ・インタフェース」(435ページ)</li> </ul>

[影響ルール] 表示枠

この領域には、定義済みフォルダおよび影響ルールの階層ツリー構造が表示されます。各影響ルール は TQL クエリと関連しています。

重要情報	独自の影響ルールを作成することも,HP Universal CMDBのインストールで提供 される標準のルールを使用することもできます。
	標準設定の影響ルールには定義済みフォルダが提供されるため,これらのフォ ルダを変更するか,組織の要件に従ってフォルダを追加できます。
	影響ルールまたはフォルダをドラッグ・アンド・ドロップして,フォルダ間で 移動できます。

UI 要素	詳細
	<b>新規フォルダ :</b> 新しいフォルダを作成します。
*	<b>新規作成:</b> 影響ルールを作成します。 [新規影響ルール] ウィザードが開きます。

UI 要素	詳細
8	<b>削除 :</b> 選択したフォルダまたは影響ルールを削除します。
	<b>更新:</b> ほかのユーザによって変更された可能性がある階層ツ リー構造のデータ内容が更新されます。
	<b>保存:</b> 影響ルールを CMDB に保存します。(新規影響ルール を作成した場合,または既存のルールを変更した場合にのみ 利用可能です)
	<b>プロパティ:</b> [影響ルールのプロパティ]ウィザードを開き ます。ルールの説明を変更できます。
<b>E</b>	<b>テナントを割り当て:</b> [テナントを割り当て]ダイアログ・ ボックスが開き,影響ルールにテナントを割り当てることが できます。
	<b>注:</b> このボタンは,マルチテナンシーが有効な場合にの み利用できます。
2	<b>セキュリティを管理:</b> 選択した影響ルールを特定のロールま たはリソース・グループに割り当てることができます。
	<b>プレビュー :</b> 選択した影響ルールの結果のプレビューを生成 します。
	<b>XML ヘエクスポート:</b> 影響ルールを XML ファイルにエクス ポートできます。
Kent.	<b>XML からインポート:</b> 保存された影響ルールを含む XML ファイルを影響分析マネージャにインポートできます。
<b>a</b>	フォルダを表します。
<b>@</b>	影響ルールを表します。
<影響ルール・ツリー>	既存のテンプレートがツリー形式で表示されます。
	<b>注:</b> ツリーには影響ルールのみが表示されます。影響分 析タイプの TQL クエリ(モデリング・スタジオで作成さ れる)は表示されません。

フォルダまたは影響ルールを右クリックすると、次のオプションを使用できます。

UI 要素	説明
テナントを割 り当て	[テナントを割り当て]ダイアログ・ボックスが開き,選択した影響ルールにテ ナントを割り当てることができます。
	<b>注:</b> このオプションは,マルチテナンシが有効になっている場合にのみ利用 できます。
削除	選択したフォルダまたは影響ルールを削除します。
XML ヘエクス ポート	標準の [XML ヘエクスポート] ダイアログ・ボックスが表示され,影響ルールを XML スクリプトとして保存できます。このオプションは,関連する TQL クエリも 再配置されるという条件で,ワークステーション間で影響ルールを移動するのに 使用できます。
XML からイン ポート	保存された影響ルールを含む XML ファイルを影響分析マネージャにインポートし ます。
セキュリティ を管理	[セキュリティを管理] をクリックして, 選択した影響ルールを特定のロールま たはリソース・グループに割り当てます。
新規作成	影響ルールを作成します。 [新規影響ルール] ウィザードが開きます。
新規フォルダ	新しいフォルダを作成します。
プレビュー	選択した影響ルールの結果のプレビューを生成します。
プロパティ	[影響ルールのプロパティ]ウィザードを開きます。ルールの説明を変更できま す。
フォルダの名 前の変更	フォルダ名を変更します。
保存	(新規影響ルールを作成した場合,または既存のルールを変更した場合にのみ利 用可能です)影響ルールを CMDB に保存します。
名前を付けて 保存	[影響ルールとして名前を付けて保存]ウィザードを表示し,既存のクエリを ベースにして新しい影響ルールを作成できます。

編集表示枠

この領域には選択した影響ルールが表示されます。影響ルールは TQL クエリで定義したクエリ・ノードと、そのクエリ・ノード間の関係で構成されています。

重要情報	• [影響ルール] 表示枠でフォルダを選択すると, [編集] 表示枠は空の状態で
	す。 • [影響ルール]表示枠で影響ルールを選択すると, [編集]表示枠には選択し

	たルールが表示されます。このルールは TQL クエリで定義した TQL クエリ・ ノードと,そのクエリ・ノード間の関係で構成されています。
関連タスク	「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)
関連情報	影響分析トリガとして機能するクエリ・ノードを選択するときは,一定の制限に 従う必要があります。詳細については,「トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
*	トリガ・クエリ・ノードを示します。影響を受けるクエリ・ノードの右にあ ります。
+	影響を受けるクエリ・ノードを示します。トリガ・クエリ・ノードのアイコ ンの右にあります。
t	影響を受けるクエリ・ノードとトリガ・クエリ・ノードの両方であるクエ リ・ノードを示します。
<メイン・メ ニュー>	詳細については, 「メイン・メニュー」(157ページ)を参照してください。
<クエリ・ノード>	TQL クエリの構築元となるコンポーネントです。
<関係>	2 つのクエリ・ノード間の関係を定義するエンティティです。
<ショートカッ ト・メニュー・オ プション>	詳細については, 「ショートカット・メニュー・オプション」(32ページ)を参 照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプション」(160ページ)を参照してくださ い。
<ツールチップ>	クエリ・ノードまたは関係の上にカーソルを置いたままにすると,そのノー ドまたは関係のツールチップが表示されます。
	このツールチップには次の情報が含まれます。
	• 要素名 :クエリ・ノードの名前です。
	• CI タイプ:CI タイプ・マネージャで定義されているクエリ・ノードの CIT で す。詳細については, 「CI タイプ・マネージャ」(450ページ)を参照してく ださい。
	• 選択したクエリ・ノードと関係の定義 :属性条件です。詳細については 「[クエリ・ノード / 関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ペー

UI 要素	説明
	ジ)を参照してください。
	<ul> <li>トリガ・クェリ・ノードと影響を受けるクェリ・ノードの名前:これは, カーソルが置かれているクェリ・ノードがトリガ・クェリ・ノードである</li> </ul>
	場合にのみ関係します。

CIタイプ・セレクタ

この領域には、CMDBにある CI タイプの階層ツリー構造が表示されます。

重要情報	CIタイプ・セレクタは、エンリッチメント・マネージャ、影響分析マネージャ、 トリガ TQL エディタに含まれています。 TQL クエリを作成または変更するには、クエリ・ノードをクリックして編集表示 枠にドラッグし、ノード間の関係を定義します。変更が CMDB に保存されます。 詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ) を参照してください。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
¢	<b>CI タイプをマップに追加 :</b> 選択した CI タイプを編集表示枠に移動します。
S	<b>更新:</b> CI タイプ・ツリーを更新します。
Q	検索 :入力した CI タイプが検索されます。
	<b>すべてを展開 :</b> Cl タイプ・ツリー内のすべてのサブツリーを展開します。
	<b>すべてを折りたたみ:</b> CI タイプ・ツリー内のサブツリーを折りたたみます。
<検索ウィンドウ>	検索する CI タイプの名前または名前の一部を入力します。

ショートカット・メニュー・オプション

CIタイプ・セレクタでは、CIタイプを右クリックしたときに以下の要素を選択できます。

メニュー 項目	説明
CI タイプ をマップ に追加	選択すると,選択した CI タイプが編集表示枠に追加されます。
CI タイプ の定義へ 移動	CIT マネージャ内の選択した CI タイプに直接移動します。
CIT イン スタンス を表示	[CIT インスタンス] ウィンドウが開き,選択した CIT のすべてのインスタンスが表示 されます。詳細については,「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ) を参照してください。

詳細表示枠

この領域には,選択したクエリ・ノードおよび関係のプロパティ,条件,およびカーディナリティが 表示されます。

重要情報	詳細表示枠は,モデリング・スタジオ,影響分析マネージャ,エンリッチメ ント・マネージャ,入力クエリエディタ,DFMのトリガ・クエリ・エディタ の各マネージャとユーザ・インタフェースで,ウィンドウ下部に表示されま す。 データを含んでいるタブの横には,小さな緑色のインジケータ★が表示され ます。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
	ウィンドウの幅が狭くてすべてのタブが表示されない場合は, 左矢印または右 矢印を使って必要なタブに移動します。
•	[ <b>リストを表示する</b> ]をクリックすると,現在のモジュールで使用できるタブ

UI 要素	詳細
	のリストが表示されます。このリストからタブを選択できます。
属性	クエリ・ノードまたは関係に対して定義された属性条件が表示されます。詳細 については,「[属性]タブ」(71ページ)を参照してください。
カーディナリ ティ	カーディナリティは,関係のもう一方の端にあることが期待されるクエリ・ ノードの数を定義します。たとえば,ノードとIP アドレスの関係でカーディナ リティが1:3 である場合,TQL クエリは1~3 個の IP アドレスに接続されてい るノードのみを取得します。詳細については,「[カーディナリティ]タブ」 (74ページ)を参照してください。
データ・ソース	選択したクエリ・ノードのデータ・ソース・セットが表示されます。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
詳細	次の情報が表示されます。
	・ CI タイプ/要素タイプ : 選択したクエリ・ノード/関係の CIT です。
	• 要素名: クエリ・ノード/関係の名前です。モデリング・スタジオにのみ表示 されます。
	<ul> <li>クエリ結果に表示:緑色のチェック記号は、選択したクエリ・ノード/関係が トポロジ・マップに表示されることを示します。赤色のマークは、表示され ないことを示します。モデリング・スタジオでは、[はい]または[いい え]という語によって示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>サブタイプを含める:緑色のチェック記号は、選択した CI とその子の両方が トポロジ・マップに表示されることを示します。赤色のマークは、選択した CI だけが表示されることを示します。この項目はモデリング・スタジオでは 表示されません。</li> </ul>
編集	[ <b>編集</b> ] をクリックすると,選択したタブに対応するダイアログ・ボックスが 開きます。
要素レイアウト	選択したクエリ・ノード/関係での選択属性が表示されます。クエリ結果に含め るために選択された属性が一覧表示されます([特定の属性]が属性条件とし て選択されている場合)。また、除外された属性と、属性で選択されたすべて の修飾子も一覧表示されます。詳細については、「[要素レイアウト]タブ」 (78ページ)を参照してください。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
要素タイプ	クエリ・ノードまたは関係に対して定義されたサブタイプ条件が表示されま す。詳細については,「[要素タイプ]タブ」(77ページ)を参照してくださ い。

UI 要素	詳細
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
エンリッチメン ト・ルール	選択したクエリ・ノード/関係に対して定義されたエンリッチメント・ルールが 表示されます。エンリッチメント・ルールを使って CI の属性を更新する場合 は、必要に応じて [編集] をクリックして [クエリ・ノード/関係の定義] ダイ アログ・ボックスを開き、ルールを編集します。詳細については、「[クエリ ノード / 関係の定義] ダイアログ・ボックス」(514ページ)を参照してくださ い。
	注: このタブはエンリッチメント・マネージャにのみ表示されます。
影響を受けるク エリ・ノード	選択したトリガ・クエリ・ノードで発生する変更の影響を受けるクエリ・ノー ドが表示されます。必要な場合は, [編集] をクリックして, [影響を受ける クエリノード] ダイアログ・ボックスを開いて変更できます。詳細について は, 「[影響を受けるクエリノード] ダイアログ・ボックス」(443ページ)を参 照してください。
	注:このタブは影響分析マネージャにのみ表示されます。
修飾子	クエリ・ノードまたは関係に対して定義された修飾子条件が表示されます。詳 細については,「[修飾子]タブ」(80ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> このタブは,エンリッチメント・マネージャと影響分析マネージャにのみ表示されます。
選択された ID	TQL クエリ結果に含める必要があるものを定義するために使用される要素イン スタンスが表示されます。詳細については,「[ID]タブ」(81ページ)を参照し てください。

### [影響を受けるクエリノード] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、TQLクエリでトリガ影響分析クエリ・ノードになるクエリ・ノードと、システムで発生する変更の影響を受けるクエリ・ノードを定義できます。

利用方法	トリガとして機能するクエリ・ノードまたは関係を右クリック して, [影響を受けるものを定義]を選択します。 [影響を受 けるクエリノード] ダイアログ・ボックスが開いて, TQLクエ リのクエリ・ノードが表示されます。
重要情報	TQL クエリを作成する前に,クエリでトリガ影響分析クエリ・ ノードとなるクエリ・ノードと,変更の影響を受けるクエリ・ ノードを事前に知っておく必要があります。定義はここで行い

	ます。
関連タスク	「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
関連情報	<ul> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「影響分析マネージャのユーザ・インタフェース」(435ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
[影響を受け るクエリ ノード]表示 枠	影響分析クエリ・ノードのリストを影響ルールに含めます。トリガ・クエリ・ ノードの影響を受けるクエリ・ノードを選択します。 [ <b>次へ</b> ] をクリックする と,選択したクエリ・ノードの詳細が表示されます。

### [影響ルール定義] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,影響を受けるクエリ・ノードを定義する条件の設定,トリガ条件の 範囲の定義,影響の重大度の定義ができます。

利用方法	影響分析マネージャの[影響を受けるクエリ ノード]ダイアログ・ボックスの詳 細ページで,[ <b>追加</b> ]をクリックします。
重要情報	<ul> <li>[条件]領域で、影響を受けるクエリ・ノードを定義する条件を設定します。 この条件が満たされると、システムの変更シミュレーションが起動されます。 たとえば、クエリ・ノードの動作状態が標準でないことを示す影響分析条件を 定義できます。クエリ・ノード・インスタンスの動作状態が変化して標準でな くなると、条件が満たされ、システムの変更シミュレーションが起動されま す。</li> <li>[スコープ]領域では、どのくらいのインスタンスのトリガ・クエリ・ノード がシステムの変更を起動する条件を満たすか定義します。 トリガ条件は、トリガ・クエリ・ノードの1つのインスタンス、一定割合のト リガ・インスタンス、またはすべてのインスタンスに適用できます。 たとえば、システムのノードが少なくとも10% ダウンしたときに予測される影響を定義できます。</li> <li>ダイアログ・ボックス下部で、影響分析の影響の重要度を定義します。</li> </ul>
関連タスク	「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
関連情報	<ul> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「影響分析マネージャのユーザ・インタフェース」(435ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
すべて	すべてのインスタンスが条件を満たす必要があります。
任意	1 つ以上のインスタンスが条件を満たす必要があります。
詳細	定義する影響ルールの詳細です。
固定された重大 度	発生するすべてのシステム変更に対して一定の重要度を定義し ておき,リストから必要な重要度を選択します。
関数	[ <b>関数</b> ] ([ <b>対象範囲</b> ] 領域で [ <b>すべて</b> ] および [ <b>範囲</b> ] オプ ションを選択したときに表示)を選択し,範囲に含まれている すべてのトリガ・クエリ・ノード・インスタンスの重要度の関 数として,システム変更の重要度を定義します。リストから, [ <b>平均</b> ] または [ <b>最大</b> ] を選択します。
	たとえば、[ <b>平均</b> ]を選択すると、システム変更の重要度はす べてのトリガ・インスタンスの平均重要度になります。
演算子	必要な演算子を選択します。属性条件の定義で使用できる演算 子のリストについては, 「属性演算子の定義」(37ページ)を参 照してください。
範囲	ー定割合のインスタンスがすべて,条件を満たす必要がありま す。たとえば,50%~100%の範囲を入力した場合,50%以上 のインスタンスが条件を満たすと,変更が起動されます。
重大度はトリガ の重大度との相 対値(%)	[重大度はトリガの重大度との相対値(%)]([対象範囲] 領域で[任意]オプションを選択すると表示)を選択して、ト リガ・イベントの重要度に(パーセンテージとして)関連する 各システム変更の重要度を定義します。
	与えられたホックスにハーセンテージを八力します。
状態	必要な状態を選択します。リストに表示される状態は,状態マ ネージャで定義した状態です。詳細については,『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「状態マネージャ」を参照して ください。
値の比較	必要な属性を選択します。

新規影響ルール/影響ルールのプロパティ/影響ルールと して保存ウィザード

このウィザードでは、影響ルールを作成、変更できます。

利用方法	<ul> <li>影響ルールを作成するには、[影響ルール]表示枠のどこかを右クリックして[新規作成]をクリックするか、[新規作成] ジボタンをクリックします。</li> <li>既存の影響ルールを変更するには、[影響ルール]表示枠で影響ルールを右クリックして、[プロパティ]を選択します。</li> <li>既存のクエリに基づいて新しい影響ルールを作成するには、[影響ルール]表示枠で影響ルールを右クリックして、「名前を付けて保存]を選択します。</li> </ul>
重要情報	<ul> <li>影響ルールを作成した後で、TQL クエリに大きな変更を加えると、システムによってそのルールが削除されます。これらの変更は、根本原因クエリ・ノードまたは影響を受けるクエリノードの削除や、最小および最大関係定義の変更などです。詳細については、「[カーディナリティ]タブ」(74ページ)を参照してください。</li> <li>TQL クエリにクエリ・ノードを追加するなどの小さな変更では、ルールは削除されません。</li> <li>影響ルールの基礎となる影響分析 TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが有効でない場合、影響ルールの作成には使用できません。</li> </ul>
関連タスク	「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)
ウィザード・ マップ	「新規影響ルール/影響ルールのプロパティ/影響ルールと して保存ウィザード」には次のページが含まれます。 「[影響ルールの一般属性] ページ」(446ページ)>「[影響 ルールベースクエリ] ページ」(447ページ)>「[影響ルー ルグループ] ページ」(448ページ)
関連情報	<ul> <li>「影響分析マネージャの概要」(432ページ)</li> <li>「影響分析マネージャのユーザ・インタフェース」(435 ページ)</li> </ul>

### [影響ルールの一般属性] ページ

このウィザード・ページでは、影響ルールの一意の名前と詳細を入力できます。

# 重要・影響ルールの基礎となる影響分析 TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細につい 情報 ては、「トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが有効でない場合、影響ルールの作成には使用できませ

	$h_{\circ}$
	<ul> <li>TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については、「新規影響ルール / 影響ルールのプロパティ / 影響ルールとして保存ウィザード」(445ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>標準設定では、このウィザードは[ようこそ]ページを表示するように設定されています。ユーザ・プリファレンスを変更して、[ようこそ]ページを表示しないようにできます。詳細については、「[ユーザプリファレンス]ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー	「新規影響ルール / 影響ルールのプロパティ / 影響ルールとして保存ウィザード」(445ペー ジ)には,次のページが含まれています。
ド・ マッ プ	<b>「[影響ルールの一般属性]ページ」</b> >「[影響ルール ベースクエリ]ページ」>「[影 響ルール グループ]ページ」
関連 情報	「IT ユニバース・マネージャ」(173ページ)

UI 要 素	詳細
ルー ルの 詳細	影響ルールの詳細を入力します(任意指定)。
ルール名	影響ルールの一意の名前を入力します。 ルール名には, \/:" < >  %? の文字を含むことができません。最後の文字を空白スペース にすることはできません。
	<b>注:</b> 影響ルール名が空の状態であるか,別の影響ルールで使用している名前が含まれているか,無効な文字が使用されている場合は, [次へ]および [完了] ボタンが使用 不可になります。

[影響ルールベースクエリ] ページ

このウィザード・ページでは,影響クエリの基礎とする TQL クエリのプロパティを定義できます。既存のクエリを使用するか,新しいクエリを作成できます。

重要
 ・ 影響ルールの基礎となる影響分析 TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが有効でない場合、影響ルールの作成には使用できません。

	• TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については,「新規影響ルール/影響ルールのプロパティ/影響ルールとして保存ウィザード」(445ページ)を参照してください。
ウィ ザー・マ プ	「新規影響ルール/影響ルールのプロパティ/影響ルールとして保存ウィザード」は次の ページを含みます。 「[影響ルールの一般属性] ページ」 > 「[影響ルール ベース クエリ] ページ」 > 「[影響ルール グループ] ページ」
ノ 関連 情報	「IT ユニバース・マネージャ」(173ページ)

UI 要素	詳細
新しいクエリの 影響ルールに基 づく	新しい TQL クエリを影響ルールのベースにする場合は,このチェック・ボック スを選択します。クエリ結果は,新しい TQL クエリに定義した属性に基づいた ものになります。
既存のクエリの 影響ルールに基 づく	既存の TQL クエリを影響ルールのベースにする場合は,このチェック・ボック スを選択します。必要な影響分析 TQL クエリをドロップダウン・リストから選 択します。
ベース・クエリ 詳細	TQL クエリの説明を入力します(任意指定)。
ベース・クエリ 名	影響分析 TQL クエリの一意の名前を入力します。 [ <b>既存のクエリの影響ルールに基づく</b> ]オプションを選択した場合,ルールの 基礎とする影響分析 TQL クエリを選択します。
現在の定義に基	選択すると,影響ルールの定義に基づいて新しい TQL クエリが保存されます。
ついて新規クエ リを保存	<b>注:</b> このフィールドは,影響ルール・ウィザードにのみ表示されます。

### [影響ルールグループ] ページ

このウィザード・ページでは、影響ルールを実行できる場所を定義できます。

- 重要・影響ルールの基礎となる影響分析 TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが有効でない場合、影響ルールの作成には使用できません。
  - TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については,「新規影響ルール / 影響 ルールのプロパティ / 影響ルールとして保存ウィザード」(445ページ)を参照してくださ

	い。 • 標準設定では,このウィザードは,このページで[ <b>次へ</b> ]をクリックすると[ウィザー ドの完了]ページを表示するよう設定されています。ユーザ・プリファレンスを変更し て,[ウィザードの完了]ページを表示しないようにできます。詳細については, 「[ユーザ プリファレンス]ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。
ウィ ザー ド・ プ	「[影響ルール <i>グ</i> ループ]ページ」には次のページが含まれます。 「[影響ルールの一般属性]ページ」>「[影響ルールベースクエリ]ページ」> <b>「[影</b> 響ルール グループ]ページ」
関連 情報	「IT ユニバース・マネージャ」(173ページ)

UI 要素	詳細	
<影響ルールの バンドル>	利用可能なバンドルが表示されます。この影響ルールが含まれているバンドルを 選択します。	
	新規影響ルールの場合は, <b>[UCMDB:ルールを UCMDB アプリケーション内で実</b> 行] オプションが標準設定で選択されます。	

# 第11章:CIタイプ・マネージャ

本章の内容

•	CI タイプの概要	450
•	CI タイプ属性	.451
•	CI タイプの関係	452
•	廃止 Cl タイプ	453
•	システム・タイプ・マネージャ	. 453
•	CI タイプの作成方法	. 454
•	関係タイプの作成方法	.455
•	計算された関係タイプの作成方法	.456
•	リストと列挙定義の作成方法	.457
•	<b>列挙定義の作成方法 - ワークフロー</b>	.458
•	CI タイプと関係の説明を表示	.459
•	CI タイプ・マネージャのユーザ・インタフェース	460

HP Software-as-a-Serviceの顧客に対する注:CI タイプ・マネージャのデータは表示できますが、編集できません。

# CIタイプの概要

構成アイテム(CI)によって,ITインフラストラクチャのハードウェア,ソフトウェア,サービス, ビジネス・プロセス,またはコンポーネントを表すことができます。同様のプロパティを持つCI は、1つのCIタイプ(CIT)にグループ化されます。それぞれのCITには、CIと関連プロパティを作成 するテンプレートがあります。

すべての CI は CI タイプに属する必要があります。CIT の主なカテゴリは次のとおりです。

- Business Element: プロセスや組織グループなど、ビジネスの論理要素に対応する CIT。
- IT Process Record: IT インフラストラクチャで発生する変更に対応する CIT。
- モニタ:ビジネス環境から収集された入力測定値を処理する CIT。
- Location: デバイス,企業組織,または職務をサポートする人の場所に対応する CIT。
- Party:人または組織などのアクティブなエンティティに対応する CIT。
- CI Collection: CI の論理的な集合。

• Infrastructure Element:ビジネス環境に導入された物理要素(ハードウェアとソフトウェア)に 対応する CIT。

[CI タイプ]表示枠には、CIT が前述のカテゴリの下にツリー構造で整列されます。 [CI タイプ]表示枠でツリーを展開すると、CI タイプ・モデルを参照できます。左の表示枠で CIT を選択すると、ほかの CIT との潜在的な有効関係とともに、トポロジ・マップに表示されます。

また,ビジネス・ニーズに合わせて,新しい CIT を定義することもできます。新しい CIT の定義の詳 細については,「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」(468ページ)を参照してくださ い。

# CIタイプ属性

すべての CI タイプには、名前、説明、および標準設定値などを定義する属性があります。CI タイ プ・ツリーでほかの CIT の下にグループ化された CIT は、上位の CIT から属性を継承します。

新しい CI タイプを定義するときは,まず既存の CIT のリストから基本構成アイテム・タイプを選択します。新しい CIT は既存の CIT の属性を継承します。その後,新しい CIT の属性を設定できます。既存の CIT の属性を編集するには, [CI タイプ] 表示枠でツリーから CIT を選択し,トポロジ・マップの [属性] タブを選択します。CIT 属性の詳細については,「[属性] ページ」(470ページ)を参照してください。

#### 本項の内容

- 「CI タイプ識別メソッド」(451ページ)
- 「CI タイプの命名」(452ページ)

CIタイプ識別メソッド

作成されたすべての CI には、同じ CI タイプの異なるインスタンスを区別するために使用される自動 的に生成されるグローバル ID が与えられます。UCMDB は、2 つの CI インスタンスが同じものとして 定義され、その結果 1 つのインスタンスに結合される条件を設定できる識別メソッドを提供します。 たとえば、[**キー属性別**]メソッドは、特定の一致属性により CI を同じにする定義に関与します。 「[詳細] ページ」(469ページ)に説明されている方法で、追加の識別メソッドも選択できます。

[キー属性別] オプションを選択する場合,キー属性として CIT の属性を 1 つまたは複数指定できま す。キー属性は CIT の識別子として使用されます。CIT のインスタンスを定義する場合, CIT のキー属 性が当該タイプに属する CI の必須フィールドとなります。特定の CIT に必要なだけのキー属性を割り 当てることができます。新しい CIT を定義するとき,または既存の CIT を [キー属性別] に変更する ときにキー属性を割り当てない場合,ウィザードの [修飾子] ページで ABSTRACT\_CLASS 修飾子を選 択する必要があります。

その CIT のすべてのインスタンスのキー属性値が一意である場合は,既存の CIT のキー属性を変更ま たは削除できます。その CIT のすべてのインスタンスのキー属性値が一意である場合は,識別メソッ ドを [**キー属性別**] に変更できます。選択した変更が同一のキー属性値を持つ CIT の複数のインスタ ンスを引き起こす場合,エラー・メッセージが CIT のインスタンスは結合されても,アクションが許 可されないことを示します。 識別メソッドを選択する場合,CITのキー属性を定義することはできませんが,その親CITのキー属 性を保持します。これらのキー属性は、そのタイプのCIの必須フィールドであり、削除できません。この識別メソッドでは、選択した修飾子には制限はありません。

CI タイプの少なくとも1つが共通の祖先 CIT からその識別メソッドを継承する場合は,識別は兄弟 CI タイプにも関連します。たとえば、CI タイプの Router および Switch Router は兄弟 CI タイプ,祖先 CIT の子孫 Node です。少なくともそれらの1つが識別メソッドとして親から継承された場合は,識 別条件が一致すれば2つのタイプの CI を結合できます。その場合は,結合された CI の CI タイプは直 前に更新された兄弟の CI タイプになります。CI のいずれかに結合された CI の CI タイプに存在しない 属性があった場合は,それらはフィルタにより結合された CI から除外されます。

CIタイプの命名

HP Universal CMDB では, CMDB ベース・アプリケーションのエンティティ名は次の表記規則に従います。

- **CIT 属性の値**: すべてのプリミティブ型がサポートされています (long, double, float, string など)。
- CIT 属性の値(string 型): すべての特殊文字がサポートされています。最大長は 4,000 文字で す。
- CIT 名: 文字はa-z, A-Z, 0-9 およびアンダースコア(\_)のみが許可されます。注:
  - 最初の文字を番号にすることはできません。
  - [名前] フィールドでは大文字/小文字を区別しますが,異なる CIT に大文字/小文字の異なる 同じ名前を使うことはできません。
  - 最大長は 200 文字です。
- CIT 属性名: 文字はa-z, A-Z, 0-9 およびアンダースコア(\_)のみが許可されます。注:
  - 最初の文字は、番号にすることができます。
  - [属性名] フィールドでは大文字/小文字を区別しません。
  - 最大長は 200 文字です。
- **CIT 属性の長さ**:1 つの CIT 内にあるすべての属性値の全長は, Microsoft SQL Server の制限のため に 8K バイトを超えられません。この制限は特定の条件では緩和されます。詳細については, http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ms186981.aspx を参照してください。

# CIタイプの関係

関係は,2つのCI間のリンクを定義します。関係はIT環境におけるエンティティ間の依存関係と接続を表します。[CIタイプ]表示枠のドロップダウン・ボックスで関係または計算された関係を選択すると,トポロジ・マップに,選択した関係でリンクされているCITの有効なインスタンスがすべて

表示されます。計算された関係の詳細については,「計算された関係の使用」(93ページ)を参照して ください。

CIT に定義したのと同じ属性が関係にも定義されます。キー属性も関係に割り当てることができますが、必須ではありません。新しい関係タイプの定義の詳細については、「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」(468ページ)を参照してください。

# 廃止CIタイプ

今後のバージョンの製品で削除される予定の CIT および関係は,廃止 CIT として認識されます。この ような CIT は,ユーザ・インタフェースでは取り消し線が引かれて表示されます。廃止 CIT にポイン 夕を合わせると,代替の CIT など,その CIT に関する情報を含むツールチップが表示されます。

**注:** 取り消し線は,トポロジ・マップで14 ポイント以上のフォント・サイズが選択されている 場合のみ表示されます。

モデリング・スタジオの CIT ツリーには廃止 CIT が表示されますが,新規 TQL クエリやビューの作成 では使用しないことをお勧めします。廃止 CIT の代わりに,代替の CIT としてツールチップに表示さ れている CIT を使用してください。廃止 CIT は,定義済みのクエリおよびビューには表示されません。

削除予定の CIT 属性は,廃止属性です。また,これらの属性は,ユーザ・インタフェースでは取り消し線が引かれて表示されます。

次の図は、廃止 CIT を含む TQL クエリを表しています。



システム・タイプ・マネージャ

システム・タイプ・マネージャでは,属性タイプを定義する値の定義済みリストを作成できます。詳細については,「[システムタイプマネージャ]ダイアログ・ボックス」(488ページ)を参照してください。

次の属性タイプを作成できます。

- リスト:値の定義済みリスト (Location など)を作成できます。
- **列挙**:値の定義済みリストを作成し,各値に色を割り当てることもできます。列挙は状態による重 要度値リストとして使用するように設計されています。詳細については,『HP Universal CMDB 管 理ガイド』の「状態マネージャ」を参照してください。

重要度リストは次の目的に利用します。

- IT ユニバース・マネージャで影響分析の結果を取得する。詳細については, 「IT ユニバース・ マネージャ」(173ページ)を参照してください。
- 影響ルールを作成する。詳細については、「影響分析マネージャ」(432ページ)を参照してください。

リストおよび列挙の値は次の目的に利用できます。

- CIT の属性を編集する。詳細については, 「CI タイプの作成方法」(454ページ)を参照してください。
- TQL クエリ・ノードまたは関係の属性条件を定義する。詳細については, 「[クエリ・ノード / 関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。

# CIタイプの作成方法

このタスクでは, [構成アイテム タイプを作成]ウィザードを使って CIT を作成する場合に従うプロ セスを記述します。

本項の内容

- 「前提条件」(454ページ)
- 「CI タイプの定義」(454ページ)
- 「CI タイプの属性の設定」(455ページ)
- 「CIタイプへの修飾子の割り当て」(455ページ)
- 「CIタイプへのアイコンの割り当て」(455ページ)
- 「CI タイプ・メニューのカスタマイズ」(455ページ)
- 「CI タイプの標準設定ラベルの定義」(455ページ)
- 「一致ルールの定義」(455ページ)

1. 前提条件

CIタイプ・マネージャで, [CI タイプ] 表示枠のリスト・ボックスから [CI タイプ] を選択します。次に, [新規作成] 😹 をクリックして [構成アイテム タイプを作成] ウィザードを起動します。

2. CIタイプの定義

新しいCIタイプの名前,説明,およびベースの構成アイテム・タイプを入力し,識別メソッド

を選択します。詳細については、「[詳細]ページ」(469ページ)を参照してください。

3. CIタイプの属性の設定

新しい CI タイプの属性を編集します。詳細については, 「[属性]ページ」(470ページ)を参照 してください。

**注:** リストおよび列挙の定義は、システム・タイプ・マネージャで作成します。必要に応じて、追加のリストおよび列挙の定義を作成できます。詳細については、「リストと列挙定義の作成方法」(457ページ)を参照してください。

4. CIタイプへの修飾子の割り当て

新しい CI タイプの定義に修飾子を割り当てます。詳細については,「[修飾子]ページ」(474 ページ)を参照してください。

5. CIタイプへのアイコンの割り当て

新しい CI タイプに割り当てるアイコンを選択します。詳細については, 「[アイコン] ページ」 (477ページ)を参照してください。

- 6. CI タイプ・メニューのカスタマイズ
   新しい CI タイプのショートカット・メニューに表示されるメニュー項目とコマンドを選択します。詳細については、「[アタッチメニュー]ページ」(478ページ)を参照してください。
- 7. CIタイプの標準設定ラベルの定義
   CIタイプ・ラベルに表示される属性を定義します。詳細については、「[標準設定ラベル] ページ」(480ページ)を参照してください。
- 8. 一致ルールの定義

必要な場合,新しい CI タイプの一致ルールを定義します。詳細については,「[一致ルール] ページ」(482ページ)を参照してください。

**注:** この手順は, HP Universal CMDB Configuration Manager を実行する顧客に対してのみ関 連します。

# 関係タイプの作成方法

このタスクでは, [関係を作成]ウィザードを使って関係タイプを作成する場合に従うプロセスを記述します。

本項の内容

- 「前提条件」(456ページ)
- 「関係の定義」(456ページ)

モデリング・ガイド 第11章: Cl タイプ・マネージャ

- 「関係の属性の設定」(456ページ)
- 「関係への修飾子の割り当て」(456ページ)
- 「関係メニューのカスタマイズ」(456ページ)
- 「関係の標準設定ラベルの定義」(456ページ)
- 1. 前提条件

CIタイプ・マネージャで, [CIタイプ]表示枠のリスト・ボックスから [関係]を選択しま す。次に, [新規作成] 🐱 をクリックして [関係を作成] ウィザードを起動します。

**2**. 関係の定義

新しい関係の名前,説明,およびベースの CI タイプを入力します。詳細については,「[詳細]ページ」(469ページ)を参照してください。

3. 関係の属性の設定

新しい関係の属性を編集します。詳細については,「[属性]ページ」(470ページ)を参照して ください。

**注:** リストおよび列挙の定義は、システム・タイプ・マネージャで作成します。必要に応じて、追加のリストおよび列挙の定義を作成できます。詳細については、「リストと列挙定 義の作成方法」(457ページ)を参照してください。

- 関係への修飾子の割り当て
   新しい関係の定義に修飾子を割り当てます。詳細については、「[修飾子]ページ」(474ページ)を参照してください。
- 5. 関係メニューのカスタマイズ

新しい関係のショートカット・メニューに表示されるメニュー項目とコマンドを選択します。 詳細については,「[アタッチメニュー]ページ」(478ページ)を参照してください。

 関係の標準設定ラベルの定義
 関係ラベルに表示される属性を定義します。詳細については、「[標準設定ラベル]ページ」 (480ページ)を参照してください。

# 計算された関係タイプの作成方法

このタスクでは, [計算関係の作成] ウィザードを使って計算された関係タイプを作成する場合に従 うプロセスを記述します。

本項の内容

モデリング・ガイド 第11章: Cl タイプ・マネージャ

- 「前提条件」(457ページ)
- 「計算された関係の定義」(457ページ)
- 「関係への修飾子の割り当て」(457ページ)
- 「必須のトリプレットの追加」(457ページ)
- 1. 前提条件

CIタイプ・マネージャで, [CIタイプ]表示枠のリスト・ボックスから [計算関係]を選択し ます。次に, [新規作成] 📧 をクリックして [計算関係の作成] ウィザードを起動します。

2. 計算された関係の定義

新しい計算された関係の名前,説明,およびベースの CI タイプを入力します。詳細について は,「[詳細] ページ」(469ページ)を参照してください。

- 関係への修飾子の割り当て
   新しい関係の定義に修飾子を割り当てます。詳細については、「[修飾子]ページ」(474ページ)を参照してください。
- 4. 必須のトリプレットの追加
   必要なトリプレットを追加します。詳細については、「[トリプレット] ページ」(475ページ)
   を参照してください。

# リストと列挙定義の作成方法

本項では、リストおよび列挙定義を作成するタスクについて説明します。

#### 本項の内容

- 「リスト定義の作成」(457ページ)
- 「列挙定義の作成」(458ページ)
- 1. リスト定義の作成

定義済み値の [**リスト**] 定義を作成できます。たとえば, Location というリスト定義に以下の値 が含まれていることがあります。

- New York
- Boston
- Baltimore

詳細については, 「[リスト / 一覧定義の作成 / 更新]ダイアログ・ボックス」(483ページ)を参 照してください。 2. 列挙定義の作成

[列挙] 定義を作成し、リストの各値に色を割り当てることができます。詳細については、 「[リスト/一覧定義の作成/更新]ダイアログ・ボックス」(483ページ)を参照してください。 列挙定義の例については、「列挙定義の作成方法 - ワークフロー」(458ページ)を参照してくだ さい。

列挙定義の作成方法 - ワークフロー

次の手順で、列挙定義を作成する方法について説明します。

注:必要な結果を取得するには、このタスクの各手順に従う必要があります。

列挙定義を作成するには、次の手順を実行します。

- 1. [マネージャ] > [モデリング] > [CI タイプ マネージャ] を選択します。
- メイン・メニューで【CI タイプ】>【システム タイプ マネージャ】を選択すると、「システム タイプ マネージャ】ダイアログ・ボックスが開きます。
- 3. [追加] 🛃 ボタンをクリックして [リスト定義の作成] ダイアログ・ボックスを開きます。

**注:** あるいは, [マネージャ] > [管理] > [状態マネージャ] を選択して, [新規列挙] ボ タンをクリックすると, [列挙定義の作成] ダイアログ・ボックスが開きます。

- 4. [列挙]を選択します。
- 5. [名前] ボックスで,必要な名前を入力します。
- [表示名] ボックスで、必要な表示名を入力します(任意指定)。
   この例では、次の重要度リストを作成する方法について説明します。

+-	値	重要度
0	緑	標準
1	オレンジ	重大
2	赤	致命的

- 7. [追加] 🌁 ボタンをクリックして新しい行を作成します。
- 8. [値] ボックスに Normal と入力し, [キー] ボックスに 0, と入力します。また, [色] セク ションで [縁] を選択します。
- 9. [追加] 🛃 ボタンをクリックして別の行を作成します。
- 10. [**値**] ボックスに Major と入力し, [**キー**] ボックスに1 と入力します。また, [**色**] セクショ ンで [**オレンジ**] を選択します。

- 11. [追加] 🛃 ボタンをクリックして別の行を作成します。
- 12. [値] ボックスに Critical と入力し, [キー] ボックスに 2 と入力します。また, [色] セク ションで [赤] を選択します。

次の図は,変更後の[列挙定義]セクションを示しています。

名前: 売示タ	Oper_States	
タイフ 列挙5	- ∟ ♪:○リスト ◎ ? 定義	列挙
*	Normal Major Critical	値: Critical キー: 2
		色 〇 ● 緑 〇 ● 緑 〇 ● 薄緑 〇 ● 黄 〇 ● オレンジ ● ● 赤 〇 ■ グレー
ţ		

13. [OK] をクリックして、変更内容を保存します。

### CIタイプと関係の説明を表示

CIタイプ・マネージャの左表示枠に、利用可能なCIタイプの一覧をツリー形式で表示できます。「CI タイプ・マネージャ・ページ」(464ページ)で説明しているように、個別のCIタイプをインクリメン タル検索することができます。特定のCIタイプの詳細を確認するには、ツリーでそのタイプを選択 し、トポロジ・マップで対応するアイコンの上にポインタを置いたままにします。CIタイプの説明が 記載されたツールチップが表示されます。

関係については, 左表示枠で[関係]を選択し, 関係の最初の文字でインクリメンタル検索をしま す。必要な関係を選択し, トポロジ・マップでそのアイコンの上にポインタを置いたままにすると, 関係の詳細が記載されたツールチップが表示されます。 CI タイプと関係の詳細については,UCMDB CI タイプと関係情報 PDF を生成できます。詳細については,「[PDF への選択した CIT のエクスポート]ダイアログ・ボックス」(487ページ)を参照してくだ

さい。または, [CI タイプ] 表示枠のツールバーで [**UCMDB クラス モデルの表示**] 🔛 ボタンを クリックすると, UCMDB クラス・モデル・リファレンスにアクセスできます。



本項の内容

•	[属性の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス	460
•	[関係の追加 / 削除] ダイアログ・ボックス	464
•	CI タイプ・マネージャ・ページ	464
•	構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成	468
•	[リスト / 一覧定義の作成 / 更新] ダイアログ・ボックス	483
•	[選択した CIT を Excel ヘエクスポート] ダイアログ・ボックス	485
•	[PDF への選択した CIT のエクスポート] ダイアログ・ボックス	487
•	[システム タイプ マネージャ] ダイアログ・ボックス	488

### [属性の追加/編集] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,新しい属性を定義して CIT に追加したり, CIT の既存の属性を編集 できます。

利用方法	CI タイプ・マネージャで[属性]タブを選択して[ <b>追加] 🌁</b> ボタンをクリック するか,あるいは属性を選択して[ <b>編集</b> ]ボタンをクリックするか,属性をダブ ルクリックします。
重要情報	[編集] モードでは,変更できないフィールドは使用不可になります。インスタ ンスのある Cl タイプの場合は,一部のフィールドを編集できません。詳細につい ては,「[属性]ページ」(470ページ)を参照してください。
関連タスク	<ul> <li>「CI タイプの作成方法」(454ページ)</li> <li>「関係タイプの作成方法」(455ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「CI タイプの概要」(450ページ)</li> <li>「CI タイプ属性」(451ページ)</li> </ul>

[詳細] タブ

UI 要素	説明
属性名	新しい属性に一意の名前を入力します。文字はa-z, A-Z, 0-9 およびアンダースコア (_ )のみが許可されます。注:
	• 最初の文字は, 番号にすることができます。
	<ul> <li>・ [属性名] フィールドでは大文字/小文字を区別しません。</li> <li>・ 最大長は 200 文字です。</li> </ul>
属性タイプ	次のオプションのいずれかを選択します。
	<ul> <li>プリミティブ:次のフィールド・タイプのいずれかを選択します:boolean, bytes, date number, double number, float number, integer, list of integers, list of strings, long number, string, xml。</li> </ul>
	<ul> <li>列挙/リスト:システム・タイプ・マネージャで定義した列挙およびリストの一覧 が含まれます。詳細については、「システム・タイプ・マネージャ」(453ページ)を参照してください。</li> </ul>
	このオプションによって,定義済みの値で属性を定義できます。たとえば,場所 属性は次の値が含まれた <b>location</b> リストで定義できます :Singapore, Paris, New York。
標準設定値	属性の標準設定値を入力するか選択します。 [ <b>標準設定値</b> ] フィールドのオプショ ンは,選択した属性タイプによって異なります。
	注:
	• [標準設定値]フィールドは, [標準設定値ポリシー]チェック・ボックス が選択されている場合のみに使用可能になります。
	<ul> <li>list of integers または list of strings のプリミティブ属性タイプを選択すると、複数の値を入力できます。</li> </ul>
標準設定値 ポリシー	このチェック・ボックスを選択して、属性が標準設定値を持つかどうか指定しま す。
説明	新しい属性の詳細を入力します。説明は 2,048 文字まで使用できます。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。
表示名	HP Universal CMDB で識別するために,新しい属性の名前を入力します。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。

UI 要素	説明
スコープ	新しい属性の対象範囲(属性が属するクラス・モデル)を選択します。
値のサイズ	新しい属性の最大物理サイズの値を入力します(bytes および string の場合にのみ 利用可能)。

[詳細設定] タブ

説明
アセット・レポートに属性値を表示する場合に選択します。
この属性は、複合 CI の比較に使用する場合に選択します。
選択した場合,プローブから送信される結果はトリムされます。つまり,結果の冒頭 および末尾に空白がないように,先頭と末尾のスペースとタブがトリムされます。
選択すると, STRING タイプの属性がサイズ制限を超えた場合, ディスカバリにより値 が短縮されます。詳細については, 『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』 の「サーバサイドのデータの正規化」を参照してください。
属性の将来的な編集を有効にする場合に選択します。 <b>編集可能</b> (または値を持つも の)としてマークされた属性だけが, IT ユニバース・マネージャの[プロパティ]タ ブに表示されます。
属性取得パフォーマンスを高める場合に選択します。このオプションは,検索条件で 頻繁に使用する属性に利用することをお勧めします。たとえば,IP address は,通常, ノードのインデックス属性です。
このオプションを選択すると、属性値が小文字で表示されます。
この指定は HP Universal CMDB Configuration Manager のユーザのみ関連します。
<ul> <li>注:</li> <li>この修飾子を特定の属性に選択すると、[CIインスタンス]ダイアログ・ボックスで属性が可視カラムとして表示されます。詳細については、「CIインスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。</li> <li>[管理対象]は、list of integers または list of strings タイプの属性には適用されません。</li> </ul>

#### モデリング・ガイド 第11章: Cl タイプ・マネージャ

UI 要素	説明
履歴用の 追跡では ありませ ん	履歴保存からこの属性を除外する場合に選択します。
パスワー ド	このオプションを選択すると、属性値がアスタリスク(非表示値)で表示されます。
必須	値がCIT を作成するのに必要であり、属性を必須のものとして定義する場合に選択し ます。
静的	属性を静的属性として定義する場合に選択します。
一意	このオプションを選択すると、CIタイプのインスタンスごとに一意の値が必要になり ます。
大文字	このオプションを選択すると、属性値が大文字で表示されます。
更新値ポ リシーを 使用	この修飾子の詳細については, 「更新値ポリシーを使用修飾子」(22ページ)を参照して ください。
可視	IT ユニバース・マネージャの[プロパティ]タブにこの属性を表示する場合に選択し ます。

UCMDB Browser 修飾子

以下では,使用されるインタフェース要素について説明します。

UI 要素	説明
CMS Browser Editable	この属性を UCMDB Browser で編集できるようにする場合に選択します。
CMS ブラウザ検 索可能	この属性が UCMDB Browser で検索されるように選択します。
CMS ブラウザ可 視	この属性が UCMDB Browser で可視されるように選択します。 [ <b>プレビュー モードで可視</b> ]フィールドは,属性が UCMDB Browser のプレ ビュー・モードで表示されるかどうかを決定します。
	[ <b>プロパティ グループ割り当て</b> ]フィールドは,属性が表示されるプロパ ティ・ウィジェット内のグループを決定します。
モデリングで非	[ <b>CMS ブラウザ可視</b> ] が選択された状態で, [ <b>モデリングで非表示</b> ] を選択す

UI 要素	説明
表示	ると, UCMDB Browser の アシスト・モデリング機能に属性が表示されません。
検索結果のエク スポートで非表 示	この属性が UCMDB Browser でエクスポートされる検索結果から除外されるよう に選択します。

### [関係の追加/削除] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、CIT 間で(物理または論理接続を定義する)標準設定関係または新 しい関係の追加または削除を行います。

利用方法	CI タイプ・マネージャで,1 つまたは 2 つの CIT を右クリックして, <b>[関係の</b> <b>追加/削除</b> ] を選択します。
重要情報	2 つの CIT 間の関係を追加するときは, <b>CTRL</b> キーを押しながら CIT 名をクリッ クしてリンクする 2 つの CIT を選択します。いずれかの CIT を右クリックし, [ <b>関係の追加/削除</b> ] を選択します。
関連情報	<ul> <li>「CI タイプの概要」(450ページ)</li> <li>「CI タイプの関係」(452ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
<クエリ node1 からクエリ	第 1 クエリ・ノードから第 2 クエリ・ノードの方向に追加する関係
node2>	を選択します。
<クエリ node2 からクエリ	第 2 クエリ・ノードから第 1 クエリ・ノードの方向に追加する関係
node1>	を選択します。
関係名	可能性のある関係のリスト。

### CIタイプ・マネージャ・ページ

このページでは、CI タイプ・モデルの情報を表示できます。この情報には、システムで定義されたす べての構成アイテム・タイプ(CIT)および CIT 間の接続を定義する関係に関する定義が含まれていま す。それぞれの CIT には独自の属性に加えて、親 CIT から継承した属性もあります。

利用方法	ナビゲーション・メニューから[CI タイプ マネージャ]を選択するか,[マネー ジャ]> <b>[モデリング]&gt;[CI タイプ マネージャ]</b> を選択します。
重要情報	CI タイプ・マネージャは次の表示枠で構成されています。

	<ul> <li>CI タイプ: CI タイプと関係の階層リストが表示されます。CIT の横に表示される 数値は, CMDB に存在するその CIT のインスタンス数を示します。</li> <li>トポロジ マップ: システムの CIT と関係のトポロジ・マップが表示されます。</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「CI タイプの作成方法」(454ページ)</li> <li>「関係タイプの作成方法」(455ページ)</li> <li>「計算された関係タイプの作成方法」(456ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「CIタイプの概要」(450ページ)</li> <li>「CIタイプ属性」(451ページ)</li> <li>「CIタイプの関係」(452ページ)</li> <li>「廃止 CIタイプ」(453ページ)</li> <li>「CIタイプと関係の説明を表示」(459ページ)</li> <li>「CIタイプ・マネージャのユーザ・インタフェース」(460ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	詳細
*	<b>新規作成:</b> [構成アイテムタイプを作成] ウィザードを開いて,新しい CI タイプ を定義できます。詳細については,「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作 成」(468ページ)を参照してください。
×	<b>削除 :</b> 選択した Cl タイプまたは関係を削除します。このオプションは,子もイン スタンスもない Cl タイプにのみ利用できます。
	<ul> <li>注:</li> <li>CIタイプまたは関係を削除すると、そのCIタイプや関係に依存するすべてのリソースも削除されます。[削除]をクリックすると、[削除の確認]ダイアログ・ボックスに依存するリソースの各タイプに対するリンクが表示されます。リンクをクリックすると、依存リソースが表示されます。依存リソースにはクエリ、ビュー、レポート、エンリッチメント、または影響ルールが含まれます。</li> <li>定義済みのクラス・モデルの一部であるCIタイプを削除すると、UCMDBのライセンス・メカニズムが無効になる場合があります。ライセンス・メカニズムが無効になる場合があります。ライセンス・メカニズムの無効化により、UCMDBへのアクセスが制限されます。UCMDBへのアクセスは、影響しているクラス・モデルの変更が元に戻った後に付与されます。これらの問題をトラブルシューティングするには、UCMDBのライセンス・ログを参照してください。</li> </ul>
S	<b>更新:</b> ほかのユーザによって変更された可能性がある階層ツリー構造のデータ内 容が更新されます。

UI 要素	詳細
	<b>保存 :</b> Cl タイプに行った変更を保存します。
in The Local Control of Control o	XML からインポート:外部ファイルから CIT をインポートできます。
<b>F</b>	<b>XML ヘエクスポート:</b> CIT を XML ファイルとしてエクスポートできます。このオ プションは,サーバ間で移動するのに使います。
<b>E</b>	<b>クラス・モデルのエクスポート:</b> CIT をエクスポートできます。エクスポート形式 を選択します。次のオプションを使用できます。
	• PDF:テーブルのデータは, PDF 形式でエクスポートされます。
	• XLS:テーブルのデータは,スプレッドシートに表示できる.xls(Excel)ファイ ル形式に整形されます。
8	<b>UCMDB クラス・モデルの表示:</b> [Class Model Reference] が開きます。これに は,クラス・モデル内のすべてのパッケージ,Cl タイプ,関係に関する情報が含 まれています。
<ci th="" タイプ="" 関<=""><th>次のオプションのいずれかを選択します。</th></ci>	次のオプションのいずれかを選択します。
係ボックス>	• CI タイプ: CIT モデルの CI タイプが表示されます。
	• 関係:CIT モデルの関係が表示されます。
	• 計算関係: CIT モデルの計算された関係が表示されます。
<編集表示枠>	次のタブを利用できます。
	• CI タイプの依存関係:CIT とその関係を含めて,CI タイプ・モデルをトポロジ・ マップに表示します。選択したCI タイプまたは関係の名前が,表示枠の最上部 にある境界線に表示されます。CIT をポイントすると,ツールチップにCIT の表 示名とその説明が表示されます。
	• 詳細 : 左の表示枠で選択した CI タイプに関する基本情報を編集できます。詳細 については, 「[詳細]ページ」(469ページ)を参照してください。
	• <b>属性 :</b> 選択した CIT の属性を編集できます。詳細については, 「[属性] ページ」(470ページ)を参照してください。
	• 修飾子:修飾子は選択した CIT に割り当てることができます。詳細について は、「[修飾子]ページ」(474ページ)を参照してください。
	<ul> <li>トリプレット:計算された関係を作成できます。詳細については、「[トリプレット]ページ」(475ページ)を参照してください。このタブは計算された関係にのみ表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>アイコン:アイコンは選択した CIT に割り当てることができます。詳細については、「[アイコン]ページ」(477ページ)を参照してください。このタブは、関係に対しては表示されません。</li> </ul>

UI 要素	詳細
	<ul> <li>アタッチ・メニュー:メニュー項目とコマンド (ping, プログラムの実行, URL を開くなど)を追加して、CIのショートカット・メニューをカスタマイズできます。カスタマイズされたメニューは、IT ユニバース・マネージャでCI インスタンスを右クリックすると表示されます。詳細については、「[アタッチメニュー]ページ」(478ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li>標準設定ラベル: CIT ラベルに表示される属性を定義できます。複数の属性を含めるには、機能ボタンを使います。詳細については、「[標準設定ラベル] ページ」(480ページ)を参照してください。</li> </ul>
	<ul> <li></li></ul>
<メイン・メ ニュー>	詳細については, 「メイン・メニュー」(157ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプション」(160ページ)を参照してください。
[CI タイプ] 表示枠	CIT 間の継承関係が含まれる,CMDB で各CIT のインスタンスの数を表示するCIタ イプ・モデルの階層ツリー構造です。CIタイプ・モデルに含まれているすべての CIT は,CIT または関係に分類されます。トポロジ・マップで選択したCIT の関係 および隣接項目をドリル・ダウンして表示できます。インクリメンタル検索でCIT または関係のリストを検索するには、必要な選択に達するまで,CIT または関係の 先頭文字を繰り返し入力します。また、フル・ネームを入力しても、CIT または関 係を検索できます。

ショートカット・メニュー

CI タイプ・マネージャには, [CI タイプ] 表示枠または依存関係マップで CI タイプを右クリックすると利用できる,次のオプションが含まれています。

UI 要素	説明
関係の追加 /削除	[関係の追加/削除] ダイアログ・ボックスを開いて, CIT に関係を追加したり削除したりできます。詳細については, 「[関係の追加/削除] ダイアログ・ボックス」 (464ページ)を参照してください。
選択した項 目の削除	選択した CI タイプを削除します。このオプションは,子もインスタンスもない CI タ イプにのみ利用できます。
	<b>注:</b> CI タイプまたは関係を削除すると、その CI タイプや関係に依存するすべての リソースも削除されます。 [ <b>選択した項目の削除</b> ] を選択すると、 [削除の確 認] ダイアログ・ボックスに依存するリソースの各タイプに対するリンクが表

UI 要素	説明
	示されます。リンクをクリックすると,依存リソースが表示されます。依存リ ソースにはクエリ,ビュー,レポート,エンリッチメント,または影響ルール が含まれます。
XML ヘエ クスポート	CIT を XML ファイルとしてエクスポートできます。このオプションは,サーバ間で移 動するのに使います。
新規作成	[構成アイテム タイプを作成] ウィザードを開いて,新しい CI タイプを定義できま す。詳細については,「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」(468ページ) を参照してください。
CIT インス タンスを表 示	[CI インスタンス] ダイアログ・ボックスが開き,選択した CIT のすべてのインスタンスが表示されます。詳細については,「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。

### 構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成

このウィザードでは、新しい構成アイテム・タイプまたは関係を定義できます。

利用方 法	Cl タイプ・マネージャのトポロジ・マップまたは [Cl タイプ] 表示枠で Cl タイプまたは 関係をクリックして, [Cl タイプ] 表示枠で [ <b>新規作成</b> ] を選択するか, [ <b>新規作成</b> ] ※ ボタンをクリックします。
関連タ スク	<ul> <li>「CI タイプの作成方法」(454ページ)</li> <li>「関係タイプの作成方法」(455ページ)</li> <li>「計算された関係タイプの作成方法」(456ページ)</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マップ	「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」には次のページが含まれます。 「[詳細] ページ」 > 「[属性] ページ」 > 「[修飾子] ページ」 > 「[トリプレッ ト] ページ」 > 「[アイコン] ページ」 > 「[アタッチメニュー] ページ」 > 「[標準 設定ラベル] ページ」 > 「[一致ルール] ページ」
関連情 報	<ul> <li>「CI タイプの概要」(450ページ)</li> <li>「CI タイプ属性」(451ページ)</li> <li>「CI タイプの関係」(452ページ)</li> </ul>

[構成アイテムタイプを作成]ウィザードには、次のページが含まれています。

- 「[詳細] ページ」(469ページ)
- 「[属性] ページ」(470ページ)
- 「[修飾子]ページ」(474ページ)
モデリング・ガイド 第11章: Cl タイプ・マネージャ

- 「[トリプレット] ページ」(475ページ)
- 「[アイコン]ページ」(477ページ)
- 「[アタッチメニュー] ページ」(478ページ)
- 「[標準設定ラベル]ページ」(480ページ)
- 「[一致ルール] ページ」(482ページ)

[詳細] ページ

このウィザード・ページでは、定義する新しいCIタイプに関する基本情報を入力できます。

重要情	[構成アイテム タイプを作成] ウィザードの一般情報については, 「構成アイテム・タ
報	イプ / 関係 / 計算関係の作成」(468ページ)を参照してください。
ウィ	「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」には次のページが含まれます。
ザー	「【詳細】ページ」 > 「 [属性] ページ」 > 「 [修飾子] ページ」 > 「 [トリプレッ
ド・	ト] ページ」 > 「 [アイコン] ページ」 > 「 [アタッチメニュー] ページ」 > 「 [標準
マップ	設定ラベル] ページ」 > 「 [一致ルール] ページ」

UI 要 素	詳細
ベー スの (1 タ イプ	作成する CIT のベース CIT を選択します。新しい CIT はベース CIT の属性を継承します。
	<b>注:</b> このフィールドは [構成アイテム タイプを作成] ウィザードにのみ表示されま す。CI タイプ・マネージャの [詳細] タブで既存の CIT を編集する場合は関係ありま せん。
作成 者	新しい CIT を作成したユーザです。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。
説明	新しい CIT の説明です。説明は 2,048 文字まで使用できます。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。
表示 名	CIT が HP Universal CMDB インタフェースに表示されるときの名前です。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。
ID	定義されているすべての新規の CI には, CMDB ID と global_id プロパティに基づいた ID が あります。選択した CIT のインスタンスに対する追加の識別メソッドも設定できます。次 のオプションを利用できます。

UI 要 素	詳細
	• キー属性別: [利用可能な属性] 表示枠から属性を選択し, [選択された属性] 表示枠 に移動します。これらの属性は, CIT キー属性として定義されます。すべてのキー属性 に一致する値を持つ CIT のインスタンスが1つのインスタンスに結合されます。
	<ul> <li>識別ルール別:XML 識別ルールを定義するには、[編集]ボタンをクリックします。</li> <li>XML 識別ルールの例については、『HP Universal CMDB データ・フロー管理ガイド』の</li> <li>「識別ルール・ドキュメントの作成方法」を参照してください。</li> </ul>
	• 親から継承 :CIT は,親 CIT として同じ識別メソッドを使用します。
	• ID なし: 追加の識別メソッドはありません。
	<b>注:</b> 関係の場合は, [ <b>キー属性別</b> ]オプションのみを利用できます。
Name	新しい CIT の一意の名前です。文字はa-z, A-Z, 0-9 およびアンダースコア(_ )のみが許可 されます。注:
	<ul> <li>最初の文字は、aからzまたはAからZのいずれかである必要があります。</li> </ul>
	• [名前]フィールドでは大文字/小文字を区別しますが,異なる CIT に大文字/小文字の 異なる同じ名前を使うことはできません。
	<ul> <li>最大長は 200 又字です。</li> </ul>
対象 範囲	新しい CIT の対象範囲を選択します(所属するクラス・モデル)。

[属性] ページ

このウィザード・ページでは、CIT タイプの属性を編集できます。

重要 情報	各属性には、その名前、表示名、タイプ、説明、標準設定値が表示された列があります。また、各属性修飾子用の列があります。チェック・マークは、修飾子が選択されていることを示します。 [編集] ボタンをクリックして、属性の詳細と修飾子を編集します。インスタンスのある CI タイプの場合は、[CIT インスタンスがある場合は修飾子を変更できます] 列に表示される ように、一部の修飾子は変更できません。インスタンスがある CI タイプに選択した属性の 修飾子が変更されると、各 CI インスタンスの属性はそれに応じて変更されます (たとえ ば、[可視] 属性が選択されると、CI インスタンスは IT ユニバース・マネージャで可視に なります)。
ウィ ザドマ プ	「構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成」には次のページが含まれます。 「[詳細] ページ」 > 「[属性] ページ」 > 「[修飾子] ページ」 > 「[トリプレット] ページ」 > 「[アイコン] ページ」 > 「[アタッチメニュー] ページ」 > 「[標準設定ラベ ル] ページ」 > 「[一致ルール] ページ」

UI 要素	詳細	修飾子は, CIT インス タンスがある場合は 変更できます。
+	<b>追加 :</b> 新しい属性を定義できます。詳細については, 「[属性 の追加 / 編集]ダイアログ・ボックス」(460ページ)を参照し てください。	該当なし
Ø	編集: [属性の編集] ダイアログ・ボックスが開きます。詳細 については,「 [属性の追加 / 編集] ダイアログ・ボックス」 (460ページ)を参照してください。	該当なし
	<b>注:</b> CIT の親の属性を変更すると,テキストが明るい青に なります。CIT 自体の属性を変更した場合,テキストは濃 い青のままです。	
×	<b>削除:</b> 選択した属性を削除します。このオプションは,新たに 定義した属性に対してのみ使用できます。	該当なし
Q	<b>リセット :</b> 既存の属性を編集した後で,属性の設定をリセット します。	該当なし
	カラムの選択: [カラムの選択] ダイアログ・ボックスを使用 して,表示するカラムを選択します。詳細については,「[カ ラムの選択] ダイアログ・ボックス」(529ページ)を参照して ください。	該当なし
<属性>	新しい CIT と関連する属性をすべて表示します。黒で表示され る属性は,新しい CIT が基本 CIT から継承した属性です。濃い 青で表示される属性は,新しい CIT とその子孫専用の属性で す。明るい青で表示される属性は,新しい CIT で変更された継 承属性です。	該当なし
アセッ ト・デー タ	属性値がアセット・レポートに表示されるかどうかを示しま す。詳細については, 「アセット・レポート」(341ページ)を 参照してください。	はい
	<b>注:</b> この修飾子を特定の属性に選択すると, [Cl インスタンス] ダイアログ・ボックスで属性が可視カラムとして表示されます。詳細については, 「Cl インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。	
CMS Browser	この属性が UCMDB Browser で編集可能かどうかを示します。	はい

UI 要素	詳細	修飾子は, CIT インス タンスがある場合は 変更できます。
Editable		
CMS ブラ ウザ検索 可能	この属性が UCMDB Browser で検索可能かどうかを示します。	はい
CMS ブラ ウザ可視	この属性が UCMDB Browser で可視かどうかを示します。	はい
比較可能	この属性が、複合 CI の比較に使用されるかどうかを示しま す。詳細については、「CI 比較レポート」(359ページ)を参照 してください。このような属性の値の変更は、履歴に保存され ます。	はい
	注: この修師子を特定の属性に選択すると、「ロインスダンス]ダイアログ・ボックスで属性が可視カラムとして表示されます。詳細については、「ロインスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。	
標準設定 値	属性の標準設定値です。この値が表示されるのは,新しい CIT を定義したのに,属性の実行時の値がない場合です。	該当なし
詳細	属性の詳細です。	該当なし
ディスカ バリ自動 トリム	プローブから送信される結果がトリムされているかどうかを示 します。	はい
ディスカ バリ自動 短縮	STRING タイプの属性に対して自動短縮機能が有効になってい るかどうかを示します。	はい
表示名	HP Universal CMDB インタフェースに表示される属性名です。	該当なし
編集可能	属性を編集できるかどうかを示します。	はい
	<b>編集可能</b> (または値を持つもの)としてマークされた属性だけ が, IT ユニバース・マネージャの[プロパティ]タブに表示さ れます。	
インデッ クス	属性がインデックス属性として定義されているかどうかを示します。インデックス属性として定義されていると、属性取得パフォーマンスが高まります。	はい
	このオノンヨノは,快彩余叶で残紫に伊用りる属性に利用りる	

UI 要素	詳細	修飾子は, CIT インス タンスがある場合は 変更できます。
	ことをお勧めします。たとえば,IP address は,通常,ノード のインデックス属性です。	
<b>+</b> -	属性がキー属性として定義されているかどうかを示します。 注: このカラムは, [キー属性別]が識別メソッドとして 選択されているときにのみ関連します。	はい
小文字	属性値を小文字のままにするかどうかを示します。	はい
管理	この指定は HP Universal CMDB Configuration Manager のユーザ のみ関連します。	はい
	<b>注:</b> この修飾子を特定の属性に選択すると, [Cl インスタ ンス] ダイアログ・ボックスで属性が可視カラムとして表 示されます。詳細については, 「Cl インスタンス・ダイア ログ・ボックス」(62ページ)を参照してください。	
名前	属性の実際の名前(表示名とは異なる名前)です。名前は英語 である必要があります。	該当なし
履歴用の 追跡では ありませ ん	この修飾子を所定の属性に選択すると,属性は履歴によってモ ニタリングされません。	はい
必須	属性が,値が CIT の作成に必要な必須属性として定義されてい るかどうかを示します。	インスタンスの属性 が空でない場合のみ
静的	属性が静的属性として定義されているかどうかを示します。	なし
タイプ	属性のタイプです。	該当なし
UDM ス コープ	属性が UDM クラス・モデルに含まれるかどうかを示します。	なし
一意	属性が, CI タイプのインスタンスごとに一意の値が必要な, 一 意の属性として定義されているかどうかを示します。	なし
大文字	属性値を大文字のままにするかどうかを示します。	はい
可視	属性が IT ユニバース・マネージャの[プロパティ]タブに表 示されるかどうかを示します。	はい

## [修飾子] ページ

このウィザード・ページでは、修飾子を CIT タイプの定義に割り当てることができます。

重要 情報	修飾子によって,CIT に追加属性を定義できます。 [ <b>修飾子</b> ]リストで, [ <b>追加</b> ]ボタン を使って必要な修飾子を選択し,選択したものを [ <b>構成アイテム タイプ修飾子</b> ]リストに 移動します。複数の選択を行う場合は, <b>Ctrl</b> キーを押したままにします。
ウィ	「構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成」には次のページが含まれます。
ザー	「[詳細] ページ」 > 「[属性] ページ」 > <b>「[修飾子] ページ」</b> > 「[トリプレット]
ド・	ページ」 > 「[アイコン] ページ」 > 「[アタッチメニュー] ページ」 > 「[標準設定ラ
プ	ベル] ページ」 > 「[一致ルール] ページ」

UI 要素	詳細
	すべての修飾子を[ <b>構成アイテム タイプ修飾子</b> ]リストに移動します。
⇒	選択した修飾子を[ <b>構成アイテム タイプ修飾子</b> ]リストに追加します。複数の修 飾子を選択するには, <b>CTRL</b> キーを押しながら選択します。
<	選択した修飾子を[ <b>構成アイテム タイプ修飾子</b> ]リストから削除します。
5	すべての修飾子を[ <b>構成アイテム タイプ修飾子</b> ]リストから削除します。
挿入	新しいカスタム修飾子を定義するには,テキスト・ボックス修飾子名を入力し て,[ <b>挿入</b> ]をクリックします。修飾子が[ <b>構成アイテム タイプ修飾子</b> ]リスト に表示されます。
<構成アイテ ム・タイプ修 飾子>	新しい CIT の属性を定義する修飾子のリストです。たとえば,修飾子を使って, CIT を抽象 CIT として定義できます。つまり,この CIT からはインスタンスを作成 できません。
<修飾子>	使用できる修飾子オプションのリスト。
ABSTRACT_ CLASS	この CIT のインスタンスは作成できません。
BLE_LINK_ CLASS	HP Business Service Management にのみ関連します。
CONTAINER	この修飾子は, Membership(メンバシップ), Composition(コンポジショ ン), Containment(コンテインメント)など, 包含関係を表す関係に割り当てら

UI 要素	詳細
	れます。
HANDLER	HP Business Service Managementにのみ関連します。
HIDDEN_ CLASS	この CIT のインスタンスは,アプリケーションのどこにも表示されません。
ITU_HIDDEN_ CLASS	この CIT のインスタンスは,トポロジ・マップ・アプリケーションのどこにも表 示されません。
MAJOR_APP	この修飾子が割り当てられた CI タイプは, [アプリケーション ブレークダウン] カスタム・レポートに表示されます。詳細については, 「アプリケーション・ブ レークダウン・レポート」(337ページ)を参照してください。
MODELING_ Enabled	CIT をモデリング・スタジオのモデルとして機能させることができます。詳細につ いては, 「ビジネス CI モデル」(238ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> この修飾子は, Cl タイプの子孫の <b>構成 アイテム</b> である Cl タイプにのみ選 択できます。
NETWORK_ DEVICES	ネットワーク・デバイスを表す,すべての CI タイプに共通の修飾子です。ネット ワーク・デバイスに関連する TQL クエリに使用でき,クエリの CI タイプの代替と して機能します。
PM_SUSPECT	HP Business Service Management にのみ関連します。
READ_ONLY_ CLASS	この CIT は編集できません。
RECURSIVE_ DELETE	関係に適用されます。関係の一方の端で CI が削除されると,システムにより関係の他端の CI がチェックされます。ほかのどの CI とも関係付けられていない場合, この CI も削除されます。
	<b>注:</b> この修飾子はモデリング・スタジオの修飾子一覧にのみ表示されます。
SERVICE_ MODEL	UCMDB Browser のみに関連します。この修飾子を持つ CI タイプのみがサービスと して UCMDB Browser で利用可能で,UCMDB Browser でサービスモデルを作成する ために使用されます。
STRONG_ CONTAINMENT	関係に適用されます。end2 の root_container 属性に end1 の ID が割り当てられた ことを示します。

[トリプレット] ページ

このウィザード・ページでは,計算された関係を作成できます。[トリプレット]ページの各行は, トポロジ・マップでソース CI からターゲット CI に至るパスで許容される手順の1つを示します。 注: ウィザードのこの手順は、計算された関係にのみ関連があります。

重要情 報	<ul> <li>このページは、[CIタイプ]表示枠のドロップダウン・ボックスで[計算関係]を選択した場合に表示されます。</li> </ul>
	<ul> <li>計算された関係の詳細については、「計算された関係の使用」(93ページ)を参照して ください。</li> </ul>
	<ul> <li>[構成アイテムタイプを作成]ウィザードの一般情報については、「構成アイテム・ タイプ / 関係 / 計算関係の作成」(468ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ	「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」には次のページが含まれます。
ザー ド・ マップ	「[詳細]ページ」>「[属性]ページ」>「[修飾子]ページ」> <b>「[トリプレッ</b> <b>ト]ページ」</b> >「[アイコン]ページ」>「[アタッチメニュー]ページ」>「[標準設 定ラベル]ページ」>「[一致ルール]ページ」
関連情 報	「計算された関係の使用」(93ページ)

UI 要素	詳細
÷	<b>追加 :</b> 計算された関係でソース CI からターゲット CI に至るトポロジ・グラフのパスで許容 される手順を定義できます。 [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックスを開きます。詳 細については, 「 [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックス」(59ページ)を参照してく ださい。
Ø	<b>編集:</b> トリプレットを編集できます。 [トリプレットの編集] ダイアログ・ボックスを開き ます。詳細については, 「 [トリプレットの追加] ダイアログ・ボックス」(59ページ)を参 照してください。
×	<b>削除:</b> 選択したトリプレットを削除します。
関係	2 つのクエリ・ノードを接続するのに必要な関係です。
関係	関係のソースおよびターゲットです。
の万 向	• ⇒ 方向は, ソースからターゲットです。
	• 🧰 方向は, ターゲットからソースです。
ソー ス	必須のソース・クエリ・ノードです。
ター ゲッ ト	必須のターゲット・クエリ・ノードです。

[アイコン] ページ

このウィザード・ページでは、新しいCIタイプに割り当てるアイコンを選択します。

注: ウィザードのこの手順は、関係には関連がありません。

重要	それぞれの CIT は標準設定アイコンで表示されます。ただし,一定の条件が当てはまる場合は,同じ CIT に異なるアイコンを添付できます。たとえば,属性値の 1 つが変わると,
情報	同じ CIT に別のアイコンを結び付けることができます。
ウィ ザー ド・ マッ プ	「構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成」には次のページが含まれます。 「[詳細] ページ」>「[属性] ページ」>「[修飾子] ページ」>「[トリプレット] ページ」> <b>「[アイコン] ページ」</b> >「[アタッチメニュー] ページ」>「[標準設定ラ ベル] ページ」>「[一致ルール] ページ」

ユーザ・インタフェース要素の説明を	e次に示します。
-------------------	----------

UI 要素	詳細
4	<b>アイコン機能を追加:</b> 行を追加します。
	<b>注: [構成アイテム タイプのアイコンを,その属性値に応じて変更す</b> る]を選択した場合にのみ使用できます。
×	<b>アイコン機能を削除:</b> 選択した行を削除します。
	<b>注: [構成アイテム タイプのアイコンを,その属性値に応じて変更す</b> る]を選択した場合にのみ使用できます。
属性	CIT に割り当てるアイコンを決める属性を選択します。
構成アイテム・タイプ のアイコンを,その属 性値に応じて変更する	各属性値にアイコンを割り当てることができます。たとえば, City 属性に 2 つの値を定義できます。City=London の場合は, あるアイコンが表示さ れます。City=Beijing の場合は, 別のアイコンが表示されます。
	<b>注:</b> 既存のビューに表示される CIT のアイコンを変更しても,その ビューでは CIT のアイコンが更新されません。
構成アイテム・タイ プ・メイン・アイコン	CIT が属するグループを選択します。
アイコン	[値] カラムに入力した値と関連付けるアイコンを選択します。
値	選択した属性に対応する値を入力します。入力する各値ごとに新しい行 を追加できます。

## [アタッチメニュー] ページ

このウィザード・ページでは、メニュー項目とコマンド (ping, プログラムの実行, URL を開くなど)を追加して、CI のショートカット・メニューをカスタマイズできます。カスタマイズされたメニューは、IT ユニバース・マネージャで CI インスタンスを右クリックすると表示されます。

重要情 報	CIT にメソッドが明確に定義されていない場合,そのCIT はメソッドが定義されている親 CIT または最も近い祖先からすべてのメニューを継承します。 メニューを作成したり変更すると,編集する特定のCIT にのみ変化が起こります。
ウィ	「構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成」には次の項目が含まれます。
ザー	「[詳細] ページ」>「[属性] ページ」>「[修飾子] ページ」>「[トリプレッ
ド・	ト] ページ」>「[アイコン] ページ」> <b>「[アタッチメニュー] ページ」</b> >「[標準
マップ	設定ラベル] ページ」>「[一致ルール] ページ」

UI 要 素	詳細
+	ツリーからメニュー項目を選択して,このボタンをクリックします。選択した項目の下 に,新しいエントリが表示されます。
×	クリックすると、メニュー項目が削除されます。
	クリックすると、選択したメニュー項目がメニューで上に移動します。
<b>↓</b>	クリックすると、選択したメニュー項目がメニューで下に移動します。
<ツ リー>	標準設定メニュー項目が含まれている階層ツリー。
	注意:標準設定メニュー項目の定義を編集するのはお勧めしません。
コマン ド	World Wide Web 上の特定の位置に接続するには,URL を選択し,正確なインターネッ ト・アドレス(たとえば,http://www.hp.com/go/software)を入力します(URL コマン ド・タイプ・オプションを選択した場合にのみ使用できます)。
	注: [コマンド] フィールドで変数を使用する場合は, command name %1 という形 式を使って, 「パラメータ」(479ページ)で説明しているように CIT 属性を定義しま す。リストでの順番に従って, %1 がパラメータ値に置換されます。たとえば, %1 はリストの最初のパラメータに置換され, %2 はリストの 2 番目のパラメータに置換 されるというようになります。
詳細	メソッドの詳細を入力します(これは内部でのみ使用され、メニューには表示されませ

UI 要 素	詳細
	ん)。
既存メ ソッド	IT ユニバース CIT およびすべての祖先から継承した定義済みメソッドのリストからコマン ドを選ぶ場合に選択します。
アイコ ン	ショートカット・メニューでメニュー・オプションの横に表示されるアイコンを選択しま す。
	<b>注:</b> このフィールドは省略可能です。
メ ニュー 項目名	新しいメニュー項目がメニューに表示されるときの名前を入力します。
メソッ	メニューにコマンドを追加できます。
۴	<b>注:</b> メソッドを作成し,既存のメソッドを上書きしないようにするには,新しいメ ニュー項目を作成し,そこに新しいメソッドを配置することをお勧めします。
メソッ ド名	コマンドの名前を入力します。
新規メ ソッド	メニュー項目にアクション(ping など)を追加する場合に選択します。
パラ メータ	コマンドまたは URL に属性を追加するには,[ <b>パラメータの追加</b> ]ボタンをクリックし て,リストから属性を選択します。
	既存のエントリを削除するには,そのエントリを選択して, [ <b>パラメータの削除</b> ] ボタン をクリックします。
	注: 内部プロセスを選択していないと、パラメータは関連しません。
ユーザ の確認 を求め る	項目が表示される前に, ユーザがメニュー項目へのアクセスを確認するチェック・ボック スを選択します。
セパ	2 つのメニュー項目間にセパレータを配置するには、次のとおりにします。
レータ	[OK] をクリックすると, 選択したメニュー・オプションの下にセパレータが配置され ます。
ショー トカッ	任意のキーの組み合わせを押して,メニュー項目のショートカット( <b>CTRL+h</b> など)を作 成します。

### モデリング・ガイド 第11章: Cl タイプ・マネージャ



[標準設定ラベル] ページ

このウィザード・ページでは、CIT タイプ・ラベルに表示される属性を編集できます。複数の属性を 含めるには、機能ボタンを使います。

重要 情報	ラベルは, [CIタイプ属性]表示枠で属性を選択して [形式]表示枠に追加し, [形式] 表示枠の演算子を使用してそれらをつなげて作成します。
	ラベルは新しい CI タイプの CI の下にタイトルとして表示されます。ラベルの定義は, さま ざまな属性値を含めるようにカスタマイズできます。たとえば, Node CIT の機能ラベルは ホスト名とネットワークで構成され,表示されるラベルはserver1 10.0.65.0 のようになり ます。
	ラベルは正規表現を使って作成することもできます。
ウィ ザー ド・	「構成アイテム・タイプ / 関係 / 計算関係の作成」には次のページが含まれます。 「[詳細]ページ」 > 「[属性]ページ」 > 「[修飾子]ページ」 > 「[トリプレット]

モデリング・ガイド 第11章: Cl タイプ・マネージャ

 マッ
 ページ」 > 「 [アイコン] ページ」 > 「 [アタッチメニュー] ページ」 > 「 [標準設定ラ

 プ
 ペル] ページ」 > 「 [一致ルール] ページ」(482ページ)

UI 要素	詳細
÷	選択した属性を追加:選択した属性が [形式] 表示枠に追加されます。
0	<b>括弧:</b> 書式設定されたテキストに丸括弧を追加します(ほかの機能と併用します)。
&	And:書式設定されたテキストの2つの属性間に AND 演算子を置きます。たとえば, network_netaddr&network_domain では,クエリ・ノードのネットワーク・アドレスと ドメインが表示されます。
0	Or:書式設定されたテキストの2つの属性間に OR 演算子を置きます。
ſ	<b>正規表現:</b> ラベルの定義に(正規表現構文を使用して)正規表現を追加します。エント リの構造は (v1, v2, v3)のようになります。ここで、v1 は選択した属性、v2 は正規表現 自体(値がグループに分割されます)、v3 は選択したグループの番号を示します。
	たとえば,選択した属性が名,スペース,および姓で構成される名前の場合,正規表現 は (name, (\S*)(\s*)(\S*),3) となります。つまり,姓は標準設定ラベルの名前属性に使用 できます。
	正規表現構文の使い方の例については, 「正規表現の例」(532ページ)を参照してください。
5	<b>取り消す :</b> 最後に行った変更を元に戻します。
2	やり直す:最後に行った操作を繰り返します。
4	<b>クリア:</b> [形式]表示枠がクリアされます。
Q	<b>標準設定に戻す :</b> 標準設定を戻します。
CI タイ プ属性	CIT ラベルに含める属性の利用可能なオプションを表示します。
ロタイ	CIT ラベルに表示するために選択した属性を表示します。
ブ・ラ ベル定 義形式	たとえば, ノードにホスト名とオペレーティング・システムのラベルを付けるには, host_hostname および host_os 属性を選択します。CIT ラベルは host1 UNIX のようにな ります。
	条件は AND と OR の組み合わせを使って定義できます。

### UI 要素 詳細

**注:** [形式] 表示枠から属性を削除するには、その属性を強調表示して、Delete キーを押します。

## [一致ルール] ページ

このウィザード・ページでは, HP Universal CMDB Configuration Manager で使用するための比較可能 な属性の一致ルールを定義できます。

重要情 報	このページは, Configuration Manager をインストールしている場合にのみ関連します。 一致ルールの詳細については, Configuration Manager ドキュメントを参照してくださ い。
	<b>注:</b> インフラストラクチャ設定マネージャで,[Configuration Manager <b>一致ルール</b> を有効化]設定を True に設定して,[一致ルール]ページを手動でアクティブ化し ます。
ウィ ザー ド・ マップ	「構成アイテム・タイプ/関係/計算関係の作成」には次のページが含まれます。 「[詳細] ページ」>「[属性] ページ」>「[修飾子] ページ」>「[トリプレッ ト] ページ」>「[アイコン] ページ」>「[アタッチメニュー] ページ」>「[標準 設定ラベル] ページ」> <b>「[一致ルール] ページ」</b>

UI 要素	詳細
⇒	選択した比較可能な属性を [一致ルールの優先度] 表示枠または [一致する必要があ る属性] 表示枠に移動します。複数の属性を選択するには, CTRL キーを押しながら 選択します。
\$	選択した属性を [一致ルールの優先度] 表示枠または [一致する必要がある属性] 表 示枠から削除します。
m	すべての属性を [一致ルールの優先度] 表示枠または [一致する必要がある属性] 表 示枠に移動します。
۲	すべての属性を [一致ルールの優先度] 表示枠または [一致する必要がある属性] 表 示枠から削除します。
♠₩	上および下ボタンを使用して,一致ルールの順序を設定します。
比較可能 な属性	選択した CI タイプのすべての属性のリスト( <b>比較可能</b> 修飾子を選択した状態)。

UI 要素	詳細
ー致ルー ルの優先 度	定義された優先度に応じて,選択した属性が Configuration Manager で使用されて, 一致ルールが満たされているかどうかを判断します。
一致する 必要があ る属性	コンポーネント CI の選択した属性の値は, 複合 CI どうしを比較する場合に, Configuration Manager の一致ルールを満たすために一致する必要があります。 必要な一致属性を指定する場合に, Wildcards ワイルドカードは使用できません。完 全一致が見つからない場合は, コンポーネント CI は比較されません。

[リスト/一覧定義の作成/更新] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,新しいリストまたは列挙を定義できます。作成したリストまたは列 挙の定義は,[システムタイプマネージャ]ダイアログ・ボックスに表示され,必要に応じて編集 できます(詳細については,「[システムタイプマネージャ]ダイアログ・ボックス」(488ページ) を参照してください)。

利用方法	[システム タイプ マネージャ]ダイアログ・ボックスで[ <b>追加</b> ] 🍨 ボタンを クリックします。
重要情報	状態マネージャからも[列挙定義の作成]および[列挙定義の更新]ダイアロ グ・ボックスにアクセスできます。詳細については,『HP Universal CMDB 管理 ガイド』の「状態マネージャ」を参照してください。
関連タスク	<ul> <li>「リストと列挙定義の作成方法」(457ページ)</li> <li>「列挙定義の作成方法 - ワークフロー」(458ページ)</li> </ul>
関連情報	<ul> <li>「システム・タイプ・マネージャ」(453ページ)</li> <li>「[システムタイプマネージャ]ダイアログ・ボックス」(488ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
表示名	システム・タイプ定義のリストに表示する名前を入力します。このフィールド を空のままにすると, [名前]フィールドのエントリが使用されます。
列挙	値の定義済みリストを作成し,各値に色を割り当てることもできます。詳細に ついては,「[列挙定義]領域」(484ページ)を参照してください。
リスト	値の定義済みリストを作成できます。詳細については,「[リスト定義]領 域」(484ページ)を参照してください。
名前	属性に一意の名前を入力します。

### [リスト定義] 領域

### この領域では、値の定義済みリストを作成できます。

利用方法	[リスト/列挙定義の作成] ダイアログ・ボックスで [ <b>リスト</b> ] を選択します。
重要情報	たとえば, Location 属性は, 次の値が含まれた場所リストで定義できます。
	New York
	• Boston
	• Baltimore

含まれている要素は次のとおりです(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示します)。

UI 要素	説明
<b>+</b>	<b>追加:</b> リストの定義を追加します。行内をダブルクリックして,表示されたカレン ダーから日付を選択するか([ <b>日付</b> ]タイプを選択した場合),必要な値を入力し ます。
×	[削除]:選択したリスト定義を削除します。
₽↓	<b>ソート :</b> リストをアルファベット順に並べ替えます。
タイプ	次のフィールド・タイプのいずれかを選択します。 ・ 日付 ・ 倍精度 ・ 2数 ・ 4 倍精度 ・ 文字列

[列挙定義] 領域

この領域では、すべての値に色を割り当てる機能などを使って、値の定義済みリストからリストを作成できます([**リスト**]と同様)。

利用方法	[リスト/列挙定義の作成] ダイアログ・ボックスで[ <b>列挙</b> ]を選択します。
重要情報	列挙は状態による重要度値リストとして使用するように設計されています。 キー値を必要とするリストには列挙を使用できます。
	注:
	• 既存の列挙定義が CIT 属性の標準設定値として指定されている場合,そ

	の値を変更することはできません。  ・既存の列挙定義の値を変更すると,選択した値の属性を含むその CIT の すべての CI インスタンスがその属性の標準設定値にリセットされます。
関連情報	「列挙定義の作成方法 - ワークフロー」(458ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	説明
+	<b>追加:</b> 列挙定義を追加します。
×	<b>削除:</b> 選択した列挙定義を削除します。
色	重要度を示す色を選択します。
	注: 灰色は、タイプ [管理] の列挙を作成するときにのみ有効になります。
<b>+</b> -	カテゴリの重要度リストを記述する数字を入力して、列挙を作成します。 次のルールに従って、キー値を割り当てます。 • キー値のリストは、必ずゼロ(0)から始める必要があります(ゼロは標準状態を示します)。そうしないと、状態マネージャにリストが表示されません(詳細については、『HP Universal CMDB 管理ガイド』の「状態マネージャ」を参照してください)。 • リストは必ず連続してナンバリングする必要があります。 列挙定義の例については、「列挙定義の作成方法 - ワークフロー」(458ページ)を 参照してください。
値	文字列または数字の値(Red や my value など)を入力します。値は IT ユニバー ス・マネージャで CI のツールチップに表示されます。

[選択した CIT を Excel ヘエクスポート] ダイアログ・ ボックス

このダイアログ・ボックスでは,選択した CI タイプを Excel レポートにエクスポートできます。

利用方法	Cl タイプ・マネージャで, [ <b>クラス モデルをエクスポート</b> ] 🎦 ボタンをク リックして, [ <b>選択した CIT を Excel ヘエクスポート</b> ]を選択します。
重要情報	レポートのルート CI タイプとルート関係として機能する CIT と関係を選択でき ます。CIT または関係を選択しない場合,標準設定が使用されます。ルート CIT

	とルート関係は互いに独立しています。
	レポートは,ルート CIT とすべての子孫の CIT を表示します。レポートには, 次のページが含まれます。
	• CIT 階層 :ツリー形式でルート CIT の下に属性へのリンクとともに CIT を表示 します。
	• 関係階層:ツリー形式でルート関係の下に属性へのリンクとともに関係を表示します。
	• CIT 属性:CIT の下に各 CIT の CIT 属性の名前,タイプ,説明,および表示レベルを表示します。
	• <b>関係属性:</b> ルート関係の下に各関係の関係属性の名前,タイプ,説明,および表示レベルを表示します。
	• 有効な関係:ルート CIT の下に各 CIT の有効な関係のすべてを表示します。
	<ul> <li>列挙:システム・タイプ・マネージャからのすべての列挙定義を表示します。(ルート CIT またはルート関係には依存していません)。</li> </ul>
	<ul> <li>リスト:システム・タイプ・マネージャからのすべてのリスト定義を表示します。(ルート CIT またはルート関係には依存していません)。</li> </ul>
	レポートに表示するページを選択できます。
関連情報	<ul> <li>「CI タイプの概要」(450ページ)</li> </ul>
	<ul> <li>「CI タイプと関係の説明を表示」(459ページ)</li> </ul>
	• 「ユニバーサル・データ・モデル (UDM)の概要」(521ページ)

UI 要素	詳細
ルート CI タイ プ	省略記号 ボタンをクリックして, ルート CI タイプとして機能する CIT を選 択します。CIT を選択しない場合,標準設定のルート CI タイプが使用されます。 標準設定値を変更するには,インフラストラクチャ設定マネージャで [ <b>オブ</b> ジェクト ルート] 設定を編集します。
ルート関係	省略記号 ボタンをクリックして,ルート関係として機能する関係を選択し ます。関係を選択しない場合,標準設定のルート関係が使用されます。標準設 定値を変更するには,インフラストラクチャ設定マネージャで [ <b>リンク ルー</b> ト] 設定を編集します。
エクスポートす るページを選択	レポートで表示するページを選択します(必要なすべてのページのチェック・ ボックスを選択します)。次のオプションを利用できます。 • CIT ワークシート: CIT 階層と CIT 属性のワークシートが含まれます。

UI 要素	詳細
	• 関係ワークシート:関係階層と関係属性のワークシートが含まれます。
	• <b>有効な関係ワークシート</b> :有効な関係ワークシートが含まれます。
	• タイプ定義ワークシート:列挙およびリストのワークシートが含まれます。

[PDFへの選択した CIT のエクスポート] ダイアログ・ ボックス

このダイアログ・ボックスでは,選択した CI タイプを PDF レポートにエクスポートできます。

利用方法	CI タイプ・マネージャで, [ <b>クラス モデルをエクスボート</b> ] 🎦 ボタンをク リックして, [ <b>選択した CIT を PDF ヘエクスポート</b> ]を選択します。
重要情報	このダイアログ・ボックスの出力は,UCMDB CI タイプと関係情報 PDF になりま す。Universal Data Model(UDM)について説明しています。
関連情報	<ul> <li>「CI タイプの概要」(450ページ)</li> <li>「CI タイプと関係の説明を表示」(459ページ)</li> <li>「ユニバーサル・データ・モデル (UDM)の概要」(521ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
all Data	選択した CIT のすべての情報を表示するように選択します。
changes only	前のデータ・モデルから選択した CIT の変更内容のみを表示するように選択しま す。
CITs	省略記号
Filter attributes by qualifiers	レポートの属性を修飾子でフィルタするように選択します。必要な修飾子をボッ クスに入力します。このレポートは,選択した修飾子を持つ属性のみを表示しま す。
Relations	省略記号 🚥 ボタンをクリックして,エクスポートする関係を選択します。
Show Properties	選択した CIT と関係の範囲を選択します。 • UDM : UDM からの CIT と関係が含まれます。 • CMS : CMS で使用されている CIT と関係のみが含まれます。

UI 要素	詳細
Show Qualifiers	エクスポートしたレポートに修飾子の情報が含まれるように選択します。
Show Relationships	エクスポートしたレポートに関係の情報が含まれるように選択します。
Show Valid Links	エクスポートしたレポートに有効なリンク情報が含まれるように選択します。有 効なリンクのセクションは,選択した CIT の有効な関係のすべてを表示します。

# [システムタイプマネージャ] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは, [リスト/列挙定義の作成]ダイアログ・ボックスで定義した属性 タイプを表示できます。

利用方 法	CI タイプ・マネージャで,[ <b>CI タイプ</b> ]メニューをクリックして,[ <b>システム タイプ</b> <b>マネージャ</b> ]を選択します。
関連タ スク	<ul> <li>「リストと列挙定義の作成方法」(457ページ)</li> <li>「列挙定義の作成方法 - ワークフロー」(458ページ)</li> </ul>
関連情 報	<ul> <li>「CI タイプの概要」(450ページ)</li> <li>「システム・タイプ・マネージャ」(453ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
+	<b>追加:</b> 属性タイプを定義する値の定義済みリストを作成できます。次の属性タイプ の定義を作成できます。
	<ul> <li>リスト定義</li> </ul>
	• 列挙定義
	これらの属性タイプについては, 「[リスト / 一覧定義の作成 / 更新]ダイアロ グ・ボックス」(483ページ)を参照してください。
	<b>編集 :</b> 既存の定義を編集できます。詳細については,「[リスト / 一覧定義の作成 / 更新]ダイアログ・ボックス」(483ページ)を参照してください。
×	<b>削除:</b> 既存の定義を削除します。削除するシステム・タイプ定義を選択して, [ <b>削</b> <b>除</b> ] ボタンをクリックします。
<システム・ タイプ定義>	システム・タイプ・マネージャで作成した列挙およびリスト定義の一覧です。

# 第12章:エンリッチメント・マネージャ

#### 本章の内容

•	エンリッチメント・マネージャの概要	489
•	エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ	.491
•	エンリッチメント・クエリ・ノードと関係をエンリッチメント TQL クエリに追加する方法…	495

# エンリッチメント・マネージャの概要

エンリッチメント・ルールは、次に示すいくつかの目的で使用できます。

- 新しい CI および関係を CMDB に追加
- CMDB から特定の CI インスタンスを削除
- CMDB内の特定のCIインスタンスの属性値を更新

エンリッチメント・クエリ・ノードと関係は、検出プロセスによって自動的に検出できない実際の関係とCIを表す概念上のものであるという点で、ほかのクエリ・ノードと関係と異なります。

エンリッチメント・クエリ・ノードと関係は TQL クエリの一部として作成されます。TQL のほかの TQL クエリ・ノードは通常のもの、つまりすでに CMDB 内に存在している TQL クエリ・ノードです。 TQL クエリの詳細については、「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)を参照してください。

次の例では, Node タイプの通常のクエリ・ノードが Composition エンリッチメント関係で Websphere AS エンリッチメント・クエリ・ノードにリンクされています。



TQL クエリ・コンテキスト内にエンリッチメント・クエリ・ノードを配置することで、クエリはノードの属性からデータを取得し、それを使用して CMDB に新しい情報を挿入します。

エンリッチメント・ルールを作成すると、次の結果になる可能性があります。

• CMDB が拡張される。現在 CMDB に含まれていないエンリッチメント・クエリ・ノードと関係が追加されます。

次のエンリッチメント・ルールの例では,通常の Windows クエリ・ノード (すでに CMDB に存在)が Composition エンリッチメント関係で Log File エンリッチメント・クエリ・ノードに接続されています。



このエンリッチメント・ルールは, CMDB にあるすべての Windows CI インスタンスについて, 新しい Log File CI インスタンスが作成され, Composition 関係で Windows CI にリンクされることを示しています。

- CMDB から特定の CI インスタンスが削除される。例については,「エンリッチメント・ルールを 定義する方法 - シナリオ」(491ページ)を参照してください。
- CI 属性の値が更新される:エンリッチメント・ルールを使用して,すでに CMDB に存在する CI の 属性を更新します。

次のエンリッチメント・ルールの例は,通常の Windows クエリ・ノード(すでに CMDB に存在) がエンリッチメント・ルールで更新されたことを示しています。



このエンリッチメント・ルールは, CMDB にあるすべての Windows CI がエンリッチメント・ルール で定義された属性値で更新されることを示しています。

# エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シ ナリオ

このタスクでは、次のエンリッチメント・ルールを作成する方法について説明します。

**IP Address** CI は同一の 2 つの **Node** CI に接続されます。1 つの **Node** CI は IP アドレスで識別され,もう1 つは最下層 MAC アドレスで識別されます。このようなインスタンスすべてについて, IP アドレスで識別される **Node** CI を CMDB から削除します。

注:必要な結果に到達するためには、次のそれぞれの手順を実行する必要があります。

本項の内容

- 「エンリッチメント TQL クエリの作成」(491ページ)
- 「最下層 MAC アドレスで識別される, Node タイプのクエリ・ノードの定義」(493ページ)
- 「IP アドレスで識別される, Node タイプのクエリ・ノードの定義」(493ページ)
- 「エンリッチメント・ルールの定義」(494ページ)
- 1. エンリッチメント TQL クエリの作成

エンリッチメント TQL クエリを作成するには、エンリッチメント・ルールを定義し、次にクエ リを定義する通常の TQL クエリ・ノードと関係を追加する必要があります。

**注:** エンリッチメント・クエリ・ノードと関係の追加は,少なくとも1つの通常のクエリ・ ノードがクエリに追加された後に行うことができます。 [マネージャ] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ] を選択します。エンリッチ メント TQL クエリの作成方法の詳細については、「新規エンリッチメント・ルール/エンリッチ メント・ルールのプロパティ/エンリッチメント・ルールとして保存ウィザード」(506ページ) を参照してください。クエリにクエリ・ノードと関係を追加する方法の詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

フェデレート CI タイプのクエリ・ノードをエンリッチメント TQL クエリに追加できますが、エンリッチメント・ルールで定義されたアクションがこれらのクエリ・ノードに影響を与える場合は、そのルールを保存するときに、それらのソースは自動的に UCMDB に設定されます。フェデレート・クエリ・ノードや関係を、フェデレート・クエリ・ノードに更新したり、フェデレート・クエリ・ノードにの新したり、フェデレート・クエリ・ノードから削除することはできません。

#### エンリッチメント TQL クエリの例

doubleHosts1 という新しいエンリッチメント TQL クエリ(**Network** フォルダの下)がエン リッチメント・マネージャに作成されます。

ルール名:	doubleHosts1
ルールの詳細:	Delete incomplete host

🗹 ルールを有効にする

doubleHosts1 エンリッチメント・ルールは, [エンリッチメント・ルール] 表示枠に表示 されます。



このエンリッチメント TQL クエリでは, IP アドレス クエリ・ノードが Containment 関係で 2 つの Node タイプのノードにリンクされています。クエリ結果は, 矢印の方向に適合する 必要があります。



**注:** TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については,「トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。

2. 最下層 MAC アドレスで識別される, Node タイプのクエリ・ノードの定義

[エンリッチメントマネージャ]ページの上部で**クエリ**・モードを選択します。編集表示枠 で、必要な Node タイプのクエリ・ノードを右クリックし、[**クエリ ノードのプロパティ**]を 選択して [クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスを開きます。次に [属性] タブ で属性条件を定義します。属性条件の定義方法の詳細については、「[クエリ・ノード/関係の プロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。

最下層 MAC アドレスでノードを識別する属性条件定義の例

[属性] タブで,この属性条件定義が最下層 MAC アドレスによって該当のノードを識別します。

- 属性名 Node is Complete
- 演算子等しい
- 值 True
- 3. IP アドレスで識別される、Node タイプのクエリ・ノードの定義

[エンリッチメントマネージャ]ページの上部で**クエリ**・モードを選択します。編集表示枠 で、必要な Node タイプのクエリ・ノードを右クリックし、[**クエリ ノードのプロパティ**]を 選択して [クエリ ノードのプロパティ]ダイアログ・ボックスを開きます。次に [属性] タブ で 2 つの属性条件を定義します。属性条件の定義方法の詳細については、「[クエリ・ノード/ 関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。

#### IP アドレスでノードを識別できるようにするための属性条件の例

これは, IP アドレスによってノード・タイプのクエリ・ノードを識別できるようにするため [属性] タブに定義する必要がある1つ目の属性条件です。

属性名 Node is Complete

演算子等しい

值 False

これは, IP アドレスによってノード・タイプのクエリ・ノードを識別できるようにするため に [属性] タブに定義する必要がある 2 つ目の属性条件です。

属性名 Node is Complete

演算子 null

値値は変更できません

4. エンリッチメント・ルールの定義

IP アドレスで識別される Node タイプのクエリ・ノードのすべてのインスタンスを削除するエン リッチメント・ルールを定義します。ツールバーからエンリッチメント・モードを選択しま す。[エンリッチメント ルール]表示枠でdoubleHosts1 エンリッチメント・ルールを選択しま す。IP アドレスで識別される Node タイプのクエリ・ノードを右クリックし, [関係/クエリ ノードを削除]を選択します。

#### 削除済みインジケータを含む Node タイプのクエリ・ノードの例

Node タイプのクエリ・ノードには、同一の属性とカーディナリティ設定を持つすべての ノード・インスタンスが CMDB から削除されることを示す削除済みインジケータが付きました。エンリッチメント・クエリは次のようになります。



# エンリッチメント・クエリ・ノードと関係をエ ンリッチメント TQL クエリに追加する方法

本項では,エンリッチメント・マネージャでエンリッチメント・クエリ・ノードと関係をエンリッチ メント TQL クエリに追加する方法について説明します。

エンリッチメント・クエリ・ノードと関係を TQL クエリに追加するには,次の手順を実行します。

- [エンリッチメント ルール]表示枠のツリーで、エンリッチメント・クエリ・ノードと関係を 追加するエンリッチメント・ルールを選択するか、または新しく作成します。詳細について は、「新規エンリッチメント・ルール/エンリッチメント・ルールのプロパティ/エンリッチメ ント・ルールとして保存ウィザード」(506ページ)を参照してください。
- 2. ページ上部の [**クエリ/エンリッチメント**] ドロップダウンで, [**エンリッチ モード**] を選択し ます。

エンリッチメント モード 💌
TQLモード
エンリッチメント モード

CI タイプ・セレクタに表示されるツリーで、エンリッチメント・クエリ・ノードとして機能させるクエリ・ノードをクリックし編集表示枠にドラッグします。これらの TQL クエリ・ノード がクエリに含まれます。追加したエンリッチメント・クエリ・ノードは、追加済み + インジケータによって表示されます。

注: ルールには複数のエンリッチメント・クエリ・ノードを追加できます。

- エンリッチメント・クエリ・ノードを既存の TQL ノード(1つまたは複数)にリンクして,操作 に必要な内容を持ったエンリッチメント・クエリ・ノードを提供します。 次に示すエンリッチメント・ルールを検証してください。
  - ルールでは、新しいエンリッチメント・クエリ・ノードを既存の TQL クエリ・ノードの少な くとも 1 つにリンクする必要があります。
  - エンリッチメント・クエリ・ノードは、エンリッチメント関係を持つ相手とのみリンクできます。
  - 新しいエンリッチメント・クエリ・ノードを(CIT 定義に従って)別のクエリ・ノードに含め る必要がある場合は、Composition 関係を使って、このエンリッチメント・クエリ・ノード を既存の TQL クエリ・ノードに接続する必要があります。
  - エンリッチメント・クエリ・ノードを非表示の TQL クエリ・ノードにリンクすることはできません。
- 5. 2 つのクエリ・ノードの間に関係を追加するには、次のいずれからの手順で行います。

- CTRL キーを押しながら TQL クエリ・ノードをクリックして必要なクエリ・ノードを選択し, 右クリックして [関係の追加] を選択します。
- [関係を作成] 🚺 ボタンをクリックし,必要なクエリ・ノードの間に線を引きます。

追加したエンリッチメント関係は、追加済み・インジケータによって表示されます。 [関係の追加]ダイアログ・ボックスが開きます。詳細については、「[関係の追加/編集] ダイアログ・ボックス」(50ページ)を参照してください。

6. **[OK**] をクリックします。選択したクエリ・ノードが,選択した関係によってリンクされます。

新規テナント関連付けルールの定義方法

次タスクで、テナント関連付けルールを定義する方法について説明します。

注: このボタンは、マルチテナンシーの有効時にのみ関連します。

1. [新規テナント関連付けルール] ウィザードが実行されます。

エンリッチメント・マネージャで、[新規エンリッチメント ルール] <sup>1</sup> ボタンの横の矢印を クリックし、[新規テナント関連付けルール] を選択します。各ウィザード・ページに、一般 属性とベース・クエリの情報を入力します。詳細については、「新規テナント関連付けルール/ テナント関連付けルールのプロパティ / テナント関連付けルールとして保存ウィザード」(510 ページ)を参照してください。

**注:** ウィザードの [ルールの一般属性] ページで [**ルールを有効にする**] チェックボックス を選択して, ルールを有効にします。

2. ルール・クエリの構築

新規クエリでテナント関連付けルールに基づく場合,必要な CI をキャンバスにドラッグし,必要な関係をドラッグすることで,クエリを構築します。

3. 選択したクエリ・ノードの所有者テナントの更新

[テナント関連付けルール]によって更新するクエリ・ノードを右クリックし, [所有者テナ ントを更新]を選択します。 [所有者テナントを更新]ダイアログ・ボックスが開きます。所 有者テナントを更新する方法([値別]または[属性別])を選択し,選択したオプションの 必要パラメータを選択します。 [OK]をクリックします。詳細については, 「[所有者テナン トを更新]ダイアログ・ボックス」(519ページ)を参照してください。

注: ルール内で複数のクエリ・ノードの所有者テナントを更新できます。

4. 選択したクエリ・ノードの「利用者テナント」の更新

テナント関連付けルールによって更新するクエリ・ノードを右クリックし、[利用者テナントを更新]を選択します。[利用者テナントを更新]ダイアログ・ボックスが開きます。顧客テナントを更新する方法([値別]または[属性別])を選択し、選択したオプションの必要パラメータを選択します。[OK]をクリックします。詳細については、「[所有者テナントを更新]ダイアログ・ボックス」(518ページ)を参照してください。

注:

- ルール内で複数のクエリ・ノードの利用者テナントを更新できます。
- 同じクエリ・ノードの所有者テナントと利用者テナントの両方を、単一のテナント関連 付けルールで更新できます。
- 5. ファイルの保存

[**保存**] 🛅 をクリックしてテナント関連付けルールを保存します。ルールは,その優先度で定 義した頻度に従って実行されます。



本項の内容

•	[エンリッチメント マネージャ] ページ	. 497
•	新規エンリッチメント・ルール / エンリッチメント・ルールのプロパティ / エンリッチメン ルールとして保存ウィザード	. 506
・ ルー	新規テナント関連付けルール / テナント関連付けルールのプロパティ / テナント関連付け - ルとして保存ウィザード	. 510
•	[クエリ ノード / 関係の定義] ダイアログ・ボックス	.514
•	[クエリ ノード定義] - [詳細な属性]ダイアログ・ボックス	.516
•	[所有者テナントを更新] ダイアログ・ボックス	518
•	[所有者テナントを更新] ダイアログ・ボックス	. 519

## [エンリッチメントマネージャ] ページ

このページでは,エンリッチメント・ルールを定義できます。これらのルールは特定の TQL クエリに 基づいており,次のような目的で使用できます。 モデリング・ガイド 第12章: エンリッチメント・マネージャ

- 新しい CI および関係を CMDB に追加
- CMDB から特定の CI インスタンスを削除
- CMDB内の特定のCIインスタンスの属性値を更新

利用方法	ナビゲーション・メニューから[ <b>エンリッチメント マネージャ</b> ]を選択する か, [ <b>マネージャ]&gt;[モデリング]&gt;[エンリッチメント マネージャ]</b> を選択 します。
重要情報	エンリッチメント・マネージャでは2つのモードを使用できます。ツールバー の <b>エンリッチメント・モード/クエリ・モード</b> のリストを常にチェックして,現 在選択しているモードを確認してください。
関連タスク	「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ) 「新規テナント関連付けルールの定義方法」(496ページ)
関連情報	<ul> <li>「エンリッチメント・マネージャの概要」(489ページ)</li> <li>「エンリッチメント・マネージャのユーザ・インタフェース」(497ページ)</li> </ul>

[エンリッチメント ルール] 表示枠

定義済みのフォルダおよびエンリッチメント・ルールの階層ツリー構造を表示します。各エンリッチ メント・ルールは TQL クエリに関連付けられています。

重要情報	独自エンリッチメント・ルールを作成することも,HP Universal CMDBに付属する 定義済みのエンリッチメント・ルール(ファクトリ・エンリッチメント・ルー ル)を利用することもできます。
	標準のフォルダは定義済みのクエリ専用です。これらのフォルダを変更,または 組織の要件に応じて別のフォルダを追加できます。
	エンリッチメント・ルールまたはフォルダは,ドラッグ・アンド・ドロップ操作 でフォルダ間の移動が可能です。

UI 要素	詳細
	<b>新規フォルダ:</b> 新しいフォルダを作成します。
*	<b>新規作成:</b> エンリッチメント・ルールを作成します。 [新規エンリッチメント ルール] ウィザードが開きます。
	注: マルチテナンシ環境では、下部右側にある小さな矢印をクリックしてオ プションを表示します。 [新規エンリッチメント ルール] を選択すると、 新規エンリッチメント・ルール・ウィザードが開きます。 [新規テナント 関連付けルール] を選択すると、新規テナント関連付けルール・ウィザー

UI 要素	詳細
	ドが開きます。
×	<b>削除 :</b> 選択したフォルダまたはエンリッチメント・ルールを削除します。
S	<b>更新:</b> ほかのユーザによって変更された可能性がある階層ツリー構造のデータ 内容が更新されます。
	<b>保存 :</b> エンリッチメント・ルールを CMDB に保存します。(エンリッチメン ト・ルールが作成されたか,既存のエンリッチメント・ルールに変更が加えら れた場合にのみ有効)
F	<b>プロパティ:</b> [エンリッチメント ルールのプロパティ]ウィザードが開きま す。エンリッチメント・ルールの説明やアクティブ化の状態を変更できます。
	<b>プレビュー :</b> 選択したエンリッチメント・ルールの結果のプレビューを生成し ます。
	注:このボタンは、マルチテナンシーが有効な場合には利用できません。
	フォルダを表します。
<b>@</b>	エンリッチメント・ルールを表します。
<b>2</b> 5-	テナント関連付けルールを表します。
	<b>注:</b> このアイコンは,マルチテナンシーが有効な場合にのみ関連します。
<エンリッチメ ント・ルール	既存のエンリッチメント・ルールがツリー形式で表示されます。
ント・ルール・ ツリー>	<b>注:</b> ツリーにはエンリッチメント・ルールのみが表示されます。TQL クエ リ・タイプのエンリッチメント(モデリング・スタジオで作成)はこのツ リーに表示されません。

フォルダまたはエンリッチメント・ルールを右クリックすると、次の要素を使用できます。

UI 要素	説明
削除	選択したフォルダまたはエンリッチメント・ルールを削除します。
XML へ エクス ポート	標準の保存ダイアログ・ボックスが表示され,エンリッチメント・ルールを XML スク リプトとして保存できます。このオプションは,関連する TQL クエリも再配置されると いう条件で,ワークステーション間でエンリッチメント・ルールを移動するのに使用で きます。

UI 要素	説明
XML か らイン ポート	保存されたエンリッチメント・ルールを含む XML ファイルをエンリッチメント・マ ネージャにインポートします。
新規エ ンリッ チメン ト・ ルール	エンリッチメント・ルールを作成します。 [新規エンリッチメント ルール] ウィザー ドが開きます。
新規 フォル ダ	新しいフォルダを作成します。
新規テ ナント 関連付 けルー ル	テナント関連付けルールを作成します。 [新規テナント関連付けルール] ウィザードを 新規に起動します。
プレ ビュー	選択したエンリッチメント・ルールの結果のプレビューを生成します。
プロパ ティ	[エンリッチメント ルールのプロパティ]ウィザードが開きます。ルールの説明やア クティブ化の状態を変更できます。
フォル ダの名 前の変 更	フォルダの名前を変更します。
保存	(エンリッチメント・ルールが新規に作成されたか,既存のエンリッチメント・ルール に変更が加えられた場合にのみ有効)エンリッチメント・ルールを CMDB に保存しま す。
名前を 付けて 保存	[エンリッチメント ルールに名前を付けて保存]ウィザードを表示します。このウィ ザードで,クエリの新しい名前や説明を定義できます。このオプションは,既存のエン リッチメント・ルールに基づく新しいエンリッチメント・ルールの作成に使用できま す。

編集表示枠

エンリッチメント・クエリ・ノードおよび関係を作成、定義します。

重要情報	<ul> <li>[エンリッチメントルール]表示枠でフォルダを選択すると、編集表示枠は空の状態です。</li> <li>[エンリッチメントルール]表示枠内のエンリッチメント・ルールを選択した場合、編集表示枠には、TQLクエリで定義されたTQLクエリ・ノードとTQLノード間の関係で構成された選択したルール、および作成してルールに追加されたエンリッチメント・クエリ・ノードと関係が表示されます。</li> <li>エンリッチメント・マネージャでは、[エンリッチメント]モードと[クエリ]モードの2つのモードを使用できます。         作業しているモードによって、ショートカット・メニューに表示されるオプションが異なります。詳細については、後述の編集表示枠を参照してください。     </li> <li>エンリッチメント・ルールの結果として作成されたインスタンスの数を計算できます。また、エンリッチメント・ルールから作成されたインスタンスをCMDBから削除できます。詳細については、「追加数」(161ページ)と「エンリッチメント結果を削除する」(167ページ)を参照してください。</li> </ul>
関連タスク	「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
関連情報	TQLクエリの作成方法の詳細については,「TQLクエリへのクエリ・ノードと関係の追加方法」(24ページ)を参照してください。

UI 要素	説明
+	追加されたエンリッチメント・クエリ・ノードまたは関係を示しま す。
Ξ	CMDB から削除されたクエリ・ノードまたは関係を示します。
3	更新されたクエリ・ノードまたは関係を示します。
エンリッチメント モード ▼ TQL モード エンリッチメント モード	エンリッチメント・マネージャでは, <b>[エンリッチメント</b> ] モード と [ <b>クエリ</b> ] モードの 2 つのモードを使用できます。 次の作業ができます。
クエリ・モードとエンリッ チメント・モード	<ul> <li>クエリ・モードでは、通常の(エンリッチメントではない)関係とクエリ・ノードを定義し、それらを定義済みのTQLクエリに追加できます。</li> <li>エンリッチメント・モードでは、エンリッチメントの関係とクエリ・ノードを定義し、それらを定義済みのTQLクエリに追加できます。</li> </ul>

モデリング・ガイド 第12章: エンリッチメント・マネージャ

UI 要素	説明
<メイン・メニュー>	詳細については, 「メイン・メニュー」(157ページ)を参照してく ださい。
<クエリ・ノード>	TQL クエリの構築元となるコンポーネントです。
<関係>	2 つのクエリ・ノード間の関係を定義するエンティティです。
<ショートカット・メニュー >のオプション	詳細については, 「ショートカット・メニュー・オプション」(32 ページ)を参照してください。
<ツールバー>	詳細については, 「ツールバー・オプション」(160ページ)を参照 してください。
<ツールチップ>	<ul> <li>クエリ・ノードまたは関係の上にカーソルを置いたままにすると、 そのノードまたは関係のツールチップが表示されます。</li> <li>このツールチップには次の情報が含まれます。</li> <li>要素名:クエリ・ノードの名前です。</li> <li>CIタイプ:CIタイプ・マネージャで定義されているクエリ・ノードのCITです。詳細については、「CIタイプ・マネージャ」(450ページ)を参照してください。</li> <li>選択したクエリ・ノードと関係の定義:属性条件です。詳細については「[クエリ・ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。</li> </ul>

CIタイプ・セレクタ

この領域には, CMDB にある CI タイプの階層ツリー構造が表示されます。

重要情報	CI タイプ・セレクタは,エンリッチメント・マネージャ,影響分析マネージャ,トリガ TQL エディタに含まれています。 TOL クエリを作成または変更するには、クエリ・ノードをクリックして編集
	表示枠にドラッグし、ノード間の関係を定義します。変更が CMDB に保存 されます。詳細については、「TQL クエリへのクエリ・ノードと関係の追加 方法」(24ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> 各 CIT の右側に,CMDB 内の各 CIT のインスタンス数が表示されま す。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> </ul>

モデリング・ガイド 第12章: エンリッチメント・マネージャ

#### • 「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します(ラベルのない要素は山括弧で囲んで示しま す)。

UI 要素	説明
<b></b>	<b>CI タイプをマップに追加:</b> 選択した CI タイプを編集表示枠に移動します。
S	<b>更新 :</b> CI タイプ・ツリーを更新します。
9	<b>検索 :</b> 入力した CI タイプが検索されます。
	<b>すべてを展開 :</b> Cl タイプ・ツリー内のすべてのサブツリーを展開します。
	<b>すべてを折りたたみ:</b> CI タイプ・ツリー内のサブツリーを折りたたみます。
<検索ウィンドウ>	検索する CI タイプの名前または名前の一部を入力します。

ショートカット・メニュー・オプション

CIタイプ・セレクタでは、CIタイプを右クリックしたときに以下の要素を選択できます。

メニュー 項目	説明
CI タイプ をマップ に追加	選択すると,選択した CI タイプが編集表示枠に追加されます。
CI タイプ の定義へ 移動	CIT マネージャ内の選択した CI タイプに直接移動します。
CIT イン スタンス を表示	[CIT インスタンス] ウィンドウが開き,選択した CIT のすべてのインスタンスが表示 されます。詳細については,「CI インスタンス・ダイアログ・ボックス」(62ページ) を参照してください。

詳細表示枠

この領域には,選択したクエリ・ノードおよび関係のプロパティ,条件,およびカーディナリティが 表示されます。

重要情報	詳細表示枠は、モデリング・スタジオ、影響分析マネージャ、エンリッチメ
	ント・マネージャ,入力クエリエディタ,DFM のトリガ・クエリ・エディタ

	の各マネージャとユーザ・インタフェースで,ウィンドウ下部に表示されま す。 データを含んでいるタブの横には,小さな緑色のインジケータ*が表示され ます。
関連タスク	<ul> <li>「影響ルールの定義方法 - ワークフロー」(433ページ)</li> <li>「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)</li> <li>「TQL クエリの定義方法」(23ページ)</li> <li>「パターン・ビューの作成方法」(246ページ)</li> <li>「テンプレートの作成方法」(247ページ)</li> <li>「パースペクティブの作成方法」(249ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
	ウィンドウの幅が狭くてすべてのタブが表示されない場合は,左矢印または右 矢印を使って必要なタブに移動します。
	[ <b>リストを表示する</b> ]をクリックすると,現在のモジュールで使用できるタブのリストが表示されます。このリストからタブを選択できます。
属性	クエリ・ノードまたは関係に対して定義された属性条件が表示されます。詳細 については,「[属性]タブ」(71ページ)を参照してください。
カーディナリ ティ	カーディナリティは,関係のもう一方の端にあることが期待されるクエリ・ ノードの数を定義します。たとえば,ノードとIP アドレスの関係でカーディナ リティが1:3 である場合,TQL クエリは1~3 個の IP アドレスに接続されてい るノードのみを取得します。詳細については,「[カーディナリティ]タブ」 (74ページ)を参照してください。
データ・ソース	選択したクエリ・ノードのデータ・ソース・セットが表示されます。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
詳細	次の情報が表示されます。
	• CI タイプ/要素タイプ:選択したクエリ・ノード/関係の CIT です。
	• 要素名: クエリ・ノード/関係の名前です。モデリング・スタジオにのみ表示 されます。
	<ul> <li>クエリ結果に表示:緑色のチェック記号は、選択したクエリ・ノード/関係が トポロジ・マップに表示されることを示します。赤色のマークは、表示され ないことを示します。モデリング・スタジオでは、[はい]または[いい え]という語によって示されます。</li> </ul>
UI 要素	詳細
-------------------	---
	<ul> <li>サブタイプを含める:緑色のチェック記号は,選択した CI とその子の両方が トポロジ・マップに表示されることを示します。赤色のマークは,選択した CI だけが表示されることを示します。この項目はモデリング・スタジオでは 表示されません。</li> </ul>
編集	[ <b>編集</b> ] をクリックすると,選択したタブに対応するダイアログ・ボックスが 開きます。
要素レイアウト	選択したクエリ・ノード/関係での選択属性が表示されます。クエリ結果に含め るために選択された属性が一覧表示されます([ <b>特定の属性</b> ]が属性条件とし て選択されている場合)。また,除外された属性と,属性で選択されたすべて の修飾子も一覧表示されます。詳細については,「[要素レイアウト]タブ」 (78ページ)を参照してください。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
要素タイプ	クエリ・ノードまたは関係に対して定義されたサブタイプ条件が表示されま す。詳細については,「[要素タイプ]タブ」(77ページ)を参照してくださ い。
	注: このタブはモデリング・スタジオにのみ表示されます。
エンリッチメン ト・ルール	選択したクエリ・ノード/関係に対して定義されたエンリッチメント・ルールが 表示されます。エンリッチメント・ルールを使ってCIの属性を更新する場合 は、必要に応じて[編集]をクリックして[クエリ・ノード/関係の定義]ダイ アログ・ボックスを開き、ルールを編集します。詳細については、「[クエリ ノード/関係の定義]ダイアログ・ボックス」(514ページ)を参照してください。
	注: このタブはエンリッチメント・マネージャにのみ表示されます。
影響を受けるク エリ・ノード	選択したトリガ・クエリ・ノードで発生する変更の影響を受けるクエリ・ノー ドが表示されます。必要な場合は、[編集]をクリックして、[影響を受ける クエリノード]ダイアログ・ボックスを開いて変更できます。詳細について は、「[影響を受けるクエリノード]ダイアログ・ボックス」(443ページ)を参 照してください。
	<b>注:</b> このタブは影響分析マネージャにのみ表示されます。
修飾子	クエリ・ノードまたは関係に対して定義された修飾子条件が表示されます。詳 細については,「[修飾子]タブ」(80ページ)を参照してください。
	<b>注:</b> このタブは,エンリッチメント・マネージャと影響分析マネージャに

UI 要素	詳細
	のみ表示されます。
選択された ID	TQL クエリ結果に含める必要があるものを定義するために使用される要素イン スタンスが表示されます。詳細については, 「 [ID] タブ」(81ページ)を参照し てください。

新規エンリッチメント・ルール/エンリッチメント・ ルールのプロパティ/エンリッチメント・ルールとして 保存ウィザード

このウィザードでは、エンリッチメント・ルールを作成または変更できます。

利用方法	<ul> <li>新規エンリッチメント・ルールを作成するには、[エンリッ チメントルール]表示枠のどこかを右クリックして[新規エ ンリッチメントルール]をクリックするか、[新規エンリッ チメントルール] ぶ ボタンをクリックします。</li> <li>既存のエンリッチメント・ルールを変更するには、[エン リッチメントルール]表示枠でエンリッチメント・ルールを 右クリックして、[プロパティ]を選択します。</li> <li>既存のクエリに基づいて新しいエンリッチメント・ルールを 作成するには、[エンリッチメントルール]表示枠でエン リッチメント・ルールを右クリックして、[名前を付けて保 存]を選択します。</li> </ul>
重要情報	<ul> <li>新規エンリッチメント・ルールを作成する場合、ルールに必要な TQL クエリの変更はアプリケーションが許可しないことに留意してください。これらの変更は次のとおりです。</li> <li>どの関係にも接続しなくなるクエリ・ノードが発生するような、エンリッチメント TQL クエリからエンリッチメントト・クエリ・ノードに接続されているクエリ・ノードまたは関係を削除する操作。</li> <li>エンリッチメント・ルールで使用しているクエリ・ノードまたは関係のカーディナリティ定義を0(不要)に変更することはできません。関係カーディナリティの詳細については、「[クエリ・ノード/関係のプロパティ]ダイアログ・ボックス」(69ページ)を参照してください。</li> <li>エンリッチメント・ルールの基礎として機能するエンリッチ</li> </ul>

モデリング・ガイド 第12章: エンリッチメント・マネージャ

	メント TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細につい ては, 「トラブルシューティングと制限事項 – トポロジ・ク エリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが無効 である場合は保存できません。
関連タスク	「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491 ページ)
ウィザード・ マップ	「新規エンリッチメント・ルール / エンリッチメント・ルール のプロパティ / エンリッチメント・ルールとして保存ウィザー ド」には次のページが含まれます。
	「[ルールー般属性]ページ」 > 「[ルール ベース クエリ] ページ」
関連情報	<ul> <li>「エンリッチメント・マネージャの概要」(489ページ)</li> <li>「エンリッチメント・マネージャのユーザ・インタフェース」(497ページ)</li> <li>「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)</li> </ul>

[ルールー般属性] ページ

このウィザード・ページでは、エンリッチメント・ルールの一意の名前と説明を入力できます。

重 情	<ul> <li>エンリッチメント・ルールの基礎として機能するエンリッチメント TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが無効である場合は保存できません。</li> <li>TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については、「新規エンリッチメント・ルール/エンリッチメント・ルールのプロパティ/エンリッチメント・ルールとして保存ウィザード」(506ページ)を参照してください。</li> <li>標準設定では、このウィザードは[ようこそ]ページを表示するように設定されています。ユーザ・プリファレンスを変更して、このページを表示しないようにできます。詳細については、「[ユーザプリファレンス]ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザ・マ プ	「新規エンリッチメント・ルール / エンリッチメント・ルールのプロパティ / エンリッチメ ント・ルールとして保存ウィザード」には次のページが含まれます。 「【ルールー般属性】ページ】>「【ルール ベース クエリ】ページ」
関連 情報	「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)

UI 要素	詳細
ルー ルの 詳細	ルールの詳細を入力します(任意指定)。
ルー ルを 有効	このオプションを選択すると、ルールが保存されたらすぐにシステム内で有効になります (任意指定)。 標準設定:選択されていない
3	<ul> <li>注:</li> <li>有効なエンリッチメント・ルールが無効化された場合([ルールを有効にする] チェック・ボックスをクリア),CMDBで発生したルールに関連するすべての変更が システムから削除されます。エンリッチメント・ルールを無効化すると,[エン リッチメントルール]表示枠でエンリッチメント・ルールの横に赤い[X]が表示 されます。</li> <li>ルールを再度有効にするには,[エンリッチメントルール]表示枠でルールを右ク リックして,[プロパティ]を選択します。[一般属性]ページで[ルールを有効 にする]を選択します。</li> </ul>
ルー ル名	エンリッチメント・ルールの一意の名前を入力します。ルール名には、\/:"<> %?の文字を含むことができません。最後の文字を空白スペースにすることはできません。 <b>注:</b> ルール名が空の状態であるか、別のエンリッチメント・ルールで使用している名前 が含まれているか、無効な文字が使用されている場合は、[次へ] および [完了] ボ タンが使用不可になります。
最アセ日を新終クス時更	このオプションが選択されると、エンリッチメント・ルールは影響を及ぼす CIの[最終ア クセス日時]プロパティを更新します。チェック・ボックスの選択を解除すると、エン リッチメント・ルールはその属性を更新せず、そのためそれらの CI への接触を行いませ ん。これにより、エンリッチメント・ルールは該当する CI のエージングに影響を与えませ ん。
441	<ul> <li>注:</li> <li>・ 定義済みのエンリッチメント・ルールの場合は、このオプションは標準設定で選択されています。</li> <li>・ エンリッチメント・ルールによって作成された新しい CI の場合は、チェック・ボックスが選択解除されても [最終アクセス日時] プロパティは更新されます。</li> </ul>

#### [ルールベースクエリ]ページ

このウィザードでは、エンリッチメント・ルールのベースとなる TQL クエリのプロパティを定義できます。

重要	<ul> <li>エンリッチメント・ルールの基礎として機能するエンリッチメント TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが無効である場合は保存できません。</li> <li>TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については、「新規エンリッチメント・ルール/エンリッチメント・ルールのプロパティ/エンリッチメント・ルールとして保存ウィザード」(506ページ)を参照してください。</li> <li>標準設定では、このウィザードは、このページで[次へ]をクリックすると[ウィザードの完了]ページを表示するよう設定されています。ユーザ・プリファレンスを変更して、[ウィザードの完了]ページを表示しないようにできます。詳細については、「[ユーザプリファレンス]ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー・マ プ	「新規エンリッチメント・ルール / エンリッチメント・ルールのプロパティ / エンリッチメ ント・ルールとして保存ウィザード」には次のページが含まれます。 「[ルールー般属性]ページ」 > <b>「[ルール ベース クエリ]ページ」</b>
関連 情報	「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)

UI 要素	詳細
新しいクエリのエ ンリッチメントに 基づく	新しい TQL クエリをエンリッチメント・ルールのベースにする場合は, この チェック・ボックスを選択します。TQL 結果は, 新しい TQL クエリに定義し た属性に基づいたものになります。
既存のクエリのエ ンリッチメント・ ルールに基づく	既存の TQL クエリをエンリッチメント・ルールのベースにする場合は,この チェック・ボックスを選択します。必要なエンリッチメント TQL クエリをド ロップダウン・リストから選択します。
	<b>注:</b> エンリッチメント・ルールを,クラスの複合条件を含んでいる TQL クエリのベースにすることはできません。
ベース・クエリ詳 細	TQL クエリの説明を入力します(任意指定)。
ベース・クエリ名	エンリッチメント TQL クエリの一意の名前を入力します。

UI 要素	詳細
	[ <b>既存の TQL のエンリッチメント ルールに基づく</b> ] オプションを選択した 場合,ルールの基礎とするエンリッチメント TQL クエリを選択します。
ベース・クエリの 優先度	新しい TQL クエリの優先度(低,中,高,至急)を選択します。この設定に より,システムが CMDB から更新情報を取り込むためにこのクエリを自動的 に再実行する頻度が決定します。
現在の定義に基づ いて新規クエリを	選択すると, エンリッチメント・ルールの定義に基づいて新しい TQL クエリ が保存されます。
<b>体</b> 任	<b>注:</b> このフィールドは, [エンリッチメント ルールに名前を付けて保 存]ウィザードにのみ表示されます。
いて新規クエリを 保存	が保存されます。 <b>注:</b> このフィールドは, [エンリッチメント ルールに名前を付けて保 存]ウィザードにのみ表示されます。

新規テナント関連付けルール/テナント関連付けルール のプロパティ/テナント関連付けルールとして保存ウィ ザード

このウィザードでは、テナント関連付けルールを作成、変更できます。

利用方法	<ul> <li>新規テナント関連付けルールを作成するには、[エンリッチ メント ルール]表示枠の任意の場所で右クリックして[新規</li> </ul>
	<b>テナント関連付けルール</b> ]をクリックするか, [新規] 迷 ボタンの横の下向き矢印をクリックして [新規テナント関連 付けルール]を選択します。
	<ul> <li>既存のテナント関連付けルールを変更するには、[エンリッ チメント ルール]表示枠でテナント関連付けルールを右ク リックして、[プロパティ]を選択します。</li> </ul>
	<ul> <li>既存のクエリに基づいて新しいテナント関連付けルールを作成するには、[エンリッチメントルール]表示枠でテナント 関連付けルールを右クリックして、[名前を付けて保存]を 選択します。</li> </ul>
重要情報	💩 は,アクティブなテナント関連付けルールを示します。
	- 🖧 非アクティブなテナント関連付けルールを表します。
	注:
	<ul> <li>このウィザードは、マルチテナンシが有効な場合のみ使 用できます。</li> </ul>

モデリング・ガイド 第12章: エンリッチメント・マネージャ

	<ul> <li>テナント関連付けルールの基礎として機能する TQL クエリは一定の検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが無効である場合は保存できません。</li> </ul>
関連タスク	<ul> <li>「新規テナント関連付けルールの定義方法」(496ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのマルチテナンシーの ワークフロー</li> </ul>
ウィザード・ マップ	「新規テナント関連付けルール / テナント関連付けルールのプロ パティ / テナント関連付けルールとして保存ウィザード」には次 のページが含まれます。 「[ルールー般属性]ページ」>「[ルールベースクエリ] ページ」
関連情報	<ul> <li>「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)</li> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのマルチテナンシーの概要</li> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのテナント関連付けルール</li> </ul>

[ルールー般属性] ページ

このウィザード・ページでは、テナント関連付けルールの一意の名前と詳細を入力できます。

重	<ul> <li>エンリッチメント・ルールの基礎として機能するエンリッチメント TQL クエリは一定の 検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロ ジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが無効である場合は保存 できません。</li> <li>TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については、「新規エンリッチメン ト・ルール/エンリッチメント・ルールのプロパティ/エンリッチメント・ルールとし て保存ウィザード」(506ページ)を参照してください。</li> <li>標準設定では、このウィザードは[ようこそ]ページを表示するように設定されていま す。ユーザ・プリファレンスを変更して、このページを表示しないようにできます。詳 細については、「[ユーザプリファレンス]ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照 してください。</li> </ul>
ウィ ザー ド・ マッ	「新規テナント関連付けルール / テナント関連付けルールのプロパティ / テナント関連付け ルールとして保存ウィザード」には次のページが含まれます。 「【ルールー般属性】ページ」 > 「 [ルール ベース クエリ] ページ」

モデリング・ガイド 第12章: エンリッチメント・マネージャ

プ	
関連 情報	「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)

UI 要素	詳細
ルー ルの 詳細	ルールの詳細を入力します(任意指定)。
ルー ルを 有効 にす	このオプションを選択すると、ルールが保存されたらすぐにシステム内で有効になります (任意指定)。 <b>標準設定</b> :選択されていない
3	<ul> <li>注:</li> <li>有効なテナント関連付けルールが無効化された場合([ルールを有効にする] チェック・ボックスをクリア), CMDB で発生したルールに関連するすべての変更 がシステムから削除されます。テナント関連付けルールを無効化すると、[エン リッチメント ルール]表示枠でルールの横に赤い [X] が表示されます。</li> <li>ルールを再度有効にするには、[エンリッチメント ルール]表示枠でルールを右ク リックして、[プロパティ]を選択します。[一般属性]ページで[ルールを有効 にする]を選択します。</li> </ul>
ルー ル名	テナント関連付けルールの一意の名前を入力します。ルール名には、\/:"<> %?の文字 を含むことができません。最後の文字を空白スペースにすることはできません。 注: ルール名が空の状態であるか、別のテナント関連付けルールで使用している名前が 含まれているか、無効な文字が使用されている場合は、[次へ] および [完了] ボタ ンが使用不可になります。
最アセ日を終クス時更	このオプションが選択されると,テナント関連付けルールは影響を及ぼす CIの[最終アク セス日時]プロパティを更新します。チェック・ボックスの選択を解除すると,テナント 関連付けルールはその属性を更新せず,そのためそれらの CI への接触を行いません。これ により,テナント関連付けルールは該当する CI のエージングに影響を与えません。
新	<ul> <li>注:</li> <li>・ 定義済みのテナント関連付けルールの場合は、このオプションは標準設定で選択されています。</li> <li>・ テナント関連付けルールによって作成された新しいCIの場合は、チェック・ボックスが選択解除されても[最終アクセス日時]プロパティは更新されます。</li> </ul>

#### [ルールベースクエリ]ページ

このウィザード・ページでは、テナント関連付けルールの基礎とする TQL クエリのプロパティを定義 できます。

重要 情報	<ul> <li>エンリッチメント・ルールの基礎として機能するエンリッチメント TQL クエリは一定の 検証制限を受けます。詳細については、「トラブルシューティングと制限事項 - トポロ ジ・クエリ言語」(88ページ)を参照してください。TQL クエリが無効である場合は保存で きません。</li> <li>TQL クエリ作成後の変更の影響に関する重要な情報については、「新規エンリッチメン ト・ルール/エンリッチメント・ルールのプロパティ/エンリッチメント・ルールとして</li> </ul>
	保存ウィザード」(506ページ)を参照してください。
	<ul> <li>標準設定では、このウィザードは、このページで [次へ] をクリックすると [ウィザードの完了] ページを表示するよう設定されています。ユーザ・プリファレンスを変更して、[ウィザードの完了] ページを表示しないようにできます。詳細については、「[ユーザ プリファレンス] ダイアログ・ボックス」(87ページ)を参照してください。</li> </ul>
ウィ ザー	「新規テナント関連付けルール / テナント関連付けルールのプロパティ / テナント関連付け ルールとして保存ウィザード」には次のページが含まれます。
ド・ マッ プ	「[ルールー般属性]ページ」 > <b>「[ルール ベース クエリ]ページ」</b>
関連 情報	「トポロジ・クエリ言語(TQL)」(14ページ)

UI 要素	詳細
新しいクエリのテ ナント関連付け ルールに基づく	新しい TQL クエリをテナント関連付けルールのベースにする場合は, この チェック・ボックスを選択します。TQL 結果は, 新しい TQL クエリに定義し た属性に基づいたものになります。
既存のクエリのテ ナント関連付け ルールに基づく	既存の TQL クエリをテナント関連付けルールのベースにする場合は,この チェック・ボックスを選択します。必要な TQL クエリをドロップダウン・リ ストから選択します。
ベース・クエリ詳 細	TQL クエリの説明を入力します(任意指定)。
ベース・クエリ名	TQL クエリの一意の名前を入力します。 [Base the Tenant Association rule on an existing query]オプションを選 択した場合,ルールの基礎とするエンリッチメント TQL クエリを選択しま す。

UI 要素	詳細
ベース・クエリの 優先度	新しい TQL クエリの優先度(低,中,高,至急)を選択します。この設定に より,システムが CMDB から更新情報を取り込むためにこのクエリを自動的 に再実行する頻度が決定します。
現在の定義に基づ いて新規クエリを	選択すると,テナント関連付けルールの定義のベースとなる新しい TQL クエ リが保存されます。
ЖТ	<b>注:</b> このフィールドは, [テナント関連付けルールとして保存]ウィ ザードにのみ表示されます。

### [クエリノード/関係の定義] ダイアログ・ボックス

選択したクエリ・ノード/関係の属性を表示します。キー属性と選択したクエリ・ノードの必須属性 は太字で表示されます。

利用方法	エンリッチメント・モード([エンリッチメントマネージャ] ページの上部で [ <b>クエリ/エンリッチメント</b> ] ドロップダウン・ リストから [ <b>エンリッチメント</b> ] を選択)の場合,クエリ・ ノードまたは関係を右クリックし, [関係を更新] または [ク エリノードを更新] を選択します。
重要情報	エンリッチメント・ルールを使用して、CMDB内のCI属性の値 を更新するか、現在値が設定されていない属性にデータを追加 します。たとえば、このオプションを使用して、すべてのCIイ ンスタンスに同時にメモを追加できます。 キー属性とエンリッチメント・クエリ・ノードの必須属性の値 を入力する必要があります。これらの値の定義に使用する方法 で、作成されるインスタンス数が決まります。 動的な値を入力すると、膨大な数のインスタンスを作成できま
	動的な値をパガリると、感入な数のインスノンスをIFM Cさな す。たとえば、CIT Node の host_key または CIT IpAddress の IP アドレス属性に動的な値を入力します。
関連タスク	「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491 ページ)
関連情報	<ul> <li>「エンリッチメント・マネージャの概要」(489ページ)</li> <li>「エンリッチメント・マネージャのユーザ・インタフェース」(497ページ)</li> </ul>

[属性] 領域

UI 要素	詳細
名前	属性名です。
タイプ	選択した属性のフィールドのタイプです。
値	<ul> <li>次のいずれかで値が定義されます。</li> <li>[属性の設定] 領域の [値] ボックス。</li> <li>[属性の設定] 領域の複数の [属性別] ボックスの値の組み合わせ。</li> <li>[クエリノード定義 — 詳細な属性] ダイアログ・ボックスの [タイ プ] カラムで [簡易] を選択した場合, [値] カラム。</li> <li>[クエリノード定義 — 詳細な属性] ダイアログ・ボックスの [タイ プ] カラムで [腐性別] を選択した場合, [値] カラムと [値] カラ ムの右側のカラムの値の組み合わせ。</li> </ul>

[属性の設定] 領域

UI 要 素	詳細
詳細設 定	[クエリ ノード定義 - 詳細な属性]ダイアログ・ボックスを使用して属性値を定義しま す。
	<b>② クリア:[属性</b> ] 領域の [ <b>値</b> ] カラムを消去します。
	<b>注:</b> この要素は,フィールド・タイプ [ <b>文字列</b> ]の属性を選択した場合にのみアクティブになります。
属性別	TQL クエリのほかのクエリ・ノードの属性を使用して属性を定義します。
	• 左側のボックスで必要なクエリ・ノードを選択します。
	• 右側のボックスでクエリ・ノードの必須属性を選択します。
	🛅 適用:選択した属性定義を [属性] 領域の [値] カラムに追加します。
	<b>クリア:</b> [属性] 領域の[値] カラムを消去します。
正規表 現グ ループ	(フィールド・タイプの属性に [ <b>文字列</b> ]を選択した場合にのみ表示)正規表現構文を 使用して正規表現を追加した場合にのみグループ番号を入力します。これは,正規表現 パターンのうち,属性を作成するときに注目する部分を表します。括弧()のセットで

UI 要 素	詳細
	グループとみなされます。
正規表 現	(フィールド・タイプの属性に [ <b>文字列</b> ] を選択した場合にのみ表示)正規表現構文を 使用して正規表現を追加します。正規表現パターンを入力します。 正規表現構文の使い方の例については, 「正規表現の例」(532ページ)を参照してくださ
	い。 
値 ([属	定数値を定義します。 [ <b>値</b> ] ボックスに必要な値を入力するか, [ <b>値</b> ] リストから値を 選択します。
性の設 定]領	□ 適用:値定義を [属性] 領域の [値] カラムに追加します。
1句代)	<b>の クリア:[属性</b> ] 領域の [値] カラムを消去します。

[クエリノード定義] - [詳細な属性] ダイアログ・ ボックス

このダイアログ・ボックスでは、単純または複雑な表現を使用して、**文字列**タイプのクエリ・ノード と関係の属性を定義できます。また、正規表現形式を使用して複雑な表現を作成することもできま す。

利用方法	[クエリ ノード定義]ダイアログ・ボックスの <b>文字列</b> タイプの属性を選択し ます。[ <b>詳細設定</b> ]を選択し,[ <b>…</b> ]ボタンをクリックします。
関連タスク	「エンリッチメント・ルールを定義する方法 - シナリオ」(491ページ)
関連情報	<ul> <li>「エンリッチメント・マネージャの概要」(489ページ)</li> <li>「エンリッチメント・マネージャのユーザ・インタフェース」(497ページ)</li> </ul>

UI 要素	詳細
+	追加:単純または複雑な表現を使用して属性値を定義します。 [タ イプ] カラムに新しいエントリを作成します。新しいエントリをク リックし, [簡易] または [属性別] を選択します。詳細について は,後述の [タイプ] カラムの説明を参照してください。
*	<b>削除:</b> 選択した属性値を削除します。
	<b>上へ:</b> 選択した行を上へ移動します。

UI 要素	詳細
₩	<b>下へ :</b> 選択した行を下へ移動します。
詳細な値	([ <b>タイプ</b> ]カラムで[ <b>属性別</b> ]を選択している場合にのみ利用可 能)ボックス内のエントリをクリックし,必須属性を選択します。
連結	このダイアログ・ボックスに一覧表示されているすべての属性値を 使用します。
正規表現グ ループ	([ <b>タイプ</b> ] カラムで [ <b>属性別</b> ] を選択している場合にのみ利用可 能) [ <b>正規表現グループ</b> ] カラム内をクリックし, <b>「</b> デーボタン をクリックし, 開いた [正規表現グループ] ダイアログ・ボックス の [値] にグループ番号を入力します。これは, 正規表現パターン のうち, 属性を作成するときに注目する部分を表します。括弧() のセットでグループとみなされます。
正規表現	([ <b>タイプ</b> ] カラムで [ <b>属性別</b> ] を選択している場合にのみ利用可 能) [ <b>正規表現</b> ] カラム内をクリックして ボタンをクリッ クし,開いた [正規表現] ダイアログ・ボックスの [値] に正規表 現パターンを入力します。 正規表現構文の使い方の例については,「正規表現の例」(532ペー ジ)を参照してください。
タイプ	<ul> <li>[タイプ] カラム内のエントリをクリックし、次のいずれかのオプションを選択します。</li> <li>簡易:単純表現を使用して定数値を定義します。</li> <li>属性別:TQLのほかのクエリ・ノードの属性を使用して属性を定義します。</li> <li>標準設定:簡易</li> </ul>
値を持つ最初 の属性を使用	このダイアログ・ボックスに一覧表示されている空ではない最初の 属性値を使用します。
値	<ul> <li>[タイプ] カラムで [単純] を選択した場合, [値] カラム内 をクリックして ボタンをクリックし, [単純] ダイア ログ・ボックスの [値] に必要な値を入力します。</li> <li>注: 1 つの単純表現のみを使用して属性値を定義した場合, [値] カラムを空白にできません。</li> <li>[タイプ] カラムで [属性別] を選択した場合, [値] カラム 内をクリックし, リストから必要な値を選択します。</li> </ul>

### [所有者テナントを更新] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、CIの利用者テナントの更新ルールを定義できます。

利用方法	[エンリッチメント マネージャ]で[ <b>エンリッチメント モード</b> ]を選択しま す。[テナント関連付けルール]で必要なクエリ・ノードを右クリックし, [ <b>利用者テナントを更新</b> ]を選択します。
重要情報	このダイアログ・ボックスは,マルチテナンシーの有効な場合にのみ使用でき ます。
関連タスク	「新規テナント関連付けルールの定義方法」(496ページ)
関連情報	<ul> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのマルチテナンシーの概要</li> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのテナント関連付けルール</li> </ul>

UI 要素	詳細
選択した値を 元の値に追加	このオプションを選択すると,選択した利用者テナントが,更新したクエリ・ ノードの元の利用者テナントに追加されます。
属性値の取得 元	<ul> <li>選択したクエリ・ノードのテナント属性を選択して、更新したクエリ・ノードに適用します。次のオプションを選択できます。</li> <li>所有者テナントの属性:選択したクエリ・ノードの所有者テナントを、更新したクエリ・ノードの利用者テナントとして適用します。</li> <li>利用者テナントの属性:選択したクエリ・ノードの利用者テナントを、更新したクエリ・ノードの所有者テナントをして適用します。</li> <li>注:この要素は、[属性別]を選択した場合にのみ関連します。</li> </ul>
元の値を上書 き	このオプションを選択すると,選択した利用者テナントが,更新したクエリ・ ノードの元の利用者テナントと置き換わります。
ノードを選択	選択したクエリ・ノードを, [利用可能なノード] ペインから [選択済みのノード] ペインに, 矢印ボタンを使用して移動します。 注: この要素は, [属性別] を選択した場合にのみ関連します。
テナントを選 択	選択したテナントを, [利用可能なテナント] ペインから [選択済みのテナント] ペインに, 矢印ボタンを使用して移動します。 注: この要素は, [値別] を選択した場合にのみ関連します。

UI 要素	詳細
利用者テナン	顧客テナントの更新方法を選択します。次のオプションを使用できます。
トを史新	• 値別:利用者テナントから直接テナントを選択します。
	• <b>属性別:</b> ルールでその他のクエリ・ノードを選択します。更新したクエリ・ ノードには,選択したクエリ・ノードの所有者テナントが割り当てられます。

### [所有者テナントを更新] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは、CIの所有者テナントの更新ルールを定義できます。

利用方法	[エンリッチメント マネージャ]で[ <b>エンリッチメント モード</b> ]を選択しま す。[テナント関連付けルール]で,必要なクエリ・ノードを右クリックし, [ <b>所有者テナントを更新</b> ]を選択します。
重要情報	このダイアログ・ボックスは,マルチテナンシーの有効な場合にのみ使用でき ます。
関連タスク	「新規テナント関連付けルールの定義方法」(496ページ)
関連情報	<ul> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのマルチテナンシーの概要</li> <li>『HP Universal CMDB 管理ガイド』でのテナント関連付けルール</li> </ul>

UI 要素	詳細
テナントを <sup>選切</sup>	ドロップダウン・リストからテナントを選択します。
进八	<b>注:</b> この要素は, [ <b>値別</b> ]を選択した場合にのみ関連します。
所有者テナ	ドロップダウン・リストからクエリ・ノードを選択します。
フトの選択 元	<b>注:</b> この要素は, [ <b>属性別</b> ]を選択した場合にのみ関連します。
所有者テナ	所有者テナントの更新方法を選択します。次のオプションを使用できます。
ントを更新	• 値別:ドロップダウン・リストからテナントを直接選択します。
	• <b>属性別</b> :ルールで別のクエリ・ノードを選択します。更新したクエリ・ノードには,選択したクエリ・ノードの所有者テナントが割り当てられます。

# HP Universal CMDB データ・モデル

HP Universal CMDB (10.20)

### 第13章: UCMDB データ・モデルの紹介

#### 本章の内容

• ユニバーサル・データ・モデル (UDM)の概要 ......521

### ユニバーサル・データ・モデル (UDM) の概要

Universal Data model (UDM) は,共通言語を使用して HP ソフトウェア製品を統合可能にするための 情報モデルを提供します。UDM は, CI タイプの形式で語彙とそれらの間の関係,および属性を提供 します。この語彙と語彙から派生した作成物は,エンタープライズ環境でのインテグレーションだけ でなく,迅速な設計とデプロイメントを可能にし,メンテナンスと統合の進化を容易にするために使 用されます。UDM は, HP Universal CMDBおよびそのインテグレーションを含む多くの管理製品とソ リューションに適用されます。

UCMDB CI タイプと関係情報 PDF を生成できます。これは、UDM 内の特定の CI タイプと関係に関する 情報を提供します。詳細については、「[PDF への選択した CIT のエクスポート] ダイアログ・ボッ クス」(487ページ)を参照してください。UDM Powerpoint ドキュメントは HP Live Network でも見つ かります。または、【ヘルプ】>【UCMDB クラス モデル】を選択して UCMDB クラス・モデル・リ ファレンスにアクセスします。

### 第14章: UML ツールへの UCMDB データ・モ デルのエクスポート

#### 本章の内容

•	UML へのエクスポート・ツール - 概要	.522
•	クラス・モデルのエクスポート方法	. 522
•	クラス・モデルの選択部分の XML を変換する方法	.523
•	UML へのエクスポート・ツールのユーザ・インタフェース	.524
•	ツール・プラグイン入力	. 526

**注:** 現在, Altova UModel バージョン 2008 と 2009 がサポートされています。

### UMLへのエクスポート・ツール-概要

UML ツールへのエクスポートでは,UCMDB クラス・モデルの選択したセクションを UML ツールと互 換性のある形式にエクスポートし,モデルを UML 図として表示できます。

ツールへの入力項目は, UCMDB クラス・モデル XML ファイルです(JMX サービス UCMDB:service=Class Model Services/ exportClassModelToXml() によって取得される)。

**注:** JMX コンソールにアクセスするには,ブラウザのアドレスに次を入力します。http://<サーバ 名>:8080/jmx-console。ここで,<サーバ名>は,HP Universal CMDB がインストールされている マシンの名前です。

### クラス・モデルのエクスポート方法

このタスクでは, [クラス モデルの UML ツールへのエクスポート]ウィザードの使用方法について 説明します。

#### 本項の内容

- 「前提条件」(523ページ)
- 「UML ツールの実行」(523ページ)
- 「エクスポートしたファイルの Altova での表示」(523ページ)

1. 前提条件

次の zip ファイルを任意の場所にデプロイしてツールをセットアップします。 <ボリューム>:\hp\UCMDB\UCMDBServer\tools\ExportClassModel.zip

2. UML ツールの実行

[クラス モデルの UML へのエクスポート]ウィザードを使用して,UML ツールにエクスポート する CIT とその属性を選択します。

[UML へのエクスポート] ウィザードを使用した作業の詳細については, 「UML へのクラス・ モデルのエクスポート・ウィザード」(524ページ)を参照してください。

- 3. エクスポートしたファイルの Altova での表示
  - a. Altova では、【ファイル】>【XMI ファイルからインポート】を選択します。
  - b. XMI ファイルを選択します。 [モデル ツリー] 表示枠にクラス・モデル・エントリが表示されます。
  - c. エントリを右クリックして [新規ダイアグラムに表示] > [コンテンツ] を選択します。 [OK] をクリックします。

# クラス・モデルの選択部分の XML を変換する方法

このタスクでは、クラス・モデルの選択部分の XML を UML ツール形式に変換するカスタム・プラグ インの使用方法について説明します。

Java クラスまたは XSLT テキスト・ファイルのプラグインを使用できます。Java クラスを使用する場合, ITransformToUML(ExportToUML.jar) インターフェイスを実装する必要があります。

transformToUML() メソッドが XML ストリングをパラメータとして受信し,出力ファイルに書き込ま れるバイトアレイとして返します。

カスタム・プラグイン入力の詳細については, 「ツール・プラグイン入力」(526ページ)を参照して ください。

#### 本項の内容

- 「Java クラスを使用したプラグインのアクティブ化」(523ページ)
- 「XSLT テキスト・ファイルを使用したプラグインのアクティブ化」(524ページ)

Java クラスを使用したプラグインのアクティブ化

表示名と完全修飾クラス名を,次のように ExportToUML ディレクトリの**config.xml**ファイルに追加し ます。 モデリング・ガイド 第14章: UML ツールへの UCMDB データ・モデルのエクスポート

> <ConverterToUML> <Name><display name></Name> <Class><fully qualified class name></Class> </ConverterToUML>

クラス・モデルをエクスポートする手順を続行します。詳細については,「クラス・モデルのエクス ポート方法」(522ページ)を参照してください。

XSLTテキスト・ファイルを使用したプラグインのアクティブ化

この場合には,指定したファイルの XSLT がクラス・モデル XML に適用され,出力ファイルに書き込まれます。

表示名と XSLT ファイルのフル・パスを,次のように ExportToUML ディレクトリのconfig.xmlファイ ルに追加します。

<ConverterToUML> <Name><display name></Name> <XsltFile><Full\_path\_of\_the\_XSLT\_file></XsltFile> </ConverterToUML>

クラス・モデルをエクスポートする手順を続行します。詳細については, 「クラス・モデルのエクス ポート方法」(522ページ)を参照してください。

UMLへのエクスポート・ツールのユーザ・イン タフェース

本項の内容

• UML へのクラス・モデルのエクスポート・ウィザード ......524

UML へのクラス・モデルのエクスポート・ウィザード

このウィザードでは, UML ツールにエクスポートする CIT とその属性を選択できます。

利用方法	ツールをデプロイした場所を参照します。ExportClassModel ディレクトリで ExportClassModel.jar を右クリックします。 【アプリケーションから開く】> 【Java 2 プラットフォーム SE バイナリ】を選択します。
重要情報	標準設定では, ツールにより ExportClassModel ディレクトリの <b>ClassModel.xml</b> ファイルが開かれます。 <b>[ファイル] &gt; [クラス・モデル ファイルを開く]</b> メ ニューでほかのファイルを開くことができます。
関連タスク	「クラス・モデルのエクスポート方法」(522ページ)
ウィザード・	[クラス・モデルの UML へのエクスポート]ウィザードには,以下のページが

モデリング・ガイド 第14章: UML ツールへの UCMDB データ・モデルのエクスポート

マップ	含まれています。
	<b>「UML へのクラス・モデルのエクスポート・ウィザード」(524ページ)</b> > 「有効 なリンクの選択」(525ページ) > 「選択した項目のエクスポート」(526ページ)
関連情報	<ul> <li>「UML へのエクスポート・ツール - 概要」(522ページ)</li> <li>「ツール・プラグイン入力」(526ページ)</li> </ul>

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細
ファイル	XML ファイルのリストを表示します。クラス・モデルを含むファイルを 開きます。
[属性の選択] 表示枠	UML ツールに表示する属性を選択します。
	選択した CIT の属性はこの表示枠に表示されます。属性の色は次のとお りです。
	• 親 CIT から継承する属性は黒です。
	<ul> <li>この CIT に固有の属性は濃い青です。</li> </ul>
[CI タイプの選択] 表	ここに表示される CIT は,ClassModel.xml ファイルから取得されます。
示枠	UML ツールにエクスポートする CIT とそのサブ・ノードを選択します。
	サブインデックスをすべて選択またはすべてクリアするには,ボタンを 使用します。

#### 有効なリンクの選択

このウィザード・ページでは、2つの CIT 間で使用できるリンクを選択できます。

重要情報	ウィザードに関する一般情報は, 「UML へのクラス・モデルのエクスポート・ウィ ザード」(524ページ)で入手できます。
ウィザー ド・マップ	[クラス・モデルの UML へのエクスポート]ウィザードには,以下のページが含 まれています。
	<b>「有効なリンクの選択」 &gt;</b> 「選択した項目のエクスポート」

UI 要素	詳細
۲	CIT のリストからフィルタが削除されます。
適用	有効なリンクのリストをフィルタ処理できます。CIT のリストをフィルタ処理し,CIT ま

モデリング・ガイド 第14章: UML ツールへの UCMDB データ・モデルのエクスポート

UI 要素	詳細
フィル タ	たは関係ごとにリストを並べ替えできます。

#### 選択した項目のエクスポート

このウィザード・ページでは、選択した CIT とその属性を UML ツールにエクスポートできます。

重要情報	ウィザードに関する一般情報は, 「UML へのクラス・モデルのエクスポート・ウィ ザード」(524ページ)で入手できます。		
ウィザー ド・マップ	[クラス・モデルの UML へのエクスポート]ウィザードには,以下のページが含 まれています。		
	「有効なリンクの選択」 <b>&gt; 「選択した項目のエクスポート」</b>		

ユーザ・インタフェース要素の説明を次に示します。

UI 要素	詳細		
エクス ポート	クリックして, UCMDB CIT とその属性を追加する XMI 形式の UML ファイルを参照します。		
	CIT のペアの有効なリンクがない場合は, <b>「有効なリンクなし」</b> メッセージが[有効な リンクの選択]ページに表示されます。		

### ツール・プラグイン入力

#### プラグインへの入力は,次の形式の XML 文字列(選択したクラス/属性/有効なリンク)です。

<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>

<Class-Model>

<Class class-name="hostresource" display-name="Host Resource" visibility="public">

<Attribute name="isvirtual" display-name="Is Virtual" visibility="public"/>

<Attribute name="city" display-name="City" visibility="public"/>

</Class>

<Class class-name="host\_node" display-name="Computer" visibility="public">

<Derived-From class-name="host"/>

</Class>

<Class class-name="vax" display-name="VAX" visibility="public">

<Attribute name="root\_actualdeletionperiod" display-name="Actual Deletion Period" visibility="public"/> <Attribute name="data\_allow\_auto\_discovery" display-name="Allow CI Update" visibility="public"/> <Derived-From class-name="host\_node"/>

</Class>

<Class class-name="host" display-name="Host" visibility="public">

<Attribute name="host\_iscomplete" display-name="Host Is Complete" visibility="public"/>

```
<Attribute name="host_isroute" display-name="Host Is Route" visibility="public"/>
   <Attribute name="host_hostname" display-name="Host Name" visibility="public"/>
    <Attribute name="host_os" display-name="Host Operating System" visibility="public"/>
  </Class>
  <Class class-name="unix" display-name="Unix" visibility="public">
    <Derived-From class-name="host_node"/>
  </Class>
  <Valid-Link ID="host_member_host" display-name="Member" visibility="public">
    <End1 class-name="host"/>
   <End2 class-name="host"/>
  </Valid-Link>
 <Valid-Link ID="host_container_f_hostresource" display-name="Container link" visibility="public">
    <End1 class-name="host"/>
    <End2 class-name="hostresource"/>
 </Valid-Link>
</Class-Model>
```



### 第15章: テーブルでの作業

#### 本章の内容

カラムのインタフェース

#### 本項の内容

### [カラムの選択] ダイアログ・ボックス

このダイアログ・ボックスでは,表示する情報を選択できます。カラムを非表示にするか,非表示状態のカラムを表示するように選択できます。

利用方法	[ <b>カラムの選択</b> ]ボタン ᇞ をクリックします。このボタンはレポート内の各 テーブルの上に表示されます。
重要情報	リストのカラム順序(可視カラムの表示枠内)により,テーブルに表示される カラムの順序が決定されます。テーブル・カラムの順序を変更するには,上下の 矢印ボタンを押すか,カラムを新しい場所にドラッグして必要な位置へ移動し ます。

含まれている要素は次のとおりです。

UI 要素	詳細
\$	カラムを表示します。選択したカラムを[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠から[ <b>可</b> <b>視カラム</b> ]表示枠に移動します。
¢	選択したカラムを非表示にします。選択したカラムを[ <b>可視カラム</b> ]表示枠か ら[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠に移動します。
**	すべての非表示カラムを表示します。すべてのカラムを[ <b>利用可能なカラム</b> ] 表示枠から[ <b>可視カラム</b> ]表示枠に移動します。
<b>E</b>	すべてのカラムを非表示にします。すべてのカラムを[ <b>可視カラム</b> ]表示枠か ら[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠に移動します。

UI 要素	詳細
1	[ <b>可視カラム</b> ] ペインのリスト中で,選択したカラムを上に移動します。
V	[ <b>可視カラム</b> ] ペインのリスト中で,選択したカラムを下に移動します。
利用可能なカラ ム	この表示枠内のカラムはテーブルに表示されません。
可視カラム	この表示枠内のカラムはテーブルに表示されます。

[カラムコンテンツの並べ替え] ダイアログ・ボックス このダイアログ・ボックスでは, テーブルに表示されるエントリの並べ替え順序を設定, 変更できま す。

利用方法	[ <b>カラム コンテンツの並べ替え</b> ] ボタン İ をクリックします。
重要情報	<ul> <li>1つのカラムを基準にしたテーブルの並べ替えは、次の手順を実行します。</li> <li>カラム名を [利用可能なカラム] から [並べ替えられたカラム] リストに移動します。名前を選択し、該当するボタンをクリックして昇順(上向きの三角形)または降順(下向きの三角形)のいずれで並べ替えるかを決めます。</li> <li>2つ以上のカラムを基準にしたテーブルの並べ替えは、次の手順を実行します。</li> <li>カラム名(複数)を [利用可能なカラム] から [並べ替えられたカラム] リストに移動します。各カラムについて、昇順または降順のいずれで並べ替えるかを決めます。</li> </ul>
	<ul> <li>カラムの並べ替え順序を変更するには、次の手順を実行します。         <ul> <li>「並べ替えられたカラム] リストでエントリを選択し、上向きまたは下向き矢印を選択して順序を変更します(リスト内の上部にあるエントリがまず並べ替えられ、その後、下部にあるエントリが並べ替えられます)。テーブルのカラムのヘッダーに数が表示されます。</li> </ul> </li> <li>注: 並べ替えることができるのは、表示されているカラムのみです。テーブルのカラムのキューを見たす。</li> </ul>
	内に表示するカラムとその表示順序を定義する方法の詳細については、 「[カラムの選択]ダイアログ・ボックス」(529ページ).参照してください。

含まれている要素は次のとおりです。

UI 要素	詳細
\$	選択したカラムを[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠から[ <b>並べ替えられたカラム</b> ]表示枠 に移動します。この手順は,選択したカラムをダブルクリックすることでも行えま

UI 要素	詳細
	す。
¢	選択したカラムを[ <b>並べ替えられたカラム</b> ]表示枠から[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠 に移動します。
***	すべてのカラムを[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠から[ <b>並べ替えられたカラム</b> ]表示枠 に移動します。
<b>5</b>	すべてのカラムを[ <b>並べ替えられたカラム</b> ]表示枠から[ <b>利用可能なカラム</b> ]表示枠 に移動します。
₩ ♠	リスト内で選択したカラムを上または下に移動して,すでに決められている並べ替え 順序内での優先順位を上げ下げできます。
lit F↓	カラムの内容を昇順または降順に並べ替えることができます。
	[ <b>並べ替えられたカラム</b> ]表示枠でカラム名を選択し,昇順または降順ボタンをク リックします。
利用可能 なカラム	内容が並べ替えられていないカラムです。
	<b>注:</b> 複数のカラムを選択できます。
並べ替え られたカ ラム	内容が昇順または降順で並べ替えられたカラムです。

### 第16章:正規表現の例

#### 本章の内容

### 正規表現の例

• IP アドレス (aa.yy.zz.mm)を定義する正規表現は、次のように入力します。

目的	最初のフィールドへの入力内容	2 つ目のフィールドへの入力内容
aa でラベルを作成する	(.*)([.].*[.].*[.].*)	1
yy でラベルを作成する	(.*[.])(.*)([.].*[.].*)	2
zz でラベルを作成する	(.*[.].*[.])(.*)([.].*)	2
mm でラベルを作成する	(.*[.].*[.].*[.])(.*)	2

次のように正規表現を入力して、選択された属性の最初または最後の文字でラベルを作成できます。

目的:	最初のフィールドへの入力内 容	2 つ目のフィールドへの入力内 容
最初の文字でラベルを作成す る	(.)(.*)	1
最後の文字でラベルを作成す る	(.*)(.)	2
最初の 2 文字でラベルを作成 する	()(.*)	1
最後の 2 文字でラベルを作成 する	(.*)()	2

# ドキュメントに関するフィードバッ クの送信

このドキュメントに関するコメントについては,電子メールでドキュメント・チームまでご連絡くだ さい。ご使用のシステムに電子メール・クライアントが設定されている場合は,上記のリンクをク リックすると電子メールウィンドウが開き,以下の情報が件名の行に表示されます。

モデリング・ガイド (Universal CMDB 10.20) に関するフィードバック

電子メールにフィードバックを記入して、送信ボタンをクリックしてください。

使用できる電子メール・クライアントがない場合は、上記の情報を Web メール・クライアントの新 しいメッセージにコピーして、フィードバックを cms-doc@hp.com に送信してください。

お客様からのご意見をお待ちしております。